科目名	教職論	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	小松　茂美	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	ﾚｸ･ｺｰﾃﾞｨ(教育)、高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、栄教一、中一(保健)、高一(保健	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

教職とは、どのような役割を担い使命を持つ職業なのかについて概説し、教職の意義と教員の使命・資質、教員の歴史とその仕事、学校の組織特性、教員の服務と身分保障、研修等について理解を深めます。また、今の教育現場が直面している課題等についても取り上げ、学校現場の取り組みについて理解を深めます。加えて、県教育委員会の講話をとおして、教職に対する理解、関心を深めるとともに、教職が自己の適性に適った職業であるかどうかを見極める機会を提供します。

学修到達目標

教職の使命と教員の仕事、教員の服務及び身分保障等について理解を深める。併せて、求められる教員像についても理解を深め、”教員”について具体的にイメージできるようになり、教員を目指すうえで現状における自己課題が認識できるようになる。

授業の進め方

基本的にはテキストの内容に沿う形で、講義形式主体で進めますが、パワーポイント及びプリント資料を使用し、より内容が充実したものになるようにします。また、教育基本法等関連する教育法規等の内容にも触れながら学習を進めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	教職課程の授業履修等について 「教職論」をとおして何を学ぶか	レポートの提出（4時間）
2	教職の専門性	教員の歴史と専門職論	事前学習：専門職論について レポート提出準備（本時の内容を確認し整理・記録）（4時間）
3	教員の資質	教員に求められる実践的な資質・能力について （不易と流行）	事前学習：教員に必要な資質能力 レポート提出準備（本時の内容を確認し整理・記録）（4時間）
4	教員の職務内容	教員の職務と校務分掌 学校組織について	事前学習：学校組織 レポート提出準備（本時の内容を確認し整理・記録）（4時間）
5	教員の研修と待遇	初任者研修、5年経験者研修、10年経験者研修	事前学習：教員の研修制度 レポート提出準備（本時の内容を確認し整理・記録）（4時間）
6	教員の服務	教員の服務及び身分保障並びに懲戒処分 小テスト①	事前学習：教員の服務 レポート提出準備（本時の内容を確認し整理・記録）（4時間）
7	初等・中等教育と教員①	各校種の教員（特性と在り方） （幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）	事前学習：中学校教員の仕事内容 レポート提出準備（本時の内容を確認し整理・記録）（4時間）
8	初等・中等教育と教員②	各校種の教員の1日 （小学校、中学校、高等学校、特別支援学校） 小テスト②	事前学習：特別支援学校 レポート提出準備（本時の内容を確認し整理・記録）（4時間）
9	教員の安全注意義務	教員の安全注意義務違反について～教員の過失の要件～ （注意義務の範囲、程度及び予見の可能性）	事前学習：教員の過失 レポート提出準備（本時の内容を確認し整理・記録）（4時間）
10	「いじめ」について	「いじめ」とは（定義および具体的事例） 教員の注意義務及び「いじめ」による自殺と教員の過失	事前学習：いじめの現状 レポート提出（4時間）
11	教員を目指すうえでの心構え	長野県教育委員会の講話	事前学習：教員の不祥事 レポート提出（4時間）
12	危機管理	事故、事件発生時の対応について 小テスト③	事前学習：学校での緊急時の対応 レポート提出準備（本時の内容を確認し整理・記録）（4時間）
13	教員の懲戒権と体罰	懲戒の種類について 「体罰」について	事前学習：教員による体罰 レポート提出準備（本時の内容を確認し整理・記録）（4時間）
14	特別支援教育について	特別支援教育の理念及び推進について	事前学習：特別支援教育の実際 レポート提出準備（本時の内容を確認し整理・記録）（4時間）
15	まとめ	教員を目指すという進路選択について ・教員の厳しさと魅力 ・教員採用試験について	事前学習：学校現場の課題 レポートの提出（4時間）

テキスト

「教職論」教職問題研究会編（ミネルヴァ書房）　ISBN:9784623053056（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：30%　出席レポート：10%　小テスト：15%　レポート：45%
受講態度（A:意欲的・積極的、B:普通、C:消極的とし、出席状況を加味）、出席レポート（A:課題把握が十分できている、B:概ねできている、C:不十分）、小テスト（学生便覧と同じ）、レポート（A:分析・整理が明確であり自分の意見を述べることができている、B:分析・整理又は自分の意見が不十分、C:両方とも不十分）を総合的に評価します。全ての項目がA評価の場合、S評価の検討をします。

参考書

「学校経営質疑応答集1・2」（第一法規）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

教職の使命（厳しさ）とやりがい（魅力）を理解し、教職が自己の適性に適った職業であるのか見極め、教員になるうえで不足しているものに気づき、その課題解決に積極的に取り組めるようになってください。

科目名	教育基礎論	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	山﨑　保寿・大藏　真由美	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日4限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、栄教一、中一(保健)、高一(保健)、中(英語)、高(英	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

高度に発達し複雑化した現代社会において、全ての人の成長に関わる教育という営みについて、その理念や意義、その背景となる思想や歴史を考え理解することは、教職に関する基礎的な資質を養う上で必要不可欠です。さらに、教育の原理として、教育の機会均等を理念とする学校が果たす役割について考察するとともに、教育に関する基礎的問題を取り上げ、その背景にある要因を理解することによって、現代の教育問題に対する分析視角を身につけることを目的とします。

学修到達目標

①教育の原理として、現代社会における教育の理念と意義を理解し、説明できる。②教育が目指す理念と学校が果たす役割について関係的に理解し、説明できる。③教育の基礎的問題を取り上げ、背景にある要因を理解し、その一つについて説明できる。④人間の特質と人間の発達要件としての環境の重要性について説明できる。⑤代表的な教育思想について理解し、その一つについて説明できる。

授業の進め方

講義形式を主として進め、適宜、ワークショップ等を行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業内容や進め方の説明などについて説明します。（山﨑、大藏）	シラバスを読み、授業全体のイメージをつかむ(4時間)。
2	教育の理念	現代社会の特徴と人の成長及び教育の理念について説明します。（山﨑）	新聞記事のスクラッププック作成(4時間)。
3	教育と学校	教育の機会均等の理念と学校が果たす役割について説明します。（山﨑）	卒業小中学校の学校要覧(or HP)を確認する。新聞記事のスクラッププック作成。(4時間)
4	集団の中での発達と形成	教育の機会均等の理念と学校が果たす役割について説明します。（山﨑）	卒業小中学校の学校要覧(or HP)を確認する。新聞記事のスクラッププック作成。(4時間)
5	学校の目的	法的に見た学校の種類とその基礎的な目的ついてに説明します。（山﨑）	卒業小中学校の学校要覧(or HP)を確認する。新聞記事のスクラッププック作成。(4時間)
6	教育の使命	信州教育の歴史的観点に立った教職の使命について説明します。（山﨑）	長野県に関する教育史調査を確認する。新聞記事のスクラッププック作成。(4時間)
7	教育の原理	教育の問題に関する背景の要因とその原理について説明します。（山﨑）	長野県に関する教育史調査を確認する。新聞記事のスクラッププック作成。(4時間)
8	教育の将来	教育に関する動向変化と今後に向けた展望について説明します。（山﨑）	長野県に関する教育史調査を確認する。新聞記事のスクラッププック作成。(4時間)
9	人間の本質1	人間の新生児の特質について説明します。（大藏）	第8回授業で配布された資料の該当箇所の読み(4時間)。
10	人間の本質2	発達の要件としての環境について説明します。（大藏）	前時の復習、第8回授業で配布された資料の該当箇所の読み(4時間)。
11	教育の思想1	子ども観、発達観、教育観の変遷について説明します。（大藏）	前時の復習、第10回授業で配布された資料の該当箇所の読み(4時間)。
12	教育の思想2	子どもの権利、子どもの最善の利益について説明します。（大藏）	前時の復習、第10回授業で配布された資料の該当箇所の読み(4時間)。
13	教育の歴史1	近代公教育制度の成立について説明します。（大藏）	前時の復習、第12回授業で配布された資料の該当箇所の読み(4時間)。
14	教育の歴史2	近代公教育制度の発展について説明します。（大藏）	前時の復習、第12回授業で配布された資料の該当箇所の読み(4時間)。
15	教育の歴史3	近代以降における学校教育の役割について説明します。（大藏）	前時の復習、第12回授業で配布された資料の該当箇所の読み(4時間)。

テキスト

「学校教育の基礎知識（全訂版）」小島弘道著（協同出版）　ISBN:978-4319002719（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：40%　出席レポート：35%　レポート：35%
受講態度とは毎回の授業時に提出する意見カードを指します。S:正しく理解された授業内容に加え、資料やデータを活用しながら、論理的に自分の考え、意見を述べることができる。A：授業内容を正しく理解し、論理的に説明できる。B:授業で取り上げた事柄について理解し、説明できる。C:授業で取り上げた事柄について理解している。

参考書

中学校及び高等学校の「学習指導要領」、
『解説　教育六法』解説教育六法編修委員会編　三省堂
または　『教育小六法』市川須美子他編　学陽書房

履修上の注意（学生へのメッセージ）

教職課程履修者を対象とする必修科目です。3年次までにこの科目の単位を修得して下さい。本授業は、2年次以降の教職科目履修の基礎となる科目ですので、積極的に受講して下さい。

科目名	学校の制度	学年学期	2・3・4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	武者　一弘	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日4限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、栄教一、中一(保健)、高一(保健)、中(英語)、高(英	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

現在の学校教育は、社会的諸条件の影響を受けながら、公法的秩序のもとで行われています。そのため、教師を目指す私たちは、教育的諸活動の諸々の側面に関心を寄せ、学校教育を成り立たせている諸条件、組織関係等に関心を払い、それらを検討、見直していくことが必要なのです。本授業では、現在の学校教育を支える基本的事柄を取り上げ、現在の学校教育を理解することを目的としています。さらに、それらを検討、見直すための視点を得ることをも目的としています。

学修到達目標

教育の制度、それを支える法令・行政、経営の基礎を理解する。①現代の公教育を支えている基本原理を理解し説明できる。②学校制度に関わる今日的課題及び動向を理解し、説明できる。③教育制度を支えている法制、教育行政の基本を理解し、文部科学省及び教育委員会の役割について説明できる。④教育経営の基本を理解し、身近な学校の教育経営の特徴について説明できる。

授業の進め方

講義形式を主として進め、適宜、グループワーク等を行います。必要に応じて資料を配布しますが、資料は授業内容の理解を助け、更に発展的内容を示していますので、該当する授業前に必ず読み、持参して授業に臨んで下さい。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業内容や進め方の説明など	事前にシラバスを読んでくる。新聞に目を通し教育制度に関する時事問題を一つ以上集めておく。
2	学校制度の基本原理（1）	学校教育と国民主権及び法律主義の関係について説明する。	第1回授業で配布された資料①の読み（4時間）
3	学校制度の基本原理（2）	教育行政・学校の一般行政からの独立について、その考え方と背景について説明します。	第2回授業で配布された資料②の読み（4時間）
4	学校制度の基本原理（3）	学校教育の地方分権と地方自治について、その考え方と背景について説明します。	第3回授業で配布された資料③の読み（4時間）
5	学校制度の基本原理（4）	学校教育の一定水準の確保と機会均等について、その考え方と背景について説明します。	第4回授業で配布された資料④の読み（4時間）
6	学校制度の基本原理（5）	学校教育の中立性について、その考え方と背景について説明します。	第5回授業で配布された資料⑤の読み（4時間）
7	中央教育行政の役割と学校制度	文部科学省の役割と学校教育とのかかわりについて説明します。	第6回授業で配布された資料⑥の読み（4時間）
8	地方教育行政の役割と学校制度	教育委員会の役割と学校教育とのかかわりについて説明します。	第7回授業で配布された資料⑦の読み（4時間）
9	学校と教員人事の制度（1）	教員の養成・採用・研修の考え方とその運用について説明します。	第8回授業で配布された資料⑧の読み（4時間）
10	学校と教員人事の制度（2）	教員の服務・監督、懲戒処分と分限処分の考え方とその運用について説明します。	第9回授業で配布された資料⑨の読み（4時間）
11	学校の組織運営	学校と教育行政とのかかわり、校務分掌などについて説明します。	第10回授業で配布された資料⑩の読み。母校や教育実習先のHP、学校要覧等で学校の組織を確認する
12	学校の危機管理	子どもをめぐる物的事故や人的事故の代表例と事前・事後対応について説明します。	第11回授業で配布された資料⑪の読み。（4時間）
13	これからの学校の制度	チーム学校と「開かれた学校づくり」（学校運営協議会、地域学校協議会を含む）について、政策の動向と先進事例に基づき説明します。	第12回授業で配布された資料⑫の読み。都道府県・市町村の教育計画を調べてくる。（4時間）
14	諸外国の学校制度の改革	欧米やアジアの学校制度の改革動向を説明します。	第13回授業で配布された資料⑬の読み。（4時間）
15	まとめ	今日の学校制度の改革動向や学校現場での課題を説明するとともに、講義全体のまとめを行ないます。	前時までに配布の資料①から⑭までの読み。（4時間）

テキスト

テキストは使用しません。必要な資料を適宜配布します。必ず熟読し、保管しておいてください。

成績評価の方法・基準

出席レポート：30%　レポート：35%　課題：35%
出席レポート：毎回の授業後の感想・質問カード。レポート：授業内容の理解度を知るため課題レポート。課題：期末課題。
S:授業内容を正しく理解し、資料やデータを活用しながら論理的に自分の考えを述べることができる。A：授業内容を正しく理解し、論理的に説明できる。B:授業で取り上げた事柄について理解し、説明できる。C:授業で取り上げた事柄について理解している。

参考書

「教育六法　平成30年度版」編修委員会編（三省堂または学陽書房）
授業時に適宜紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

この授業では、調べ学習やグループ討議・発表を、複数回、取り入れます。積極的な授業への参加が不可欠です。

科目名	教育史	学年学期	2・3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	A-02
担当者	大藏　真由美	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日4限、水曜日4限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、栄教一、中一(保健)、高一(保健)、中(英語)、高(英	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

近世から現代にいたる日本における教育の展開を概観し、日本の教育の発展に関する歴史的知見を得るとともに、歴史的視点から現在の学校や社会が直面しているさまざまな教育問題を読み解く力の基礎を身につけることを目的とします。

学修到達目標

本授業の到達目標は次の5点です。1.近世の教育の場について理解し、事例をあげて説明できる。2.日本における教育制度の成立とその変遷について説明できる。3.日本における教育方法の工夫について理解し、事例をあげて説明できる。4.教員免許制度の変遷について説明できる。5.現代の教育を取り巻く諸問題について関心を持つ。

授業の進め方

講義形式を主として進め、適宜、グループワーク等を行います。必要に応じて資料を配布しますが、資料は授業内容の理解を助け、更に発展的内容を示していますので、該当する授業前に必ず読み、持参して授業に臨んで下さい。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業内容や進め方について説明します。	シラバスの読み及び教育史に関して興味を持てそうなテーマを見つける(4時間)。
2	近世の教育の場1	武家の教育について説明します。	第1回授業で配布した資料の読み、授業時に指示された内容を行う(4時間)。
3	近世の教育の場2	庶民の教育について説明します。	前時の復習、第2回授業で配布した資料の読み(4時間)。
4	近代の教育1	近代学校教育制度の成立について説明します。	前時の復習、第3回授業で配布した資料の読み(4時間)。
5	近代の教育2	近代学校教育制度の変遷について説明します。	前時の復習、第4回授業で配布した資料の読み(4時間)。
6	近代の教育3	大正期の自由教育の思想について説明します。	前時の復習、第5回授業で配布した資料の読み(4時間)。
7	近代の教育4	大正期の自由教育の実践について説明します。	前時の復習、第6回授業で配布した資料の読み(4時間)。
8	近代の教育5	教材と教具について説明します。	前時の復習、第7回授業で配布した資料の読み(4時間)。
9	戦時体制下の教育	戦時体制下の教育について説明します。	前時の復習、第8回授業で配布した資料の該当箇所の読み(4時間)。
10	ここまでの授業のまとめ	第9回までの授業内容を振り返り、総括します。	第9回までの授業内容を復習する(4時間)。
11	昭和戦後期の学校教育制度の成立と変遷	昭和戦後期の学校教育制度の成立と変遷について説明します。	第8回授業で配布した資料の該当箇所の読み、授業時に指示されたことを行う(4時間)。
12	昭和戦後期の学校教育制度を支えた思想	経験学習について説明します。	前時の復習、第11回授業で配布した資料の読み(4時間)。
13	教員免許制度	教員免許制度の変遷について説明します。	前時の復習、第12回授業で配布した資料の読み(4時間)。
14	現代の教育を取り巻く諸問題	現代の教育を取り巻く諸問題について説明します。	前時の復習、第13回授業で配布した資料の読み(4時間)。
15	まとめ	第10回から第14回の授業を振り返り、総括します。また、授業全体のまとめを行います。	ここまでの授業内容を復習する(4時間)。

テキスト

使用しません。必要な資料を適宜配布します。

成績評価の方法・基準

受講態度：30%　レポート：35%　定期試験：35%
受講態度(授業への意欲、毎時間後の感想・質問)、レポート(授業内容の理解度や考察の深まりを知る為の授業内小レポートやワーク)、定期試験を総合して評価します。＜評価基準＞S:正しく理解された授業内容に加え、資料やデータを活用しつつ、論理的に自分の考え、意見を述べている。A:授業内容を正しく理解し、論理的に説明できる。B:授業で取り上げた事柄を理解し説明できる。C:授業で取り上げた事柄を理解している。

参考書

「資料で考える子ども・学校・教育」遠藤孝夫他（学術図書出版）、「教育六法　平成30年度版」（三省堂又は学陽書房）、中学校又は高等学校「学習指導要領」

履修上の注意（学生へのメッセージ）

教員採用試験を受験する方はできるだけ履修して下さい。

科目名	教育と発達	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	A-17
担当者	岸田　幸弘・川島　一夫	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日3限、金曜日1限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)、中(英語)、高(英語)	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

学校での教育活動に必要な、学習と発達に関する教育心理学の基本的な理論や考え方について講義します。この講義を通して、学習のメカニズム、社会性とパーソナリティ、心身の発達と個人差に関する知識と考え方を身につけられるようにします。同時に、それらの知識や考え方を教育現場に応用するための方法や視点を学び、児童・生徒の知・情・意の発達への効果的な支援について理解を深められるようにします。

学修到達目標

児童生徒の学習や発達に関して知識として説明できるだけでなく、教職に就いた時に正しい児童生徒理解に役立たせることができる。
それによって授業や学級経営に自信を持つことができる。

授業の進め方

講義の他，グループディスカッションやグループワークを行い，理解を深めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス	教育と発達の意味　教育心理学・発達心理学とは何か（岸田）	配布された資料を読み込み，学校ではどのように活用するのかという視点でレポートする（4時間）
2	ほめることの大切さ①	古典的条件づけと道具的条件づけ（岸田）	配布された資料を読み込み，学校ではどのように活用するのかという視点でレポートする（4時間）
3	ほめることの大切さ②	観察学習や自己強化による学習の概念（岸田）	配布された資料を読み込み，学校ではどのように活用するのかという視点でレポートする（4時間）
4	人のやる気を考える①	学習性無力感や統制、自己効力感の概念（岸田）	配布された資料を読み込み，学校ではどのように活用するのかという視点でレポートする（4時間）
5	人のやる気を考える②	物事の結果の原因、内発的な動機づけ（岸田）	配布された資料を読み込み，学校ではどのように活用するのかという視点でレポートする（4時間）
6	学校カウンセリングの大切さ	学校カウンセリングの考え方と実際の展開（岸田）	配布された資料を読み込み，学校ではどのように活用するのかという視点でレポートする（4時間）
7	学級とはなにか①	学級集団の特殊性や関係性、学級の雰囲気などについて（岸田）	配布された資料を読み込み，学校ではどのように活用するのかという視点でレポートする（4時間）
8	学級とはなにか②	集団アセスメントの具体的な方法（岸田）	配布された資料を読み込み，学校ではどのように活用するのかという視点でレポートする（4時間）
9	ピアジェの発達段階	認知の発達について、ピアジェの理論を中心に説明する（川島）	教科書を読み込み，学校ではどのように活用するのかという視点で予習する（44時間）
10	子どもはどこまで大きくなるの	身体の発達と遺伝について、教科書を中心にビデオ等を使用して説明する（川島）	教科書を読み込み，学校ではどのように活用するのかという視点で予習する（44時間）
11	人間の発達について考える	遺伝と環境の影響について、教科書を中心にビデオ等を使用して説明する（川島）	教科書を読み込み，学校ではどのように活用するのかという視点で予習する（44時間）
12	人格の発達について考える	フロイトの発達段階、エリクソンの発達段階、自我同一性について、教科書を中心にビデオ等を使用して説明する（川島））	教科書を読み込み，学校ではどのように活用するのかという視点で予習する（44時間）
13	頭が良いってどういうこと？	知能の発達と知能検査について、教科書を中心にビデオ等を使用して説明する（川島）	教科書を読み込み，学校ではどのように活用するのかという視点で予習する（44時間）
14	障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習	発達障害における課題が、遊びと訓練、生活を分けることができないこと、地域、生活者、専門性を考えたとき、教師の専門性とは何であろうかについて論ずる。（川島）	教科書を読み込み，学校ではどのように活用するのかという視点で予習する（44時間）
15	副読本「発達障害とことばの相談」から障害者の発達と教育を考える	STという仕事が、なぜ必要なのか、教師では同じことは、できないこと、自閉症児の課題が、遊びと訓練、生活を分けることができないということについて論ずる（川島）（川島）	教科書を読み込み，学校ではどのように活用するのかという視点で予習する（44時間）

テキスト

「やさしい教育心理学」鎌原雅彦・竹綱誠一郎著（有斐閣）（生協で購入してください。）
「図で理解する発達」川島一夫・渡辺弥生編（福村出版）（生協で購入してください。）
「「発達障害とことばの相談」」中川 信子著（小学館101新書）

成績評価の方法・基準

受講態度：20%　レポート：40%　小テスト：40%

参考書

「世界一の子ども教育モンテッソーリ」永江 誠司著（講談社プラスアルファ新書）
「子どもの才能は3歳、7歳、10歳で決まる!」林 成之著（幻冬舎新書）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

レポートは基本的にワープロ・A4版で提出してください。この予定表は変更になる可能性があります。期末試験はありません。★レポートのネットからのコピペ、授業中のスマホでは禁止です。単位が出ません。

科目名	道徳の指導法	学年学期	3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	A-01
担当者	征矢野　達彦	必修選択	必修（中免）選択（高免）	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日3限、金曜日3限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、栄教一、中一(保健)、高一(保健)、中(英語)、高(英	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

・学習指導要領改訂で、確かな学力を基盤とした生きる力の育成を目的に、道徳教育は最重点課題の一つとして、道徳の教科化が決まり「特別な教科　道徳」となりました。そこで、その課題や今後の具体的な授業の工夫等を扱い理解を深めます。
・この講義では、上記を踏まえ道徳の内容と指導方法について講義します。

学修到達目標

道徳教育の目標の理解と共に、道徳授業の基礎・基本の理解と実践力を身につける。

授業の進め方

・道徳教育の現状を踏まえ、道徳授業の基礎・基本（道徳の指導案の書き方、心に響く道徳の授業のあり方、道徳学習方法論、教材開発等）の理解を深めます。・後半に模擬授業を行い、道徳の授業の実践力を高めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	道徳教育とは何か	「道徳」を教える	課題レポート（4時間）
2	授業の基礎・基本Ⅰ	道徳授業のポイント	課題レポート（4時間）
3	授業の基礎・基本Ⅱ	学習指導要領の改訂と道徳教育の変遷	課題レポート（4時間）
4	授業の基礎･基本Ⅲ	教科・他領域との連携の工夫	課題レポート（4時間）
5	授業の基礎･基本Ⅳ	体験活動・言語活動を活かした授業の工夫	課題レポート（4時間）
6	授業の基礎･基本Ⅴ	道徳学習方法論から	課題レポート（4時間）
7	授業の基礎･基本Ⅵ	板書の実際・工夫	課題レポート（4時間）
8	授業の基礎･基本Ⅶ	ゲストティーチャーの活用	課題レポート（4時間）
9	授業の基礎･基本Ⅷ	「心のノート」の活用	課題レポート（4時間）
10	授業の基礎･基本Ⅸ	学校教育全体計画の作成	課題レポート（4時間）
11	学習指導案の作成	学習指導案の作成	指導案作り（4時間）
12	模擬授業Ⅰ	模擬授業（1）導入の工夫	振り返りレポート（4時間）
13	模擬授業Ⅱ	模擬授業（2）発問の工夫	振り返りレポート（4時間）
14	模擬授業Ⅲ	模擬授業（3）板書の工夫	振り返りレポート（4時間）
15	まとめ	全体でのシェアリング	総合レポート（4時間）

テキスト

「これだけは知っておきたい道徳授業の基礎・基本」渡邊　弘著（川島書店）　ISBN:978-4-7610-0884-0（生協で購入してください。）　他は、講義の中で別途指示します。
中学校、高等学校学習指導要領

成績評価の方法・基準

出席レポート：30%　レポート：40%
模擬授業30%　S:授業内容を確かに理解し、道徳の授業に探求姿勢を持って意欲的に取り組み、創意工夫した道徳の授業ができる。A:授業内容を確かに理解し、道徳の授業に意欲的に取り組み、論理的な指導案が書け、発問を工夫した授業ができる。B:授業内容を理解し、道徳の授業に意欲をもって取り組み、指導案がかけ、道徳の授業ができる。C:授業内容を概ね理解して、道徳の授業に取り組み、児童・生徒のための授業をしようとする。

参考書

「やさしい道徳授業のつくり方」鈴木由美子・宮里智恵　編編（溪水社）
「心に響く道徳教育講義」赤坂　雅裕　著者（北樹出版）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

模擬授業とレポートの提出を単位認定の条件とします。文部科学省発行の『中学校学習指導要領』と『中学校学習指導要領解説道徳編』を事前に読んでおいて下さい。

科目名	教育課程総論	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	山﨑　保寿	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日4限		
関連資格	ﾚｸﾘｴｰﾃｨ(教育)、高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、栄教一、中一(保健)、高一(保健	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

学校における教育活動の全体計画である教育課程及びその編成に関する基本的事項を理解することを目的とします。具体的には、教育課程とは何か、学習指導要領の変遷とその背後にある学力問題や学力観の変化、教育課程を編成するために理解しておくべき基本的事項、中学校及び高等学校における教育課程の事例について取り上げます。

学修到達目標

1. 教育課程の意義と役割について理解し、説明できる。2. 学習指導要領の変遷とその背後にある学力問題や学力観の変化について理解し、説明できる。3. 教育課程を編成するために必要な基本的事項を理解し、説明できる。4. 中学校及び高等学校における教育課程の事例について理解し、説明できる。

授業の進め方

講義形式を主としますが、発表や協議(ディスカッション)の時間も設定されています。配布資料や時間外学修は、授業内容の理解を助け発展させるものなので、該当する授業前までに必ず読み或は実施し、授業に臨んで下さい。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業の概要、授業の進め方などについて説明します。	シラバスの読み、授業全体のイメージをつかみ、興味が持てそうな内容を見つける(4時間)。
2	教育課程とは何か	教育課程の意義と役割について説明します。	第1回授業で配布した資料①の読み、授業時に指示した内容を行う(4時間)。
3	学習指導要領の成立と変遷1	経験主義、系統主義について説明します。	前時の復習、第2回授業で配布した資料②の該当箇所の読み(4時間)。
4	学習指導要領の成立と変遷2	教育の現代化～新学力観について説明します。	前時の復習、第2回授業で配布した資料②の該当箇所の読み(4時間)。
5	学習指導要領の成立と変遷3	生きる力と確かな学力、生きる力と活用能力について説明します。	前時の復習、第2回授業で配布した資料②の該当箇所の読み(4時間)。
6	ここまでの授業のまとめ	第2回から第5回までの授業の振り返りと総括を行います。	第2回から第5回までの授業の復習(4時間)。
7	教育課程の編成1	教育課程を支える考え方について説明します。	第6回授業で配布した資料③の読み、授業時に指示した内容を行う(4時間)。
8	教育課程の編成2	教育課程を構成する要件について説明します。	前時の復習、第7回授業で配布した資料④の読み(4時間)。
9	教育課程の編成3	教育課程の評価について説明します。	前時の復習、第8回授業で配布した資料⑤の読み(4時間)。
10	ここまでの授業のまとめ	第7回から第9回までの授業の振り返りとここまでの授業全体の総括を行います。	第2回から第9回までの授業の復習(4時間)。
11	新学習指導要領と教育課程の編成1	新学習指導要領に関する改訂の経緯及び改訂の趣旨、新たに導入された教育内容について説明します。	授業配布資料に基づいた次時の予習、教科書指定箇所の予習(4時間)。
12	新学習指導要領と教育課程の編成2	新学習指導要領における「総則」の内容、新学習指導要領に基づく教育課程の意義について説明します。	授業配布資料及び教科書指定箇所の予習、課題レポートに関する論文検索と収集(4時間)。
13	新学習指導要領と教育課程の編成3	新学習指導要領における「教育課程編成の配慮事項」、特に留意すべき事項について説明します。	授業配布資料及び教科書指定箇所の予習、論文検索と収集、課題レポート作成(4時間)。
14	中学校及び高等学校における教育課程の事例1	教育課程編成の一般事例と特色事例の比較、キャリア教育に関する実践の動向について説明します。	課題レポートの作成と発表・プレゼンテーションの練習(4時間)。
15	中学校及び高等学校における教育課程の事例2	キャリア教育に関する教育課程の事例、授業のまとめとクループディスカッションを行います。	課題レポート及び発表・プレゼンテーションの修正、授業の復習(4時間)。

テキスト

「キャリア教育の基礎・基本」山﨑保寿著（学事出版）　ISBN:978-4761916879（生協で購入してください。）
「実践に活かす教育課程論・教育方法論」樋口直宏他編（学事出版）ISBN:978-4761920203（生協で購入してください。）
中学校、高等学校「学習指導要領」

成績評価の方法・基準

受講態度：30%　レポート：35%　課題：35%
受講態度(授業への意欲、毎時間後の感想・質問)、レポート(授業内容の理解度や考察の深まりを知る為の授業内小レポートやワーク)、課題(期末課題)を総合して評価します。＜評価基準＞S:正しく理解された授業内容に加え、資料やデータを活用しつつ、論理的に自分の考え、意見を述べている。A:授業内容を正しく理解し、論理的に説明できる。B:授業で取り上げた事柄を理解し説明できる。C:授業で取り上げた事柄を理解している。

参考書

「「社会に開かれた教育課程」のカリキュラム・マネジメント」山崎保寿著（学事出版）　ISBN：978-4-7619-2396-9
「新しい時代の教育課程」田中耕治他（有斐閣）、「教育六法　平成29年度

履修上の注意（学生へのメッセージ）

教育職員免許法施行規則に定める科目区分「教育課程及び指導法に関する科目」に該当する科目です。教職課程履修者を対象とする必修科目ですので、3年次までに本科目の単位を修得するようにして下さい。

科目名	特別活動の指導法	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	A-01
担当者	征矢野　達彦・岸田　幸弘	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日4限、金曜日4限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、栄教一、中(英語)、高(英語)	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

・特別活動の意義や目的、実施上の課題等について講義します。学級会活動・児童生徒会活動・学校行事・総合的な学習・部活動についての特質を把握して、活動の実際例や指導案の検討、評価のあり方、実施の意義と方法が分かるように学びます。

学修到達目標

特別活動の内容と指導方法、教育課程における意味についての理解を深める。

授業の進め方

・前半は講義形式を中心として基礎知識を習得します。
・後半では、学校現場の参観実習、外部講師の話、グループワーク等を取り入れ、理解を深めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	特別活動とは何か	教育課程の中での特別活動の位置づけ　（征矢野・岸田）	小中時代の活動の整理（4時間）
2	特別活動の原理	学習指導要領における特別活動の目標、内容、活動　（征矢野）	テキスト第2章1節の読み（4時間）
3	特別活動と教育課程の編成	学級会活動・児童生徒会活動・学校行事の年間指導計画と実践　（征矢野）	テキスト第2章2節の読み（4時間）
4	特別活動の内容とその指導	教科学習や道徳、総合的な学習の時間、部活動との関連　（征矢野）	テキスト第2章2節の読み（4時間）
5	学級活動の意義と展開①	学級活動の内容とその指導について資料の具体事例1～3を通しての解説（岸田）	テキスト第3章1節の読み（4時間）
6	学級活動の意義と展開②	学級活動の内容とその指導について資料の具体事例4～6を通しての解説（岸田）	テキスト第3章1節の読み（4時間）
7	学級活動と他の教育活動	学級活動と人間関係づくり　（岸田）	テキスト第3章1節の読み（4時間）
8	学級活動の実践事例	学級活動の実践事例の発表とグループワークでの検討　（岸田）	学級活動の事例集め（4時間）
9	学級活動と人間関係づくり	学級活動とより良い人間関係づくりの意義　（岸田）	学級活動の課題レポート（4時間）
10	生徒会活動の意義と展開①	生徒会活動の目標と意義について具体事例を通しての解説　（征矢野）	テキスト第3章2節を読む（4時間）
11	生徒会活動の意義と展開②	生徒会活動の内容と指導について具体事例を通して解説　（征矢野）	生徒会活動の課題レポート（4時間）
12	生徒会活動の課題	生徒会活動の自主的・自治的活動とするための理念や方法　（征矢野）	生徒会活動の課題レポート（4時間）
13	学校行事の意義と展開①	学校行事の目標と意義について具体事例を通して解説　（征矢野）	学校行事の課題レポート（4時間）
14	学校行事の意義と展開②	学校行事の内容とその指導について具体事例を通して解説　（征矢野）	テキスト第3章3節の読み（4時間）
15	内容の取り扱いと配慮事項	特別活動の評価、時数、展開に関する解説　（征矢野・岸田）	テキスト第4章の読み（4時間）

テキスト

「【新】中学校学習指導要領　解説　特別活動編」文部科学省編（東洋館出版社）（生協で購入してください。）
「「キーワードで学ぶ特別活動　生徒指導　教育相談」」有村久春著著（金子書房）　ISBN:978-4760823956（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：60%　レポート：40%
S:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に意欲的に取り組み、授業内容をすべて理解して、正しく文章で表現できる。A:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に取り組み、授業で学んだことを理解し、正しく文章で表現できる。B:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に取り組み、授業で学んだことについて概ね理解し、文章で表現できる。C:到達目標達成を理解して、課題に取り組み、授業で学んだことを表現できる。

参考書

「新訂　キーワードで拓く新しい特別活動」日本特別活動学会編（東洋館出版社）
他の参考書については、講義の中で指示します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

・模擬授業とレポートの提出を単位認定の条件とします。
・文部科学省『中学校学習指導要領解説書　特別活動編』を事前に読んでおいて下さい。

科目名	教育方法論	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	田村　徳至・小山　茂喜	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、栄教一、中一(保健)、高一(保健)、中(英語)、高(英	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

学習指導要領の変遷を整理した後、すぐれた実践者の授業から教育内容と教育方法を学び、ICTの活用を含めた模擬的な授業を開発する演習を通して、わかる授業の授業設計と実践に向けての基礎・基本的知識と技能を習得していきます。

学修到達目標

授業では、どのような内容を、どのように子どもたちが学ぶことが、もっとも教育効果を上げることができるについて学ぶ。学習指導要領の変遷を学ぶことを通して、学力観や授業観等の変遷やそれにともない提案された教育方法にかかわるさまざまな理論について学ぶ。授業実践の記録等を探究することで、教育活動における経験法則を学ぶとともに、教育現場が抱えている方法学的な課題解決の方

授業の進め方

授業の前半は前時の振り返りを行うことと本時の理論を概説します。後半はグループワークを取り入れながら学修事項を確実に把握できるようにします。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	教育課程の基本要素と教育方法学をめぐる諸問題について説明します。	教育課程の基本要素、さまざまな教育方法の特徴をノートにまとめる（4時間）
2	学習理論①	伝統的な学習理論の特徴と教育観について説明します。	言語主義・主知主義・系統主義・5段階教授法についてノートにまとめる（4時間）
3	学習理論②	伝統的な学習理論の特徴と教育観について説明します。	児童中心主義・直観主義・経験主義・感覚主義についてノートにまとめる（4時間）
4	学習理論③	伝統的な学習理論の特徴と教育観について説明します。	技能主義・問題解決主義・改造主義・実証主義についてノートにまとめる（4時間）
5	学習理論④	伝統的な学習理論の特徴と教育観について説明します。	行動主義・能力主義・個別主義・判例学習・その他の学習方法についてノートにまとめる（4時間）
6	学習指導要領の変遷	戦後の我が国の学習指導要領の変遷と教育観について説明します。	昭和22年～平成20年版と次期学習指導要領の内容についてノートにまとめる（4時間）
7	授業の参観と分析①	授業参観と授業分析（ICTを活用した授業分析を含む）の基本を授業実践例（谷和樹の社会科授業）から学びます。	社会科を例として学習参観の方法と分析技術についてノートにまとめる（4時間）
8	授業の参観と分析②	授業参観と授業分析（ICTを活用した授業分析を含む）の基本を授業実践例（英語科・数学科・国語科の授業）から学びます。	学習参観の方法と分析技術についてノートにまとめる（4時間）
9	情報機器の活用①	コンピュータ等の情報機器を活用した教育方法を学びます。	ICTを活用した学習で可能なことと先進校の事例についてノートにまとめる(4時間)
10	情報機器の活用②	メディア教材構成の方法を行います。	コンピュータを活用した効果的な授業方法と先進校の取り組みをノートにまとめる（4時間）
11	我が国における学習理論の展開について	明治期から現代に至るまでの学習理論とその方法について学びます。	明治期～平成（現代）の代表的な学習理論をノートにまとめる（4時間）
12	発表・考察	各自の専攻科目に対応した学習計画を作成し、発表・考察を行います。	学び合い・話し合い活動の実施方法についてノートにまとめる（4時間）
13	グループワーク	ファシリテーションの手法（マンダラ法・フィッシュボーン法）を活用した教育方法	マンダラ法・フィッシュボーン法の実施方法についてノートにまとめる（4時間）
14	現代の学校教育課題の問題解決	作成したフィッシュボーンの発表（グループごと）・評価を行います。	マンダラ法とフィッシュボーンの作成に関して学習したことをノートにまとめる（4時間）
15	模擬授業等のまとめ	模擬授業の考察と学習のまとめ	模擬授業を行うことによって得たことと授業実施における注意点などをノートにまとめる（4時間）

テキスト

「図解　伝統的な教育理論に学ぶ　授業作りの基礎」長瀬荘一著（明治図書）　ISBN:978-4-18-244413-5（生協で購入してください。）
「【新】中学校学習指導要領　解説　総則編」文部科学省編（東洋館出版社）(生協で購入してください。）
「【新】高等学校学習指導要領　解説　総則編」文部科学省編(生協で購入してください。）
「各自の免許取得教科の【新】『学習指導要領　解説編』」　各自で購入してください

成績評価の方法・基準

課題：40%　受講態度：30%　出席レポート：30%
S：学習方法に関する講義内容を確実に理解し、模擬授業等で主体的にICTを活用し、かつファシリテーションの手法全てを活用した授業展開ができる。
A：講義内容を理解しており、主体的に授業に参加し、学習方法に関する課題を解決できる。B：講義内容のおおよそを理解しており、学習理論とファシリテーションの手法の一部またはICTを活用した授業展開をすることができる。
C：講義内容の約60%程度を理解し、基本的な課題について解決することができる。

参考書

「哲学のある教育実践」高久清吉著（教育出版）　ISBN：4-316-36960-1
「デザイナーとしての教師　アクターとしての教師」吉崎静夫著（金子書房）　ISBN：978-4760892396

履修上の注意（学生へのメッセージ）

毎時間、学修事項に関するリアクションペーパー（出席レポート）の記述を課す（300～400字）。グループワークを行うので積極的に参加してください。

科目名	生徒指導概論(進路指導を含む。)	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	A-18
担当者	川島　一夫・岸田　幸弘	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日3限、木曜日4限、木曜日5限		
関連資格	ﾚｸ･ｺｰﾃﾞｨ(教育)、高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、中一(保健)、高一(保健)、中(英語)、高	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

「生徒指導」とはなにか進路指導を含めて考えます。学校において児童生徒は不登校になったり，友人とのトラブルを起こしたりします。いじめや暴力行為などの問題は大きな課題です。こうした誰もが出会うであろう発達上の課題を支援するのが生徒指導です。学校での実態や事例を通して，支援の方法や理論について学びます。

学修到達目標

生徒指導および進路指導とは何かということについての理解を深め、学校での児童生徒の問題行動に対応するための知識や考え方を身につけている。

授業の進め方

教科書に従って講義を行い、数回の小テストを行います。副読本についてのレポートと討論も行い、レポートは、提出期日を遅れると受け取りません。レポートはワープロで提出してください。質問は、松大かわティブログで答えます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業の説明とオリエンテーション	授業全体の流れを説明し、生徒指導（学ぶために必要な、基礎となる知識についての概略を解説します。（川島・岸田）	テストの回答と授業の振り返り(4時間)
2	生徒指導・進路指導を考える	生徒指導・進路指導について学校での必要性を講義で理解し、学校における生徒指導・進路指導の実態やその大切さを理解します。（川島）	児童から先生への生徒指導の状況をイメージして、そのとき気付きや思いをまとめる(4時間)
3	発達を考慮した生徒指導・進路指導とはなにか	生徒指導・進路指導の基礎的な知識としての児童生徒の発達について理解し、その過程で誰もが出会うであろう様々な発達課題とその応用ついて、発達障害も含めて考察します。（川島）	生徒指導・進路指導の発達課題を明確に自覚し、解決策をレポートする(4時間)
4	学校におけるシステム・アプローチの利用	システム・アプローチが、対象をシステムという観点で捉え階層性があることを理解します。その上で、家族や学校、友人集団などのシステムの中で、どのように作用するかを学びます（川島）	不登校の子どもを理解する時システムを考慮にはどうのようにしたらよいかを考える(4時間)
5	発達障害への対応	発達障害児の心理を中心に、その基盤となる心理学・医学的な知識について講義します。発達障害に関する学校での指導・支援と、進路指導について考えます。（川島）	発達障害の子どもたち　後半を読み感想レポート(4時間)
6	生徒指導と進路指導	生徒指導の中でどのように進路指導を行うか考える。特に、中学校の進路指導について、自己実現の達成を考慮し考えます。教科書を使用しての講義と小テストです。（川島）	講義を通してのまとめ(4時間)
7	進路指導とキャリア教育	進路指導とキャリア教育中で具体的にどのように指導を行うか考える。教科書を使用しての講義と小テスト（川島）	講義を通してのまとめ(4時間)
8	生徒指導と教育相談	教育相談や教育カウンセリングの理念や方法を生徒指導でどのように生かすかを，講義とロールプレイで学びます。（岸田）	テキスト第5章を読んでレポート(4時間)
9	不登校を考える①	不登校の定義と実態、これまでの施策の変遷などを理解し、個別の支援の在り方や効果的な支援の方法を学びます。（岸田）	テキスト第6章前半を読んでレポートする（4時間）
10	不登校を考える②	子どもたちが登校したくなるような授業，学級，学校生活をどのように作り出していくか，新しい生徒指導の考え方を学びます。（岸田）	テキスト第6章後半を読んでレポートする（4時間）
11	個別の課題への対応①「少年非行」	少年非行の定義と実態を理解し、その対応について学びます。その中で児童生徒と教員、児童生徒と保護者の協力の仕方を学びます。（岸田）	事前事後学修：テキストⅡ第4節を読む(4時間)
12	個別の課題への対応②「命の教育と自殺」	児童生徒の自殺の実態や、命の教育の意義を学び、その予防と必要性を学びます。（岸田）	事前事後学修：テキストⅡ第9節読む(4時間)
13	個別の課題への対応③「いじめ」	いじめの実態とこれまでの施策を理解し，自らの体験もふまえながら解決の方向を探る（岸田）	事前事後学修：テキストⅡ第6,7節読む(4時間)
14	個別の課題への対応④「暴力行為」「性」	児童生徒の暴力行為や性に関する問題の実態を知り、その予防と保護者や地域との連携の在り方を学びます。（岸田）	事前事後学修：テキストⅡ第4節を読む(4時間)
15	適性と進路指導	生徒指導の中でどのように進路指導を行うか考える。教科書を使用しての講義と小テスト　（川島）	講義を通してのまとめ(4時間)

テキスト

「①臨床心理学からみた生徒指導・教育相談」川島　一夫 , 勝倉　孝治編（おうふう出版）　ISBN:4892427365（生協で購入してください。）
「文部科学省　生徒指導提要」文部科学省著（教育図書）　ISBN:978-4-87730-274-0（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

レポート：60%　小テスト：40%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもってレポートに取り組み、小テストでは、全問題に正解できる。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもってレポートに取り組み、殆どの小テストが正解できる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられたレポートに誠実に取り組み、小テストが解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し，与えられたレポートに誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの小テストが解ける。

参考書

参考文献は、授業時に、紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

【重要】本を読んでのレポートと討論があります。締め切り日をすぎたレポートは一切受け取りません。大変ですが楽しみにしてください。

科目名	生徒指導概論	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	A-18
担当者	川島　一夫・岸田　幸弘	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日3限、木曜日4限、木曜日5限		
関連資格	養教一、栄教一	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

学校において児童生徒は不登校になったり，友人とのトラブルを起こしたりします。いじめや暴力行為などの問題は大きな課題です。こうした誰もが出会うであろう発達上の課題を支援するのが生徒指導です。学校での実態や事例を通して，支援の方法や理論について学びます。

学修到達目標

生徒指導とは何かということについての理解を深め、学校での児童生徒の問題行動や不適応に対応するための知識を身につける。

授業の進め方

教科書に従って講義を行い、数回の小テストを行います。副読本についてのレポートと討論も行い、レポートは、提出期日を遅れると受け取りません。レポートはワープロで提出してください。質問は、松大かわティブログで答えます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業の説明とオリエンテーション	授業全体の流れを説明し、生徒指導（学ぶために必要な、基礎となる知識についての概略を解説します。（川島・岸田）	テストの回答と授業の振り返り(4時間)
2	生徒指導・進路指導を考える	生徒指導・進路指導について学校での必要性を講義で理解し、学校における生徒指導・進路指導の実態やその大切さを理解します。（川島）	児童から先生への生徒指導の状況をイメージして、そのとき気付きや思いをまとめる(4時間)
3	発達を考慮した生徒指導・進路指導とはなにか	生徒指導・進路指導の基礎的な知識としての児童生徒の発達について理解し、その過程で誰もが出会うであろう様々な発達課題とその応用ついて、発達障害も含めて考察します。（川島）	生徒指導・進路指導の発達課題を明確に自覚し、解決策をレポートする(4時間)
4	学校におけるシステム・アプローチの利用	システム・アプローチが、対象をシステムという観点で捉え階層性があることを理解します。その上で、家族や学校、友人集団などのシステムの中で、どのように作用するかを学びます（川島）	不登校の子どもを理解する時システムを考慮にはどうのようにしたらよいかを考える(4時間)
5	軽度発達障害への対応	軽度発達障害児の心理を中心に、その基盤となる心理学・医学的な知識について講義します。軽度発達障害に関する学校で指導・支援と、進路指導について考えます。（川島）	発達障害の子どもたち　後半を読み感想レポート(4時間)
6	生徒指導と進路指導	生徒指導の中でどのように進路指導を行うか考える。特に、中学校の進路指導について、自己実現の達成を考慮し考えます。教科書を使用しての講義と小テストです。（川島）	講義を通してのまとめ(4時間)
7	進路指導とキャリア教育	進路指導とキャリア教育中で具体的にどのように指導を行うか考える。教科書を使用しての講義と小テスト（川島）	講義を通してのまとめ(4時間)
8	生徒指導と教育相談	教育相談や教育カウンセリングの理念や方法を生徒指導でどのように生かすかを，講義とロールプレイで学びます。（岸田）	テキスト第5章を読んでレポートを書く(4時間)
9	不登校を考える①	不登校の定義と実態，これまでの施策の変遷などを理解し，個別の支援のあり方や効果的な支援の方法を学びます。（岸田）	テキスト第6章前半を読んでレポートする(4時間)
10	不登校を考える②	子どもたちが登校したくなるような授業，学級，学校生活をどのように作り出していくか，新しい生徒指導の考え方を学びます。（岸田）	テキスト第6章後半を読んでレポートする（4時間）
11	個別の課題への対応①「少年非行」	少年非行の定義と実態を理解し、その対応について学びます。その中で児童生徒と教員、児童生徒と保護者の協力の仕方を学びます。（岸田）	テキストⅡ第4節を読む(4時間)
12	個別の課題への対応②「命の教育と自殺」	児童生徒の自殺の実態や、命の教育の意義を学び、その予防と必要性を学びます。（岸田）	テキストⅡ第9節読む(4時間)
13	個別の課題への対応③「いじめ」	いじめの定義と実態これまでの施策の変遷などを理解し、自らの体験などもふまえながら解決の方向を探る。（岸田）	テキストⅡ第6,7節読む(4時間)
14	個別の課題への対応④「暴力行為」「性」	児童生徒の暴力行為や性に関する問題の実態を知り、その予防と保護者や地域との連携の在り方を学びます。（岸田）	テキストⅡ第4節を読む(4時間)
15	学校と地域の連携を考える	学校の役割として、子どもの教育のみならず、地域との連携を持つことで、地域のセンターとしての役割を持つために何が必要かを考える	講義を通してのまとめ(4時間)

テキスト

「①臨床心理学からみた生徒指導・教育相談」川島　一夫，勝倉　孝治編（おうふう出版）　ISBN:4892427365（生協で購入してください。）
「文部科学省　生徒指導提要」文部科学省著（教育図書）　ISBN:978-4-87730-274-0（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

レポート：50%　小テスト：40%　受講態度：10%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもってレポートに取り組み、小テストでは、全問題に正解できる。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもってレポートに取り組み、殆どの小テストが正解できる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられたレポートに誠実に取り組み、小テストが解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられたレポートに誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの小テストが解ける。

参考書

参考文献は、授業時に、紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

【重要】本を読んでのレポートと討論があります。締め切り日をすぎたレポートは一切受け取りません。大変ですが楽しみにしてください。

科目名	教育相談	学年学期	3・4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	A-15
担当者	羽田　行男	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限、木曜日1限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、栄教一、中一(保健)、高一(保健)、中(英語)、高(英	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

いじめ，不登校等の問題行動や不適応行動が起こると，教員や保護者は「なぜ」という疑問を抱く。不適応反応が顕在化する児童生徒は発達の過程で周囲の家族や友人との人間関係の中で何らかの葛藤を抱えてきた例が多い。このような視点から事例を検討したり相談場面のロールプレイなどをしたりして，「受容」や「共感」を実感しながら教育相談に必要な知識や態度，スキルを身に着けます。

学修到達目標

教育相談についての知識を習得し、現場での児童生徒への対応を可能にするための応用力を獲得する。具体的には教育相談が必要な事例や対応の仕方を理解し，実際に児童生徒や保護者の身になって体験的に相談活動を展開できるようになる。

授業の進め方

講義で教育相談の実態やその意義を理解し，アセスメントや具体的な相談場面のロールプレイを行います。児童生徒や保護者，教師のそれぞれの立場を体験することで，より良い相談の方法を理解します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	教育相談とカウンセリング	教育相談とカウンセリングの違いを講義で理解し，学校における相談活動の実態やその大切さを理解します。	学校で人に相談した体験をまとめ，レポートする。（4時間）
2	教育相談の基礎・基本	主に児童生徒の発達について理解し，その過程で出会うであろう様々な発達課題とその対応について事例を交えて紹介します。	事前に配布される事例のプリントを読み，レジュメを作成する。（4時間）
3	家族の関係と友達関係	家族の抱える問題や学級集団内の友達関係，集団との関係などで起きる課題について理解を深め，その対応や支援をグループ討議によって考えます。	グループ討議をまとめる。事例のプリント読む。（4時間）
4	問題行動をとおして子供が訴えるもの①　反社会的行動	非行や犯罪行為などの反社会的行動の実態と意義について理解します。教育相談の対象として学校ができること，できないことを考えます。	配布プリントの反社会的行動について読み，レジュメを作成する。（4時間）
5	問題行動をとおして子供が訴えるもの②　非社会的行動	引きこもりなどの非社会的行動の実態とその意義について理解します。教育相談ができること，教師の役割を考えます。	配布プリントの非社会的行動について読み，レジュメを作成する。（4時間）
6	教育相談の進め方	学校内での相談活動の全体的な展開の方法と，相談の進め方について理解を深めます。相談者とのリレーションづくり，アセスメント，支援策の決定までを具体的に考えます。	配布プリントの相談の進め方のプリントを読み，レジュメを作成する。（4時間）
7	教育相談の演習①　児童生徒への対応（その1)	不登校等の事例を想定して，3人グループで教育相談のロールプレイを行う。教師役，児童生徒役，観察者の役割を体験し，シェリングを通してそれぞれの体験を語り合う。	気づきや感想をレポートする。（4時間）
8	教育相談の演習②　児童生徒への対応（その2)	1回目と同じグループで3人が役割を交代してロールプレイを行う。教師役，児童生徒役，観察者の役割を体験し，シェリングを通してそれぞれの体験を語り合う。	それぞれの立場を体験して，新たな気づきについてレポートする。（4時間）
9	教育相談の演習③　保護者への対応（その1)	保護者からの学校への苦情を想定して，3人グループで教育相談のロールプレイを行う。教師役，保護者役，観察者の役割を体験し，シェリングを通してそれぞれの体験を語り合う。	気づきや感想をレポートする。（4時間）
10	教育相談の演習④　保護者への対応（その2)	1回目と同じグループで3人が役割を交代してロールプレイを行う。教師役，保護者役，観察者の役割を体験し，シェリングを通してそれぞれの体験を語り合う。	それぞれの立場を体験して，新たな気づきについてレポートする。（4時間）
11	教育相談の演習⑤　児童生徒への対応（その3)	前回と違うグループで3人が役割を交代してロールプレイを行う。教師役，児童生徒役，観察者の役割を体験し，シェリングを通してそれぞれの体験を語り合う。前回とは違う事例を扱う。	それぞれの立場を体験して，新たな気づきについてレポートする。（4時間）
12	教育相談の演習⑥　児童生徒への対応（その4)	前回と同じグループで3人が役割を交代してロールプレイを行う。教師役，児童生徒役，観察者の役割を体験し，シェリングを通してそれぞれの体験を語り合う。	それぞれの立場を体験して，新たな気づきについてレポートする。（4時間）
13	チームによる相談の進め方①	1対1の相談活動に加え，その事例をチーム組織で支援するための理論と方法を，演習を交えて学びます。学校内の援助資源の有効活用を考えながら，チーム支支援会議を演習で学びます。	チーム支援に関する配布プリントを読み，レジュメを作成する。（4時間）
14	チームによる相談の進め方②	学校内のみならず，地域の専門機関や保護者などとの連携支援の大切さを理解し，その考え方や具体的な方法を考えます。	専門機関について調べ，レポートする。（4時間）
15	教育相談の意義と方法（まとめ）	相談することの意義を考え，その方法を振り返り，教師としてどのように対応すべきかをグループディスカッションなどを通して考えます。	作成したレポートやレジュメを整理し，総括する。（4時間）

テキスト

適宜，授業の中で資料を配布します。

成績評価の方法・基準

レポート：40%　小テスト：40%　受講態度：20%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同じレベルの問題が解ける。

参考書

「学校カウンセリング」國分康孝　他著國分康孝編（日本評論社）
「学校現場で使えるカウンセリング・テクニック　上」諸富祥彦著（誠信書房）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

理論だけでなく、グループワークやロールプレイをとおして実践的に学びます。

科目名	教育実習事前・事後指導	学年学期	3・4年通年	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	小松　茂美・岸田　幸弘	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、中一(保体)、高一(保体)、中一(保健)、高一(保健)、中(英語)、高(英語)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

教育実習をより円滑・効果的に行うための授業です。学部における教育と教育実習との間の距離をできるだけ少なくし、教育実習に抵抗感なく臨めるよう教育実習に際して求められる必要不可欠な基礎的・基本的な事柄をしっかりと身につけることを主たるねらいとします。また、教育実習を通して学んだことを発表し、教育実習前の自己の教育観、学校観、子ども観等と対比し、今後の学校教育や教員のあり方及び諸課題を認識することを主たるねらいとします。

学修到達目標

教育実習に際して求められる必要不可欠な基礎的・基本的な事柄をしっかりと身につける。これからの教員に求められる資質や能力について理解を深めるとともに、学校教育の諸課題について理解しその課題解決に取り組む姿勢を身につける。

授業の進め方

教育実習事前・事後指導は、教育実習への正しい認識を深め、意欲を喚起するために教育実習の実際の姿を知る機会を提供します。また、学校教育や教員のあり方及び諸課題を認識するために、教育実習体験を発表する機会を設けます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	教育実習に向けて	教育実習の心得と事前準備、介護等体験について、教員採用試験への取り組みについて	授業後レポートの提出（2時間）
2	教育実習直前ガイダンス	教育実習の意義と目的、教育実習のスケジュールと諸手続きについて	教育実習校と事前打ち合わせ（内容・実施時期等）。本時の学習内容の整理・記録（1時間）
3	教員像について 教育実習報告会に向けて	あるべき教員像について（自身の考える教員像について、今求められている教員像について） 教育実習報告会の持ち方について	事前学習：「あるべき教員像」 本時の学習内容の整理・記録 （1時間）
4	教育実習グループ別報告会	Aグループの発表・報告 教育実習の成果と課題について発表し、教職についての理解を深める。	発表・報告会の準備。本時の学習内容の整理・記録。授業レポート提出（1時間）
5	教育実習グループ別報告会	Bグループの発表・報告 教育実習の成果と課題について発表し、教職についての理解を深める。	発表・報告会の準備。本時の学習内容の整理・記録。授業レポート提出（1時間）
6	教育実習グループ別報告会	Cグループの発表・報告 教育実習の成果と課題について発表し、教職についての理解を深める。	発表・報告会の準備。本時の学習内容の整理・記録。授業レポート提出（1時間）
7	教育実習グループ別報告会	教育実習グループ別報告会のまとめ これまでの報告会の内容について意見交換とまとめ	これまでの学習内容をまとめておく。授業レポート提出（1時間）
8	教員の魅力と大変さ	教員の魅力（やりがい）と大変さについて再確認する	学校現場の課題について考えておく。授業後レポートの提出（2時間）

テキスト

テキストは使用しません。
講義内容に応じて、必要な資料を配布します。

成績評価の方法・基準

受講態度：40%　出席レポート：20%　レポート：40%
授業担当者全員で協議し評価します。受講態度（A：意欲的・積極的、B：普通、C：消極的とし、出席状況を加味します）、出席レポート（授業レポートによりA：授業内容の把握が十分できている、B：概ねできている、C：不十分）、レポート（教育実習に対する理解度と自己課題の分析状況　A：充分できている、B：普通、C：やや不十分（教育実習報告レポート、教育実習報告会の内容を含む））を総合的に評価します。全ての項目がA評価の場合、S評価の検討をします。

参考書

講義の中で随時、参考となる書籍について紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

教育実習を履修する者は必ず履修してください。「教育実習事前・事後指導」の単位は、3年次の「教育実習事前・事後指導A」と4年次にの「教育実習事前・事後指導B」の両方を履修しないと修得できません。

科目名	教職実践演習（総経）	学年学期	4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	小松　茂美・岸田　幸弘・室谷　心	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

対象：地歴・公民・福祉・商業・情報・社会　大学4年間で学んだ教職に関する知識や実習成果の整理統合を図り、現場に立つ教員として求められる最低限必要な実践的資質・能力が身についているかどうかを各自に点検させ、受講生に現時点での自己の到達点を自覚させるとともに、その足りない部分を生涯にわたって補う努力を続けることができる力を身につけた教員を送り出すために必要な授業内容を提供します。

学修到達目標

目標　① 教員としての使命感や責任感、教育的愛情　② 社会性及び対人関係能力　③ 生徒理解の能力及び生徒指導能力　④ 教科の専門的知識及び指導力　⑤ 学級経営能力　を身につける。

授業の進め方

教職に関する科目担当教員が中心となり、教科に関する科目担当教員と連繋・協力して実施します。
テーマ　今後の自己の課題を見出す教職実践演習

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	ガイダンス　―　「教職実践演習」授業の趣旨と目的　― 授業の進め方等について説明します。	ガイダンスの内容を確認・整理・記録（4時間）
2	期待される教員像について	期待される教員像について ―　グループ討議　―	事前学習：期待される教員像 グループ討議の「振り返り」提出 （4時間）
3	教員に求められるコミュニケーション能力	教員に求められるコミュニケーション能力 ―　グループ討議　―	事前学習：教員のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力 グループ討議の「振り返り」提出 （4時間）
4	子どもの心理・児童理解	子どもの心理・児童理解について ―　グループ討議・ロールプレイ　―	事前学習：子ども理解 グループ討議の「振り返り」提出 （4時間）
5	発達障害の子どもの理解とその対応の仕方	発達障害の子どもの理解とその対応の仕方 ―　グループ討議・バズセッション　―	事前学習：発達障害 グループ討議の「振り返り」提出 （4時間）
6	児童・生徒指導上の諸問題Ⅰ	児童・生徒指導上の諸問題Ⅰ ―　グループ討議(校則・校内 規律を中心として)　―	事前学習：校則 グループ討議の「振り返り」提出 （4時間）
7	児童・生徒指導上の諸問題Ⅱ	児童・生徒指導上の諸問題Ⅱ ―　グループ討議(児童・生徒の 問題行動を中心として)　―	事前学習：問題行動 グループ討議の「振り返り」提出 （4時間）
8	学級経営上の諸問題Ⅰ(中)	学級経営上の諸問題Ⅰ(中) 児童・生徒指導上の諸問題Ⅲ ―　グループ討議(いじめ・不登校を中心に)　―	事前学習：いじめの現状 グループ討議の「振り返り」提出 （4時間）
9	学級経営上の諸問題Ⅱ(高)	学級経営上の諸問題Ⅱ(高) ―　グループ討議(進路・メディアリテラシーを中心として)　―	事前学習：進路指導 グループ討議の「振り返り」提出 （4時間）
10	学級の安全と危機管理	学級の安全と危機管理 ―　グループ討議（情報管理・事故・災害への対応を中心として）―	事前学習：学校の危機管理 グループ討議の「振り返り」提出 （4時間）
11	学級経営上の諸問題Ⅲ	学級経営上の諸問題Ⅲ ―　グループ討議（教員に求められる人権感覚）―（外部講師）	事前学習：学校現場の人権 グループ討議の「振り返り」提出 （4時間）
12	教材研究と指導案の作成	教材研究と指導案の作成(地歴・公民・中学社会の授業を例として)	事前学習：指導案 授業内容を確認し整理・記録する （4時間）
13	指導案に基づく授業の実践と再検討	指導案に基づく授業の実践と再検討(情報・福祉の授業を例として)	事前学習：模擬授業の準備 授業内容を確認し整理・記録する （4時間）
14	学校におけるICT機器の効果的な活用法	学校におけるICT機器の効果的な活用法 ―　グループ討議　―	事前学習：ICTの活用法 グループ討議「振り返り」提出 （4時間）
15	全体のまとめ	まとめ 課題レポートのテーマについて ―　受講生各自の到達点の確認と今後の努力目標の設定　―	事前学習：教職課程への取り組みのまとめ レポート提出（4時間）

テキスト

使用しません。

成績評価の方法・基準

受講態度：30%　出席レポート：50%　レポート：20%
授業担当者全員で協議し評価します。受講態度（A:意欲的・積極的、B:普通、C:消極的とし、出席状況を加味します）、出席レポート（A:学習内容が理解・整理できている、B:概ねできている、C:不十分）、レポート（A:課題の分析・整理が的確であり自分の意見を述べることができている、B:課題の分析・整理又は自分の意見が不十分、C:課題の分析・整理及び自分の意見ともに不十分）を総合的に評価します。全ての項目がA評価の場合、S評価の検討をします。

参考書

授業ごとに授業内容に応じた講義資料を配布し、各学生に応じて必要な参考書や参考文献を紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

教職課程のまとめとなる授業です。積極的に参加し、見識を深め知識や技能を確実に身につけましょう。

科目名	教職実践演習（保健・保健体育）	学年学期	4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	小松　茂美・岸田　幸弘・岩間　英明	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、中一(保健)、高一(保健)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

対象：保健体育・保健（中・高）大学4年間で学んだ教職に関する知識や実習成果の整理統合を図り、現場に立つ教員として求められる最低限必要な実践的資質・能力が身についているかどうかを各自に点検させ、受講生に自己の到達点を自覚させるとともに、その足りない部分を生涯にわたって補う努力を続けることができる力を身につけた教員を送り出すために必要な授業内容を提供します。

学修到達目標

目標　① 教員としての使命感や責任感、教育的愛情　② 社会性及び対人関係能力　③生徒理解の能力及び生徒指導能力　④ 教科の専門的知識及び指導力　⑤ 学級経営能力　を身につける。

授業の進め方

教職に関する科目担当教員が中心となり、教科に関する科目担当教員と連繋・協力して実施します。
テーマ　今後の自己の課題を見出す教職実践演習

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	ガイダンス　―　「教職実践演習」授業の意義と目的　― 授業の進め方等について説明します。	ガイダンスの内容を確認・整理・記録（4時間）
2	期待される教員像について	期待される教員像について ―　グループ討議　―	事前学習：期待される教員像 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
3	教員に求められるコミュニケーション能力	教員に求められるコミュニケーション能力 ―グループ討議―	事前学習：教員のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
4	子どもの心理・児童理解	子どもの心理・児童理解 ―　グループ討議・ロールプレイ　―	事前学習：子ども理解 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
5	発達障害の子どもの理解とその対応の仕方	発達障害の子どもの理解とその対応の仕方 ―　グループ討議・バズセッション　―	事前学習：発達障害 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
6	児童・生徒指導上の諸問題Ⅰ	児童・生徒指導諸問題Ⅰ ―　グループ討議(「校則・校内規律」を中心として)　―	事前学習：校則 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
7	児童・生徒指導上の諸問題Ⅱ	児童・生徒指導上の諸問題Ⅱ ―　グループ討議(児童・生徒の 問題行動を中心として)　―	事前学習：問題行動 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
8	学級経営上の諸問題Ⅰ(中)	学級経営上の諸問題Ⅰ(中) ―　グループ討議(いじめ・不登校を中心として)　―	事前学習：いじめの現状 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
9	学級経営上の諸問題Ⅱ(高)	学級経営上の諸問題Ⅱ(高) ―　グループ討議（進路・メディアリテラシーを中心として）　―	事前学習：進路指導 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
10	学級の安全と危機管理	学級の安全と危機管理 ―　グループ討議（情報管理・事故・災害への対応を中心として）―	事前学習：学校の危機管理 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
11	学級経営上の諸問題Ⅲ	学級経営上の諸問題Ⅲ ―　グループ討議（教師に求められる人権感覚）　―（外部講師）	事前学習：学校現場の人権 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
12	保健体育科の授業づくりⅠ	保健体育科の授業づくりⅠ ―　教材開発・カリキュラム構成　―	事前学習：指導案と教材開発 授業内容を確認し整理・記録する（4時間）
13	保健体育科の授業づくりⅡ	保健体育科の授業づくりⅡ ―　学習指導法・評価方法　―	事前準備：学習指導と評価 授業内容を確認し整理・記録する（4時間）
14	保健体育科教員に求められる資質	保健体育科教員に求められる資質 ―　グループ討議（教科経営を中心として）　―	事前準備：学校運営と体育科経営 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
15	全体のまとめ	まとめ 課題レポートのテーマについて ―　受講生各自の到達点の確認と今後の努力目標の設定　―	事前学習：教職課程への取り組みのまとめ レポート提出（4時間）

テキスト

使用しません。

成績評価の方法・基準

受講態度：30%　出席レポート：50%　レポート：20%
授業担当者全員で協議し評価します。受講態度（A:意欲的・積極的、B:普通、C:消極的とし、出席状況を加味します）、出席レポート（A:学習内容が理解・整理できている、B:概ねできている、C:不十分）、レポート（A:課題の分析・整理が的確であり自分の意見を述べることができている、B:課題の分析・整理又は自分の意見が不十分、C:課題の分析・整理及び自分の意見ともに不十分）を総合的に評価します。全ての項目がA評価の場合、S評価の検討をします。

参考書

授業ごとに授業内容に応じた講義資料を配布し、各学生に応じて必要な参考書や参考文献を紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

教員の学びは、むしろ学校現場に出てからが本当のスタート言えます　そのため本講義は、これまでの学習の整理・復習だけでなく、自分自身が課題を見つけようとする積極的な姿勢が望まれます。

科目名	教職実践演習（養護教諭）	学年学期	4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	小松　茂美・岸田　幸弘・中島　節子	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	養教一			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

対象：養護教諭　大学4年間で学んだ教職に関する知識や実習成果の整理統合を図り、現場に立つ教員として求められる最低限必要な実践的資質・能力が身についているかどうかを各自に点検させ、受講生に自己の到達点を自覚させるとともに、その足りない部分を生涯にわたって補う努力を続けることができる力を身につけた教員を送り出すために必要な授業内容を提供します。

学修到達目標

目標　① 教員としての使命感や責任感、教育的愛情　② 社会性及び対人関係能力　③ 児童・生徒理解能力及び児童・生徒指導能力　④ 養護の専門的知識及び指導力　⑤ 保健室経営管理能力　を身につける。

授業の進め方

教職に関する科目担当教員が中心となり、教科に関する科目担当教員と連繋・協力して実施します。
テーマ　今後の自己の課題を見出す教職実践演習

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	ガイダンス　―　「教職実践演習」授業の意義と目的　― 授業の進め方等について説明します	ガイダンスの内容を確認・整理・記録（4時間）
2	期待される教員像について	期待される教員像について ―　グループ討議　―	事前学習：期待される教員像 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
3	教員に求められるコミュニケーション能力	教員に求められるコミュニケーション能力 ―　グループ討議　―	事前学習：教員のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
4	子どもの心理・児童理解	子どもの心理・児童理解 ―　グループ討議・ロールプレイ　―	事前学習：子ども理解 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
5	発達障害の子どもの理解とその対応の仕方	発達障害の子どもの理解とその対応の仕方 ―　グループ討議・バズセッション　―	事前学習：発達障害 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
6	児童・生徒指導上の諸問題Ⅰ	児童・生徒指導上の諸問題Ⅰ ―　グループ討議(「校則・校内規律」を中心として)　―	事前学習：校則 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
7	児童・生徒指導上の諸問題Ⅱ	児童・生徒指導上の諸問題Ⅱ ―　グループ討議(児童・生徒の 問題行動を中心として)　―	事前学習：問題行動 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
8	学級経営上の諸問題Ⅰ(中)	学級経営上の諸問題Ⅰ(中) ―　グループ討議(いじめ・不登校を中心として)　―	事前学習：いじめの現状 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
9	学級経営上の諸問題Ⅱ(高)	学級経営上の諸問題Ⅱ(高) ―　グループ討議（進路・メディアリテラシーを中心として）　―	事前学習：進路指導 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
10	学級の安全と危機管理	学級の安全と危機管理 ―　グループ討議（情報管理・事故・災害への対応を中心として）―	事前学習：学校の危機管理 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
11	学級経営上の諸問題Ⅲ	学級経営上の諸問題Ⅲ ―　グループ討議（教師に求められる人権感覚）　―（外部講師）	事前学習：学校現場の人権 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
12	保健指導の再点検	保健指導の再点検 ―　グループ討議（教材研究と情報活用）　―	事前学習：教材研究 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
13	子どもの健康課題に対応できる実践力	子どもの健康課題に対応できる実践力 ―　情報 収集・実施・評価を中心として　―	事前学習：子どもの健康課題への対応　授業内容を確認し整理・記録する（4時間）
14	保健室経営と組織活動における養護教諭の役割	保健室経営と組織活動における養護教諭の役割 ―　グループ討議　―	事前学習：保健室経営 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
15	全体のまとめ	まとめ 課題レポートのテーマについて ―　各自の到達点の確認 と今後の努力目標の設定　―	事前学習：教職課程への取り組みのまとめ レポート提出（4時間）

テキスト

使用しません。

成績評価の方法・基準

受講態度：30%　出席レポート：50%　レポート：20%
授業担当者全員で協議し評価します。受講態度（A:意欲的・積極的、B:普通、C:消極的とし、出席状況を加味します）、出席レポート（A:学習内容が理解・整理できている、B:概ねできている、C:不十分）、レポート（A:課題の分析・整理が的確であり自分の意見を述べることができている、B:課題の分析・整理又は自分の意見が不十分、C:課題の分析・整理及び自分の意見ともに不十分）を総合的に評価します。全ての項目がA評価の場合、S評価の検討をします。

参考書

授業ごとに授業内容に応じた講義資料を配布し、各学生に応じて必要な参考書や参考文献を紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

養護教諭は一人配置が多く、社会に出た時から実践力を求められます。基礎的なことを確認できるように、学内の講義・実習、教育実習で学んだことを関連付けて、自己の課題を明確にして講義にのぞみましょう。

科目名	教職実践演習（栄養教諭）	学年学期	4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	小松　茂美・岸田　幸弘・廣田　直子	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	栄教一			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

対象：栄養教諭　大学4年間で学んだ教職に関する知識や実習成果の整理統合を図り、現場に立つ教員として求められる最低限必要な実践的資質・能力が身についているかどうかを各自に点検させ、受講生に自己の到達点を自覚させるとともに、その足りない部分を生涯にわたって補う努力を続けることができる力を身につけた教員を送り出すために必要な授業内容を提供します。

学修到達目標

目標　① 教員としての使命感や責任感、教育的愛情　② 社会性及び対人関係能力　③ 児童・生徒理解及び児童・生徒指導能力　④ 栄養教諭の専門的知識　⑤「食に関する指導」能力　を身につける。

授業の進め方

教職に関する科目担当教員が中心となり、教科に関する科目担当教員と連繋・協力して実施します。
テーマ　今後の自己の課題を見出す教職実践演習

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	ガイダンス　―　「教職実践演習」授業の意義と目的　― 授業の進め方等について説明します。	ガイダンスの内容を確認・整理・記録（4時間）
2	期待される教員像について	期待される教員像について ―　グループ討議　―	事前課題：期待される教員像 グループ討議の「振り返り」提出（4時間）
3	教員に求められるコミュニケーション能力	教員に求められるコミュニケーション能力 ―　グループ討議　―	事前課題：教員のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力 グループ討議の「振り返り」提出（4時間）
4	子どもの心理・児童理解	子どもの心理・児童理解 ―　グループ討議・ロールプレイ　―	事前課題：子ども理解 グループ討議の「振り返り」提出（4時間）
5	発達障害の子どもの理解とその対応の仕方	発達障害の子どもの理解とその対応の仕方 ―　グループ討議・バズセッション　―	事前課題：発達障害 グループ討議の「振り返り」提出（4時間）
6	児童・生徒指導上の諸問題Ⅰ―	児童・生徒指導上の諸問題Ⅰ ―　グループ討議(「校則・校内 規律」を中心として)　―	事前課題：校則 グループ討議の「振り返り」提出（4時間）
7	児童・生徒指導上の諸問題Ⅱ	児童・生徒指導上の諸問題Ⅱ ―　グループ討議(児童・生徒の問題行動を中心として)　―	事前課題：問題行動 グループ討議の「振り返り」提出（4時間）
8	児童・生徒指導上の諸問題Ⅲ	児童・生徒指導上の諸問題Ⅲ ―　グループ討議(いじめ・不登校を中心として)　―	事前課題：いじめの現状 グループ討議の「振り返り」提出（4時間）
9	学級経営上の諸問題Ⅱ(高)	学級経営上の諸問題Ⅱ(高) ―　グループ討議（進路・メディアリテラシーを中心として）　―	事前課題：進路指導 グループ討議の「振り返り」提出（4時間）
10	学級の安全と危機管理	学級の安全と危機管理 ―　グループ討議（情報管理・事故・災害への対応を中心として）―	事前課題：学校の危機管理 グループ討議の「振り返り」提出（4時間）
11	学級経営上の諸問題Ⅲ	学級経営上の諸問題Ⅲ ―　グループ討議（教員に求められる人権感覚）　―（外部講師）	事前学習：学校現場の人権 グループ討議の「振り返り」提出（4時間）
12	「食に関する指導の全体計画」の作成	「食に関する指導の全体計画」の作成について ―　グループ討議　―	事前学習：食に関する具体的指導計画 グループ討議の「振り返り」提出
13	教科と特別活動で実施する「食に関する指導」の再点検	教科と特別活動で実施する「食に関する指導」の再点検 ―　指導案の作成に関するグループ討議　―	事前学習：特別活動 グループ討議の「振り返り」提出（4時間）
14	「食に関する指導」のコーディネーターとしての栄養教諭の役割	「食に関する指導」のコーディネーターとしての栄養教諭の役割 ―　グループ討議　―	事前学習：栄養教諭の役割 グループ討議「振り返り」提出（4時間）
15	全体のまとめ	まとめ 課題レポートのテーマについて ―　受講生各自の到達点の確認と今後の努力目標の設定　―	事前学習：教職課程への取り組みのまとめ　レポート提出（4時間）

テキスト

使用しません。

成績評価の方法・基準

受講態度：30%　出席レポート：50%　レポート：20%
授業担当者全員で協議し評価します。受講態度（A:意欲的・積極的、B:普通、C:消極的とし、出席状況を加味します）、出席レポート（A:学習内容が理解・整理できている、B:概ねできている、C:不十分）、レポート（A:課題の分析・整理が的確であり自分の意見を述べることができている、B:課題の分析・整理又は自分の意見が不十分、C:課題の分析・整理及び自分の意見ともに不十分）を総合的に評価します。全ての項目がA評価の場合、S評価の検討をします。

参考書

授業ごとに授業内容に応じた講義資料を配布し、各学生に応じて必要な参考書や参考文献を紹介する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

教職課程のまとめとなる授業です。グループ討議などを中心に進めていきますが、栄養教諭の特性を踏まえて、健康栄養学科で学んだ専門科目の知識や技術等を応用し、積極的な姿勢で学んでほしいと思います。

科目名	地理歴史科指導法Ⅰ	学年学期	2・3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	仁科　利明	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(社会)、高一(地歴)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本講義は、高等学校学習指導要領にもとづいて高等学校地理歴史科がめざす目標や教科としての特色について学ぶとともに、世界史・日本史・地理の各科目の性格と目標、科目相互の共通点や関連性などについて理解と認識を深めていきます。また、国際社会を主体的に生き平和で民主的な社会を形成していく生徒の歴史的思考力を培い地理的認識を養うことを目的に、教材研究、学習指導案の作成、模擬授業などを通じて高等学校における地理歴史科各科目の指導に必要な基礎的知識や技能の習得をめざします。

学修到達目標

世界史 B・日本史 B・地理 B各科目の目標と内容への理解を深め、生徒の歴史的思考力を培い地理的認識を養う授業のあり方の検討ができる。さらに、教材研究の深化、学習指導計画の立案、授業目標の設定、指導内容の精選、学習指導案の作成、教育実習を念頭にした模擬授業を通して、生徒の主体的な学びを支援する実践的な指導力を習得する。

授業の進め方

講義のほか、教材研究、学習指導案の作成、模擬授業、模擬授業後の考察などを組み合わせて展開します。模擬授業は、地理歴史科 3科目を受講生が交代で行い、授業後の意見交換や相互評価などを通して成果と課題を共有し、自らの授業作りに役立てていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	講義ガイダンス 地理歴史科の目標	授業概要、学修目標、授業の進め方、成績評価方法などを説明します。 高等学校地理歴史科の目標について学習指導要領をもとに考察します。	学習指導要領解説地理歴史編の第1 章を事前に読み予習する。(4時間)
2	地理歴史科の教科の特色と授業のあり方	地理歴史科の目標にもとづいて教科の特色について理解を深めるとともに、生徒の主体的な学びを支援する授業のあり方を考えていきます。	高校時代のノートなどを見直し授業で学んだことを整理する。(4時間)
3	世界史 B・日本史 B・地理 B の目標と内容	世界史 B・日本史 B・地理 Bの目標について学習指導要領をもとに解説し、各科目の内容の特色と相互の関連性について考えていきます。	テキスト第 2章の第 2・ 4・ 6節を事前に読んで予習する。(4時間)
4	教材研究と学習指導案 各科目の模擬授業の展開	教材研究の重要性と具体的な進め方、学習指導案の意義と基本的な作成方法について解説します。模擬授業の担当と日程を検討します。	教科書や資料集以外で授業に活用できる教材について考えておく。(4時間)
5	模擬授業に向けた学習指導案の作成	受講生各自が作成した学習指導案 1次案を素材として相互に検討し、模擬授業の展開を支える学習指導案を作成していきます。	担当授業の教材研究を進めて事前に学習指導案 1次案を作成する。(4時間)
6	世界史 B学習指導案の検討 世界史 B模擬授業①	世界史 Bの学習指導案 2次案を相互に検討します。世界史 B模擬授業を実施し、授業後に受講生同士の意見交換や相互評価などを行います。	担当する授業の教材研究を深めて学習指導案 2次案を作成する。(4時間)
7	世界史 B模擬授業②	前時に続いて世界史 B模擬授業を実施し、授業後に受講生同士の意見交換や相互評価などを行って成果と課題を共有します。	受けた模擬授業の内容を整理して成果と課題を明確にする。(4時間)
8	世界史 B模擬授業のまとめと考察	世界史 B模擬授業全体を通して成果と課題を確認し、授業目標・授業展開・教材研究・学習指導案・指導技術などの観点から考察します。	授業者側と生徒側の両面から授業のあり方を考えてまとめる。(4時間)
9	日本史 B学習指導案の検討 日本史 B模擬授業①	日本史 Bの学習指導案 2次案を相互に検討します。日本史 B模擬授業を実施し、授業後に受講生同士の意見交換や相互評価などを行います。	担当する授業の教材研究を深めて学習指導案 2次案を作成する。(4時間)
10	日本史 B模擬授業②	前時に続いて日本史 B模擬授業を実施し、授業後に受講生同士の意見交換や相互評価などを行って成果と課題を共有します。	受けた模擬授業の内容を整理して成果と課題を明確にする。(4時間)
11	日本史 B模擬授業のまとめと考察	日本史 B模擬授業全体を通して成果と課題を確認し、授業目標・授業展開・教材研究・学習指導案・指導技術などの観点から考察します。	授業者側と生徒側の両面から授業のあり方を考えてまとめる。(4時間)
12	地理 B学習指導案の検討 地理 B模擬授業①	地理 Bの学習指導案 2次案を相互に検討します。地理 B模擬授業を実施し、授業後に受講生同士の意見交換や相互評価などを行います。	担当する授業の教材研究を深めて学習指導案 2次案を作成する。(4時間)
13	地理 B模擬授業②	前時に続いて地理 B模擬授業を実施し、授業後に受講生同士の意見交換や相互評価などを行って成果と課題を共有します。	受けた模擬授業の内容を整理して成果と課題を明確にする。(4時間)
14	地理 B模擬授業のまとめと考察	地理 B模擬授業全体を通して成果と課題を確認し、授業目標・授業展開・教材研究・学習指導案・指導技術などの観点から考察します。	授業者側と生徒側の両面から授業のあり方を考えてまとめる。(4時間)
15	地理歴史科指導法の研究とまとめ	模擬授業体験などを通して地理歴史科各科目の目標や授業のあり方、授業方法などを改めて考察し、今後の課題を明確にしていきます。	講義や模擬授業で得たことを整理して提出物や試験に備える。(4時間)

テキスト

「高等学校学習指導要領」文部科学省編（東山書房）　ISBN:978-4827815412
(生協で購入してください。)
「高等学校学習指導要領解説　地理歴史編」文部科学省編（教育出版）
ISBN:978-4-316-30022-1（生協で購入してください。)
「詳説世界史（世B310）」木村靖二ほか著（山川出版社）（別途、指示します。)
「詳説日本史（日B309）」笹山晴生ほか著（山川出版社）（別途、指示します。)

成績評価の方法・基準

受講態度：20%　レポート：30%　課題：30%　定期試験：20%
S:教科科目の目標や内容を理解して教材研究を深め、教育実習水準の学習指導案を作成して意欲的に模擬授業を行い、指導力を高めている。A:目標や内容を理解して教材研究を基に学習指導案を作成し、模擬授業等に積極的に取り組んでいる。B:目標や内容を踏まえて学習指導案を作成し、模擬授業等に取り組んでいる。C:内容に沿って学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。

参考書

「最新世界史図説タペストリー」帝国書院編集部編（帝国書院）
「山川詳説日本史図録」詳説日本史図録編集委員会編（山川出版社）
「新編地理資料」内山美彦ほか編（東京法令出版）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

生徒に何を伝え、考えさせるかという問題意識をもち、生徒とともに学び合う真摯な姿勢を期待します。新聞や関連書籍を読んで現代世界の動向や教科指導に関わる基礎的知識を蓄積し、自らのものの見方や考え方を深めてください。

科目名	地理歴史科指導法Ⅱ	学年学期	2・3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	仁科　利明	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(地歴)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本講義は、地理歴史科指導法Ⅰの内容を発展させ、高等学校地理歴史科がめざす目標や教科の特色、世界史・日本史・地理の各科目の性格と目標、科目相互の関連性などについての理解と認識をさらに深めます。また、生徒の歴史的思考力を培い地理的認識を養う授業はどうあるべきかを意識して教材研究や学習指導案を深めていくとともに、複数回の模擬授業への取り組みを通して高等学校における地理歴史科各科目の指導に求められる総合的な知識と高い技能の習得をめざします。

学修到達目標

世界史 B・日本史 B・地理 Bの目標と内容をふまえ、各科目の授業のあり方を追求し、年間および単元学習指導計画の立案ができる。さらに、教材研究を深めた学習指導案の作成、指導内容の精選、生徒の学習活動の検討、評価の観点について考察しながら各科目の模擬授業に取り組み、教育実習の臨むためのより実践的な指導力を身につける。

授業の進め方

講義のほか、教材研究、学習指導案の作成、模擬授業、模擬授業後の考察などを組み合わせて展開します。模擬授業は、教育実習を想定したより実践的なものになります。模擬授業後の成果と課題を受講生が共有し、一人一人の授業作りに役立つ取り組みを深めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	講義ガイダンス 学習目標と学習指導計画	授業概要、学修目標、授業の進め方、成績評価方法などを説明します。地理歴史科各科目の目標にもとづいて学習指導計画を考えていきます。	教科書にもとづいて各科目の年間指導計画を事前に立案する。(4時間)
2	模擬授業の展開 教材研究と学習指導案 A	模擬授業 A～ Cの担当と日程を検討します。教材研究を深め、指導法Ⅰの模擬授業体験をふまえて学習指導案を作成していきます。	担当授業を年間および単元指導計画のなかに位置づけて考える。(4時間)
3	学習指導案 Aの検討 模擬授業 A①	模擬授業 Aの学習指導案を相互に検討します。模擬授業 Aを実施し、授業後に受講生同士の意見交換や相互評価などを行います。	担当する授業の教材研究を深めて事前に学習指導案 Aを作成する。(4時間)
4	模擬授業 A②	前時に続いて模擬授業 Aを実施し、授業後に受講生同士の意見交換や相互評価などを行って成果と課題を共有します。	受けた模擬授業の内容を整理して成果と課題を明確にする。(4時間)
5	模擬授業 Aのまとめと考察	模擬授業 A全体を通して成果と課題を確認し、授業目標・授業展開・教材研究・学習指導案・指導技術などの観点から考察します。	授業者側と生徒側の両面から授業のあり方を考えてまとめる。(4時間)
6	授業内容と学習活動の検討 学習指導案 Bの作成	授業者が展開する授業内容と生徒の主体的な学習活動との関連について検討します。模擬授業 Bの学習指導案を作成していきます。	生徒の主体的な学びを支援する授業内容と指導方法を考える。(4時間)
7	学習指導案 Bの検討 模擬授業 B①	模擬授業 Bの学習指導案を相互に検討します。模擬授業 Bを実施し、授業後に受講生同士の意見交換や相互評価などを行います。	担当する授業の教材研究を深めて事前に学習指導案 Bを作成する。(4時間)
8	模擬授業 B②	前時に続いて模擬授業 Bを実施し、授業後に受講生同士の意見交換や相互評価などを行って成果と課題を共有します。	受けた模擬授業の内容を整理して成果と課題を明確にする。(4時間)
9	模擬授業 Bのまとめと考察	模擬授業 B全体を通して成果と課題を確認し、授業目標・授業展開・教材研究・学習指導案・指導技術などの観点から考察します。	授業者側と生徒側の両面から授業のあり方を考えてまとめる。(4時間)
10	学習活動と評価観点の検討 学習指導案 Cの作成	生徒の学習活動をどのように評価するか、評価の観点の設定などについて検討します。模擬授業 Cの学習指導案を作成していきます。	生徒の学習活動について何をどのように評価するかを考える。(4時間)
11	学習指導案 Cの検討 模擬授業 C①	模擬授業 Cの学習指導案を相互に検討します。模擬授業 Cを実施し、授業後に受講生同士の意見交換や相互評価などを行います。	担当する授業の教材研究を深めて事前に学習指導案 Cを作成する。(4時間)
12	模擬授業 C②	前時に続いて模擬授業 Cを実施し、授業後に受講生同士の意見交換や相互評価などを行って成果と課題を共有します。	受けた模擬授業の内容を整理して成果と課題を明確にする。(4時間)
13	模擬授業 Cのまとめと考察	模擬授業 C全体を通して成果と課題を確認し、授業目標・授業展開・教材研究・学習指導案・指導技術などの観点から考察します。	授業者側と生徒側の両面から授業のあり方を考えてまとめる。(4時間)
14	模擬授業 A～ Cの分析とまとめ	模擬授業 A～ C全体を通して成果と課題を確認し、授業目標・授業展開・教材研究・学習指導案・指導技術などの観点から分析します。	模擬授業の成果と教育実習に向けての課題や改善点を整理する。(4時間)
15	地理歴史科指導法の研究とまとめ	地理歴史科各科目の目標や授業のあり方、授業内容や指導技術などを改めて考察し、教育実習に向けて成果と課題を明確にしていきます。	講義や模擬授業で得たことを整理して提出物や試験に備える。(4時間)

テキスト

「高等学校学習指導要領」文部科学省編（東山書房）　ISBN:978-4827815412 (生協で購入してください。)　地理歴史科指導法Ⅰで購入済です。
「高等学校学習指導要領解説　地理歴史編」文部科学省編（教育出版）（生協で購入してください。）地理歴史科指導法Ⅰで購入済です。
「詳説世界史（HP310）」木村靖二ほか著（山川出版社）　地理歴史科指導法Ⅰで購入済です。
「詳説日本史（HB309）」笹山晴生ほか著（山川出版社）　地理歴史科指導法Ⅰで購入済です。

成績評価の方法・基準

受講態度：20%　レポート：30%　課題：30%　定期試験：20%
S：指導法Ⅰの学びを発展させ、教材を精選した模擬授業を行うと共に考察等も主体的に取り組み、実践的な指導力を習得している。A：指導法Ⅰの学びに基づいて教材研究を深めた模擬授業を行い、指導力の向上をめざしている。B：指導法Ⅰの学びをふまえて学習指導案を作成し、模擬授業等に取り組んでいる。C：指導法Ⅰの学びに沿って学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。

参考書

「最新世界史図説タペストリー」帝国書院編集部編（帝国書院）
「山川詳説日本史図録」山川詳説日本史図録編集委員会編（山川出版社）
「新編地理資料」内山美彦ほか編（東京法令出版）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

広い視野と十分な教材研究を土台に、主体的に模擬授業に臨んでください。現代世界の諸課題に対する生徒の理解を深め、生徒に平和で民主的な社会の実現を考えさせるという問題意識をもった模擬授業への取り組みを期待します。

科目名	公民科指導法Ⅰ	学年学期	2・3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	宮本　和夫	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(社会)､高一(公民)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

教師として教育現場に立っても困らないだけの実践能力を身につけることを目的とします。第4講までは「公民」という教科にはどのような科目があり、その内容・目的は何であるかを理解し、第5講以降「現代社会」について具体的に学び、実際に教壇に立ち模擬授業を行い、授業とはどのようものかを体験します。

学修到達目標

公民科の「窓口」としての現代社会の内容を包括的に理解して、それを正しくわかりやすく伝える力を身につける。

授業の進め方

講義計画にある模擬授業の回数は受講生の数によって変動することがあるので、必ずしも講義計画どおり進まないことがあります。模擬授業は教科書にそってその内容を教えるという一般的形態の授業を主としますが、具体的には授業者の工夫に任されます。す。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	講義のガイダンス	講義の目指すもの。1年間の見通し。自分を表現する（自己紹介）	講義への要望を提出（4時間）
2	教育課程上の現代社会の位置づけについて	公民科という教科について（1）－その目標を中心として－	テキストの通観（4時間）
3	現代社会を学ぶとは	公民科という教科について（2）－その内容を中心として－	テキストの通読（4時間）
4	教えと学び	“教わる”ことと“教える”こと。何を教えるのか。どう教えるのか。	中学、高校時代の授業をふり返る（4時間）
5	指導案とは	「現代社会」の学習指導案作成－政治的分野について－	指導案試作（4時間）
6	指導案検討	「現代社会」の学習指導案作成－経済的分野について－	実習指導案の作成（4時間）
7	授業実習に学ぶ	「現代社会」の模擬授業とその分析　模擬授業実施グループ：Aグループ	感想、意見の記録（4時間）
8	授業実習に学ぶ	「現代社会」の模擬授業とその分析　模擬授業実施グループ：Bグループ	感想、意見の記録（4時間）
9	授業実習に学ぶ	「現代社会」の模擬授業とその分析　模擬授業実施グループ：Cグループ	感想、意見の記録（4時間）
10	授業実習に学ぶ	「現代社会」の模擬授業とその分析　模擬授業実施グループ：Dグループ	感想、意見の記録（4時間）
11	授業実習に学ぶ	「現代社会」の模擬授業とその分析　模擬授業実施グループ：Eグループ	感想、意見の記録（4時間）
12	授業実習に学ぶ	「現代社会」の模擬授業とその分析　模擬授業実施グループ：Fグループ	感想、意見の記録（4時間）
13	授業実習に学ぶ	「現代社会」の模擬授業とその分析　模擬授業実施グループ：Gグループ	感想、意見の記録（4時間）
14	授業実習に学ぶ	講師による模擬授業の展開	感想、意見の記録（4時間）
15	授業論を深める	各自の模擬授業を振り返り、反省点や学んだ点を出し合って授業への理解を深める	これまでの講義を通しての感想を提出（4時間）

テキスト

「高校現代社会」伊藤光晴ほか著井上貴文ほか編（実教出版）　ISBN:978-4-407-20206-9（別途、指示します。）

成績評価の方法・基準

課題：50%　レポート：30%　受講態度：20%
S：教科科目の目標や内容を理解して教材研究を深め、教育実習水準の学習指導案を作成して模擬授業を行うことができる。A：教科科目の目標や内容を理解し、教材研究をもとに学習指導案を作成して模擬授業を行うことができる。B：教科科目の目標や内容をふまえて学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。C：担当科目の内容に沿って学習指導案を作成することができる。

参考書

「高等学校学習指導要領解説 公民編」（文部科学省）
「中学校学習指導要領解説　社会科」（文部科学省）
「中学校、高等学校学習指導要領」（文部科学省）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

教師として重要な資質は、単に教え方が上手だというだけでなく、授業に対する周到な準備、授業時間に遅れないなど授業に対する真剣な態度です。毎回きちんと出席し、積極的に発言することが求められます。

科目名	公民科指導法Ⅱ	学年学期	2・3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	宮本　和夫	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(公民)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

前期の講義を受けて、後期では「政治･経済」と「倫理」をとりあげます。教壇での模擬授業を繰り返し実践することにより、教師としての実践的能力を身につけます。模擬授業は受講生が交代して行い、終了後、自己評価・相互評価を行い、担当者がコメントします。

学修到達目標

現代社会のより深い展開である政治経済と倫理の科目について理解を広め、わかりやすく教えることができるようになる。

授業の進め方

講義計画にある模擬授業の回数は受講生の数によって変動することがあるので、必ずしも計画通り進まないことがありますが、各自3回の模擬授業実施を予定しています。授業する単元については、各自の希望を尊重します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	政治経済の教育課程上の位置づけについて	「政治・経済」その目標と内容について	ニュース・ミニ解説の準備（4時間）
2	ミニ授業の実習	ニュース・ミニ解説実習	感想、意見の記録（4時間）
3	授業実習に学ぶ	「政治・経済」の模擬授業とその分析　模擬授業実施グループ：Aグループ	感想、意見の記録（4時間）
4	授業実習に学ぶ	「政治・経済」の模擬授業とその分析　模擬授業実施グループ：Bグループ	感想、意見の記録（4時間）
5	授業実習に学ぶ	「政治・経済」の模擬授業とその分析　模擬授業実施グループ：Cグループ	感想、意見の記録（4時間）
6	授業実習に学ぶ	「政治・経済」の模擬授業とその分析　模擬授業実施グループ：Dグループ	感想、意見の記録（4時間）
7	授業実習に学ぶ	「政治・経済」の模擬授業とその分析　模擬授業実施グループ：Eグループ	感想、意見の記録（4時間）
8	倫理という科目についての教育課程上の位置づけ	「倫理」の学習指導案の作成	指導案の試作（4時間）
9	授業実習に学ぶ	「倫理」の模擬授業とその分析ー思想の源流を探るー	感想、意見の記録（4時間）
10	授業実習に学ぶ	「倫理」の模擬授業とその分析ー世界の宗教の特徴についてー	感想、意見の記録（4時間）
11	授業実習に学ぶ	「倫理」の模擬授業とその分析ー西洋思想の特徴と現代ー	感想、意見の記録（4時間）
12	授業実習に学ぶ	「倫理」の模擬授業とその分析ー東洋思想の特徴と現代ー	感想、意見の記録（4時間）
13	授業実習に学ぶ	「倫理」の模擬授業とその分析ー日本の思想の歴史ー	感想、意見の記録（4時間）
14	授業実習に学ぶ	「倫理」の模擬授業とその分析ー現代の思想の課題ー	感想、意見の記録（4時間）
15	政治経済、倫理を教えることとは？	今日のグローバル社会において、政治経済および倫理の教育がなぜ必要かをあらためて考える	これまでの講義の全体的な感想を記して提出（4時間）

テキスト

「高校現代社会」伊藤光晴ほか･著井上貴文ほか･編（実教出版）　ISBN:978-4-407-20206-9（別途、指示します。）

成績評価の方法・基準

課題：50%　レポート：30%　受講態度：20%
S：科目相互の関連性などにも理解を深め、指導内容を精選した模擬授業を行うとともに、考察や相互評価なども主体的に取り組み実践的な指導力を習得している。A：教材研究を深めて模擬授業を行い、考察や意見交換などにも取り組んで指導力の向上をめざしている。B：学習指導案を作成し、模擬授業と授業後の考察や意見交換などに積極的に取り組んでいる。C：学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。

参考書

「高等学校学習指導要領解説 公民編 」（文部科学省）
「高等学校学習指導要領」（文部科学省）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

よい授業とは、単に教え方が上手いというだけではありません。教師の授業に対する周到な準備・情熱・意欲、生徒と共に学ぼうとする真摯な態度が求められます。それを体感してほしいと思います。

科目名	商業科指導法Ⅰ	学年学期	2・3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	丸山　新吉	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

わが国の商業教育は、商業学校通則の制定(明治17年)をその始まりとし、経済社会の発展に重要な役割を果たすと共に、国内外の産業界発展に尽力した多くの人材を輩出してきました。その内容は時代とともに急速に変化するものですが、本質を理解し、高等学校教育と専門教育の役割を十分理解した上で、商業教育の実践者としての在り方を考えて貰うことを目的としています。さらに、常に経済社会の変化について認識を深め、新しい教育をめざす教育の実践者としての資質・態度を養ってもらうことを目標とします。

学修到達目標

商業教育の本質を理解し、その内容を十分理解した上で、教師としての在り方を考えることができる。また、常に新しいビジネス社会の変化について認識を深め、新しい教育をめざす資質・態度を養えるようになる。

授業の進め方

教室での講義を中心としながらも、実践的な指導力の育成を目標に、できる限り履修者が主体的に学習できるよう、ホームワークを活用して授業を進めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	商業教育の必要性と意義①	高等学校における商業教育の必要性	テキスト P.7 ～ P.10（4時間）
2	商業教育の必要性と意義②	商業教育の意義	テキスト P.11 ～ P.14（4時間）
3	わが国の商業教育の歩み①	新制商業教育の開始まで	テキスト P.15 ～ P.20（4時間）
4	わが国の商業教育の歩み②	学習指導要領（試案）から平成元年の改訂まで	テキスト P.21 ～ P.29（4時間）
5	わが国の商業教育の歩み③	学習指導要領　平成11年の改訂	テキスト P.30 ～ P.34（4時間）
6	学習指導要領とその理解①	教育課程の編成方針	テキスト P.35 ～ P.39（4時間）
7	学習指導要領とその理解②	教科「商業」の理解	テキスト P.40 ～ P.45（4時間）
8	学習指導要領とその理解③	「総合的な学習の時間」の理解	テキスト P.46 ～ P.47（4時間）
9	各科目の学習内容とそのねらい①	ビジネス基礎	テキスト P.48 ～ P.52（4時間）
10	各科目の学習内容とそのねらい②	マーケティング分野	テキスト P.53 ～ P.64（4時間）
11	各科目の学習内容とそのねらい③	ビジネス経済分野	テキスト P.65 ～ P.76（4時間）
12	各科目の学習内容とそのねらい④	会計分野	テキスト P.77 ～ P.93（4時間）
13	各科目の学習内容とそのねらい⑤	ビジネス情報分野	テキスト P.94 ～ P.113（4時間）
14	各科目の学習内容とそのねらい⑥	総合的科目	テキスト P.114 ～ P.124（4時間）
15	まとめ	商業科指導法Ⅰで学んだ内容のまとめ	レポートにまとめてもらいます。（4時間）

テキスト

「教職必修 最新商業科教育法 新訂版 平成25年度実施カリキュラム対応」日本商業教育学会編（実教出版）　ISBN:987-4-407-32265-1

成績評価の方法・基準

受講態度：20%　定期試験：80%
S:授業内容を90%以上理解して受講態度がきわめて優秀。A:授業内容を80%程度理解して受講態度が優秀。B:授業内容を70%程度理解して受講態度が普通。C:授業内容を60%程度理解して受講態度が普通。

参考書

「高等学校学習指導要領解説　商業編」
「高等学校学習指導要領」

履修上の注意（学生へのメッセージ）

学習指導要領の変遷は早期にテキストを入手して事前に熟読してください。

科目名	商業科指導法Ⅱ	学年学期	2・3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	丸山　新吉	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

学習指導は学校における教育活動の中心であり、これを確実に行うことが教師の任務です。商業科指導法Ⅰの内容を受けて、年間指導計画と学習指導案(授業指導案)の作成を実際に行い、生徒として経験した内容も参考にしながら指導方法を検討し、受講者全員が模擬授業(50分)を行います。その際に授業担当以外の学生は、生徒として授業を受けながら評価をしてもらいます。教育の現場において、生徒が自ら学ぶための指導・援助が実践できる指導者の育成を目標とします。

学修到達目標

年間指導計画と学習指導案を実際に作成し、模擬授業(50分)を実際におこなって、相互に評価することができる。教育の現場において、生徒が自ら学ぶための指導・援助が実践できる指導者となる。

授業の進め方

教育実習を視野に入れた実践的な指導力の育成を目標に、できる限り履修者が主体的に学習できるよう、ホームワークを活用して授業を進めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	指導計画と授業展開①	教育課程と学習指導	テキスト P.125 ～ P.127（4時間）
2	指導計画と授業展開②	指導計画	テキスト P.127 ～ P.128（4時間）
3	指導計画と授業展開③	指導形態と指導方法	テキスト P.129 ～ P.132（4時間）
4	指導計画と授業展開④	年間指導計画作成の実際	テキスト P.133 ～ P.135（4時間）
5	指導計画と授業展開⑤	学習指導案作成の実際	テキスト P.136 ～ P.142（4時間）
6	指導計画と授業展開⑥	プレゼンテーションと授業	テキスト P.143 ～ P.147（4時間）
7	商業教育と人間形成①	商業教育を通じて育成したい生徒像	テキスト P.148 ～ P.149（4時間）
8	商業教育と人間形成②	商業教育と特別活動	テキスト P.150 ～ P.155（4時間）
9	商業教育と人間形成③	商業教育と生徒指導	テキスト P.156 ～ P.158（4時間）
10	商業教育と人間形成④	商業教育と進路指導・キャリア教育	テキスト P.159 ～ P.163（4時間）
11	模擬授業と授業観察①	模擬授業(50分)と授業観察　Aグループ	学習指導案作成と模擬授業整理（4時間）
12	模擬授業と授業観察②	模擬授業(50分)と授業観察　Bグループ	学習指導案作成と模擬授業整理（4時間）
13	模擬授業と授業観察③	模擬授業(50分)と授業観察　Cグループ	学習指導案作成と模擬授業整理（4時間）
14	商業科教師への期待	新しい時代における教師の在り方　ほか	テキスト P.164 ～ P.173（4時間）
15	まとめ	商業科指導法Ⅱで学んだ内容のまとめ	レポートにまとめてもらいます。（4時間）

テキスト

「教職必修 最新商業科教育法 新訂版 平成25年度実施カリキュラム対応」日本商業教育学会編（実教出版）　ISBN:987-4-407-32265-1

成績評価の方法・基準

定期試験：50%　課題：50%
課題は「模擬授業実習(50分)」であり、受講者全員一回は行う。
S:授業内容を90%以上理解して課題を高度に実施できる。A:授業内容を80%程度理解して課題を高度に実施できる。B:授業内容を70%程度理解して課題を普通に実施できる。C:授業内容を60%程度理解して課題を普通に実施できる。

参考書

「高等学校学習指導要領解説　商業編」文部科学省著実教出版編
ISBN：978-4-407-32002-2　商業科指導法Ⅰで購入済です。
「高等学校学習指導要領」　商業科指導法Ⅰで購入済です。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

模擬授業で教える内容について、専門知識の習得をお願いします。また、板書時に誤字・筆順間違い等が無いように予習しておいて下さい。

科目名	情報科指導法Ⅰ	学年学期	3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	W-31
担当者	室谷　心	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(情報)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

この授業は高校で「情報」を教える教師を目指す人のための科目です。高校の科目としての「情報」は何を目指すのか、また、どうすればそれを実際の授業で実現できるのか。将来皆さんが高校の「情報」の教師として、何をどんな風に教えていけばよいのか、それを考察することがこの授業の目的です。

学修到達目標

自ら授業計画をたて、目指す授業の指導案が書けるようになる。

授業の進め方

講義と課題の発表により、授業を進めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	理想の情報教育とは	今までに自分が受けてきた情報教育をふり返り、情報教育の理想とは何かを考えます。	他の人の考えと、自分の考えの比較検討を行い、「情報教育」の目指すものを考える。(4時間)
2	指導要領を読む	高等学校学習指導要をよみ、文部科学省の目指す情報教育を理解する。	学習指導要領に書かれていることと、自分の理想との比較検討を十分に行う。(4時間)
3	情報倫理	ネット上のさまざまなトラブルを考え、ネット社会での正しい態度”情報倫理”をどう教えるかを考える。	ネット上、ネット外。社会の構成員としての態度の同異を検討する。(4時間)
4	情報検索	情報源として、「図書館 vs インターネット」どのような使わけを指導するか考える。	自分の周りの情報をフロー型とストック型の視点で分けて、得手不得手を考える。(4時間)
5	エントロピーと情報量	マルチメディアデータのデータサイズを考え、インフラストラクチャーの整備とマルチメディアデータの普及のや利用の関係を考える。	自分の携帯に入っている音楽や動画のファイルサイズを実際に計算してみること。(4時間)
6	タイピング練習	コンピュータへのデータ入力法をいかに身につけさせるかを考える。タイピング、マウス、音声入力などいろいろな入力方法の使い分けをどう教えるか考える。	音声入力やジェスチャー入力を試してみる。(4時間)
7	ワープロ入門	高校生が身につけるべきワープロ技法を考える。キー入力教育ではなくワープロ技法である。	生徒の手本となる書類を自分で作成してみる。(4時間)
8	スプレッドシート	ビジネスアプリで最も役立つといわれる表計算ソフト、高校生が身につけるべき表計算ソフトの技法を考える。	表計算ソフトの技法について自分仕様のミニマムセットを作ってみる。(4時間)
9	ヴァーチャル世界	教育におけるヴァーチャル世界の功罪を考えてみよう。	自分の子供の頃と、これからの子供を取り巻く世界の違いをまとめてみる。(4時間)
10	プログラミング教育	コンピュータを自由にコントロールする楽しさをどう伝えるか。	並べ替えアルゴリズムを自分で実行できるように練習する。(4時間)
11	情報発信	誰もが情報の発信者となれる WEB2.0の世界、情報発信手段としてのホームページとアクセシビリティーを考える。	身近なページのアクセスビリティーをチェックしてみる。(4時間)
12	プレゼン入門	プレゼンテーションの教え方のプレゼンテーション？	分かりやすいプレゼン技法を纏める。(4時間)
13	指導要領をもう一度	いろいろ学んだうえで、高等学校学習指導要領をもう一度よみ、文部科学省の目指すところをもう一度考える。	指導要領の良くできている点、足らない点をリストアップする。(4時間)
14	理想の情報教育とは	あらためて、これからの情報教育の理想を考える。	自分なりの高等学校「情報」のプランを組んでみる。(4時間)
15	まとめ	各自が考えてきた、高等学校「情報」のプランを比較検討する。	他の人のプラントの比較を踏まえて、自分の「高等学校情報」のプランをより良くする。(4時間)

テキスト

「高等学校学習指導要領解説情報編」文部科学省編（開隆館出版販売）（別途、指示します。）

成績評価の方法・基準

定期試験：60%　課題：40%
課題とは、授業中の議論への参加の度合とレポートです。
S:教科書の任意の範囲について、発展的な指導計画を立てることができる。
A:自ら選んだ範囲について、発展的な指導計画を立てることができる。
B:自ら選んだ範囲について、標準的な指導計画を立てることができる。
C:自ら選んだ範囲について、指導計画を立てることができる。

参考書

「高等学校学習指導要領」

履修上の注意（学生へのメッセージ）

人に教えるには、まず自分がよく理解している必要があります。情報関連の授業をたくさん取り、いろいろな知識を身につけましょう。

科目名	情報科指導法Ⅱ	学年学期	3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	W-31
担当者	室谷　心	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(情報)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

この授業は高校で「情報」という科目を教える教師を目指す人のための科目です。指導法Ⅱでは高等学校での「情報」の授業の組み立てを実際にできるようになりましょう。
「情報科指導法Ⅰ」での考察を生かし、 理想の授業を目指して実際に授業をやってみましょう。お互いの授業を検討し、より良い授業の構成を考えていきます。

学修到達目標

指導案を作りそれに沿った授業ができるようになる。
自らの行った（模擬）授業を振返り、次の授業の改善につなげられるようになる。

授業の進め方

受講学生で順番に教師役と生徒役を務め、典型的な題材について模擬授業を行い、人に説明することの難しさと、情報教育の要点の理解を目指します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	ガイダンスと班分け	情報科指導法 Ⅰで修得した指導案のつくり方を復習し、模擬授業のテーマを考えておく。(4時間)
2	テーマ選定	各自が行う模擬授業のテーマを選定します。全体として偏りがないように調整します。	希望する模擬授業のテーマを考えておく。決まったテーマについて準備を始める。(4時間)
3	指導案の作成法	情報科指導法 Ⅰで修得した事を思い出しながら、指導案の作成法と、教材準備について考える。	情報科指導法 Ⅰの内容を良く復習する。指導案を作ってみる。(4時間)
4	教材準備	情報科指導法 Ⅰで修得した事を思い出しながら、指導案の作成法と、教材準備について各人の準備状況を発表し比較討論を行う。	授業での議論を踏まえて指導案を修正し、補助教材の準備を行う。(4時間)
5	模擬授業 1 の準備	利用する補助教材を確定し、模擬授業1のための指導案を仕上げる。	指導案に沿って授業の練習をする。(4時間)
6	模擬授業1	模擬授業1を行う。他の学生は生徒役を演じる。	教師役も生徒役も授業内容の内容の評価を行う。(4時間)
7	模擬授業1の評価と反省	模擬授業1に対する評価と反省を議論する。	議論した評価と反省を各自まとめる。(4時間)
8	指導案の作成2	模擬授業1の反省を踏まえて、模擬授業2のための指導案の作成を行う。	模擬授業2の指導案を完成させておく。(4時間)
9	模擬授業2	模擬授業2を行う。他の学生は生徒役を演じる。	教師役も生徒役も授業内容の内容の評価を行う。(4時間)
10	模擬授業2に対する評価と反省	模擬授業2に対する評価と反省を議論する。	議論した評価と反省を各自まとめる。(4時間)
11	高校の授業視察	高校の授業視察並びにそれに対する考察。特に自分たちの模擬授業との比較検討を行う。	プロの教師の授業を見て学んだことをまとめる。(4時間)
12	模擬授業3・4の準備	今までの模擬授業と、実際の高校を授業見学した経験を反映させて、模擬授業3・4の準備を行う。	模擬授業3の練習を十分に行う。(4時間)
13	模擬授業3とその評価	模擬授業3を行いその評価と反省を議論する。	議論した評価と反省を各自まとめる。模擬授業4の練習を十分に行う。(4時間)
14	模擬授業4とその評価	模擬授業4を行いその評価と反省を議論する。	模擬授業についての反省を纏めておく。(4時間)
15	全体の総括	各自、模擬授業についてのまとめを発表し討論する。	授業についての検討を深める。(4時間)

テキスト

「高等学校学習指導要領解説情報編」文部科学省編（開隆館出版販売）　情報科指導法Ⅰで購入済です。

成績評価の方法・基準

課題：50%　定期試験：50%
課題とは模擬授業およびその前後の議論への参加度のことです。
S:教科書の任意の範囲について、発展的な指導計画を立て、それに沿った授業を行うことができる。　A:自ら選んだ範囲について、発展的な指導計画を立て、それに沿った授業を行うことができ。　B:自ら選んだ範囲について、標準的な指導計画を立て、それに沿った授業を行うことができる。 C:自ら選んだ範囲について、指導計画を立て、それに沿った授業を行うことができる。

参考書

「高等学校学習指導要領」

履修上の注意（学生へのメッセージ）

模擬授業に先立って指導案の作成があり、模擬授業の後お互いの授業について論評しあいます。教師役でない学生も授業の準備を行い、自分の授業計画と担当者の模擬授業との違いを考えてみましょう。

科目名	体育科指導法Ⅰ	学年学期	3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	S-13
担当者	岩間　英明	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限		
関連資格	ﾚｸ･ｺｰﾃﾞｨ(教育)､中一(保体)､高一(保体)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本講義は中学校および高等学校学習指導要領に基づいた、教材づくり、教材研究、カリキュラム構成、授業展開の仕方、評価についての根本的な考え方と評価方法の具体的理解など、中学校および高等学校における体育授業に必要な基礎的な知識や基本的事項について学習し、保健体育科の教師を目指す上で必要な能力やスキルの獲得を目的としています。自分のこれまでの経験を生かして、学習者としての子どもにとって『よい体育授業』とはどのようなものなのかを追究しながら、体育科教育の価値や意味を問い直していきます。

学修到達目標

体育学習を展開していく上で必要な基礎的な知識と基本となる事項を理解して、年間計画、単元構想、評価計画などを実際に作成できる力を身につけ、最終的には体育の授業細案を書けるようになる。また併せて、体育の教材である各スポーツ種目について、その技術やルール、指導方法などについて理解している。

授業の進め方

指導案の各項目を中心に毎回の講義ではテーマを決め、体育授業を展開していく上で必要となる基本的な知識を学習するとともに、実際に指導案を作成する上で起こりやすい課題や、体育授業を実施する際に問題となる点について追究して、学習を深めていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	講義計画・展開及び評価方法等の確認をします。また、最近の体育科教育に関する話題を採り上げながら、体育の授業の特徴と体育教員の資質や役割と責務について考えていきます。	事前にシラバスを読んでくる。授業後、体育科教育の諸問題についてレポートにまとめる。 (2時間)
2	保健体育科の教科および体育分野・科目体育の目標	学習指導要領に基づき体育の教科目標について学習します。特に昨今、体育では何を問われているかを考え、子どもの立場から体育の教科としての意味をとらえ直します。	事前に学習指導要領の関係項目を読む。授業後、体育の教科目標の背景についてまとめる。(2時間)
3	保健体育科の教科の内容(1)	学習指導要領に基づき体育の教科内容について学習します。各運動種目の区分やその指導内容について、自らの経験に照らし合わせながら考えていきます。 (内容項目A～C)	事前に学習指導要領の関係項目を読む。授業後、項目A～Cの指導内容についてまとめる。(5時間)
4	保健体育科の教科の内容(2)	学習指導要領に基づき体育の教科内容について学習します。各運動種目の区分やその指導内容について、自らの経験に照らし合わせながら考えていきます。 (内容項目D～E)	事前に学習指導要領の関係項目を読む。授業後、項目D～Eの指導内容についてまとめる。(5時間)
5	保健体育科の教科の内容(3)	学習指導要領に基づき体育の教科内容について学習します。各運動種目の区分やその指導内容について、自らの経験に照らし合わせながら考えていきます。 (内容項目F～H)	事前に学習指導要領の関係項目を読む。授業後、項目F～Hの指導内容についてまとめる。(5時間)
6	指導計画の作成と内容の取り扱い(1)	体育のカリキュラム構成について、小学校から高等学校までの12年間の学習を踏まえた年間計画の作成と、内容の取り扱いについて学習します。	事前に学習指導要領の関係項目を読む。授業後、例題に沿って年間指導計画を作成する。(4時間)
7	指導計画の作成と内容の取り扱い(2)	スコープ（内容構成）とシーケンス(展開構成）の2つの視点から、体育の単元構想について学習し、単位時間の指導案の形式的な理解をします。また、体育科におけるICT教育の基本について学びます。	事前に学習指導要領の関係項目を読む。授業後、例題に沿って単元構想案を作成する。(4時間)
8	指導計画の作成と内容の取り扱い(3)	体育授業の学習方法（A型・B型学習、スパイラル型・ステージ型学習）と、ICT教育のメリット・デメリットについて学び、具体的な単位時間の指導案作成について学習します。	事前に学習指導要領の関係項目を読む。授業後、例題に沿って授業指導案を作成する。(4時間)
9	学習評価の目的と方法(1)	国立教育政策研究所の示した資料に基づき、体育学習の学習評価について、指導と評価の関係や観点別学習状況評価など、評価についての基本的な考え方を学習します。	事前に資料を読む。授業のまとめとして評価補助簿を作成してみる。(4時間)
10	学習評価の目的と方法(2)	国立教育政策研究所の示した資料に基づき、体育学習の学習評価の設定について、具体的に学習活動に即した評価規準の作成の仕方を学習します。	事前に資料を読む。授業のまとめとして評価補助簿を作成してみる。(4時間)
11	指導案作成(1)	スポーツ種目の特性や生徒の実態のとらえ方、それまでの既習内容を踏まえた教材化（教材作成）の仕方、単元の目標や展開の仕方など、これまでの学習を総合的にとらえ、具体的な単元構想を立てます。	単元構想についてこれまでの復習をしておき、授業後、課題に即した単元構想を立てる。(5時間)
12	指導案作成(2)	これまで学習してきた評価の基本的考え方や評価の仕方を生かし、前時に作成した単元構想に合わせた評価計画を立てます。	評価についてこれまでの復習をしておき、授業後、課題に即した評価計画を立てる。(5時間)
13	指導案作成(3)	前時までに作成した単元構想の中から任意の1時間を選び、単元の展開に応じた学習方法に基づき、本時の目標と展開を作成します。	学習方法についてこれまでの復習をしておき、授業後、課題に即した本時案を作成する。(5時間)
14	指導案作成(4)	これまで一人一人が作成してきた指導案全体について、グループごとに意見交換や見直しを行い、それぞれの良い点や課題を見つけ出します。	事前に自分の指導案を完成させておく。授業後、指摘をされた部分の修正をおこなう。(5時間)
15	講義全体のまとめ	体育授業を創るということについて、基本的な考え方から実際の指導案作成までを振り返ります。また、体育授業以外の部活動運営や体育的行事についても考えていきます。	これまでの学習を振り返り、体育授業を創り出すということの意味や方法をまとめる。(2時間)

テキスト

「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校保健体育】」国立教育政策研究所　教育課程研究センター編（教育出版）
ISBN:978-4-316-30051-1（生協で購入してください。）
「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【高等学校保健体育】」国立教育政策研究所　教育課程研究センター編（教育出版）
ISBN:978-4-316-30066-5（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：60%　レポート：40%
ここで示しているレポートには、指導計画、指導案、評価案など、授業づくりに関わるものを中心に、授業のまとめなど全てを含みます。Sの評価規準は定期試験9割以上で、レポートの内容が実際の授業で通用するレベルの場合です。
Aは試験8割以上、レポートの内容・形式ともに概ね良好の場合です。Bは試験7割以上、レポートは内容が指導要領に適合しており、形式が整えられている場合です。Cは試験6割以上、レポートは形式が整えられているものです。

参考書

「中学校・高等学校学習指導要領解説　保健体育編」文部科学省編（東山書房）　新学習指導要領が発刊されましたら切り換えます

履修上の注意（学生へのメッセージ）

指導案作成だけに留まらず、体育の授業とは何かという根源的な問いに対する自分なりの答えを見つけてください。そのためには主体的な学習態度と準備が必要です。学習指導要領は確実に理解して講義に臨んでください。

科目名	体育科指導法Ⅱ	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	S-13
担当者	岩間　英明	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本講義は中学校および高等学校学習指導要領に基づいた、教材づくり、教材研究、カリキュラム構成、授業展開の仕方、評価についての根本的な考え方と評価方法の具体的理解など、中学校および高等学校における体育授業に必要な基礎的な知識や基本的事項について模擬授業を通して学び、体育教師としての実践的指導力の獲得を目的としています。模擬授業では教師役、生徒役それぞれの立場からその授業についての検討し、課題を見つけ出したり、解決策を考えたりして、よりよい体育授業を追究していきます。

学修到達目標

自分たちで想定した年間計画に基づき、指定された領域の単元計画、評価計画を立て、そのうちの1単位時間の指導案を作成し、模擬授業の実施ができる。そのため、学習指導要領や多様な教授法など、教科指導に関する内容を総合的に理解し、指導案作成、模擬授業とも学校現場で実際に行われるレベルに近づき、実践ができる。

授業の進め方

講義は模擬講義を中心に行います。受講者の人数によりTTによる指導とする場合もありますが、全員が1回以上、模擬授業で教師役を経験し、授業後に検討会を行います。また毎時間、授業についての感想・意見をレポートにまとめ提出することとします。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	ガイダンスとして講義計画・学習展開について確認します。また、体育科指導法Ⅰで学習した単元構想、評価、指導案等の基本的考え方や作成方法の確認をします。	事前にシラバスを読み、保体科指導法基礎Ⅰの内容を復習しておく。（4時間）
2	授業を創る手順の確認	授業を創り出すための知識や必要事項の内容について、さらに理解を深めます。また、授業づくりのための各種資料、ICTの活用などを含む実践事例に基づき、学校現場レベルの授業について考えます。	学習指導要領を再読し、自分の担当領域について十分理解しておく。（4時間）
3	模擬授業(体つくり運動)	「体つくり運動」の模擬授業を行います。領域の内容の“体ほぐしの運動”と“体力を高めるための運動”のバランスを考え、1時間の授業を構成します。	学習指導要領の体つくり運動について予習し、授業後に課題をレポートにまとめる。（4時間）
4	模擬授業(器械運動)	「器械運動」の模擬授業を行います。領域の内容の4つの種目のうち一つの種目について、個に応じた学習課題の持たせ方や指導方法、安全配慮などを中心に1時間の授業を構成します。	学習指導要領の器械運動について予習し、授業後に課題をレポートにまとめる。（4時間）
5	模擬授業(陸上競技)	「陸上競技」の模擬授業を行います。領域内容の各種目から一つの種目を選び、個に応じた学習課題の持たせ方や指導方法、安全配慮などを中心に1時間の授業を構成します。	学習指導要領の陸上競技について予習し、授業後に課題をレポートにまとめる。（4時間）
6	模擬授業(球技　ゴール型)	「球技　ゴール型」の模擬授業を行います。領域内容のバスケットボール、サッカー　ハンドボールから一つ選び、チームや個人の課題の持たせ方、個人・集団技能の指導方法を考えて授業を構成します。	学習指導要領の当該領域について理解をして、授業後に課題をレポートにまとめる。（4時間）
7	模擬授業(球技　ネット型)	「球技　ネット型」の模擬授業を行います。領域内容のバレーボール、テニス、バドミントン、卓球から一つ選び、チームや個人の課題の持たせ方、個人・集団技能の指導方法を考えて授業を構成します。	学習指導要領の当該領域について理解をして、授業後に課題をレポートにまとめる。（4時間）
8	模擬授業(球技　ベースボール型)	「球技　ベースボール型」の模擬授業を行います。領域内容のソフトボールについて、チームや個人の課題の持たせ方、個人・集団技能の指導方法、個人差の考慮などを考えて授業を構成します。	学習指導要領の当該領域について理解をして、授業後に課題をレポートにまとめる。（4時間）
9	模擬授業(武道　剣道)	「武道」の模擬授業を行います。領域内容の3種目のうち、今回は学習条件を考慮して剣道を選択して、礼法や武道の特性、個人技能の指導方法などを中心に授業を構成します。	学習指導要領の当該領域について理解をして、授業後に課題をレポートにまとめる。（4時間）
10	模擬授業(ダンス)	「ダンス」の模擬授業を行います。領域の内容の3つのダンスから一つを選択し、ダンスの特性にあった指導の仕方を考えて1時間の授業を構成します。	学習指導要領の当該領域について理解をして、授業後に課題をレポートにまとめる。（4時間）
11	模擬授業(体育理論　中学校)	「体育理論」の模擬授業を行います。中学校の領域内容の3つから、一つを選択して、資料の活用やディスカッションなどを取り入れた課題学習などを中心に1時間の授業を構成します。	学習指導要領の当該領域について理解をして、授業後に課題をレポートにまとめる。（4時間）
12	模擬授業(体育理論　高等学校)	「体育理論」の模擬授業を行います。高等学校の領域内容の3つから、一つを選択して、高校生にふさわしい資料の活用やディスカッションなどを取り入れた課題学習などを中心に1時間の授業を構成します。	学習指導要領の当該領域について理解をして、授業後に課題をレポートにまとめる。（4時間）
13	模擬授業(選択制授業　領域内選択)	「選択制授業」の模擬授業を行います。器械運動の領域内選択とし、4種目のうちから複数種目を設定して、生徒に選択させた授業を行い、選択制授業の特徴と指導方法を考えた授業構成をします。	学習指導要領の当該領域について理解をして、授業後に課題をレポートにまとめる。（4時間）
14	模擬授業のまとめ(1)	模擬授業全体を通して、単元計画、評価計画、指導案作成、教材研究、ICTの活用、資料づくりなど、授業の事前の準備を中心に振り返り、課題やその解決方法についてまとめます。	全ての模擬授業のレポートを読み直し、授業の見方や評価についてレポートにまとめる。（4時間）
15	模擬授業のまとめ(2)	模擬授業全体を通して、授業中の生徒への指示、指導方法、ICT活用方法、安全配慮、学習規律など、授業における生徒への対応を中心に振り返り、課題やその解決方法についてまとめます。	全ての模擬授業のレポートを読み直し、生徒の対応の仕方についてレポートにまとめる（4時間）

テキスト

「中学校学習指導要領解説　保健体育編」文部科学省編（東山書房）
ISBN:978-4-8278-1463-7（生協で購入してください。）　新学習指導要領が発刊されましたら切り換えます
「高等学校学習指導要領解説　保健体育・体育編」文部科学省編（東山書房）　ISBN:978-4-8278-1481-1（生協で購入してください。）　新学習指導要領が発刊されましたら切り換えます

成績評価の方法・基準

定期試験：50%　レポート：20%
指導案、模擬授業の状況などを30%として総合的に評価していきます。Sは定期試験9割以上、模擬授業の指導案及び教授態度が現場で通用するレベル、レポートは適切な視点での授業評価ができた場合です。以下Aは定期試験8割以上で、模擬授業の指導案ならびに授業、レポートの授業評価が概ね良好な状況の場合、Bは定期試験7割以上、スムーズな模擬授業、自分なりの授業評価ができた場合、Cは定期試験6割以上、模擬授業は指導案、授業が形式通りに成立できた場合とします。

参考書

「中学校・高等学校　保健体育教科書および実技副読本」　一般書店では購入できませんので、希望者は申し出て下さい。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

体育授業における様々な課題を総合的に捉え、指導案の作成力ならびに授業の展開力を身につけていくための講義です。主体的な学習態度と十分な準備が必要になります。

科目名	保健科指導法Ⅰ	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	S-13
担当者	岩間　英明	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、中一(保健)、高一(保健)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本講義は中学校および高等学校学習指導要領に基づいた、教材づくり、教材研究、カリキュラム構成、授業展開の仕方、評価についての根本的な考え方と評価方法の具体的理解など、中学校および高等学校における保健授業に必要な基礎的な知識や基本的事項について学習し、保健体育科の教師を目指す上で必要な能力やスキルの獲得を目的としています。自分のこれまでの経験を生かして、学習者としての子どもにとって『よい保健授業』とはどのようなものなのかを追究しながら、保健教育の価値や意味を問い直していきます。

学修到達目標

保健学習を展開していく上で必要な基礎的な知識と基本となる事項を理解して、年間計画、単元構想、評価計画などを実際に作成できる力を身につけ、最終的には保健の授業細案を書けるようになる。また併せて、保健の教材である健康に関する各内容についての理解している。

授業の進め方

指導案の各項目を中心に毎回の講義ではテーマを決め、保健授業を展開していく上で必要となる基本的な知識を学習するとともに、実際に指導案を作成する上で起こりやすい課題や、保健授業を実施する際に問題となる点について追究していきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	講義計画・展開及び評価方法等の確認をします。また、最近の保健教育に関する話題を採り上げながら、保健の授業の特徴と体育教員の資質や役割と責務について考えていきます。	事前にシラバスを読んでくる。保健教育の諸問題についてまとめてみる。(2時間)
2	保健体育科の教科および保健分野・科目保健の目標	学習指導要領に基づき保健の教科目標について学習します。特に昨今、保健教育では何を問われているかを考え、子どもの立場から保健の教科としての意味をとらえ直します。	事前に学習指導要領の関係項目を読む。保健教育の目標についてまとめる。(2時間)
3	保健体育科の教科の内容(1)	学習指導要領に基づき保健の教科内容について学習します。「心身の機能の発達」「健康と環境」「傷害の防止」の指導内容について、自らの経験に照らし合わせながら考えていきます。	事前に学習指導要領の関係項目を読む。該当項目の指導内容についてまとめる。(5時間)
4	保健体育科の教科の内容(2)	学習指導要領に基づき体育の教科内容について学習します。「健康な生活と疾病の予防」「現代社会と健康」の指導内容について、自らの経験に照らし合わせながら考えていきます。	事前に学習指導要領の関係項目を読む。該当項目の指導内容についてまとめる。(5時間)
5	保健体育科の教科の内容(3)	学習指導要領に基づき体育の教科内容について学習します。「生涯を通じる健康」「社会生活と健康」の指導内容について、自らの経験に照らし合わせながら考えていきます。	事前に学習指導要領の関係項目を読む。該当項目の指導内容についてまとめる。(5時間)
6	指導計画の作成と内容の取り扱い(1)	保健のカリキュラム構成について、小学校から高等学校までの12年間の学習を踏まえた年間計画の作成と、内容の取り扱いについて学習します。	事前に学習指導要領の関係項目を読む。例題に沿って年間指導計画を作成する。(4時間)
7	指導計画の作成と内容の取り扱い(2)	スコープ（内容構成）とシーケンス(展開構成）の2つの視点から、保健の単元構想について学習し、単位時間の指導案の形式的な理解をします。また、保健科におけるICT教育の基本について学びます。	事前に学習指導要領の関係項目を読む。例題に沿って単元構想案を作成する。(4時間)
8	指導計画の作成と内容の取り扱い(3)	保健授業の多様な学習方法（実習や実験、課題学習、養護教諭や栄養教諭などの専門性を有する教職員の参加、ICTの活用）について学び、単位時間の指導案作成について学習します。	事前に学習指導要領の関係項目を読む。例題に沿って単位時間の指導案を作成する。(4時間)
9	学習評価の目的と方法(1)	国立教育政策研究所の示した資料に基づき、保健学習の学習評価について、指導と評価の関係や観点別学習状況評価など、評価についての基本的な考え方を学習します。	事前に資料を読む。授業のまとめとして評価計画を作成してみる。(4時間)
10	学習評価の目的と方法(2)	国立教育政策研究所の示した資料に基づき、保健学習の学習評価の設定について、具体的に学習活動に即した評価規準の作成の仕方を学習します。	事前に資料を読む。授業のまとめとして評価補助簿を作成してみる。(4時間)
11	指導案作成(1)	生徒の実態のとらえ方、それまでの既習内容を踏まえた教材化（教材作成）の仕方、単元の目標や展開の仕方など、これまでの学習を総合的にとらえ、具体的な単元構想を立てます。	単元構想についてこれまでの復習をしておき、課題に即した単元構想を立てる。(5時間)
12	指導案作成(2)	これまで学習してきた評価の基本的考え方や評価の仕方を生かし、前時に作成した単元構想に合わせた評価計画を立てます。	評価についてこれまでの復習をしておき、課題に即した評価計画を立てる。(5時間)
13	指導案作成(3)	前時までに作成した単元構想の中から任意の1時間を選び、単元の展開に応じた学習方法に基づき、本時の目標と展開を作成します。	学習方法についてこれまでの復習をしておき、課題に即した本時案を作成する。(5時間)
14	指導案作成(4)	これまで一人一人が作成してきた指導案全体について、グループごとに意見交換や見直しを行い、それぞれの良い点や課題を見つけ出します。	事前に自分の指導案を完成させておく。指摘をされた部分の修正をおこなう。(5時間)
15	講義全体のまとめ	保健の授業を創るということについて、基本的な考え方から実際の指導案作成までを振り返ります。また、保健の授業以外の健康教育や特別活動についても考えていきます。	これまでの学習を振り返り、保健の授業を創り出すということの意味や方法をまとめる。(2時間)

テキスト

「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校保健体育】」国立教育政策研究所　教育課程研究センター編（教育出版）
ISBN:978-4-316-30051-1（生協で購入してください。）
「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【高等学校保健体育】」国立教育政策研究所　教育課程研究センター編（教育出版）
ISBN:978-4-316-30066-5（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：60%　レポート：40%
ここで示しているレポートには、指導計画、指導案、評価案など、授業づくりに関わるものを中心に、授業のまとめなど全てを含みます。Sの評価規準は定期試験9割以上で、レポートの内容が実際の授業で通用するレベルの場合です。Aは試験8割以上、レポートの内容・形式ともに概ね良好の場合です。Bは試験7割以上、レポートは内容が指導要領に適合しており、形式が整えられている場合です。Cは試験6割以上、レポートは形式が整えられているものです。

参考書

「中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領、保健体育編」文部科学省編（東山書房）　新学習指導要領が発刊されましたら切り換えます

履修上の注意（学生へのメッセージ）

指導案作成だけに留まらず、保健の授業を行う意味について問い直してください。そのためには主体的な学習態度と準備が必要です。学習指導要領は確実に理解して講義に臨んでください。

科目名	保健科指導法Ⅱ	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	S-13
担当者	岩間　英明	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限		
関連資格	中一(保体)､高一(保体)､中一(保健)､高一(保健)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本講義は中学校および高等学校学習指導要領に基づいた、教材づくり、教材研究、カリキュラム構成、授業展開の仕方、評価についての根本的な考え方と評価方法の具体的理解など、中学校および高等学校における保健授業に必要な基礎的な知識や基本的事項について模擬授業を通して学び、体育教師としての実践的指導力の獲得を目的としています。模擬授業では教師役、生徒役それぞれの立場からその授業について検討し、課題を見つけ出したり、解決策を考えたりして、より良い保健授業を追究していきます。

学修到達目標

自分たちで想定した年間計画に基づき、指定された領域の単元計画、評価計画を立て、そのうちの1単位時間の指導案を作成し、模擬授業が実施できる。基本的に指導案作成、模擬授業とも学校現場で実際に行われるレベルを要求しており、学生にとってはかなり厳しい要求水準となるため、学習指導要領や多様な教授法など、教科指導について総合的に理解することが必要です。

授業の進め方

講義は模擬講義を中心に行います。受講者の人数によりTTによる指導とする場合もありますが、全員が1回以上、模擬授業で教師役を経験し、授業後に検討会を行います。また毎時間、授業についての感想･意見をレポートにまとめ提出することとします。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	ガイダンスとして講義計画・学習展開について確認します。また、保健科指導法Ⅰで学習した単元構想、評価、指導案等の基本的考え方や作成方法の確認をします。	事前にシラバスを読んでくる。保体科指導法基礎Ⅱの内容について再確認する。(4時間)
2	授業を創る手順の確認	授業を創り出すための知識や必要事項の内容について、さらに理解を深めます。また、授業づくりのための各種資料、ICTの活用などを含む実践事例に基づき、学校現場レベルの授業について考えます。	学習指導要領を再読し、担当領域について理解を深め、単元構想を練る。(4時間)
3	模擬授業(心身の機能の発達と心の健康　1　)	「心身の機能の発達と心の健康」の模擬授業を行います。題材に関する資料を収集し、生徒が理解しやすい内容を考え、精選した上で1時間の授業を構成します。	学習指導要領や資料で題材の理解をして、授業後に授業の中の課題をレポートにまとめる。(4時間)
4	模擬授業(健康と環境)	「健康と環境」の模擬授業を行います。題材に関する資料を収集し、生徒が理解しやすい内容を考え、精選した上で1時間の授業を構成します。	学習指導要領や資料で題材の理解をして、授業後に授業の中の課題をレポートにまとめる。(4時間)
5	模擬授業(傷害の防止　1　)	「傷害の防止」の模擬授業を行います。題材に関する資料を収集し、生徒が理解しやすい内容を考え、精選した上で1時間の授業を構成します。	学習指導要領や資料で題材の理解をして、授業後に授業の中の課題をレポートにまとめる。(4時間)
6	模擬授業(健康な生活と疾病の予防)	「健康な生活と疾病の予防」の模擬授業を行います。題材に関する資料を収集し、生徒が理解しやすい内容を考え、精選した上で1時間の授業を構成します。	学習指導要領や資料で題材の理解をして、授業後に授業の中の課題をレポートにまとめる。(4時間)
7	模擬授業(現代社会と健康　1　)	「現代社会と健康」の模擬授業を行います。題材に関する資料を収集し、生徒が理解しやすい内容を考え、精選した上で1時間の授業を構成します。	学習指導要領や資料で題材の理解をして、授業後に授業の中の課題をレポートにまとめる。(4時間)
8	模擬授業(生涯を通じる健康　1　)	「生涯を通じる健康」の模擬授業を行います。題材に関する資料を収集し、生徒が理解しやすい内容を考え、精選した上で1時間の授業を構成します。	学習指導要領や資料で題材の理解をして、授業後に授業の中の課題をレポートにまとめる。(4時間)
9	模擬授業(社会生活と健康　1　)	「社会生活と健康」の模擬授業を行います。題材に関する資料を収集し、生徒が理解しやすい内容を考え、精選した上で1時間の授業を構成します。	学習指導要領や資料で題材の理解をして、授業後に授業の中の課題をレポートにまとめる。(4時間)
10	模擬授業(心身の機能の発達と心の健康　2　)	「心身の機能の発達と心の健康」の模擬授業を行います。題材に関する資料を収集し、ブレインストーミングやロールプレイング、実習や実験など多様な指導方法を工夫して1時間の授業を構成します。	学習指導要領や資料で題材の理解をして、授業後に授業の中の課題をレポートにまとめる。(4時間)
11	模擬授業(傷害の防止　2　)	「傷害の防止」の模擬授業を行います。題材に関する資料を収集し、ブレインストーミングやロールプレイング、実習や実験など多様な指導方法を工夫して1時間の授業を構成します。	学習指導要領や資料で題材の理解をして、授業後に授業の中の課題をレポートにまとめる。(4時間)
12	模擬授業(現代社会と健康　2　)	「現代社会と健康」の模擬授業を行います。題材に関する資料を収集し、ブレインストーミングやロールプレイング、実習や実験など多様な指導方法を工夫して1時間の授業を構成します。	学習指導要領や資料で題材の理解をして、授業後に授業の中の課題をレポートにまとめる。(4時間)
13	模擬授業(生涯を通じる健康　2　)	「生涯を通じる健康」の模擬授業を行います。題材に関する資料を収集し、ブレインストーミングやロールプレイング、実習や実験など多様な指導方法を工夫して1時間の授業を構成します。	学習指導要領や資料で題材の理解をして、授業後に授業の中の課題をレポートにまとめる。(4時間)
14	模擬授業(社会生活と健康　2　)	「社会生活と健康」の模擬授業を行います。題材に関する資料を収集し、ブレインストーミングやロールプレイング、実習や実験など多様な指導方法を工夫して1時間の授業を構成します。	学習指導要領や資料で題材の理解をして、授業後に授業の中の課題をレポートにまとめる。(4時間)
15	模擬授業のまとめ	模擬授業全体を通して、教材づくり、指導案などの授業の事前準備や、生徒への指示、指導方法、ICT活用方法など、授業における生徒への対応について振り返り、課題やその解決方法についてまとめます。	これまでの模擬授業のレポートを読み直し、課題とその解決方法をレポートにまとめる。(4時間)

テキスト

「中学校学習指導要領解説　保健体育編」文部科学省編（東山書房）
ISBN:978-4-8278-1463-7（生協で購入してください。）　新学習指導要領が発刊されましたら切り換えます
「高等学校学習指導要領解説　保健体育・体育編」文部科学省編（東山書房）　ISBN:978-4-8278-1481-1（生協で購入してください。）　新学習指導要領が発刊されましたら切り換えます

成績評価の方法・基準

定期試験：50%　レポート：20%
指導案、模擬授業の状況などを30%として総合的に評価していきます。Sは定期試験9割以上、模擬授業の指導案及び教授態度が現場で通用するレベル、レポートは適切な視点での授業評価ができた場合です。以下Aは定期試験8割以上で、模擬授業の指導案ならびに授業、レポートの授業評価が概ね良好な状況の場合。Bは定期試験7割以上、スムーズな模擬授業、自分なりの授業評価ができた場合。Cは定期試験6割以上、模擬授業は指導案、授業が形式通りに成立できた場合とします。

参考書

「中学校、高等学校　保健体育　教科書」　一般書店では購入できないので、希望者は申し出てください。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

保健授業における様々な課題を総合的に捉え、指導案の作成力ならびに授業の展開力を身につけていくための講義です。できるだけ多くの資料を収集、準備をして講義ならびに模擬授業に取り組んでください。

科目名	保健科指導法Ⅲ	学年学期	3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	小松　茂美	必修選択	必修（中免） 選択（高免）	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(保健)､高一(保健)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本講義は養護教諭が保健の授業を担当することを想定して講義を展開していきます。保健授業における養護教諭の位置づけは、学習指導要領では「専門性を有する教職員」と示されている通り、保健授業の特定分野において保健体育科の教員以上の高い専門性が求められています。そのため、本講義では養護教諭の参加が求められることの多い保健授業の題材に特化して、その内容に関する幅広い知識とより深い理解をしていくことを目的としていきます。また、新学習指導要領についても学習していきます。

学修到達目標

保健科指導法Ⅰ・Ⅱの内容をさらに深化させ、養護教諭にふさわしい幅広い知識をより深く理解したレベルにまで引き上げる。教科書の内容はもちろん、生徒の興味･関心を高め、科学的認識と実践力の向上につながるような内容についての理解と、それを子どもたちに指導していくための教授方法を習得する。

授業の進め方

毎時間の講義は養護教諭が関わることの多い保健の題材をテーマとして一つ選び、その内容を周辺知識まで拡げて、学習を展開していきます。そのため、予習段階の資料収集が必要であり、それをどのように授業に取り入れていくかを全員で討議・追究していきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	講義計画や評価方法等の確認をします。また、保健の目標について再確認します。	小・中・高で扱う保健の内容と目標についてまとめてくる。(4時間)
2	心身の機能の発達(1)	“身体機能の発達、生殖に関わる機能の成熟”について、教科書の内容をさらに深めて学習していきます。また、授業でどのように指導するか、教授方法についても考察していきます。	事前に当該の内容について資料を収集しておく。内容の確認と教授方法をまとめる。(4時間)
3	心身の機能の発達(2)	“精神機能の発達と自己形成、欲求やストレスへの対処と心の健康”について、教科書の内容をさらに深めて学習していきます。また、授業でどのように指導するか、教授方法についても考察していきます。	事前に当該の内容について資料を収集しておく。内容の確認と教授方法をまとめる。(4時間)
4	健康と環境	“身体の環境に対する適応能力･至適範囲、飲料水や空気の衛生的管理”について、教科書の内容をさらに深めて学習していきます。また、授業でどのように指導するか、教授方法についても考察していきます。	事前に当該の内容について資料を収集しておく。内容の確認と教授方法をまとめる。(4時間)
5	応急手当(1)	“中学校での応急手当”について、教科書の内容をさらに深めて学習していきます。また、授業でどのように指導するか、教授方法についても考察していきます。	事前に当該の内容について資料を収集しておく。内容の確認と教授方法をまとめる。(4時間)
6	健康な生活と疾病の予防(1)	“疾病の発生要因、生活行動･生活習慣と健康、喫煙･飲酒・薬物乱用”について、教科書の内容をさらに深めて学習していきます。また、授業でどのように指導するか、教授方法についても考察していきます。	事前に当該の内容について資料を収集しておく。内容の確認と教授方法をまとめる。(4時間)
7	健康な生活と疾病の予防(2)	“感染症の予防、保健･医療機関や医薬品の有効利用、健康を守る社会の取組”について、教科書の内容をさらに深めて学習していきます。また、授業でどのように指導するか、教授方法についても考察します。	事前に当該の内容について資料を収集しておく。内容の確認と教授方法をまとめる。(4時間)
8	現代社会と健康(1)	“健康の考え方”について、教科書の内容をさらに深めて学習していきます。また、授業でどのように指導するか、教授方法についても考察していきます。	事前に当該の内容について資料を収集しておく。内容の確認と教授方法をまとめる。(4時間)
9	現代社会と健康(2)	“健康の保持増進と疾病の予防の生活習慣病、喫煙・飲酒”について、教科書の内容をさらに深めて学習していきます。また、授業でどのように指導するか、教授方法についても考察していきます。	事前に当該の内容について資料を収集しておく。内容の確認と教授方法をまとめる。(4時間)
10	現代社会と健康(3)	“健康の保持増進と疾病の予防の薬物乱用、感染症とその予防”について、教科書の内容をさらに深めて学習していきます。また、授業でどのように指導するか、教授方法についても考察していきます。	事前に当該の内容について資料を収集しておく。内容の確認と教授方法をまとめる。(4時間)
11	現代社会と健康(4)	“精神の健康”について、教科書の内容をさらに深めて学習していきます。また、授業でどのように指導するか、教授方法についても考察していきます。	事前に当該の内容について資料を収集しておく。内容の確認と教授方法をまとめる。(4時間)
12	応急手当(2)	“高等学校での応急手当”について、教科書の内容をさらに深めて学習していきます。また、授業でどのように指導するか、教授方法についても考察していきます。	事前に当該の内容について資料を収集しておく。内容の確認と教授方法をまとめる。(4時間)
13	生涯を通じる健康	“生涯の各段階における健康、保健・医療制度および地域の保健･医療機関”について、教科書の内容をさらに深めて学習していきます。また、授業でどのように指導するか、教授方法についても考察します。	事前に当該の内容について資料を収集しておく。内容の確認と教授方法をまとめる。(4時間)
14	社会生活と健康	“環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康”について、教科書の内容をさらに深めて学習していきます。また、授業でどのように指導するか、教授方法についても考察していきます。	事前に当該の内容について資料を収集しておく。内容の確認と教授方法をまとめる。(4時間)
15	講義全体のまとめ	これまでの保健授業の内容について、理解の不十分な点や新たに生じた疑問などについて、全体および個人で討議しながら振り返り、講義全体のまとめをする。	これまでまとめてきた内容を読み直し、保健授業における養護教諭の役割を再認識する。(4時間)

テキスト

「中学校学習指導要領解説　－保健体育編－」文部科学省編編（東山書房）　ISBN:9784827814637（生協で購入してください。）
「高等学校学習指導要領解説　－保健体育編－」文部科学省編編（東山書房）　ISBN:9784827814811（生協で購入してください。）
中学校、高等学校学習指導要領

成績評価の方法・基準

定期試験：50%　レポート：50%
レポート評価には、各回の講義のまとめや指導計画、指導案、評価案といった資料など、授業づくりに関わるものを全てを含みます。Sの評価は、レポートの内容が実際の授業で通用するレベルであり、定期試験9割以上の場合です。Aは試験8割以上、レポートの内容・形式ともに概ね良好の場合です。Bは試験7割以上、レポートは内容が指導要領に適合しており、形式が整えられている場合です。Cは試験6割以上、レポートは形式が整えられているものの場合です。

参考書

「小学校学習指導要領解説　体育編」文部科学省編編（東洋館出版社）
ISBN：978449023755
保健の教科書（小、中、高）の購入希望者は、申し出てください。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

養護教諭が保健の授業を行う意味について問い直してください。そのためには主体的な学習態度と準備が必要です。学習指導要領や教科書の内容は確実に理解して講義に臨んでください。

科目名	保健科指導法Ⅳ	学年学期	3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	小松　茂美	必修選択	必修（中免） 選択（高免）	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(保体)､高一(保体)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本講義は養護教諭が保健の授業を担当することを想定して模擬授業を中心に講義を展開していきます。保健授業における養護教諭の位置づけは、学習指導要領では「専門性を有する教職員」と示されている通り、保健授業の特定分野において保健体育科の教員以上の高い専門性が求められています。そのため、本講義では養護教諭の参加が求められることの多い保健授業の題材に特化して、その内容について模擬講義を通して実践的に理解していくことを目的としていきます。

学修到達目標

模擬授業を通して保健科指導法Ⅰ・Ⅱの内容をさらに深化させ、養護教諭にふさわしい幅広い知識をより深く理解し、実践レベルにまで引き上げる。教科書の内容はもちろん、生徒の興味･関心を高め、科学的認識と実践力の向上につながるような内容についての理解とそれを子どもたちに指導していくための教授方法を、模擬授業により習得する。

授業の進め方

毎時間の講義は養護教諭が関わることの多い保健の題材をテーマとして一つ選び、その内容を周辺知識まで拡げて、模擬授業を中心に講義を進めます。指導案作成、模擬授業、その後の討議などを通して、実践的な保健授業を追究していきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	講義計画･展開及び評価方法等の確認をします。また、保健授業における養護教諭の高い専門性とその役割について復習するとともに、模擬授業の担当を決めます。	事前にシラバスを読んでくる。保健授業における養護教諭の役割について復習する。(4時間)
2	模擬授業　心身の機能の発達(1)	“身体機能の発達、生殖に関わる機能の成熟、”について、教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)
3	模擬授業　心身の機能の発達(2)	“精神機能の発達と自己形成、欲求やストレスへの対処と心の健康”について、教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)
4	健康と環境	“身体の環境に対する適応能力･至適範囲、飲料水や空気の衛生的管理”について、教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)
5	応急手当(1)	“中学校での応急手当”について、教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)
6	健康な生活と疾病の予防(1)	“疾病の発生要因、生活行動･生活習慣と健康、喫煙･飲酒・薬物乱用”について、教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)
7	健康な生活と疾病の予防(2)	“感染症の予防、保健･医療機関や医薬品の有効利用、健康を守る社会の取組”について、教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)
8	現代社会と健康(1)	“健康の考え方”について、教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)
9	現代社会と健康(2)	“健康の保持増進と疾病の予防の生活習慣病、喫煙・飲酒”について、教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)
10	現代社会と健康(3)	“健康の保持増進と疾病の予防の薬物乱用、感染症とその予防”について、教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)
11	現代社会と健康(4)	“精神の健康”について、教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)
12	応急手当(2)	“高等学校での応急手当”について、教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)
13	生涯を通じる健康	“生涯の各段階における健康、保健・医療制度および地域の保健･医療機関”について、教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)
14	社会生活と健康	“環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康”について、教科書の内容をさらに深めた模擬授業を行い、授業後に指導内容や教授方法について全員で評価・検討します。	事前に当該の内容について理解しておき、授業後に感想・意見をレポートにまとめる。(4時間)
15	模擬授業のまとめ	模擬授業全体を通して、授業中の生徒への指示、内容理解、指導方法、資料活用など、事前の準備や授業中の生徒への対応について、課題やその解決方法についてまとめます。	これまでの模擬授業のレポートを読み直し、課題とその解決方法をレポートにまとめる。(4時間)

テキスト

「中学校学習指導要領解説　－保健体育編－」文部科学省編編（東山書房）
ISBN:9784827814637（生協で購入してください。）
「高等学校学習指導要領解説　－保健体育編－」文部科学省編編（東山書房）
ISBN:9784827814811（生協で購入してください。）
中学校、高等学校学習指導要領

成績評価の方法・基準

定期試験：40%　レポート：20%
指導案、模擬授業の状況などを40%として総合的に評価していきます。Sは定期試験9割以上、模擬授業の指導案及び教授態度が現場で通用するレベル、レポートは適切な視点での授業評価ができた場合です。以下Aは定期試験8割以上で、模擬授業の指導案ならびに授業、レポートの授業評価が概ね良好な状況の場合、Bは定期試験7割以上、スムーズな模擬授業、自分なりの授業評価ができた場合、Cは定期試験6割以上、模擬授業は指導案、授業が形式通りに成立できた場合とします。

参考書

「小学校学習指導要領解説　体育編」文部科学省編編（東洋館出版社）
ISBN：9784490237 55
保健の教科書（小、中、高）の購入希望者は、申し出てください。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

保健授業における養護教諭の役割をとらえ、より専門性の高い指導案の作成力ならびに授業の展開力を身につけていくための講義です。主体的な学習態度と十分な準備が必要になります。

科目名	英語科指導法Ⅰ	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC26068	研究室	A-08
担当者	和田　順一	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日2限､水曜日3限		
関連資格	中(英語)､高(英語)			履修条件	中高英語課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

英語を学習するということはどのようなことであるのかを、教師の立場として考えます。英語科の学習によって、生徒にどのような力をつけ、どのように育んでいくかの基本的な理解を深めます。

学修到達目標

英語科教育に関する教員として指導法やその背景にある理論的理解している。

授業の進め方

講義形式で進めますが、自分自身の経験を振り返り、友人と共有したり、議論していく必要があります。意見交換の際には積極的に発言してください。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション　英語教育の目的（英語学習の意義：自己を振り返って）	英語を学習する意義を、自分自身の学習経験を振り返り、考え理解する。	英語教育に必要なテーマに関する知識を復習し深める。（4時間）
2	英語教育の目的（英語学習の意義）	英語を学習する意義を世界的視点から問題点等を考え理解する。	英語教育に必要なテーマに関する知識を復習し深める。（4時間）
3	英語教育の目的（教育の目的と英語教育）	教育の目的と、英語教育の目的を考え理解する。	英語教育に必要なテーマに関する知識を復習し深める。（4時間）
4	教育基本法、英語教育の指導目標（現行学習指導要領について）	教育基本法の基本的内容と現行外国語学習指導要領について理解する。	英語教育に必要なテーマに関する知識を復習し深める。（4時間）
5	英語教育の指導目標（次期学習指導要領について）	新外国語学習指導要領について、その学習の仕方と内容を理解する。	英語教育に必要なテーマに関する知識を復習し深める。（4時間）
6	英語教育の指導目標（コミュニケーション能力の構成要素：言語能力）	新学習指導要領と現行学習指導要領の外国語の目標について理解する。またコミュニケーション能力というものの全体像を理解し、さらに詳細に、言語能力について理解する。	英語教育に必要なテーマに関する知識を復習し深める。（4時間）
7	英語教育の指導目標（コミュニケーション能力の構成要素：言語能力）	コミュニケーション能力というものの全体像を理解し、さらに詳細に、言語能力について理解する。	英語教育に必要なテーマに関する知識を復習し深める。（4時間）
8	英語教育の指導目標（コミュニケーション能力の構成要素：方略能力等）	コミュニケーション能力というものの全体像を理解し、さらに詳細に、方略能力について理解する。	英語教育に必要なテーマに関する知識を復習し深める。（4時間）
9	英語指導方法（評価基準）	英語指導に関する、目標設定と指導、評価について考え理解する。また評価基準について考え理解する。	英語教育に必要なテーマに関する知識を復習し深める。（4時間）
10	英語指導方法（授業の構成）	英語授業の全体的な流れと、各部分の詳細について理解する。	英語教育に必要なテーマに関する知識を復習し深める。（4時間）
11	英語指導方法（授業での言語活動）	言語活動がどのようなものであるかを理解し、実際にどのような言語活動ができるか考える。	英語教育に必要なテーマに関する知識を復習し深める。（4時間）
12	英語指導方法（読解活動）	読解活動において、目標の設定やその実施の仕方について考え理解する。	英語教育に必要なテーマに関する知識を復習し深める。（4時間）
13	英語指導方法（文法指導と言語活動）	文法指導に焦点を置く際の言語指導との関りについて考え理解する。	英語教育に必要なテーマに関する知識を復習し深める。（4時間）
14	英語教師論（英語教師の役割）	教師の役割とはどのようなものであるのかを、自分自身の経験を振り返りながら考え理解する。	英語教育に必要なテーマに関する知識を復習し深める。（4時間）
15	小学校外国語活動との連携	小学校外国語科並びに外国語活動と中学校・高等学校の連携を考え理解する。	英語教育に必要なテーマに関する知識を復習し深める。（4時間）

テキスト

「統合的英語科教育法」村野井仁・渡部良典・尾関直子・冨田祐一著（成美堂）　ISBN:978-4-7919-5094-2（生協で購入してください。）
「中学校学習指導要領（新・旧）」（東山書房）（生協で購入してください。）　新・旧とも使用。
「中学校学習指導要領解説　外国語編（新・旧）」（開隆堂）（生協で購入してください。）　新・旧とも使用。
「高等学校学習指導要領（新・旧）」（東山書房）（生協で購入してください。）　新・旧とも使用。　他1冊を指定します。掲示で確認してください。

成績評価の方法・基準

定期試験：50%　受講態度：10%
小テスト・レポート・提出物等　40%
S：授業内容を高度に理解し、テーマに関し積極的に探究し課題に取り組み、テーマについて高度な知識を有する。　A：授業内容をよく理解し、積極的に探究し課題に取り組み、テーマに関し深く理解をしている。　B：授業内容を概ね理解し、課題に誠実に取り組み、テーマに関し理解している。　C：授業内容を理解し、課題に誠実に取り組んでいる。

参考書

「小学校学習指導要領」文部科学省著（東京書籍）　ISBN：978-4-487-28695-9
「小学校学習指導要領解説　外国語活動編」文部科学省著（東洋館出版社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

主体的に考え、受け身ではなく積極的に取り組む必要があります。また同時に英語力は常に自分自身で磨いておいてください。

科目名	英語科指導法Ⅱ	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC26069	研究室	A-08
担当者	和田　順一	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日2限		
関連資格	中(英語)､高(英語)			履修条件	中高英語課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

英語学習に関する理論等を応用し、指導案作成を学びます。その指導案の内容的中心となる教材をどのように扱っていくかを分析する教材分析、その指導案を基に実際に指導していくことを学びます。

学修到達目標

英語学習の理論等を基にし、教材分析を通し指導案が作成できる。指導案を基に授業を行うことができる。

授業の進め方

講義形式で進めますが、途中友人と意見交換をしたり、自分自身の計画を実施することがあります。それらに向け積極的に取り組んでください。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション（指導案の書き方）	学習指導案の全体的な流れと書き方を理解する。	テーマに関して復習し、理解を深める。（4時間）
2	指導案の書き方（主眼）	1時間の授業の構成を理解し、主眼の立て方と授業構成を理解する。	テーマに関して復習し、理解を深める。（4時間）
3	指導案の書き方（授業構成）	指導案の主たる活動の授業構成を理解し、具体的活動について考える。	テーマに関して復習し、理解を深める。（4時間）
4	本時案の書き方（全体）	本時案の各部分の全体的バランスを理解し、本事案を書き上げる。	テーマに関して復習し、理解を深める。（4時間）
5	研究授業案の書き方（生徒の分析・評価の観点）	生徒の学習の分析の仕方と、指導における評価の観点を理解し、指導案に組み込む。	テーマに関して復習し、理解を深める。（4時間）
6	教材分析の仕方	授業で使用する教材を分析する視点を理解し、どのような教材でどのように教えるのかを理解する。	テーマに関して復習し、理解を深める。（4時間）
7	教材分析（読みの活動）	「読むこと」に関する教材を教材分析の視点から考え、実際にどのような活動ができるかを考える。	テーマに関して復習し、理解を深める。（4時間）
8	教材分析（書きの活動）	「書くこと」に関する教材を教材分析の視点から考え、実際にどのような活動ができるかを考える。	テーマに関して復習し、理解を深める。（4時間）
9	教材分析（話す・聞くの活動）	「話すこと」「聞くこと」に関する教材を教材分析の視点から考え、実際にどのような活動ができるかを考える。	テーマに関して復習し、理解を深める。（4時間）
10	教材分析（4技能統合的活動）	4技能統合の在り方を理解し、それらを活用した教材分析を理解し考える。	テーマに関して復習し、理解を深める。（4時間）
11	言語活動教材作成	言語活動の教材を作成し、実際に実施する。	テーマに関して復習し、理解を深める。（4時間）
12	言語活動教材作成	統合的な言語活動の教材を作成・実施し、再度検討をする。	テーマに関して復習し、理解を深める。（4時間）
13	模擬授業とリフレクション	模擬授業を実施し、そのリフレクションを行う。	テーマに関して復習し、理解を深める。（4時間）
14	模擬授業とリフレクション（前時使用指導案の改善）	前時のリフレクションから指導案を改善し、新たな指導案に活かす。	テーマに関して復習し、理解を深める。（4時間）
15	模擬授業とリフレクション（前時使用指導案の再改善）	模擬授業を実施し、再度リフレクションを実施、指導案の再検討を行う。	テーマに関して復習し、理解を深める。（4時間）

テキスト

「統合的英語科教育法」村野井仁・渡部良典・尾関直子・冨田祐一著（成美堂）　ISBN:978-4-7919-5094-2　英語科指導法Ⅰで購入しています。
「中学校学習指導要領（新・旧）」（東山書房）（生協で購入してください。）
「中学校学習指導要領解説　外国語編（新・旧）」（開隆堂出版）（生協で購入してください。）
「中学校外国語検定教科書（New Crown/New Hrizon/Columbus）」（別途、指示します。）　他2冊を指定します。掲示で確認してください。

成績評価の方法・基準

定期試験：50%　受講態度：10%
小テスト・レポート・提出物・パフォーマンス等40%
S：授業内容を高度に理解し、テーマに関し積極的に探究し課題に取り組み、テーマについて高度な知識を有する。　A：授業内容をよく理解し、積極的に探究し課題に取り組み、テーマに関し深く理解をしている。　B：授業内容を概ね理解し、課題に誠実に取り組み、テーマに関し理解している。　C：授業内容を理解し、課題に誠実に取り組んでいる。

参考書

「小学校学習指導要領（新・旧）」（新：東洋館出版社、旧：東京書籍）
「小学校学習指導要領解説　外国語活動編（新・旧）」（新：開隆堂出版、旧：東洋館出版社）　参考書の購入については別途指示します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

模擬授業を実施する際には十分な準備をしてください。

科目名	英語科指導法Ⅲ	学年学期	3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC36070	研究室	A-08
担当者	和田　順一	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日2限､水曜日3限		
関連資格	中(英語)､高(英語)			履修条件	中高英語課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

英語の授業を行っていくのに必要な様々な知識や指導法を理解し、コミュニカティブ・アプローチを使用した授業が実践できることを目指します。

学修到達目標

授業を行う新たな知識や指導法を知り、それらを活用した模擬授業を行えるようにする。また模擬授業のリフレクションを通し、指導案を改善ことができるようにする。

授業の進め方

講義形式で進めますが、模擬授業をしたり、友人の模擬授業を見てリフレクションを行います。積極的に意見を言うようにしてください。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション　コミュニカティブ・アプローチの生成過程とその意味	コミュニカティブ・アプローチの生成過程とその意味するところを理解する。またそれを自分自身の指導に活かす。	テーマに関する復習をし、実際の活動に活かせるように理解する。(4時間)
2	コミュニカティブ・アプローチの生成過程とその意味：歴史的概観	コミュニカティブ・アプローチの生成過程における歴史的指導方法の変遷を理解し、それらのメリット・デメリットを理解する。またそれを自身の指導に活かす。	テーマに関する復習をし、実際の活動に活かせるように理解する。(4時間)
3	コミュニカティブ・アプローチの生成過程とその意味：理念	コミュニカティブ・アプローチ中心的理念を理解し、それらを自身の活動に活かす。	テーマに関する復習をし、実際の活動に活かせるように理解する。(4時間)
4	日本の英語教育の問題点	これまでの、また現代の日本の教育の問題点について理解をし、今後の自身の英語教育に活用する。	テーマに関する復習をし、実際の活動に活かせるように理解する。(4時間)
5	英語授業デザイン：文法指導	文法指導のメリットとデメリット、並びに伝統的な指導法を理解し、自身の指導に活用する。	テーマに関する復習をし、実際の活動に活かせるように理解する。(4時間)
6	英語授業デザイン：リーディング指導	リーディングの伝統的な指導の在り方、メリット・デメリットを理解し、コミュニカティブな指導に活かす。	テーマに関する復習をし、実際の活動に活かせるように理解する。(4時間)
7	英語授業デザイン：リーティング指導（具体的活動）	リーディングの様々な活動を体験し、どのようなプロセスが進行しているかを分析し、自身の指導に活かす。	テーマに関する復習をし、実際の活動に活かせるように理解する。(4時間)
8	英語授業デザイン：ライティング指導	ライティング指導の在り方と方法を理解し、自身の指導に活かす。	テーマに関する復習をし、実際の活動に活かせるように理解する。(4時間)
9	英語授業デザイン：スピーキング指導	スピーキングの伝統的な指導の在り方、メリット・デメリットを理解し、コミュニカティブな指導に活かす。	テーマに関する復習をし、実際の活動に活かせるように理解する。(4時間)
10	内容中心指導法	内容中心指導法について理解し、自身の指導に活かす。	テーマに関する復習をし、実際の活動に活かせるように理解する。(4時間)
11	指導案の作成	これまでの学習を指導案に活かし、実際の活動を構想する。	テーマに関する復習をし、実際の活動に活かせるように理解する。(4時間)
12	模擬授業とリフレクション	作成した指導案に沿って、実際に模擬授業を実施し、リフレクションを行う。	自分自身や友人の模擬授業を実施し、リフレクションをし、自分自身の指導案に活かす。（4時間）
13	模擬授業とリフレクション（前時使用指導案の改善）	模擬授業のリフレクションから、再度指導案を検討し修正する。	自分自身や友人の模擬授業を実施し、リフレクションをし、自分自身の指導案に活かす。（4時間）
14	模擬授業とリフレクション（新指導案による模擬授業）	修正指導案を実施し、さらにリフレクションを重ねる。	自分自身や友人の模擬授業を実施し、リフレクションをし、自分自身の指導案に活かす。（4時間）
15	模擬授業とリフレクション（前時使用指導案の改善）	模擬授業のリフレクションをもう一度指導案に反映し、模擬授業並びに指導案の構築について理解する。	自分自身や友人の模擬授業を実施し、リフレクションをし、自分自身の指導案に活かす。（4時間）

テキスト

「英語授業デザイン」山岸信義・高橋貞雄・鈴木政浩編（大修館書店）
ISBN:978-4-469-14241-9（生協で購入してください。）
「中学校学習指導要領（新・旧）」（東山書房）（生協で購入してください。）　新・旧とも使用。
「中学校学習指導要領解説　外国語編（新・旧）」（開隆堂出版）（生協で購入してください。）　新・旧とも使用。
「高等学校学習指導要領（新・旧）」（東山書房）（生協で購入してください。）　他3冊指定します。掲示を確認してください。

成績評価の方法・基準

定期試験：50%　受講態度：10%
小テスト・レポート・提出物・パフォーマンス等40%
S：授業内容を高度に理解し、テーマに関し積極的に探究し課題に取り組み、テーマについて高度な知識を有する。　A：授業内容をよく理解し、積極的に探究し課題に取り組み、テーマに関し深く理解をしている。　B：授業内容を概ね理解し、課題に誠実に取り組み、テーマに関し理解している。　C：授業内容を理解し、課題に誠実に取り組んでいる。

参考書

参考書は別途指示します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

難しい理論を学びます。積極的に復習をし、実際の指導に活かせるように練習をしてください。

科目名	英語科指導法Ⅳ	学年学期	3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC36071	研究室	A-08
担当者	和田　順一	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日2限		
関連資格	中(英語)､高(英語)			履修条件	中高英語課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

これまでに学習を積み重ねてきた理論等や指導法を応用し、授業の内容とその指導法を改善していきます。

学修到達目標

実施した模擬授業の振り返りを適切に行い、次の指導案の改善へと向けることができる。また模擬授業をその目的とあったコミュニケーションを中心としたより良いものにすることができる。

授業の進め方

これまでの英語科指導法Ⅰ～Ⅳの内容を振り返り、指導案を作成、実施します。友人の模擬授業を観察したり、自分自身の模擬授業を観察してもらい、リフレクションを行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション　学習指導要領の理解	これまでの学習を復習し、学習指導要領の理解を深める。	テーマに関して復習、並びに以前の学びを思い出し、理解する。（4時間）
2	指導案の作成	これまでの学習を復習し、実際の指導案を作成する。	テーマに関して復習、並びに以前の学びを思い出し、理解する。（4時間）
3	教材研究	教材分析の視点を復習し、各技能に対しての教材分析を行う。	テーマに関して復習、並びに以前の学びを思い出し、理解する。（4時間）
4	模擬授業とリフレクション	作成した指導案を実施し、リフレクションを行う。	模擬授業のリフレクションから指導案を再検討する。（4時間）
5	模擬授業とリフレクション（技能統合に基づいた活動：読み書き等）	「読むこと」「書くこと」の技能統合を目的とした指導案から模擬授業を実施し、リフレクションを行う。	テーマに関して復習、並びに以前の学びを思い出し、理解する。（4時間）
6	模擬授業とリフレクション（技能統合に基づいた活動：書き話す等）	「書くこと」「話すこと」技能統合を目的とした指導案から模擬授業を実施し、リフレクションを行う。	テーマに関して復習、並びに以前の学びを思い出し、理解する。（4時間）
7	模擬授業とリフレクション（技能統合に基づいた活動：聞く書く等）	「聞くこと」「書くこと」の技能統合を目的とした指導案から模擬授業を実施し、リフレクションを行う。	テーマに関して復習、並びに以前の学びを思い出し、理解する。（4時間）
8	模擬授業とリフレクション	技能統合を目指した指導案を作成、実施し、リフレクションを行う。	理論を反映した模擬授業を構築・実施し、そのフレクションから指導案を再検討する。（4時間）
9	模擬授業とリフレクション（前時使用指導案の改善）	技能統合を目指した指導案を、前時のリフレクションから再検討し指導案を改善していく。	理論を反映した模擬授業を構築・実施し、そのフレクションから指導案を再検討する。（4時間）
10	模擬授業とリフレクション（前時使用指導案の再改善）	前時のリフレクションから指導案を再度検討し、改善していく。	理論を反映した模擬授業を構築・実施し、そのフレクションから指導案を再検討する。（4時間）
11	模擬授業とリフレクション（新指導案による模擬授業）	改善した指導案から模擬授業を実施し、リフレクションを行う。	理論を反映した模擬授業を構築・実施し、そのフレクションから指導案を再検討する。（4時間）
12	模擬授業とリフレクション（前時使用指導案の改善）	改善した指導案と模擬授業のリフレクションから、再度指導案を改善する。	理論を反映した模擬授業を構築・実施し、そのフレクションから指導案を再検討する。（4時間）
13	模擬授業とリフレクション（前時使用指導案の再改善）	再度検討した指導案を実施し、さらにリフレクションを行う。	理論を反映した模擬授業を構築・実施し、そのフレクションから指導案を再検討する。（4時間）
14	模擬授業とリフレクション（新指導案による模擬授業）	改善が済んでいる指導案を使用し、模擬授業とリフレクションを行う。	理論を反映した模擬授業を構築・実施し、そのフレクションから指導案を再検討する。（4時間）
15	模擬授業とリフレクション（新指導案による模擬授業）	指導案に沿って模擬授業を実施し、指導案の検討の仕方や改善の仕方を振り返り、指導案の構築方法を理解する。	理論を反映した模擬授業を構築・実施し、そのフレクションから指導案を再検討する。（4時間）

テキスト

「英語授業デザイン」山岸信義ほか編（大修館書店）　ISBN:978-4469142419（生協で購入してください。）
「統合的英語科教育法」村野井仁ほか著（成美堂）　ISBN:978-4791950942（生協で購入してください。）
「中学校学習指導要領（新・旧）」（東山書房）（生協で購入してください。）　新・旧とも使用。
「中学校学習指導要領解説　外国語編（新・旧）」（開隆堂出版）（生協で購入してください。）　新・旧とも使用。　他4冊指定します。掲示、要確認。

成績評価の方法・基準

定期試験：30%　受講態度：10%
小テスト・レポート・提出物・パフォーマンス等60%
S：授業内容を高度に理解し、テーマに関し積極的に探究し課題に取り組み、テーマについて高度な知識を有する。　A：授業内容をよく理解し、積極的に探究し課題に取り組み、テーマに関し深く理解をしている。　B：授業内容を概ね理解し、課題に誠実に取り組み、テーマに関し理解している。　C：授業内容を理解し、課題に誠実に取り組んでいる。

参考書

別途指示します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

理論を実際の授業へむすびつけます。模擬授業の準備は十分に行ってください。

科目名	社会科指導法Ⅰ	学年学期	2・3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	平澤　香	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(社会)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本講義では、中学校社会科がめざす、国際社会に生きる民主的，平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うために、中学校の社会科教員として必要な指導法の基礎を身に付けることをねらいとしています。さらに、戦後の中学校教育の変遷を踏まえるとともに、新たに登場した社会科について，カリキュラム、学習指導、評価といった様々な視点と，社会の変化や学校教育の諸課題と関連づけながら社会科教育の在り方を考察します。また、優れた実践例も紹介します。

学修到達目標

・社会科学習の意義やカリキュラム理論を理解し指導と評価が一体となった授業を構想するための年間指導計画を作成することができる。
・優れた先人の実践例から、生きる力や確かな学力を育成するための指導方法を習得する。

授業の進め方

教員から提示されるテーマを受講者がそれぞれ選択して調べ、その発表を中心に全体で議論を深めながら講義を進めます。また、フィールドワークなどの作業的体験的な学習も随時取り入れます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	オリエンテーション－講義の概要－	学習指導要領及び3分野の教科書を事前に熟読しておくこと(4時間)
2	社会科のあゆみ	戦後の社会科教育のあゆみ	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
3	社会科のカリキュラム理論	社会科学習の意義とカリキュラムの理論	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
4	地理的分野のカリキュラム	地理的分野の年間カリキュラム	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
5	地理的分野の評価	地理的分野の指導と評価のポイント	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
6	歴史的分野のカリキュラム	歴史的分野の年間カリキュラム	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
7	歴史的分野の評価	歴史的分野の指導と評価のポイント	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
8	公民的分野のカリキュラム	公民的分野の年間カリキュラム	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
9	公民的分野の評価	公民的分野の指導と評価のポイント	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
10	実践例(1)	学び方を学ぶ社会科学習の実践例	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
11	実践例(2)	話し合いや発表を生かした社会科学習の実践例	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
12	実践例(3)	インターネットやGISを活用した社会科学習の実践例	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
13	実践例(4)	調査・体験活動を重視した社会科学習の実践例	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
14	評価問題	社会科評価問題の工夫と改善	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
15	まとめ	まとめ－これからの社会科を考える	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)

テキスト

「中学校学習指導要領解説　社会編」（日本文教出版）（別途、指示します。）
「中学校社会科地図」（帝国書院）（別途、指示します。）
「新しい社会　地理」（東京書籍）（別途、指示します。）
「中学生の歴史」（帝国書院）（別途、指示します。）
「中学生の公民」（帝国書院）（別途、指示します。）

成績評価の方法・基準

受講態度：50%　課題：30%　レポート：20%
S:到達目標達成のために進んで課題に取り組み、各回の授業内容をすべて理解し指導と評価が一体となった年間指導計画を作成することができる。A:到達目標達成のために課題に取り組み、各回の授業で学んだことを理解し年間指導計画を作成することができる。B:到達目標達成のために課題に取り組み、各回の授業で学んだことを概ね理解し年間指導計画を作成することができる。C:到達目標達成を理解して課題に取り組み、年間指導計画を作成することができる。

参考書

「中学校学習指導要領」
特になし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

中学校社会科の免許取得を希望する皆さんは、目指す社会科の教師像を明確にもつとともに、社会科好きの生徒を育成するには、どんな知識、概念や技能を身に付けなければならないかを常に念頭に置いて受講してください。

科目名	社会科指導法Ⅱ	学年学期	2・3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	平澤　香	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(社会)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本講義では、中学校社会科がめざす、国際社会に生きる民主的，平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養うために、中学校の社会科教員として必要な指導法の基礎を身に付けることをねらいとしています。さらに、生徒の主体的な学習を実現するためにどうすればよいのかについて、「適切な課題を設けて行う学習」に焦点を当てながら、実践的に考察します。

学修到達目標

・社会科の授業を実践するに当たっての教材開発の方法やICTを含めた教材教具の活用方法を身に付ける。
・指導案作成や模擬授業を通して、社会科教員として必要な知識や技能を養う。

授業の進め方

本講義では、上高地でのアウトキャンパスで実際に資料の収集を行ったり、教材・教具を開発して指導案を作ったりするなどして模擬授業を行うとともに、学生相互で評価し合うなど、作業的・体験的な活動を多く取り入れて講義を進めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	オリエンテーション－講義の概要－	学習指導要領及び3分野の教科書を事前に熟読しておくこと(4時間)
2	学習指導要領	現行学習指導要領とその解説	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
3	資料の収集と活用(1)	地理的分野の学習資料の収集と活用	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
4	教材教具の利用と開発(1)	地理的分野の教材教具の利用と開発	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
5	模擬授業(1)	地理的分野の授業づくりと模擬授業	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
6	資料の収集と活用(2)	歴史的分野の学習資料の収集と活用	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
7	教材教具の利用と開発(2)	歴史的分野の教材教具の利用と開発	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
8	模擬授業(2)	歴史的分野の授業づくりと模擬授業	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
9	資料の収集と活用(3)	公民的分野の学習資料の収集と活用	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
10	教材教具の利用と開発(3)	公民的分野の教材教具の利用と開発	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
11	模擬授業(3)	公民的分野の授業づくりと模擬授業	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと
12	新しい社会科学習(1)	国際理解と社会科学習	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
13	新しい社会科学習(2)	情報化・ICTの活用と社会科学習	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
14	新しい社会科学習(3)	環境・資源エネルギーと社会科学習	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)
15	まとめ	まとめ－中学校社会科における授業改善の視点	前回授業で渡した資料を事前によく読んで予習しておくこと(4時間)

テキスト

「中学校学習指導要領解説社会編」文部科学省編（日本文教出版）（別途、指示します。）
「中学校社会科地図」（帝国書院）（別途、指示します。）
「新しい社会　地理」（東京書籍）（別途、指示します。）
他　別途指示します。
「中学生の歴史」（帝国書院）（別途、指示します。）
「中学生の公民」（帝国書院）（別途、指示します。）

成績評価の方法・基準

受講態度：50%　課題：30%　レポート：20%
S:到達目標達成のために進んで課題に取り組み、各回の授業内容をすべて理解し指導案の作成や模擬授業を行うことができる。A:到達目標達成のために課題に取り組み、各回の授業で学んだことを理解し指導案の作成や模擬授業を行うことができる。B:到達目標達成のために課題に取り組み、各回の授業で学んだことを概ね理解し指導案の作成や模擬授業を行うことができる。C:到達目標達成を理解して課題に取り組み、指導案の作成や模擬授業を行うことができる。

参考書

「中学校学習指導要領」
特になし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

自分は社会科の教師としてどのような授業実践を行いたいかを明確にもってください。このため優れた教育者の著作にふれるとともに、恩師や先輩から現在の生徒の実態や社会科の授業の現状について直接話を伺っておいてください。

科目名	教育実践特講	学年学期	2・3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	小松　茂美・征矢野　達彦・岸田　幸弘	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)、中(英語)、高(英語)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

目的：本講義の目的の第一は、現場の教育実践を直接参観することにより教育及び授業に対する理解・関心を深める契機とすることです。第二は、実際の授業の参観を通して4年次に行う教育実習へのスムーズな移行ができるようにすることです。
概要：長野県下の小・中学校、高等学校の授業を受講者全体で各1回ずつ参観し、参観後レポートを提出し、その提出したレポートに基づいてディスカッションを行い、他者と意見を交わしながら授業に対する基本的な理解を深めます。

学修到達目標

○授業参観の基本的な態度・心得を身につける。○授業の見方を身につける。○参観後のディスカッションにより、授業実践力を身につけると共に、自己表現力・コミュニケーション能力を向上させる。○よい授業・わかる授業についての理解を深める。

授業の進め方

授業参観を2回（2日間）行い、参観後レポートを提出し、提出したレポートに基づいてディスカッションを行います。授業参観の経験を活かし、各自作成した学習指導案に基づき模擬授業を行い、授業力の向上を図ります。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業の見方について 授業参観の基本的心得について	授業内容を確認し記録整理する（4時間）
2	小学校の訪問	授業参観	事前学習：参観する授業の学習指導案の分析 課題レポート提出（4時間）
3	中学校の訪問	授業参観	事前学習：参観する授業の学習指導案の分析 課題レポート提出（4時間）
4	高等学校の訪問I	授業参観①　第1時限開講の授業	事前学習：参観する授業の決定 参観レポート提出（4時間）
5	高等学校の訪問Ⅱ	授業参観②　第2時限開講の授業 （授業参観①と異なる教科の授業を参観する）	事前学習：参観する授業の決定 参観レポート提出（4時間）
6	ディスカッションⅠ	小・中学校の授業参観で学んだこと	事前学習：授業参観記録の整理 課題レポート提出（4時間）
7	ディスカッションⅡ	高等学校の授業参観で学んだこと	事前学習：授業参観記録の整理 課題レポート提出（4時間）
8	学習指導案の作成と教材研究Ⅰ	学習指導案の作成と教材準備について再確認する	事前学習：学習指導案の基礎基本 学習指導案提出準備（4時間）
9	指導案の作成と教材研究Ⅱ	模擬授業に向けた指導案作成と教材研究を深める	事前学習：教材研究 学習指導案提出準備（4時間）
10	指導案の作成と教材研究Ⅲ	作成した学習指導案をもとに教材作成	事前学習：教材候補の準備 学習指導案提出と教材作成（4時間）
11	模擬授業と板書の実際Ⅰ	Aグループによる模擬授業	事前学習：模擬授業の準備 授業レポート提出（4時間）
12	模擬授業と板書の実際Ⅱ	Bグループによる模擬授業	事前学習：模擬授業の準備 授業レポート提出（4時間）
13	模擬授業と板書の実際Ⅲ	Cグループによる模擬授業 模擬授業のまとめ（反省と課題）	事前学習：模擬授業の準備 授業レポート提出（4時間）
14	授業評価	授業評価について（よくわかる授業、良い授業にするために）	事前学習：授業の評価 課題レポート提出準備（4時間）
15	まとめ	良い授業の条件について まとめ	事前学習：良い授業とは 課題レポートの提出（4時間）

テキスト

必要に応じて、プリント資料を配布します。

成績評価の方法・基準

受講態度：30%　出席レポート：30%　実技：30%　レポート：10%
授業担当者全員で、協議し評価します。受講態度（A:積極的・意欲的、B:普通、C:消極的に出席状況を加味）、出席レポート（授業分析がA:十分できている、B:普通、C:不十分）、実技（指導案（A:通用する、B:何とか通用する、C:通用しない）と模擬授業（A:教壇に立てる、B:何とか立てる、C:不安がある））、レポート（理解度と自己課題の分析力等がA:優れている、B:普通、C:不十分）を総合的に評価します。全ての項目がA評価の場合、S評価の検討をします。

参考書

「『大西流授業の見方―授業を見る目を高めるノウハウ25』」大西貞憲／玉置崇著（KKプラネクサス 2010年）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

教育実習をする3年生は、履修することが望ましいです。授業参観を通して見出した課題を受講者が相互に出し合い、よい授業、よくわかる授業とはどのような授業かについて、本講義を通して理解を深めます。

科目名	地域教育活動	学年学期	1・2・3・4年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	A-01
担当者	征矢野　達彦	必修選択	選択必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日4限、金曜日4限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、中(英語)、高(英語)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本科目は、地域の教育関係組織や団体等の諸活動に学生たちがボランティアとして参加し、地域社会に対する理解を深めるとともに、大学で学んだ理論を実際の場で検証する機会の提供を目的とします。具体的には、地域の教育関係組織・団体及び社会福祉関係の施設での教育活動を30時間以上行い、その活動証明書、レポート作成をもって単位の認定を行います。

学修到達目標

1. 地域社会の教育関係組織・団体での実際の体験や活動を通して、豊かな人間観、教育観を形成する一助とする。
2. 自発的、積極的態度を身につけ、人間関係の構築(コミュニケーション)の仕方、社会人としての常識の基本を学ぶ。
3. 活動を通して地域社会を体験的に理解し、関心を深める。

授業の進め方

最初に本授業科目の意義とねらいを十分理解させた上で、受講生たちが参加できる地域の教育関係組織・団体や社会福祉施設等を一例として提示します。受講生は教育活動に参加して、その結果をレポートとして提出し、総括とします。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス1	地域教育活動の授業の意義とねらい及び学内手続きの方法	シラバスの読み(4時間)
2	ガイダンス2	参加可能な機関・団体の一例紹介と参加者の心構え	第1回授業の復習と自己の活動計画の検討、作成(4時間)
3	地域教育活動への参加1	地域教育活動への参加(活動先でのガイダンス)	教育活動先についての理解(4時間)
4	地域教育活動への参加2	地域教育活動への参加(コミュニケーションの取り方)	自己の活動態度等についての省察(4時間)
5	地域教育活動への参加3	地域教育活動への参加(個別指導を中心として)	自己の活動態度等についての省察(4時間)
6	地域教育活動への参加4	地域教育活動への参加(集団指導を中心として)	自己の活動態度等についての省察(4時間)
7	地域教育活動への参加5	地域教育活動への参加(活動の中間総括)	自己の活動態度等についての省察、活動報告会への準備(4時間)
8	地域教育活動報告会	中間の活動報告と自己の課題の確認	自己の活動態度等についての省察(4時間)
9	地域教育活動への参加6	地域教育活動への参加(中間教室との関わり)	自己の活動態度等についての省察(4時間)
10	地域教育活動への参加7	地域教育活動への参加(特別支援学級との関わり)	自己の活動態度等についての省察(4時間)
11	地域教育活動への参加8	地域教育活動への参加(放課後学習支援の取り組み)	自己の活動態度等についての省察(4時間)
12	地域教育活動への参加9	地域教育活動への参加(児童センターとの関わり)	自己の活動態度等についての省察(4時間)
13	地域教育活動への参加10	地域教育活動への参加(活動の総括)	自己の活動態度等についての省察、活動報告会への準備(4時間)
14	地域教育活動報告会Ⅰ	地域教育活動の活動状況の報告	自己の活動態度等についての省察と活動成果のまとめ(4時間)
15	地域教育活動報告会Ⅱ	地域教育活動の活動状況の報告とまとめ	レポートの作成

テキスト

使用しません。

成績評価の方法・基準

受講態度：30%　レポート：70%
S:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に意欲的に取り組み、各回の授業内容をすべて理解して、正しく文章で表現することができる。A:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に取り組み、各回の活動で学んだことを理解し、正しく文章で表現することができる。B:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に取り組み、各回の活動で学んだことについて概ね理解し、文章で表現することができる。C:到達目標達成を理解して、課題に取り組み、各回の活動で学んだことを表現できる。

参考書

必要に応じて提示します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

本授業は、学校教育活動との2科目の中から1科目選択という選択必修科目です。

科目名	学校教育活動	学年学期	2・3・4年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	A-01
担当者	征矢野　達彦・小林　敏枝・内藤　千尋	必修選択	選択必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日4限、金曜日4限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、中(英語)、高(英語)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本科目は、県内の義務教育学校における教育活動に学生たちがボランティアとして参加し、学校という組織に対する理解を深めると共に、本学で学んだ教職に関する理論を実際の場で検証する機会を提供することを目的とします。具体的には、学校での教育活動を30時間以上行い、その活動証明書、レポート作成をもって単位の認定を行います。

学修到達目標

1、自己の子ども理解を深め、子ども観を形成する一助とする。
2、教育活動での体験をもとに、学内での教職課程科目への理解を深める。
3、自発的、積極的態度を身につけ、人間関係の構築の仕方、社会人としての常識の基本を学ぶ。

授業の進め方

最初に本授業科目の意義とねらいを十分に理解したうえで、それぞれの自己の興味・関心にそって概ね半年以上にわたる教育活動に参加し、その結果をレポートとして提出し、総括をします。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス1	学校教育活動の授業の意義とねらい	シラバスの読み、および教職課程履修の手引きの熟読(4時間)
2	ガイダンス2	参加可能小中学校の紹介と参加者の態度・心構え	第1回授業の復習と自己活動計画の検討、作成(4時間)
3	活動参加1	学校教育活動への参加(活動先でのガイダンス)	活動先への理解(4時間)
4	活動参加2	学校教育活動への参加(教員の職務を中心に)	自己の活動態度等についての省察(4時間)
5	活動参加3	学校教育活動への参加(学校の校務分掌の理解)	自己の活動態度等についての省察(4時間)
6	活動参加4	学校教育活動への参加(学級内での活動－個別指導)	自己の活動態度等についての省察(4時間)
7	活動参加5	学校教育活動への参加(学級内での活動－集団指導)	自己の活動態度等についての省察、活動報告会準備(4時間)
8	学校教育活動中間報告会	学校教育活動への参加状況の報告	自己の活動態度等についての省察(4時間)
9	活動参加6	学校教育活動への参加(生徒指導を中心に)	自己の活動態度等についての省察(4時間)
10	活動参加7	学校教育活動への参加(学級活動を中心に)	自己の活動態度等についての省察(4時間)
11	活動参加8	学校教育活動への参加(学年・学校行事の活動を中心に)	自己の活動態度等についての省察(4時間)
12	活動参加9	学校教育活動への参加(児童会・生徒会活動を中心に)	自己の活動態度等についての省察(4時間)
13	活動参加10	学校教育活動への参加(キャリア教育、進路指導を中心に)	自己の活動態度等についての省察、活動報告会準備(4時間)
14	学校教育活動報告会1	学校教育活動参加報告会	自己の活動態度等についての省察、活動成果のまとめ(4時間)
15	学校教育活動報告会2	学校教育活動参加報告会と全体でのまとめ	レポートの作成(4時間)

テキスト

使用しません。

成績評価の方法・基準

レポート：70%
受入校の評価：30%　S:到達目標達成のために探求心をもって課題に誠実に意欲的に取り組み、正しく文章で表現できる。A:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に取り組み、活動内容と課題を文章で表現できる。B:到達目標達成のために探求姿勢をもって課題に取り組み、各回の活動で学んだことの振り返りをし、文章で表現できる。C:到達目標達成を理解して、課題に取り組み、各回の活動で学んだことを表現できる。

参考書

必要に応じて提示します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

本授業は、松本市内の小中高へのボランティア活動を主要な内容とするため、本学のボランティア活動を行う際の諸注意を遵守する。地域教育活動との2科目の中から1科目選択という選択必修科目です。

科目名	生涯学習概論	学年学期	3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TB360117	研究室	W-20
担当者	向井　健	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日4限		
関連資格	学芸員、高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)	履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎				○	△	

授業概要

広く地域に目を向けると、学校教育の枠にとどまらず、さまざまな場所で、様々なな世代の人たちが互いに学びあっている姿があることに気がつきます。そのような住民の学習活動を支えていくためには、社会教育・生涯学習にはどのようなことが求められるのでしょうか。身近な長野県や松本市における事例も紹介しながら、考えていきたいと思います。

学修到達目標

1、社会教育・生涯学習とは何かを知り、これからの社会教育・生涯学習のあり方について考えることができる。
2、地域の中で展開する住民の学習活動に目をむけ、そのような活動を支える社会教育・生涯学習の意義について考えることができる。

授業の進め方

資料・レジュメは適宜配布します。講義形式のほか、住民の学習実践過程の分析のグループワーク、身近な地域の生涯学習実践者をゲストスピーカーとして招き話を聞く特別講義、社会教育施設のフィールドワークにも取り組みます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	社会教育・生涯学習とは	社会教育・生涯学習の概念について学びます。何故、どんな時に、人は学びを求めるのか。「生きること」を励ます学びとは何か。持続可能な地域を創造する学びとは何か、ということを考えていきます。	事後学習：序章のふりかえり（4時間）
2	社会教育・生涯学習の思想と方法	社会教育・生涯学習では、どのようなことを大事にしてきたのでしょうか。社会教育・生涯学習をめぐる思想や方法について学びます。	事後学習：第1章・プリントのふりかえり（4時間）
3	社会教育・生涯学習の歴史①	社会教育・生涯学習の歴史①として、1950年代における共同学習運動を取り上げ、「表現すること」のもつ教育的意義について考えます。	事後学習：第1章・プリントのふりかえり（4時間）
4	社会教育・生涯学習の歴史②	社会教育・生涯学習の歴史②として、1950～60年代に長野県で花開いた農村青年学習運動や信濃生産大学の事例を取り上げ、その意義について考えます。	事後学習：第2・4章のふりかえり（4時間）
5	社会教育・生涯学習の歴史③	社会教育・生涯学習の歴史③として、1970年代後半の松川町で取り組まれた松下拡による健康学習実践の分析を通して「意識化」の論理について学びます。	事後学習：第6章・プリントのふりかえり（4時間）
6	社会教育・生涯学習の行財政	住民の学習権を保障する社会教育・生涯学習に関わる行財政とその課題について考えます。また自分自身が住んでいる自治体の社会教育行政がどのようになっているのかを具体的に調べてもらいます。	事後学習：第3章・プリントのふりかえり（4時間）
7	地域づくりに取り組む社会教育・生涯学習	公民館を核としながら住民主体の地域づくりを支える仕組みづくりに取り組んできた松本市の取り組みについて学びます。	事後学習：第7章のふりかえり（4時間）
8	「地域と学校」をめぐって	「地域と学校」をめぐってどのような議論がなされてきたのかをフォローしながら、子ども・若者を育つコミュニティを培う社会教育・生涯学習の役割とは何か、ということについて考えます。	事後学習：プリントのふりかえり（4時間）
9	住民の学びを支える社会教育施設	住民の学びを支える社会教育施設について学びます。とりわけこの回では、社会教育・生涯学習の観点から博物館について取り上げます。	事後学習：プリントの振り返り（4時間）
10	ゲストスピーカーの話を聴く	実際にこの地域で活動されてきた地域住民もしくは社会教育職員の方にお話を聞きます。	事前学習：身近な地域の社会教育・生涯学習の状況について調べて質問事項を考える（4時間）
11	社会的排除に取り組む社会教育・生涯学習	現代的課題としての社会的排除問題について学び、その課題解決に取り組む社会教育・生涯学習の意義について考えます。あわせて障がい者喫茶コーナーなどの取り組みなども紹介します。	事後学習：第5章の振り返り（4時間）
12	3.11後の地域再生教育と社会教育・生涯学習	被災地におけるコミュニティの再生に果たした社会教育・生涯学習の役割を学ぶとともに、3.11以後社会にもとめられる社会教育・生涯学習とは何かを考えます。	事後学習：第8章の振り返り（4時間）
13	社会教育施設フィールドワーク	特徴的な社会教育施設のフィールドワークを通して、そこがどのような「学びの場」における環境醸成に取り組んでいるのかを読み取り、報告してもらいます。	事後学習：フィールドワークの結果をまとめる（4時間）
14	社会教育・生涯学習にかかわるしごととその力量形成	社会教育・生涯学習にかかわるしごとについて学ぶとともに、住民の学習を支えていく仕事をしていくために求められる力量形成のあり方について考えます。	事後学習：終章の振り返り（4時間）
15	まとめ	講義を総括し、これから求められる社会教育・生涯学習について考えます。	事前学習：これまでの講義の振り返り（4時間）

テキスト

「社会教育・生涯学習論」鈴木敏正ほか著（学文社）（別途、指示します。）

成績評価の方法・基準

課題：30%　定期試験：70%
課題30%、定期試験70%　S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組むことができている。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B：授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。

参考書

「地域学習の創造：地域再生へ学びを拓く」佐藤一子著（東京大学出版会）　ISBN：978-4130513272
「公民館で地域がよみがえる」白戸洋著（松本大学出版）　ISBN：978-

履修上の注意（学生へのメッセージ）

長野県、そして松本市は社会教育・生涯学習が盛んな地域として全国的に知られています。身近な足元の住民の学習活動に目を向けてみましょう。きっと今まで見てきた地域が違った色をもって見えてくるはずです。

科目名	教職特講演習Ⅰ（教師に求められる実践的指導力）	学年学期	2・3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	小松　茂美	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)、中(英語)、高(英語)	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

将来、教職に就くために必要な力を身につけます。教員採用試験（小、中、高、特別支援学校教員）の内容を理解し、現状における自己課題を認識しながら教員採用試験合格のための方策について考え、その対応力を高めます。また、新規採用教員、臨時的任用教員（講師等）等についての情報を提供し、教職への夢を失わずに教職へ進むに際しての基礎・基本の大切さを学習します。模擬授業も取り入れ、授業力向上にも取り組みます。

学修到達目標

教員のやりがい、求められる教員の資質と能力について理解を深め、併せて、教育に対する課題意識を高めるとともに、プレゼンテーション能力の向上を図る。また、思考した内容を文字にする能力を高める。

授業の進め方

講義とグループ討議、各自の意見発表を中心に進めます。自分の考えを簡潔にまとめ、文字にして発表を行い、お互いの議論を深める時間を多く取ります。模擬授業では、専門外の模擬授業を聴くことにより、自身の授業力向上に役立てます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	ガイダンス 授業概要と授業計画、夢の実現のための取り組み、主体的な学習姿勢の構築について、教員採用試験について	本時の内容の記録整理 （2時間）
2	理想の教員像	本学教職志望学生が考える理想の教員像について討議 本学が目指す教員像について	事前学習：理想の教員像 授業レポート（課題）提出 （3時間）
3	教員の魅力	教員の魅力について考え、意見交換 学習指導案作成の基本について	事前学習：教員の魅力 学習指導案作成 （6時間）
4	教育の現状と課題	教育の現状と課題について（長野県教育振興基本計画より） 具体的学習指導案の作成	事前学習：学習指導案作成 模擬授業の準備 （4時間）
5	学力の課題	我が国の学力の課題について考える 模擬授業の実践及び意見交換①	事前学習：学力の課題 授業レポート（課題）提出 （4時間）
6	グループ学習についてⅠ	グループ学習の利点と課題について考える 模擬授業の実践及び意見交換②	事前学習：意見発表の在り方 授業レポート（課題）提出 （4時間）
7	模擬授業のまとめ	模擬授業の実践及び意見交換③ 模擬授業のまとめ	模擬授業の振り返り 授業レポート（課題）提出 （6時間）
8	グループ学習についてⅡ	主体的で学びの深まるグループ学習について考える	事前学習：主体的なグループ学習のあり方／授業内容を確認し記録整理する／（4時間）
9	グループ学習についてⅢ	グループ学習の課題・注意点について考える	事前課題：陥りやすいグループ学習の課題と対応策／授業内容を確認し記録整理する／（4時間）
10	個人面談のあり方について	個人面談での対応・指導のあり方について ・「いじめ」の訴えについてどう対応したらよいか	事前課題：いじめ 授業内容を確認し記録整理する （4時間）
11	教員の資質と能力	求められる教員の資質と能力について考える ・不易と流行（変わらず求められているもの、これから求められるもの）	事前課題：教員の資質能力 授業レポート（課題）提出 （4時間）
12	学校の危機管理Ⅰ	事件や事故、自然災害発生時の対応について理解を深める	事前学習：事故発生時の対応 授業内容を確認し記録整理 （4時間）
13	学校の危機管理Ⅱ	保護者や地域の方からの意見・要望への対応のあり方について理解を深める	事前学習：モンスターペアレント 授業内容を確認し記録整理 （5時間）
14	学級担任及び特別支援教育	学級担任の役割について理解を深める 特別支援教育についての理解を深める	事前学習：学級担任の役割 授業内容を確認し記録整理 （6時間）
15	まとめ	当初の目的が達成されたか ・教員を目指すうえで今の自分に不足していること、これからすべきこと	事前学習：自己分析 レポートの提出 （4時間）

テキスト

毎時間、プリント資料を使用します。

成績評価の方法・基準

受講態度：50%　出席レポート：30%　レポート：20%
受講態度（A:意欲的・積極的、B:普通、C:消極的とし、出席状況を加味）、出席レポート（授業レポートによりA:的を得ている、B:概ね得ている、C:不十分）、レポート（A:分析・整理が的確であり自分の意見を述べることができている、B:分析・整理又は自分の意見が不十分、C:分析・整理及び自分の意見ともに不十分）を総合的に評価します。全ての項目がA評価の場合、S評価の検討をします。

参考書

「学校経営の危機管理　～トラブル対応と法的解釈～　1・2」（第一法規）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

教職への進路を前提にした授業です。毎時間、各自課題意識をもって授業に臨み、課題解決に向けて積極的に取り組むことを希望します。

科目名	教職特講演習Ⅱ（保健体育科教員としての基礎知識）	学年学期	2・3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	S-13
担当者	岩間　英明	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本講義は基本的に中学校・高等学校の保健体育科教員として必要な専門知識を、実際の保健授業で活用できるようにより具体化した内容として学ぶことを目的としています。学習指導要領に示されている各領域の内容について、子どもに指導する際に押さえておかなければならない詳細なポイントを徹底したドリル学習により身につけていきます。

学修到達目標

中学校･高等学校の保健体育教員として、保健授業に活用できる程度までより詳細に具体化した知識として身につけている。具体的には保健授業で実際に起こり得る学習指導の課題や教員採用試験の問題などを例に、体育教師としてどのような知識が必要なのかを考察し、それが完全に身につくまで繰り返し学習し、教員採用試験に合格できる力を身につける。

授業の進め方

本講義ではこれまで「指導法」の講義で学んだ内容を復習した後、例題に沿って基本的な課題や問題を全員で考察して理解を深めていきます。さらにその後は、各自でいくつかの例題に取り組み、より確かな知識とします。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業の目的、学習の進め方を確認します。実際の教員採用試験の問題に取り組み、現在の自分の力を認識します。	事前にシラバスを読んでくる。教員採用試験のできなかったところを再度学習する。(4時間)
2	学習指導要領(1)	体育教師として理解しておかなければならない学習指導要領の内容について学習し、例題に取り組んで知識を深めます。	学習指導要領について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
3	学習指導要領(2)	体育教師として理解しておかなければならない学習指導要領の内容について学習し、例題に取り組んで知識をより確かなものとします。	学習指導要領について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
4	現代社会と健康(1)	“健康の考え方、心身の機能の発達、精神の健康”について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	関連する内容について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
5	現代社会と健康(2)	“健康の保持増進と疾病の予防、交通安全、傷害の防止”について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	関連する内容について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
6	現代社会と健康(3)	“応急手当”について、その内容と実習を取り入れた指導方法について学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	応急手当について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
7	生涯を通じる健康(1)	“生涯の各段階における健康”について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	生涯の各段階における健康について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
8	生涯を通じる健康(2)	“保健･医療制度及び地域の保健･医療機関”について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	保健･医療制度及び地域の保健･医療機関について予習し、わからなかった例題を復習する。(4時間)
9	生涯を通じる健康(3)	“様々な保健活動や対策”について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	様々な保健活動や対策について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
10	社会生活と健康(1)	“環境と健康”について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	健康と環境について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
11	社会生活と健康(2)	“環境と食品の保健”について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	環境と食品の保健について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
12	社会生活と健康(3)	“労働と健康”について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	労働と健康について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
13	保健指導の多様な指導方法の実際	“ディスカッション、ブレインストーミング、ロールプレイング、実験、実習”などの多様な指導方法について学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	多様な指導方法について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
14	総合問題(1)	基本的な内容の総合問題に取り組んで、これまでの学習の成果や今後の課題を見つけていきます。	これまでの学習内容について復習しておき、総合問題の結果から今後の学習を見通す。(4時間)
15	総合問題(2)	応用的な内容の総合問題に取り組んで、これまでの学習の成果や今後の課題を見つけていきます。	これまでの学習内容について復習しておき、総合問題の結果から今後の学習を見通す。(4時間)

テキスト

「2019年度　教員採用試験対策　中学･高校保健体育」東京アカデミー編（七賢出版）　ISBN:978-4-86455-272-1（生協で購入してください。）　また、中学・高等学校（保健体育）学習指導要領解説をそれぞれ購入してください。

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　小テスト：20%
基本的には定期テスト及び講義内で実施する小テストの合計点数で評価しますが、得点の伸び率(学習の努力の度合い）も考慮していきます。Sは全体で9割以上の得点。Aは8割以上の得点。Bは7割以上の得点。Cは6割以上の得点を必要とします。また、それぞれ、15回の講義の得点変動を得点化して若干ですが加算します。

参考書

教員養成セミナー（時事通信社）、教職課程（共同出版）などの教員採用に関する月刊誌も読んでいくと、受講する上で大変参考になります。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

体育教員として必要な保健の専門知識を身につけるため、演習問題に数多く取り組みます。内容が幅広いので、授業だけでなく、それ以外の時間も継続的に学習を進めていくことが重要になります。

科目名	教職特講演習Ⅲ（保健体育科の学習指導法）	学年学期	2・3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	S-13
担当者	岩間　英明	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本講義は基本的に中学校・高等学校の保健体育科教員として必要な専門知識を、実際の体育授業で活用できるようにより具体化した内容として学ぶことを目的としています。学習指導要領に示されている各領域の内容について、子どもに指導する際に押さえておかなければならない詳細なポイントを徹底したドリル学習により身につけていきます。

学修到達目標

中学校･高等学校の保健体育教員として、体育授業に活用できる程度まで詳細に具体化した知識を身につける。具体的には体育授業で実際に起こり得る学習指導上の課題や教員採用試験の問題などを例に、体育教師としてどのような知識が必要なのかを考察し、それが完全に身につくまで繰り返し学習し、教員採用試験に合格できる力を身につける。

授業の進め方

本講義ではこれまで「指導法」の講義で学んだ内容を復習した後、例題に沿って基本的な課題や問題を全員で考察して理解を深めていきます。さらにその後は、各自でいくつかの例題に取り組み、より確かな知識とします。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業の目的、学習の進め方を確認します。実際の教員採用試験の問題に取り組み、現在の自分の力を認識します。	事前にシラバスを読んでくる。教員採用試験のできなかったところを再度学習する。(4時間)
2	学習指導要領(目標及び内容)	体育教師として理解しておかなければならない学習指導要領の内容について学習し、例題に取り組んで知識を深めます。	学習指導要領について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
3	学習指導要領(内容の取り扱い)	体育教師として理解しておかなければならない学習指導要領の内容について学習し、例題に取り組んで知識をより確かなものとします。	学習指導要領について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
4	体つくり運動	「体つくり運」について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「体つくり運動」について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
5	器械運動	「器械運動」について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「器械運動」について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
6	陸上競技	「陸上競技」について、その内容と実習を取り入れた指導方法について学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「陸上競技」について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
7	水泳	「水泳」について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「水泳」について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
8	球技（ゴール型）	「球技(ゴール型）」について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「球技(ゴール型）」について予習し、わからなかった例題を復習する。(4時間)
9	球技(ネット型)	「球技(ネット型）」について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「球技(ネット型）」について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
10	球技（ベースボール型）	「球技(ベースボール型）」を中心に球技全般について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「球技(ベースボール型）」について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
11	武道(柔道)(剣道)	「武道(柔道)(剣道）」について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「武道(柔道)(剣道）」について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
12	武道(相撲)及びダンス	「武道(相撲）」及びダンスについて、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「武道(相撲）」「ダンス」について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
13	体育理論	「体育理論」について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「体育理論」について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
14	総合問題(1)	基本的な内容の総合問題に取り組んで、これまでの学習の成果や今後の課題を見つけていきます。	これまでの学習内容について復習しておき、総合問題の結果から今後の学習を見通す。(4時間)
15	総合問題(2)	応用的な内容の総合問題に取り組んで、これまでの学習の成果や今後の課題を見つけていきます。	これまでの学習内容について復習しておき、総合問題の結果から今後の学習を見通す。(4時間)

テキスト

「2019年度　教員採用試験対策　中学･高校保健体育」東京アカデミー編（七賢出版）　ISBN:978-4-86455-272-1（生協で購入してください。）　また、中学・高等学校（保健体育）学習指導要領解説をそれぞれ購入してください。

成績評価の方法・基準

定期試験：90%　課題：10%
基本的には定期テスト及び講義内で実施する課題の合計点数で評価しますが、得点の伸び率(学習の努力の度合い）も考慮していきます。Sは全体で9割以上の得点。Aは8割以上の得点。Bは7割以上の得点。Cは6割以上の得点を必要とします。また、それぞれ、15回の講義の得点変動を得点化して若干ですが加算します。

参考書

教員養成セミナー（時事通信社）、教職課程（共同出版）などの教員採用に関する月刊誌も読んでいくと、受講する上で大変参考になります。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

体育教員として必要な保健の専門知識を身につけるため、演習問題に数多く取り組みます。内容が幅広いので、授業だけでなく、それ以外の時間も継続的に学習を進めていくことが重要になります。

科目名	教職特講演習Ⅳ（養護教諭としての基礎知識）	学年学期	2・3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	S-19
担当者	中島　節子	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本講義は、養護教諭として必要な専門知識と技術を獲得することを目的とします。そのため、健康に関する基礎的事項をはじめ、児童生徒が罹患しやすい疾病の成り立ち、予防、治療、保健室でのケア等の知識を修得します。また、養護教諭の職務に関する学校保健情報、健康診断、健康相談、保健室運営等についての知識を深め、養護教諭としての基礎能力を高め、実践につなげていけるようにします。

学修到達目標

養護教諭としての専門的知識と技術を既習学習を復習しながら理解できるようになる。
健康相談活動、応急手当、保健指導などを事例に応じて実践できるようになる。

授業の進め方

専門的知識を深めるために、各回テーマを決めて、事例検討、確認問題と解説を繰り返しながら進めます。また、実践力を身につけるためにロールプレイングを取り入れ、連携、コミュニケーション、カウンセリングについて演習しながら技術を向上させます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション　養護教諭の職務と必要な能力	オリエンテーションを行います。 養護教諭の職務および必要な能力について討議します。	養護教諭の職務について予習、復習する。（4時間）
2	保健室の機能と経営	保健室の法的根拠、保健室の機能、保健室の経営、保健室登校について確認問題を行い、解説をしながら学習します。	保健室の機能と経営について予習、復習する。（4時間）
3	感染症予防	感染症の種類、関係法令について学び、感染症予防について学習します。	感染予防について予習、復習する。事例について基礎的な部分を調べレポートする。（4時間）
4	危機発生時における対応	危機発生時における対応について演習を含めて学びます。危機発生時の児童生徒の心のケアについて関係者との連携を含めて学びます。	危機発生時の事例に対応できるように予習し、実施したことについて復習する。（4時間）
5	健康観察	健康観察の目的、実施、養護教諭の処置と対応について学びます。健康観察の実施は演習を交えて行います。	健康観察について実践できるように予習してくる。実践したことについて復習をする。（4時間）
6	健康観察と事後措置	健康観察の方法と事後措置について事例を通して考えます。ロールプレイング方式で実践できる能力を養います。	健康観察（フィジカルアセスメント含）について、実践できるように予習する。（4時間）
7	健康診断	健康診断の計画、準備、実施方法について確認問題を行い、解説しながら学習します。発達障害などの特殊な場合の健康診断の方法を検討、実施する。	健康診断と発達障害についてについて予習レポートする。（4時間）
8	健康診断の事後措置	健康診断の事後措置の方法について事例を用いて考えます。最近の疾病傾向と対策について学びます。	児童生徒の多い疾患についてレポートにまとめる。（4時間）
9	児童生徒に多い疾患Ⅰ	心疾患、腎疾患、糖尿病などの疾患について確認問題を行います。それぞれの事例をとおして保健指導等の方法を考えます。ロールプレイングしながら面接方法を検討します。	疾患について基礎的なことを予習しレポートにまとめる。事例の展開を考える。（4時間）
10	児童生徒に多い疾患Ⅱ	アレルギー疾患などの疾患について確認問題を行います。それぞれの事例をとおして保健指導等の方法を考えます。ロールプレイングしながら面接方法を検討します。	疾患について基礎的なことを予習しレポートにまとめる。事例の展開を考える。（4時間）
11	救急処置	救急体制の整備と応急手当について実技を含めた確認問題を行います。事例を通して実際の対応の仕方を考えます。	救急蘇生法について予習し、事例に対応できるようにしておく。（4時間）
12	学校に多い外傷の対応	打撲、外傷、捻挫、骨折、脱臼、熱傷の対応についての確認問題を行います。事例を通して、実際の対応を演習します。	学校に多い外傷の病態をまとめ、対応について予習史事例に対応できるようにする。（4時間）
13	養護教諭に必要な専門知識1	食育、性教育についての確認問題を行います。保健指導を指導案を作成して模擬指導を行います。	食育、性教育について予習復習する。保健指導案を作成する。（4時間）
14	養護教諭に必要な専門知識2	飲酒、喫煙、薬物乱用について健康被害と予防教育について確認問題を行います。	飲酒、喫煙、薬物乱用について予習、復習する。（4時間）
15	学校環境衛生基準	学校環境衛生の法的根拠と検査についての確認問題を行います。解答を解説しながら学びます。	学校環境衛生の法的根拠と検査方法について予習、復習する。（4時間）

テキスト

配布資料を用います。

成績評価の方法・基準

レポート：20%　定期試験：60%　実技：20%
既習学習を復習しながら応用、実践できる能力が身についているか確認します。レポート提出は確実にできている。S:事前学習を行い養護教諭としての基礎的知識や技術が身について、事例に応じて応用できる。A:養護教諭としての基礎的知識や技術が身について、事例に対応できる。B:養護教諭として基礎的な知識や技術は身についているが、事例に対応する場合には指導を必要とする。C:養護教諭としての基礎的知識や技術は一応身についているが、応用するにはかなりの指導を要する。

参考書

「よくわかる養護教諭」時事通信出版局編（時事通信社）
「4訂　養護概説」三木とみ子著（ぎょうせい）　ISBN：978-4-324-08594-3

履修上の注意（学生へのメッセージ）

養護教諭志望学生のための選択科目ですから、主体的に臨むことを希望します。養護教諭の専門的知識や身体及び疾患に関する基礎的な知識・技術を確実に身につけ、実践に結びつけることが前提となり3年以降での受講が望ましい。

科目名	教職特講演習Ⅴ（養護教諭としての実践的指導力）	学年学期	2・3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	S-19
担当者	中島　節子	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

養護教諭の職務の中でも特に専門的能力の必要な保健指導、健康相談活動等に関する基礎的知識を深く学び、児童生徒に対する指導、健康相談が実践能力を培うことが目的です。様々な悩み・不安・苦痛を抱えて保健室に来室する児童生徒の事例をとおして学びます。そして、養護教諭の役割についての理解を深めます

学修到達目標

養護教諭としての保健指導や、健康相談ができる能力を身につける。
ロールプレイングを通して、実践に結びついた判断力やコミュニケーション能力を身につける。

授業の進め方

学校で遭遇する機会の多い健康相談事例について、各自が事前レポートを書いてから事例検討を行います。また、ロールプレイングを交え実際に対応できる能力を身につけます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	オリエンテーションを行い、 指導のために必要な能力、資料・教材の活用の仕方、観察方法を学びます。	養護教諭についての既習学習の内容を復習しておきます。（4時間）
2	フィジカルアセスメント	養護診断を行う時のフィジカルアセスメントの方法について演習を交えながら学びます。	フィジカルアセスメントについて予習復習する。（4時間）
3	事例1	腹痛、頭痛などの内科的な身体症状を訴える事例について展開し、検討します。	事前に提示した疾患や腹痛、頭痛について学習しておきます。（4時間）
4	事例2	腰痛、関節痛などの外科的な身体症状を訴える事例について展開し、検討します。	事前に提示した疾患や腰痛、関節痛について学習しておきます。（4時間）
5	事例3	精神症状を訴える事例について展開します。医療が必要と判断される場合の連携や治療中のこどもとの関わりについて学びます。	事前に提示した疾患について学習しておきます。（4時間）
6	事例4	不定愁訴があり、疾患を否定される事例を展開します。情報の分析の仕方を検討します。	事前に提示した疾患について学習しておきます。（4時間）
7	事例5	いじめ、不登校などの事例を展開し、養護教諭のかかわりについて検討します。	いじめ、不登校についてまとめる。（4時間）
8	事例6	性の逸脱行動、虐待に関する事例を展開し、養護教諭の役割について検討します。	性の逸脱行動、虐待についてまとめる。（4時間）
9	集団指導1	集団指導が実施できるように、指導案の作成方法や教材研究の基本を学びながら、各自でテーマを決めて実際に指導案を作成します。	テーマについての資料集めと指導案作成をする。（4時間）
10	集団指導2	各自のテーマと対象に合わせて、指導案に基づいて教材を作成し、集団指導を行えるように準備します。	指導のための教材を作成する。（4時間）
11	集団指導の実施	集団指導をお互いに実施し、評価・検討します。	各自の集団指導の振り返りをする。（4時間）
12	養護教諭に必要な専門的知識・解剖	養護教諭に必要な消化器、循環器、脳神経、感覚器などの人体の解剖や生理学について学びます。	解剖学の復習する。（4時間）
13	養護教諭に必要な専門的知識・法律	学校保健安全法など養護教諭に必要な法律について学びます。	養護教諭に関連した法律について復習する。（4時間）
14	学校保健	学校保健における養護教諭の役割を学び、学指導要領の内容を確認します。小、中、高の指導内容の特徴を発達段階に合わせて検討する。	小、中、高の学習指導要領の内容を確認する。（4時間）
15	まとめ	養護教諭に必要な資質と能力について個々の考えをもとに討議します。	養護教諭に必要な資質と能力についてまとめる。（4時間）

テキスト

必要に応じて資料を配布します。

成績評価の方法・基準

定期試験：70%　課題：30%
既習学習を復習しながら応用、実践できる能力が身についているか確認します。レポート提出は確実にできている。S:養護教諭としての知識や技術が身について、事例に応じて応用できる。A:養護教諭としての基礎的知識や技術が身について、事例に対応できる。B:養護教諭として基礎的な知識や技術は身についているが、事例に対応する場合には指導を必要とする。C:養護教諭としての基礎的知識や技術は一応身についているが、応用するにはかなりの指導を要する。

参考書

「新訂版　学校保健実務必携　第2次改訂版」（第一法規出版）
「新版　養護教諭の行う健康相談」井手元美奈子　大原栞子著大谷尚子　鈴木美智子編（東山書房）　ISBN：978-4-8278-1546-7

履修上の注意（学生へのメッセージ）

養護教諭としての実践能力を身につけるために、事例を展開していきます。コミュニケーションやカウンセリング能力、他者との連携についてもロールプレイングなどで実践していくので積極的に参加してください。

科目名	教職特講演習 Ⅵ（学校課題の理解と教師の対応力）	学年学期	2・3・4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	小松　茂美	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)、中(英語)、高(英語)	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

近年、保護者や地域住民からの学校に対する意見や要望は多様化しています。場合によっては、保護者と学校が対立し合い、互いに苦しむ状況に陥ることも珍しくはありません。そのような状況を未然に防ぐためには、教職員の初期対応が非常に重要であると言われています。本授業では、保護者等へのよりよい対応について複数の事例をとおして学び、教員としての対応能力（コミュニケーション能力）を高めながら教員と保護者や地域住民との良好な関係づくりのありについて学びます。

学修到達目標

学校（教員）と保護者とのトラブルの具体的な事例について学習することにより、教員に求められる重要な力の1つである「保護者への対応力」を高める。

授業の進め方

東京都教育委員会が作成した手引「学校問題解決のための手引〜保護者との対話を活かすために〜」を主に活用する形で、講義とグループ討議を交えながら、いくつかの具体的な事例についての学習を進めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業概要と授業計画 保護者とトラブルになる具体的なケースについて	レポート提出準備：本時のまとめ （2時間）
2	教員の苦情のとらえ方	教員と他の職場との苦情のとらえ方に違いはあるか （「日本苦情白書」から） 苦情の原因について	事前学習：苦情の現状 レポート提出準備：本時のまとめ （4時間）
3	学校近隣トラブルを考える	「苦情の申し出を邪険にしない」とはどういことかについて	事前学習：地域と学校のトラブルの現状／レポート提出準備：本時のまとめ／（4時間）
4	学校が行う保護者等へのよりよい対応①	大切な初期対応について	事前学習：初期対応具体的内容 課題レポートの提出 （6時間）
5	学校が行う保護者等へのよりよい対応②	対応が困難な場合の事例について	事前学習：保護者対応の10か条 課題レポート提出 （4時間）
6	児童虐待・いじめ・体罰・不登校	児童虐待・いじめ・体罰・不登校について理解を深める	事前学習：児童虐待の現状 レポート提出準備：本時のまとめ （4時間）
7	事例からつかむ対応のヒント①	「文書による回答を求められたケース」について	事前学習：何故文書による回答が求められるのか／レポート提出準備：本時のまとめ／（4時間）
8	事例からつかむ対応のヒント②	「児童虐待に関わる対応について苦情を受けたケース」について	事前学習：苦情対応の基本 レポート提出準備：本時のまとめ （4時間）
9	事例からつかむ対応のヒント③	「クラス内にいじめがあるのに担任は対応していないと苦情を受けたケース」について	事前学習：いじめ把握の困難さ 課題レポートの提出 （5時間）
10	進級・単位認定について	進級・単位認定について 義務教育（小学校・中学校）と高等学校の対応の違いについて	事前学習：単位認定 レポート提出準備：本時のまとめ （4時間）
11	事例からつかむ対応のヒント④	「単位認定の内容について抗議を受けたケース」について	事前学習：想定される単位認定に関するトラブル／レポート提出準備：本時のまとめ／（4時間）
12	事例からつかむ対応のヒント⑤	「進路指導への対応についての苦情を受けたケース」について	事前学習：進路指導体制のあり方 課題レポートの提出 （4時間）
13	危機管理	日常の危機管理意識の在り方について考える	事前学習：学校現場で起きやすいイージーミス／レポート提出準備：本時のまとめ／（4時間）
14	教育現場の課題①	有益な保護者懇談会や授業参観の持ち方について	事前準備：保護者懇談会等の目的 レポート提出準備：本時のまとめ （4時間）
15	教育現場の課題② まとめ	教育現場で抱えている具体的課題 保護者対応についてのまとめ（当初の目的が達成されたか、成果と課題）	事前学習：学校現場で抱えている具体的な課題／課題レポートの提出／（6時間）

テキスト

毎時間プリント資料を使用します。

成績評価の方法・基準

受講態度：50%　レポート：50%
受講態度（受講姿勢　A:意欲的・積極的、B:普通、C:消極的とし、出席状況を加味します）、レポート（A:課題に対する分析・整理が的確であり自分の意見を述べることができている、B:課題に対する分析・整理又は自分の意見が不十分、C:課題に対する分析・整理及び自分の意見ともに不十分）を総合的に評価します。全ての項目がA評価の場合、S評価の検討をします。

参考書

「学校問題解決のための手引〜保護者との対話を活かすために〜」東京都教育委員会編　東京都教育委員会のHPから
「学校経営の危機管理　〜トラブル対応と法的解釈〜　1・2」（第一法規）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

受講者自身の考え方や意見等を述べることで学習が深まりますので、意欲的・積極的に参加することを望みます。

科目名	教職特講演習 Ⅶ（教職教養の基礎）	学年学期	2・3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	A-18
担当者	川島　一夫・大藏　真由美	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日3限、木曜日4限、木曜日5限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)、中(英語)、高(英語)	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

目的：本講義は、主として教員採用選考試験を受験する学生を対象とし、教職教養の教育学、教育　心理学、発達心理学分野の基礎的知識の総まとめと課題演習により、基礎的な教職教養を身につけ、教員採用選考試験に際しても自信をもって臨むことができるようにします。概要：教育思想、教育史、教育課程、学習指導要領、教育心理学等の基礎的な知識の整理とまとめを行います。

学修到達目標

到達目標：1. 教職教養の教育学分野の基礎的知識を確実に身につける。
2. 教職教養の教育心理学・発達心理学分野の基礎的知識を確実に身につける。
3. 教員採用選考試験の教育学分野及び教育心理学・発達心理学分野の問題に関する理解を深める。

授業の進め方

授業は、プリント資料を準備し、教育学、教育心理学の各分野の基礎的、基本的知識を体系的に整理し、毎時間の課題演習によりそれらの知識を確実に身につけることができるように講義と演習形式で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	ガイダンス　授業のやり方についての説明	資料による問題の作成と回答(4時間)
2	心理学理論＆心理学史	心理学理論＆心理学史についての小テスト問題の回答と説明	授業で実施した小テストの復習をリフレクションペーパーにまとめる(4時間)
3	外国の教育思想	外国の教育思想についての小テスト問題の回答と説明	資料による問題の作成と回答(4時間)
4	学習理論・学習の過程	学習理論・学習の過程（動機付け、記憶と忘却、認知）についての小テスト問題の回答と説明	授業で実施した小テストの復習をリフレクションペーパーにまとめる(4時間)
5	教育課程・学習指導要領	教育課程・学習指導要領についての小テスト問題の回答と説明	資料による問題の作成と回答(4時間)
6	発達と発達理論	発達と発達理論についての小テスト問題の回答と説明	授業で実施した小テストの復習をリフレクションペーパーにまとめる(4時間)
7	教育方法・情報教育	教育方法・情報教育についての小テスト問題の回答と説明	授業で実施した小テストの復習をリフレクションペーパーにまとめる(4時間)
8	パーソナリティとパーソナリティ理論	パーソナリティとパーソナリティ理論についての小テスト問題の回答と説明	授業で実施した小テストの復習をリフレクションペーパーにまとめる(4時間)
9	教育行政・教育法規	教育行政・教育法規についての小テスト問題の回答と説明	資料による問題の作成と回答(4時間)
10	各種心理検査と教育現場での実際	各種心理検査と教育現場での実際についての小テスト問題の回答と説明	授業で実施した小テストの復習をリフレクションペーパーにまとめる(4時間)
11	生徒指導・学校、学級経営	生徒指導・学校、学級経営についての小テスト問題の回答と説明	授業で実施した小テストの復習をリフレクションペーパーにまとめる(4時間)
12	適応と適応機制・心理療法	適応と適応機制・心理療法についての小テスト問題の回答と説明	授業で実施した小テストの復習をリフレクションペーパーにまとめる(4時間)
13	特別支援教育	特別支援教育についての小テスト問題の回答と説明	授業で実施した小テストの復習をリフレクションペーパーにまとめる(4時間)
14	教育評価	教育評価についての小テスト問題の回答と説明	授業で実施した小テストの復習をリフレクションペーパーにまとめる(4時間)
15	まとめ	まとめ	授業の振り返りと反省レポート (4時間)

テキスト

使用しない。授業担当者が毎時間プリント資料を準備する。

成績評価の方法・基準

レポート：80%　出席レポート：20%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもってレポートに取り組み、小テストでは、全問題に正解できる。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもってレポートに取り組み、殆どの小テストが正解できる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられたレポートに誠実に取り組み、小テストが解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられたレポートに誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの小テストが解ける。

参考書

「教員採用試験　一般教養らくらくマスター 2017年度」（実務教育出版）
「2017年度版 絶対決める！ 教員採用試験合格問題集」L&L総合研究著（新星出版社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

教員採用選考試験の受験を考えている方は、できるだけ受講するようにして下さい。

科目名	教職特講演習 VIII（教師に求められる文章表現能力）	学年学期	2・3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	A-01
担当者	征矢野　達彦	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日3限、金曜日3限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)、中(英語)、高(英語)	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

目的：教師に必要な文章表現能力を身につけ、学校現場で十分対応できる力を育成することです。
概要：教師の仕事に文章表現能力がいかに関わるかについて概説し、教師が文章表現能力を身につけておく必要性を理解させるとともに、文章表現の基礎的知識、文章表現の技法について学び、個性的、魅力的な小論作文を書くことができる力が身につくような講義を目指します。

学修到達目標

○文章表現の基礎を身につける。○自分の考えを整理し、相手によくわかるように的確に文章表現できる。○「自分らしさ」を出した個性的な小論作文を書くことができる。

授業の進め方

毎回、設定したテーマに即した基本的知識・情報を提供するとともに、実際に小論作文を書く練習を繰り返すことによって、文章表現能力が高められるように創意工夫をしたいと思います。随時、添削指導も行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	教師の表現能力	教師の仕事と文章表現の機会	課題レポート（4時間）
2	文章表現の基礎	文章表現の基本的スタイル―作文と小論文	課題レポート（4時間）
3	文章表現のルール	文章表現・表記の基本的ルール	課題レポート（4時間）
4	文章表現法Ⅰ	「起承転結」型の文章表現法	課題レポート（4時間）
5	文章表現法Ⅱ	「序論・本論・結論」型の文章表現法	課題レポート（4時間）
6	課題小論文Ⅰ	課題小論文の書き方（1）―小論文の傾向	課題レポート（4時間）
7	課題小論文Ⅱ	課題小論文の書き方（2）―小論文に必要な事前準備	課題レポート（4時間）
8	課題小論文Ⅲ	課題小論文の書き方（1）―内容構成　相互評価	課題レポート（4時間）
9	課題小論文Ⅳ	課題小論文の書き方（2）―内容構成　自己評価	課題レポート（4時間）
10	教育時事問題	教育時事問題に関する小論作文	課題レポート（4時間）
11	自己体験	自己体験を入れた小論作文	課題レポート（4時間）
12	具体事例	具体的事例を入れた小論作文	課題レポート（4時間）
13	自分自身のこと	自分の趣味や現在の関心に関する小論作文	課題レポート（4時間）
14	教職観・教師観	自分の教職観や教師観がはっきりしている小論作文	課題レポート（4時間）
15	まとめ	まとめ―「自分らしさ」を出した個性的な小論作文	総合レポート（4時間）

テキスト

毎時間、授業者がプリント資料を準備して行います。

成績評価の方法・基準

出席レポート：80%
小論文への取り組み度：20%。S:課題に意欲的に取り組み、出題のねらいを理解して、論理的な文章で表現できる。A:課題に意欲的に取り組み、段落構成を工夫した文章で表現できる。B:課題に意欲的に取り組み、出題意図を概ね理解し、文章で表現できる。C:課題を理解して、意欲的に取り組み、時間内に表現しようとする。

参考書

その都度、必要に応じて紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

将来教職への進路をめざしている方は、できるだけ受講するようにして下さい。できれば2年次、3年次と継続して履修をし文章表現能力身にをつけて下さい。

科目名	教職特講演習 IX（学校体育実技指導の基礎）	学年学期	3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	S-13
担当者	岩間　英明	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本講義は体育指導において、生徒が新しい運動スキルを獲得したり、陥りやすい運動課題の解決法を見つけ出したりするには、どのような指導をしていけばよいのかを実技を通して分析・研究していき、スポーツの指導実践能力を高めることを目的としています。
本講義では各種スポーツの特性の理解や、それに適した指導法ならびに、指導の際の言葉かけ、運動の場づくりといった指導展開をする上でポイントとなることについて学習していき、生徒が生き生き取り組む体育授業について追究していきます。

学修到達目標

陸上競技のハードル走、器械運動のマットと跳び箱、体つくり運動、ダンス、武道の柔道と剣道、バレーボール、サッカー、バスケットボールの指導方法と、技術のポイントを学習し、分かりやすく説明したり実技指導ができるようになる。

授業の進め方

中学校・高等学校の授業でおこなわれるなじみ深いスポーツ種目を中心に展開していきます。各種スポーツの特性の理解、運動技能・技術の指導、学習集団の指導といった点に着目し、実技による学習を展開していきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	生徒が主体的に学ぶ体育の授業とは	生徒が主体的に学習するための教師の手だてや教師の基本的な体育授業に対する考え方について	自己紹介、体育の授業や先生に対する各自の思いをまとめておく（4時間）
2	＜陸上競技＞ 腰を高く保った走り方	腰を落とさず、高い位置に保ち、ももを上げ、腕の振りで推進力をつける走り方を体感し、指導方法を学ぶ。	自分の走り方について知り、考えておく（4時間）
3	＜陸上競技＞ とび越すハードル走からまたぎ越すハードル走へ①	ふみ切り位置と着地の位置に着目し遠くでふみ切り、近くに着地する走法をマスターする。フォームの分析の方法を知る。	前回の復習を行う（4時間）
4	＜陸上競技＞ とび越すハードル走からまたぎ越すハードル走へ②	ハードル上での前傾姿勢、ふり上げ脚、抜き脚のフォームをマスターし、ハードルを越えた第一歩を正しく前方へふみ出す学習をする。	陸上競技についてのまとめを再度行う（4時間）
5	＜器械運動＞ マット運動の個々の技と連続技を学ぶ	回転系、展開系の個々の技を学びポイントを知る。	マットの単技で自分ができる技、挑戦したい技について考えておく（4時間）
6	＜器械運動＞ 連続技を学ぶ	アドバイスと補助の仕方、つまずきの見つけ方を学ぶ。連続技の構成と技術のポイントを学ぶ。	連続技で自分ができる技、構成について考えておく（4時間）
7	＜器械運動＞ とび箱運動の様々なとび方を学ぶ	腕立開脚とび、閉脚とび、台上前転とび等のポイントとつまずき、安全な指導について学ぶ	とび箱運動の様々なとび方について理解しておく（4時間）
8	＜体つくり運動＞ 体力を高める運動について	体力を高める運動を様々考案し、目的、注意事項、効率等考えて模擬授業ができる様にする。	体力を高める運動について学習指導要領を理解しておく（4時間）
9	＜体つくり運動＞ 体ほぐしの運動について	体ほぐしの運動について目的、効率、生徒の意欲等を考えて考案し、模擬授業ができる様にする。	体ほぐしの運動について学習指導要領を理解しておく（4時間）
10	＜ダンス＞ 創作ダンスに取り組もう①	模倣の動きを恥ずかしがらずに伸び伸びと演ずる。	普段目に付くダンスのステップを見てイメージしておく（4時間）
11	＜ダンス＞ 創作ダンスに取り組もう②	様々なテーマを即興で数多く動いてみる。いくつかのフレーズを考案、演じ、作品を作る。模擬授業を行う。	前回学んだ動作を取り入れた模擬授業を考えておく（4時間）
12	＜武道＞ 剣道の基本技、柔道の基本技について学ぶ	剣道・柔道の基本の技、動作、修得と安全な指導について学習する。	剣道・柔道の基本技・ルールを事前に理解しておく（4時間）
13	＜球技＞ バレーボール	フローターサーブ、アンダーハンドサーブ、オーバーハンドパス、アンダーハンドパスなどの基本的な技の学習と三段攻撃、ディフェンス等の修得、指導法の学習	バレーボールのルール・戦術を事前に調べ、理解しておく（4時間）
14	＜球技＞ バスケットボール	相手ディフェンスをかわしてのドリブルやパスなどの基本プレーの修得と指導方法の学習	バスケットボールのルール・戦術を事前に調べ、理解しておく（4時間）
15	＜球技＞ サッカー	基本的なプレーの修得と3人対2人のミニゲームなどの学習と指導方法の学習	サッカーのルール・戦術を事前に調べ、理解しておく（4時間）

テキスト

中学校、高等学校で利用している体育実技の準教科書

成績評価の方法・基準

実技：50%　受講態度：50%
毎時間の授業における実技の状況、およびテストによって評価します。
上記の受講態度は実技の状況のことで、技能の要領と指導方法についての知識度・理解度…15%、授業に対する意欲度…20%、安全に対する配慮…15%の割合で評価します。
評価基準は合計点数で、90%以上をS、80～89%をA、70～79%をB、50～59%をCとします。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

体育教師に必要な実技能力の向上及び指導のポイントなど学習していきます。特に、体育教師を目指す場合、教員採用試験でも体育実技の能力は問われますので、教員を本気で目指す人はできるだけ受講することを勧めます。

科目名	教職特講演習Ｘ（教育理論の基礎知識）	学年学期	2・3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	S-13
担当者	岩間　英明	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限		
関連資格	中一(保体)､高一(保体)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本講義は基本的に中学校・高等学校の保健体育科教員として必要な専門知識を、実際の体育授業で活用できるようにより具体化した内容として学ぶことを目的としています。各領域の内容について、子どもに指導する際に押さえておかなければならない詳細なポイントを論理的に学習していきます。

学修到達目標

中学校･高等学校の保健体育教員として、体育およびそれに付随する多様な理論を詳細な知識として身につける。具体的には小学校段階からの学習内容を踏まえた上で、体育活動で実際に起こり得る課題を考え、小学校から高等学校、さらには生涯スポーツまでを見通して、論理的に思考し、レポートにまとめる力をつける。

授業の進め方

毎回の講義は学習項目ごと小学校から高等学校の内容について、各種資料を参考にディスカッションや講義行い、各自でそれをレポートにまとめていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業の目的、学習の進め方を確認します。小学校から高等学校までの学習問題に取り組み、現在の自分の力を認識します。	事前にシラバスを読み、小学校からの学習内容について整理をする。(4時間)
2	学校種による学習内容の確認(1)	主に小学校の学習内容について振り返り、概要を再確認習し、例題に取り組んで知識を深めます。	小学校の学習について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
3	学校種による学習内容の確認(2)	主に中学校から高等学校までの学習内容について振り返り、概要を再確認習し、例題に取り組んで知識を深めます。	中高の学習について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
4	体つくり運動	小学校から高等学校までの「体つくり運動」の内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「体つくり運動」について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
5	器械運動	小学校から高等学校までの「器械運動」について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「器械運動」について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
6	陸上競技	小学校から高等学校までの「陸上競技」について、その内容と実習を取り入れた指導方法について学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「陸上競技」について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
7	水泳	小学校から高等学校までの「水泳」について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「水泳」について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
8	球技（ゴール型）	小学校から高等学校までの「球技(ゴール型)」について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「球技(ゴール型)」について予習し、わからなかった例題を復習する。(4時間)
9	球技(ネット型)	小学校から高等学校までの「球技(ネット型)」について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「球技(ネット型)」について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
10	球技（ベースボール型）	小学校から高等学校までの「球技(ベースボール型)」を中心に球技全般について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「球技(ベースボール型)」について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
11	ダンス	小学校から高等学校までの「ダンス」について、その内容を学習し、関連する例題に取り組んで知識を深めます。	「ダンス」について予習をしておき、例題でわからなかった点を復習する。(4時間)
12	理論　レポート(1)	主に小学校から高等学校までの体操系の内容について復習し、これまでの学習に基づいてレポートをまとめます。	体操系の学習内容について復習し、レポートを完成させる。(4時間)
13	理論　レポート(2)	主に小学校から高等学校までの陸上系の内容について復習し、これまでの学習に基づいてレポートをまとめます。	陸上系の学習内容について復習し、レポートを完成させる。(4時間)
14	理論　レポート(3)	主に小学校から高等学校までの球技系の内容について復習し、これまでの学習に基づいてレポートをまとめます。	球技系の学習内容について復習し、レポートを完成させる。(4時間)
15	理論　レポート(4)	主に小学校から高等学校までの総合的な内容について、これまでの学習に基づいてレポートをまとめます。	総合的にこれまでの学習内容について復習し、レポートを完成させる。(4時間)

テキスト

必要に応じて資料を配付します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：30%　課題：70%
出席レポート（毎時間提出）：30%　、課題（まとめレポート）：70%
レポートは毎時間提出するものと、まとめとして提出するものの2種類があり、それぞれに評価し、その合計点によって評価します。Sは全体で9割以上の得点。Aは8割以上の得点。Bは7割以上の得点。Cは6割以上の得点を必要とします。

参考書

教員養成セミナー（時事通信社）　教職課程（共同出版）などの教員採用に関する月刊誌も読んでいくと、受講する上で大変参考になります。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

体育教員として必要な論理的知識を身につけるため、レポートに数多く取り組みます。内容が幅広いので、授業だけでなく、それ以外の時間も継続的に学習を進めていくことが重要になります。

科目名	教育心理学特講	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	A-16
担当者	守　一雄	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限、木曜日5限		
関連資格	高一(商業)､高一(情報)､中一(社会)､高一(地歴)､高一(公民)､中一(保体)､高一(保体)､養教一､中一(保健)､高一(保健)､中(英語)､高(英語)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

教育心理学は教育についての科学的な研究をする学問です。しかしながら、教育の影響力を過信するあまり、遺伝の影響力についてはほとんど考慮してきませんでした。この授業では、人間の成長と学校教育における遺伝の影響についての近年の研究成果について、安藤寿康『日本人の9割が知らない遺伝の真実』を基に学びます。

学修到達目標

教育における遺伝の影響について理解する。
遺伝の影響力を踏まえた学校教育について理解する。
学校教育における評価の意義と機能について理解する。

授業の進め方

講義を中心にしますが、小グループによるディベート形式の討論を隔週で行なう予定です。ディベートについては副読本『ザ・ディベート』を読んでください。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	遺伝と教育：行動遺伝学	人間の知能などの遺伝について研究する行動遺伝学という学問について学びます。	副読本『ザ・ディベート』を読む。(4時間)
2	才能は遺伝するか？	才能は遺伝するかをテーマにディベートをします。	討論の内容を踏まえて、事後は小レポートを書く。／課題図書(1)レポート提出(4時間)
3	行動遺伝学	才能が遺伝するかどうかを科学的に研究する学問である「行動遺伝学」について学びます。	テキスト第1章を読んでおく。(4時間)
4	知能とは何か？	知能や性格についてディベートをします。	討論の内容を踏まえて、事後は小レポートを書く。(4時間)
5	知能と性格の測定方法	知能や性格を心理学者がどう測定してきたかについて学びます。	テキスト第2章を読んでおく。(4時間)
6	遺伝の研究方法	遺伝の研究方法に関してディベートをします。	討論の内容を踏まえて、事後は小レポートを書く。(4時間)
7	双生児研究法	遺伝の研究方法としての双生児研究法について学びます。	テキスト第3章を読んでおく。(4時間)
8	中間テスト及び解説	授業前半分についての理解度の確認をします。	授業前半部分について復習しておく。／課題図書(2)レポート提出(4時間)
9	種々の才能の遺伝	知能以外の種々の才能の遺伝についてディベートします。	討論の内容を踏まえて、事後は小レポートを書く。(4時間)
10	遺伝の影響をどう考えるか	知能以外の種々の才能や性格の遺伝について学びます。	テキスト第4章を読んでおく。(4時間)
11	教育の影響力	教育することでどこまで人を変えられるのかについてディベートします。	討論の内容を踏まえて、事後は小レポートを書く。(4時間)
12	あるべき教育の形	遺伝の影響を考慮した上での望ましい教育の在り方について学びます。	テキスト第5章を読んでおく。(4時間)
13	遺伝を受け入れる	遺伝的素質に恵まれない場合の対処方法についてディベートします。	討論の内容を踏まえて、事後は小レポートを書く。／課題図書(3)レポート提出(4時間)
14	遺伝を受け入れた社会	自分の持つ遺伝的素質を受け入れて生きることについて学びます。	テキスト第6章を読んでおく。(4時間)
15	まとめ	遺伝と教育についてのまとめをします。テキストの内容について全般的な討論をします。	この授業で学んだことについて全般的な復習をしておく。(4時間)

テキスト

「日本人の9割が知らない遺伝の真実」安藤寿康著（SBクリエイティブ）ISBN:978-4797389746（生協で購入してください。）　授業は「遺伝子を生かす教育」を土台としますが、テキストは廉価な新書にしました。
「ザ・ディベート」茂木 秀昭著（筑摩書房）　ISBN:978-4480058928（生協で購入してください。）　課題図書
「そんなバカな！」竹内久美子著（文春文庫）　ISBN:978-4167270025（生協で購入してください。）　課題図書

成績評価の方法・基準

定期試験：100%
S：課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習の3つ以上において優れた成果を示した。A：課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習の2つ以上において優れた成果を示した。B：課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習において優れた成果を示した。C：課題すべてを基準レベルで達成した。

参考書

「だまされ上手が生き残る」石川幹人著（光文社新書）　ISBN：978-4334035594　「品切れ」の本なので別途入手方法を指示します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

履修者の数を考慮しつつ、できれば討論はディベートの形式でやりたいと考えています。

科目名	発達心理学特講	学年学期	3・4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	A-18
担当者	川島　一夫	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日4限、木曜日5限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)、中(英語)、高(英語)	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

発達心理学のいろいろなトピックスをとりあげ、理解を深めます。また、発達心理学の論文を選んで講義をすると同時に、各自が論文を読んで、要約し発表します。発達心理学の基礎と言うよりも、興味がわきそうなトピックスを取りあげるために、細かい内容が多くなります。論文は、授業時に配布します。

学修到達目標

発達心理学の論文を読み、理解する。また、レジメの発表と論文の解説について討論をすることで発達心理学についての知識を深める。

授業の進め方

授業の中心は、課題となる論文の要約レポートと内容についての発表と小テストです。また、討論も行います。さらに質問に回答することも行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業全体の流れを説明し、発達心理学を学ぶために必要な、基礎となる知識の論文について解説します。	本授業への期待、発達心理について学びたいこと、学ぶべきだと考えることをレポートする(4時間)
2	心理的個人差の源泉	「別家庭に育った双生児を対象としたミネソタ双生児研究」についての解説します。	次回の論文の要約とレジメ作成(4時間)
3	家庭環境の認知に対する生物測定学的分析	「双生児ならびにきょうだいを用いた研究」についての解説します。	論文の要約とレジメ作成(4時間)
4	子どもの心身の発達	「虐待された子どもの暴力の連鎖に寄与する遺伝子型の役割」についての解説します。	次回の論文の要約とレジメ作成(4時間)
5	脳と感情の発達　1	「情動発達に関する展望I分化した情動の初期発達理論」についての解説します。	次回の論文の要約とレジメ作成(4時間)
6	子どもの気質、母親のしつけ	「愛着の安定性　行動基準内面化に至る多様な過程」についての解説します。	次回の論文の要約とレジメ作成(4時間)
7	脳と感情の発達　2	「自己形成における個人と集団のプロセス：アメリカの「自己高揚」と日本の「自己批判」についての解説します。	次回の論文の要約とレジメ作成(4時間)
8	チンパンジーの自己認知	「チンパンジーの自己認知と2歳以前の自己鏡映像への反応」についての解説します。	次回の論文の要約とレジメ作成(4時間)
9	幼児期の自己認知	「遅延フィードバックとライブフィードバックを用いることによる発達差」についての解説します。	次回の論文の要約とレジメ作成(4時間)
10	ジェンダー理解	「ジェンダー理解と子どもの性に典型的な好みおよびステレオタイプとの関連」についての解説します。	次回の論文の要約とレジメ作成(4時間)
11	幼児における表象の変化の理解	「幼児における表象の変化の理解と誤信念および見かけと現実の違いの理解との関連」についての解説します。	次回の論文の要約とレジメ作成(4時間)
12	心の理論は感染するのか	「心の理論は感染するのか？　きょうだいからの心の理論の獲得」についての解説します。	次回の論文の要約とレジメ作成(4時間)
13	子どもの援助行動	「自己もしくは他者によって誘導された悲しみの感情が高共感と低共感の子どもの援助行動に及ぼす影響」についての解説します。	次回の論文の要約とレジメ作成(4時間)
14	向社会性の発達	「向社会性の発達の縦断的研究」についての解説します。	次回の論文の要約とレジメ作成(4時間)
15	セルフ・コントロール	「満足の遅延における認知と注意のメカニズム 」についての解説します。	本講義のまとめ(4時間)

テキスト

「原著で学ぶ社会性の発達 」渡辺 弥生 (編集), 杉村 伸一郎 (編集), 伊藤 順子 (編集)著 (ナカニシヤ出版)　ISBN:4779501814　(生協で購入してください。)

成績評価の方法・基準

小テスト：30%　レポート：70%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもってレポートに取り組み、小テストでは、全問題に正解できる。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもってレポートに取り組み、殆どの小テストが正解できる。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられたレポートに誠実に取り組み、小テストが解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられたレポートに誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの小テストが解ける。

参考書

「発達心理学」のテキストなど。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

【重要】論文と本を読んでのレポートと討論があります。締め切り日をすぎたレポートは一切受け取りません。大変ですが楽しみにしてください。

科目名	介護等体験入門	学年学期	3年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	A-11
担当者	内藤　千尋・尻無浜　博幸	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限、火曜日4限、火曜日5限、水曜日5限		
関連資格	中一(社会)、中一(保体)、中一(保健)	履修条件	教職課程履修者						

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本授業は、介護等体験(社会福祉施設5日間及び特別支援学校2日間)の事前指導として開講しています。したがって、介護等体験の意義・目的を理解し、介護等体験を行うにあたって必要な基礎的な知識、技能、態度を身に付けることを目的とします。
介護等体験を行う社会福祉施設や特別支援学校の法的根拠や実態、最近の動向等に関する基礎的知識をもって実習に対処できるように進めます。

学修到達目標

1. 介護等体験の意義・目的を十分に理解し、介護等体験を行う学校・福祉施設に関する基本的な知識を身につける。
2. 介護等体験を行うにあたっての基本的な知識、技能、態度を身につける。
3. 介護等体験の日々の記録の取り方を理解し、自己の目標がどの程度達成されたか検証する態度を身につける。

授業の進め方

介護等体験の準備科目として、授業は介護等体験に向けた準備を具体的に展開します。教室での講義を主として、必要に応じて特別支援学校や福祉現場の方から直接に話を伺う機会を設けます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業の進め方及び介護等体験の意義と目的について説明します。	シラバスを事前に読んでおく（1時間）
2	特別支援学校1	特別支援学校の概要について説明します。	HPで長野県内の特別支援学校について調べる（3時間）
3	特別支援学校2	特別支援学校での介護等体験の内容と記録について説明します。	第2回授業の復習、希望した地域の特別支援学校のHPを調べる（4時間）
4	社会福祉施設1	社会福祉施設の制度について説明します。	第3回授業の復習、社会福祉施設の制度について調べる（4時間）
5	社会福祉施設2	社会福祉施設での介護等体験について(記録指導)について説明します。	第4回授業の復習、第1回授業で配布された「介護等体験記録」の内容を確認する（4時間）
6	社会福祉施設3	社会福祉施設での介護等体験(アンケート実施→介護等体験先の決定)について説明します。	第5回授業の復習、希望する地域の社会福祉施設のHPを調べる（4時間）
7	社会福祉施設4	社会福祉施設での介護等体験について(介護等体験先調整)について説明します。	第6回授業の復習（1時間）
8	まとめ	これまでの授業の総括	これまでの授業の復習、介護等体験に臨むための準備（3時間）

テキスト

「福祉実習に行くあなたのための準備本」栗山直子・興那嶺司著（相川書房）　ISBN:4-7501-0333-0（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

課題：50%　受講態度：50%
受講態度（出席・意欲・理解度）と課題（各種提出物含む）を総合して評価します。S:授業内外の課題に積極的かつ自発的に取り組み、介護等体験に必要な知識、技能、態度を十分に身につけ、明確な自己課題を持てた。A:授業内の課題に積極的に取り組み、介護等体験に必要な知識、技能、態度を身につけ、自己課題を持てた。B:授業内の課題を通して、介護等体験に必要な知識、技能、態度を身につけ、自己課題を考えた。C:授業内の課題を通して、介護等体験に必要な知識、技能、態度を理解した。

参考書

「教師をめざす人の介護等体験ハンドブック」現代教師養成研究会編（大修館書店）
「社会福祉六法　平成30年度版」（新日本法規）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

介護等体験ではいかに事前準備をして臨むかが学びの深さ、広さを決定します。授業内の準備には制約がありますので、自発的に準備を行い、自己課題を明確にもって体験に臨み、自己課題の解決に繋げてください。

科目名	特別支援教育概論	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	A-12
担当者	小島　哲也・内藤　千尋	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日5限、木曜日5限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)、中一(保体)、高一(保体)、養教一、栄教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

インクルージョン（共生）理念の普及とともに教師を志す者すべてが特別な教育的ニーズをもつ子どもについて正しく理解し、適切な対応ができることが求められています。この授業は、特別支援教育の歴史と動向、現状と課題について基礎的知識を習得し理解を深めることを目的に、3つの主要テーマ（特別支援教育とは何か、子どもの発達と障害、特別支援教育の現状と課題）について解説します。

学修到達目標

障害のある子どもの教育（特別支援教育）と発達に関する基礎的知識を習得している。

授業の進め方

講義形式を基本に進めます。授業の学習内容によりグループワークや討論も取り入れます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業の目的と内容を説明するとともに事前事後学修の方法について解説します。	自分の履修（学習）計画を作成する。また、授業ノートをまとめ次回講義の下調べをする（4時間）
2	特別支援教育とはなにか①	特別支援教育の理念と意義	授業ノートをまとめ次回講義の下調べをする（4時間）
3	特別支援教育とはなにか②	特別支援教育の歴史と動向	授業ノートをまとめ次回講義の下調べをする（4時間）
4	特別支援教育とはなにか③	わが国の特別支援教育における近年の動向	授業ノートをまとめ次回講義の下調べをする（4時間）
5	特別支援教育とはなにか④	諸外国における特別支援教育の動向	授業ノートをまとめ次回講義の下調べをする（4時間）
6	特別支援教育とはなにか⑤	学校教育における特別支援教育の役割と課題	授業ノートをまとめ次回講義の下調べをする（4時間）
7	中間まとめ	講義内容のまとめと補足、質問への回答	授業ノートをまとめ次回講義の下調べをする（4時間）
8	子どもの発達と障害①	脳と中枢神経系	授業ノートをまとめ次回講義の下調べをする（4時間）
9	子どもの発達と障害②	感覚と運動	授業ノートをまとめ次回講義の下調べをする（4時間）
10	子どもの発達と障害③	認知と言語・コミュニケーション	授業ノートをまとめ次回講義の下調べをする（4時間）
11	特別支援教育の現状と課題①	知的障害と肢体不自由	授業ノートをまとめ次回講義の下調べをする（4時間）
12	特別支援教育の現状と課題②	言語・聴覚障害	授業ノートをまとめ次回講義の下調べをする（4時間）
13	特別支援教育の現状と課題③	発達障害＜ASD＞	授業ノートをまとめ次回講義の下調べをする（4時間）
14	特別支援教育の現状と課題④	発達障害＜LD，ADHD＞	授業ノートをまとめ最終授業の質問内容を準備する（4時間）
15	授業のまとめ	これまでの講義内容のまとめと質疑応答	全授業ノートを振り返り定期試験に向けた準備をする（4時間）

テキスト

「発達障害白書（2017年度版）CD-ROM付」日本発達障害連盟著日本発達障害連盟編（明石書店）　ISBN:9784750343983（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

小テスト：30%　定期試験：70%
成績評価は原則として以下の基準に基づいて行う。
S: 授業内容を高度に理解するとともに、積極的な探求姿勢をもって課題にとり組んでいる。A:授業内容を理解し、探求姿勢をもって課題にとり組んでいる。B:授業内容をおおよそ理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C:授業内容をある程度理解し、与えられた課題に取り組んでいる。

参考書

授業の中で適宜紹介する

履修上の注意（学生へのメッセージ）

授業内容に関する質問や意見は、授業時間以外にオフィスアワーでも対応します。

科目名	日本史	学年学期	1年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TL16012	研究室	非常勤
担当者	小松　芳郎	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(社会)、高一(地歴)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

地域に伝わる身近な出来事に触れながら、それぞれの時代の日本の歴史を見ていきます。いつ、どこで、何が起きたかといった網羅的な日本史ではなく、日本の歴史事象をいくつか選び、当時の人物、記録、時代をとらえていきます。

学修到達目標

歴史をみる眼、歴史観を新たに構築できる。

授業の進め方

今ものこる歴史資料などを紹介しながら、毎回10頁のレジメをもとに講義を進めます。講義は教室で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	歴史像と歴史理論	日本史の時代区分、歴史を学ぶにあたって（小さな歴史から大きな歴史へ）	シラバスを熟読したうえで講義にのぞむこと（4時間）
2	旧石器・原始時代	旧石器時代・縄文時代・弥生時代の暮らし	身近にある遺跡等を調べておくこと（4時間）
3	古墳時代	東日本最古の弘法山古墳の文化	身近にある古墳を事前に調べておくこと（4時間）
4	中世の人びとの暮らし	「物くさ太郎」を読み解きながら、都の暮らしと地方の暮らしを考える	大学の近くにある「物くさ太郎」関連の史跡をみておくこと（4時間）
5	戦国時代	川中島の戦い、真田氏三代と小笠原氏三代	これまで学んだことのある左記テーマについて整理してくること（4時間）
6	江戸時代の暮らし（武家）	信濃の諸藩から、武家の暮らしをみていく。藩主の変遷とその動向をさぐる。	これまで学んだことのある左記テーマについて整理してくること（4時間）
7	江戸時代の暮らし（村びと）	江戸時代の村びとの暮らし、立ち上がる村びと（加助騒動）	これまで学んだことのある左記テーマについて整理してくること（4時間）
8	幕末から明治へ	黒船来航から維新期への激動、藩から県へ（「信濃の国」）	これまで学んだことのある左記テーマについて整理してくること（4時間）
9	地域の近代化	自由民権運動と秩父事件、普通選挙運動発祥の地松本	これまで学んだことのある左記テーマについて整理してくること（4時間）
10	明治・大正期の日本	人物をとおして、日清・日露戦争期の日本をみる。松本平から大逆事件を考える。	「大逆事件」について調べてくること（4時間）
11	養蚕・製糸業の発展	日本一の蚕糸王国長野県の製糸業と工女の生活	なぜ製糸業が長野県で栄えたのかを事前に調べてくること（4時間）
12	戦時下の日本	15年戦時期の日本を、歩兵第五十聯隊・満州移民・工場と児童の疎開からみる	戦争の時代の話を聞いてくること（4時間）
13	変わる生活	高度経済成長期の前と後の変容を、日記から読み解く	身近な生活の変化を整理しておくこと（4時間）
14	戦後72年の日本	昭和20年以降の日本と米国の指導者の動きから、戦後73年を考える	記憶に残る日本の首相を整理しておくこと（4時間）
15	歴史的文化財の保護	文化財の保護・保存、歴史文書の保存・利用、および講義全体のまとめ	地元にどのような文化財があるか、事前に調べて来ること（4時間）

テキスト

担当者が作成したレジメを、講義ごとに出席者に配布します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：30%　定期試験：50%
講義後のコメント：20%
S:出席レポートを全回提出し、講義後のコメントの密度が非常に高く、講義の内容のほぼすべてを修得している。A:出席レポートを全回提出し、講義後のコメント内容が充実しており、講義内容を深化させて修得している。B:出席した回すべての出席レポートを提出し、講義後のコメントが記入され、講義内容をある程度理解し、自分なりの史観を表現できる。C:出席した回すべての出席レポートを提出し、講義後のコメントが記入され、講義内容をある程度理解している。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

講義ごとに感想を受講票に記入して提出してください。質問があればあわせて記入してください。次回の講義で答えます。

科目名	日本経済史	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA36005 TA36008	研究室	W-22
担当者	木村　晴壽	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日4限、金曜日2限		
関連資格	中一(社会)、高一(地歴)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			総◎ 観○	△		

授業概要

日本の歴史を振り返ってみて、経済はどのように発展して現在に至っているのか、言葉を換えると、現代の日本経済はどういう積み重ねの結果としてあるのか。この問いに答えようとするのが、日本経済史です。現代の日本は、世界トップレベルの規模を持つ経済大国になっていますが、そこには「日本的」としか表現のしようがない経済構造があります。細かな現象にとらわれず、長い間の日本経済の歴史を大きな流れで把握しようとしたときに、理解できるはずです。

学修到達目標

今年度は、戦後日本の経済を中心に話を進めるので、日本が戦後の混乱を経て高度経済成長を経験し、いわゆる経済大国になった過程、およびその後の低成長期からバブル経済・不況期へと転換する流れを大づかみに理解することが目標となります。

授業の進め方

基本的には教員からの説明を主体とした講義形式で進めます。アウトキャンパス等は計画していません。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	講義全体の概要説明	ガイダンスと講義に向けての基礎知識の説明	事前にテキスト1頁を熟読すること（2時間）。事後、授業で指摘したキーワードを調べる（2時間
2	財閥解体	戦後GHQが主導した経済改革の柱である財閥解体を詳述する	テキスト2～3頁を熟読する（2時間）。事後、授業で指摘したキーワードを調べる（2時間）
3	集中排除と逆コース	集中排除が、米本国の政策転換で挫折する過程を詳述する	テキスト3～6頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる（2時間）。
4	未曾有のインフレーション	戦争直後に日本が経験した驚異的なインフレとその原因を詳述する	テキスト6～8頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる（2時間）。
5	金融資本集団の形成	経済復興が金融機関を核に進み、企業集団が形成される過程を詳述する	テキスト8～11頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる（2時間）。
6	傾斜生産方式	経済復興の核と位置づけられた傾斜生産方式の内実を詳述する	テキスト11～13頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる（2時間）。
7	ドッジライン	インフレを沈静化させるための荒療治、ドッジラインを詳述する	テキスト13～14頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる（2時間）。
8	神武景気と高度経済成長	朝鮮戦争から高度経済成長へ、経済に弾みがつく過程を詳述する	テキスト15～19頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる（2時間）。
9	好不況の波と岩戸景気	世界的に類例のない高度経済成長の中味を詳述する	テキスト19～22頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる（2時間）。
10	いざなぎ景気と景気後退	最後の大型景気のいざなぎ景気とその後の経済原則について詳述する	テキスト22～25頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる（2時間）。
11	ニクソンショックとオイルショック	高度経済成長の終焉を決定づけた二つの経済激変について詳述する	テキスト25～28頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる（2時間）。
12	金融資本集団の形成	高度経済成長の過程で、どのように企業集団が形成されたかを詳述する	テキスト28～36頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる（2時間）。
13	バブル経済と金融界	バブル経済の全貌と、金融界の対応について詳述する	テキスト42～50頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる（2時間）。
14	日米経済摩擦	政治問題化した日米経済摩擦の経緯と大店法問題について詳述する	テキスト50～55頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘したキーワードを調べる（2時間）。
15	総括	戦後日本の経済動向を総括する	テキスト全体を通読しておくこと(2時間)。事後、授業での総括を復習(2時間)。

テキスト

「日本経済史」木村晴壽著松本大学総合経営学部編(生協で購入してください。)

成績評価の方法・基準

レポート：20%　定期試験：80%
S:授業内容を十分に理解し、日本の経済発展について解説できる。A:授業内容を理解している。B:授業内容をおおよそ理解している。C:授業内容を6割程度理解している。

参考書

「日本経済史」石井寛治著（東京大学出版会）
「経済史入門」塩澤君夫・近藤哲生著　（有斐閣新書）等

履修上の注意（学生へのメッセージ）

期末の試験は、かなり難易度を高く設定しているので、普段の講義で集中して理解しようとする姿勢が必要です。

科目名	地域産業史	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KC26066 TB26040	研究室	W-22
担当者	木村　晴壽	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日4限、金曜日2限		
関連資格	中一(社会)、高一(地歴)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎				◎	◎	

授業概要

この地域産業史という講義は、日本の地域産業、特に長野県に展開した産業を歴史的にたどり、それらが現在の地域でみられる産業とどのような関係にあるのかを把握し、同時にそれら地域産業が日本全体の経済とどのような関係にあるのかを理解することを目的としています。特に長野県で展開した産業を詳しく知れば、実は日本経済の発展過程をほぼそっくり理解することができるのです。まず自国のことを知らなければ、国際化をはかることなどできないし、地域での産業発展を具体的に考えることもできません。

学修到達目標

ここでは、明治以降の日本がたどった歴史を、地域産業を通じて理解し、最終的には地域産業の持つ強さ・弱さ、そしてその将来像を把握しようとしています。まずは、地域に展開した産業（特に長野県では製糸業）がどういう発展の仕方をしてきたか、そしてそれがいま地域で展開する産業とどういう関係にあるかを理解することができます。

授業の進め方

基本的には教員からの説明を主体とした講義形式で進めます。アウトキャンパス等は計画していません。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	ガイダンスと講義に向けての基礎知識の説明	事前、テキスト1～5頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。
2	繊維産業と日本経済	繊維産業、特に製糸業が日本経済にどのように位置づけられるかを詳述	事前、テキスト6～13頁を熟読のこと（2時間）。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。
3	地主制と製糸業	器械製糸の中心地は長野県	テキスト13～18頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。
4	器械製糸業	長野県が器械製糸の中心になったわけについて詳述する	テキスト20～23頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。
5	田中組	長野県にも大きな政商が（小野組と田中組）関わっていたことを詳述	テキスト23～26頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。
6	洋銀取引	「金の国」日本（小判とドル銀貨）　と銀貨の関係	テキスト26～29頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。
7	外国為替相場の出現	日本初の相場師が長野県出身の商人である事実を詳述する	テキスト29～32頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。
8	片倉製糸	日本最大の生糸メーカー、片倉製糸の成長過程について詳述する	テキスト34～35頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。
9	片倉製糸の経営戦略	片倉工業の株価が高水準を保っている事情（特異な経営戦略）を詳述	テキスト35～39頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。
10	戦時下の製糸業	戦時下で切り捨てられる製糸業の姿を詳述する	テキスト40～42頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。
11	戦時下の地域産業	戦時下で銀行も電気も戦時体制へ移行する過程を詳述する	テキスト48～53頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。
12	戦後の農地改革	戦争直後の混乱を経て日本の農業はどう変わったかを詳述する	テキスト55～58頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。
13	戦後の軽工業と重工業	戦後、地域産業として何が製糸業に取って代わったかを詳述する	テキスト58～60頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。
14	地域産業の転換	地域に定着した製糸業からの系譜について詳述する	テキスト60～61頁を熟読のこと(2時間)。事後、授業で指摘した事項を調べること(2時間)。
15	総括	信州の地域産業が軽工業から精密工業へと転換するまでの流れを詳述	テキスト全体を通読のこと(2時間)。事後、授業での総括を復習すること(2時間)。

テキスト

「地域産業史」木村晴壽著松本大学総合経営学部編(生協で購入してください。)

成績評価の方法・基準

レポート：20%　定期試験：80%
S:授業内容を十分に理解し、地域産業について解説ができる。A:授業内容を理解している。B:授業内容をおおよそ理解している。C:授業内容を6割程度理解している。

参考書

「長野県史（各巻）」長野県編
「松本市史（各巻）」松本市編　等

履修上の注意（学生へのメッセージ）

期末の試験は、難易度がかなり高く設定されているので、普段の講義で集中して理解しようとする姿勢が必要です。

科目名	外国史	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TL26013	研究室	
担当者	柴野　均	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(社会)､高一(地歴)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

「歴史の風景」と題して、ヨーロッパ、アメリカおよびアジア諸国の歴史を明確なイメージでとらえられるように視聴覚教材を大幅に取り入れて論じます。古代ローマの歴史から現在の世界まで幅広い分野を取り扱っていきます。

学修到達目標

世界の古代から現代までの主要な問題をできるだけ幅広くかつ具体的に理解することが目標です。その際、たんなる知識の記憶ではなく歴史のイメージをとらえられるようにし、世界の人々との交流に役立てることができる。

授業の進め方

基本的には講義形式ですが、必要に応じてさまざまな資料を利用します。板書の代わりにパワーポイントを使って授業をします。使用したパワーポイント教材はダウンロードできるようにします。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	歴史の風景とは何か？　歴史における言葉とイメージの相互補完的作用	参考文献を指示するので、それを授業後に読んでおくこと。
2	ホロコーストの風景	ナチスドイツのユダヤ人虐殺に関する問題を扱う。	参考文献を指示するので、それを授業前後に読んでおくこと。
3	古代ローマの風景	古代ローマについては多くの研究があり、資料も豊富に存在する。そのうちの興味深い事例をとり上げる。	参考文献を指示するので、それを授業前後に読んでおくこと。
4	中世キリスト教の風景　その1	キリスト教信仰の異端と正統の問題を取りあげる。	参考文献を指示するので、それを授業前後に読んでおくこと。
5	中世キリスト教の風景　その2	修道会運動の本質を考える。	参考文献を指示するので、それを授業前後に読んでおくこと。
6	ルネサンス芸術家の風景	イタリア・ルネサンスを中心に芸術家と権力者の問題を取りあげる。	参考文献を指示するので、それを授業前後に読んでおくこと。
7	市民革命の風景	イギリスの市民革命を取りあげる。	参考文献を指示するので、それを授業前後に読んでおくこと。
8	コンキスタドーレスの見た風景	アメリカ大陸の征服と略奪を進める側の問題を取りあげる。	参考文献を指示するので、それを授業前後に読んでおくこと。
9	ナポレオン戦争の風景	近代の軍隊の問題をナポレオン時代から取りあげる。	参考文献を指示するので、それを授業前後に読んでおくこと。
10	ロシア革命の風景	ロシア革命が持っていた新しさと欠陥を取りあげる。	参考文献を指示するので、それを授業前後に読んでおくこと。
11	イタリア・ファシズムの風景	イタリア・ファシズムの魅力がどのようなものなのかを取りあげる。	参考文献を指示するので、それを授業前後に読んでおくこと。
12	冷戦の風景	東西冷戦がはらんでいた危険性を取りあげる。	参考文献を指示するので、それを授業前後に読んでおくこと。
13	キューバ革命の原風景	革命がどこから始まるのか、その問題を取りあげる。	参考文献を指示するので、それを授業前後に読んでおくこと。
14	戦後植民地独立の風景	第二次大戦後の独立運動の問題を取りあげる。	参考文献を指示するので、それを授業前後に読んでおくこと。
15	ナチズムの風景	ドイツ・ナチズムが持っていた吸引力を取りあげる。	参考文献を指示するので、それを授業前後に読んでおくこと。

テキスト

なし

成績評価の方法・基準

定期試験：70%　出席レポート：30%
全体で90%以上の成績があればSを与える
〃　80%　〃　A　〃
〃　70%　〃　B　〃
〃　60%　〃　C　〃

60%未満はDとする。

参考書

参考文献があまりにも多いため、ここには書き切れません。授業のたびに指示します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

おもしろく聞けるように工夫しますので、欠席・遅刻をしないようにしてください。

科目名	文化遺産論	学年学期	3・4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TA36015	研究室	W-12
担当者	八木　雅子	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	中一(社会)､高一(地歴)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○	△		○	△		2016年度～

授業概要

世界諸地域の文化、生活と課題を主に世界遺産を通して考察し、地理的認識、歴史、文化の多様性を理解し尊重する事の重要性について考えていきます。

学修到達目標

世界遺産の現状を地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、世界の地理、歴史認識を深める。

授業の進め方

講義形式に視聴覚教材を加えて進めます。また、グループ討議を行い考察の交流を図り認識を深め、学びの確認をします。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	世界遺産とは	この授業の主軸となる世界遺産の概要について学びます。	配布資料で復習すること。（4時間）
2	ヨーロッパの歴史と文化1ドイツ	世界遺産ブレーメンのマルクト広場の市庁舎とローラント像から学ぶ	ドイツの世界遺産について事前学習してください。（4時間）
3	ヨーロッパの歴史と文化2ポーランド	世界遺産クラクフ歴史地区、アウシュビィッツ＝ビルケナウ強制絶滅収容所から学ぶ	配布資料で復習する。（4時間）
4	ドイツとポーランドのまとめ	ドイツとポーランドにおいて人々の生活に影響を与えた過去の戦争と将来についてグループディスカッションを行います。	自論と討論会で出た意見を基に2国についてレポートにまとめる。（4時間）
5	ヨーロッパの歴史と文化3ハンガリー	ブタペストのドナウ河岸とブタ地区およびアンドラーシ通り、ホッローケーの古い集落、トカイワイン産地の歴史的、文化的景観から学ぶ。	事前に世界地図を読図しハンガリーを再確認する。（4時間）
6	ヨーロッパの歴史と文化4イタリア	アルベロベッロのトゥルッリ、ドロミーティ、アマルフィ海岸から学ぶ。	5回、6回の内容を振り返り自論をまとめる。（4時間）
7	ハンガリーとイタリアのまとめ	ハンガリーとイタリアの生活文化、自然についてディスカッションをする。	自論と討論会で出た意見を基に2国についてレポートにまとめる。（4時間）
8	南北アメリカの歴史と文化	アメリカ合衆国の歴史と民族、国際社会について学びます。	配布資料を復習する。（4時間）
9	北アメリカの自然環境	北アメリカの自然環境と生活について学びます。	事前に世界地図を読図して北アメリカの範囲を確認する。（4時間）
10	アメリカのまとめ	アメリカの歴史、文化と環境についてディスカッションする。	事前に8、9回の振り返りをしまとめ、授業後にレポートにまとめる。（4時間）
11	オセアニアの歴史と文化	オセアニアの自然環境、歴史、民俗について学びます。	世界地図でオセアニア地域の読図をしておくこと。（4時間）
12	アジアの生活と文化	東南アジア、南アジアの歴史と民族について学びます。	世界地図で東南アジア、南アジアの地域を読図しておくこと。（4時間）
13	南アフリカの生活と文化	南アフリカの歴史、自然環境、民俗について学びます。ビクトリアフォールスから自然と歴史を学びます。	事前に南アフリカ諸国を地図上で確認する。（4時間）
14	オセアニア、アジアと南アフリカのまとめ	オセアニア、アジア、南アフリカの歴史と文化、自然環境についてディスカッションします。	11、12、13のまとめをし、意見をまとめておくこと。（4時間）
15	多様な地球の歴史と文化および環境の課題とまとめ	地球上の文化、歴史、環境の違いと変化を受け入れて今後の活用について考えます。（4時間）	前回のレポートの提出

テキスト

なし

成績評価の方法・基準

レポート：100%
S:授業内容を高度に理解して発展的な問題や課題が解ける。
A:授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。
B:授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題が解ける。
C:授業内容の6割程度を理解している。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

世界遺産のとらえ方を確認しつつ、地球の遺産とは何かを興味を持って学んでください。また、現在を作った歴史、作っている文化の地域性について理解を深めてください。

科目名	地理学	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13205	研究室	W-21
担当者	古川　智史	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日4限		
関連資格	中一(社会)､高一(地歴)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

本講義では、現代社会の様々な事象、課題を地理学の観点から検討することを通して、地理学の諸概念、アプローチ方法を身につけます。まず、地理学とはどのような学問であるのか、その成り立ちを概説した上で、地理学において重要なツールである地図の利活用について理解を深めます。次に、地理学の諸分野について、具体的な事例を取り上げながら、地理学の基礎的な視点、概念、アプローチ方法について解説します。そして、身近な地域や世界の国・地域を取り上げながら、地誌的なアプローチについて解説します。

学修到達目標

地理学の基礎概念を理解し説明できる。
主題図などの資料を的確に読み取ることができる。
現代社会の様々な事象に対して地理学の視点からアプローチできる。

授業の進め方

レジュメをもとに講義を進めますが、グループワーク（数回）、フィールドワーク（松本市内）を実施する予定です。受講者には毎回コメントシートの提出を求めます。また簡単な調べ学習や小テストを予定しているので、予習・復習の上、講義に臨んでください。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	イントロダクション：地理学とはどのような学問か	地理学の概要とともに、本講義の進め方等について説明します。	配付資料および各自のノートをもとに、授業内容を復習すること（4時間）
2	地図と活用と地理情報システム（1）	地図の歴史を取り上げるとともに、地図の活用やその留意点などついて説明します。	配付資料および各自のノートをもとに、授業内容を復習すること（4時間）
3	地図の活用と地理情報システム（2）	地理情報システムの概要を説明するとともに、その活用方法について説明します。	配付資料および各自のノートをもとに、授業内容を復習すること（4時間）
4	気候の多様性	気候とその規定要因、人々の暮らしとの関係などを取り上げます。	配付資料および各自のノートをもとに、授業内容を復習すること（4時間）
5	地形と自然災害	地形の成り立ち、自然災害とその対策などを取り上げます。	配付資料および各自のノートをもとに、授業内容を復習すること（4時間）
6	環境問題の諸相	環境問題とその対策、アプローチ方法などを取り上げます。	配付資料および各自のノートをもとに、授業内容を復習すること（4時間）
7	農業の空間構造	農業立地の基礎を解説した上で、現代の農業立地について考えます。	配付資料および各自のノートをもとに、授業内容を復習すること（4時間）
8	工業の空間構造	工業立地の基礎を解説した上で、現代の工業立地について考えます。	配付資料および各自のノートをもとに、授業内容を復習すること（4時間）
9	商業立地と流通システム	商業立地の基礎を解説した上で、現代の商業立地を考えます。	配付資料および各自のノートをもとに、授業内容を復習すること（4時間）
10	都市の地理	都市システム、都市の内部構造を取り上げます。	配付資料および各自のノートをもとに、授業内容を復習すること（4時間）
11	公共サービスと立地	公共サービスの供給に地域差が生じる要因、公共施設の立地などを取り上げます。	配付資料および各自のノートをもとに、授業内容を復習すること（4時間）
12	身近な地域の地誌	松本を事例に、身近な地域の変化を読み解きます。	配付資料および各自のノートをもとに、授業内容を復習すること（4時間）
13	日本のすがた	具体的な地域を取り上げながら、日本地誌へのアプローチ方法について説明します。	配付資料および各自のノートをもとに、授業内容を復習すること（4時間）
14	世界の諸地域	具体的な国・地域を取り上げながら、世界地誌へのアプローチ方法について説明します。	配付資料および各自のノートをもとに、授業内容を復習すること（4時間）
15	総括	これまでの内容を振り返りながら、講義全体を総括します。	配付資料および各自のノートをもとに、授業内容を復習すること（4時間）

テキスト

毎回レジュメを配付します。

成績評価の方法・基準

受講態度：30%　定期試験：70%
「受講態度」では、調べ学習などの事前学習、コメントシートの提出状況およびその内容、小テストの結果を総合的に評価します。
S：積極的な探求心、批判的な思考力を持って課題に取り組み、授業内容を高度に理解している。A：積極的な探究姿勢を持って課題に取り組み、授業内容を十分に理解している。B：与えられた課題に誠実に取り組み、授業内容のおおよそを理解している。C：与えられた課題に取り組み、授業内容の60%程度を理解している。

参考書

講義中に適宜紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

高校時に使用した地図帳を持参してください。

科目名	人文地理	学年学期	3・4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TA36026	研究室	
担当者	山田　晴通	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(社会)､高一(地歴)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			○	△		

授業概要

人文地理学という学問領域の広がりについて理解し、身近な人文現象考察する観点として、地理学的なものの見方を学びます。
講義では，近代的な人文地理学の発達史を概説した上で，「空間」や「地域」といった基本概念を再検討し，その過程で人文現象を地理学的に捉える多様な見方を紹介します。また，宿題や授業時間内のドリルを通して、日本国内や世界各地における様々な地誌的事象について学んでいきます。

学修到達目標

人文地理学という学問の歴史と領域の広がりについて基本的な理解を獲得し、地誌的事象について広く情報探索の方法、調べ方を身につけるとともに、地理学的なものの見方を修得する。

授業の進め方

頻繁に課題を出して，予習復習を通じて講義で論じる内容への理解が深まるようにします。授業の中では，受講者との対話を重視していきますので，授業には積極的に参加してください。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	「人文地理学」という捉え方について	宿題1（4時間）
2	人文地理学の歴史（1）	フンボルト以前	宿題2（4時間）
3	人文地理学の歴史（2）	ラッツェル前後	宿題3（4時間）
4	人文地理学の歴史（3）	モデル指向	宿題4（4時間）
5	人文地理学の歴史（4）	計量革命前後	宿題5（4時間）
6	人文地理学の歴史（5）	認知をめぐる諸問題	宿題6（4時間）
7	基礎概念の再検討（1）	「地域」と「空間」をめぐる議論	宿題7（4時間）
8	基礎概念の再検討（2）	都市の同心円モデル：前半	宿題8（4時間）
9	基礎概念の再検討（3）	都市の同心円モデル：後半	宿題9（4時間）
10	基礎概念の再検討（4）	境界線をめぐる議論：前半	宿題10（4時間）
11	基礎概念の再検討（5）	境界線をめぐる議論：後半	宿題11（4時間）
12	基礎概念の再検討（6）	「地域」の多様な捉え方	宿題12（4時間）
13	事例研究の講読（1）	平成の大合併と地域情報（1）：テキスト（山田，2012：2013）への導入	テキストの予習・復習課題（4時間）
14	事例研究の講読（2）	平成の大合併と地域情報（2）：テキスト（山田，2002：2013）前半	テキストの予習・復習課題（4時間）
15	事例研究の講読（3）	平成の大合併と地域情報（3）：テキスト（山田，2002：2013）後半	テキストの予習・復習課題（4時間）

テキスト

授業の最後の部分でとりあげるテキストは、印刷教材として配付します。

成績評価の方法・基準

課題：50%　定期試験：50%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

特定の文献指定はしませんが，全体を通じて英和辞典，国語辞典，学習用地図帳を随時参照できるように手元に用意するか，ノートパソコン、携帯電話等で随時検索できるようにしてください。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

研究室のサイトに授業に関する指示やお願いが出ています。事前に読んで理解しておいてください。メールでの質問も歓迎します。
http://camp.ff.tku.ac.jp/YAMADA-KEN/　yamada@tku.ac.jp

科目名	自然地理	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL33503	研究室	
担当者	柳町　晴美	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(社会)､高一(地歴)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

自然地理に関する知識を深めることを目的とします。気候に関連した内容を中心に、気候の地域差をもたらす要因、グローバルスケールの気候、日本の気候、長野県の気候、身近な松本平の気候へと気候の特徴を考察します。地域によって気候は多様であるとともに、共通性もあること、気候は人間生活にどのように影響するのか、逆に、人間活動が環境を改変し、ヒートアイランド現象や地球温暖化をもたらしたこと、気候と地形の関係について学びます。

学修到達目標

気候の地域差をもたらす要因、地球温暖化などの気候に関連した現在直面する環境問題、気候と地形との関係について説明できるようになること。

授業の進め方

自然地理に関する講義を展開します。自然と人間との関わりについてのレポートを作成し発表してもらいます。ほぼ毎回、授業内容に関する小テストを実施します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス、地図に関する基礎知識	自然地理に関する講義概要、学修到達目標、講義の進め方、授業計画、成績評価の方法などについて説明します。地理の学習上の基本ツールである地図について、様々な例を紹介します。	関連の資料、Webサイトを紹介します。内容を確認して予習して下さい。4時間
2	気象、気候、風土	基本的な用語、気象、気候、風土などについて解説します。	配布資料、紹介したWebサイト情報で予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間
3	気候の地域差をもたらす要因	気候の地域差はどうして生じるのかを考えます。	配布資料、紹介したWebサイト情報で予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間
4	世界の気候1　大気大循環	世界の気候の特徴を大気大循環（風系）から見ていきます。	配布資料、紹介したWebサイト情報で予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間
5	世界の気候2　気候区分	同じ特徴を持つ地域に世界を区分する世界の気候区分について紹介します。	配布資料、紹介したWebサイト情報で予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間
6	日本の気候1　日本の気候の特徴	日本の気候はどのような特徴を持っているのか解説します。	配布資料、紹介したWebサイト情報で予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間
7	日本の気候2　季節区分	日本の季節毎の特徴的な気圧配置と季節区分について解説します。	配布資料、紹介したWebサイト情報で予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間
8	日本の気候3　気候区分	同じ特徴を持つ地域に日本を区分する日本の気候区分について紹介します。	配布資料、紹介したWebサイト情報で予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間
9	長野県の気候	長野県の気候はどのような特徴を持っているのか解説します。	配布資料、紹介したWebサイト情報で予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間
10	気候と地形1　古気候と地形	古気候、地形に古気候が反映されているか解説します。	配布資料、紹介したWebサイト情報で予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間
11	気候と地形2　現在の気候と地形	現在の気候が地形に影響するのか解説します。	配布資料、紹介したWebサイト情報で予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間
12	地球温暖化とは	地球温暖化について気候データを用いて解説します。	配布資料、紹介したWebサイト情報で予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間
13	地球温暖化の影響	地球温暖化はどのような影響をもたらすのか解説します。	配布資料、紹介したWebサイト情報で予習して下さい。小テストの答で復習して下さい。4時間
14	ヒートアイランド現象	ヒートアイランド現象とは何かに関して解説します。	小テストの答で復習して下さい。レポート発表の準備をしてください。4時間
15	レポート発表、補足、まとめ	作成したレポートを発表してもらいます。講義全体を再考します。	発表内容により各地の自然地理を復習してください。全体を振り返って要点を確認してください。4

テキスト

プリントを配布します。8回目までの内容は、参考書「やさしい気候学」、10・11回目は、参考書「自然地理学」にほぼ含まれています。他の回は、気象庁、環境省、IPCCなどのサイトで公表されている資料を参考にしてください。

成績評価の方法・基準

レポート：20%　定期試験：40%　小テスト：30%
発表10%。S：授業内容を高度に理解し、探究姿勢を持って課題に取り組み、授業内容について他分野でも十分活用できる。卓越した発表を行い授業に貢献している。A：授業内容を十分理解し、熱心に課題に取り組み、授業内容を援用した思考ができる。発表を行い授業に積極的に参加している。B：授業内容を概ね理解し、課題に誠実に取り組んでいる。発表を行い理解を深める努力をしている。C：授業内容を60%程度理解し、課題に取り組んでいる。

参考書

「やさしい気候学　第3版」仁科 淳司著（古今書院）
「自然地理学（第3版）」松原彰子著（慶應義塾大学出版会）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

高校で地理を学ばなかった学生も理解できる内容としますが、高校レベルの地理は社会人として必要な常識的な内容を含んでいます。是非この機会に地理を勉強しましょう。

科目名	観光地理Ⅰ（日本）	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TA26019	研究室	W-20
担当者	向井　健	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日4限		
関連資格	中一(社会)､高一(地歴)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			◎			

授業概要

本講義では、全国各地の特色ある観光資源について学びながら、日本国内における観光資源の位置と特色について学んでいきたいと考えています。

学修到達目標

1,日本における観光資源の分布について学び、説明できるようになる。
2,日本の観光資源の特色について説明することができる。

授業の進め方

本講義では、国内の観光資源に関する資料を配布しつつ、問題を解いてもらいながら講義を進めていきます。
地図帳（中学もしくは高校で使用したもので可）を、毎回、必ず持参してください。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	本講義の概要、進め方、評価の仕方などについて説明します。	授業の内容の概略について、プリントを見て復習しておくこと（4時間）
2	日本の自然景観の特徴	日本列島における自然景観の特徴についてみていきます。	配布したプリントを見て復習しておくこと（4時間）
3	山岳・湖沼・峡谷・滝	山岳・湖沼・峡谷・滝などといった自然景勝地の分布についてみていきます	配布したプリントを見て復習しておくこと（4時間）
4	日本の世界遺産・国立公園	世界遺産や国立公園とは何か。また日本にはどのような世界遺産・国立公園があるのか　をみていきます。	配布したプリントを見て復習しておくこと（4時間）
5	日本の温泉地と地域づくり	日本の温泉地とその変化についてみた上で、現在、温泉地で取り組まれている地域づくりの取組みについてみていきます。	配布したプリントを見て、復習しておくこと（4時間）
6	地域の人々の暮らしと祭り・伝統行事	日本各地にあるお祭りや伝統行事が、どのようにその地域の人々の暮らしに結びついているのかについて学びます。	配布したプリントを見て、復習しておくこと（4時間）
7	地域の人々の暮らしと文化（郷土料理・名産品など）	地域の人々の暮らしに根ざした特色ある文化（郷土料理や名産品）についてみていきます。何故、その地域でそのような特色ある文化が生まれたのかについても考えます。	これまでの配布したプリントを見て復習をしておくこと（4時間）
8	中間テスト	これまでの学習内容の定着度をはかる確認のための中間テストを実施します。	これまでに配布したプリントを見て復習をしてテストに望むこと（4時間）
9	都道府県別に見た観光資源①：北海道地方	北海道地方を中心とした観光都市とその観光資源について学びます。	配布したプリントを見て、復習しておくこと（4時間）
10	都道府県別に見た観光資源②：東北地方	東北地方を中心とした観光都市とその観光資源について学びます。	配布したプリントを見て、復習しておくこと（4時間）
11	都道府県別に見た観光資源③：関東・中部地方	関東・中部地方を中心とした観光都市とその観光資源について学びます。	配布したプリントを見て、復習しておくこと（4時間）
12	都道府県別に見た観光資源④：近畿地方	近畿地方を中心とした観光都市とその観光資源について学びます。	配布したプリントを見て、復習しておくこと（4時間）
13	都道府県別に見た観光資源⑤：中国・四国地方	中国・四国地方を中心とした観光都市とその観光資源について学びます。	配布したプリントを見て、復習しておくこと（4時間）
14	都道府県別に見た観光資源⑥：九州・沖縄地方	九州・沖縄地方を中心とした観光都市と、その観光資源について学びます。	配布したプリントを見て、復習しておくこと（4時間）
15	まとめ	この講義を通して学んだことを振り返った上で講義を総括します。受講生からわからないところがあれば補足の説明をします。	本講義を通してわからないところがないか確認をしておくこと（4時間）

テキスト

「旅行業務実務シリーズ4　2018国内観光資源」（JTB総合研究所）（別途、指示します。）　テキストの購入を別途指示しますので、それに従って購入してください。

成績評価の方法・基準

小テスト：30%　定期試験：70%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組むことができている。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B：授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。

参考書

「旅行業務取扱管理者試験トレーニング問題集①観光地理」資格の大原旅行業務取扱管理者課編（大原出版）　ISBN：978-4864862462

履修上の注意（学生へのメッセージ）

国内旅行業務取扱管理者試験に向けての講義です。資格取得を目指す意志のある学生の受講を求めます。かならず講義で学んだ内容の復習を忘れずに取り組んでください。

科目名	観光地理Ⅱ（世界）	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TA36021	研究室	W-20
担当者	向井　健	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日4限		
関連資格	中一(社会)､高一(地歴)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			◎			

授業概要

本講義では、国際観光の歴史を学びその課題を考察するとともに、世界各国における観光資源の立地形成について学んでいきます。

学修到達目標

1,世界各国の観光資源の立地とその形成について説明することができる。
2,国際観光をめぐる課題について学び、考えることができる。

授業の進め方

「地図帳」は、必ず持参してください。世界各国の観光資源の特徴を学ぶとともに、観光圏マップを作成するなどして、世界の観光地について調べてもらいます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業概念、学習目標、評価の仕方について説明をします。	講義で配布したプリントを復習をしておいてください（4時間）
2	国際観光の歴史	国際観光をめぐる歴史を説明します。	講義で配布したプリントを復習をしておいてください（4時間）
3	現在の国際観光の動向	現在の国際観光をめぐる動向について説明します。	講義で配布したプリントを復習をしておいてください（4時間）
4	アジア・太平洋地域の観光資源	アジア・太平洋地域の観光資源とその立地形成について説明をします。	講義で配布したプリントを復習しておいてください（4時間）
5	北アメリカの観光資源	北アメリカ地域の観光資源とその立地形成について説明をします。	講義で配布したプリントを復習しておいてください（4時間）
6	南アメリカの観光資源	南アメリカ地域の観光資源とその立地形成について説明をします。	講義で配布したプリントを復習しておいてください（4時間）
7	ヨーロッパの観光資源	ヨーロッパ地域の観光資源とその立地形成について説明をします。	講義で配布したプリントを復習しておいてください（4時間）
8	中東・アフリカの観光資源	中東・アフリカ地域の観光資源とその立地形成について説明をします。	講義で配布したプリントを復習しておいてください（4時間）
9	観光圏マップの作成	国際観光の空間パターンを考えるために観光圏マップを作成します。	次回講義までに作業を完了させておいてください（4時間）
10	観光圏マップから考える	作成した観光圏マップをもとにして見えてきたことについて話し合います。	リアクションペーパーを期日までに提出してください（4時間）
11	国・地域別の観光客の流れ	国・地域別の観光客の流れについて説明をします。	配布した資料を復習しておいてください（4時間）
12	創出されるイメージと「観光文化」	創出された「観光文化」の受容と相克について説明をします。	配布した資料を復習しておいてください（4時間）
13	国際観光の課題	国際観光の課題について討論しあいます。	リアクションペーパーを期日までに提出してください（4時間）
14	観光の20世紀を振り返って	「観光の20世紀」を振り返りみて、これからの時代において求められる国際観光のあり方とは何かを考えます。	リアクションペーパーを期日までに提出してください（4時間）
15	まとめ	講義を振り返り、総括をします。また講義を通してわからないところがあれば補足説明をします。	講義を振り返ってみてわからないところがあれば質問としてまとめておくこと（4時間）

テキスト

資料はこちらで用意します。

成績評価の方法・基準

定期試験：50%　小テスト：20%　レポート：30%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組むことができている。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B：授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。

参考書

「旅行業務取扱管理者試験トレーニング問題集①観光地理」資格の大原旅行業務取扱管理者課編（大原出版）　ISBN：978-4864862462

履修上の注意（学生へのメッセージ）

この講義では、総合旅行業務取扱管理者試験で出題される観光資源についても并学びながら、なるべく海外の観光資源について関心を持ってもらおうと思います。

科目名	芸術文化	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13206	研究室	W-26
担当者	山根　宏文	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日1限		
関連資格	中一(社会)､高一(地歴)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

日本と海外の伝統文化を育んだ地域とともに学びます。日本人の美意識、芸術文化を京都から、さらに、ヨーロッパ諸国、アメリカ合衆国の特色ある芸術文化に視点をおいて学びます。日本との文化の違いを学び、異文化に対する広い視野と深い洞察力を養い、国際的な視野も身につけてもらうのが講義の到達目標です。

学修到達目標

日本の伝統文化、美意識について学び、暮らしの中ある多くの文化芸術について気づき、理解できるようになること。さらに海外での文化芸術、芸術振興を学び異文化に対する広い視野を身につくことができることが目標です。

授業の進め方

市販のテキストは用いず、独自のプリント教材を中心に講義を進めます。
必要に応じて、スライド、ビデオなどの視聴覚教材を利用します。教室での講義のみになります。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方について説明します。	15回の講義テーマについて関心のあるテーマについて予復習する。（事前事後4時間）
2	日本人の美意識	日本の芸術文化　日本人の美意識と伝統文化	暮らしに使用されているもので美しいもの、伝統文化を復習する。（事前事後4時間）
3	日本の食文化	日本の食文化　無形文化遺産 日本食の魅力とは	日本食の魅力、食材について復習する。（事前事後4時間）
4	地域と芸術振興	地域と芸術文化　フランスの芸術振興策 「パリがなぜ芸術の都と言われるのか10の要因」	パリの芸術振興と日本の芸術振興の比較を学修する。（事前事後4時間）
5	地域と食文化	地域と芸術文化　イタリアの食文化 「イタリアがグルメの国と言われる10の理由」	イタリアの食文化について学修する。（事前事後4時間）
6	現代アート都市	地域と芸術文化 「アメリカ合衆国と現代アート　現代アート都市　ラスベガス」	現代アートを活かしたラスベガスの都市政策を学修する。（事前事後4時間）
7	地域と庭園文化	地域と芸術文化　英国の庭園文化と田園 「なぜ英国のカントリーサイドは美しく活気があるのか」	日本の田園風景について学修する。（事前事後4時間）
8	ハワイ文化とアロハ	地域と芸術文化　ハワイの伝統文化フラ（ダンス）とアロハスピリット つくられたリゾートとハワイアンの悲しい歴史	ハワイ文化の基本アロハの精神について学修する。（事前事後4時間）
9	民藝と朝鮮時代の美	地域と芸術　民藝と手仕事・李朝（韓国）の美について	民藝について学修する。（事前事後4時間）
10	世界のデザイン	地域と芸術　スカンジナビアデザインの特色と世界のデザイン	身の回りにあるデザインについて学修する。（事前事後4時間）
11	大衆芸術	大衆芸術　ポップカルチャーとポップカルチャー 「世界一 日本のアニメ」の魅力とは	個々の好きな大衆芸術を選び、その要因を考える。（事前事後4時間）
12	芸術文化振興（音楽）	「なぜウィーンは音楽の都と言われるのか。」 ウィーンの音楽振興策を解説します	芸術文化の楽しみ方を復習する。（事前事後4時間）
13	文化情報と発信	文化と観光　文化情報と発信　ディスカバージャパンから「そうだ京都行こう」まで。心に残る情報発信とは	様々な文化芸術情報について学修する。（事前事後4時間）
14	芸術文化とまちづくり	芸術文化によるまちづくりについて40の事例とともに成功要因を解説します。	芸術文化による街づくりの事例を復習する。（事前事後4時間）
15	まとめ	まとめ　14回の講義内容を要点を解説し、芸術文化の魅力についてまとめをします。	15回の講義ノートを再度読み直してください。

テキスト

講義ごとに概要を説明したレジメを配ります。

成績評価の方法・基準

出席レポート：30%　定期試験：70%
S：授業内容を高度に理解し提案力が特に優れている。
A：授業内容を高度に理解し探究心、提案力が優れている。
B：授業内容をおおよそ理解し探究心、提案力がある。
C：授業内容をおおよそ理解し、探究心、提案力が60%程度である。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

芸術文化は講義だけでなく、日々の暮らしを豊かにするために必要です。暮らしの中にある芸術文化を探してみてください。

科目名	地域史（地誌）	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL11105	研究室	W-22
担当者	木村　晴壽	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日4限、金曜日2限		
関連資格	中一(社会)、高一(地歴)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

地域の歴史を正しく理解することは、地域の観光や福祉を考える場合にも有効だろうし、地域商工業の発展をはかるうえでも不可欠といえます。しかし地域史を学ぶ本当の意味は、歴史を見る際の勘所をおさえることにあります。松本地方の地域史は松本だけのことで他の地域とは全く関係がない、ということでは決してありません。皆さんが、他の地域の歴史を知ろうとするときに、どういうところに目をつけてその地域の歴史をたどったらよいか、そのポイントを把握することになるのです。

学修到達目標

日本全体の歴史の中で、信州や松本地方の歴史はどこに特徴があるのかを理解することが目標です。

授業の進め方

基本的には教員からの説明を主体とした講義形式で進めます。アウトキャンパス等は計画していません。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	ガイダンスと講義全体に関しての基礎知識を説明	事前、テキスト1～3頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。
2	中世の信州	戦国時代の信州と松本について概略的に解説する	事前、テキスト4～8頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。
3	近世の地域（全国的傾向）	太閤検地を起点として日本近世の仕組みを概説する	事前、テキスト10～13頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。
4	信州の年貢	近世において領主と農民の関係の基軸である年貢収受関係に関し、特に信州の各藩を取り上げ、年貢の実態を解説する	事前、テキスト14～18頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。
5	江戸時代の松本	信州の中でも特に松本平に関し、その特徴を解説する	事前、テキスト18～20頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。
6	“県”の成り立ち	明治期になって繰り返される県の合併について、詳述する	事前、テキスト22～29頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。
7	「長野県」の誕生	初期の「長野県」および第二次「長野県」、そして現代の長野県が誕生するまでの複雑な経緯を詳述する	事前、テキスト30～33頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。
8	市町村の整備	府県レベルの整備に続き、市町村の整備が展開する過程を詳述する。併せて町村合併が強行された事情にも触れる	事前、テキスト34～36頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。
9	“市”の誕生	町村レベルの整備と併行して、わが国で初めて「市」が設定された経緯と、その実態について詳述する	事前、テキスト36～41頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。
10	地域の商工業	地域に展開する商工業に関し、商工会議所を取り上げて解説する。特に松本商工会義所には特徴的な歴史があり、その点についても詳述する	事前、テキスト42～48頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。
11	松本の製糸業と商工業	信州全土で盛んとなった製糸業について概説し、松本での製糸業の展開を、商工業全体の発展と関連づけて説明する	事前、テキスト42～48頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。
12	信州の産業組合	信州で著しく発展した戦前の産業組合について、実態に即した説明をする	事前、テキスト50～58頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。
13	地域の実業教育	松本市の誕生とともに始まる松本戊戌商業学校問題について、市議会資料にもとづいて解説する	事前、テキスト60～69頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。
14	戦後の地域	戦前の歴史の上に、戦時中の特殊事情が加わり、どのように戦後の地域経済が形成されるのかを、概略的に説明する	事前、テキスト71～80頁を熟読(2時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。
15	総括	地域の歴史を、政治・経済・社会という側面ごとに振り返り、総括する	事前、テキスト全体を通読(4時間)。事後、授業での指摘事項を調べる(2時間)。

テキスト

「地域史（地誌）」木村晴壽著松本大学総合経営学部編(生協で購入してください。)

成績評価の方法・基準

基本的には期末試験の結果を重視します。授業に出席するのが基本なので出欠に関してはあまり重視しません。レポート：20%、定期試S:80%。S:授業内容を十分に理解し、日本の経済発展について解説できる。A:授業内容を理解している。B:授業内容をおおよそ理解している。C:授業内容を6割程度理解している。

参考書

「長野県史」長野県編
「松本市史」

履修上の注意（学生へのメッセージ）

本講義では「遅刻」という範疇はありません。時間通りに着席することが基本です。

科目名	国際観光	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TA26002	研究室	W-17
担当者	益山　代利子	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日2限		
関連資格	中一(社会)、高一(地歴)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			◎			

授業概要

観光は「平和のパスポート」と呼ばれています。訪日外国人旅行者が1000万人を超える時代を迎えて、今後益々人的交流の機会が増え、個人的な民間外交の重要性が叫ばれてきました。本講義では、国際観光に関連する統計や事例を基に、国際観光ビジネス、インバウンド政策の諸問題、国際観光と交流文化の視点から、日本と世界の国際観光について考えます。

学修到達目標

1. 日本人の海外旅行の推移や訪日外国人旅行者の特徴を理解する。
2. 観光関連産業界の国際問題について把握する。
3. 国際文化交流と観光の役割について説明できる。

授業の進め方

統計資料や文献などを利用しながら説明します。長野県で活躍するゲストを招待して国際観光の現状の話題提供もしてもらいます。グループワークを通して、最終講義には訪日旅行企画に関するグループプレゼンテーションも行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	国際観光の実情	統計数値から読み解く旅行市場の規模、日本人の海外旅行の概況と訪日外国人旅行者の動向、世界の国際観光組織などを紹介します。	配布資料を読む。(4時間)
2	日本人の海外旅行の歴史と実情	日本人の海外旅行者の市場動向、歴史的背景、観光目的による旅行者の類型、観光行動について説明します。	配布資料を読む。(4時間)
3	観光振興政策	観光政策を国レベル、地域レベルに分けて紹介します。	配布資料を読む。(4時間)
4	国際観光の効果	観光による経済効果、観光消費の波及効果、観光の利点と弊害、観光地のライフサイクルなどについて説明します。	配布資料を読む。(4時間)
5	世界遺産	世界遺産の種類、実情、遺産維持の政策や課題について学びます。	世界遺産調査（ワークシート）(4時間)
6	訪日外国人旅行の現状	日本における外国人旅行者の消費行動や実情について説明します。	配布資料を読む。(4時間)
7	訪日外国人旅行と観光振興	日本における外国人旅行者向けの観光資源の種類や振興策について説明します。	外国人旅行者が求める観光資源に関する新聞調査(4時間)
8	宿泊施設における外国人旅行者の受け入れ	ゲストスピーカーを招待し、宿泊施設経営者が外国人旅行者向けに特に留意している事を学びます。	宿泊施設のHPやSNSを事前に閲覧しておく。(4時間)
9	訪日外国人旅行者の誘致活動	マーケティング戦略から見たわが国の外国人の誘致活動の可能性について説明します。	配布資料を読む。(4時間)
10	国際観光と観光ビジネス	旅行業、運輸業、宿泊業、飲食業などに関わる国際観光の視点について説明します。	配布資料を読む。(4時間)
11	地域の国際観光振興	外国人旅行者を誘致する為の都市観光の取り組みについて事例を紹介し、観光地の販売促進活動の手法について学びます。	配布資料を読む(4時間)
12	地域の国際観光振興	外国人旅行者を誘致するための地方の取り組みについて事例を紹介し、観光振興の特徴や課題を整理します。	観光振興策のグループプレゼンテーションの準備をします。(4時間)
13	観光振興策のグループ・プレゼンテーション	5名程度のグループに分かれて、訪日外国人旅行者向けの観光地の楽しみ方を提案します。	観光振興策のグループ・プレゼンテーションの準備(4時間)
14	オリンピックレガシー	メガスポーツイベントと観光遺産について過去の事例から、今後どのような観光振興が望ましいかを考えます。	配布資料を読む。(4時間)
15	まとめ	これまでの総括と試験対策の説明をします。	講義全体の復習(4時間)

テキスト

「訪日観光の教科書」高井典子・赤堀浩一郎編（創成社）　ISBN:978-4-7944-2427-3（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

課題：30%　定期試験：70%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解け、他の学生の前で発表できる。A：授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって内容に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよろを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

履修上の注意（学生へのメッセージ）

グループプレゼンテーションは、参加者全員が評価に参加するピア・レビューとしますので、各自協力して発表に臨んで下さい。

科目名	環境問題Ｂ（観光）	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13502	研究室	W-15
担当者	田開　寛太郎	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日3限		
関連資格	中一(社会)､高一(地歴)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

地球環境問題は全ての人が被害者であり加害者である、とても複雑に絡み合った問題です。特に近年の地球温暖化、人口爆発、生物種の減少は、地球の歴史上類を見ないスピードで進んでおり、環境の急激な変化が人の生活へ与える影響がとても大きいとされます。本講義では、はじめに本来の自然の生態系のしくみを理解し、次にグローバルな視点からデータを基に環境の現状を捉えつつ、最後に組織や個々人が何をすべきかという課題を取り上げます。

学修到達目標

さまざまな環境問題に対して私たちは今一体何をしたらよいかについて、自身の生活や経験と関連付けながら考えることが出来るようになることを目指します。

授業の進め方

テキストを横断的に使用し、補足としてレジュメ程度の配布資料（参考資料）、プレゼンテーションや映像動画などの各種教材を使いながら講義を進めます。環境問題は分野が横断的で情報量が多いため、試験学習はテキストを利用してください。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	今なぜ環境の時代か	環境問題が世界的なテーマとして議論され久しいですが、全ての人に関わる問題としてどのような視点から学ぶか説明します。	テキスト第1章を読む。配布資料を復習する（4時間）
2	データから見る地球環境問題	21世紀になり地球環境問題に関するデータを多くの人が見ることができる時代となりました。その傾向と課題について学びます。	テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）
3	地球温暖化問題	急激な気候変動という不安定さをもたらす地球温暖化問題について、原因や対策を考えます。	テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）
4	日本の公害の歴史	1970年代に日本が公害先進国として名をはせた事例に基づき、展開と結果を参考に、解決の方法について考えます。	テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）
5	森林破壊、水大気の循環	世界規模の森林破壊の問題と、国内の森林の質の低下の問題を合わせて考えます。また、水大気の循環システムを学びます。	テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）
6	生物多様性の減少	生物の循環システムを学ぶとともに、著しく生物多様性が減少している現代の問題についてデータをもとに考えます。	テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）
7	廃棄物問題	日本の廃棄物処理の現状について、データをもとにその問題と解決方法について学びます。	テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）
8	エネルギー問題	日本のエネルギー自給率は世界的にみると低く、エネルギーがもつ性質や問題点、対策について学びます。	テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）
9	自然エネルギーと地域づくり	東日本大震災以降、新エネルギーや地域単位での取り組みについて注目が集まっています。その現状と課題を学びます。	テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）
10	農と食糧、地球資源の枯渇	グローバルな時代において、安心安全の食への課題や、魚や植物などの資源の枯渇が課題となっていることを学びます。	テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）
11	解決に向けて1―国際的な環境への取組み	1970年以降、世界会議が10年に1度行われるなど、国を超えた環境への取り組みがあることを学び、我が国の姿勢を考えます。	テキスト第2・3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）
12	解決に向けて2―企業・社会の環境への取組み	産官学民が進める環境への対応について例を挙げ、知識を得るとともに、今後の課題について考えます。	第3章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）
13	解決に向けて3―ライフスタイルの変換	個人でできる、家族で取り組む身近な環境対策のあり方について紹介し、取り組み方法を考えます。	第4章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）
14	解決に向けて4―環境教育と持続可能な開発のための教育	環境問題を解決するための方法の一つとして教育がありますが、持続可能な開発のための教育とは何かを、環境教育と合わせて学びます。	第4章の該当部分を読む。配布資料を復習する（4時間）
15	まとめ―地域固有の環境問題	日本および長野県における環境問題を再度整理し、地球環境問題との関連や今後の課題について学びます。	小レポートを作成する（4時間）

テキスト

「ECO検定公式テキスト」東京商工会議所編著　ISBN:978-4-8207-4487-0
各自で購入してください。

成績評価の方法・基準

定期試験：60%　出席レポート：30%　課題：10%
課題は小レポートとします。S：内容を高度に理解し、実社会での出来事と地球規模の課題を関連付け、批判的な視点をもちながら、正確に文章で表現することができる。A：探求姿勢を持って課題に取り組み、内容を正確に理解し、各要素を関連付けた視点で、正確に文章で表現することができる。B：内容をおおむね理解し、要素を関連付けた視点で、文章化できる。C：授業の内容を6割以上理解し、自分の意見を文章化できる。

参考書

受講する人は普段から新聞を読んだり、ニュースを見たりするよう心がけてください。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

受講する人は普段から新聞を読んだり、ニュースを見たりするよう心がけてください。

科目名	地域環境と生態	学年学期	3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL33505	研究室	S-12
担当者	木藤　伸夫・丸山　文男	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限､水曜日3限		
関連資格	中一(社会)､高一(地歴)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

この講義の前半では、環境を構成する要素など環境問題を考えるうえで必要な基礎知識や、環境問題を取り扱う際の方法論などを解説します。後半では、地球上のあらゆる環境で生活している微生物に焦点を当て、微生物の種類や性質などの基礎的なことから、地球環境と微生物の関わり、微生物を利用した環境改善など応用的な面まで分かりやすく概説します。

学修到達目標

前半では、天気や気候の変化における大気と海洋の役割を理解し、人間の活動と地球環境の変化の関係を理解することが目的です。後半では、地球全体の物質循環とそれに関わる微生物によって地球環境が維持されていることを理解することが目的です。

授業の進め方

配布資料に基づいて講義形式で授業を行います。講義内容を理解するには物理学、化学、生物学、地学などの理系基礎科目の知識が必要です。毎回小テストを行い、授業の理解度を確認します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	太陽系の中の地球	地球大気の起源と進化について学びます。	配布資料を復習します．課題を課し提出を求める場合があります．（第1回～7回まで）（4時間）
2	大気の鉛直構造	対流圏、成層圏とオゾン層、中間圏、熱圏について学びます。	配布資料を復習します．（4時間）
3	地球のエネルギー収支	地球のエネルギー収支を理解し温室効果について学びます。	配布資料を復習します．（4時間）
4	地球をめぐる大気の流れ	風の吹き方を理解し大気の大循環を学びます。	配布資料を復習します．（4時間）
5	海水の循環	海水の流れを理解し海洋と気候について学びます。	配布資料を復習します．（4時間）
6	気候変動	エルニーニョ、異常気象について学びます。	配布資料を復習します．（4時間）
7	地球環境	都市気候、酸性雨、地球温暖化について学びます。	配布資料を復習します．（4時間）
8	確認テスト	第1回～7回までの内容の理解度を筆記試験で確認します。	これまでに配布された資料などに基づき、講義内容を振り返っておきます（6時間）
9	環境微生物の進化と環境形成	46億年前に誕生した地球の環境がどのように変化して現在の環境になったかを解説します。「地球と生命の共進化」ともよばれる、地球環境の変化と生物進化の密接な関係を理解することが目的です。	配布資料を復習します．（4時間）
10	環境微生物が行う各種物質変換の実際	地球レベルでの物質循環を知るために、炭素循環と窒素循環を取り上げて解説します。物質循環には生物が関与しない無機的な循環と、生物が関与するものがあります。違いを明確に理解する事が目的です。	配布資料を復習します．（4時間）
11	極限環境微生物	微生物は地球上の様々な環境に生息していますが、特に変わった環境（高温、強酸・強アルカリなど）で生きている微生物がいること、私達の日常生活でこれらの微生物がどのように利用されているか学びます。	配布資料を復習します．（4時間）
12	地球環境の激変と環境微生物のかかわり	近年問題になっている地球環境の変化、すなわち地球温暖化や、水質、大気、土壌などの環境汚染の原因物質は何か、汚染はどのようにして起こるのかを学びます。	配布資料を復習します．（4時間）
13	微生物による有害物質除去・分解の原理	微生物を使った環境浄化の方法、特に排水処理法、悪臭処理法、重金属汚染や有機塩素化合物などの除去、分解法などを理解することが目的です。	配布資料を復習します．（4時間）
14	バイオレメディエーション	微生物による環境浄化（バイオレメディエーション）について学習します。原油や界面活性剤の汚染除去への応用、土壌や地下水の汚染除が実際どのように行われているかを学びます。	配布資料を復習します．（4時間）
15	食糧生産への微生物利用とバイオエネルギー	人工的な肥料の代わりに微生物を使った農法の有用性を学びます。また、化石資源の代替エネルギーとして注目されているバイオエネルギーについて、メリット、デメリットを学習します。	配布資料を復習します．（4時間）

テキスト

なし

成績評価の方法・基準

定期試験：100%
地球環境を決める複数の要因をあげることができればC、それらが地球環境にどのような影響を与えるか説明できればB、地球における物質循環やエネルギー収支について説明できればA、現代起こっている様々な環境問題や環境保全、環境改善などについて、自分の考えを述べることができればS。

参考書

「地球環境46億年の大変動史」田近英一著（化学同人）　ISBN：978-4-7598-1324-1
「一般気象学」小倉義光著（東京大学出版会）　ISBN：978-4-13-062725-2

履修上の注意（学生へのメッセージ）

物理、化学、生物学、地学のどれか1科目でも良いので、高校で学んだ理系科目を復習しておいて下さい。

科目名	教育指導入門	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL260101 TL260111	研究室	W-31
担当者	室谷　心	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件	【資格・免許取得希望者のみ履修可】				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	△	総○ 観○	△	△	△	

授業概要

プレゼン、授業、セールス、面接、仕事でもプライベートでも自分の考えや思いを他人に伝えたい場面や伝えなければいけない場面は、誰にでも起こります。自分の真意を相手が正しく受け取ってくれるように、上手に情報発信する技法を考えましょう。

学修到達目標

こちらの意図が相手にきちんと伝わるようなプレゼンをできるようになる。
教育指導に関する問題を正しく捉えられるようになる。

授業の進め方

講義と実践を交えて進めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	この授業の目的と進め方を解説し、必要に応じてグループ分けします。グループのメンバーの顔と名前を覚えましょう。	グループのメンバーの顔と名前を覚える。アイスブレークを考える。(4時間)
2	分かりにくい表現	身の回りの分かりにくい表現をさがし、それがなぜわかりにくいのか考える。	分かりにくい表現を探す。(4時間)
3	“てにをは”	“てにをは”を考える。てにおはを変えるだけで文章の印象がどのように変わるか。	”てにおは”をいろいろ変えた文章を比較する。(4時間)
4	分かりやすい	参考文献に従って、分かりやすい表現のルールを考える。	ルールを吟味する。(4時間)
5	分かりやすいの実践と反省	分かりやすい表現の実践と反省。分かりやすい表現と分かりにくい表現を意識して作り比較検討する。	自分で分かりやすい表現を作ってみる。(4時間)
6	プレゼン	プレゼンにおける分かりやすさとは何かを考える。	分かりやすいプレゼンを作ってみる。(4時間)
7	説明術・基礎編	説明術・基礎編。参考文献「わかりやすい説明の技術」に基づいて説明術を考える。	課題のテーマを自分で説明してみる。(4時間)
8	説明術・応用編	説明術・応用編。参考文献「わかりやすい説明の技術」に基づいてさらに説明術を考える。	課題のテーマを自分で説明してみる。(4時間)
9	授業	授業におけるわかりやすさの再検討。	指導プランを考える。(4時間)
10	プランの立て方	時間配分、話の流れの設定など、50分の授業プランの立て方を考える。	50分の授業プランを立ててみる。(4時間)
11	題材と仕上げ方	50分の授業を想定し、題材の選択と仕上げ方の技術を学びます。	題材を自分仕様に仕上げる。(4時間)
12	ICT機器の利用	パソコン、タブレット、カメラ、ビデオ、プロジェクターなどなど色々なツールの利用を考える。	カメラとパワーポイントを使ってみる。(4時間)
13	技術の説明	“説明”してみよう1. 技術の説明を具体例を用いて考える。	技術を説明してみる。(4時間)
14	文化の説明	“説明”してみよう2. 文化の説明を具体例を用いて考える。	文化を説明してみる。(4時間)
15	まとめ	色々な説明のポイントを纏める。	授業内容全体を振り返り、試験に備える。(4時間)

テキスト

なし

成績評価の方法・基準

課題：30%　定期試験：70%
課題とは授業中の発表やレポートです
S:教育指導に関する発展的な問題を考察できる。
A:教育指導に関する応用的な問題を考察できる。
B:教育指導に関する標準的な問題を考察できる。
C:教育指導に関する基礎的な問題を考察できる。

参考書

講義内で指示します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

教職を目指す学生を主な対象としていますが、授業の技法だけではなく、様々な形での情報発信を広く扱っていきます。

科目名	健康と観光	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TA36023	研究室	W-15
担当者	田開　寛太郎	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	中一(社会)、高一(地歴)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			◎			

授業概要

健康を目的とした観光は、地域活性化とともに少子高齢化の解消や社会保障制度の維持など、将来の日本のさまざまな課題に貢献しうる有益な手段として期待が高まっています。本講義では、映像等を使用しながら「健康と観光」の概念と基本的な理論を解りやすく習得し、その活用法について考えます。また、自然フィールドに出かけ、健康を切り口としたツーリズムを体験し気づきを得たうえで「健康と観光」の諸課題を深めます。

学修到達目標

「健康と観光」の関係を基礎から理解するとともに、その実現方法を過去の事例と課題実習を通して考え具体的な提案を示し、それらの意義について論じることが出来るようになることを目指します。

授業の進め方

各回の講義は新聞記事などの事例を用い、課題を図式化したり、映像を投影したりして、想像を膨らませながら進めます。アウトキャンパスでは自然フィールドに出かけ、健康に関するツーリズムを理論と実践とで理解していきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス	授業概要、学修到達目標、授業の進め方、評価の仕方、履修上の注意などを説明します。	シラバスの理解と授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
2	健康という考え方が生まれた背景1	健康の概念と基本的な理論を学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
3	健康という考え方が生まれた背景2	健康の概念と基本的な理論を学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
4	わが国の健康政策	具体的な事例をもとに健康政策について考えます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
5	「健康と観光」事情1	国内外における健康に関するツーリズムを例に、その現状と課題を探ります。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
6	「健康と観光」事情2	国内外における健康に関するツーリズムを例に、その現状と課題を探ります。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
7	体験実習1（アウトキャンパススタディ）	清里高原にバスで移動し、グループに分かれて実際に健康に関するツーリズムを体験します。	事前に実習先について調べるとともに、授業で紹介された準備を行う（4時間）
8	体験実習2（アウトキャンパススタディ）	清里高原にバスで移動し、グループに分かれて実際に健康に関するツーリズムを体験します。	体験の感想をまとめる（4時間）
9	体験実習3（室内実習）	大学にて体験実習の気づきをシートにまとめ、小グループでワークショップ形式にて振り返ります。	体験実習の振り返りによる感想をまとめたワークシートを作成する（4時間）
10	健康づくりのためのツーリズム	心身ともに癒され、健康を回復・増進・保持するための新しい観光形態のあり方について学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
11	健康と観光の展開1―ウェルネスツーリズム	ウェルネスツーリズム/ヘルスツーリズムに関する国内外の具体的な事例をもとに現状と課題を見つめます。	国内外の興味ある体験ツアーを探し、各種ツアーとの関連性をまとめる（4時間）
12	健康と観光の展開2―地方創生	観光の視点から地方創生に関する国内外の具体的な事例をもとに現状と課題を見つめます。	国内外の興味ある体験ツアーを探し、各種ツアーとの関連性をまとめる（4時間）
13	健康と観光の展開3―温泉街とまちづくり	温泉街に関する国内外の具体的な事例をもとに現状と課題を見つめます。	国内外の興味ある体験ツアーを探し、各種ツアーとの関連性をまとめる（4時間）
14	健康と観光の展開4―ロングトレイルと歩く学びの旅	ロングトレイルに関する国内外の具体的な事例をもとに現状と課題を見つめます。	国内外の興味ある体験ツアーを探し、各種ツアーとの関連性をまとめる（4時間）
15	総括と補論	健康の観点から持続可能な成長を志向した新たなツーリズムのあり方を探ります。	自分の意見を小レポートとしてまとめる（4時間）

テキスト

随時資料を配布します。

成績評価の方法・基準

レポート：60%　出席レポート：30%　受講態度：10%
アウトキャンパスなど実習を伴う講義は、出席とともに参加意欲も含めて普段より重視して評価します。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

必要に応じて本講義中に参考となる学術論文、書籍を紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

アウトキャンパスの前には時間や場所、持ち物についての連絡がありますので、前後に必ず確認してください。

科目名	環境政策	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TB36052	研究室	非常勤
担当者	水橋　文雄	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(社会)､高一(地歴)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	○		

授業概要

地球温暖化対策の新しい国際ルール「パリ協定」が発効する中で、日本の二次エネルギー（電力）は依然として化石燃料による発電が中心で、特に最近、電力自由化の流れの中で石炭火力発電が増加しています。環境政策では、このような状況に中で、原子力発電所の再稼働、放射性廃棄物の処理、資源の枯渇、森林の破壊、食糧・人口問題等の様々な環境問題に対し、今後日本がなすべき事、我々がなすべき事を共に考える授業です。

学修到達目標

様々な環境問題がある中で、環境問題相互の関連性を考察し、その抜本的な対策を考え、実践し、その成果を検証する能力（PDCAサイクル）を身につける。

授業の進め方

パワーポイント及びDVD（BR）を利用して講義を進めます。資料は、パワーポイントの主な内容を整理して配ります。
その時々の講義に必要な資料（新聞切り抜き等）は、その都度配布します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	地球の環境とは	地球誕生から現在までの、地球環境の形成経過を説明します。	現在の地球の環境を理解するために、過去から現在までの地球環境の変化を調査する。(4時間)
2	地球の大気環境の問題について(1)	地球温暖化の状況とパリ協定による世界各国の対策について説明します。	日本の地球温暖化対策について調査する。(4時間)
3	地球の大気環境の問題について(2)	酸性雨・オゾンホール等様々な大気環境の状況と対策について説明します。	地球温暖化問題以外の大気環境問題について日本への影響を調査する。(4時間)
4	地球の水環境の問題について	水質汚濁・海洋汚濁・地下水汚濁等様々な水環境の状況と対策について説明します。	日本近海の海洋汚濁の実態から、原因と対策について調査する。(4時間)
5	地球の物質環境の問題について	化石燃料・鉱物資源等の開発と、有害廃棄物の投棄等による物質環境の状況と対策について説明します。	様々な資源の開発が進む中で、資源から形を変えた有害廃棄物が投棄される現状を調査する。(4時間
6	日本のエネルギー問題について(1)	日本のエネルギー政策と、原子力発電所の再稼働問題について説明します。	地球温暖化問題の中で原子力発電所の再稼働の是非について考える。(レポート1の提出) (4時間)
7	日本のエネルギー問題について(2)	日本の再生可能エネルギーの開発と問題点について説明します。	松本平の再生可能エネルギーの利用の可能性について調査する。(4時間)
8	日本の放射性廃棄物の処理計画について	原子力発電所の解体と使用済み核燃料等の放射性廃棄物の処理の問題について説明します。	放射性廃棄物の処理施設（最終処分場等）の設置について考える。(レポート2の提出) (4時間)
9	日本の原子力政策について	日本政府は、高速増殖炉もんじゅの廃炉を決定したが、同時に高速炉の開発に方針変更しました。この方針変更の目的と問題点について説明します。	高速増殖炉と高速炉の違いを調査する。(4時間)
10	日本の生態系（動物）について	種の保存の為の鳥獣保護と、急増する野生動物による鳥獣被害等の実態について説明します。	鳥獣保護と鳥獣被害等のバランスについて考える。（レポート3の提出) (4時間)
11	日本の生態系（植物）について	日本の里山の荒廃（森林破壊）と、外来動植物の繁殖・繁茂等の実態と対策について説明します。	松ガレやアレチウリ等の被害が急拡大する中で、その問題と対策について考える。(4時間)
12	化学物質が生態系に与える問題について	身の廻りを取り巻く多くの化学物質（農薬等）が、環境ホルモン等の影響を生態系に引き起こしている実態について説明します。	環境ホルモン等が、生態系におよぼす影響について調査する。(4時間)
13	世界の人口・食糧問題について	世界（日本を含む。）の人口問題と、食糧の生産能力と食糧の配分の問題について説明します。	世界人口の急増が、食糧生産事情に与える影響ついて考える。(4時間)
14	地球環境と人について	もし今、人類が滅亡したら、滅亡後の地球環境はどのように変化するのかを予測する中で、地球環境と人との関係について説明します。	もし人類が滅亡したら、地球の環境はどう変化していくのかを予測してみる。(4時間)
15	持続可能な社会の形成について（整理）	地球にとって望ましい環境を持続するには、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を構築することが大切であり、その為に今何をすべきかを再整理します。	地球にとって望ましい環境を持続する為に、今何をすべきか、何が出来るのかを考える。(4時間)

テキスト

必要に応じてパワーポイントで作成した資料から抜粋した資料を配布します。

成績評価の方法・基準

受講態度：30%　レポート：30%　定期試験：40%
受講態度は、講義毎に提出する受講票による講義への意見の内容を評価に加味します。レポートは3回以上の提出を予定します。提出期限を厳守して下さい。
S評価は、成績評価の合計が100となり、レポート提出状況及び受講態度が優秀な場合です。A評価は、成績評価の合計が80以上の場合で、レポート提出状況及び受講態度が良好な場合です。B評価は、成績評価の合計が70以上80未満の場合で、C評価は、成績評価の合計が60以上70未満の場合です。

参考書

特にありません。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

世界では、深刻な環境破壊が同時に平行して進行しています。これら環境問題への対応は急務であり、次の世代に快適な社会を引き継ぎ、しかも持続可能な社会とする為に、今しなければならない事を考え行動することが大切です。

科目名	法学Ｂ（観光）	学年学期	1年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TL16039	研究室	W-33
担当者	増尾　均	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	中一(社会)､高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 法律の基礎
	◎		△	△	△	

授業概要

現代社会は多くの法律によって規律されていますが、個々の法領域ではさまざまな問題が生じています。本講義では、特に身近な法律を取り上げ、その法律の果たす役割と機能だけでなく、それぞれの法領域が抱えている諸問題を学んでもらいます。

学修到達目標

社会のさまざまな問題の現状と法律を学び、問題を法的に解決できる能力を身につけ社会の発展に寄与できるようになることを目的としています。

授業の進め方

本講義は、テキストを中心に講義室で行いますが、必要に応じてプリントを配布したり、その時々で話題となっている事件を講義材料として扱うこともあります。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業の進め方、法律を学ぶ意義、各種法律の位置づけ	事前に法律の種類を調べ、事後には位置づけを理解する。(4時間)
2	法律とは	法律と似ている自然法則・宗教・道徳との違いを学ぶ。	事前にルールとは何かを考えてまとめる。事後学修として、違いを整理して理解する。(4時間)
3	法源	成文法と不文法の種類と特徴	事前に法源の種類を調べる。事後学修として、それぞれの特徴を体系的に学ぶ。(4時間)
4	法の適用	法律をどのように適用するか、どのように解釈するか	事前に適用する上での問題点を考えてまとめる。事後学修として、法的対応を理解する。(4時間)
5	契約の自由	契約自由の原則と契約の種類	事前に契約をリスト化する。事後学修として、各契約の違いを整理する。(4時間)
6	損害賠償	損害賠償の範囲・手続きなどを具体的に学ぶ	事前にどのような場面で利用できるか考えておく。講義後、法制度を整理してまとめる。(4時間)
7	カードの仕組み	我が国のカードの種類と仕組み・法律上の問題点	事前学修として、カードの種類を調べる。事後学修として、現行法制度を理解する。(4時間)
8	復習テスト	7回の授業の習熟度を理解してもらうため30分の小テストを行い、終了後詳細な解説をする。	事前に今までの復習を再度行う。事後学修として、理解が不十分であった所を学ぶ。(4時間)
9	自己破産制度	自己破産の意義と手続き	事前に人はどうして自己破産するか調べる。事後学修として、制度についてまとめる。(4時間)
10	夫婦と法	結婚と離婚を中心に夫婦に関する法律を学ぶ	事前に夫婦間で起きるトラブルをまとめておく。講義後、さまざまな法制度を理解する。(4時間)
11	親子と法	親子に関する法律を学ぶ	事前に親子間で起きるトラブルをまとめておく。事後学修として、法的規制を整理する。(4時間)
12	交通事故	交通事故における刑事上の責任・民事上の責任・行政上の責任について	事前にどのような責任がかかるか考えておく。事後学修として、責任について整理する。(4時間)
13	我が国の裁判制度	刑事裁判と民事裁判の特徴と手続き	事前に両者について調べる。事後学修として、特徴や違いなどを整理してまとめる。(4時間)
14	裁判員制度	国民が参加する裁判員制度の内容と国民の行うこと	事前に裁判員制度を調べる。事後学修として、裁判員の仕事を理解する。(4時間)
15	国際法の基礎	国際慣習法と条約の役割について実例をもとに学ぶ	事前学修として、国際法とは何かを調べる。事後学修として、具体例を調べて理解する。(4時間)

テキスト

「ワンステップ法学」目崎哲久ほか著目崎哲久・國友順市編（蛯峨野書院）
ISBN:978-4-7823-0551-5（生協で購入してください。）
「ポケット六法」井上正仁・能見善久ほか編（有斐閣）
ISBN:9784641009158（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

出席レポート：10%　定期試験：90%
Sは授業内容を高度に理解して課題や発展的問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。

参考書

「法律学への誘い」伊藤眞著（有斐閣）　ISBN：4-641-02784-6

履修上の注意（学生へのメッセージ）

身近で利用頻度の高い法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨み、今後の大学生活および社会生活に役立てて下さい。講義計画に該当する内容をテキストから探し、事前に読んでおいてください。

科目名	契約法	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TA26042	研究室	W-33
担当者	増尾　均	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	中一(社会)､高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			○	△		

授業概要

本講義では債権法総論を中心に授業をし、各論の不法行為も合わせて行います。民法は大別すると財産法と家族法に分けることができます。財産法には、民法総則・物権法・債権法総論・債権法各論があります。この中で債権法総論には契約・保証・損害賠償など社会生活の中で多用されている制度があることから、これを重点的に行います。

学修到達目標

本講義を受けることにより、トラブルに遭わないための予防策、ならびにトラブルに遭ってしまった場合の速やかな解決方法を学び、地域人として社会の発展に寄与することができるようになることを目的とします。

授業の進め方

基本的には教科書と六法を用いて講義室で授業を行います。しかし、教科書と六法のみではなく、必要に応じて判例・新聞記事などのプリントも配布して使用します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業の進め方・契約法を学ぶ意義	事前に民法の中の契約法の位置づけを調べる。事後学修として、体系的にまとめる。(4時間)
2	特定物債権と不特定物債権	特定物債権と不特定物債権の特徴	事前に両債権の外郭を理解しておくこと。事後学修として、詳細に比較検討すること。(4時間)
3	危険負担	特定物債権と不特定物債権の危険負担の違い	事前に危険負担の意味を調べて理解すること。事後学修として両者の違いを把握すること(4時間)
4	金銭債権と利息債権	金銭債権と利息債権の問題点と法的諸規制	事前学修として、変遷を調べておく。事後学修として、法的規制をまとめる。(4時間)
5	強制履行	直接強制・代替執行・間接強制の要件と効果	事前に履行を強制するかまとめる。事後学修として各強制の利用限界をまとめる。(4時間)
6	債務不履行の種類	債務不履行の意義と要件	事前に債務不履行が生じる場面を調べる。事後学修として、体系的に整理して理解する。(4時間)
7	債務不履行の効果	債務不履行の手続きと損害賠償	事前に損害賠償の内容を調べておくこと。事後学修として、整理してまとめること。(4時間)
8	復習テスト	7回の授業の習熟度を理解してもらうため30分の小テストを行い、終了後詳細な解説をする。	事前に今までの復習を再度行う。事後学修として、理解が不十分であった所を学ぶ。(4時間)
9	債権者代位権と債権者取消権	責任財産の保全という視点から債権者代位権と債権者取消権を学ぶ	事前に2制度の概要を理解しておくこと。講義後学、制度の要件と効果をまとめる。(4時間)
10	分割・不可分債権関係・連帯債務	多数当事者の債権関係として、分割・不可分債権関係・連帯債務の制度を学ぶ	事前に各制度の概要を理解する。事後学修として、担保的機能を中心に理解を深める。(4時間)
11	保証債務・連帯保証	担保的機能の強い保証債務と連帯保証の特徴と留意点	事前に担保的機能を調べる。事後学修として、制度の違いを整理する。(4時間)
12	弁済・代物弁済・供託	債権の消滅原因としての弁済・代物弁済・供託の機能	事前に各制度の特徴を調べる。事後学修として、各制度の違いを比較しまとめる。(4時間)
13	相殺・更改・免除・混同	債権の消滅原因としての相殺・更改・免除・混同の機能	事前に各制度の特徴を調べる。事後学修として、各制度の違いを比較しまとめる。(4時間)
14	一般の不法行為	民法709条の要件と効果	事前に損害賠償について調べる。事後学修として、債務不履行の効果と比較すること。(4時間)
15	特殊な不法行為	特殊な不法行為として位置づけられている諸制度の要件と効果	事前に条文に従い種類を整理しておくこと。事後学修として、効果をまとめる。(4時間)

テキスト

「プリメール民法3債権総論」大島和夫・高橋眞・玉樹智文・山田希著 著（法律文化社）　ISBN:978-4-589-03625-4 （生協で購入してください。）
「ポケット六法」井上正仁・能見善久ほか編（有斐閣）
ISBN:9784641009158（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

出席レポート：10%　定期試験：90%
Sは授業内容を高度に理解して課題や発展的問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。

参考書

「債権総論」水辺芳郎著（法律文化社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

身近で利用頻度の高い法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨み、今後の大学生活および社会生活に役立てて下さい。講義計画に該当する内容をテキストから探し、読んでおいてください。

科目名	旅行業法	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TA26018	研究室	W-13
担当者	中澤　朋代	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日2限､木曜日3限		
関連資格	中一(社会)､高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			◎			

授業概要

観光に関する法令において、旅行に関する基本的なことを定めた「旅行業法」を学習します。法文の理解を深めるとともに、旅行業の実際と合わせながら、法文を解釈できることを目指します。旅行業務取扱管理者試験に必要な学習であるため、さらに問題練習をしながら理解度の充実を図ります。

学修到達目標

旅行に関する法文である旅行業法を学習し、旅行に関する様々な法文の理解を深めることを目的とします。

授業の進め方

徹底的な法文の理解と問題演習です。また、観光について理解しておくことも大切です。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	旅行業法の目的と構成	講義の進め方を解説したのち、旅行業法の目的と構成について解説します。	旅行業法の目的と構成についてテキストを読んで学修する。（事前事後4時間）
2	旅行業の定義	旅行業の定義について、テキストをもとに解説します。	旅行業の定義について学修する。（事前事後4時間）
3	旅行業の登録（あらまし）	旅行業の登録（あらまし）について解説します。	旅行業の登録（あらまし）について学修する。（事前事後4時間）
4	旅行業の登録（手続き）	旅行業の登録（手続き）について解説します。	旅行業の登録（手続き）について学修する。（事前事後4時間）
5	営業保証金制度（1）	営業保証金制度（1）について解説します。	営業保証金制度（1）について学修する。（事前事後4時間）
6	営業保証金制度（2）	営業保証金制度（2）について解説します。	営業保証金制度（2）について学修する。（事前事後4時間）
7	旅行業務管理者制度	旅行業務管理者制度について解説します。	旅行業務管理者制度について学修する。（事前事後4時間）
8	旅行業約款	旅行業約款について解説します。	旅行業約款について学修する。（事前事後4時間）
9	旅行取引に関する諸規制	旅行取引に関する諸規制について解説します。	旅行取引に関する諸規制について学修する。（事前事後4時間）
10	旅程管理業務	旅程管理業務について解説します。	旅程管理業務について学修する。（事前事後4時間）
11	旅行業協会	旅行業協会について解説します。	旅行業協会について学修する。（事前事後4時間）
12	その他関連する法規	景表法、消費者契約法、個人情報保護法など関連する法規の概要について解説します。	テキストに基づいて学修する。（事前事後4時間）
13	問題練習（基礎）	問題練習（基礎）をしながら理解度を深めます。	誤った箇所などをテキストを参考にして学修する。（事前事後4時間）
14	問題練習（中級）	問題練習（中級）をしながら理解度を深めます。	誤った箇所などをテキストを参考にして学修する。（事前事後4時間）
15	問題練習（上級）	問題練習（上級）をしながら理解度を深めます。	誤った箇所などをテキストを参考にして学修する。（事前事後4時間）

テキスト

「2018旅行業法及びこれに基づく命令」（JTB総合研究所）（別途、指示します。）
申込み方法は別途指示します。

成績評価の方法・基準

定期試験：70%　小テスト：30%
S：授業内容を高度に理解し、正しく解釈し、課題を指摘できる。
A：授業内容を高度に理解し、法文について正しい理解ができている。
B：授業内容をおおよそ理解し、法文について正しい理解が80%できている。
C：授業内容をおおよそ理解し、法文について正しい理解が60%程度である。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

本講座は、レベルの高い知識と理解力を養成する講座であることを十分に理解して受講してください。さらに持続的な学習につとめて下さい。

科目名	地域行政	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TB26044	研究室	W-14
担当者	眞次　宏典	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	中一(社会)､高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎				◎		

授業概要

国と地方の行政について、国（中央政府）の行政、地方の行政、地方の行政と中央政府の関係、国と地方の公務員のあり方・役割、そして行政学の基礎についての講義をします。

学修到達目標

私たちの日常生活に密接な関わりを持つ地方自治体を中心とした地域行政と行政学の基本理論について理解を持つ。地方自治を形だけのものに終わらせるのではなく、実のあるものにするために、そこで日々暮らしている私たち自身が、国と地方公共団体のしくみと活動、政策形成と実施のあり方、自治体職員など公務員のあり方について理解することができる。

授業の進め方

この講義では講義が中心です。しかし、受け身になるだけでなく、自分から問題意識を持って受講する態度を持つようにしてください。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	イントロダクション	はじめに：この講義の内容、進行などについてのガイダンス	高校レベルの復習（4時間）
2	政治と行政	政治と行政の関係	指示した文献を読む（4時間）
3	首長	都道府県知事と市長村長	指示した文献を読む（4時間）
4	議会	都道府県議会と市町村長	指示した文献を読む（4時間）
5	地方公務員	都道府県、市町村の職員	指示した文献を読む（4時間）
6	住民による統制	選挙と住民投票	指示した文献を読む（4時間）
7	条例制定	国の法律と地方の条例	指示した文献を読む（4時間）
8	地方自治体の組織1	地方自治法と地方自治体の組織	指示した文献を読む（4時間）
9	地方自治体の組織2	地方自治体の権能と大都市制度	指示した文献を読む（4時間）
10	地方自治体と財政	地方自治体の行財政と予算	指示した文献を読む（4時間）
11	中央地方関係1	国の政府と地方の政府	指示した文献を読む（4時間）
12	中央地方関係2	国の政府と地方の政府の相互関係	指示した文献を読む（4時間）
13	学校教育	学校教育行政	指示した文献を読む（4時間）
14	子育て行政	地方自治体の子育て行政	指示した文献を読む（4時間）
15	まとめ	現代における自治体と自治体職員に求められる役割について	指示した文献を読む（4時間）

テキスト

「地方自治論―二つの自立性のはざまで」北村亘、青木栄一、平野淳一著（有斐閣）　ISBN:978-4641150485（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　出席レポート：20%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって海内に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。
B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

国内外の地方自治、地域行政についてのニュースを適宜取り上げます。普段から新聞やテレビのニュースに関心を持つよう心がけてください。また、身の周りの出来事が講義の内容と関係していることも意識しましょう。

科目名	労働と法（総合経営学部）	学年学期	3・4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA36010 TL36056	研究室	W-24
担当者	上野　隆幸	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日3限		
関連資格	中一(社会)､高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			総○ 観△	△	△	

授業概要

2年次前期の人的資源管理Ⅰ、3・4年次前期の人的資源管理Ⅱの内容を、法律との関係から学びます。講義の中では必要に応じて判例や事例にも触れていきます。

学修到達目標

皆さんが社会に出て働く時はもちろん、現在のアルバイト先でも活用することができる、働く上で「自分を守る」ための知識を身につけてもらい、労働者の権利を深く理解してもらうことが目標です。

授業の進め方

毎回の講義で配布するプリントに沿って、パワーポイントによるスライドにより講義を進めます。また毎回の講義において前回講義の理解度を測るために小テストを実施します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	はじめに－憲法と労働の関係－	憲法の労働基本権や労働法のタイプを紹介します。	労働法に分類法律にはどのようなもの調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
2	雇用契約・就業規則と法	採用、労働条件、退職（解雇）など雇用契約に関わる法律や就業規則について説明します。	人的資源管理Ⅱの第8章1～3を読んで下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
3	労働時間と法	労働時間、休憩時間、残業など労働時間に関わる法律について説明します。	人的資源管理Ⅰのプリントの4章1~4、7を読んで下さい。プリントの復習して下さい。（4時間）
4	休日・休暇と法	有給休暇など、休日・休暇に関わる法律について説明します。	人的資源管理Ⅰのプリントの4章5を読んで下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
5	報酬と法	基本給や手当、賞与、退職金などの労働者に対する報酬に関わる法律について説明します。	人的資源管理Ⅰの5章、Ⅱの6章7章を読んで下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
6	配置・異動と法	仕事の割り振りや転勤、出向、転籍など、配置と異動に関わる法律について説明します。	人的資源管理Ⅱの2章を読んで下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
7	安全衛生と法	労働者の安全や健康の維持に関わる法律について説明します。	労働者の健康が損なわれた事例について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
8	ワークライフバランスと法	育児・介護休暇など、仕事と生活の調和に関わる法律について説明します。	人的資源管理Ⅰの6章を読んで下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
9	非正規従業員と法	均等均衡待遇などの非正規従業員の雇用に関わる法律について説明します。	人的資源管理Ⅰの第章を読んで下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
10	女性の労働と法	女性に対する差別廃止や女性優遇、さらには男女の均等待遇など、女性の労働に関する法律を紹介します。	女性活躍推進法について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
11	高齢者・障害者の労働と法	継続雇用やアファーマティブアクションなど、高齢者と障害者の労働に関わる法律について説明します。	人的資源管理Ⅱの8章4・5を読んで下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
12	労使関係と法	労働組合や不当労働行為など、労使関係に関わる法律について説明します。	人的資源管理Ⅱの9章を読んで下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
13	手当・給付金と法	労働者が手にすることができる手当・給付金と法律の関係について説明します。	労働者に対する手当・給付金を調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
14	働き方改革と法	現在進められている働き方改革とこれに伴う法律の改正について説明します。	働き方改革の議論について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
15	講義全体のまとめ	これまでの講義全体を総括します。	これまでの講義での疑問点がないか確認して下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）

テキスト

プリントを配布します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：45%　小テスト：55%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。
C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「労働法入門　」水町勇一郎著（岩波新書 ）　ISBN：9784004313298

履修上の注意（学生へのメッセージ）

2年次前期の人的資源管理Ⅰ、3年次前期の人的資源管理Ⅱ（観光ホスピタリティ学科の学生は人的資源管理）の発展編のため、この二つの講義を履修していないと、本講義の理解は極めて難しいものになります。

科目名	家族法	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KB26053 TB26047	研究室	W-33
担当者	増尾　均	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日2限		
関連資格	中一(社会)､高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎				総○ 観◎	△	

授業概要

我が国には非常に多くの法律がありますが、その中でも民法は社会生活をする上で最も身近な暮らしに関することを規律した法律です。本講義では民法の中の家族法を学んでいただきます。具体的には夫婦や親子の関係を規定する親族法と相続や遺言を規定する相続法です。いずれも社会生活のみならず家庭生活の中でも多用されています。

学修到達目標

家族法の諸制度を学び、家庭内でのトラブルを回避するための法的予防策ならびにトラブルに遭ってしまった場合の法的早期解決方法を習得し、地域人として家庭の平穏と地域の発展に寄与することを目的とします。

授業の進め方

基本的には教科書と六法を用いて授業を進めます。しかし、教科書と六法のみではなく、必要に応じて判例・新聞記事などのプリントも配布して使用します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業の進め方、家族法の意義と民法の中の位置づけ	事前に民法とはどのような法律か調べる。講義後、家族法の位置づけをまとめる。(4時間)
2	親族法総説	親族法の沿革、親族法の特徴	事前学修として、身分法について調べる。事後学修として、現親族法との比較検討をする。(4時間)
3	婚姻の成立と効果	婚姻成立のための実質的要件と形式的要件、地位と財産上の効果について	事前学修として、婚姻の条件を調べる。事後学修として、各規定を整理する。(4時間)
4	離婚の成立	離婚制度の沿革、離婚の種類と要件、有責主義と破綻主義について学ぶ	事前に離婚の条件を調べる。事後学修として、有責主義と破綻主義についてまとめる。(4時間)
5	離婚の効果	離婚による財産上の効果と子に関する効果	事前に離婚によって夫婦はどうなるか調べる。講義後、財産と法的効果を整理する。(4時間)
6	親子	実親子と養親子、それぞれの問題点と法規制	事前に親子間の問題を調べる。事後学修としてそれぞれの問題と規制を整理する。(4時間)
7	親権	親権および身上監護と財産管理の意義と内容	事前に親権について調べる。事後学修として、親権と監護権との関係についてまとめる。(4時間)
8	復習テスト	7回の授業の習熟度を理解してもらうため30分の小テストを行い、終了後詳細な解説をする。	事前に今までの復習を再度行う。講義後、理解が不十分であった所を改めて学ぶ。(4時間)
9	後見制度	未成年後見、成年後見・補佐・補助の意義と制度の概要	事前学修として、後見とは何かを調べる。事後学修として、各制度の違いをまとめる。(4時間)
10	相続法総説	相続法の沿革旧法との比較	事前に昔の相続はどうであったか調べる。事後学修として、現行法との比較検討をする。(4時間)
11	相続人	相続人の範囲と順位、相続権の剥奪、代襲相続	事前に誰が相続できるか調べる。事後学修として、各制度を整理してまとめる。(4時間)
12	相続の効力	相続分と遺産分割	事前に遺産をどう分けるか考える。講義後、相続分について整理する。(4時間)
13	相続の承認と放棄	単純承認・限定承認・相続の放棄について手続きと規定を学ぶ	事前学修として、相続の種類を調べる。事後学修として、それぞれの特徴をまとめる。(4時間)
14	遺言	遺言の各種方式と遺贈の意義と要件	事前学修として、遺言の種類を調べる。事後学修として、各制度の特徴を整理する。(4時間)
15	遺留分	遺留分の概要と算定	事前に遺留分の意義を調べる。事後学修として、計算ができるように練習する。(4時間)

テキスト

「プリメール民法5家族法」千藤洋三・床谷文雄・田中通裕・辻朗著著（法律文化社）　ISBN:978-4-589-03595-0 (生協で購入してください。)
「ポケット六法」井上正仁・能見善久ほか編（有斐閣）
ISBN:9784641009158 (生協で購入してください。)

成績評価の方法・基準

出席レポート：10%　定期試験：90%
Sは授業内容を高度に理解して課題や発展的問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。

参考書

「ハイブリッド民法5　家族法」半田吉信・鹿野菜穂子・佐藤啓子・青竹美佳著（法律文化社）　ISBN：9784641009158

履修上の注意（学生へのメッセージ）

身近で利用頻度の高い法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨み、今後の大学生活および社会生活に役立ててて下さい。講義計画に該当する内容を読んでおいてください。

科目名	社会学	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13207	研究室	W-14
担当者	眞次　宏典	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	社会福祉士､中一(社会)､高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

この講義では、社会学の入門および概論として、基本レベルの知識や概念が習得できるように講義をします。社会学の対象は広範です。講義では、個人のアイデンティティ、家族、地域コミュニティ、国家と社会、国際社会、仕事と労働、宗教、情報、テクノロジーなどを具体的な事例を素材として分析と検討を加えながら、社会学のものの見方、問題の立て方、考え方について理解ができるようにします。

学修到達目標

本講義の目標社会学の基本的な諸概念を検討しながら、社会学の基本的なものの見方、問題の立て方、考え方が身につく。

授業の進め方

講義は指定したテキストを用いながら、関連した新聞や雑誌の記事などを取り上げつつ、社会学の基本的な知識を習得できるようにして、現実の社会問題や事件と関連を持つことを実感できるように工夫していきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	イントロダクション	社会学とはどういう学問なのか	事前学習は特にありません。
2	社会学と近代	近代と近代社会のあり方	テキスト「序」を読む（4時間）
3	行為論Ⅰ	個人と社会のあり方、行為と行動、行為の四類型など	テキスト第1章を読む（4時間）
4	行為論Ⅱ	準拠集団、資源の四類型、社会規範など	第1章後半部分を読む（4時間）
5	行為論Ⅲ	社会化、家族とジェンダー、宗教など	第1章後半部分を読む（4時間）
6	相互作用論Ⅰ	地位と役割、コミュニケーション、情報とメディア	第2章を読む（4時間）
7	相互作用論Ⅱ	ダブル・コンティンジェンシー、自我の構造、ジェンダーなど	第2章後半を読む（4時間）
8	集団論Ⅰ	個人・集団・社会、個人と地域社会、未組織集合体など	第3章を読む（4時間）
9	集団論Ⅱ	集団の諸類型、官僚制論	第3章後半を読む（4時間）
10	社会の構造	社会の構造と機能、権力と権威、支配の四類型、社会変動など	第4章を読む（4時間）
11	全体としての社会	社会変動、全体社会の概念、産業社会論、市民社会と大衆社会	第5章を読む（4時間）
12	現代社会の諸論点Ⅰ	家族と地域社会の役割：社会と医療・福祉のあり方	指示した文献を読む（4時間）
13	現代社会の諸論点Ⅱ	国家論、民族・人種・国家、世界システム論：国際化とグローバリズム	第5章後半を読む（4時間）
14	現代社会の諸論点Ⅲ	社会変動、合理化、情報化、グローバル化など	第6章を読む（4時間）
15	まとめ	それまでの講義内容の振り返りとまとめ	講義を復習する（4時間）

テキスト

「社会学がわかる事典」森下伸也著（日本実業出版社）　ISBN:978-4534031730（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　出席レポート：20%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって海内に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。
B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

社会福祉士受験合格をめざす学生は、必ず履修しなければなりません。

科目名	経済学（含国際経済学）	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TL26041	研究室	W-09
担当者	成　著政	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日3限		
関連資格	中一(社会)､高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

本講義では、まず経済理論の講義により経済の基礎知識(原理と手法)について熟知してもらいます。その上、我々を取り巻く現実の経済現象についての分析と応用力を養います。現代経済のおける経済主体、すなわち家計、企業、そして政府の意思決定(経済活動)と役割に関する理論と手法、そして海外部門の役割について講義を進めて行きます。また、国際経済学の理論と実態についても講義を行います。

学修到達目標

1.経済学の基礎理論（原理と分析手法）を理解すること。
2.経済学の理論と現実の経済との関係を理解すること。
3.これを通じて現実の経済問題（地域、国内、世界）を分析、応用・考察する能力を身につけること。

授業の進め方

基本的にはテキストの内容を中心に、教員が作成した資料をプロジェクターで写しながら講義を進めて行きます。また、必要に応じて新聞記事などのプリントも配布して使用します。そして、トヨタ自動車へのアウトキャンパス・スタディも1回行う予定です

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション(高度資本主義社会と経済問題)	資本主義経済と民間部門､公共部門､経済主体と経済活動､経済学の研究方法､資源の希少性などの経済問題などについて講義します。	事前：資本主義経済の特徴について調べること。事後：配布資料を熟知すること。(4時間)
2	経済学の基本原理	経済主体のトレードオフ、機会費用の概念、限界原理、インセンティブ、交易と市場の役割、政府の機能、生産性、インフレーション、失業などについて講義します。	事前：テキスト1章のキーワードの意味を調べる。事後：1章のテストバンクを解くこと。(4時間)
3	需要と供給理論（Ⅰ）：市場の機能	市場と競争､需要の作用（需要表、需要曲線など）､供給の作用（供給曲線､市場の供給など）、市場の均衡などについて講義します。	事前：テキスト4章のキーワードの意味を調べる。事後：4章のテストバンクを解くこと。(4時間)
4	需要と供給理論（Ⅱ）：市場と厚生	市場における需要と供給の弾力性（価格弾力性、所得弾力性、交差弾力性），そして弾力性の応用などについて講義します。	事前：テキスト5章のキーワードの意味を調べる。事後：5章の応用問題を解く。(4時間)
5	消費の経済理論	消費者余剰、市場の効率性と市場の失敗、そして課税の費用などについて講義します。	事前：テキスト6章のキーワードの意味を調べる。事後：6章テストバンクを解く。(4時間)
6	生産の経済理論	生産と費用、生産関数、短期と長期の費用などについて講義します。	事前：テキスト6章のキーワードの意味を調べる。事後：6章のテストバンクを解く。(4時間)
7	税と効率・経済の公平	死荷重､税と効率、税と公平､効率と公平のトレードオフなどについて講義します。	事前：6章付論のキーワードの意味を調べる。事後：6章付論のテストバンクを解く。(4時間)
8	経済の外部性と厚生経済学	外部性の概念、厚生経済学､外部性と市場の非効率性､外部性に対する公共政策､コースの定理などについて講義します。	事前：テキスト7章のキーワードの意味を調べる。事後：7章のテストバンクを解く。(4時間)
9	国民所得の測定	経済の所得と支出､国内総生産の測定、GDPの構成要素、名目GDPと実質GDPなどについて講義します。	事前：テキスト8章のキーワードの意味を調べる。事後：8章のテストバンクを解く。(4時間)
10	生計費の測定	消費者物価指数､インフレーションの影響に対する経済変数の補正などについて講義します。	事前：テキスト9章のキーワードの意味を調べる。事後：9章のテストバンクを解くこと。(4時間)
11	貯蓄，投資と金融システム	米国と日本経済における金融機関、国民所得勘定における貯蓄と投資、貸付資金市場などについて講義します。	事前：テキスト11章のキーワードの意味を調べる。事後：11章の応用問題を解く。(4時間)
12	総需要と総供給	短期と長期の経済変動、経済変動に対する新古典派経済学の仮説､総需要と総供給のモデル、経済変動の原因などについて講義します。	事前：テキスト12章のキーワードの意味を調べる。事後：12章の応用問題を解く。(4時間)
13	生産と成長	主要国の経済成長､生産性の役割と決定要因、生産関数､経済成長と公共政策、長期的成長の重要性などについて講義します。	事前：10章のキーワードの意味を調べる。事後：10章のテストバンクを解くこと。(4時間)
14	国際貿易論	生産可能性の原理、比較優位と絶対優位の理論､比較優位と交易、比較優位の応用例､国際貿易理論などについて講義します。	事前：テキスト第3章キーワードの意味を調べる。事後：第3章復習問題を解く。(4時間)
15	総まとめと定期試験対策	経済学の総まとめ、期末試験の対策、経済理論で解決できない経済問題などについて講義します。	事前：各章の要約を読んでくること。事後：総まとめの資料を熟知すること。(4時間)

テキスト

「マンキュー入門経済学（第2版）」グレゴリー・マンキュー著（東洋経済新報社(2014年3月)）　ISBN:978-4-492-31443-2（生協で購入してください。）
テキストを中心に講義を進めるので、必ずテキストが必要です。

成績評価の方法・基準

レポート：30%　定期試験：70%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおまかを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「世界経済入門」大和総研編（日経BP社）　2015年12月

履修上の注意（学生へのメッセージ）

授業の前に、必ず日本経済新聞を読んでくること。そして、日経平均株価と米ドルに対する日本円の為替レートを調べてくること。

科目名	アジア経済論	学年学期	3・4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KC36072	研究室	W-10
担当者	兼村　智也	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日5限		
関連資格	中一(社会)､高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△		○	

授業概要

多くの日本企業や長野県企業がビジネスチャンスを求めて進出するアジアの経済について、その基本知識と世界経済のなかで位置づけ、発展の歴史・背景についてみていき、日本の企業とアジアがどのように結びつき、それが日本やアジアの発展につながっているのかを解説します。

学修到達目標

今後、ますます関係が強くなることが確実なアジア諸国について経済面での基礎知識や関心を深める。

授業の進め方

配布資料を参照しながら講義形式で行ないますが、時間中にビデオをみて終了後にレポート作成・提出する授業も4回程度行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス　なぜアジア経済を学ぶのか、その意義は？	日本（経済）の発展にとってアジアの重要性について解説します。	授業の復習（4時間）
2	アジア諸国の概略	地図と写真を使って、アジア諸国の概要を説明し、そのイメージをつかんでもらいます。	授業の復習（4時間）
3	アジアはなぜ発展できたのか？	もともと欧米列強の植民地、農業国が多かったアジア諸国がなぜ発展したのかについて解説します。	授業の復習（4時間）
4	発展プロセスとその担い手	前回みたアジア諸国の発展がどのように進んだのか、またその発展を担ったのは誰なのかについて解説します。	授業の復習（4時間）
5	日本企業の国際分業	主としてアジア経済を牽引してきた日本企業を取り上げ、その国際分業の実態をビデオを通じて学習する。	レポート作成・提出（4時間）
6	中国の発展	2000年代に入り、アジアのなかでとりわけ発展した中国を取り上げ、その発展の歴史と問題点を解説する。	授業の復習（4時間）
7	中国にみる格差問題	中国の急発展の副産物としてもたらされた格差問題の実態をビデオを通じて学習する。	レポート作成・提出（4時間）
8	アジアの消費力	日本企業など多くの外資系企業が進出する背景にあるアジアの消費力について解説する。	授業の復習（4時間）
9	アジア消費力の実態把握	前回みたアジアの消費力に関して、その大きさとそれを喚起する日系企業の取り組みをビデオを通じて学習する。	レポート作成・提出（4時間）
10	アジアはなぜ成長軌道に乗ったのか？	1990年代、2000年代を通じてアジア諸国を成長軌道にのせた大きな背景に経済のグローバル化があるが、なぜグローバル化が起きたのかその要因について解説する。	授業の復習（4時間）
11	インドの発展	中国とならぶ、アジアのもう一つの大国であるインドについて、その発展要因・プロセスを中国との比較のなかで解説する。	授業の復習（4時間）
12	インドの自動車産業	インド経済発展の象徴的存在である自動車産業を取り上げ、以下に低所得者向け市場を掘り起こしたのかについてビデオを通じて学習する。	授業の復習（4時間）
13	アジアの貿易・経済連携	WTOから始まりFTA、そしてTPPなどアジア諸国を舞台とした貿易や経済連携が進展する背景、問題について解説する。	授業の復習（4時間）
14	アジアの成長と長野県企業	これまでみたアジア市場の成長を日本、長野県企業はどのように取り込んでいるのか、問題点・課題は何かについて解説する。	授業の復習（4時間）
15	本講義の総括	これまでの講義内容をレヴューしながら、補足説明などを加え、本講義の総括を行う。	試験対策を含めた、重要事項の確認（4時間）

テキスト

特にありません。毎回の授業時にプリント・資料を配布します。

成績評価の方法・基準

定期試験：100%
S：試験の得点が95点以上を満たす上位2名以内。A：85点以上。B：70点以上。C：60点以上。50点以上60点未満の学生については日常の出席状況、レポート提出状況を加味して評価する。

参考書

「開発経済学入門」渡辺利夫著（東洋経済新報社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

授業時に学んだ一般常識にもつながる知識（用語）や考え方をしっかり身につけてください。

科目名	ＮＰＯ	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KC36068 TB36049	研究室	W-34
担当者	白戸　洋	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	中一(社会)､高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎				総△ 観○	総○ 観△	

授業概要

本講義ではNPOについて、基礎理論、歴史や社会経済的背景、現状と課題を学習し、NPOを通じて社会や地域に対して参画する意義や問題意識を育てることを目的とします。またNPOの経済や雇用への影響、地域通貨、コミュニティの創造、住民参画、行政とのパートナーシップ、マネジメント、国際比較など今日的課題を取り上げる。具体的な事例を取り上げ、理論と実践の両面から学習します。またNPOの設立申請書の一部を作成することによってより理解を深めることをめざします。

学修到達目標

①基礎理論、歴史や社会経済的な背景、現状と課題を理解する　②NPOを通じて社会や地域に対して参画する意義や問題意識を持つ　③地域や社会に対する関心を育て主体的に関わっていく意識を持つ

授業の進め方

講義は教科書とプリントに沿って進め、毎回課題について小レポートを作成してもらます。自分でNPOについて資料を収集し調査を行う体験プログラムやNPOの設立申請書の作成シュミレーションを行い、課題レポートして提出してもらいます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	非営利組織とは、NPOとは何？	講義において自分の学習目標を検討する　2時間　次回の講義に向けて教科書を予習する 2時間
2	NPOの基礎理論①	非営利組織の制度	教科書を熟読し講義内容の復習を行う　3時間 次回の講義に向けて教科書を予習する　2時間
3	NPOの基礎理論②	NPOらしさとはなにか	関教科書を熟読し講義内容の復習を行う　3時間 次回の講義に向けて教科書を予習する　2時間
4	NPOの基礎理論③	非営利組織の歴史と現状	教科書を熟読し講義内容の復習を行う　3時間 次回の講義に向けて教科書を予習する　2時間
5	NPOの基礎理論④	NPOの存在価値は	教科書を熟読し講義内容の復習を行う　3時間 次回の講義に向けて教科書を予習する　2時間
6	NPOの現状と課題①	世界の非営利セクター	教科書を熟読し講義内容の復習を行う　3時間 次回の講義に向けて教科書を予習する　2時間
7	NNPOの現状と課題②	NPOと行政のパートナーシップ	教科書を熟読し講義内容の復習を行う　3時間 次回の講義に向けて教科書を予習する　2時間
8	NPOの現状と課題③	企業とNPO・コミュニティ・ビジネス	教科書を熟読し講義内容の復習を行う　3時間 次回の講義に向けて教科書を予習する　2時間
9	NPOの経営①	非営利組織のマネジメント	教科書を熟読し講義内容の復習を行う　3時間 次回の講義に向けて教科書を予習する　2時間
10	NPOの経営②	経営資源の開発	教科書を熟読し講義内容の復習を行う　3時間 次回の講義に向けて教科書を予習する　2時間
11	NPOの設立シュミレーション①	NPOを設立しよう その1　種を探そう　グループづくり	講義で検討した事項に関するレポート作成し次回に向けて検討課題を整理　4時間
12	NPOの経営③	NPOの組織運営・定款	定款の事例研究を行う　4時間
13	NPOの設立シュミレーション②	NPOを設立しよう その2　NPOの組織作り　ワークショップ	講義で検討した事項に関するレポート作成し次回に向けて検討課題を整理　4時間
14	NPOの設立シュミレーション③	フィールドワーク（NPO設立のための種探し）	講義で検討した事項に関するレポート作成　4時間
15	今後のNPOの課題	NPOの発展戦略 ～ NPO支援・アカウンタビリティと評価・寄付税制	教科書を熟読し講義内容の復習を行う　3時間 次回の講義に向けて教科書を予習する　2時間

テキスト

「テキストブック NPO－非営利組織の制度・活動・マネジメント」雨森孝悦著（東洋経済新報社）　ISBN:978-4492100196（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

出席レポート：50%　レポート：40%　定期試験：10%
S:講義内容を踏まえてNPOにかかわる具体的な活動を行う　A:講義内容を十分理解し自らの問題意識に基づいたNPOを提言できる　B:講義内容を十分理解し要件を満たしたNPOを提言できる C:講義内容を概ね理解できている

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

住民のひとりである自分自身の問題として主体的な意識と姿勢を持って講義に参加してほしい。NPOを受講する学生はコミュニティ・ビジネスについても履修することが望ましい。

科目名	地方自治論	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL23209	研究室	W-14
担当者	眞次　宏典	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	中一(社会)､高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

日本の地方自治制度のしくみを理解するために、国の制度、中央地方関係、地方公共団体のしくみなどについて講義します。

学修到達目標

この講義は、日本の政府システムの中での地方自治、都道府県・市町村の仕組みと活動、国と都道府県・市町村の関係、自治体と住民の関係についての理解を得る。

授業の進め方

指定のテキストを使用し、適宜プリント等を配布します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	イントロダクション	ガイダンス	高校社会科の日本国憲法と地方自治について復習すること（4時間）
2	国と地方のしくみ	日本の地方自治のアウトライン：国、都道府県、市町村	指示した文献を読む（4時間）
3	国のしくみⅠ	国会、国の立法と地方自治の関係	テキストを読む（4時間）
4	国のしくみⅡ	内閣、国の行政と地方の行政の関係	テキストを読む（4時間）
5	国のしくみⅢ	裁判所、地方公共団体の条例制定権、地方自治関連の判例	テキストを読む（4時間）
6	中央地方関係と地方自治の本旨	国と地方公共団体の関係まとめ	テキストを読む（4時間）
7	地方公共団体の制度としくみ	地方公共団体の種類、地方公共団体の機関	テキストを読む（4時間）
8	地方公共団体と住民	国民主権と住民自治	テキストを読む（4時間）
9	地方公共団体の事務	自治事務と法定受託事務	テキストを読む（4時間）
10	地方公共団体の長と議会	都道府県・市町村の長と議会	テキストを読む（4時間）
11	住民参加	住民参加の諸制度	テキストを読む（4時間）
12	地方公共団体の合併	地方公共団体の数の推移、平成の大合併	テキストを読む（4時間）
13	地方分権	地方分権の意義と動向	テキストを読む（4時間）
14	道州制	道州制の意義と動向	テキストを読む（4時間）
15	まとめ	地方自治の価値を考える	テキストを読む（4時間）

テキスト

「目で見る憲法（第4版）」初宿正典・大沢秀介ほか著（有斐閣）
ISBN:978-4641131040（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　出席レポート：20%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって海内に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。
B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

地方自治の基礎知識を学ぶ機会としてこの講義を活用してください。

科目名	コミュニティビジネス	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KC26065 TB26043	研究室	W-34
担当者	白戸　洋	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	中一(社会)､高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	◎	○	

授業概要

コミュニティ・ビジネスとは、住民の行なう事業にビジネスの手法を取り入れることで、事業の継続性を図り、地域の課題を解決するものです。講義では、コミュニティ・ビジネスを理解し、実際のコミュニティ・ビジネスの事業について、事例研究を行います。特に近年課題とされている高齢者の買い物支援問題についてもとりあげます。講義の後半ではグループ別に実際のコミュニティ・ビジネスの構想を行うために、ディスカッションやフィールドワークなどを行います

学修到達目標

コミュニティ・ビジネスの意義や理論的な枠組みなど基本的な概念について理解するとともに、地域の課題を踏まえたコミュニティ・ビジネスの事業の提案を行うことができる

授業の進め方

講義は毎回配布したプリントに沿って進め、毎回課題について自分の意見を提起する小レポートを作成してもらいます。様々なテーマについて課題レポートを作成し、修了レポートとしてコミュニティ・ビジネスを提案してもらいます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	イントロダクション	講義の概要と進め方・コミュニティ・ビジネスを学ぶとは	講義において何を学びたいかについて検討　2時間
2	コミュニティ・ビジネスの基礎を学ぶ①	コミュニティ・ビジネスの背景	講義のテーマに関してポイントを整理する　2時間　事例研究を通じて内容を復習する　2時間
3	コミュニティ・ビジネスの基礎を学ぶ②	コミュニティ・ビジネスの定義	講義のテーマに関してポイントを整理する　2時間　事例研究を通じて内容を復習する　2時間
4	コミュニティ・ビジネスの基礎を学ぶ③	コミュニティ・ビジネスの意義	講義のテーマに関してポイントを整理する　2時間　事例研究を通じて内容を復習する　2時間
5	コミュニティビジネスとは何か	コミュニティビジネスとは何かについてワークショップで考える	講義のテーマに関してポイントを整理する　2時間　事例研究を通じて内容を復習する　2時間
6	コミュニティ・ビジネスの現状	コミュニティ・ビジネスの現状について	講義のテーマに関してポイントを整理する　2時間　事例研究を通じて内容を復習する　2時間
7	コミュニティ・ビジネスの課題	コミュニティビジネスをめぐる課題を学ぶ	講義のテーマに関してポイントを整理する　2時間　事例研究を通じて内容を復習する　2時間
8	コミュニティ・ビジネスの種を見つける	コミュニティビジネスのプロセスを学ぶ	講義のテーマに関してポイントを整理する　2時間　事例研究を通じて内容を復習する　2時間
9	コミュニティ・ビジネスの事例研究	コミュニティ・ビジネスの具体的な事例の紹介	講義のテーマに沿った事例を探しコミュニティ・ビジネスの意義を整理する　4時間
10	コミュニティ・ビジネスを構想する①　コミュニティ・ビジネスのアイデア	コミュニティビジネスのアイデアをグループ・ディスカッションで検討	ディスカッション結果を整理し次回のディスカッションに向けての提案等を検討する　4時間
11	コミュニティ・ビジネスを構想する②　フィールドワーク	コミュニティビジネスの構想に向け地域に出て地域課題や資源を調査する	対象となる地域について資料収集を行いフィールドワークの結果を整理する　6時間
12	コミュニティ・ビジネスを構想する③　課題を考える	コミュニティビジネスの構想に向け地域の課題を明らかにする	講義内容を踏まえて提案シートの作成　4時間
13	コミュニティ・ビジネスを構想する④　事業の提案	事業企画書を作成する	講義内容を踏まえて提案シートを見直し修正して作成　4時間
14	コミュニティ・ビジネスを構想する⑤　事業の提案	事業を提案する	関連する地域社会の課題について調べ結果を整理する　4時間
15	未来を創造するコミュニティ・ビジネス	今後の地域社会でコミュニティビジネスが果たすべき役割を考える	講義全体を振り返り定期試験や修了レポート作成に向け自分の考え方を整理する　4時間

テキスト

プリントを配付します。

成績評価の方法・基準

レポート：40%　出席レポート：50%　定期試験：10%
S:講義内容を活かして具体的なコミュニティ・ビジネスを実行できる　A:講義内容を十分に理解し実現性のあるコミュニティ・ビジネスを提案できる　B:講義内容を十分に理解しコミュニティ・ビジネスを提案できる　C:講義内容を概ね理解し要件を満たしたコミュニティ・ビジネスを提案

参考書

「実践コミュニティ・ビジネス」細野助博編（中央大学出版）　細野助博監修
「松本大生がかかわったまちづくり」白戸ゼミナール編（松本大学出版会）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

受け身で講義に参加することは不可能で、自分が考えること、そして日常の中でできるだけ社会に目を向けること、そして実践につなげることが講義では問われます。

科目名	倫理学	学年学期	3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TB36048	研究室	
担当者	三谷　尚澄	必修選択	公民：選択 社会：必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(社会)､高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎			◎		

授業概要

さまざまな倫理思想を学んで、倫理的に生きることの大切さを学習します。現代社会は、組織社会と言われています。人々は、大小を問わず多くの複数の組織との関連のなかで生きています。そこでは、組織は、例えば企業や政府、行政および学校など、とりわけ企業に注目しなければならないですが、強力なパワーを持っています。それは、組織がその構成員や関係者に遵守を期待する、倫理的な考え方が必要になります。この講義では、組織の中での論理学の考え方を考えます。

学修到達目標

組織社会をめぐる倫理的問題状況を自から解釈し、説明できることを目標とします。また、組織に関わっている人々が自己の良心に従って責任的な行動をとれるような「組織の責任」とは何かについて説明できることを目標とします。

授業の進め方

倫理的な問題状況にある組織事例を取り上げ、どのような問題がなぜ起きたのかと、問題の解決の方向性を考える形で授業を進めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	倫理とは何であるか(1)	倫理にかかわる言葉と意味について	テキストの1頁～3頁を読んで予習復習を行う(4時間)
2	倫理とは何であるか(2)	倫理の変容性、応用倫理、日本の倫理	テキストの4頁～9頁を読んで予習復習を行う(4時間)
3	古代の倫理(1)	ソクラテス、ソフィストのあり方、無知の知	テキストの11頁～13頁を読んで予習復習を行う(4時間)
4	古代の倫理(2)	プラトン、イデア論、魂と国家のあり方、四元徳	テキストの13頁～14頁を読んで予習復習を行う(4時間)
5	古代の倫理(3)	アリストテレス、知性的徳と倫理的徳、中庸（メソテース）、テオーリア	テキストの14頁～17頁を読んで予習復習を行う(4時間)
6	古代の倫理(4)	ストア、エピクロスその他、アパティア、アタラクシア	テキストの17頁～20頁を読んで予習復習を行う(4時間)
7	近代の倫理(1)	カント　道徳法則、人格の尊厳	テキストの29頁～31頁を読んで予習復習を行う(4時間)
8	近代の倫理(2)	功利主義、その他　ベンサムとミルの功利主義、ミルの自由論	テキストの31頁～33頁を読んで予習復習を行う(4時間)
9	現代の倫理	現代倫理学の課題　応用倫理学、レオポルドの土地倫理、ポッターのバイオエシックス、ロールズの正義論	テキストの43頁～47頁を読んで予習復習を行う(4時間)
10	生命倫理(1)	遺伝子治療、再生医療、遺伝子診断	テキストの56頁～62頁を読んで予習復習を行う(4時間)
11	生命倫理(2)	移植医療、脳死、人格	テキストの67頁～73頁を読んで予習復習を行う(4時間)
12	生命倫理(3)	生殖医療、人工授精、体外受精、出生前診断、人工妊娠中絶、受精卵診断	テキストの75頁～86頁を読んで予習復習を行う(4時間)
13	生命倫理(4)	未来に向けて、インフォームド・コンセント、パターナリズム	テキストの88頁～92頁を読んで予習復習を行う(4時間)
14	生命倫理(5)	安楽死と尊厳死、代替医療	テキストの93頁～98頁を読んで予習復習を行う(4時間)
15	授業のまとめ	授業のまとめを行う。	テキストの99頁～102頁を読んで予習復習を行う(4時間)

テキスト

「21世紀の倫理」笠松幸一・和田和行著（八千代出版 ）

成績評価の方法・基準

定期試験：70%　レポート：30%

参考書

授業内で、適宜指示します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

さまざまな倫理思想を学んで、倫理的に生きることの大切さを真剣に考えるようにして下さい。

0102- -153

科目名	心理学	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TL26033	研究室	A-16
担当者	守　一雄	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限、木曜日5限		
関連資格	高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

心理学の概論的、包括的内容を論じると共に、心理学は科学であることを中心テーマに、心理学の基礎について実習を通して学びます。関連する心理学についての課題図書を読み、ディベートをすることで内容の深い理解を目指します。一般に考えられている心理学に対する誤解を解くことが授業の目的です。

学修到達目標

心理学が科学的な学問であることを知り、その基本的な研究手法を理解する。決められた期間内に新書レベルの本を3冊読み、その内容の要約と、関連する意見文を書けるようになる。

授業の進め方

実習とディベートを中心とする授業とします。知識の習得は、各自が教科書と課題図書を読むことで、行なうこととして、その理解を深めるために授業では実習を行ないます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業のやり方について説明します。	シラバスをよく読んできてください。（4時間）
2	心って不思議	客観的に存在を証明できない「人間の心」について、科学的に研究しようとする心理学という学問について学びます。 次回提出する「読後レポート」の書き方について実習を通して学びます	教科書の第0章第1章を読んで内容をまとめる。（4時間）
3	ディベートの実習	批判的思考力を育てるためにディベートについて実習で学びます。	課題図書『ザ・ディベート』を読み、要約と意見文を書いた読後レポートを提出する。（4時間）
4	実験で試す	目の錯覚について実験を通して学びます。	教科書の第2章を読んで内容をまとめる。（4時間）
5	課題図書①ディベート	課題図書①からテーマを選びディベートします。	課題図書『ザ・ディベート』読後レポートの最終締め切り。（4時間）
6	行動を調べる	「こめかみ鏡映書字」について実験を通して学びます。	教科書の第3章を読んで内容をまとめる。（4時間）
7	課題図書②ディベート	課題図書②からテーマを選びディベートします。	課題図書『チビクロこころ』を読み、要約と意見文を書いた読後レポートを提出する。（4時間）
8	中間試験と解説	講義前半について理解度を調べ、理解の足りないところを補います。	教科書第3章までと課題図書①②について復習する。（4時間
9	計算して確かめる	統計的検定法を使って超能力があるかどうかを確認します。	教科書第4章を読み、内容をまとめる。（4時間）
10	課題図書②ディベート	課題図書②からテーマを選びディベートします。	課題図書『チビクロこころ』読後レポートの最終締め切り。（4時間）
11	対人関係を学ぶ	囚人のジレンマゲームによって対人関係について学びます。	教科書第5章を読み、内容をまとめる。（4時間）
12	課題図書③ディベート	課題図書③からテーマを選びディベートします。	課題図書『おどろきの心理学』を読み、要約と意見文を書いた読後レポートを提出する。（4時間）
13	公共心を学ぶ	寄付ゲームによって公共心について学びます。	教科書「付録」を読み、まとめる。（4時間）
14	課題図書③ディベート	課題図書③からテーマを選びディベートします。	課題図書『おどろきの心理学』読後レポートの最終締め切り。（4時間）
15	まとめ	まとめと後半の理解度テストを行ない、理解不足について補講します。	教科書後半と課題図書③について復習する。（4時間）

テキスト

「チビクロこころ：中学生高校生のための心理学入門」森まりも著（北大路書房）　ISBN:978-4762821400（生協で購入してください。）
レポート課題対象となる図書は別途指示する。

成績評価の方法・基準

定期試験：100%　レポート：30%
S：課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習の3つ以上において優れた成果を示した。A：課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習の2つ以上において優れた成果を示した。B：課題を基準レベルで達成し、授業内容の理解、授業内活動、課題図書、自主的学習において優れた成果を示した。C：課題すべてを基準レベルで達成した。

参考書

「ザ・ディベート」茂木秀昭著（ちくま新書）　ISBN：978-4480058928　読後レポート課題図書とします。必ず購入してください。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

本を読んでのレポートとディベートがあります。レポート提出者のみディベート参加を認めます。

01- -153

科目名	行政法	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL23210	研究室	W-14
担当者	眞次　宏典	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	中一(社会)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

この講義では行政法の基本的な知識を得るための概説を行います。入門レベルのテキストを理解して、その後により大部な教科書や判例集を読む際に役に立つように講義を位置づけています。

学修到達目標

行政法の基本的知識を習得し、行政や政策を理解する法的枠組みを通して行政の活動や政策について理解できる。

授業の進め方

指定テキストを使用し、適宜プリント等を配布します。六法は必ず持参してください。この講義は、教室での講義だけです。アウトキャンパスは行いません。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	イントロダクション	ガイダンス、行政法とは何か	第1章を読む（4時間）
2	公法と私法	公法と私法の区別	ト第2章を読む（4時間）
3	行政の基本ルール	法律による行政の原理	第6章を読む（4時間）
4	行政作用法1	行政行為	第7章を読む（4時間）
5	行政作用法2	行政裁量	第8章を読む（4時間）
6	行政作用法3	行政立法、行政計画、行政契約	第9章を読む（4時間）
7	行政作用法4	行政上の強制執行、義務違反に対する制裁、即時強制	第11章を読む（4時間）
8	行政作用法5	行政立法	第12章を読む（4時間）
9	行政救済法1	行政上の不服申立て	第13章を読む（4時間）
10	行政救済法2	行政事件訴訟法	第14章を読む（4時間）
11	行政救済法3	国家賠償法	ト第15章を読む（4時間）
12	行政組織法1	中央省庁等改革	第3章を読む（4時間）
13	行政組織法2	地方分権改革	第5章を読む（4時間）
14	司法制度改革	司法制度改革	第4章を読む（4時間）
15	まとめ	行政法の全体像	講義内容の振り返り（4時間）

テキスト

「社会とつながる行政法入門」大橋洋一著（有斐閣）　ISBN:978-4641227330（生協で購入してください。）
六法は各自持参してください。

成績評価の方法・基準

定期試験：90%　出席レポート：10%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって海内に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。
B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「はじめての行政法（第3版）」石川敏行・藤原静雄ほか著（有斐閣）
ISBN：978-4-64122089

履修上の注意（学生へのメッセージ）

行政法を理解する前提として、法学、日本国憲法、契約法、地域行政、地方自治の講義は履修しておいてください。それらの知識なしにいきなり行政法の講義を理解するのは大変困難です。

科目名	生活環境論	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KB26054 TB26046	研究室	非常勤
担当者	水橋　文雄	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(社会)､高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎				総○ 観◎	△	

授業概要

「生活環境論」では、良好な生活環境を維持する為、持続可能な社会を構築する基本三原則とされる低炭素社会、循環型社会及び自然共生社会の中に潜む様々な問題点を整理し、問題解決の為の具体的な実践方法について共に考えてみる授業です。

学修到達目標

良好な生活環境の持続可能な社会を構築するために、様々な生活環境問題に対し、その対策は何かを考え、実践し、その成果を検証する能力（PDCAサイクル）を身につける。

授業の進め方

パワーポイントや　DVD(BR)を利用して講義を進めます。資料はパワーポイントの主な内容をプリントして配ります。また、アウトキャンパスとして、「最終処分場」の見学を予定します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	生活環境論とは	良好な生活環境を維持する為に、低炭素社会、循環型社会及び自然共生社会の中に潜む様々な問題点の概要を説明する事で、生活環境論とは何かを説明します。	受講生の過去（小学生時代）と現在の生活環境の違いについて調査し、整理する。(4時間)
2	生活環境の現状について	持続可能な社会の構築を阻害している様々な生活環境の異変について説明します。	身の回りで起きている生活環境の異変について調査する。(4時間)
3	循環型社会の構築について。(1)	循環型社会を構築する為の基礎となる日本の廃棄物処理に関する法制度について説明します。	日本の廃棄物処理に関する法制度について調査し、廃棄物の定義等を理解する。(4時間)
4	循環型社会の構築について。(2)	循環型社会を構築する為の、日本の各種リサイクル法制度について説明します。	日本のリサイクルに関する法制度について調査し、リサイクルの方法について理解する。(4時間)
5	循環型社会の構築について。(3)	循環型社会を構築するための廃棄物処理施設について説明します。	受講生の出身自治体の一般廃棄物処理施設の状況について調査する。(4時間)
6	施設見学	松本市の一般廃棄物の最終処理施設（エコトピア山田）を見学します。	受講生の出身自治体の一般廃棄物の最終処理施設の現状について調査する。(4時間)
7	低炭素社会の構築について。(1)	日本における、地球温暖化によるとされる異常気象の現状と、それに伴う生活環境への影響について説明します。	日本における異常気象の発生状況について調査する。(4時間)
8	低炭素社会の構築について。(2)	パリ協定に基づく地球温暖化に対する日本の取り組み内容について説明します。	京都議定書及びパリ協定の内容を比較して、国際的取り組み状況について調査する。(4時間)
9	低炭素社会の構築について。(3)	日本のエネルギー政策の問題点（原子力発電所再稼働問題等）について説明します。	日本のエネルギー政策と、電力自由化に伴う石炭火力発電所の建設状況について調査する。(4時間)
10	低炭素社会の構築について。(4)	松本平の再生可能エネルギーの開発の可能性と問題点について説明します。	再生可能エネルギーの種類と特性について調査する。(4時間)
11	自然共生社会の構築について。(1)	現在の日本雷鳥に代表されるような、様々な野生生物種の減少問題について説明します。	身近に発生している野生生物（動物・植物・昆虫等）の減少について調査する。(4時間)
12	自然共生社会の構築について。(2)	現在のニホンジカに代表されるような、様々な野生生物の生息数の増加及び被害状況（鳥獣被害）について説明します。	身近で発生している野生生物の増加による被害（カラス・ムクドリ等）の状況を調査する。(4時間)
13	自然共生社会の構築について。(3)	里山の荒廃（松がれ等）、外来種による在来種の駆逐、人為的種の交配の状況等の問題点について説明します。	桜の名所、ホタルの里等の街づくり事業や、白鳥や野良猫への餌やり等の問題を調査する。(4時間)
14	自然共生社会の構築について。(4)	農薬（の空中散布）等の化学物質の飛散が、動物や昆虫等の生息環境に与えている影響等について説明します。	松がれ対策の農薬散布に伴う化学物質過敏症や環境ホルモン禍との関係等について調査する。(4時間
15	持続可能な社会の構築について（整理）	持続可能な社会とする、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会を構築する為の問題点を再整理します。	持続可能な社会を構築する為に、今何をすべきかを考察し、実践する方法を整理する。(4時間)

テキスト

必要に応じてパワーポイントを要約した資料を配布します。

成績評価の方法・基準

受講態度：30%　レポート：30%　定期試験：40%
受講態度は、講義毎に提出する受講票による講義への意見の内容を評価に加味します。レポートは3回以上の提出を予定します。提出期限を厳守して下さい。S評価は、成績評価の合計が100となり、しかもレポート提出状況及び受講態度が優秀な場合です。A評価は、成績評価の合計が80以上の場合で、レポート提出状況及び受講態度が良好な場合です。B評価は、成績評価の合計が70以上80未満の場合で、C評価は、成績評価の合計が60以上70未満の場合です。

参考書

特にありません

履修上の注意（学生へのメッセージ）

持続可能な社会を構築する為に、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会だけではなく、生活の中にある様々な環境問題に関心をもつ事が必要です。そこで今ある環境問題をどう対処すべきか常に考える事が大切です。

科目名	地域福祉Ⅰ	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TC26075	研究室	W-20
担当者	向井　健	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日4限		
関連資格	社会福祉士､中一(社会)､高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎				△	○	

授業概要

地域福祉は、社会福祉の一分野であり、ノーマライゼーションの理念を基盤として、地域の生活支援システムの構築をめざすものです。本講義の目的は、その理論と実際を体系的に学ぶことにあり、地域福祉に関する基本的な考え方（理論）と現場における活動（実際）とが有機的に体得できるような構成とします。また現代的な課題についても受講者の関心を踏まえてとりあげていきます。また具体的な実践活動も取り上げていきます。

学修到達目標

1,地域福祉の理論とその実際について説明をすることができるようになること。
2,地域の中の福祉的ニーズに目を向け、これからの地域福祉のあり方について意見を述べることができるようになること。

授業の進め方

講義はテキストと毎回配布したプリントに沿って進めますが、毎回、提示した課題について自分の意見を述べるリアクションペーパーを作成してもらいます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス：なぜ学ぶ地域福祉、何を学ぶ地域福祉	本講義の概要について説明します。地域福祉とは何か。また地域福祉を学ぶことの今日的な意義とは何か、ということを考えます。	配布したプリントを復習しておくこと（4時間）
2	社会福祉政策はどのように変化してきたのか？	社会福祉政策がどのように変化してきたのか、その歴史的な展開過程について説明をします。	配布したプリントを復習しておくこと（4時間）
3	コミュニティの機能と福祉コミュニティ	コミュニティの機能と福祉コミュニティについて説明をします。	配布したプリントを復習しておくこと（4時間）
4	松本市における地区福祉ひろばと公民館の連携	福祉のまちづくりの事例について、松本市の地区福祉ひろばと公民館の連携に基づく町会福祉の事例を基にしながら検討します。	リアクションペーパーを期日までに提出すること（4時間）
5	高齢者の買い物支援とまちづくり	高齢者の買物支援とまちづくりに取り組む松本大学の学生による「野菜行商プロジェクト」の実践について話を伺います。	リアクションペーパーを期日までに提出すること（4時間）
6	若者の自立支援とコミュニティ・エンパワーメント	現在の若者が抱える「生きづらさ」はどこからくるのかをディスカッションをもとに考えます。またコミュニティを基盤とした若者自立支援の取り組みについても紹介します。	リアクションペーパーを期日までに提出すること（4時間）
7	「社会的引きこもり」状況にある若者の自立支援	「社会的ひきこもり」状況にある若者の自立支援のあり方について、事例をもとに考えます。	リアクションペーパーを期日までに提出すること（4時間）
8	生きること・学ぶこと～夜間中学校の取り組みから	様々な理由で義務教育を受けられなかった人たちが年齢や国籍の壁を越えて、互いに助け合い学んでいる夜間中学校である東京都墨田区の文花中学校の取り組みを基に生きること・学ぶこととは何かを考えます。	リアクションペーパーを期日までに提出すること（4時間）
9	「人間の復興」に向けて～東日本大震災を事例に	被災地の地域社会の暮らしの基盤を破壊した東日本大震災。「人間の復興」に向けて地域福祉は何ができるのかを考えます。	リアクションペーパーを期日までに提出すること（4時間）
10	協働の子育てと学童保育	子育て親の孤立化が問題になっている中で、地域協働による子育てが模索されてきています。そのような協働の子育ての意義について、学童保育を事例に考えます。	リアクションペーパーを期日までに提出すること（4時間）
11	精神障がいのある人たちの地域生活を支える	精神障がいのある人たちのおかれてきた歴史を概観するとともに、やどかりの里の事例を基にしながら、精神障がいのある人たちの地域での生活を支える地域生活支援実践のあり方について考えます。	リアクションペーパーを期日までに提出すること（4時間）
12	「困った子」は「困っている子」～発達障がいのある子とその支援	発達障がいのある子たちの特性を知り、その支援のあり方を考えます。	リアクションペーパーを期日までに提出すること（4時間）
13	多様な生と性が認められるまちづくり	セクシャルマイノリティについて学び、多様な性が尊重されるまちづくりについて考えます。	リアクションペーパーを期日までに提出すること（4時間）
14	共生型サロンの取り組み空考えるまちづくり	障害の有無や年齢・性別に関わらず集うことができる多機能共生型サロンの取り組みを紹介し、支える/支えられるという関係が循環する循環型地域福祉の可能性について「富山型デイサービスを事例に考えます。	リアクションペーパーを期日までに提出すること（4時間）
15	地域福祉を学ぶということ	これまでの地域福祉Ⅰでの学びを振り返り、これからの福祉のまちづくりで求められることは何かを考えます。	リアクションペーパーを期日までに提出すること（4時間）

テキスト

講師からの必要な資料は配布をする。

成績評価の方法・基準

課題：50%　レポート：50%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組むことができている。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組むことができる。B：授業のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。

参考書

「福祉社会の開発：場の形成と支援ワーク」穂坂光彦/平野隆之/朴兪美/吉村輝彦編著者（ミネルヴァ書房）　ISBN：978-4623064380
「闘う社会的企業」藤井敦史/原田晃樹/大高研道編著者（勁草書房）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

学生の皆さんの主体的な参加を期待します。「学ぶことの楽しさ」を味わいながら一緒に学んでいけたらと思っています。

科目名	民族と文化	学年学期	3・4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TA36028	研究室	
担当者	山田　晴通	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(社会)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			◎			

授業概要

この講義では、「民族」や「文化」といった概念を検討し、その過程で「民族」や「文化」についての多様な見方を紹介します。また、日本国内における「文化」の多様性、「民族」の多元性を検討し、さらに世界の「民族」や「文化」の多元性について広く基礎知識を学んでいきます。

学修到達目標

この講義を受講する者の到達目標のひとつは、批判的な検討を通して「民族」や「文化」といった概念の本質的な含意について理解することです。もうひとつは、日本国内や世界に存在する多様な「民族」や「文化」の姿について、広く常識を身につけることです。

授業の進め方

頻繁に課題を出して、予習復習を通じて講義で論じる内容への理解が深まるようにします。授業の中では、受講者との対話を重視していきますので、授業には積極的に参加してください。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	「民族と文化」という捉え方について	宿題1（4時間）
2	「文化」とは何か（1）	身近な「文化」を見直す	宿題2（4時間）
3	「文化」とは何か（2）	日本語の語彙としての「文化」	宿題3（4時間）
4	「文化」とは何か（3）	「文化」概念の根源と広がり	宿題4（4時間）
5	「文化」とは何か（4）	文化記号論の基礎	宿題5（4時間）
6	「文化」とは何か（5）	異文化の認識とコミュニケーション	宿題6（4時間）
7	「民族」とは何か（1）	身近な「民族」を見直す	宿題7（4時間）
8	「民族」とは何か（2）	テキスト（山田，1993）への導入	テキストの予習・復習課題（4時間）
9	「民族」とは何か（3）	テキスト（山田，1993）エスニシティの「相対性」	テキストの予習・復習課題：宿題8（4時間）
10	「民族」とは何か（4）	テキスト（山田，1993）日本の民族問題	テキストの予習・復習課題：宿題9（4時間）
11	「民族」とは何か（5）	テキスト（山田，1993）近代「日本人」のエスニシティ	テキストの予習・復習課題（4時間）
12	「民族」とは何か（6）	テキスト（山田，1993）エスニシティへの感性と批判意識	テキストの予習・復習課題：宿題10（4時間）
13	多文化主義社会における「民族と文化」（1）	テキスト（山田，2003）への導入	テキストの予習・復習課題（4時間）
14	多文化主義社会における「民族と文化」（2）	テキスト（山田，2003）前半	テキストの予習・復習課題：宿題11（4時間）
15	多文化主義社会における「民族と文化」（3）	テキスト（山田，2003）後半	テキストの予習・復習課題（4時間

テキスト

山田晴通（1993）地理学におけるエスニシティ研究によせて、あるいは、板前は包丁を研ぐ
他、指示します。

成績評価の方法・基準

課題：50%　定期試験：50%
課題は、ほぼ毎回、何らかの形での予習や復習の宿題として課していく予定です。S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

特定の文献を指定はしませんが、全体を通じて英和辞典、国語辞典、学習用地図帳を随時参照できるように手元に用意するか、ノートパソコン、携帯電話等で随時検索できるように必要な準備をしてください。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

講義担当者の研究室のサイトに授業に関する指示やお願いが出ています。事前に読んで理解しておいてください。メールでの質問も歓迎します。
http://camp.ff.tku.ac.jp/YAMADA-KEN/　　yamada@tku.ac.jp

科目名	自然と産業	学年学期	1年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13501	研究室	W-15
担当者	田開　寛太郎	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(商業)、中一(社会)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

私たちの暮らしは豊かな自然の上に成り立っています。祖先が自然とともにどのように暮らし、そしてどのように自然を開発してきたか。この先に高齢化や人口減少を迎える中、地域の産業発展には自然環境といった地域資源を活かした地域づくり人づくりが求められています。本講義では、自然の各循環と基本的なしくみ、そして産業との関わりを理解し、国内外の事例をみながら自然環境を取り巻く現代的課題について考えます。

学修到達目標

「自然と産業」とは何かを理解するとともに、自然資源の循環と廃棄や資源活用のしくみについて考え、それらの意義について論じることが出来るようになることを目指します。

授業の進め方

各回の講義は新聞記事などの事例を用い、課題を図式化したり、映像を投影したりして、想像を膨らませながら進めます。各回、課題をワークシートに記入しディスカッションする等の作業を伴いながら、能動的に講義を展開します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業概要、学修到達目標、授業の進め方、評価の仕方、履修上の注意などを説明します。	シラバスの理解と授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
2	自然のしくみ1―水と大気	水と大気の循環（水資源、浄化作用）と、それに関する身近な地域課題を学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
3	自然のしくみ2―岩石	岩石の循環と地質（道路、開発）と、それに関する身近な地域課題を学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
4	自然のしくみ3―生態系	生物の循環と生態系（生態系サービス）、それに関する身近な地域課題を学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
5	自然と産業の基礎1―里地里山の定義	里地里山は、農林水産業などの人間の営みにより長い年月にわたって維持されてきた二次的自然地域です。里地里山に関する基礎的なことを学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
6	自然と産業の基礎2―里地里山と薪炭エネルギー	地域の自然資源の利用の歴史的変遷について学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
7	自然と産業の基礎3―里地里山と水辺	人間の暮らしのまわりの身近なところにある水辺・湿地環境について学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
8	自然と産業の展開1―自然と観光	地域の自然資源を活用した持続可能な観光などの新しい観光のあり方を探ります。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
9	自然と産業の展開2―人と自然の共生	「共生」の概念についての理解を深めるとともに、自然環境保全の視点から学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
10	自然と産業の展開3―グローバリゼーション	グローバリゼーションが生む産業が資源や環境、私たちの生活に与える影響について、環境問題の視点から学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
11	自然を活用する具体的な提案1―地方創生と持続可能性	地域づくりを進めるための自然資源の活力向上について考えるとともに、現状と課題を見つめます。	指定する参考書を読んでおき、授業を振り返りノートにまとめる（4時間）
12	自然を活用する具体的な提案2―生物多様性保全と農業	具体的な事例（野生生物の野生復帰と環境創造型農業等）をもとに、自然環境を考える農業の取組について学ぶとともに、現状と課題を見つめます。	指定する参考書を読んでおき、授業を振り返りノートにまとめる（4時間）
13	自然を活用する具体的な提案3―野生動物管理と産業	里地里山の衰退と急増する野生動物を踏まえて地域づくりにおける野生動物（管理）を考えるとともに、現状と課題を見つめます。	指定する参考書を読んでおき、授業を振り返りノートにまとめる（4時間）
14	自然を活用する具体的な提案4―自然災害と復興	自然災害からの復興の事例をもとに、自然環境保全と市民参加を通した地域産業の新たな構築を考えるとともに、現状と課題を見つめます。	指定する参考書を読んでおき、授業を振り返りノートにまとめる（4時間）
15	総括と補論	自然の開発と保護の観点から持続可能な成長を志向した新たな産業のあり方を探ります。	自分の意見を小レポートとしてまとめる（4時間）

テキスト

教科書は指定しません。

成績評価の方法・基準

受講態度：20%　課題：20%　定期試験：60%
S:授業内容を自主学習から深く探求した上で、実際の社会現象に対して課題と解決の視点を明確かつ現実的に述べることができる。A：授業内容を理解し、社会現象に対する課題抽出および解決の意見を明確に述べることができる。B：授業のおおよそを理解し、その課題と解決策を述べることができる。C:授業内容の6割を理解し、課題が何か述べることができる。

参考書

必要に応じて本講義中に参考となる学術論文、書籍を紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

1年生の皆さんにとって大学の講義は時間が長いうえ、内容も正解がひとつでなく複雑で深い学びとなります。身近な事例や時事問題を扱いますので、日頃より地理的理解を深め、普段からニュースを見ましょう。

科目名	観光概論	学年学期	1年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA15004 TL15004	研究室	W-26
担当者	山根　宏文	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日1限		
関連資格	中一(社会)､高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			総○ 観△	△	△	

授業概要

本講座では、観光を中心に学びを選択するうえで必要になる観光に関連する基礎的な知識や資源を学習します。旅行動機や観光・余暇の歴史、観光資源、観光に関係したさまざまな産業の実態や将来性、自然や環境の保全にふさわしい観光のあり方、地域づくりのための観光の利用などの学習の基礎となる項目を理解し、知識を拡大することがねらいです。観光に関連する多様な産業にいたるまで現代人のライフスタイルの多様化に伴う観光のあり方なども含みます。

学修到達目標

旅行動機などの理論やマーケティングなどの実践、自然と共生をめざした新しい観光の見方、経済効果など観光が社会に及ぼすさまざまな影響や効果、地域おこしに使われている観光的な考え方を理解してもらうことを目標としています。

授業の進め方

配布テキストやDVD、パワーポイントを多用した講義が中心になりますが、学生諸氏の意見や考え方などを多様な方法で提示してもらうことにより、積極的に授業参加してもらいます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業概要、授業の進め方、講義内容、観光の役割面を考えます	配布レジメを熟考すること（事前事後4時間）
2	観光の歴史	観光の歴史的背景：さまざまな旅行動機から現代人の望む旅のかたちを考えます	配布レジメを熟考すること。自分の好きな旅のスタイルを考える。（事前事後4時間）
3	観光資源	観光の要素：観光資源とその活かしかたを考えます	地域の観光資源について好きなものとその要因について考える。（事前事後4時間）
4	観光資源	観光の要素：観光での食とその活かしかたを考えます	旅に出たときに、食べたくなるものの要因を考える。（事前事後4時間）
5	観光地	観光地の評価と観光地の盛衰：温泉観光地から見た観光地のあるべき姿を考えます	好きな温泉地について考え、その要因を考える。（事前事後4時間）
6	観光の企画	観光資源を活かしテーマのある旅、感動する旅の創り方を考えます	配布レジメを熟考すること。過去感動した旅があれば、その理由をを感える。（事前事後4時間）
7	観光と地域ブランド	観光による地域ブランド創造について考えます	配布レジメを熟考すること。ブランドとして思い浮かぶものの要因を考える。（事前事後4時間）
8	観光と文化芸術	観光と文化芸術の関係を考えます	美術館、博物館を活かした観光振興について考える。（事前事後4時間）
9	観光まちづくり	観光によるまちづくりついて事例を紹介し解説します	配布レジメを熟考すること。住んでみたくなるまちの要因を考える。（事前事後4時間）
10	観光と産業	多様な宿泊産業を考えます	配布レジメを熟考すること。宿泊したい宿とその理由を考える。（事前事後4時間）
11	観光と産業	旅行業入門（現状と課題について）	ネットで申し込まずに、旅行会社に依頼する場合はどんな場合が考える。（事前事後4時間）
12	観光と産業	イベント、コンベンションなど新しい旅行産業のかたちです	行きたくなるイベントについてその要因を考える。（事前事後4時間）
13	観光と産業	テーマパークなどエンタテインメントと観光の関係を探ります	配布レジメを熟考すること。ディズニーランドが好きな要因を考える。（事前事後4時間）
14	観光と環境	エコツーリズムやグリーンツーリズムの本質や本来あるべき姿を考えます	配布レジメを熟考すること。自然が私たちに与えてくれるものを考える。（事前事後4時間）
15	まとめ	まとめとして各テーマのポイントを再度解説します	配布すべてのレジメを熟考すること（事前事後4時間）

テキスト

講義中にプリントを配布します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：30%　定期試験：70%
S：授業内容を高度に理解し提案力が特に優れている。
A：授業内容を高度に理解し探究心、提案力が優れている。
B：授業内容をおおよそ理解し探究心、提案力がある。
C：授業内容をおおよそ理解し、探究心、提案力が60%程度である

参考書

特にありません。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

本講座は、まず「観光とはなにか」という基本を理解することが目的です。観光をどのように地域に活かしていくのか、観光を利用して地域の幸福感を創出するためにはわれわれは何をなすべきなのか、という視点で考えます。

科目名	観光産業論	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TL26003	研究室	W-15
担当者	田開　寛太郎	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日3限		
関連資格	中一(社会)､高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

観光関連企業が経営していく上での現状や課題について観光関連企業や観光地から具体的に把握し、各観光業界と観光地の経営戦略を考えます。前半に観光関連産業の経営を学び、後半は観光地に焦点を当て地域での観光産業について学びます。様々な観光産業、観光地の経営戦略を理解することが到達目標です。

学修到達目標

観光産業、観光地においての顧客満足度を高めてリピーターを増やすための取組や経営戦略を理解するとともに、経営戦略を考えることが出来るようになることを目指します。

授業の進め方

独自のプリント教材を中心に講義を進めます。必要に応じて、スライド、ビデオなどの視聴覚教材を利用します。
教室での講義のみになります。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス	授業概要、学修到達目標、授業の進め方、評価の仕方、履修上の注意などを説明します。	自分自身で体験した観光施設について感動した要因を整理する（4時間）
2	観光経営の状況と動向	「観光をめぐる経営絵状況と現在の動向について」および「観光関連産業の経営状況と戦略」について解説します。	観光経営の状況と動向について学修する（4時間）
3	旅行会社―競争激化する業界での経営戦略について	競争激化する業界での経営戦略について、人気のある旅行会社の事例を説明し、今後の業界の経営戦略について解説します。	人気のある旅行会社についてその要因を調べる（4時間）
4	宿泊関連施設1―旅館と民宿	人気のある旅館とは、今後の旅館経営戦略について効果ある施策を解説します	人気のある旅館についてその要因を調べる（4時間）
5	宿泊関連施設2―ホテル	リッツカールトンのホスピタリティ経営とは。人気NO.1のホテルの顧客満足度を高めるための施策を解説します。	人気のあるホテルの要因を調べる（4時間）
6	テーマパーク	ディズニーランドの顧客満足戦略について50の実践例紹介し、説明します。	ディズニーランド訪問時に体験した顧客満足についてまとめておく（4時間）
7	動物園	旭山動物園がなぜ上野動物園より人気があるのか。顧客満足度を高めるための施策を学びます。	旭山動物園の行動展示について学修する（4時間）
8	美術館・博物館	美術館・博物館が地域を活性化するための10のポイントと経営戦略を解説します。	美術館・博物館が地域を活性させるための施策について学修する（4時間）
9	空港・航空会社	地方空港の経営戦略について。格安航空会社の経営戦略について解説します。	地方空港の経営戦略とLCCについて学修する（4時間）
10	スポーツマネジメント	日本プロ野球とメジャーリーグの経営について双方を比較しながら解説します。	メジャーリーグの確保のための施策を学修する（4時間）
11	温泉観光地	観光地における産業の経営状況と戦略について。温泉地・温泉街の活性化に向けての地域経営戦略について解説します。	温泉観光地における地域観光振興策と経営戦略を学修する（4時間）
12	スキー場	スキー場の振興策について歴史・現状を紹介し、今後の施策を解説します。	スキー場の振興策について学修する（4時間）
13	中心市街地の活性化	中心市街地活性化のための10の戦略を事例を参考にしながら紹介します。	市街地活性化のための施策を学修する（4時間）
14	観光まちづくり	観光（産業）とまちづくりについて5つのポイントと事例を紹介し、解説します。	観光まちづくりについての5つのポイントを学修する（4時間）
15	まとめ	講義全体のまとめをします。	観光産業においての顧客満足度を高めるための施策を学修する（4時間）

テキスト

講義ごとに概要を説明したレジメを配ります。

成績評価の方法・基準

出席レポート：30%　定期試験：70%
S：授業内容を高度に理解し提案力が特に優れている。
A：授業内容を高度に理解し探究心、提案力が優れている。
B：授業内容をおおよそ理解し探究心、提案力がある。
C：授業内容をおおよそ理解し、探究心、提案力が60%程度である

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

授業中に発表してもらう場合もあるので常に問題意識を持って授業に出席して欲しい。講義計画に該当する内容を、新聞、ニュース、書物などから探し読んでおいて下さい。

科目名	経営学総論Ａ（総経）	学年学期	1年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL15003	研究室	W-11
担当者	葛西　和廣	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日4限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

本講義については経営学の基礎について学習する。経営学の主な対象は企業です。企業が公正かつ効果的なマネジメントを行う上で、いかに戦略を立て、組織を作り、人を動かすかという経営学の基礎的な概念と理論について学び、企業のマネジメントについて考える基礎的な視点を身につけます。

学修到達目標

①経営学の扱う様々な論点を理解し、これから経営学を学んでいくうえでの関心を広げていくことができるようになる。。
②経営学の基礎的な概念と理論を理解し、それらを用いて具体的な経営現象について議論できるようになる。
③経営学の専門分野について知り、2年次以降に専門演習・専門科目として学習する内容を自覚的に選べるようになる。

授業の進め方

基本的には教科書を用いて授業を進める。しかし、教科書のみではなく、必要に応じて事例などのプリントも配布して使用する。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	講義のねらいと進め方についての説明と導入講義	テキストのpp.1-22を予習し、講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
2	会社の経営とは何か	経営と経営学の違いについて説明し、会社を経営するとはどういうことかを学習する。	テキストのpp.23-52を予習し、講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
3	会社はどのようにして社会に役立っているか	株式会社の仕組みを理解することにより、会社がどのようにして社会に役立っているのかを理解する。	テキストのpp.53-73を予習し、講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
4	会社はどのようにしてモノを売るのか(1)	モノを売る機能について説明し、顧客を満足させるためにはどうすればよいのかを学習する。	テキストのpp.190-196を予習し、講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
5	会社はどのようにしてモノを売るのか(2)	消費者の求めているニーズを分析し、新たな潜在需要や買い換え需要を呼び起こし、消費者を満足させるために行われる諸活動について学習する。	テキストのpp.197-203を予習し、講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
6	会社はどのようにしてモノを作るのか	さまざまなモノの作り方について学習する。また、トヨタ自動車におけるクルマの作り方についても学習する。	テキストのpp.152-176を予習し、講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
7	作られたモノはどのようにして顧客に届くのか	出来上がったモノが顧客の手に届くまでのさまざまなプロセスについて学習する。	テキストのpp.177-189を予習し、講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
8	中間のまとめ	初回から前回まで行った講義を総括し、内容確認を行う。	初回から前回まで行った講義を復習しておくこと（4時間）。
9	会社はどんな仕組みで動いているのか	会社の組織構造の特徴や組織構造の規定要因などについて学習する。	テキストのpp.91-100を予習し、講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
10	社員は仕事をどのように分担しているのか	会社の中における複数の機能をどのように役割分担するのか、お互いが連携して持っている以上の力を発揮するにはどうすべきかを学習する。	テキストのpp.101-113を予習し、講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
11	社員がやる気を出すにはどうしたらよいのか	モチベーションの定義を説明し、さまざまなモチベーション理論を学習する。	テキストのpp.114-132を予習し、講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
12	会社はどのような方針で動いているのか	会社全体としての方向性を明らかにして、経営の各分野が有効に機能する指針を定めるにはどうすべきかを学習する。	テキストのpp.74-90を予習し、講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
13	会社はどのように環境に配慮して活動を行っているのか	生産や消費の過程で環境負荷をできる限り減らすことを目指すシステムについて学習する。	テキストのpp.133-151を予習し、講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
14	会社の社会的責任とは何か	会社に求められる社会的責任の考え方や、会社の社会的責任が注目されるようになった背景などについて学ぶ。	テキストのpp.204-220を予習し、講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
15	講義全体のまとめ	講義全体を総括し、内容確認を行う。	今回まで行った講義内容を復習しておくこと（4時間）。

テキスト

「やさしい経営学」海野博・所伸之編著（創成社）　ISBN:9784794422606
(生協で購入してください。)

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　レポート：20%
S:基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている。A:基本的な目標を十分に達成している。B:基本的な目標を達成している。C:基本的な目標を最低限度達成している。

参考書

必要に応じて指示します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

はじめて経営学に接する学生は、必ず基本的な専門用語とその意味を覚えておくようにして下さい。

科目名	経営管理論	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA16001	研究室	W-11
担当者	葛西　和廣	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			○	△		

授業概要

経営管理とは、組織が利用できる経営資源(人・モノ・金・情報など)を有効利用して経営計画を達成するための管理活動であり、企業の経営目的を実現するためのさまざまな業務プロセスを管理する活動のことです。本講義では、管理(マネジメント)をミッション・戦略へ向けて経営資源を統合することと定義し、組織において管理とはどのような機能や意味を持っているのかを解説し、経営管理の基本的な知識を習得します。

学修到達目標

(1)経営管理論の変遷と主要な学説を把握し、説明することができるようになる。
(2)授業で学んだことを、現実の経営問題の把握や解決に応用することができるようになる。

授業の進め方

基本的には教科書を用いて授業を進めます。しかし、教科書のみではなく、必要に応じて事例などのプリントも配布して使用します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	経営管理では何を学ぶのか。	配布した資料を読んでおくこと。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
2	アメリカの管理論の変遷	アメリカにおける管理理論の変遷を概略的に説明する。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
3	古典派管理論	F.W. テーラーの「科学的管理法」やH.ファヨールの管理過程論について紹介する。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
4	フォーディズムの意義	フォーディズムの仕組みとその意義について紹介する。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
5	人間関係論	経営管管理において「人間的側面の把握」をはじめて扱った人間関係論を紹介する。メイヨー＆レスリスバーガーらによるホーソン実験の紹介がメインとなる。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
6	行動科学的管理論（1）	「人はいかにして動機付けられるか」を考察対象とする動機付け（モチベーション）理論を紹介する。マズローの欲求階層説から期待理論までが講義内容となる。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
7	行動科学的管理論（2）	組織における人々の勤労意欲をいかに引き出すか，というリーダーシップ理論について説明する。リーダーシップの資質論・類型論・状況論などが主な内容となる。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
8	中間総括	初回から前回まで行った講義を総括し、内容確認を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
9	近代管理論	バーナードによる組織の定義・協働システム・組織均衡論などについて概説する。サイモンの意思決定論などについて概説する。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
10	企業の組織形態（1）	経営組織論について概説した後，ライン組織，ファンクショナル組織，ライン・アンド・スタッフ組織の特徴について説明する。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
11	企業の組織形態（2）	現代の企業において採用されている職能部門制組織，事業部制組織などについて紹介・説明する。また，マトリックス組織やネットワーク組織，分社化などについても触れる。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
12	ダイバーシティ・マネジメント	人々の多様性を大事にすべきという社会的規範の変化によるダイバーシティ・マネジメントの重要性について解説する。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
13	キャリア・マネジメント	バブル崩壊以後、注目されてきたキャリア・マネジメントについて説明する。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
14	組織ストレスのマネジメント	企業は社員のメンタルヘルスに関する関心を高めている。企業組織におけるストレスの問題とその管理について説明する。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
15	講義全体のまとめ	講義全体を総括し、内容確認を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。

テキスト

(別途、指示します。)
なし

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　レポート：20%
S:基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている。A:基本的な目標を十分に達成している。B:基本的な目標を達成している。C:基本的な目標を最低限度達成している。

参考書

「企業行動にみる経営学」船越克己ほか著（創成社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

常に前後の週の講義と関連させながら講義を行うので、継続的に出　席してください。

科目名	経営組織論	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA26019	研究室	W-11
担当者	葛西　和廣	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			◎			

授業概要

企業の経営において組織は不可欠である。1人の人間の力ではなしえない大きなことを組織という集団の力で行います。組織は単なる人々の集まりではなく、目的を達成するために組織化された集団です。本講義では組織の今日的課題である変革を目指すにあたり、組織をそもそもどのように考えればよいかに焦点を当て、理論やいくつかの枠組みについて説明します。さらには、グローバル化とIT化の中で、組織は具体的にどのように考察されるのかを解説し、現代企業の組織について理解を深めます。

学修到達目標

①経営組織論の概念枠組と用語を用いて、組織における個人と集団の行動や、現代社会における経営組織の活動の背後にある意味を理解し、説明することができる。②組織における個人と集団の活動や、現代社会における経営組織の活動を深く理解するための本質的な「問い」を、主体的に見いだすことができる。

授業の進め方

各講義に関連した資料を配布する。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	講義のねらいと進め方についての説明と導入講義。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
2	経営組織とは何か	経営組織に関する様々な基礎概念について説明する。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
3	時代の変遷と組織変革	戦後から現在までの日本における経済的変化を4つに区分し、区分別に組織がどのように変化してきたかを学ぶ。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
4	ITの発達と組織制度	ITの発達による組織の変化とその対応策について学ぶ。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
5	現代の組織戦略(1)：フラット型組織	「組織のフラット化」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
6	現代の組織戦略(2)： カンパニー制組織、持株会社	「カンパニー制組織や持ち株会社」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
7	M&A	「M&A」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
8	中間総括	初回から前回まで行った講義を総括し、内容確認を行う	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
9	アウトソーシング	「アウトソーシング」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
10	ERPシステム	「組織におけるERP導入」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
11	役員制度の改革	「役員制度の変革」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
12	ネットワーク型ビジネスシステム	「ネットワーク型ビジネスシステム」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
13	ネットワーク型組織	「ネットワーク型組織」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
14	人事システムの変革	「組織における人事システムの変革」に関する事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
15	講義全体のまとめ	講義全体を総括し、内容確認を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。

テキスト

(講義にて配布します。)
なし

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　レポート：20%
S:基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている。A:基本的な目標を十分に達成している。B:基本的な目標を達成している。C:基本的な目標を最低限度達成している。

参考書

「ネットワーク社会の情報と戦略」金山茂雄ほか著（創成社）
ISBN：4794421788

履修上の注意（学生へのメッセージ）

言葉や知識は現実を明確に表現する道具なので、経営組織論を学ぶ場合も、企業経営の現実や事例と結びつけて言葉や知識を身につけることが大事である。

科目名	経営戦略論	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL36021	研究室	W-11
担当者	葛西　和廣	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日4限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

会社は経営環境の変化に応じて会社の行動を変更し、時々の方針のもとで、機敏に行動しなければなりません。経営理念は会社がゴーイング・コンサーンとして長期的に存続するための、いわばバックボーンのようなものです。そして、5年、10年の期間では、その時々の経営条件に対応した戦略が必要になります。本講義では、数多くある経営戦略手法の中から、基本パターンをピックアップして、環境分析、成長戦略、競争戦略などの流れに沿って説明し、経営戦略の知識を習得します。

学修到達目標

経営戦略論の基礎概念をしっかり身につけその後の専門科目の学習に生かせるようになること、具体的なケーススタディを基にしてそこから経営戦略論の基礎理論に整理して理解出来るようになることを学習達成目標とします。

授業の進め方

各講義に関連した資料を配布する。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	講義のねらいと進め方についての説明と経営戦略の概略に関する講義	配布した資料を読んでおくこと。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
2	経営戦略とは何か	経営戦略とはいかなるプロセスを経て作成されるのかを学ぶ。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
3	業界環境分析、内部環境分析、市場調査手法	「業界環境分析と内環境分析」に関する手法と「市場調査」に関する手法」に関する説明および事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
4	企業ドメイン	「企業ドメイン」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
5	企業の成長ベクトル	「企業の成長ベクトル」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
6	多角化戦略	「多角化戦略」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
7	PPM	「PPM」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
8	中間総括	初回から前回まで行った講義を総括し、内容確認を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
9	ビジネススクリーン、撤退戦略	「ビジネススクリーン」および「撤退戦略」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
10	成長戦略の具体的展開	「成長戦略」の具体的事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
11	競争5要因分析	「競争5要因分析」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
12	市場細分化、ポジショニングマップ	「市場細分化」および「ポジショニングマップ」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	講配布した資料を読んでくること　義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
13	競争3基本戦略	「競争3基本戦略」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
14	競争地位別4戦略	「競争地位別4戦略」の概念に関する説明と事例検討を通じた現代的意義と課題の考察を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。
15	講義全体のまとめ	講義全体を総括し、内容確認を行う。	配布した資料を読んでくること。講義後はノートを見直して要点を整理すること（4時間）。

テキスト

(講義にて配布します。)
なし

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　レポート：20%
S:基本的な目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている。A:基本的な目標を十分に達成している。B:基本的な目標を達成している。C:基本的な目標を最低限度達成している。

参考書

「ネットワーク社会の情報と戦略」金山茂雄ほか著（創成社）
ISBN：9784794421784

履修上の注意（学生へのメッセージ）

言葉や知識は現実を明確に表現する道具です。経営戦略を学ぶ場合も、経営の現実や事例と結びつけて言葉や知識を身につけることが大事です。

科目名	人的資源管理Ⅰ（基礎）	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL26003	研究室	W-24
担当者	上野　隆幸	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日2限		
関連資格	産業カウンセラー､高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

この講義では「企業の人事管理の現状と今後」「人事管理に関連する法律」を経営と労働者の双方の視点から展開しています。特に人事管理の基盤となる「人事制度」、労働基準法で規定される「労働時間と休日･休暇」「賃金」、さらには近年話題となっている「採用」「ワークライフバランス」「非正規雇用」といった人事管理における基礎事項を重点的に取り扱います。

学修到達目標

社会に出て人事管理を行う際に必要な基礎的な知識、さらには自らの身を企業から守るための基礎的な知識を身につけてもらうことが最終的な目標です。

授業の進め方

毎回の講義で配布するプリントに沿って、パワーポイントによるスライドにより講義を進めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	人的資源管理とそのフレームワーク	人的資源管理とは何か、経営における位置づけはどうなっているのか、について説明します。	人事管理の話題について情報を収集して下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
2	社員区分制度	人事制度の基盤システムである社員区分制度について解説します。	日本の学歴別賃金の違いについて報を収集して下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
3	社員格付け制度①－その概念と職能資格制度－	人事管理の基盤システムである社員格付け制度に関し、日本の代表的な職能資格制度を解説します。	職能資格制度について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
4	社員格付け制度②－職務分類制度と人事制度の複線化－	人事管理の基盤システムである社員格付け制度に関し、アメリカの代表的な職務分類制度を解説します。また人事制度の複線化についても解説します。	職務分類制度について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
5	労働時間管理①－労働時間の現状と関連する法律・用語－	労働時間管理に関し、労働基準法の解説や、専門用語を紹介します。	労働基準法の第4章を読んで下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
6	労働時間管理②－所定外労働とその手当－	労働時間管理に関し、時間外労働のための手続と時間外労働の際の割増賃金について解説します。	36協定について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
7	労働時間管理③－年次有給休暇－	労働時間管理に関し、有給休暇に関する基礎的な事項とその課題について解説します。	日本の有給休暇に関する課題を調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
8	労働時間管理④－その他の休日・休暇と新しい労働時間制度－	労働時間管理に関し、多くの休暇制度や柔軟な労働時間制度について解説します。	ﾎﾜｲﾄｶﾗｰｴｸｾﾞﾝﾌﾟｼｮﾝについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
9	賃金管理①－労働費用と総額人件費管理－	賃金管理に関し、総額人件費管理の観点から人件費を解説します。	総額人件費管理とは何か調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
10	賃金管理②－個別賃金管理（昇給）－	賃金管理に関し、定期昇給とベースアップについて解説します。	定期昇給とベースアップの違いについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
11	賃金管理③－個別賃金管理（手当と賞与）－	賃金管理に関し、基本給ではない付加給付、具体的には諸手当と賞与（ボーナス）について解説します。	日本における手当と賞与の動向について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
12	採用管理	企業の採用管理について解説するとともに、これを学生の就職活動と関連させて説明します。	大学生の就職状況について、その状況を調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
13	仕事と生活の調和－ワークライフバランス－	ワークライフバランスに関し、特に育児関連（育児休業・看護休暇等）に焦点を当てて解説します。	育児休業、短時間正社員制度について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
14	非正社員と外部人材の活用	正社員以外の人材（非正社員・外部人材等）の活用に関し、その背景や課題について解説します。	正社員以外の人材の活用の状況を調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
15	講義全体のまとめ	これまでの講義全体をレビューします。	これまでの講義での質問事項がないか確認して下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）

テキスト

プリントを配布します。

成績評価の方法・基準

小テスト：55%　出席レポート：45%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「Management Text 人事管理入門」今野浩一郎・佐藤博樹著（日本経済新聞社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

労働を巡るトラブルが多く発生しており、もしかすると皆さんが当事者になるかもしれません。「自分で自分を守る」ことができるよう、積極的な姿勢で講義に臨んでください。なお、毎回の講義において小テストを実施します。

科目名	人的資源管理Ⅱ（展開）	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA36004	研究室	W-24
担当者	上野　隆幸	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日2限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			◎			

授業概要

人的資源管理Ⅱでは、人的資源管理Ⅰで扱った人事管理の基本事項以外にも展開し、細かく「企業の人事管理の現状と今後」「人事管理に関連する法律」などを学んでいきます。具体的には、「配置と異動」「教育訓練」「人事考課」「昇進管理」「福利厚生」「退職金」「企業年金」「退職と解雇」などをみていきます。

学修到達目標

社会に出て人事管理を行う際に必要な応用的な知識、さらには自らの身を企業から守るための応用的な知識を身につけてもらうことが最終的な目標です。

授業の進め方

毎回の講義で配布するプリントに沿って、パワーポイントによるスライドにより講義を進めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	社員格付け制度の概要	人的資源管理Ⅰで扱った社員格付け制度をレビューします。	人的資源管理Ⅰの職能資格制度を読んで下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
2	配置・異動管理①－その狙いと「出向」「転籍」－	日本的な配置異動施策である出向と転籍について解説します。	出向と転籍について、それぞれ調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
3	配置・異動管理②－新しい動きと関連する法律－	会社指令型ではなく、本人希望に基づく異動である社内公募制度等について解説します。	社内公募制度・社内FA制度について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
4	教育訓練管理	日本企業の教育訓練施策の実際について解説します。	OJTとOff-JTとは何か調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
5	人事考課管理①－ルールと人事考課制度の実際－	日本企業における人事考課での特徴について説明します。	日本企業の人事考課における課題について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
6	人事考課管理②－目標管理制度－	新しい評価制度である目標管理制度について説明します。	目標管理制度について、あらかじめ調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
7	昇進管理	日本企業の昇進管理の特徴について説明します。	日本企業の昇進管理における課題について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
8	福利厚生管理①－法定福利と法定外福利－	社会保険・労働保険等の法定福利厚生と法定外福利厚生について説明します。	社会保険・労働保険について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
9	福利厚生管理②－退職金の意義と退職一時金－	退職金制度について説明します。	日本企業の退職金制度について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
10	福利厚生管理③－企業年金制度と確定拠出型年金－	企業年金制度を説明するとともに、これに関連して日本の年金制度全般を説明します。	401Kとは何か調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
11	退職管理①－雇用調整と解雇－	雇用調整や解雇といったいわゆるリストラ施策について説明します。	整理解雇の4原則とは何か調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
12	退職管理②－定年退職と継続雇用－	定年退職や高年齢者の継続雇用制度について解説します。	再雇用制度と勤務延長制度の違いについて調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
13	労働組合と労使関係	日本の労使関係の歴史を概説するとともに、経営者団体ならびに労働組合の組織について解説します。	ナショナルセンターとは何か調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
14	労働市場の分析－失業率と有効求人倍率－	現状の雇用動向を把握する上で重要な指標となる完全失業率と有効求人倍率について説明します。	完全失業率と有効求人倍率の推移について調べて下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）
15	講義全体のまとめ	これまでの講義を全体的にレビューします。	講義に関する質問がないか確認して下さい。プリントを復習して下さい。（4時間）

テキスト

プリントを配布します。

成績評価の方法・基準

小テスト：55%　出席レポート：45%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「Management Text 人事管理入門」今野浩一郎・佐藤博樹著（日本経済新聞社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

この講義で扱う内容は、人的資源管理Ⅰの講義内容をさらに発展させたものです。皆さんが将来働く上で不可欠の知識を扱いますので、積極的な姿勢で講義に臨んでください。毎回の講義で小テストを実施します。

科目名	流通総論	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA16017	研究室	W-28
担当者	清水　聡子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日2限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			◎			

授業概要

私たちは日常生活の中で、近郊の田畑や工場で生産されるものだけではなく、国内各地、あるいは遠く外国から運ばれる商品などをスーパーマーケットやコンビニエンス・ストアで購入し、消費します。この生産と消費の間の流通について、仕組みや役割について学習します。

学修到達目標

現代の流通と取引に関する基礎的な知識を習得し、流通の意義や役割について理解するとともに、流通に関する課題や問題意識を持ち、自分の言葉で自分の考えをまとめる力や創造的思考の育成を目標とします。

授業の進め方

講義計画に従って、配布プリントを用いて教室にて授業を行います。それぞれの授業の構成は、①前回の授業の復習、②今回の授業のポイント、③授業の中心部（メイン）、④問題提起（来週の予告）と4部構成で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	流通総論で学ぶ内容の全体像を示し、講義の進め方を説明します。	シラバスを読み、流通に関係する事例を研究すること。（4時間）
2	流通とは何か	流通の概念と基本的役割について考察します。	流通とは何かを考察すること。（4時間）
3	流通業者の役割	流通活動を担う流通業者の概念、卸売業者と小売業者の区分について考察します。	流通業者はどのような役割を担っているかを考察すること。（4時間）
4	小売業の主要形態(1)	小売店舗の有無と販売形態について考察します。	小売業とはどのような役割を担うかを考察すること。（4時間）
5	小売業の主要形態(2)	小売業の経営形態－チェーンと商業集積－について考察します。	小売業の経営形態について考察すること。（4時間）
6	卸売業の位置づけ	卸売の社会的役割と機能、卸売機構の構造について考察します。	卸売業の役割について考察すること。（4時間）
7	商品と流通	商品の概念と商品分類の意義について考察します。	具体的な商品を1つ取り上げ、商品の概念と商品分類について考察すること。（4時間）
8	小売業の店頭活動	インストア・マーチャンダイジングの諸要素について考察します。	インストア・マーチャンダイジングについて調べること。（4時間）
9	ブランドとは何か	小売業者の商品開発力とPB戦略について考察します。	具体的なブランドを1つ取り上げ、ブランドの役割について調べること。（4時間）
10	小売業の販売・仕入・在庫管理	小売業の販売、仕入形態、品揃え計画、在庫管理について考察します。	小売業の販売･仕入・在庫管理について調べること。（4時間）
11	販売員とは何か	小売業における販売員の現状と管理について考察します。	販売員の役割を考察すること。（4時間）
12	消費者取引とは何か	消費者取引、消費者取引に関連する法律、諸課題を考察します。	消費者取引について調べること。（4時間）
13	ネット・ショップの現状	ネットショップの現状と課題について考察します。	今までの復習を行い、流通の課題を考えること。（4時間）
14	地域流通事情	地域流通の現状と課題について考察します。	今までの復習を行い、地域流通の課題を考えること。（4時間）
15	講義全体のまとめ	流通総論で学んだ全体像を示し、日本の流通の課題を考察します。	今までの復習を行い、日本の流通の課題を考えること。（4時間）

テキスト

プリント・資料の配布をもってテキストに代えます。

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　課題：20%
講義内容に沿った新聞記事を探し、発表することを課題とします。S:授業内容を高度に理解できる。A：授業内容を理解できる。B：授業内容をおおよそ理解できる。C：授業内容の60%を理解できる。

参考書

「基本流通用語辞典改訂版」宮澤永光監修著（白桃書房）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

受講者は講義計画と講義の進み具合にあわせ、新聞や雑誌などから関連した記事を探し出し、常に実際の企業行動との結びつきを考えてください。販売士検定に対応します。

科目名	消費者行動論	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KB36056	研究室	W-28
担当者	清水　聡子	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日2限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	○		

授業概要

私たちは消費者として、さまざまな製品やサービスを選択し、購入します。消費者行動論では、消費者行動の内容を把握し、消費者の意思決定の過程について学びます。

学修到達目標

消費者行動に関する基礎的、発展的な知識を習得し、自らの消費者行動を理解するとともに、消費者行動に関する課題や問題意識を持ち、自分の言葉で自分の考えをまとめる力や創造的思考の育成を目標とします。

授業の進め方

講義計画に従って、配布プリントを用いて教室にて授業を行います。それぞれの授業の構成は、①前回の授業の復習、②今回の授業のポイント、③授業の中心部（メイン）、④問題提起（来週の予告）と4部構成で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	消費者行動論で学ぶ内容の全体像を示し、講義の進め方を説明します。	シラバスを読む。消費者行動論の全体像を把握する。（4時間）
2	消費者とは何か	消費者の概念を理解し、消費者行動について考察します。	自らの消費者行動に対する課題を見つける。（4時間）
3	消費者ニーズと消費者の反応	消費者ニーズの考え方を理解し、自らの消費者ニーズを考察します。	自らの消費者ニーズに対する反応を考える。（4時間）
4	マーケティング・リサーチ(1)	マーケティング・リサーチの機能を理解し、企業の視点から消費者行動を考察します。	事例研究を行う。（4時間）
5	マーケティング・リサーチ(2)	マーケティング・リサーチの種類とデータの収集方法を考察します。	事例研究を行う。（4時間）
6	消費者行動分析(1)	ライフサイクル分析を理解し、自らのライフサイクルと製品ライフサイクルを比較します。	自らのライフサイクルを考察し、まとめる。（4時間）
7	消費者行動分析(2)	社会的側面の分析を理解し、影響因子を考察します。	消費者行動で影響を受けている社会的因子を考える。（4時間）
8	消費者行動分析(3)	ライフスタイル分析を理解し、自らのライフスタイルを考察します。	自らのライススタイルを考察し、まとめる。（4時間）
9	消費者問題と消費者政策	消費者問題の推移と消費者政策を考察します。	自らの消費者行動の中から消費者問題を考える。（4時間）
10	消費者の権利と責任	消費者が消費生活をするうえでの基本的権利と責任を考察します。	消費者の権利と責任を意識し、自らの消費者行動を考える。（4時間）
11	コンシューマリズムとは何か	コンシューマリズム（消費者主義）とコンシューマムーブメント（消費者運動）の概念を考察します。	消費者としての主体的立場を自覚し、消費者行動を考える。（4時間）
12	消費者教育とは何か	必要される消費者教育はどのようなものかを考察します。	賢い消費者となるために必要な教育とは何かを考える。（4時間）
13	消費者満足とは何か	商品やサービスの消費によって形成される消費者満足の概念を理解し、自らの消費者行動を考察します。	満足、不満足の体験をまとめ、消費者満足について考える。（4時間）
14	消費者と法	消費者に関係する法律として消費者基本法を中心に考察します。	受動的な消費者から主体的な消費者になるために必要なことを考える。（4時間）
15	講義全体のまとめ	消費者行動論で学んだ全体像を示し、消費者行動の課題を考察します。	今までの復習を行い、消費者行動の課題を考える。（4時間）

テキスト

プリント・資料の配布をもってテキストに代えます。

成績評価の方法・基準

定期試験：100%
S:授業内容を高度に理解できる。A：授業内容を理解できる。B：授業内容をおおよそ理解できる。C：授業内容の60%を理解できる。

参考書

「消費者行動論体系」田中洋著（中央経済社）
「消費者行動論」平久保仲人著（ダイヤモンド社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

マーケティング基礎、マーケティング戦略を受講した学生を対象に、講義を展開します。受講者は講義計画と講義の進み具合にあわせ、新聞や雑誌などから関連した記事を探し出し、常に自らの消費者行動を考えてください。

0101- -103

科目名	マーケティング基礎Ａ（総経）	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL25007	研究室	W-28
担当者	清水　聡子	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日2限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

マーケティングは、企業だけでなく、自治体、大学、病院、公共機関、各種団体などの組織においても重要になってきています。この講義では、マーケティングを「企業の対市場活動」と限定的に定義して、マーケティング基礎の習得を目標とします。

学修到達目標

マーケティングに関する知識を習得し、マーケティングの意義や役割について理解するとともに、自分の言葉で自分の考えをまとめる力や創造的思考の育成を目標とします。

授業の進め方

講義計画に従って、教科書と配布プリントを用いて教室にて授業を行います。それぞれの授業の構成は、①前回の授業の復習、②今回の授業のポイント、③授業の中心部（メイン）、④問題提起（来週の予告）と4部構成で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	マーケティング基礎で学ぶ内容の全体像を示し、講義の進め方を説明します。	シラバスを読む。教科書第1章を読み、わからない用語は調べること。（4時間）
2	マーケティングとは何か？	マーケティング（Marketing)の概念と基本的役割について考察します。	教科書第2章を読み、わからない用語は調べること。（4時間）
3	マーケティング・コンセプト	マーケティングの発展とともに変化したマーケティング・コンセプトに(Marketing concept)ついて考察します。	教科書第3章を読み、わからない用語は調べること。（4時間）
4	ニーズとは何か？	ニーズ（needs)の概念とマズロー(Maslow,A.H.)の欲求5段階説について考察します。	教科書第4章を読み、わからない用語は調べること。（4時間）
5	製品とサービス	有形財である製品と無形財であるサービスを考察します。	教科書第2章、第6章を読み、わからない用語は調べること。（4時間）
6	マーケティング・ミックス	マッカーシー（McCarthy,E.J.)のマーケティング・ミックス(Marketing mix)について考察します。	教科書第2章を読み、具体的な事例に当てはめて理解すること。（4時間）
7	マーケティング目標の設定	企業の生存領域（domain)に基づくマーケティング目標の設定について考察します。	教科書第3章を読み、具体的な事例に当てはめて理解すること。（4時間）
8	マーケティング計画の策定	マーケティング計画の策定方法を考察します。	目標達成のために計画の遂行(planning)を学び、自分の行動に結びつけること。（4時間）
9	マーケティングと組織	継続的企業体(going concern)として企業が存続するために、マーケティングと組織について考察します。	職能部門間や目標、役割の対立が起きた際の対処を考えること。（4時間）
10	市場機会の分析	市場を定義し、企業を取り巻く外部環境分析、企業内部の分析について考察します。	具体的な事例に当てはめて理解すること。（4時間）
11	競争構造の分析	ポーター（Porter,M.E.)の5つの競争要因について考察します。	教科書第3章を読み、具体的な事例に当てはめて理解すること。（4時間）
12	標的市場と市場細分化	標的市場(Market targeting)と市場細分化(Market segmentation)について考察します。	具体的な事例に当てはめて理解すること。（4時間）
13	ユニバーサル・デザイン	ユニバーサル・デザイン(Universal Design)について考察します。	ユニバーサル・デザインとバリアフリーとの違いを理解すること。（4時間）
14	生産財市場と消費財市場	生産財市場(Business market)と消費財市場(Consumer market)について考察します。	生産財市場と消費財市場の違いを理解すること。（4時間）
15	講義全体のまとめ	マーケティング基礎で学んだ全体像を示し、総まとめを行います。	今までの復習を行い、実践的な学びとすること。（4時間）

テキスト

「マーケティング概論」奥本勝彦・林田博光編著（中央大学出版部）
ISBN:978-4-8057-3128-4（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　課題：20%
講義内容に沿った新聞記事を探し、発表することを課題とします。S:授業内容を高度に理解できる。A：授業内容を理解できる。B：授業内容をおおよそ理解できる。C：授業内容の60%を理解できる。

参考書

「基本流通用語辞典改訂版」宮澤永光監修編（白桃書房）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

受講者は講義計画と講義の進み具合にあわせ、教科書を読み、新聞や雑誌などから関連した記事を探し出し、常に実際の企業行動との結びつきを考えてください。販売士検定に対応します。

0101- -33

科目名	マーケティング戦略	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA26018	研究室	W-28
担当者	清水　聡子	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日2限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			◎			

授業概要

企業は多くの製品やサービスを市場に投入します。企業が成長し、存続し続けるためには、消費者に受け入れられ、購入される必要があります。本講義ではマーケティング基礎での学習をもとに、企業のマーケティング戦略について事例を交えながら学びます。

学修到達目標

マーケティング戦略に関する実践的、応用的な知識を習得し、マーケティング・マネジメントの意義や役割について理解するとともに、自分の言葉で自分の考えをまとめる力や創造的思考の育成を目標とします。

授業の進め方

講義計画に従って、教科書と配布プリントを用いて教室にて授業を行います。それぞれの授業の構成は、①前回の授業の復習、②今回の授業のポイント、③授業の中心部（メイン）、④問題提起（来週の予告）と4部構成で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	マーケティング戦略で学ぶ内容の全体像を示し、講義の進め方を説明します。	シラバスを読み、マーケティング基礎の講義を復習すること。（4時間）
2	マーケティング情報システム	マーケティング情報システムとマーケティング調査について考察します。	教科書第5章を読み、わからない用語は調べること。（4時間）
3	製品戦略	製品計画(prodict planning)について考察します。	教科書第6章を読み、わからない用語は調べること。（4時間）
4	製品開発	製品開発(product development)とアンゾフ(Ansoff,H.I.)の製品市場マトリックスについて考察します。	教科書第3章、第6章を読み、わからない用語は調べること。（4時間）
5	製品ライフサイクル	製品ライフサイクル(product life cycle)とロジャース(Rogers,E.M.)の製品の普及過程と採用者類型について考察します。	採用者類型のうち自分自身はどれに当てはまるか考えること。（4時間）
6	ブランド戦略	ブランド(Brand)戦略とブランドの果たす役割について考察します。	第6章を読み、具体的な事例に当てはめて理解すること。（4時間）
7	価格戦略	価格(Price)決定に影響を与える要因について考察します。	教科書第7章を読み、わからない用語は調べること。（4時間）
8	価格決定	価格設定の方法について考察します。	計算方法を学び、数字を扱うことに慣れること。（4時間）
9	新製品の価格設定戦略	上澄み吸収価格設定(Market-skimming pricing)と市場浸透価格設定(Market-penetration pricing)について考察します。	教科書第7章を読み、具体的な事例に当てはめて理解すること。（4時間）
10	チャネル戦略	マーケティング・チャネル(Marketing channel)戦略について考察します。	教科書第8章を読み、わからない用語は調べること。（4時間）
11	チャネルの機能	マーケティング・チャネル(Marketing channel)の機能について考察します。	教科書第8章、第9章、第10章を読み、わからない用語は調べること。（4時間）
12	チャネル政策	伝統的マーケティング・チャネルと垂直的マーケティング・システムについて考察します。	教科書第8章、第9章、第10章を読み、具体的な事例に当てはめて理解すること。（4時間）
13	プロモーション戦略	プロモーション(Promotion)戦略について考察します。	教科書第11章を読み、わからない用語は調べること。（4時間）
14	プロモーション・ミックス	企業のトータル・マーケティング・コミュニケーション・プログラムであるプロモーション・ミックス(Promotion mix)について考察します。	教科書第11章を読み、具体的な事例に当てはめて理解すること。（4時間）
15	講義全体のまとめ	マーケティング戦略で学んだ全体像を示し、総まとめを行います。	今までの復習を行い、実践的な学びとすること。（4時間）

テキスト

「マーケティング概論」奥本勝彦・林田博光編著（中央大学出版部）
ISBN:978-4-8057-3128-4（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：100%
S:授業内容を高度に理解できる。A：授業内容を理解できる。B：授業内容をおおよそ理解できる。C：授業内容の60%を理解できる。

参考書

「基本流通用語辞典改訂版」宮澤永光監修著（白桃書房）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

マーケティング基礎を受講した学生を対象に、講義を展開します。講義計画と講義の進み具合にあわせ、教科書を読みましょう。また実際の企業行動との結びつきを考えてください。販売士検定に対応します。

科目名	会社法	学年学期	3・4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA36008 TB36054	研究室	W-33
担当者	増尾　均	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日2限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			総◎ 観△	○		

授業概要

会社というものは、商売をする上で取引主体となるものです。それ故に法律は様々な条文を用いて厳格に規定しています。本講義では、株式会社を中心に会社法の骨組みを学んでいただきます。最初は会社の種類などの基本的な事を学んでもらい、次いで株式会社の株式や機関について、そして会社が設立されてから解散・清算に至るまでを講義します。

学修到達目標

本講義を受けることによって、将来自分が就職したい会社がどのように規定されているのかを理解し、地域社会の貢献および企業への貢献に寄与できるようになることを目的としている。

授業の進め方

本講義では教科書と六法を中心に講義室で行いますが、必要に応じて判例・新聞記事などの補助教材を随時使用します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業の進め方、会社法の意義と商法上の位置づけ	事前に会社法とはどのような法律か調べる。講義後、位置づけを体系的にまとめる。(4時間)
2	会社制度1	会社の法律上の意義として法人性・社団性・営利性	事前学修として、会社の意義について調べる。事後学修として、会社の特徴をまとめる。(4時間)
3	会社制度2	株式会社・合名会社・合資会社・合同会社の特徴	事前学修として、会社の種類を調べる。事後学修として、違いについて比較検討する。(4時間)
4	会社法総論	会社法の沿革と会社法総則として商号・商業使用人・営業・登記の規定	事前学修として、会社法の変遷を調べる。事後学修として、総則内の規定をまとめる。(4時間)
5	株式会社の設立	株式会社の設立の仕方、定款の作成、設立の態様、設立についての責任	事前にどうしたら株式会社が作れるか調べる。講義後、手続きと諸規定をまとめる。(4時間)
6	株主	株主の地位と権利、株主平等の原則	事前に株主とは何かを調べる。事後学修として、株主の諸権利についてまとめる。(4時間)
7	株式	株式の意義、株式の種類、株式の消却・併合・分割・無償割当て	事前に株式の意義を調べる。事後学修として、個々の違いについて整理してまとめる。(4時間)
8	復習テスト	7回の授業の習熟度を理解してもらうため30分の小テストを行い、終了後詳細な解説をする。	事前に今までの復習を再度行う。講義後、理解が不十分であった所を改めて学ぶ。(4時間)
9	株式会社の機関1	株主総会の意義と役割	事前に株主総会の事例を調べる。講義後、株主総会の権限についてまとめる。(4時間)
10	株式会社の機関2	取締役会・監査役・会計監査人などの機関の意義	事前に株式会社にある機関を調べる。事後学修としてそれぞれの機関の役割をまとめる。(4時間)
11	新株の発行	新株の発行のプロセスと目的、そして法的規制	事前に、会社の資金調達方法を調べる。講義後、多様化するプロセスをまとめる。(4時間)
12	株式会社の計算	株式会社の計算として、計算規定の目的、計算書類の内容と手続きの詳細	事前に計算書類の内容を調べる。事後学修として、プロセスと規定をまとめる。(4時間)
13	組織の再編・変更1	組織の再編・変更である事業譲渡と合併の意義・種類・制限・手続きの概要	事前学修として、組織の再編・変更の種類を調べる。事後学修として、規定を整理する。(4時間)
14	組織の再編・変更2	組織の再編・変更である会社分割・株式交換・組織変更の意義・種類・制限・手続きの概要	事前学修として各制度の基礎をまとめる。、事後学修として、比較検討してまとめる。(4時間)
15	解散・清算	倒産後の処理についてどのような種類があるか学ぶ	事前学修として、倒産とは何かを調べる。事後学修として、各種制度の違いをまとめる。(4時間)

テキスト

「会社法概論(近刊)」國友順市ほか著國友順市編編（嵯峨野書院）（生協で購入してください。）
「ポケット六法」井上正仁・能見善久ほか編（有斐閣）
ISBN:9784641009158（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：90%　出席レポート：10%
Sは授業内容を高度に理解して課題や発展的問題が解ける。Aは授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。Bは授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。Cは授業内容の6割程度を理解している。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

身近で利用頻度の高い法律を学ぶ以上、常に問題意識を持って授業に臨んでください。講義計画に該当する内容をテキストから探し、読んでおいてください。

科目名	地域経済論（総経）	学年学期	3・4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KC36071	研究室	W-21
担当者	古川　智史	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日4限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△		○	

授業概要

グローバル化や人口減少、少子高齢化など、地域経済を取り巻く環境は大きく変化しています。本講義では、まず地域経済を巡る現状を概観した上で、具体的な事例に基づいて地域経済の実態にアプローチします。そして、地域経済を巡る政策の展開を概観します。以上のステップを通じて、地域経済に対する理解を深めます。

学修到達目標

地域経済へのアプローチの仕方、そのための基礎的な概念を説明できる。
地域経済で起きている現象、課題を的確に捉えるとともに、より広域的な視点から位置づけることができる。

授業の進め方

レジュメをもとに講義を進めますが、数回グループワークを実施する予定です。受講者には、毎回コメントシートの提出を求めます。また簡単な調べ学習や小テストを予定しているので、予習・復習の上、講義に臨んでください。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	イントロダクション	地域経済の捉え方を概説するとともに、本講義の概要について説明します。	配付資料および各自のノートをもとに復習すること（4時間）
2	地域経済へのアプローチ	松本を事例に地域経済へのアプローチ方法について考えます。	配付資料および各自のノートをもとに復習すること（4時間）
3	地域経済を巡る現状	マクロ的な視点に立って地域経済の動向を把握します。	配付資料および各自のノートをもとに復習すること（4時間）
4	大都市経済	東京の産業構造の変化、東京一極集中などを取り上げます。	配付資料および各自のノートをもとに復習すること（4時間）
5	地方都市のいま	具体的な事例を取り上げながら、地方都市の産業構造の変化などについて理解を深めます。	配付資料および各自のノートをもとに復習すること（4時間）
6	モノづくりと地域経済（1）	製造業の立地調整と地域経済の関係などを取り上げます。	配付資料および各自のノートをもとに復習すること（4時間）
7	モノづくりと地域経済（2）	グローバル化の中で産業集積地域がどのように変化してきたのか、具体的な事例をもとに理解を深めます。	配付資料および各自のノートをもとに復習すること（4時間）
8	モノづくりと地域経済（3）	地場産業地域の実態について、事例を取り上げながら理解を深めます。	配付資料および各自のノートをもとに復習すること（4時間）
9	商業と地域経済（1）	地域経済における商業の動向、大型小売店舗の店舗展開などを取り上げます。	配付資料および各自のノートをもとに復習すること（4時間）
10	商業と地域経済（2）	商店街の衰退問題と活性化に向けた取り組みなどについて理解を深めます。	配付資料および各自のノートをもとに復習すること（4時間）
11	農業と地域経済（1）	農業のグローバル化と農産物産地の変容を取り上げます。	配付資料および各自のノートをもとに復習すること（4時間）
12	農業の地域経済（2）	農村地域がどのように変化してきたのか、また近年の新たな動きについて取り上げます。	配付資料および各自のノートをもとに復習すること（4時間）
13	観光と地域経済	観光地域を取り上げ、その形成過程と現状について理解を深めます。	配付資料および各自のノートをもとに復習すること（4時間）
14	地域経済と政策展開	日本における地域政策の展開などを概観します。	配付資料および各自のノートをもとに復習すること（4時間）
15	総括	これまでの内容を振り返りながら、本講義を総括します。	配付資料および各自のノートをもとに復習すること（4時間）

テキスト

毎回、資料を配付します。

成績評価の方法・基準

受講態度：30%　定期試験：70%
「受講態度」では、調べ学習などの事前学習、コメントシートの提出状況およびその内容、小テストの結果を総合的に評価します。
S：積極的な探求心、批判的な思考力を持って課題に取り組み、授業内容を高度に理解している。A：積極的な探究姿勢を持って課題に取り組み、授業内容を十分に理解している。B：与えられた課題に誠実に取り組み、授業内容のおおよそを理解している。C：与えられた課題に取り組み、授業内容の60%程度を理解している。

参考書

講義中に適宜紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

質問には、講義終了後やオフィスアワーで対応します。

科目名	簿記Ⅰ（基礎）Aクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL15006 TL15006	研究室	W-16
担当者	田中　浩	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記処理能力の向上を目指します。

学修到達目標

基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通し、基本的な経理能力と高い計算能力を身に着けます。簿記や経営経済系の資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。

授業の進め方

用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。
特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	簿記を学ぶにあたって	簿記の意義　種類　役割　会計期間	簿記とは何かを調査しておく 練習プリントを解答し提出する。 1時間
2	貸借対照表と損益計算書	資産　負債　費用　収益　財務諸表の形式　損益計算	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
3	取引と勘定	取引　勘定記入　取引要素の結合関係	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
4	仕訳と転記	仕訳　仕訳帳　総勘定元帳　記入方法	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
5	試算表と決算	試算表の役割　種類　検証機能と限界　決算の意味　締切方法　精算表	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
6	現金	現金　出納帳　現金過不足	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
7	当座預金	当座預金　出納帳　当座借越	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
8	小口現金	出納帳　仕訳	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
9	商品売買	分記法　三分法	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
10	仕入売上1	仕入帳　売上帳　商品有高帳（先入先出法）	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
11	仕入売上2	商品有高帳（平均法）	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
12	売掛金　買掛金	売掛金元帳　買掛金元帳　売掛金明細表　買掛金明細表	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
13	仕訳と計算	期中仕訳　間違えやすい勘定科目　計算ミスについて	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
14	期中取引と試算表	合計残高試算表の作成	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
15	総まとめ	簿記一巡　財務諸表の意義　主要科目の復習　試算表作成など	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 2時間

テキスト

各クラスごとに指示します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：30%　小テスト：70%
s授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。a：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。b：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。c：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「財務会計」広瀬義州著（中央経済社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

毎回、計算事例を使用します。電卓を持参し、必ず自ら計算を行なってみてください。講義終了後、課題として配布された問題プリントを各自解いて提出してください。また講義前に前週の復習を十分行ってください。

科目名	簿記Ⅰ（基礎）Bクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL15006 TL15006	研究室	非常勤
担当者	吉澤　稔	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることを目的とします。簿記会計の入門知識がないことを前提に、簿記会計の全体像を初級レベルで講義します。

学修到達目標

基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通します。資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。この講義と2年前期の簿記Ⅱ展開を履修することにより日商簿記3級を目指します。

授業の進め方

用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。
特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	簿記を学ぶにあたって	簿記の意義　種類　役割　会計期間	テキスト第1章を読む。 練習プリントを解答し提出する。 (1時間)
2	貸借対照表と損益計算書	資産　負債　費用　収益　財務諸表の形式　損益計算	テキスト第2章を読み練習プリントを解答する。(1時間)
3	取引と勘定	取引　勘定記入　取引要素の結合関係	テキスト第3章を読み練習プリントを解答する。(1時間)
4	仕訳と転記	仕訳　仕訳帳　総勘定元帳　記入方法	テキスト第4章を読み練習プリントを解答する。(1時間)
5	試算表と決算	試算表の役割　種類　検証機能と限界　決算の意味　締切方法　精算表	テキスト第5,6章を読み、練習プリントを解答する。(1時間)
6	現金	現金　出納帳　現金過不足	テキスト第7章§1を読み練習プリントを解答する。(1時間)
7	当座預金	当座預金　出納帳　当座借越	テキスト第7章§2を読み練習プリントを解答する。(1時間)
8	小口現金	出納帳　仕訳	テキスト第7章§3を読み練習プリントを解答する。(1時間)
9	商品売買	分記法　三分法	テキスト第8章§1を読み練習プリントを解答する。(1時間)
10	仕入売上1	仕入帳　売上帳　商品有高帳（先入先出法）	テキスト第8章§2を読み練習プリントを解答する(1時間)
11	仕入売上2	商品有高帳（移動平均法）	テキスト第8章§2を読み練習プリントを解答する。(1時間)
12	売掛金　買掛金	売掛金元帳　買掛金元帳　売掛金明細表　買掛金明細表	テキスト第8章§3を読み練習プリントを解答する。(1時間)
13	仕訳と計算	期中仕訳　間違えやすい勘定科目　計算ミスについて	これまでの仕訳を復習し練習プリントを解答する。(2時間)
14	期中取引と試算表	合計残高試算表の作成と合致しない場合・ミスについて	試算表を作成し練習プリントを解答する。(1時間)
15	帳簿記入	各種帳簿の記入と締切　頻発するミスについて	帳簿に記入し締切し練習プリントを解答する。(2時間)

テキスト

「新版日商簿記3級テキスト」蛭川幹夫・増子敦仁著（実教出版）
ISBN:978-4-407-32584-3（生協で購入してください。）
「新版日商簿記3級問題集」蛭川幹夫・増子敦仁著（実教出版）　ISBN:978-4-407-32585-0（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：70%　受講態度：15%　課題：15%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「財務会計」広瀬義州著（中央経済社）　ISBN：978-4-502-29380-1

履修上の注意（学生へのメッセージ）

毎回、計算事例を使用します。電卓を持参し、必ず自ら計算を行なってみてください。計算能力を養うために、講義終了後、課題として配布された練習プリントを各自解いて提出してください。

科目名	簿記Ⅰ（基礎）Ｃクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL15006 TL15006	研究室	非常勤
担当者	太田　聡	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることをねらう。簿記会計の全体像を入門レベルで講義する。基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入の原理を解説する。続いて、現金預金から全ての勘定項目について一つ一つ講義してゆく。ここでは実際に計算事例を解きながら講義を行なう。さらに日商および全経簿記3級レベルの問題を利用することで、資格取得に寄与し、実社会でも通用する簿記技法が修得できるよう導く。

学修到達目標

日商簿記3級取得を目指す。

授業の進め方

基礎用語や基礎概念、基本的な計算方法を解説し、あわせて計算事例を使用しながら進める。特に毎回の講義後半では、学生諸君が自ら計算を行なうことで、計算能力の向上につながるように配慮する。また、下記テキスト（代金概算額3,240円）購入する。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	講義計画、簿記学習上の心構え	講義計画や簿記の資格について	簿記概要の復習 課題問題（1時間）
2	複式簿記の目的と基礎概念	簿記の目的や決算書の役割の学習	問題集対応範囲：1-1～2 課題問題（1時間）
3	資産・負債・資本とその分類	資産・負債・資本の性質の学習	問題集対応範囲：2-1～6 課題問題（1時間）
4	貸借対照表と損益計算書	費用と収益の性質。貸借対照表と損益計算書の関係の学習	問題集対応範囲：2-7～9 課題問題（1時間）
5	取引の意義と種類	取引の内容と仕訳の学習	問題集対応範囲：3-1～4 課題問題（1時間）
6	仕訳帳と総勘定元帳への記入	総勘定元帳の記入方法の学習	問題集対応範囲：4-1～5 課題問題（1時間）
7	帳簿の締切と決算手続	帳簿の締め切り方法と決算の意味・決算に必要な処理を学習	問題集対応範囲：6-1～5 課題問題（1時間）
8	試算表と6桁精算表の作成	試算表と精算表の作成方法を学習	問題集対応範囲：5-1～3、6-8 課題問題（1時間）
9	現金勘定、現金過不足勘定、当座預金勘定	現金・現金過不足・当座預金の内容と処理方法を学習	問題集対応範囲：7-1～7 課題問題（1時間）
10	小口現金勘定、有価証券勘定	小口現金の意味と小口現金出納帳、有価証券の学習	問題集対応範囲：7-8～9 課題問題（1時間）
11	商品売買取引（1）分記法と三分法	分記法と三分法の違い、及び三分法による仕訳の切り方を学習	問題集対応範囲：8-1～2 課題問題（1時間）
12	商品売買取引（2）仕入帳、売上帳、商品有高帳	補助簿である仕入帳・売上帳・商品有高帳の学習	問題集対応範囲：8-3～5 課題問題（1時間）
13	商品売買取引（3）売掛金明細表と買掛金明細表	補助簿である売掛金明細表と買掛金明細表の学習	問題集対応範囲：8-6～7 課題問題（1時間）
14	決算手続・試算表・精算表の作成	決算手続と試算表・精算表の作成方法を学習	問題集対応範囲：6-6～7 課題問題（1時間）
15	講義全体のまとめ	簿記一連の流れの復習	第1回～15回の内容を総復習 課題問題（1時間）

テキスト

「新版日商簿記3級テキスト」蛭川幹夫・増子敦仁著（実教出版）
ISBN:978-4-407-32584-3（生協で購入してください。）
「新版日商簿記3級問題集」蛭川幹夫・増子敦仁著（実教出版）　ISBN:978-4-407-32585-0（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：70%　小テスト：15%　課題：15%
定期試験（100点満点）を70点換算、毎回の授業で行う小テストの成績を15点換算、毎回の授業の課題提出状況を15点換算し評価する
S：100点　A：80点～99点　B：70点～79点　C：60点～69点　D：60点未満

参考書

参考文献は後日指示する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

①毎回、計算事例を使用する。電卓を持参し、必ず自ら計算を行なってみること。②計算能力を養うために、講義終了後、課題として配布された問題プリントを各自解いて提出すること。

科目名	簿記Ⅰ（基礎）Ｄクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL15006 TL15006	研究室	W-16
担当者	田中　浩	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記処理能力の向上を目指します。

学修到達目標

基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通し、基本的な経理能力と高い計算能力を身に着けます。簿記や経営経済系の資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。

授業の進め方

用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。
特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	簿記を学ぶにあたって	簿記の意義　種類　役割　会計期間	簿記とは何かを調査しておく 練習プリントを解答し提出する。 1時間
2	貸借対照表と損益計算書	資産　負債　費用　収益　財務諸表の形式　損益計算	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
3	取引と勘定	取引　勘定記入　取引要素の結合関係	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
4	仕訳と転記	仕訳　仕訳帳　総勘定元帳　記入方法	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
5	試算表と決算	試算表の役割　種類　検証機能と限界　決算の意味　締切方法　精算表	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
6	現金	現金　出納帳　現金過不足	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
7	当座預金	当座預金　出納帳　当座借越	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
8	小口現金	出納帳　仕訳	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
9	商品売買	分記法　三分法	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
10	仕入売上1	仕入帳　売上帳　商品有高帳（先入先出法）	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
11	仕入売上2	商品有高帳（平均法）	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
12	売掛金　買掛金	売掛金元帳　買掛金元帳　売掛金明細表　買掛金明細表	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
13	仕訳と計算	期中仕訳　間違えやすい勘定科目　計算ミスについて	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
14	期中取引と試算表	合計残高試算表の作成	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
15	総まとめ	簿記一巡　財務諸表の意義　主要科目の復習　試算表作成など	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 2時間

テキスト

各クラスごとに指示します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：30%　小テスト：70%
s授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。a：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。b：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。c：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「財務会計」広瀬義州著（中央経済社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

毎回、計算事例を使用します。電卓を持参し、必ず自ら計算を行なってみてください。講義終了後、課題として配布された問題プリントを各自解いて提出してください。また講義前に前週の復習を十分行ってください。

科目名	簿記Ⅰ（基礎）Eクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL15006 TL15006	研究室	W-16
担当者	田中　浩	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記処理能力の向上を目指します。

学修到達目標

基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通し、基本的な経理能力と高い計算能力を身に着けます。簿記や経営経済系の資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。

授業の進め方

用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。
特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	簿記を学ぶにあたって	簿記の意義　種類　役割　会計期間	簿記とは何かを調査しておく 練習プリントを解答し提出する。 1時間
2	貸借対照表と損益計算書	資産　負債　費用　収益　財務諸表の形式　損益計算	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
3	取引と勘定	取引　勘定記入　取引要素の結合関係	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
4	仕訳と転記	仕訳　仕訳帳　総勘定元帳　記入方法	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
5	試算表と決算	試算表の役割　種類　検証機能と限界　決算の意味　締切方法　精算表	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
6	現金	現金　出納帳　現金過不足	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
7	当座預金	当座預金　出納帳　当座借越	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
8	小口現金	出納帳　仕訳	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
9	商品売買	分記法　三分法	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
10	仕入売上1	仕入帳　売上帳　商品有高帳（先入先出法）	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
11	仕入売上2	商品有高帳（平均法）	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
12	売掛金　買掛金	売掛金元帳　買掛金元帳　売掛金明細表　買掛金明細表	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
13	仕訳と計算	期中仕訳　間違えやすい勘定科目　計算ミスについて	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
14	期中取引と試算表	合計残高試算表の作成	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
15	総まとめ	簿記一巡　財務諸表の意義　主要科目の復習　試算表作成など	課題プリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 2時間

テキスト

各クラスごとに指示します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：30%　小テスト：70%
s授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。a：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。b：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。c：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「財務会計」広瀬義州著（中央経済社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

毎回、計算事例を使用します。電卓を持参し、必ず自ら計算を行なってみてください。講義終了後、課題として配布された問題プリントを各自解いて提出してください。また講義前に前週の復習を十分行ってください。

科目名	簿記Ⅱ（展開）Aクラス	学年学期	2年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL25012 TL25012	研究室	W-16
担当者	田中　浩	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

簿記Ⅰに引き続き、簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることを目的とします。

学修到達目標

基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通します。資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。

授業の進め方

用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。
特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	手形1	種類　記帳方法	手形とは何かを調査しておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
2	手形2	裏書　割引　記入帳	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
3	その他の資産	有価証券　固定資産	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間。
4	その他の資産と負債1	貸付金　借入金　未収金　未払金	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
5	その他の資産と負債2	立替金　預り金　仮払借受の処理　商品券	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
6	その他の取引	資本金　引出金　税金	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
7	決算1	売上原価　貸し倒れ	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
8	決算2	減価償却	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間。
9	決算3	見越　繰延	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
10	決算4	現金過不足、引出金、消耗品、有価証券の期末処理	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
11	決算5	精算表の作成	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
12	決算6	財務諸表の作成	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
13	伝票	伝票制度　3伝票　5伝票	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
14	簿記一巡再論	開始仕訳、期中取引から試算表の作成、決算整理、精算表、財務諸表まで	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
15	帳簿記入再論　まとめ	総勘定元帳および各種帳簿の締め切り再論　全体像の確認	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間

テキスト

別途指示します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：30%　小テスト：70%
s：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「財務会計」広瀬義州著（中央経済社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

簿記Ⅰの履修修了者しか受講できません。電卓を持参してください。
各自必ず自宅にて計算練習を行ってください。

科目名	簿記Ⅱ（展開）Bクラス	学年学期	2年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL25012 TL25012	研究室	非常勤
担当者	吉澤　稔	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることを目的とします。入学時に、簿記会計の3級程度の知識があることを前提に、簿記会計の全体像を中級レベルで講義します。

学修到達目標

基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に一層精通します。資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。

授業の進め方

用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。
特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	簿記一巡の手続きと財務諸表	簿記一巡の手続きと財務諸表のフォーマットの作成	事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。（1時間）
2	現金預金と売掛金1	当座預金の銀行勘定調整表の作成	事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。（1時間）
3	現金預金と売掛金2	クレジット売掛金の会計処理	事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。（1時間）
4	有価証券1	売買目的有価証券と満期保有目的債券の会計処理	事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。（1時間）
5	有価証券2	子会社株式・関連会社株式とその他有価証券の会計処理	事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。（1時間）
6	商品売買	3分法と売上原価対立法	事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。（1時間）
7	有形固定資産	割賦購入・修繕と改良・減価償却など	事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。（1時間）
8	引当金	貸倒引当金・商品保証引当金・退職給付引当金・売上割戻引当金など	事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。（1時間）
9	収益と費用	サービス業における役務収益と役務費用	事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。（1時間）
10	株式会社の純資産1	株式会社の設立と開業	事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。（1時間）
11	株式会社の純資産2	剰余金の配当および処分・株主資本等変動計算書の作成	事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。（1時間）
12	税金	法人税における課税所得の計算方法・消費税の会計処理	事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。（1時間）
13	リース会計	ファイナンスリース取引とオペレーティング取引	事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。（1時間）
14	外貨建取引	外貨建ての営業取引、決済取引および決算日の会計処理	事後学修として宿題プリントを解き、次回提出する。（1時間）
15	連結会計	資本連結における支配獲得時と支配獲得後の会計処理	事後学修として宿題プリントを解き、期末考査時に提出する。（1時間）

テキスト

「検定簿記講義」渡部裕旦・片山寛・北村敬子著渡部裕旦・片山寛・北村敬子編（(株)中央経済社）　ISBN:978-4-502-89543-2（生協で購入してください。）
講義開始時にプリントを配布します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：15%　課題：15%　定期試験：70%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「財務会計」広瀬義州著（中央経済社）　ISBN：4-502-25980-2
「検定簿記講義」渡部裕旦・片山寛・北村敬子著渡部裕旦・片山寛・北村敬子編（(株)中央経済社）　ISBN：978-4-502-22491-1

履修上の注意（学生へのメッセージ）

高校在学中に商業簿記3級合格者またはそれと同等の実力者のしか受講できません。電卓を持参してください。
各自必ず自宅にて計算練習を行ってください。

科目名	簿記Ⅱ（展開）Cクラス	学年学期	2年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL25012 TL25012	研究室	非常勤
担当者	太田　聡	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

簿記論の全体像の知識を前提に、株式会社における会計処理を理解することをめざす。さらに実際の計算問題を解くことで、簿記経理処理の能力を向上させることをめざす。ある程度の規模をほこる株式会社を前提にし、そこでの会計のあり方、実際の会計処理について、計算プロセスを含めて講義する。さらに、必要に応じて日商および全経簿記検定の3級レベルの問題演習を行なうことで、資格取得に寄与し、実社会でも通用する簿記技法が修得できるよう導く。

学修到達目標

日商簿記3級取得を目指す。

授業の進め方

基礎用語や基礎概念、基本的な計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進める。特に、学生諸君が自ら計算を行なうことで、計算能力の向上につながるように配慮する。また、下記テキスト（代金概算額3,240円）を購入する。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	講義計画	講義計画や簿記の資格について	簿記Ⅰ範囲の見直し 課題問題（1時間）
2	手形勘定（1）受取手形勘定と支払手形勘定	手形取引の内容と処理方法を学習	問題集対応範囲：9-1～2 課題問題（1時間）
3	手形勘定（2）手形の割引と裏書譲渡	割引手形・裏書手形の内容と処理方法、手形記入帳を学習	問題集対応範囲：9-3～6 課題問題（1時間）
4	その他の貸借取引	立替金・預り金などの処理方法を学習	問題集対応範囲：11-1～7 課題問題（1時間）
5	固定資産取引	有形固定資産の購入時・売却時の処理方法を学習	問題集対応範囲：10-1～5 課題問題（1時間）
6	資本取引	資本金・引出金の内容と処理方法を学習	問題集対応範囲：12-1～4 課題問題（1時間）
7	決算（1）決算予備手続き	消耗品・現金過不足の決算処理を学習	問題集対応範囲：15-19、32 課題問題（1時間）
8	決算（2）決算修正事項（棚卸資産）	売上原価の計算方法を学習	問題集対応範囲：15-1～5 課題問題（1時間）
9	決算（3）決算修正事項（減価償却）	減価償却の計算と処理方法を学習	問題集対応範囲：15-12～15 課題問題（1時間）
10	決算（4）決算修正事項（貸倒引当金）	貸倒引当金の計算と処理方法を学習	問題集対応範囲：15-6～11 課題問題（1時間）
11	決算（5）決算修正事項（費用・収益の見越・繰延）	前払・前受・未払・未収の処理方法を学習	問題集対応範囲：15-20～31 課題問題（1時間）
12	決算（6）8桁精算表の作成	8桁精算表への決算修正仕訳記入方法を学習	問題集対応範囲：16-1～2 課題問題（1時間）
13	帳簿と伝票	伝票の記入方法を学習	問題集対応範囲：13-1～2 課題問題（1時間）
14	これまでの知識の確認と練習問題	決算総合問題	問題集対応範囲：16-3～6 課題問題（1時間）
15	講義全体のまとめ	簿記一連の流れの復習	総合問題の復習 課題問題（1時間）

テキスト

「新版日商簿記3級テキスト」蛭川幹夫・増子敦仁著（実教出版）
ISBN:978-4-407-32584-3（生協で購入してください。）
「新版日商簿記3級問題集」蛭川幹夫・増子敦仁著（実教出版）　ISBN:978-4-407-32585-0（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：70%　小テスト：15%　課題：15%
定期試験（100点満点）を70点換算、毎回の授業で行う小テストの成績を15点換算、毎回の授業の課題提出状況を15点換算し、評価する。
S：100点　A：80点～99点　B：70点～79点　C：60点～69点　D：60点未満

参考書

参考文献は後日指示する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

①簿記Ⅰの受講履修が終了した者しか受講できない。②計算事例を使用する場合が多い。電卓を持参し、必ず自ら計算を行なってみること。

科目名	簿記Ⅱ（展開）Dクラス	学年学期	2年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL25012 TL25012	研究室	W-16
担当者	田中　浩	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

簿記Ⅰに引き続き、簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることを目的とします。

学修到達目標

基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通します。資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。

授業の進め方

用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。
特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	手形1	種類　記帳方法	手形とは何かを調査しておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
2	手形2	裏書　割引　記入帳	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
3	その他の資産	有価証券　固定資産	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間。
4	その他の資産と負債1	貸付金　借入金　未収金　未払金	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
5	その他の資産と負債2	立替金　預り金　仮払借受の処理　商品券	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
6	その他の取引	資本金　引出金　税金	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
7	決算1	売上原価　貸し倒れ	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
8	決算2	減価償却	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間。
9	決算3	見越　繰延	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
10	決算4	現金過不足、引出金、消耗品、有価証券の期末処理	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
11	決算5	精算表の作成	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
12	決算6	財務諸表の作成	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
13	伝票	伝票制度　3伝票　5伝票	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
14	簿記一巡再論	開始仕訳、期中取引から試算表の作成、決算整理、精算表、財務諸表まで	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
15	帳簿記入再論　まとめ	総勘定元帳および各種帳簿の締め切り再論　　全体像の確認	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間

テキスト

別途指示します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：30%　小テスト：70%
s：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「財務会計」広瀬義州著（中央経済社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

簿記Ⅰの履修修了者しか受講できません。電卓を持参してください。
各自必ず自宅にて計算練習を行ってください。

科目名	簿記Ⅱ（展開）Eクラス	学年学期	2年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL25012 TL25012	研究室	W-16
担当者	田中　浩	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

簿記Ⅰに引き続き、簿記論の全体像を把握すると同時に、実際の帳簿記入を通じて、現実の経営活動において求められる簿記経理処理の能力を向上させることを目的とします。

学修到達目標

基本用語、基礎概念、財務諸表の作成、仕訳、勘定記入など簿記の基本事項に精通します。資格取得に寄与し、さらに実社会でも運用する簿記技法を修得します。

授業の進め方

用語や概念、計算方法を解説しつつ、あわせて計算事例を使用しながら進めます。
特に学生諸君が自ら計算を行なう機会を設けることで、計算能力の向上につながるように配慮します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	手形1	種類　記帳方法	手形とは何かを調査しておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
2	手形2	裏書　割引　記入帳	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
3	その他の資産	有価証券　固定資産	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間。
4	その他の資産と負債1	貸付金　借入金　未収金　未払金	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
5	その他の資産と負債2	立替金　預り金　仮払借受の処理　商品券	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
6	その他の取引	資本金　引出金　税金	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
7	決算1	売上原価　貸し倒れ	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
8	決算2	減価償却	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間。
9	決算3	見越　繰延	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
10	決算4	現金過不足、引出金、消耗品、有価証券の期末処理	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
11	決算5	精算表の作成	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
12	決算6	財務諸表の作成	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
13	伝票	伝票制度　3伝票　5伝票	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
14	簿記一巡再論	開始仕訳、期中取引から試算表の作成、決算整理、精算表、財務諸表まで	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間
15	帳簿記入再論　まとめ	総勘定元帳および各種帳簿の締め切り再論　　全体像の確認	先週のプリントを解いておく。 練習プリントを解答し提出する。 1時間

テキスト

別途指示します。

成績評価の方法・基準

課題：30%　小テスト：70%
s：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「財務会計」広瀬義州著（中央経済社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

簿記Ⅰの履修修了者しか受講できません。電卓を持参してください。
各自必ず自宅にて計算練習を行ってください。

科目名	簿記原理	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA26013	研究室	W-16
担当者	田中　浩	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

簿記の基本的なシステムと具体的な手続きについて、取引開始から期中取引、決算まで、すべての記帳・計算方法の原理を学びます。
簿記Ⅰ簿記Ⅱで学んだ内容を復習しつつ、より応用的な中身も含め学びます。

学修到達目標

簿記の典型的な事案について、その基本原理にさらに習熟し、その意味合いや利用方法をまなび、さらに短時間で処理する経験を積むことで、事務経理職に要求される基本的能力（会計リテラシー）を身に着けます。

授業の進め方

取引・計算事例の一つ一つを取り上げ、それに関する基本問題を計算方法、帳簿記入の仕方を解説し、簿記の原理を説明します。次により発展的な問題を、さらに例外的な事案等についても取り扱います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	簿記の全体像	簿記の基本的な手続き全体を確認する	簿記Ⅰのテキストを読んでおく。配布する問題を解答し提出する。4時間
2	当座資産の取引	現金　当座預金　有価証券	配布プリント問題を解いておく。キーワードを復習し、練習プリントを解答する。4時間
3	その他の資産、負債の取引	固定資産　引当金　借入金・貸付金　未収入金・未払金　他	民法の規定を復習しておく。練習プリントのキーワードを問題を解答する。4時間
4	収益　費用	商品売買　費用計上	基本的な仕訳について確認しておく。分記法と3分法の対比問題を解く。4時間
5	帳簿記入	各種出納帳　商品有高帳　売上帳・仕入帳　手形記入帳など	配布プリント問題を解いておく。練習プリントを解答し提出する。4時間
6	勘定記入	帳簿組織の再確認　転記　勘定の締切	帳簿組織について調査しておく。練習プリントを解答し提出する。4時間
7	伝票	伝票制　3伝票　5伝票　日計表	配布プリント問題を解いておく。練習プリントを解答し提出する。4時間
8	試算表1	日付別取引データからの試算表作成　売掛金明細表　買掛金明細表	配布プリント問題を解いておく。練習プリントを解答し提出する。4時間
9	試算表2	取引項目別データからの試算表作成　2重取引	配布プリント問題を解いておく。練習プリントを解答し提出する。4時間
10	決算	すべての決算取引の勘定、仕訳、計算方法	決算書を読んでみる。練習プリントを解答し提出する。4時間
11	精算表1	6桁精算表　8桁精算表	配布プリント問題を解いておく。練習プリントを解答し提出する。4時間
12	精算表2	付記事項の取り扱い　構造的な問題	配布プリント問題を解いておく。練習プリントを解答し提出する。4時間
13	財務諸表1	決算整理前試算表と決算処理、財務諸表の作成	配布プリント問題を解いておく。練習プリントを解答し提出する。4時間
14	財務諸表2	決算整理後の試算表と決算処理、財務諸表の作成	配布プリント問題を解いておく。練習プリントを解答し提出する。4時間
15	簿記一巡	すべての取引の総復習　誤りやすい事項　より発展的な内容について	配布プリント問題を解いておく。練習プリントを解答し提出する。4時間

テキスト

講義開始時にオリジナルテキストを配布します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：30%　定期試験：70%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「財務会計」広瀬義州著著（中央経済社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

できるだけ電卓を持参してください。講義毎に練習プリントがあります。
また「簿記受験対策」と関連性の高い科目ですので同時履修が望ましいです。

科目名	会計学	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA36014	研究室	W-16
担当者	田中　浩	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			◎			

授業概要

本講義では、株式会社の会計について、基本的な内容を学びます。特に3つの財務諸表の一つ一つについて全項目を扱うことで、財務諸表をすべてを知るとともに、それを分析する手法についても学びます。商法、金融商品取引法、法人税法、企業会計原則によってどのような規定があるかについて、具体的に学びます。

学修到達目標

講義を通じて、会計学の基礎用語の意味と現行法規を理解し、さらに財務諸表の概略が読み解けるようになります。

授業の進め方

基本的な用語・ルールをスライドを使って解説します。
また、選択式問題や正誤問題を使うことで理解を深めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	株式会社会計の全体像	株式会社会計について　簿記と会計学の関係　会計学の体系	会計学について調査しておく。課題プリントを解く 4時間
2	会計の有用性と法律	グローバル化と企業情報　会計情報の使用目的と法律　企業会計原則	プリントの該当箇所を熟読する 課題プリントを解く 4時間
3	財務諸表の体系	B/S P/L　そのたの財務諸表の形式と意義	プリントの該当箇所を熟読する 課題プリントを解く 4時間
4	貸借対照表1	流動資産の定義、分類基準、細目	プリントの該当箇所を熟読する 課題プリントを解く 4時間
5	貸借対照表2	固定資産の定義、分類基準、細目	プリントの該当箇所を熟読する 課題プリントを解く 4時間
6	貸借対照表3	資産の評価、負債および株主資本の定義、分類基準、細目、評価	プリントの該当箇所を熟読する 課題プリントを解く 4時間
7	損益計算書1	形式、営業利益の意味、計算方法と費目	プリントの該当箇所を熟読する 課題プリントを解く 4時間
8	損益計算書2	経常利益の意味、純利益の種類、計算方法と費目	プリントの該当箇所を熟読する 課題プリントを解く 4時間
9	キャッシュフロー計算書1	キャッシュの意義と計算書の有用性、構造	プリントの該当箇所を熟読する 課題プリントを解く 4時間
10	キャッシュフロー計算書2	キャッシュフロー計算書の3区分と費目、株主資本変動計算書の構造	プリントの該当箇所を熟読する 課題プリントを解く 4時間
11	会計倫理	企業不祥事とその会計上の問題点、エンロン事件などの実例　諸法規	プリントの該当箇所を熟読する 課題プリントを解く 4時間
12	貸借対照表の読み方	流動比率、固定比率など経営分析指標の有効性	プリントの該当箇所を熟読する 課題プリントを解く 4時間
13	損益計算書の読み方	各種利益率　回転率など経営分析指標の有効性	プリントの該当箇所を熟読する 課題プリントを解く 4時間
14	その他の問題	合併　時価評価　国際会計、会計原則再論	プリントの該当箇所を熟読する 課題プリントを解く 4時間
15	全体のまとめと今後の課題	会計学の主要論点展望　管理会計の関わりなどの発展的内容	プリントの該当箇所を熟読する 課題プリントを解く 4時間

テキスト

講義時おいてオリジナルテキストを配布する。

成績評価の方法・基準

出席レポート：30%　課題：10%　定期試験：60%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「財務諸表論」武田隆二著（中央経済社）
「新現代会計入門」伊藤邦雄著（日本経済新聞社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

経済関係のニュース等において会計学が関わる事柄が多くあります。常に関心を持つようにしてください。

科目名	管理会計	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA36015	研究室	W-16
担当者	田中　浩	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			◎			

授業概要

管理会計の基本的考え方と技法、基本用語、その意味を説明します。また、計算事例も使って、管理会計の実際の手続きを一つ一つ解説します。

学修到達目標

管理会計の基本的な事案を理解し、枠組みを掴むこと、さらに一つ一つの手続きをマスターすることを目的にします。

授業の進め方

基礎概念、基本的な用語を解説します。最も単純な計算事例から解説します。次に例示、穴埋め問題などを使用します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	会計学の体系	管理会計について調べておく 課題プリントを解答し提出する 4時間
2	原価とは	原価の範囲、分類	配布プリントを読んでおく 課題プリントを解答する 4時間
3	受注企業の場合	個別原価計算	配布プリントを読んでおく 課題プリントを解答する 4時間
4	見込み生産の場合1	総合原価計算の基礎	配布プリントを読んでおく 課題プリントを解答する 4時間
5	見込み生産の場合2	さまざまな総合原価計算　ABC	配布プリントを読んでおく 課題プリントを解答する 4時間
6	原価管理	標準原価計算の基礎	配布プリントを読んでおく 課題プリントを解答する 4時間
7	予算と原価管理	標準原価計算と予算　差異分析	配布プリントを読んでおく 課題プリントを解答する 4時間
8	原価分類	コストビヘイビアとFV分解	配布プリントを読んでおく 課題プリントを解答する 4時間
9	利益計算の方法	直接原価計算の意義と実際	配布プリントを読んでおく 課題プリントを解答する 4時間
10	利益予測	損益分岐点分析　目標利益の算定　安全余裕率	配布プリントを読んでおく 課題プリントを解答する 4時間
11	その他の計算方法	品質原価計算　セグメント別業績評価	配布プリントを読んでおく 課題プリントを解答する 4時間
12	意思決定会計1	基礎概念　増分原価　計算方法	配布プリントを読んでおく 課題プリントを解答する 4時間
13	意思決定会計1	時間価値　意思決定の事例	配布プリントを読んでおく 課題プリントを解答する 4時間
14	企業全体との関わり	原価企画　バランススコアカード	配布プリントを読んでおく 課題プリントを解答する 4時間
15	まとめ	管理会計発達史	配布プリントを読んでおく 課題プリントを解答する 4時間

テキスト

講義開始時に教材を配布します

成績評価の方法・基準

出席レポート：30%　課題：20%　定期試験：50%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「管理会計－事例による解説と研究」伊藤博著（実教出版）
「コストマネジメント」伊藤嘉博著（日本経済新聞社）
「管理会計」岡本清他著（国元書房）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

問題演習があります。常に自身で考えながら解答するように心がけてください。電卓はなるべく持参してください。

科目名	職業指導論	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL26093 TL260112	研究室	W-29
担当者	畑井　治文	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	△	総○ 観○	△	△	△	

授業概要

学校と社会の円滑な接続を図るためには、学生の職業観・勤労観を育むとともに、職業に関する知識や技能を身に付けさせることが必要不可欠です。またそれらに加えて、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力を育てることも大切になってくるでしょう。本講義では、職業指導（進路指導・キャリア教育）の基礎的な理論や実践的な技術について解説していきます。

学修到達目標

職業指導（進路指導・キャリア教育）の基礎的な理論や実践的な技術を学ぶことによって、職業指導についての知識や関心を広げるようになるのはもちろん、中学生や高校生が進路選択という大きな課題に直面した際、教師として具体的な支援ができるようになることが目標です。

授業の進め方

基本的には講義用プリントを配布して授業を進めます。各回とも教室での講義となりますが、可能な限り、インタラクティブな授業を展開できるように心がけていきます。授業内で実施した小テスト・課題などについては、随時、返却・解説をする予定です。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業概要、学修到達目標などについて説明します。また職業指導の定義、職業指導の概念の広がりについて解説します。	今回の内容を復習すると同時に、代表的な職業分類について調べてきて下さい。（4時間）
2	職業の語義と種類	職業の要素について解説した上で、総務省や厚生労働省の職業分類体系をもとに、多種多様な職業の種類を紹介します。	今回の内容を復習すると同時に、職業選択理論について調べてきて下さい。（4時間）
3	職業指導（進路指導・キャリア教育）の基礎理論	職業選択理論、構造理論、発達理論など、職業指導にかかわる代表的な基礎理論について解説します。	今回の内容を復習すると同時に、昨今の求人倍率の推移について調べてきて下さい。（4時間）
4	産業構造・就業構造の変化	日本の産業構造の変化、それを受けた就業構造の変化について解説します。また昨今の労働市場の動向を整理しながら、企業の採用意欲の方向性なども紹介します。	今回の内容を復習すると同時に、いわゆる「七五三現象」について調べてきて下さい。（4時間）
5	若年者の職業意識とキャリア行動	職業指導の対象となる「若年者」が抱く職業意識、それを踏まえたキャリア行動について解説します。職業指導の円滑化を図る上、「若年者」への理解を深めることは必要不可欠なポイントです。	今回の内容を復習すると同時に、高卒で就職を希望する学生の割合を調べてきて下さい。（4時間）
6	高校におけるキャリア教育と職業指導	キャリア教育を進める際の組織や運営方法について解説した上で、高校における職業指導の流れや留意点なども紹介します。	今回の内容を復習すると同時に、キャリアカウンセリングの目的を調べてきて下さい。（4時間）
7	キャリアカウンセリングの理論と技法	キャリアカウンセリングの導入の背景、キャリアカウンセリングの目的・機能・プロセスについて解説します。	今回の内容を復習すると同時に、次回実施される小テストに備えて下さい。（4時間）
8	中間のまとめ	映像資料を用いながら、これまでの内容を振り返ります。また授業への理解を深めるために小テストを実施します。	小テストを復習すると同時に、企業で行われているMBOについて調べてきて下さい。（4時間）
9	企業で行われているキャリア開発支援	企業で行われているキャリア開発支援の取り組みを題材にしながら、若年者のキャリア行動を促すための手法について解説します。	今回の内容を復習すると同時に、労働関連の法律の種類について調べてきて下さい。（4時間）
10	職業指導の際に知っておくべき法律	若年者が職業選択を進めていく上で、さらには実際に職業生活を過ごしていく上で知っておくべき法律について解説します。	今回の内容を復習すると同時に、フリーターに関連する情報を収集してきて下さい。（4時間）
11	ケーススタディ①（若年者のフリーターの実態）	若年者の「フリーターの実態」に焦点をあて、収入、雇用安定、能力開発などの側面から非正規労働者が抱える問題について解説します。また国が進めている若年者支援の施策なども紹介します。	今回の内容を復習すると同時に、若年者の離転職に関連する情報を収集してきて下さい。（4時間）
12	ケーススタディ②（若年者の離転職の実態）	若年者の「離転職の実態」に焦点をあて、離転職が多い理由、離転職のその後について整理した上で、離転職を防ぐための手法を解説します。	今回の内容を復習すると同時に、ドイツで行われている見習制を調べてきて下さい。（4時間）
13	欧米諸国のキャリア開発支援	学校生活から職業生活への移行タイプを整理した上で、欧米諸国におけるキャリア開発支援の取り組みについて解説します。	今回の内容を復習すると同時に、適性診断の種類について調べてきて下さい。（4時間）
14	自己理解・適性診断の手法	自己理解の意義と目的について解説した上で、ワークシートを用いながら実際に自己理解を行います。また自己理解を進める上で参考となる適性診断の手法なども紹介します。	今回の内容を復習すると同時に、次回実施される小テストに備えて下さい。（4時間）
15	講義全体のまとめ	定期試験対策プリントを用いながら、これまでの内容を振り返ります。また授業への理解を深めるために小テストを実施します。	小テストを復習すると同時に、定期試験に備えて下さい。（4時間）

テキスト

講義用プリントを配布します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：20%　小テスト：30%　定期試験：50%
S：授業内容を高度に理解して発展問題・課題が解ける。A：授業内容を理解して応用問題・課題が解ける。B：授業内容をおおよそ理解して応用問題・課題がほぼ解ける。C：授業内容の6割程度を理解している。

参考書

「キャリア開発と職業指導　大学・高校のキャリア教育支援」伊藤一雄・佐藤史人・堀内達夫編（法律文化社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

教師の立場として有用なだけでなく、大学生である自分自身の進路選択を考える上でも良いきっかけを与えてくれるはずです。常に問題意識を持って授業に臨むようにして下さい。

0101- -177

科目名	経済入門A（総経）	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	W-09
担当者	成　耆政	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日1限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度

授業概要

本講義は、世の中で暮らしていくために必要な「経済の仕組み」を、経済学的な視点に立って「生きた知識」として理解することを目的とします。大まかな内容は、①経済の見方（基礎知識）を身につける、②日本経済のほか欧米やアジアなど海外経済の状況を知る、③グローバルな視点から経済を見る眼を養う、④海外経済との比較などを通じて日本経済の課題を探る、などです。

学修到達目標

新聞・ネットの経済記事が理解できる程度の経済知識や考え方を習得し、それを活用して賢く生きるために必要な判断力（経済リテラシー）を身につけることを目指します。

授業の進め方

教室での講義を原則とし、プロジェクターや配付資料等に基づいて講義を行います。また、必要に応じて講義内容に関連したその時々のトピック（経済常識と思われる時事問題）も取り上げます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス	授業概要、学習目標、授業の進め方のほか、総合経営学と経済との関係について説明します。	高校時代に経済について学んだ内容を復習し、自分が関心のある経済問題を探します。（4時間）
2	経済の仕組み（1）：経済の規模と変動	一国経済の規模を表すGDP（国内総生産）の概念と国際比較、経済変動のメカニズムについて説明します。	配布資料を読み、GDP統計を使って世界経済動向を概観します。授業外学修は週に4時間必要。
3	経済の仕組み（2）：経済の均衡（バランス）	経済の均衡とはどういうことか。経済の国内均衡（物価、資産価格、労働市場、財政）、対外均衡（経常収支）の概念と具体的な動きについて説明します。	配布資料を読み、経済指標の動きを最近の新聞等で確認します。授業外学修は週に4時間必要。
4	1970年代以降の日本経済の歩み	GDP成長率、株価、円･ドル相場の動きを確認しながら、1970年代以降の日本経済の歩みを概説します。	日本経済の大きな流れを理解し、課題レポートを作成します。授業外学修は週に4時間必要。
5	地域経済の動向：長野県経済の現状と課題	地域経済の動向を概観した後、長野県経済の全国シェア、産業構造の特徴、景気動向などについて説明します。	配布資料を読み、身近な長野県経済の動きを理解します。授業外学習は週に4時間必要。
6	財政の仕組みと役割	財政の役割について説明した後、日本の財政の現状と課題について解説します。	日本で消費増税や社会保障改革がなぜ必要なのかを考えます。授業外学習は週に4時間必要。
7	中間総括	これまで解説した経済や財政について、確認のための小テストを含め、中間総括をします。	これまでの講義内容を復習し、疑問点を解消します。授業外学習は週に4時間必要。
8	金融の仕組み：お金の基礎知識	金融取引の内容やお金の流れる仕組み、金利（利子率）、金融資産（商品）の種類と特徴など、お金の基礎知識を説明します。	金融は専門用語が多いので、理解できるようによく復習します。授業外学修は週に4時間必要。
9	生涯の生活設計と金融資産運用	生涯所得と人生に必要な生活費、金融資産運用の基礎知識、分散投資の考え方と方法などについて説明します。	配布資料を読み、自分の生涯を念頭において復習します。授業外学修は週に4時間必要。
10	金融システム：金融機関と証券市場の将来像は？	金融システムの機能、金融システム改革の歴史と現状、金融システムの将来像について説明します。	やや専門的な内容なので、大まかな流れを理解します。授業外学修は週に4時間必要。
11	金融政策の仕組みと役割	金融政策の枠組み、最近の金融政策運営とその課題などについて説明します。	最近の金融政策運営の考え方と課題について自分で考えます。授業外学修は週に4時間必要。
12	国際金融経済：国際収支と外国為替相場の仕組み	国際収支の仕組み、外国為替相場変動の意味と仕組み、円高・円安の日本経済への影響などについて説明します。	最近の為替相場の動きを確認し、課題レポートを作成します。授業外学修は週に4時間必要。
13	経済政策の目標と効果	金融政策、財政政策、為替政策、構造改革（成長戦略）の目標と効果を検証し、今後の政策運営のポイントについて説明します。	最近の新聞・ネット等で、経済政策運営について理解する。授業外学修は週に4時間必要。
14	世界経済の構造変化と日本経済の課題	先進国や新興国の動向など世界経済の構造変化を踏まえ、日本経済再生の課題について解説します。	いろいろな見解を比較し、自分なりの考え方を整理します。授業外学修は週に4時間必要。
15	講義全体のまとめ	講義全体の総括として、各回の講義の要約と相互にどのように関連しているか、また賢い消費者になるためにこうした経済知識をどのように活用したらよいかを説明します。	配布資料を読み、講義全体を振り返って、内容を理解します。授業外学修は週に4時間必要。

テキスト

この授業は、テキストを使用しませんが、配付資料のほか、下記の参考書や新聞・ネット等の経済記事を読むことを薦めます。

成績評価の方法・基準

定期試験：50%　小テスト：30%　レポート：20%
S:授業内容を高度に理解し、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組みレポートを作成できる。A：授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組みレポートを作成できる。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組みレポートを作成できる。C:授業内容の60%程度を理解し、与えられた課題に取り組みレポートを作成できる。

参考書

「Q&A日本経済の基本50」日本経済新聞社編（日本経済新聞出版社）
「日本経済図説（第4版）」宮崎勇、本庄真、田谷禎三著（岩波書店）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

高校時代に学んだ「現代社会」や「政治・経済」（選択必修）の経済分野の内容を事前に復習しておいてください。
質問には、オフィスアワーで回答します。

0101- -80

科目名	国際経営論	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KC36069	研究室	W-10
担当者	兼村　智也	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日1限		
関連資格	高一(商業)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△		○	

授業概要

長野県には海外に拠点を持つ企業が実に300社にのぼります。もはや経営は国内にとどまらず海外まで拡大していますが、そこには「国境」があるため国の仕組み・制度も違うし、その国の優位点も違えば、従業員の行動も違ってきます。本講義では、企業が海外で経営する際に生じる違いと、その背景、求められる経営のあり方などについて解説します。

学修到達目標

日本国内での経営と対比させながら、国際経営のユニークな点についての理解・関心を深める。

授業の進め方

毎回プリントは配布、それを参照しながら講義形式で行います。また毎回、講義の最後にその日の内容を確認する簡単な「確認テスト」を行い、理解の定着・確認に役立ててもらいます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	国際経営とは何か、国際経営を学ぶ意義について解説します。	履修有無の検討（4時間）
2	多国籍企業	国際経営のプレイヤー・主体である多国籍企業の概念について解説します。	確認テストの復習（4時間）
3	国際経営戦略	国際経営戦略とは何か、またその主役である輸出、海外進出（生産・販売）の歴史的経緯、役割について解説する。	確認テストの復習（4時間）
4	国際マーケティングと国際調達	ビジネスに必要な仕入れと販売について日本と異なり、どのような困難・課題があるのかについて解説する。	確認テストの復習（4時間）
5	海外生産	国際経営の中心的事業活動である海外生産について、その目的と歴史的変遷、近年の動向などについて解説する。	確認テストの復習（4時間）
6	技術移転と海外研究開発	技術移転の内容・パターンについて解説するとともに、その難しさや研究開発とのつながりについて解説する。	確認テストの復習（4時間）
7	国際経営組織と所有政策	国際経営の組織について組織図を用いながら本社との関係を理解するとともに、出資関係と経営の関係について解説する。	確認テストの復習（4時間）
8	海外子会社の経営	海外子会社の経営について、とりわけ日系企業の特徴について解説する。	確認テストの復習（4時間）
9	国際経営と言語	顧客、仕入先、従業員とのコミュニケーションにとって重要な言語について日系企業が抱える問題について解説する。	確認テストの復習（4時間）
10	北米・欧州のなかの日本企業	早くから日本企業の国際経営が始まった北米・欧州を取り上げ、その現状や問題点・課題について解説する。	確認テストの復習（4時間）
11	アジアのなかの日本企業	今や国際経営の中心地域となったアジアを取り上げ、その現状や問題点・課題について解説する。	確認テストの復習（4時間）
12	国際経営と国内空洞化	国際事業が日本事業にもたらす好影響・悪影響について明らかにし、「空洞化問題」といわれる現象について解説する。	確認テストの復習（4時間）
13	外資系企業	外資系企業とは何か、またその経営上の特徴について解説する。	確認テストの復習（4時間）
14	国際経営戦略の今後の展開	多国籍企業のもつ優位性を踏まえたマネジメントのあり方について解説する。	確認テストの復習（4時間）
15	本講義の総括	これまでの講義内容をレヴューしながら、補足説明などを加え、本講義の総括を行う。	試験対策を含め、確認テストの総復習（4時間）

テキスト

特にありません。必要に応じて、授業時にプリントを配布します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：30%　定期試験：70%
S：前記の合計が95点以上の上位2名以内。A：前記の合計が85点以上。B：前記の合計が70点以上。C：前記の合計が60点以上。

参考書

「国際経営論」佐藤憲正編（学文社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

応用科目ですので関連基礎科目の履修を踏まえた学生を望みます。

科目名	自然と産業	学年学期	1年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13501	研究室	W-15
担当者	田開　寛太郎	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(商業)、中一(社会)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

私たちの暮らしは豊かな自然の上に成り立っています。祖先が自然とともにどのように暮らし、そしてどのように自然を開発してきたか。この先に高齢化や人口減少を迎える中、地域の産業発展には自然環境といった地域資源を活かした地域づくり人づくりが求められています。本講義では、自然の各循環と基本的なしくみ、そして産業との関わりを理解し、国内外の事例をみながら自然環境を取り巻く現代的課題について考えます。

学修到達目標

「自然と産業」とは何かを理解するとともに、自然資源の循環と廃棄や資源活用のしくみについて考え、それらの意義について論じることが出来るようになることを目指します。

授業の進め方

各回の講義は新聞記事などの事例を用い、課題を図式化したり、映像を投影したりして、想像を膨らませながら進めます。各回、課題をワークシートに記入しディスカッションする等の作業を伴いながら、能動的に講義を展開します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業概要、学修到達目標、授業の進め方、評価の仕方、履修上の注意などを説明します。	シラバスの理解と授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
2	自然のしくみ1―水と大気	水と大気の循環（水資源、浄化作用）と、それに関する身近な地域課題を学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
3	自然のしくみ2―岩石	岩石の循環と地質（道路、開発）と、それに関する身近な地域課題を学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
4	自然のしくみ3―生態系	生物の循環と生態系（生態系サービス）、それに関する身近な地域課題を学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
5	自然と産業の基礎1―里地里山の定義	里地里山は、農林水産業などの人間の営みにより長い年月にわたって維持されてきた二次的自然地域です。里地里山に関する基礎的なことを学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
6	自然と産業の基礎2―里地里山と薪炭エネルギー	地域の自然資源の利用の歴史的変遷について学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
7	自然と産業の基礎3―里地里山と水辺	人間の暮らしのまわりの身近なところにある水辺・湿地環境について学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
8	自然と産業の展開1―自然と観光	地域の自然資源を活用した持続可能な観光などの新しい観光のあり方を探ります。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
9	自然と産業の展開2―人と自然の共生	「共生」の概念についての理解を深めるとともに、自然環境保全の視点から学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
10	自然と産業の展開3―グローバリゼーション	グローバリゼーションが生む産業が資源や環境、私たちの生活に与える影響について、環境問題の視点から学びます。	該当するテーマについて事前に調べ、授業の内容を振り返り、ノートにまとめる（4時間）
11	自然を活用する具体的な提案1―地方創生と持続可能性	地域づくりを進めるための自然資源の活力向上について考えるとともに、現状と課題を見つめます。	指定する参考書を読んでおき、授業を振り返りノートにまとめる（4時間）
12	自然を活用する具体的な提案2―生物多様性保全と農業	具体的な事例（野生生物の野生復帰と環境創造型農業等）をもとに、自然環境を考える農業の取組について学ぶとともに、現状と課題を見つめます。	指定する参考書を読んでおき、授業を振り返りノートにまとめる（4時間）
13	自然を活用する具体的な提案3―野生動物管理と産業	里地里山の衰退と急増する野生動物を踏まえて地域づくりにおける野生動物（管理）を考えるとともに、現状と課題を見つめます。	指定する参考書を読んでおき、授業を振り返りノートにまとめる（4時間）
14	自然を活用する具体的な提案4―自然災害と復興	自然災害からの復興の事例をもとに、自然環境保全と市民参加を通した地域産業の新たな構築を考えるとともに、現状と課題を見つめます。	指定する参考書を読んでおき、授業を振り返りノートにまとめる（4時間）
15	総括と補論	自然の開発と保護の観点から持続可能な成長を志向した新たな産業のあり方を探ります。	自分の意見を小レポートとしてまとめる（4時間）

テキスト

教科書は指定しません。

成績評価の方法・基準

受講態度：20%　課題：20%　定期試験：60%
S:授業内容を自主学習から深く探求した上で、実際の社会現象に対して課題と解決の視点を明確かつ現実的に述べることができる。A：授業内容を理解し、社会現象に対する課題抽出および解決の意見を明確に述べることができる。B：授業のおおよそを理解し、その課題と解決策を述べることができる。C:授業内容の6割を理解し、課題が何か述べることができる。

参考書

必要に応じて本講義中に参考となる学術論文、書籍を紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

1年生の皆さんにとって大学の講義は時間が長いうえ、内容も正解がひとつでなく複雑で深い学びとなります。身近な事例や時事問題を扱いますので、日頃より地理的理解を深め、普段からニュースを見ましょう。

科目名	カウンセリング理論と技法	学年学期	1年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL16041	研究室	W-19
担当者	矢崎　久	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日2限、火曜日3限、木曜日2限、木曜日3限		
関連資格	産業カウンセラー、高一(商業)、高一(情報)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

カウンセリングとはなにか、その基本姿勢、主要な理論と技法の概要を学びます。

学修到達目標

カウンセラーに求められる基本姿勢、カウンセリングと相談・アドバイス・コンサルテーションの違い、対象範囲、効果、主要な理論と技法、来談者中心療法の理論と方法、人間性心理学の概要を理解している。

授業の進め方

講義ごとに課す記述式の課題は次回の講義冒頭で回収します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	対人援助	カウンセリングとはなにか（相談・アドバイス・コンサルテーションとの違い）	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、課題レポート作成（2時間）
2	自己成長	カウンセリングとはなにか（指示的・非指示的、心理療法との違い）	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、課題レポート作成（2時間）
3	カウンセリングの原理	カウンセリングの原理（適用範囲、効果、限界、カウンセリングプロセス）	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、課題レポート作成（2時間）
4	傾聴の姿勢	傾聴する	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、課題レポート作成（2時間）
5	共感的理解	カウンセリングの基本姿勢（傾聴・共感的理解・ラポールの形成）	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、課題レポート作成（2時間）
6	人間性心理学とは	クライエントの尊重と来談者中心療法	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、課題レポート作成（2時間）
7	精神力動とは	精神分析理論によるカウンセリング	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、課題レポート作成（2時間）
8	パーソナリティとは	特性因子論によるカウンセリング	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、課題レポート作成（2時間）
9	学習理論と行動主義とは	学習理論と行動主義、学習・行動理論によるカウンセリング	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、レポート課題作成（2時間）
10	自己理論とは	自己理論、自己理論によるカウンセリング	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、レポート課題作成（2時間）
11	集団のちから	グループダイナミクス、グループカウンセリング	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、レポート課題作成（2時間）
12	家族システム	家族システム、家族カウンセリング	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、レポート課題作成（2時間）
13	技法を統合する	技法の統合、統合的カウンセリング	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、レポート課題作成（2時間）
14	人生と仕事	キャリアカウンセリング、産業カウンセリング	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、レポート課題作成（2時間）
15	クライエントの尊重と支援	カウンセリング理論と技法のまとめ	事前：テキスト講読(2時間)　事後：テキスト再読、まとめ（4時間）

テキスト

「カウンセリングの話」平木典子著（朝日新聞社）　ISBN:978-4-02-259844-8（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

課題：20%　小テスト：30%　定期試験：50%
課題レポート提出（14回）、小テスト（中間試験）および期末試験を総合して成績を判定します。出席しているだけでは単位取得はできません。
成績評価基準「S」:課題レポート提出、中間試験成績のすべてが95%以上
「A」:　〃　80%以上
「B」:　〃　70%以上
「C」:　〃　60%以上

参考書

「臨床心理学入門」岩壁茂・福島哲雄・伊藤絵美著（有斐閣）　ISBN：978-4-641-22003-4

履修上の注意（学生へのメッセージ）

課題を通して適性（カウンセリング心理学の学修姿勢および意欲）を問います。

科目名	情報倫理	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL16028	研究室	W-31
担当者	室谷　心	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(情報)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 情報倫理と法
◎			△	△	△	

授業概要

皆さんはネットワークに囲まれた情報化社会に暮らしています。この情報にあふれた社会で、便利にそして安全に暮らしていく方法を考えます。

学修到達目標

情報にあふれたネットワーク社会の利便性と危険性を理解し、安全かつ便利に暮らしていくことを考えられるようになる。

授業の進め方

”情報”の絡んだ現代的な話題をとりあげ、特徴と問題点を解説します。便利で安全な使い方を一緒に考えて行きましょう。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	イントロダクション	ガイダンス　情報倫理では何を問題とするか	身の回りのネット問題を拾い出す。(4時間)
2	スマホはコミュニケーションを変えたか	生活の中でのスマホの働きを改めて考えて見ましょう	生活の中での、スマホとSNSの役割を考える。(4時間)
3	SNS	ラインやツィッターについて考えてみよう	ラインやツリッターがなかった場合の生活を考える。(4時間)
4	ネット上の犯罪	これをやったら犯罪になる。皆さんはいくつわかるでしょうか？	ネットが絡んだ意外な犯罪の記事を探す。(4時間)
5	詐欺のしかけかた	オレオレ詐欺の手口を学びましょう	オレオレ詐欺の具体的手口を調べる。(4時間)
6	ネット情報は正しいか（1）	災害時のデマの例	災害時のデマの実例を調べる。(4時間)
7	ネット情報は正しいか（2）	健康をめぐる怪しい話	怪しい健康情報の具体例を調べる。(4時間)
8	ネット情報は正しいか（3）	ヘイトとネトウヨ	ネトウヨの具体例を調べる。（4時間）
9	ネット情報は正しいか（4）	ウィキペディアやブログを信じるか	怪しいブログを探す。（4時間）
10	著作権	コピペと論文作成作法	盗作事件の実例を調べる。（4時間）
11	プライバシー	インターネット社会における表現の自由とプライバシー	自分のプライバシーがネット上にないか調べてみる。（4時間）
12	ビッグデータ	インターネットとビッグデータの活用	ビッグデータを使っているデータ活用例を調べてみる。（4時間）
13	インターネットが悪いのか？	通信技術の歴史とインターネット	インターネットの歴史を調べてみる。（4時間）
14	インターネット社会の倫理	倫理的視点からのインターネット社会の諸問題	インターネット固有の倫理的な問題を考えてみる。（4時間）
15	まとめ	全体の講義のまとめ	第1回から第14回の講義までの復習（4時間）

テキスト

指定テキストはありません。適宜プリントや資料を配布します。
授業にあわせて，インターネットや図書館で調べてください.

成績評価の方法・基準

定期試験：90%　出席レポート：10%
S:情報社会における倫理に関する発展的な問題を考察できる。
A:情報社会における倫理に関する応用的な問題を考察できる。
B:情報社会における倫理に関する標準的な問題を考察できる。
C:情報社会における倫理に関する基礎的な問題を考察できる。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットという身近なメディアに、どのような可能性や危険性が伴うのかを意識しながら受講してください。

科目名	情報社会論	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL25010 TL25010	研究室	W-31
担当者	室谷　心	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(情報)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

スマホ、タブレット、インターネット、私たちの周りには便利な情報機器がたくさんあります。検索すれば必要な時に必要な情報が自由に得られる素晴らしい時代のように思えます。しかし、実際には、不確かで不必要な情報も一緒になって、あふれんばかりの大量の情報が私たちに襲いかかってきます。多種多様な情報システムが大量の情報を供給する現代社会を、よりよく生きていくために、“情報のあふれる現代社会”というものをしっかりと認識し、情報との正しい付き合い方を身につけましょう。

学修到達目標

現代社会の様々な局面を”情報”をキーワードにcriticalに考え、より深く理解しようとみずから行動できるようになる。

授業の進め方

講義型式で進めます。また授業理解度の確認のために、毎時間簡単な課題を提出してもらいます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	情報化された現代社会の概説と本授業全体のガイダンス。 毎時間のレポート提出方法の説明。	自分を取り巻く情報環境を再確認してみる。(4時間)
2	ユビキタスネットワーク社会	見守と監視---ユビキタスネットワーク社会。	見守と監視の視点からユビキタス社会の功罪を考える(4時間)
3	インターネット古代史	インフラストラクチャーの整備---インターネット古代史。	自分の家のネット化の歴史を調べる。(4時間)
4	暗号	プライバシーか治安維持か---ネットワーク社会における暗号の役割。	公開鍵暗号方式が解決した、暗号の2つの役割を考える(4時間)
5	認証の技術	ご本人ですか？---なりすましとオレオレ詐欺。	詐欺サイトの例を調べる。(4時間)
6	メメックス	メメックスは実現したのか---図書館 vs Wikipedia。	バネバー・ブッシュの理想と現在のネット社会を比較する。(4時間)
7	情報の保管	記録の保管---思い出はいつまでとっておけるか。	自分の家の一番古い記録は何か調べてみる。(4時間)
8	著作権	著作権と文化---青空文庫とgoogleブック。	TPPと著作権の問題を調べる。(4時間)
9	情報検索	検索がすべてを決める---ネット検索を信用するか。	自分の情報が、ネット上にどう記載されているか調べる。(4時間)
10	UD	バリアフリーとユニバーサルデザイン。	万人にやさしいデザインを考える。(4時間)
11	アクセシビリティー	ユビキタスに格差はないか。	情報の平等化の度合いを考える。(4時間)
12	ネット動画	Youtube、ニコニコ動画、ボーカロイド	ネット動画とテレビを比較する。(4時間)
13	クラウド環境	クラウドコンピューティング	気付かずに使っているクラウド環境を明示的に意識し、安全性と危険性をまとめる。(4時間)
14	BigData	ビッグデータの時代---あなたの好みは読まれています。	行動ターゲッティング広告の例を調べる。(4時間)
15	信じる	この話、あなたは信じますか？沢山の情報の中で、何を根拠にその話を信じるのだろうか？	死後の世界やオカルトについて、自分自身が信じているかどうか考える。(4時間)

テキスト

学内サーバ上に講義資料を置くので予復習の参考にしてください。

成績評価の方法・基準

出席レポート：20%　定期試験：80%
S:情報社会に関する発展的な問題を考察できる。
A:情報社会に関する応用的な問題を考察できる。
B:情報社会に関する標準的な問題を考察できる。
C:情報社会に関する基礎的な問題を考察できる。

参考書

新聞、雑誌、インターネット等全て

履修上の注意（学生へのメッセージ）

情報は探す時代から選ぶ時代になりました。ネットを使えば大量の情報が簡単に手に入ります。でも、それが役に立つ正しい情報だとは限りません。価値のある情報だけを取り出し利用していくのはユーザーの責任です。

0101- -86

科目名	プログラミング論	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL26032	研究室	W-32
担当者	小林　俊一	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日3限		
関連資格	高一(情報)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

小規模なプログラムを作成することで、実際にプログラミングができるようになることを目標にします。身の回りにある色々なものが、プログラムを使って動く時代になっています。この講義では、プログラムの基本的な事項について学びます。工業製品などの広い分野で、開発用に利用されているプログラミング言語のC言語を利用して、プログラミングについて学習を行います。プログラミングの基礎を、しっかりと身につけることを目標とします。また、代表的なアルゴリズムについても、学習を行います。

学修到達目標

サンプルプログラムを作成することで、実際に小さい規模のプログラムが作成できるようになることを目標とします。プログラムとは何か、プログラミングとは何かについて基礎から学び理解することを目標とします。これからの時代を生き抜くのに必要といわれているプログラミングの基礎知識を身につけることを目標とします。

授業の進め方

コンピュータを利用しながら、C言語のプログラムを自分で入力しながら学習を行います。プログラム作成に必要な基本的なことがらを中心に学習を進めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンスを行います。	ガイダンスを行います。プログラムとは何かを説明します。プログラミングについても学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
2	プログラムの基本を学習します。	プログラムの基本的なことを学習します。授業で利用するC言語についても解説します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
3	アルゴリズムの考え方について学習します。	アルゴリズムの考え方と、具体的な処理系の使い方を学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
4	コンパイラの使い方を学習します。	C言語コンパイラの使い方を学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
5	変数と型、式と演算について学習します。	変数と型、式と演算について学習します。実際に動く小さなサンプルプログラムをテキストエディタを使って入力して、プログラムを動かしてみます。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
6	条件分岐、繰り返しについて学習します。	条件分岐、繰り返しについて学習します。実際に動く小さなサンプルプログラムをテキストエディタを使って入力して、プログラムを動かしてみます。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
7	配列について学習します。	配列について学習します。サンプルプログラムの作成をしながら、体験的に学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
8	ループと配列を使ったプログラムを作成します。	ループと配列を使ったサンプルプログラムを入力して、動かしながら学習を行います。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
9	プログラム作法や書法について学習します。	プログラム作法や、プログラム書法について学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
10	データ構造とアルゴリズムについて学習します。	データ構造とアルゴリズムとは何かについて学習します。実際にサンプルプログラムを作成しながら学びます。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
11	ソートについて学習します。	ソートについて、サンプルプログラムを使いながら学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
12	お店で使えそうな簡単なプログラムを学習します。	お店で使えそうな簡単なプログラムを学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
13	条件処理を使った簡単なプログラムの作成します。	条件処理を使った簡単なプログラムの作成します。if文の使い方を学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
14	配列とループと条件処理を使ったプログラムを作成します。	配列とループと条件処理を使ったプログラムを作成します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
15	講義のまとめをします。	プログラミング論の講義のまとめを行います。	配布資料を復習して下さい。(4時間)

テキスト

プリントを配布します。必要に応じて、参考書やインターネットなどで補って下さい。

成績評価の方法・基準

課題：25%　定期試験：75%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「やさしいC　第5版」高橋麻奈著（ソフトバンククリエイティブ）
ISBN：978-4797392586
「新・明解C言語 入門編」柴田望洋著（ソフトバンククリエイティブ）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

人の書いたプログラムを読んで理解し、それをまねすることが大切です。まずは、自分で小さいプログラムを書いて動かして、試してみるのがプログラム上達の近道です。プログラムを書いて、試すことをお薦めします。

0101- -108

科目名	応用プログラミング論	学年学期	3・4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA36040	研究室	W-32
担当者	小林　俊一	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日3限		
関連資格	高一(情報)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			◎			

授業概要

プログラミングの基礎と応用を、楽しく学びます。自分でプログラムを入力しながら自然に知識が身につきます。パソコンやスマートフォンだけでなく、私たちの生活を快適にしてくれる便利な機械には、今ではプログラムが組み込まれていることが一般的になっています。自分が使っているアプリやソフトの中身がどうなっているかを知ることができます。この講義では、プログラミング言語としてC言語とC++言語を利用します。ソフトウェア開発の分業化や大規模化に対応できる素養を養います。

学修到達目標

簡単なプログラムを自分で楽しく作って、実行できるようになることを目的とします。プログラミングの基本的な作り方を学びます。オブジェクト指向の考え方の基本を学び、オブジェクト指向言語で書かれた簡単なプログラムを理解できることも目的とします。

授業の進め方

C言語とC++言語を使って、プログラムを作っていきます。サンプルプログラムを用いて講義を行い、パソコンを使いながらプログラムを作成します。プリントのサンプルプログラムの動作を自分で確認した後、発展的に練習課題を行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス、プログラム、プログラミングとは何かを解説します。	応用プログラミング論の講義で、どのような内容を学ぶのかについて解説します。プログラムとは何か、どのように使われているか、プログラミングとは何かについて解説します。	講義で配布した資料を復習してください。(4時間)
2	授業で利用するC言語、C++言語の基本的な使い方を解説します。	授業で利用するプログラミング言語のC言語、C++言語の基本的な使い方を解説します。なぜ、C言語、C++言語を使うのか、どのようなメリットがあるのかについても解説します。	講義で配布した資料を読み、C言語、C++言語の基本について復習して下さい。(4時間)
3	C言語、C++言語の変数、式と演算、制御構造について解説します。	C言語、C++言語の変数、式と演算、制御構造について解説します。実際にC言語、C++言語のサンプルプログラムをテキストエディタで入力して、変数とは何か、式と演算、基本的な制御構造を解説します。	講義で配布した資料を読み、変数、式と演算、制御構造を復習して下さい。(4時間)
4	C言語、C++言語の配列、関数について	C言語、C++言語の配列、関数について解説します。実際にC言語、C++言語のサンプルプログラムをテキストエディタで入力して、配列と関数に関して解説します。	講義で配布した資料を読み、配列、関数を復習して下さい。(4時間)
5	C言語、C++言語のデータ構造とアルゴリズムについて	C言語、C++言語のデータ構造とアルゴリズムについて解説します。実際にC言語、C++言語のサンプルプログラムをテキストエディタで入力して、データ構造とアルゴリズムに関して解説します。	講義で配布した資料を読み、データ構造とアルゴリズムを復習して下さい。(4時間)
6	サンプルプログラムの作成	5回目までに学習した内容を復習するために、簡単なサンプルプログラムの作成します。コンパイラの使い方、デバッグの仕方についても学びます。	課題として、簡単なプログラムの作成をして頂きます。(4時間)
7	構造体とポインタ、動的メモリー管理、リスト構造について	構造体とポインタ、動的メモリー管理に関して、解説します。また、その応用としてリスト構造についても解説します。	講義で配布した資料を読み、構造体とポインタを復習して下さい。(4時間)
8	構造体とポインタを使ったサンプルプログラムの作成	7回目の講義で学習した内容を理解するために、サンプルプログラムを提示して、実際にテキストエディタを使って入力し、コンパイラでコンパイルして動かしてみます。	講義で作成したサンプルプログラムについて復習して下さい。(4時間)
9	リスト構造を使ったサンプルプログラムの作成	リスト構造を理解するために、小さなサンプルプログラムを作成してみます。	講義で作成したサンプルプログラムについて復習して下さい。(4時間)
10	C++言語を使って、オブジェクト指向を説明します。	オブジェクト指向クラスの作り方と使い方を説明します。	講義で配布した資料を復習して下さい。(4時間)
11	クラスを利用したサンプルプログラムの作成をします。	オブジェクト指向クラスの使い方を理解するために、サンプルプログラムを入力して、コンパイルし動かしてみます。	講義で配布したプログラムを復習して下さい。(4時間)
12	C++言語のオブジェクト指向の機能を解説します。	C++言語のオブジェクト指向の機能であるコンストラクタ、オーバーローディング、メッセージ、ポリモルフィズムを解説します。	講義で配布した資料を復習して下さい。(4時間)
13	サンプルプログラムの作成を行います。	12回目の講義で学習した内容を理解するために、サンプルプログラムを提示して、実際にテキストエディタを使って入力し、コンパイラでコンパイルして動かしてみます。	講義で配布したプログラムを復習して下さい。(4時間)
14	プログラミングに関する書法、作法を学習します。	プログラミングに関する書法や作法について学習します。実際に、サンプルプログラムを入力して、プログラム作法の重要性について解説します。	講義で配布したプログラムを復習して下さい。(4時間)
15	講義のまとめを行います。	応用プログラミング論の講義で学習した内容をまとめます。まとめとしてのサンプルプログラムを入力し、理解を深める予定です。	講義で配布したプログラムを復習して下さい。(4時間)

テキスト

プリントを配布します。必要に応じて、各自参考書やインターネットなどで補って下さい。

成績評価の方法・基準

課題：25%　定期試験：75%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「新版 明解C++ 入門編」柴田 望洋著（ソフトバンククリエイティブ）
ISBN：978-4797394634

履修上の注意（学生へのメッセージ）

シンプルで分かりやすいサンプルプログラムを、多数使いながら学習を進めます。難しいと思わず、楽しみながらプログラムの作り方の基本を身につけて下さい。自分で色々と試す気持ちを忘れないようにしてください。

科目名	コンピュータ概論	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL26029	研究室	W-23
担当者	田中　正敏	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	高一(情報)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

インターネットが発達してきている現代においては、文字だけでなく、音声、画像もディジタル化されて、それらの情報がインターネット通じて世界中とやり取りされています。この授業では、情報の表現方法、コンピュータの仕組み（ハードウェアとソフトウェア）、データベース、ネットワークおよび通信のセキュリティなどの基本的なことを理解できるようになることを目指します。特に、計算問題から理解度を高めていきます。

学修到達目標

コンピュータ基礎理論および計算法

授業の進め方

授業は講義を中心に行う。できるだけプリントを配布します。理解度を深めるために、計算の演習問題を中心に解く。進捗度に応じて小テストを行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業の進め方、ねらい	計算法の習得とデータ・表記の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
2	データ・情報の表記	データ変換やP進数の計算方法	データ・情報の表記の習得と論理計算の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
3	論理計算	和、差、積、商など	論理計算の習得と論理式・集合演算の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
4	論理式と集合演算	利用方法	論理式と集合演算の習得とCPU性能の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
5	CPU性能(1)	MIPS値と平均命令実行時間の計算方法	MIPS値と平均命令実行時間の習得とクロック周波数の考え方の準備
6	CPU性能(2)	クロック周波数を用いた計算方法	クロック周波数の習得と実行メモリアクセスの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
7	実行メモリアクセス	実行メモリアクセス時間の計算方法	実行メモリアクセスの習得と磁気ディスクの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
8	磁気ディスク(1)	磁気ディスクの記憶容量の計算方法	磁気ディスクの記憶容量の習得とアクセス時間の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
9	磁気ディスク(2)	アクセス時間の計算方法	アクセス時間の習得とマルチプログラミングの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
10	マルチプログラミング	マルチプログラミングの処理時間の計算方法	マルチプログラミングの習得とコンピュータ処理時間の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
11	コンピュータ処理時間	レスポンスタイム、ターンアラウンドタイム	コンピュータ処理時間の習得と信頼性の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
12	信頼度計算と意味	MTBFとMTTRおよびシステム稼働率	信頼度計算と意味の習得と非同期方式の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
13	非同期方式の利用率	非同期方式の利用率の計算方法	非同期方式の利用率の習得と符号化の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
14	符号化	符号化の意味、使い方	符号化の習得と日程計画の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
15	日程計画	スケジューリング、PERT	日程計画の習得・まとめ（週に4時間必要）

テキスト

自作テキストを使用する。

成績評価の方法・基準

定期試験：60%　出席レポート：20%　受講態度：20%
S:講義中に対して積極的に質問をし，到達目標値それ以上の探求姿勢を持って意欲的に取り組み，各回の授業内容をすべて理解して正しく文章で表現することができる．A:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み，各回の授業内容を理解して正しく文章で表現することができる．B:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み，各回の授業で学んだことを概ね理解して正しく文章で表現することができる．C:到達目標値を理解，各回の授業で学んだことを理解できる．

参考書

授業中に連絡する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

コンピュータ計算は基本的には加減乗除ですので地道に計算してください。
ITパスポート試験に対応します。

科目名	情報システム論	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA26035	研究室	W-23
担当者	田中　正敏	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日4限		
関連資格	高一(情報)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			○		△	

授業概要

情報技術の進歩によって、社会がコンピュータとの依存度がますます高くなってきています。そのとき、コンピュータ同士の情報がどのようにネットワークで結ばれてるのでしょうか、また、効率よくデータを送るためには、データの構造がどのようにすれば良いのでしょうか。この講義では、ネットワークおよびデータベースについて習得させることを目的としています。

学修到達目標

データベースおよびネットワークの習得

授業の進め方

基本的には自作ノートを用いて講義を進めます。但し、講義方法も受講生に対して興味が生じるようにPowerPointやプロジェクタなども使用します。講義が受講生に対して一方通行にならないように行うことを考えています。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	講義の進め方・ねらい	情報システムの考え方の習得とネットワークの基本の準備・まとめ（週に4時間必要）
2	ネットワーク(1)	通信の基本（プロトコル・OSI参照モデル）	プロトコル・OSI参照モデルの習得と回線交換・蓄積交換の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要
3	ネットワーク(2)	通信の基本（回線交換・蓄積交換、コネクションとコネクションレス）	回線交換・蓄積交換の習得とIPアドレス，ホストアドレスの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要
4	ネットワーク(3)	通信とIPアドレス、ネットワークアドレスとホストアドレス	通信とIPアドレスの習得とサブネットマスの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
5	ネットワーク(4)	サブネットマスク、ARP、ブリッジ・ルータ・リピータ	サブネットマスク、ブリッジ、ルータ等の習得、UDP・TCPの考えの準備・まとめ（週に4時間必要）
6	ネットワーク(5)	コンピュータ内の通信、ポート番号、UDP・TCP	ポート、UDP・TCPの習得とルーティングの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
7	ネットワーク(6)	ルーティング、プロトコル、テーブル	ルーティングの習得とデータベースの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
8	データベース(1)	概念、定義と基本用語	概念、定義の習得とE-Rの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
9	データベース(2)	E-Rモデル	E-Rモデルの習得と正規化の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
10	データベース(3)	正規化の意味と作成方法	正規化の習得とSQLの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
11	データベース(4)	SQL[設計]	SQLの習得と更新・追加・削除の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
12	データベース(5)	SQL[更新・追加・削除]	更新・追加・削除の習得・まとめ（週に4時間必要）
13	ネットワーク(7)	ネットワークの演習問題と解説	ネットワークの演習問題の習得・まとめ（週に4時間必要）
14	データベース(6)	データベースの演習問題と解説	データベースの演習問題の習得・まとめ（週に4時間必要）
15	情報化社会	コンピュータの将来的な技術	コンピュータの将来的な技術の習得・まとめ（週に4時間必要）

テキスト

「ITパスポート合格教本（情報処理技術者試験）[単行本]（ソフトカバー）」岡崎裕史著（技術評論社）（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：60%　出席レポート：20%　受講態度：20%
S:講義中に対して積極的に質問をし，到達目標値それ以上の探求姿勢を持って意欲的に取り組み，各回の授業内容をすべて理解して正しく文章で表現することができる．A:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み，各回の授業内容を理解して正しく文章で表現することができる．B:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み，各回の授業で学んだことを概ね理解して正しく文章で表現することができる．C:到達目標値を理解，各回の授業で学んだことを理解できる．

参考書

講義中に連絡する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

この科目は「情報システム論」「コンピュータ概論」を合わせて履修してもらいたい。国家試験の「ITパスポート」の受験範囲をこの3科目で網羅しています。

科目名	ＣＡＤ演習	学年学期	3・4年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA36038	研究室	非常勤
担当者	松澤　みわ子	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(情報)			履修条件	(集中講義となります)				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			◎			

授業概要

建築、機械、土木、電気・電子、アパレルなど様々な分野で利用されているCAD（Computer Aided Design）は、簡略なイメージ図を作成するものではなく、尺度を設定して精密な図面を作成するためのアプリケーション・ソフトです。本講義ではCADソフトの特徴を理解するとともに、代表的なCADソフト「AutoCAD」を用いた図面作成の方法を学びます。

学修到達目標

CADソフトに備わる様々な基本機能を知り、適切な尺度で図面を描けるようになることが目標です。
小さな1つ1つの図面を何層にも積み重ねるレイヤー構造によって、最終的に複雑な図面ができあがるプロセスを体感してください。

授業の進め方

講義はすべてパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。
作図、画層（レイヤー）、寸法記入などCAD独特の機能を実際に操作しながら進めていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス	CADの概要やCADシステムの特徴の紹介、JISよる製図の基本要件などについて解説を行います。	授業時に配布するプリントを見ながら、次回までに復習を行っておくこと（1時間）
2	AutoCadによる作図法①	AutoCadの画面構成や画面表示の変更方法について操作しながら確認します。	授業時に配布するプリントを見ながら、次回までに復習を行っておくこと（1時間）
3	AutoCadによる作図法①（続き）	作図コマンドを使った基本オブジェクトの作成方法や、座標指定、ポリラインなどについて学びます。	授業時に配布するプリントを見ながら、次回までに復習を行っておくこと（1時間）
4	AutoCadによる作図法①（続き）	修正コマンンを使ったオブジェクトの削除・移動・複写、オフセット、フィレットなどについて学びます。	授業時に配布するプリントを見ながら、次回までに復習を行っておくこと（1時間）
5	AutoCadによる作図法②	CADソフトの特徴でもある画層（レイヤー）の作成、コントロール方法について学びます。	授業時に配布するプリントを見ながら、次回までに復習を行っておくこと（1時間）
6	AutoCadによる作図法②（続き）	図面に対する文字記入や寸法線の記入方法について学びます。	授業時に配布するプリントを見ながら、次回までに復習を行っておくこと（1時間）
7	AutoCadによる作図法②（続き）	新規図面作成の手順を確認し、図枠や尺度設定の方法を学びます。	授業時に配布するプリントを見ながら、次回までに復習を行っておくこと（1時間）
8	AutoCadによる作図②（続き）	家具の「椅子」を題材にここまで学んだ様々な機能を復習しながら、2次元図面を各自で完成させます。	この図面は中間課題のため、完成できない場合は時間外に作業を行うこと（2時間）
9	図面作成・コマンド演習	線分作成、絶対座標入力、相対座標入力など	スムーズな操作ができるよう第1回～第8回までの復習を行っておくこと（1時間）
10	図面作成・コマンド演習（続き）	円、円弧、楕円、オブジェクトスナップなど	スムーズな操作ができるよう第1回～第8回までの復習を行っておくこと（1時間）
11	図面作成・コマンド演習（続き）	スプライン、ポリゴン、文字記入、寸法記入など	スムーズな操作ができるよう第1回～第8回までの復習を行っておくこと（1時間）
12	図面作成・コマンド演習（続き）	ハッチング、複写、オフセット、配列複写、ミラー、フィレットなど	スムーズな操作ができるよう第1回～第8回までの復習を行っておくこと（1時間）
13	CAD課題制作演習	住宅の「平面図」を題材にここまで学んだ様々な機能を復習しながら、2次元図面を各自で完成させます。	この図面は最終課題のため、完成できない場合は時間外に作業を行うこと（1時間）
14	CAD課題制作演習（続き）	課題制作の続きの作業を行います。	この図面は最終課題のため、完成できない場合は時間外に作業を行うこと（1時間）
15	CAD利用のまとめと今後の展開について	各自が作成した図面の課題について考えます。また、今後のCAD利用の方向性についても学習します。	印刷結果を見ながら、課題抽出を行うこと（1時間）

テキスト

講義内で、プリントを配布します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：40%　課題：60%
A:課題図面が正確に作成でき、授業内容や操作方法を80%程度理解している
B:課題図面がほぼ正確に作成でき、授業内容や操作方法を70%程度理解している
C:課題図面が作成でき、授業内容や操作方法を60%程度理解している

参考書

「はじめて学ぶAutoCAD LT 作図・操作ガイド」鈴木孝子著（株式会社ソーテック社）　ISBN：978-4-88166-792-7

履修上の注意（学生へのメッセージ）

AtucoCadは現在、学生であれば無償で入手できるソフトです。操作に精通するには長い時間が必要となりますので、興味のある方はぜひダウンロードをお勧めします。

科目名	データベース論	学年学期	3・4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA36039	研究室	W-31
担当者	室谷　心	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(情報)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			◎			

授業概要

会社に入るときっと使う”リレーショナルデータベース”の基礎概念を理解し、アクセスの基本操作とSQLを使ったデータベース操作を自在にできるようになりましょう。アクセスを使った関係データベース取り扱いの具体例から始め、関係データベースの基本的な操作に慣れた後にSQL命令とリレーショナルデータベースの基礎概念についての講義を行います。データベースの構築、更新、運用、管理に必要な知識と技術を身に付けましょう。

学修到達目標

マイクロソフトのアクセスを使って、一連のデータベースマネージメント作業ができるようになる

授業の進め方

現場の例題を多く扱いながら講義を進めていく。さらにパソコンを使っての具体的な演習も適宜行う。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	データベースの概要と本授業の進め方について。アクセスの使い方。	アクセスの例題。(4時間)
2	データベースって何	データベースとDMSの概要。	身近なデータベースの例を考える。(4時間)
3	アクセス入門1	代表的なデータベースマネージメントシステム（DMS）であるマイクロソフト社のアクセスを使った表の関連付けと抽出。	授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)
4	アクセス入門2	代表的なデータベースマネージメントシステム（DMS）であるマイクロソフト社のアクセスを使った表の関連付けとレポートの作成。	授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)
5	SQL1	SQL の基本文法と、SQLを使ったクエリーの作成法。	授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)
6	SQL2	表の定義とビュー定義。	授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)
7	SQL3	Where 句で条件を付ける。	授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)
8	SQL4	複数の表からデータを取り出す。	授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)
9	SQL5	集約関数とGroup by、Order by。	授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)
10	SQL6	副問い合わせ。	授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)
11	SQL7	データの更新、挿入、削除。	授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)
12	データの正規化	関係演算と正規化について学び、データを第三正規型に分解にできるようになりましょう。	授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)
13	正規化の実際	アクセスを使った正規化演習。	授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)
14	データベースのスキーマ	データベースの3スキーマを学びます。	授業の例題を復習し、演習問題を自分でやってみる。(4時間)
15	まとめ	総合演習とまとめ。	授業全体を復習し試験に備える。(4時間)

テキスト

特にありません。
必要に応じてプリントを配布するので適宜各人で補ってください。
学内サーバ上に講義資料を置くので、予復習に利用してください。

成績評価の方法・基準

レポート：20%　定期試験：80%
S:データベースに関する発展的な問題を考察できる。
A:データベースに関する応用的な問題を考察できる。
B:データベースに関する標準的な問題を考察できる。
C:データベースに関する基礎的な問題を考察できる。

参考書

「やさしく学ぶデータベース」高橋麻奈著（翔泳社）
「60時間でエクスパートAccess」（実教出版）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

データベースは会社に入るときっと使います。
松本大学は、学生なら誰でも自分のパソコンにアクセスをインストールできるライセンスを持っています。自分のパソコンでも練習しましょう。

科目名	情報ネットワーク論	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL36037	研究室	W-32
担当者	小林　俊一	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日3限		
関連資格	高一(情報)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

絵・図・写真・動画などを使いながら、楽しくわかりやすくインターネットの仕組みや技術を学びます。スマホ・タブレット・パソコンなどで、毎日ネットを使いこなしていても、その中身がどうなっているのかは、わからないことだらけです。もちろん、仕組みがわからなくても使えますが、仕組みを知ることで、もっとうまい使い方、楽しい使い方、効率的な使い方などができるようになります。現代人にネットは不可欠です。ネットをより深く知ることは、今後の生活をより豊かにしてくれるはずです。

学修到達目標

インターネットなどのネットワークの基本を、理解することを目標とします。YouTubeなどの動画の仕組み、メールが届く仕組み、SNSの仕組み、ネットショップの仕組みなど、ネットワークに関係する様々な身の回りにある便利な技術を理解することも目標とします。ネットに関するコンピュータ技術についても理解することを目標としています。

授業の進め方

基本的には、教科書を用いて授業を進めます。教科書のみではなく、毎回プリントも配布して使用します。情報ネットワーク技術の理解を深めるためコンピュータ教室を利用します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンスを行います。	情報ネットワーク論のガイダンスを行います。ネットワークの学習とは何かについて解説します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
2	ネットワークの基礎知識を学習します。	プロトコルとは何かについて学習します。LANとインターネットについても学習します。さらに、サーバとネットワークサービスについても学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
3	インターネットに接続するにはどうするかを学習します。	インターネットに接続するには、どうすればいいのかを学習します。回線業者とISPの役割についても学習します。さらに、ADSLの仕組み、FTTHの仕組み、インターネットの歴史についても学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
4	TCP/IPについて学習します。	ネットワークアーキテクチャとOSI参照モデルについて学習します。回線交換方式と、パケット交換方式についても学習します。さらに、TCP/IPのプロトコルについても学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
5	TCP/IPでコンピュータや機器を認識する仕組みを学習します。	TCP/IPの各レイヤについて学習します。ポート番号についても学習します。さらに、IPアドレス、グローバルIP、プライベートIPについても学習します。IPアドレスのクラスについても学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
6	LANで使われる技術について学習します。	ネットワークトポロジとは何かについて学習します。LANとWANについても学習します。ゲートウェイとは何かについて学習します。ルータとルーティングについても学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
7	LANで使われるネットワークサービスについて学習します。	ファイル共有、プリンタ共有、グループウェアについて学習します。DHCPサービス、ディレクトリサービス、NATについて学習します。VPN、無線LANの仕組みを学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
8	ネットワークサービスの仕組みについて学習します。	ウェブサービスの仕組みを学習します。メールを届けるSMTPや、メールを受け取るためのPOPサービスについても学習します。ファイル転送サービスFTPについても学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
9	ネットワークサービスについて学習します。	時刻を合わせるための仕組みのNTPサービスを学習します。ウェブの仕組みとウェブアプリケーションについて学習します。また、ウェブページを自動生成するためのCMSについても学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
10	ネットワークで使われるサービスについて学習します。	検索サイトの仕組みを学習します。動画配信サービスについても学習します。さらに、ブログの仕組みを学習します。クラウドコンピューティングについても学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
11	ネットワークセキュリティについて学習します。	ネットワークセキュリティについて学習します。ファイアウォールについて学習します。DMSについても学習します。ウイルスとウイルス対策システムについても学習します。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
12	ネットワークを守るための技術を学習します。	コンテンツフィルタリングについて学習します。ユーザの情報漏洩を防ぐための方法についても学習します。さらにSSLについても学習を行います。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
13	ネットワークの構築と管理について学習します。	ルーティングについて具体例を示しながら、学習を行います。ネットワーク構築に必要な機器についても学習を行います。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
14	ネットワーク用のサーバや機器、ケーブルなどについて学習を行います。	実際にネットワークを作成する場合に必要になるサーバや、機器、ケーブルなどについての学習を行います。	配布資料を復習して下さい。(4時間)
15	講義全体のまとめを行います。	講義全体のまとめを行います。	配布資料を復習して下さい。(4時間)

テキスト

「図解 ネットワーク 仕事で使える基本の知識」増田若奈著（技術評論社）
ISBN:978-4774138800（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

課題：20%　定期試験：80%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

講義の中で、適宜指示します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

情報ネットワーク技術は抽象的でわかりにくい点がありますが、図や絵を使って理解できるようにします。将来システムエンジニアなどを目指す学生にも、役に立つような内容も盛り込みます。

科目名	ホームページ実践	学年学期	2年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL26036 TL26006	研究室	W-18
担当者	林　昌孝・松澤　みわ子	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日2限		
関連資格	高一(情報)			履修条件	ホームページ作成受講者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	△	○	△	△	△	

授業概要

ホームページは情報の取得と発信の強力なツールであり、高度情報社会における重要な情報メディアといえます。本講義ではホームページ作成における上級レベルの技術を習得することを目的とします。ホームページの基礎知識の確認をおこない、スタイルシート、フォーム、イメージマップ等の活用について習得し、ホームページ作成のスキルアップを目指します。

学修到達目標

情報処理検定協会ホームページ作成検定試験の1級に合格できる。

授業の進め方

コンピュータ教室での実習を中心にすすめます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	講義概要とクラス分け	講義全体の概要、目標の確認、成績評価の方法、注意事項について説明します。また、クラス分けを行います。	シラバスを読んで質問等をまとめてきてください。資料を配布します(1時間)。
2	ホームページビルダーの基本操作3級レベル	ホームページビルダーの基本操作のうち3級レベルの確認を行います。	配布資料の初期設定、事前準備を読んできてください(1時間)。
3	ホームページビルダーの基本操作2級レベル	ホームページビルダーの基本操作2級レベル	配布資料（HTMLの基礎等）を読んできてください(1時間)。
4	スタイルシート	スタイルシートについて説明してリンク等を確認します。	スタイルシートとリンクについて読んできてください(1時間)。
5	ID・クラス	ID・クラスの設定について説明します。	ID・クラスの設定について読んできてください(1時間)。
6	ページタイトル	ページタイトルの設定方法について説明します。	ページタイトルの設定方法について読んできてください。復習問題があります(1時間)。
7	イメージマップ	イメージマップの設定と編集方法について説明します。	イメージマップの設定方法について読んできてください。復習問題があります(1時間)。
8	フォーム	フォーム・入力部品の挿入について説明します。	いろいろな入力部品について読んできてください(1時間)。
9	外部ファイルの挿入	外部ファイルの挿入（JavaScriptほか）について説明します。	JavaScriptについて読んできてください。復習問題があります(1時間)。
10	スタイルシート設定問題	検定試験1級模擬問題からスタイルシートの設定とリンクについて演習します。	検定試験1級模擬問題（スタイルシート）を読んできてください(1時間)。
11	スタイルシートのプロパティ編集	検定試験1級模擬問題からスタイルシートのプロパティ編集問題の演習を行います。	検定試験1級模擬問題（スタイルシートのプロパティ）を読んできてください(1時間)。
12	検定試験1級模擬問題演習（イメージマップほか）	検定試験1級模擬問題演習（イメージマップほか）を行います。	指定した検定試験1級模擬問題を読んできてください(1時間)。
13	検定試験1級模擬問題演習（フォーム・JavaScriptの挿入ほか）	検定試験1級模擬問題演習（フォーム・JavaScriptの挿入ほか）を行います。	指定した検定試験1級模擬問題を読んできてください(1時間)。
14	検定試験1級過去問題ポイント解説	検定試験1級模擬問題演習（過去問題のポイント解説）	指定した検定試験1級模擬問題を読んできてください(1時間)。
15	まとめと検定試験1級模擬問題演習	まとめと検定試験1級模擬問題演習を行います。	指定した検定試験1級模擬問題を読んできてください(1時間)。

テキスト

「ホームページ作成検定試験模擬問題集1級」（日本情報処理検定協会）（生協で購入してください。）　ISBN指定なし
適時、プリント資料を配布します。

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　出席レポート：20%
S：授業内容を高度に理解して発展的な問題や課題が解ける。A：授業内容を理解して応用問題や課題が解ける。B：授業内容をおおよそ理解して応用問題や課題がほぼ解ける。C：授業内容の6割程度を理解している。

参考書

適時紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

ホームページ作成検定試験合格が目標です。

科目名	マルチメディア論	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL26031	研究室	W-31
担当者	室谷　心	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(情報)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

コンピュータは絵や音、動画など多彩な形式のデータのプレイヤーであり、マルチメディアデータを使ったコミュニケーションツールです。この授業では、人間同士のコミュニケーションの媒体であるマルチメディアデータの基礎知識を学びます。
情報の受け手である人間のセンサー性能や分析能力を意識しながら、パソコンで絵や音楽、動画データなどマルチメディアデータを扱う代表的なアプリケーションを体験し、基本的な知識と技能を身につけましょう。

学修到達目標

マルチメディアデータを使ったコミュニケーションの特徴を理解する。

授業の進め方

パソコンでの具体的なデータの扱いを実演しながら講義を進めます。皆さんも実際にパソコン上のアプリケーションを使いながら、いろいろな種類のマルチメディアデータの取り扱いに慣れていってください。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	情報とは	ガイダンス：コミュニケーションと人間の五感の限界。	人間の五感とそれを使ったコミュニーケーションを復習する。(4時間)
2	情報量	情報の量を測る、数える。	ビットやバイトの計算練習。(4時間)
3	光と色	色度図と光の三原色の関係、人間の限界。	三原色の関係を作図する。(4時間)
4	画像のデジタル化	画像データの基本、標本化と量子化。	画像データのファイルサイズの計算練習。(4時間)
5	ドロー系とペイント系	いろいろなデータ形式、ドロー系とペイント系の違いとデジタル画像データの一般論。	画像データの違いをまとめる。(4時間)
6	jpeg vs gif	jpeg vs gif と Animation GIF の作成。	GIF animation を作る。(4時間)
7	音	音とは、その正体と人間の限界について。振動と波動について理解する。	うなりや木霊の実例を探す。(4時間)
8	サウンドデータ	パソコンでの音データの取り扱いとサウンドエディターでの実際。	お気に入りの曲のサビの部分を取り出す。(4時間)
9	MIDI	MIDIデータ入門。MIDIは音ではなく演奏である。	MIDIのデータを作ってみる。(4時間)
10	Vocaloidの歌声	Vocaloid 初音ミクを例に、MIDIの新しい流れを考える。	お気に入りのVocaloidを探す。(4時間)
11	データ圧縮	データ圧縮の基本を理解する。	データ圧縮と展開の練習。(4時間)
12	動画データ	動画データ入門。	動画の編集練習。(4時間)
13	5感の残り	触覚の利用、嗅覚、味覚は？	触覚や味覚、嗅覚を使ったコミュニケーションを考える。(4時間)
14	情報弱者	情報弱者とデジタルデバイド。	身の回りのデジタルデバイドの例を見つける。(4時間)
15	まとめ	情報理論はコミュニケーションである。	授業全体を見直し試験に備える。(4時間)

テキスト

なし。
シラバスや講義の予告を参考に各自図書館やインターネットで補いながら予習し、講義内容をよく復習すること。
学内LAN上に置いてある講義資料を参考にすること。

成績評価の方法・基準

課題：20%　定期試験：80%
S:マルチメディアコミュニケーションに関する発展的な問題を考察できる
A:マルチメディアコミュニケーションに関する応用的な問題を考察できる
B:マルチメディアコミュニケーションに関する標準的な問題を考察できる
C:マルチメディアコミュニケーションに関する基礎的な問題を考察できる

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

実演を交えながらの講義です。手書きノートのみ持ち込み可の試験を行います。教室の前の方に座り、しっかりノートを取ってください.

科目名	マルチメディア活用論	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA26034	研究室	W-31
担当者	室谷　心	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	高一(情報)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			○	△		

授業概要

マルチメディアデータを作成して、情報発信できるようになる。
マルチメディア論で学んだ知識を生かし、実際にマルチメディアデータの作成を行う。音楽入りの動画をつくり、マウスによる切り替え動作などの技術を駆使し、表現豊かな動画を作りましょう。

学修到達目標

自分で考えたシナリオに従って、音が出てユーザーのボタンに反応するような動画を作成できる。

授業の進め方

個別の表現技法や、効果についての講義を行い、さらに具体的な応用演習を行う。
Action Script もしくは JavaScript を使ってユーザーの動作に反応する動画を作ります。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	本授業のガイダンスとマルチメディア論の復習。	マルチメディア論の復習。(4時間)
2	静止画	動画のキーフレームと静止画の扱い方について。	静止画と動画の関係を復習する。(4時間)
3	写真とカメラ	写真表現とカメラの技法について。絞り、スピード、チルドについて。	本城直季氏のミニチュア風写真の技法を確認する。(4時間)
4	キーフレーム	動画の作成1：キーフレームに使う原画の作成。	動画作成のためのキーフレームの使い方を復習。(4時間)
5	トィーン	動画の作成2：キーフレーム画像間を自動でつなぐトィーンのコントロールを学ぶ。	ぱらぱら漫画を作ってみる。(4時間)
6	タイムライン	スクリプトを使った，タイムラインの複雑なコントロールを学ぶ。	練習問題でスクリプトに慣れる。(4時間)
7	ボタン	ボタンを使ったタイムラインのコントロール技法を学ぶ。	ボタンコントルールの練習。(4時間)
8	地球防衛	乱数の効果的な使い方と接触判定。	インベーダーゲームの作成。(4時間)
9	迷路	迷路の自動生成とそれを解くネズミをスクリプトで記述する。	迷路の自動生成。(4時間)
10	錯覚	認知と錯視の問題。	錯視図を書いてみる。(4時間)
11	ヴォーカロイド	声と音の効果：ヴォーカロイドと読み上げソフト。	読み上げソフトを使ってみる。(4時間)
12	ストーリー	物語、ストーリー、シナリオ、夢中にさせるゲームのための物語。	自分のゲームのシナリオを作ってみる。(4時間)
13	スクリプトコントロール	スクリプトコントロールの色々な技法を練習する。	スクリプトコントロールを使ってみる。(4時間)
14	インターネットの制約	動画をインターネット上に公開するにあたっての色々な制約を議論する。	ネット動画の実際を調べる。(4時間)
15	まとめ	自分で考えたシナリオに従って、音が出て、ユーザーのボタンに反応する動画を作成提出する。	他の人の作ったゲームを試してみる。(4時間)

テキスト

プリントを配布します.
授業で使うスライドを，学内サーバー上においておきます.

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　課題：20%
S:マルチメディアデータの扱いに関する発展的な問題を考察できる。
A:マルチメディアデータの扱いに関する応用的な問題を考察できる。
B:マルチメディアデータの扱いに関する標準的な問題を考察できる。
C:マルチメディアデータの扱いに関する基礎的な問題を考察できる。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

色々な形式のデータを使った自由な表現法を身に着け、クリエイティブな”作者”になりましょう。

科目名	情報とビジネス	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL26030	研究室	W-23
担当者	田中　正敏	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	高一(情報)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

21世紀を迎え、IT（Information Technology:情報技術）は企業のみならず、社会全般にますます大きな影響を及ぼしつつあります。ここ数年、インターネットに代表されるITの発展とその活用は、さまざまな局面において変化の速さを演出しています。これに対応するためには、まず、ITの知識や動向を把握し、さらに、それがビジネスでどのように生かされ、人間社会にどのような影響を与えるのか検討していくことを教授します。

学修到達目標

社会におけるコンピュータの位置付けの習得

授業の進め方

基本的には教科書を用いて講義を進めます。但し、講義方法も受講生に対して興味が生じるようにPowerPointやプロジェクタなども使用します。講義が受講生に対して一方通行にならないように行うことを考えています。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業ののねらい・進め方（情報化社会とその特徴）	情報処理の考え方の習得と企業活動の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
2	企業活動	財務諸表、損益分岐点、作業計画、パレート図、業務フロー	企業活動の習得と法務の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
3	法務	知的財産権、個人情報保護法、労働基準法、企業の規範など	法務の習得と経営戦略マネジメントの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
4	経営戦略マネジメント	SWOT分析、PPM、顧客満足度、CRM、SCMなど	経営戦略マネジメントの習得と技術戦略マネジメントの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
5	技術戦略マネジメント	技術開発戦略の意義、目的など	技術開発戦略の習得とビジネスインダストリーの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
6	ビジネスインダストリー	電子商取引、POSシステム、情報家電や組込みシステムの特徴・動向	ビジネスインダストリーの習得とシステム戦略の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
7	システム戦略	意義と目的および目標、作業改善、問題解決の考え方	システム戦略の習得とシステム企画の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
8	システム企画	業務条件定義、見積書、RFP、提案書の流れ	システム企画の習得とシステム開発技術の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
9	システム開発技術	要求定義、設計、レビュー、開発、テストおよび保守	システム企画の習得とソフトウェア開発管理技術の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
10	ソフトウェア開発管理技術	ウォータフォールモデル、スパイラルモデルなど	ソフトウェア開発管理技術の習得とソフトウェアマネジメントの考え方の準備・まとめ（週に4時間
11	プロジェクトマネジメント	意義、目的、考え方、プロセス、手法	プロジェクトマネジメントの習得とサービスマネジメントの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要
12	サービスマネジメント	ITSMの意義、目的、考え方	サービスマネジメントの習得とシステム監査の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
13	システム監査	内部統制、ITガバナンスの意義、目的、考え方	システム監査の習得とコンピュータ構成要素の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
14	コンピュータ構成要素	構成、記憶媒体の種類と特徴、入出力インターフェースの種類と特徴	コンピュータ構成要素の習得とマルチメディアの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
15	マルチメディア	JPEG、MPEG、MP3など、符号化の特徴、情報の圧縮と伸長、メディアの特徴	マルチメディアの習得・まとめ（週に4時間必要）

テキスト

「ITパスポート合格教本 CBT対応（情報処理技術者試験）［単行本］（ソフトカバー）」岡崎裕史著（技術評論社）（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：60%　出席レポート：20%　受講態度：20%
S:講義中に対して積極的に質問をし，到達目標値それ以上の探求姿勢を持って意欲的に取り組み，各回の授業内容をすべて理解して正しく文章で表現することができる．A:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み，各回の授業内容を理解して正しく文章で表現することができる．B:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み，各回の授業で学んだことを概ね理解して正しく文章で表現することができる．C:到達目標値を理解，各回の授業で学んだことを理解できる．

参考書

講義中に連絡する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

この科目は「情報システム論」「コンピュータ概論」を合わせて履修してもらいたい。国家試験の「ITパスポート」の受験範囲をこの3科目で網羅しています。

科目名	ITビジネス論	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA36023	研究室	W-32
担当者	小林　俊一	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日3限		
関連資格	高一(情報)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			◎			

授業概要

ITビジネスの発展は、非常にめざましいものがあります。「インターネットで買えないものはない」「インターネットで出来ないことはない」と言われるようになってきています。ITビジネスで利用されているサービスや、技術について学習することを目的とします。アフィリエイト、ドロップシッピングなど、現状で誰でも手軽にできるITビジネスについても学習します。また、ITビジネスに不可欠な独自ドメインの取得やレンタルサーバーの利用、キーワード連動型広告、SEO対策などについても学習を行います。

学修到達目標

ITビジネスを理解することが目標です。ITビジネスのサービスや技術を理解することが目標となります。また、ドロップシッピングを使った簡単なネットショップを作成できるようになることも目標としています。

授業の進め方

ITビジネスを、コンピュータとインターネットを使いながら学習します。ITビジネスを体験的に理解するために、コンピュータ教室を利用して授業を行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンスを行います。	ITビジネス論の授業内容について説明します。電子商取引とは何か、電子マネーに関しても説明します。	電子商取引、電子マネーを復習します。(4時間)
2	eマーケットプレイス、インターネット調達など	eマーケットプレイス、インターネット調達、インターネットマーケティングなどについて解説します。	配付資料を復習して下さい。(4時間)
3	ネット広告に関する学習	インターネット広告、Yahooリスティング広告、googleアドワーズ広告、google AdSenseなどについて学習します。	ネット広告について、復習します。(4時間)
4	ネットショップについて説明します。	ネットショップとドロップシッピングについて説明します。	ネットショップについて、復習します。(4時間)
5	ネットショップを作成してみます。	ドロップシッピングを使って、簡単なネットショップを作成してみます。	ネットショップについて、復習します。(4時間)
6	レンタルサーバについて	レンタルサーバについて説明します。無料レンタルサーバを借りて、前に作成した自分のお店をサーバにアップロードしてテストしてみます。	レンタルサーバについて復習します。(4時間)
7	ネットショップと独自ドメインについて説明します。	ネットショップと独自ドメインについて説明します。独自ドメインの取得の仕方について、体験的に学習します。	独自ドメインについて、復習します。(4時間)
8	セカンドライフ、アフィリエイトとブログなどについて	セカンドライフ、アフィリエイトとブログなどについて説明します。セカンドライフのビデオを見ます。アフィリエイトについて、体験的に学習します。	アフィリエイトについて復習します。(4時間)
9	アクセス解析、SEO対策について	Webアクセス解析とは何かについて説明します。また、SEO対策について説明します。googleについてのSEOに関するビデオを見ます。	アクセス解析、SEO対策について、復習します。(4時間)
10	インターネットショップで成功している会社	amazon、楽天、Yahooショッピングなどについて、説明します。 amazonについてのビデオを見ます。	配布資料を復習します。(4時間)
11	トレーサビリティ、RFID、FMSについて	トレーサビリティ、RFID、FMSについて説明します。	配布資料を復習します。(4時間)
12	クリック・アンド・モルタル、POSシステム、FSPなどについて	クリック・アンド・モルタル、POSシステム、FSPなどについて説明します。	配布資料を復習します。(4時間)
13	データマイニングなどについて	データマイニングと、ネットビジネスについて説明します。	配布資料を復習します。(4時間)
14	クラウドコンピューティング、EDIなどについて	クラウドコンピューティング、システムインテグレーション、EDIなどについて、説明します。	配布資料を復習します。(4時間)
15	講義のまとめ	ITビジネス論の授業のまとめを行います。	配布資料を復習します。(4時間)

テキスト

プリントを配布します。

成績評価の方法・基準

課題：30%　定期試験：70%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「ITビジネスの原理」尾原 和啓著（NHK出版）　ISBN：4140816244

履修上の注意（学生へのメッセージ）

企業にとって、ITビジネスは重要になってきています。ITビジネスを理解しておくことは必要だと思います。授業以外でも、どのようなITビジネスがあるのかを自分なりに調べてみて、理解を深めるように努めてください。

0101- -32

科目名	ビジネスシミュレーション	学年学期	3・4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KA36027	研究室	W-23
担当者	田中　正敏	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日4限		
関連資格	高一(情報)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			◎			

授業概要

マネジメントゲーム（MG）というビジネスシミュレーションゲームを習得することで、戦略的意思決定能力、データ分析能力、レポート作成能力を養うことを目的としています。このマネジメントゲーム（MG）では、製造業における戦略的意思決定能力（交渉、駆け引きなど）を育てます。実習を行うために、まず、準備段階として、人事管理、組織・戦略、オペレーションズ、マーケティング、ファイナンス・会計、意思決定の各々の演習を机上で行います。

学修到達目標

意思決定の習得（代替案と意思決定）

授業の進め方

シミュレーション実験を行う前に、机上での演習の講義を7、8回行います。その後、マネジメントゲーム（MG）を行います。最後に、シミュレーション実験・演習後のレポート作成を行う指導をします。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	ビジネスシミュレーションのねらい・進め方	シミュレーションの習得とMGゲームの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
2	ビジネスシミュレーションの構成、評価	マネジメントゲームの説明	MGゲームの習得と意思決定の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
3	人事管理	アンケート調査の演習問題およびその解決方法	アンケート調査法の習得とグループマッピングの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
4	組織・戦略	戦略グループ・マップの演習問題およびその解決方法	グループマッピングの習得とTOCの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
5	オペレーションズ(1)	TOCの演習問題およびその解決方法	TOCの習得とMRPの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
6	オペレーションズ(2)	MRPの演習問題およびその解決方法	MRPの習得と利益拡大の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
7	マーケティング	利益拡大の演習問題およびその解決方法	利益拡大の習得と設備投資の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
8	会計	設備更新の演習問題およびその解決方法	設備投資の習得と投資の可否の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
9	ファイナンス	投資の可否の演習問題およびその解決方法	投資の可否の習得と確率論的な意思決定の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
10	意思決定(1)	テーマパークの天候の演習問題およびその解決方法	確率論的な意思決定の習得と決定論的な意思決定の考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
11	意思決定(2)	医療機器の販売計画の演習問題およびその解決方法	決定論的な意思決定の習得とMGの考え方の準備・まとめ（週に4時間必要）
12	マネジメントゲーム(1)	経営シミュレーションの実習（1-2期のデータの取得）	MGの習得とデータ収集法の考え方・まとめ（週に4時間必要）
13	マネジメントゲーム(2)	経営シミュレーションの実習（3-4期のデータの取得）	MGの習得とデータ収集法の考え方・まとめ（週に4時間必要）
14	マネジメントゲーム(3)	経営シミュレーションの実習（5-6期のデータの取得）	MGの習得とデータ収集法の考え方・まとめ（週に4時間必要）
15	レポート作成	損益分岐点の求め方、それに基づいての意思決定	レポートのまとめ方の習得（週に4時間以上必要）

テキスト

「データから読み解く経営学」田中正敏著（創成社）　ISBN:978-4-7944-2442-6（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：60%　出席レポート：20%　受講態度：20%
S:講義中に対して積極的に質問をし，到達目標値それ以上の探求姿勢を持って意欲的に取り組み，各回の授業内容をすべて理解して正しく文章で表現することができる．A:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み，各回の授業内容を理解して正しく文章で表現することができる．B:到達目標値の探求姿勢を持って意欲的に取り組み，各回の授業で学んだことを概ね理解して正しく文章で表現することができる．C:到達目標値を理解，各回の授業で学んだことを理解できる．

参考書

講義中に連絡する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

ものごとを論理的思考で考えてもらいたい。この科目は経営学の総合的な科目であるので、できるだけ経営全般の基礎および応用の科目を修得しておくことが望ましい。

0101- -59

科目名	ＣＧの基礎	学年学期	2年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	KL26033	研究室	非常勤
担当者	松澤　みわ子・永田　綾子	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(情報)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

近年、情報媒体を用いて企業等は様々な戦略を展開しており、Webなどにその工夫が凝らされています。この講義では、そうした経営戦略上欠かせなくっている情報伝達手段のひとつであるCGの活用方法を学びます。前半はPhotoshop Elementsを用いて2元画像の合成や補正などの基本技法を学び、次にShadeを用いた3次元CGのモデリング（形状作成）について学んでいきます。

学修到達目標

2次元CGソフトの「Photoshop Elements」を使ったコンテンツ制作、および、3次元CGソフトの「Shade」を用いた3D画像の生成の両方ができるようになることを目指します。

授業の進め方

本講義はコンピュータ教室での実習となります。毎回、新しい機能を紹介し、サンプルファイルを用いた操作方法の演習を行います。その後に、それらを組み合わせた総合的な課題に取り組んでもらい、オリジナルの作品を完成させてもらいます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス	授業の進め方、評価方法について CG画像の種類、CGソフトの特徴について	シラバスの内容を確認し、講義全体の流れを理解すること（1時間）
2	PhotoshopElements① フォトレタッチ	PhotoshopElementsの基本操作、およびデジタル写真の画質調整や修正に関する演習を行います。	実習内容に関する応用課題が出ます。指示通り加工し期日までに提出すること（1時間）
3	PhotoshopElements② 画像の合成、フィルター	デジタル写真のトリミングや合成方法に関する演習を行います。また、写真にさまざまな特殊効果を設定する方法を紹介します。	実習内容に関する応用課題が出ます。指示通り加工し期日までに提出すること（1時間）
4	PhotoshopElements③ 描画ツール	PhotoshopElementsの豊富な描画ツール（ブラシ、グラデーション、シェイプ）などに関する演習を行います。	実習内容に関する応用課題が出ます。指示通り加工し期日までに提出すること（1時間）
5	PhotoshopElements④ 文字、GIFアニメーション	画像と文字を組み合わせたり、マスク処理について紹介します。また、Web用コンテンツとして利用可能なGIFアニメーションに関する演習を行います。	実習内容に関する応用課題が出ます。指示通り加工し期日までに提出すること（1時間）
6	PhotoshopElements⑤ アートワーク実践演習	これまで学んだ様々な機能を駆使して本格的な2次元CG作品を仕上げます。	これまで学んだ内容に関する総合課題が出ます。作品の準備を始めること（2時間）
7	PhotoshopElements⑥ アートワーク実践演習	PhotoshopElementsの最終回です。これまで学んだ様々な機能を駆使してオリジナルの2次元CG作品を仕上げます。	2次元CG総合課題を指定期日までに提出すること（2時間）
8	Shade① モデリング体験	Shadeの起動と画面構成、ウィンドウ操作、オブジェクト操作について確認します。次に実際に立体物を作成し、それをイメージ画像として生成していくまでの各ステップを体験します。	実習内容に関する応用課題が出ます。指示通り加工し期日までに提出すること（1時間）
9	Shade② 平面形状の作成と立体化	モデリングの基本となる平面形状の作成方法を学びます。特にコントロールポイントを作成しながら描く曲線の描画方法をしっかり把握しましょう。そして、それを立体化する2つの方法を学びます。	実習内容に関する応用課題が出ます。指示通り加工し期日までに提出すること（1時間）
10	Shade③ ブーリアン・モデリング	平面から立体を作成しますが、複数の立体同士を組み合わせることでさらに別の形状を作成するのがブーリアンモデリングです。形状同士で穴を開けたり、埋めたりする演習を行います。	実習内容に関する応用課題が出ます。指示通り加工し期日までに提出すること（1時間）
11	Shade④ 自由曲面の作成	より複雑なモデリングを行うための方法として用意されている自由曲面を利用したモデリング方法の演習を行います。	実習内容に関する応用課題が出ます。指示通り加工し期日までに提出すること（1時間）
12	Shade⑤ 表面材質・背景設定	形状に色や反射、屈折などリアルな質感を与える作業が表面材質の設定です。また、形状に背景を設定するなどの演習を行います。	実習内容に関する応用課題が出ます。指示通り加工し期日までに提出すること（1時間）
13	Shade⑥ カメラ・ライティング設定	作成した形状をイメージ画像として出力する前に、カメラアングルやどんな照明を利用するかを決める必要があります。カメラの調整や様々な光源を使い分ける演習を行います。	実習内容に関する応用課題が出ます。指示通り加工し期日までに提出すること（1時間）
14	Shade⑦ 3Dモデリング実践演習	これまで学んだ様々な機能を駆使して本格的な3次元CG作品を仕上げます。	これまで学んだ内容に関する総合課題が出ます。作品の準備を始めること（2時間）
15	Shade⑧ 3Dモデリング実践演習	Shadeの最終回です。これまで学んだ様々な機能を駆使してオリジナルの3次元CG作品を仕上げます。	3次元総合課題を指定期日までに提出すること（2時間）

テキスト

講義ごとに、プリントを配布します。

成績評価の方法・基準

課題：100%
授業内50%、2次元CG課題・3次元CG課題50%
A:指示された最終課題の提出と授業内課題の提出率が80%程度ある
B:指示された最終課題の提出と授業内課題の提出率70%程度ある
C:指示された最終課題の提出と授業内課題の提出率60%程度ある

参考書

「できるPhotoshop Elements 10」樋口　泰行著できるシリーズ編集部編編（インプレスジャパン）　ISBN：978-4-8443-3111-7
「Shade 13 ガイドブック」shadewriters著（株式会社BNN新社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

CGソフトごとに操作の癖があり、慣れるまでは苦労すると思いますが、クリエイティブな作業に興味があればとても楽しい実習となります。過去に配布されたプリントも毎回すべて持参の上、講義に臨んでください。

科目名	体育実技Ⅰ（体つくり・ダンス）	学年学期	2年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL26049	研究室	非常勤
担当者	田玉　雅美・橋爪　みつる	必修選択	必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(保体)､高一(保体)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

体ほぐし、体つくりの運動のねらいと基本の動きを理解します。リズムの特徴をおさえ、リズムにのって体幹を使った自由な全身運動で踊ることの楽しさを体感します。フォークダンス・現代的なリズムのダンスの技能を習得し、解放された体と環境の中で身体表現し、創作ダンスをグループで創る活動プロセスを学びます。

学修到達目標

リズムにのって全身運動の心地よさを体感し、自由な身体表現を引き出すための雰囲気つくり、指導者としての自己解放と表現力を身に着け、指導案作成と実施に向けた手法を学ぶことを目的とします。

授業の進め方

夏季休暇中に開講します。4日間の集中授業として体ほぐし、リズムにのる、動きを創る、指導の方法を身に着けるまで一連の流れを集中的に進めます。　外部講師2名による授業です。連絡や掲示に注意して下さい。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	体つくり運動を兼ねウォームアップのいろいろを学びます。イメージしながらストレッチや、2人組み・4人組・全員で輪になり動きの多様さを学ぶなど心をほぐす運動をします。	自分の体を知る。導入として有効な教材なので記録を欠かさないこと。(1時間)
2	動きを引き出す	身近にある材料を使い、動きを自然に引き出します。個々の感じ方によってそれぞれの表現が異なる動きの面白さを学びます。	人の動きを観察する。楽しんで参加すること。(1時間)
3	フォークダンスを学ぶ	世界の音楽と文化から土着のフォークダンスがどのようにして出来たのかや、日本の盆踊りの発祥と成り立ちを学習します。日本のフォークダンスを実際に踊って学んでいきます。	松本地区の盆踊りを覚え、地域の行事を考察しておくこと。(1時間)
4	動きをまねる	いろいろな動きを考えます。仲間の動きをまねることで動きの多様さに気づくと同時に、自他解放に向ける動きにもチャレンジします。	楽しい動き、意外性のある動きに気づくこと。(1時間)
5	現代的なリズムのダンス①	テンポのある音楽にのせて、ダウンビートで全身で動きを刻む学習をします。体幹を使った動きを続けながら、ステップを踏みながら自由に動く踊りを楽しみます。	リズムの取り方やステップの復習をすること。(1時間)
6	現代的なリズムのダンス②	①②を通して自然な流れで体を動かし、ステップの完成を目指します。発表する楽しさと、見る楽しさ、サポートの大切さを学習します。	学習したステップの熟練と、アレンジを考えること。(1時間)
7	空間を利用した動き	二人組で上下左右などの対照的な空間を学んだり、身近な素材を利用した動きと空間の美しさを学びます。	空間の美しさから、どのような感情が伝わるかを考えること。(1時間)
8	テーマと動きの発見	花火、ジェットコースター、紙ずもう　など自由なテーマを選びます。グループのメンバーでテーマにあったイメージを出しあい、動きで表現していきます。	テーマに沿った物語（流れ）を考えること。(1時間)
9	動きから感情を表現する	これまでの動きをさらに大きく広げながら、空間イメージと動きをつなげていきます。ひとつひとつの動作から感じられる人間の情動や感情を学んでいきます。	普段の動作の中で情動と直結している動きを考える。(1時間)
10	創作ダンス　①	これまで学習した内容をフィードバックしながら、ダイナミックさや感情表現にグループで挑戦します。そのためのテーマと手法を話し合い、決定していきます。	テーマに合う音楽を探しておくこと。(1時間)
11	創作ダンス　②	前回決定したテーマに沿ったダンスを創作します。動きの多様さ、表現の強弱など、テーマをイメージした動きを仲間と練り上げていく力を磨きます。	自分の考えや意見を発表できるようにしておく。(1時間)
12	創作ダンス　③	グループでの創作活動では、動きながら意見交換することが有効です。テーマからイメージする動きをリズムの違いや空間利用を応用することで思いがけず、豊かな表現にかわっていくことを学びます。	動きを引き出すための声掛けの工夫。(1時間)
13	発表のための空間利用	発表に向け、魅せる動きの工夫と練習を重ねます。VTRに撮り、グループの表現（作品）や自分の動きを客観的に見ることで、工夫を試みさらに磨き上げていきます。	動きの練り上げと再構築。(1時間)
14	発表	全グループの作品を発表をします。互いの群舞を観ることで、表現の多様さ、個性の面白さ、表現することの楽しさなどを振り返ります。	グループの発表を観る。(1時間)
15	振り返り	「踊る」という表現に取り組む中で、各自が解放されていくプロセスを振り返ります。踊りを創る過程でメンバーとの自由で解放された交流が生まれること「それを生む指導とは」についてレポートを課します。	踊ること、体で表現することを楽しむ「ダンス」の授業展開についてレポートにまとめる。(1時間)

テキスト

授業時に伝えます。
資料で進めます。

成績評価の方法・基準

実技：30%　受講態度：50%　レポート：20%
S:活動の中心となり目標達成のために意欲的に課題に取り組み、各回の授業内容を十分理解し、豊かな発想で動きや表現につなげることができる。A:目標達成のために意欲的に課題に取り組み、各回の授業内容を理解し、動きや表現につなげることができる。B:目標達成のために課題に取り組み、各回の授業内容を理解し、動きにつなげることができる。C:目標達成を理解し、課題に取り組むことができる。（受講態度は各基準に表記しているとおりです）

参考書

「明日からトライ！ダンスの授業」中村恭子・宮本乙女・中村なおみ著全国ダンス・表現運動授業研究会編（大修館書店）　ISBN：978-4-469-26722-8C3075

履修上の注意（学生へのメッセージ）

自由に体を動かすことの心地良さを体感しましょう。好きなリズム、心と響存し合うリズムにのり、自分を解放させる感覚を学ぶことの意味を、生徒に伝えることのできる学習展開法を一緒に学びましょう。

科目名	体育実技Ⅱ（器械運動）	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL16050	研究室	E-13
担当者	川島　均	必修選択	必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日3限		
関連資格	中一(保体)､高一(保体)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

本演習は、器械運動のなかでもマット・鉄棒・跳び箱の種目において、回転・懸垂・跳躍・支持・バランスなど基本的な技の理想型を理解し、それらを習得することを目的としています。それぞれの種目の技を解説しながら紹介しますが、それに挑戦して体得を目指す過程において、自ら調べてレポートにまとめたり、お互いに教え合ったりしながら、技の出来具合について観察力を身につけることも目指します。

学修到達目標

①器械運動の基本的な技を実施することができる。②器械運動の基本的な技のメカニズムを説明することができる。③器械運動の基本的な技の練習方法を説明することができる。④他の受講生の技の習得を助けることができる。

授業の進め方

本演習は第二体育館で行います。マット・鉄棒・跳び箱の基本技について説明するので、それらを習得できるよう練習します。また、技の理想型や練習方法などをレポートにまとめ、それをもとに練習あるいは教えあうなどして進めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業内容に関するガイダンス、器具の設置、ストレッチ、倒立	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方についての説明をするとともに、各器具の安全な設置について説明しながら実施します。実技課題の一つである倒立も実施します。	事前にシラバスを読んでおく。授業後、倒立を練習し、実技課題について調べておく（1時間）。
2	マット運動の基本①：接地系	前転、開脚前転、伸膝前転、後転、開脚前転、伸膝後転について説明・解説します。練習のあとに技量審査をします。	倒立の練習をする。実施した技と次回実施する技について映像などを見てイメージする（1時間）。
3	マット運動の基本②：倒立系	倒立前転や後転倒立、側転について解説し、練習のあとに技量審査をします。	倒立の練習をする。実施した技と次回実施する技について映像などを見てイメージする（1時間）。
4	マット運動の基本③：ほん転系	頭跳ね起きや前方倒立回転跳びなどについて解説し、練習のあとに技量審査をします。	倒立の練習。指定された日までにマット運動についてレポートを作成しておく（1時間）。
5	マット運動の基本④：マット技のおさらい	すべてのマット技についておさらいし、練習のあとに改めて技量審査をします。	倒立の練習。跳び箱運動について映像などを探し、イメージをつける（1時間）。
6	跳び箱運動の基本①：技の紹介・練習	ロイター板の蹴り方や手の着き方について説明します。また、開脚跳び、台上前転、前方倒立回転跳びについて紹介・解説します。各技にトライします。	倒立の練習。実施した技について映像などを探し、イメージをつける（1時間）。
7	跳び箱運動の基本②：技量審査	跳び箱の開脚跳び、台上前転、前方倒立回転跳びについて練習のあと、技量審査をします。	倒立の練習。指定された日までに跳び箱運動についてレポートを作成しておく（1時間）。
8	鉄棒運動の基本①：技の紹介・練習	鉄棒の基本的握り方や支持状態あるいはそこからの降り方などを紹介します。また、逆上がり、前方支持回転、後方支持回転、け上がりを紹介・解説します。各技にトライします。	倒立の練習。実施した技について映像などを探し、イメージをつける（1時間）。
9	鉄棒運動の基本②：技量審査	鉄棒の逆上がり、前方支持回転、後方支持回転、け上がりについて練習のあと、技量審査をします。	倒立の練習。指定された日までに鉄棒運動についてレポートを作成しておく（1時間）。
10	トランポリン	トランポリンを使った基本的な技を紹介・解説します。一つ一つの技について体験し、練習します。	倒立の練習。実施した技について映像などを探し、イメージをつける（1時間）。
11	マット、鉄棒、跳び箱の総合練習	各種目のなかでクリアしていない技について、レポートに書いた方法を駆使して練習します。適宜技量審査を受けていきます。	倒立の練習。できない技の映像などを見て、技のメカニズムと練習法をおさらいする（1時間）。
12	練習方法の実践・検討	レポートにあった練習方法について一つ一つ実践し、それについての意見交換をしながら効果的な練習方法について検討します。	倒立の練習。受講生が実施した技の映像などから、レポートの練習法を修正してみる（1時間）。
13	グループ練習①	グループを作り、そこに設定したリーダー等を中心として観察、指導、練習します。適宜技量審査を受けていきます。	倒立の練習。受講生が実施した技の映像などから、レポートの練習法を修正してみる（1時間）。
14	グループ練習②	グループを組み直して設定したリーダー等を中心として観察、指導、練習します。適宜技量審査を受けていきます。	倒立の練習。受講生が実施した技の映像などから、レポートの練習法を修正してみる（1時間）。
15	グループ練習③	少人数のグループを作り、そこに設定したリーダー等を中心として観察、指導、練習します。適宜技量審査を受けていきます。	指定された日までにレポートを作成する（1時間）。

テキスト

なし。必要に応じてプリントを配布します。

成績評価の方法・基準

実技：40%　レポート：50%　受講態度：10%
S：実技が高い完成度ですべて実施でき、分かりやすく納得性の高いレポートが書け、他の受講生に適切なアドバイスができる。A：実技がほぼ実施でき、図解されたレポートが書け、他の受講生にアドバイスすることができる。B：実技がおおよそ実施でき、レポートに誠実に取り組み、他の受講生を助けることができる。C：実技の多くを実施でき、レポートに誠実に取り組み、他の受講生を助けることができる。（受講態度は評価基準に明記しているとおりです）

参考書

必要に応じて紹介する。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

できる・できないことによる感情を伴いながら個人差が大きく生じる科目です。実際の運動場面を意識して学習を進めてください。事前事後学習をしっかり行って講義に臨んでください。

科目名	体育実技Ⅲ（陸上競技）	学年学期	3年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL36051	研究室	
担当者	小松　茂美	必修選択	必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(保体)､高一(保体)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

各種目の特性について理解し、基本的な技術を身につけるとともに、競技会（記録会）運営ができる資質や能力を養うことを目的としています。学校体育で取り上げられる陸上競技の走・跳・投の種目に幅広く取り組み、各種目の初歩的な内容についての指導方法を学び、ルールや審判方法などの運営面についての理解も深めます。また、運動経験を通して陸上競技の本質的な楽しさや、安全な学習活動の指導方法の工夫についても理解し、実践できるようになることを目的としています。

学修到達目標

陸上競技の走・跳・投種目の基本的な身体の使い方について学び、分かり易く説明できるようになること。本講義の運動経験をとおして陸上競技の持つ本質的な楽しさに触れ、初歩的な技術や指導法について理解し、実践できるようになること。

授業の進め方

実技だけでなく、指導方法や競技ルールなどの基本的な知識を身につけることを同時に展開していきます。さらに、体育の授業を意識したマネージメント方法について学ぶため、競技運営上の問題点についても触れていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	基本的な身体の使い方	オリエンテーション 授業計画について概略を説明します。また、ウォーミング・アップ及び、歩と走の基本的な動きについて、実践しながら学びます。	レポート提出準備：本時のまとめ（1時間）
2	短距離走Ⅰ	短距離走の基本的な動きづくり 基本的な動きと練習法、腕振りの重要性について理解し、実践しながら学びます。	事前学習：走運動の動き レポート提出準備：本時のまとめ（1時間）
3	短距離走Ⅱ	短距離走の基本的な組み立てについて スタートからゴールまでの走り方について理解し、実践しながら学びます。	事前学習：100m走の走り方 レポート提出準備：本時のまとめ（1時間）
4	リレー	バトンパスについて バトンパスの技術と理論（タイムロスの少ないバトンパスについて）理解し、実際にリレー競技に取り組み実践しながら学びます。	事前学習：タイムロスの少ないバトンパス／1回～4回の授業レポート提出／（2時間）
5	中長距離走	中・長距離走の基本 短距離走との走法の違いについて、呼吸法やペース配分について理解します。また、インターバルトレーニングを実際に体験します。	事前学習：長距離を走る時の呼吸法／レポート提出準備：本時のまとめ／（1時間）
6	障害走Ⅰ	障害走の基本① ハードリング技術の基本動作（踏切動作、着地動作、踏切から着地まで）について実践し、安全なハードル走の指導についても学びます。	事前学習：ハードリングの技術 レポート提出準備：本時のまとめ（1時間）
7	障害走Ⅱ	障害走の基本② リズミカルにインターバルを走るために必要なポイントを理解し、実践し、その指導法についても学びます。	事前学習：ハードル走で陥りやすい技術的欠点／5回～7回の授業レポート提出／（2時間）
8	走幅跳Ⅰ	走幅跳の踏切動作 基本的な踏切動作及び跳躍走の基本について理解し、実践しながら学びます。	事前学習：遠くへ跳ぶための踏切動作の基本／レポート提出準備：本時のまとめ／（1時間）
9	走幅跳Ⅱ	走幅跳の助走と空中姿勢 助走（踏切板で踏切るために）、空中動作及び着地動作について理解し、実践しながら学びます。	事前学習：踏切板で踏み切るための助走法／レポート提出準備：本時のまとめ／（1時間）
10	走高跳Ⅰ	走高跳（背面跳）の助走と踏切動作 踏切動作の基本及び助走の基本的な考え方について理解し、実践しながら学びます。	事前学習：背面跳の助走の理論 レポート提出準備：本時のまとめ（1時間）
11	走高跳Ⅱ	走高跳（背面跳）の空中動作と着地動作 空中動作と着地動作について実践しながら、その指導法も含め学びます。	事前学習：ケガをしない背面跳の着地動作／8回～11回の授業レポート提出／（2時間）
12	砲丸投	砲丸投の基本について 基本的な投擲動作（グライド、突き出し）について理解し、身体の使い方を実践しながら学びます。	事前学習：砲丸投の身体の使い方 レポート提出準備：本時のまとめ（1時間）
13	円盤投・やり投	円盤投・やり投の基本について 基本的な投擲動作について理解し、身体の使い方を実践しながら学びます。	事前学習：安全な投擲練習 レポート提出準備：本時のまとめ（1時間）
14	模擬競技会	記録会 競技会形式での記録会の実施（選択した競技種目の自己記録の測定及び他者の記録測定を通して、競技会運営について学びます。）	事前学習：記録測定の基本的なルールの確認／12回～14回の授業レポート提出／（2時間）
15	まとめ	講義全体のまとめ 走・跳・投種目の基本的な技術及び基本動作の練習法について、これまで学んだことを復習・実践し、より確かなものにします。	事前学習：各自の課題 レポートの提出 （2時間）

テキスト

「中学校学習指導要領解説　－保健体育編－」文部科学省編（東山書房）
ISBN:9784827814637（生協で購入してください。）
「高等学校学習指導要領解説　－保健体育編－」文部科学省編（東山書房）
ISBN:9784827814811（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：30%　出席レポート：30%　実技：30%　レポート：10%
受講態度（A:意欲的・積極的、B:普通、C:消極的とし、出席状況を加味）、出席レポート（授業レポート）・レポート（A:理解・整理できている、B:概ねできている、C:不十分）、実技（A:授業で見本を示すことができ技術的説明ができる、B:授業で部分的に見本を示すことができ技術的説明ができる、C:授業で見本を示すには不十分であるが技術的説明ができる）を総合的に評価します。全ての項目がA評価の場合、S評価の検討をします。

参考書

「陸上競技指導教本アンダー16・19[初級編]基礎から身につく陸上競技」日本陸上競技連盟著（大修館書店）　ISBN：9784469267471

履修上の注意（学生へのメッセージ）

実技科目なので体調には十分留意してください。また、将来、指導者になることを想定して授業を進めていきますので、受身ではなく、姿勢や態度にも留意して授業に臨んでください。

科目名	体育実技Ⅶ１（柔道）	学年学期	2年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL26060	研究室	S-13
担当者	岩間　英明・佐久　信雄	必修選択	選択必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限		
関連資格	中一(保体)､高一(保体)			履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

本授業は我が国固有の運動文化である柔道を指導的立場に立って理解することを目的としています。そのため、基本動作や基本の技を用いて相手の変化に応じた攻防や、習熟の度合いに応じて得意技による攻防ができることを目標とします。また、武道の伝統的な考え方や行動の仕方、所作を理解するとともに、柔道の本質的な楽しさや安全な学習活動の指導方法の工夫についても学んでいきます。

学修到達目標

柔道指導に必要な基礎的な実技能力と基礎知識の理解が学習のねらいとなります。具体的には技能では「「受け身」「投げ技の基本動作」「固め技の基本動作」、基礎知識では「理合い」「礼法」「所作」などを身につけることが目標です。また、併せて簡易試合を指導できる「指導方法」の習得も目指してください。

授業の進め方

本講義は基本の動作や技について実技を通して学び、併せて指導者として必要な知識・スキルを身につけられるようにします。本講義は集中講義のため、実技テストならびにレポートの提出を単位修得の条件とします。また、柔道着は各自で用意をしてください。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンスと基礎知識(1)	本授業の内容と学習の流れを照らし合わせながら、「柔道」の概観について考察していきます。	事前にシラバスをよく読む。2つの内容についてレポートをまとめる。(1時間)
2	ガイダンスと基礎知識(2)	本授業の内容と学習の流れと照らし合わせながら、柔道の基礎知識として「柔道の歴史と特性」について考察していきます。	事前にシラバスをよく読む。内容についてレポートをまとめる。(1時間)
3	ガイダンスと基礎知識(3)	本授業の内容と学習の流れと照らし合わせながら、柔道の基礎知識として「柔道を通して育む“生きる力”」について考察していきます。	事前にシラバスをよく読む。内容についてレポートをまとめる。(1時間)
4	柔道の基本となる動きづくり	基礎知識として(ｱ)精力善用・自他共栄　(ｲ)礼法　(ｳ)柔道着の扱い方を学びます。また、柔道のための体ほぐし運動についても考えていきます。	事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。(1時間)
5	投げ技の基本動作(1)	投げ技の基本動作である(ｱ)姿勢と組み方　(ｲ)進退動作　(ｳ)崩しと体さばきについて学習します。	事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)
6	投げ技の基本動作(2)	投げ技の基本動作の習得と併せて受け身を学習します。受け身は(ｱ)後ろ受け身　(ｲ)横受け身　(ｳ)横転受け身　(ｴ)前受け身　(ｵ)前回り受け身を行います。	事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)
7	固め技の基本動作	固め技の基本動作を学習します。(ｱ)攻撃に必要な基本動作　(ｲ)防御に必要な基本動作　(ｳ)簡単な攻め方と返し方を行います。	事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)
8	固め技	試合形式の練習ができるよう固め技の応用を行います。(ｱ)抑え技（袈裟固め、横四方固め、上四方固め、縦四方固め、肩固め）　(ｲ)固め技の連絡変化　(ｳ)固め技の自由練習及び簡易な試合	事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)
9	基本動作と投げ技の関連	ゆっくりとした動作で崩し、体さばき、受け身の感覚を身につけていきます。投げ技は（体落とし、大腰、支え釣り込み足、小内刈り、大内刈り）ですが、投げる動作に重点を置かずに学習します。	事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)
10	投げ技(1)	投げ技のうち手技である「体落とし」と、腰技である「大腰」に取り組みます。頭を打たないよう受け身の指導に重点を置きます。	事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)
11	投げ技(2)	投げ技のうち足技である「膝車、支え釣り込み足、小内刈り、大内刈り、出足払い、送り足払い、大外刈り」に取り組みます。前時同様に受け身の指導に重点を置きます。	事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)
12	柔道の動きづくり	足技を中心に柔道の動きづくりを行います。特に技の連絡変化（投げ技→投げ技、返し技）など、実際の試合で多く見られる動きを中心に学習していきます。	事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)
13	柔道の理合い	柔道形の練習を行いながら理合いについての理解を深めます。投げの形の手技：（背負い投げ、浮き落とし、肩車）腰技：（釣り込み腰、払い腰）、足技：（送り足払い、支え釣り込み足）を学習します。	事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。実技の自主練習を行う。(1時間)
14	まとめ(1)　試合	試合の仕方と審判の仕方について学習し、簡易な試合ならびに試合を実施する際の指導上の留意点について学習します。	事前・事後に教科書や資料を読み理解を確実にする。特に指導方法は十分復習しておく。(1時間)
15	まとめ(2)　実技評価	授業の総まとめとして、受け身、投げ技、固め技、試合などを通して、実技能力の評価をします。	実技の復習を十分しておく。事故防止についてレポートをまとめる。(1時間)

テキスト

「柔道　授業づくり教本」公益財団法人　全日本柔道連盟編(講義にて配布します。)　一般書店では購入できません

成績評価の方法・基準

実技：70%　レポート：30%
受け身、固め技、投げ技の実技試験と講義期間中提出する課題レポートを総合的に評価します。実技は正しい受け身ができ、固め技、投げ技の動きが安全にできることが単位認定の条件でありC評価です。さらにSは受け身を含めた全ての技に切れがあり、正しく、的確に行うことができること。Aは全ての技が正しくできること。Bは全ての技が概ね正しくできることが基準となります。レポートはその内容により得点化し、実技と併せて最終的な評価とします。

参考書

「新しい柔道の授業づくり」本村清人　他著（大修館書店）
ISBN：9784469265231

履修上の注意（学生へのメッセージ）

集中講義の武道ですので、相互に安全に配慮すると共に、体調には十分留意してください。また、将来、指導者になることを想定して授業を進めていきますので、受身ではなく、姿勢や態度にも留意して授業に臨んでください。

科目名	体育実技Ⅶ２（剣道）	学年学期	2年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL26061	研究室	S-16
担当者	江原　孝史	必修選択	選択必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

我が国固有の武道の一つである剣道を理解しその技を体得することを目的としています。そのため、剣道の基本動作や気剣体一致の打突、基本の技を学び、相手の変化に応じた攻防や、間合いのとり方、得意技による攻防ができることを目標とします。また、武道の伝統的な考え方や礼、所作、稽古方法を理解するとともに、剣道の本質的な楽しさや安全な学習活動の指導方法の工夫についても学んでいきます。

学修到達目標

基本打ち（面、小手、胴）が正しい動作で正確に打突部位を打つことができる。切り返しを正しく打ちかつ受けることができる。二段技（小手面）を打つことができる。応じ技（小手抜き面、小手払い面、面抜き面）を打つことができる。正しく、礼と蹲踞ができる。防具を片付け、防具を正しくつけることができる。はかまと胴着を着ることができる。はかまをたたむことができる。

授業の進め方

本講義は基本動作や基本の技について実技を通して学び、併せて指導者として必要な知識・スキルを身につけられるようにします。また。なお、講義の中では、模擬的に実際に指導者として人前に立つことも経験します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	剣道とは、基本動作・礼の所作、目付の仕方を学びます。	礼の所作を復習する。（1時間）
2	体捌き	すり足と中段の構え、素振り、剣道着の着方とたたみ方、竹刀の各部の名称を学び実習します。	足運びを復習する。（1時間）
3	基本打突　面	打突の基本（気剣体一致）について学びます。防具なしでの面打ち（ふりかぶっての面打ち、竹刀で受ける面打ち）を練習します。	面の打ち方の復習（1時間）
4	基本打突　小手	小手打ち（振りかぶっての小手、竹刀で受ける小手打ち）を練習します。	小手の打ち方の復習（1時間）
5	基本打突　胴	胴打ち（竹刀で受ける胴打ち）を練習します。	胴の打ち方の復習（1時間）
6	防具のつけ方	面ひもの結び方、防具のつけ方、手ぬぐいのかぶり方を学び実習します。	それぞれの道具のつけ方の復習をします。（1時間）
7	面と防具をつけての稽古	面をつけての基本技（大きく振りかぶっての面、小手、胴打ち）を練習します。　気剣体一致を意識して行います。	防具なしで行う時との感覚と実際の動きとの違いを認識する。（1時間）
8	左右面と切り返し、二段技	左右面（正確に打突する）と切り返し、二段の技（大きく振りかぶっての小手面打ち）を練習します。	二段技では足運びの復習をする。（1時間）
9	引き技	引き面（引き小手、引き胴）を練習します。相手との間合いをしっかりとって打ちます。	足の運びを復習する。（1時間）
10	応じ技	すり上げ技（小手すり上げ面・小手返し面）を練習します。約束稽古（打つ部位を限定する、面のみ、あるいは小手のみ）を練習します。	すりあげ技を復習する。（1時間）
11	稽古（けいこ）方法	掛稽古、地稽古、見取稽古のそれぞれの特徴について学び稽古します。	稽古の種類を復習する。（1時間）
12	試合稽古	個人戦、団体戦、抜き勝負について学び、試合を行います。	事後に試合方法のビデオを見る。（1時間）
13	日本剣道型	日本剣道型と木刀を使った基本稽古法をを学び練習します。	ビデオで剣道型と基本稽古法を見かえす。（1時間）
14	模擬授業	模擬授業、基本打ちと切り返し、防具のつけ方の指導方法を学びます。	ビデオで指導方法をチェックする。（1時間）
15	まとめ	講義全体のまとめと紅白戦を行います。	ビデオで紅白戦をふりかえる。（1時間）

テキスト

「中学校学習指導要領解説　－保健体育編－」文部科学省編（東山書房）
ISBN:9784827814637（生協で購入してください。）
「高等学校学習指導要領解説　－保健体育編－」文部科学省編（東山書房）
ISBN:9784827814811（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

実技：90%　受講態度：10%
実技は技の習得度に応じて評価します。
受講態度は、実技への取り組む姿勢、態度で評価します。

参考書

「新しい剣道の授業づくり」巽中直　他著（大修館書店）
ISBN：9784469265552

履修上の注意（学生へのメッセージ）

武道ですので、相互に安全に配慮すると共に、体調には十分留意し集中して授業にのぞんでください。また、将来、指導者になることを想定して授業を進めていきますので、姿勢や態度にも留意して授業に臨んでください。

科目名	体育実技ⅣＡ(バレーボール)	学年学期	2年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL26052	研究室	非常勤
担当者	矢崎　律子	必修選択	選択必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

バレーボールは、ネット型スポーツの代表格として、わが国においては学校体育にも組み込まれ、生涯スポーツはもとよりプロスポーツとしても人気のスポーツです。本講義では、学校体育および地域指導者としての知識とスキルの習得を目指します。

学修到達目標

バレーボール未経験者であっても、コート作り、審判方法、ゲームの基礎まで学修することを目指します。

授業の進め方

講義前半では基礎技術と練習方法を、後半ではルールと審判などを学びます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	バレーボールの基礎	オリエンテーション（授業の進め方）を行います。	シラバスを読んでおくこと（1時間）。
2	バレーボールの基礎	基礎技術と練習(1)　ボールキャッチ・アンダーハンドパスの技術を習得します。	事後：バレーボールノートを作成すること（1時間）。
3	バレーボールの基礎	基礎技術と練習(2)　アンダーハンドパス・オーバーハンドパスの技術を習得します。	事後：バレーボールノートを作成すること（1時間）。
4	バレーボールの基礎	基礎技術と練習(3)　サーブの技術を習得します。	事後：バレーボールノートを作成すること（1時間）。
5	バレーボールの基礎	基礎技術と練習(4)　サーブカット・トスの技術を習得します。	事後：バレーボールノートを作成すること（1時間）。
6	バレーボールの基礎	基礎技術と練習(5)　スパイクの技術を習得します。	事後：バレーボールノートを作成すること（1時間）。
7	バレーボールの基礎	基礎技術と練習(6)　スパイクの技術を習得し、ルールと審判の基礎について学びます。	事後：バレーボールノートを作成すること（1時間）。
8	バレーボールの基礎	基礎技術と練習(7)　スパイク・ブロックの技術の修得、ルールと審判についての理解を深めます。	事後：バレーボールノートを作成すること（1時間）。
9	バレーボールの基礎	基礎技術と練習(8)　スパイク・ブロックの技術の修得、ルールと審判の実際をゲームを通じて体験します。	事後：バレーボールノートを作成すること（1時間）。
10	バレーボールの応用	ゲームの実際(1)　ローテーション・チーム戦術を意識しながらゲームを行います。	事後：バレーボールノートを作成すること（1時間）。
11	バレーボールの応用	ゲームの実際(2)　ルールと審判を意識しながらゲームを行います。	事後：バレーボールノートを作成すること（1時間）。
12	バレーボールの応用	ゲームの実際(3)　ルールと審判を意識しながらゲームを行います。	事後：バレーボールノートを作成すること（1時間）。
13	バレーボールの応用	ゲームの実際(4)　ルールと審判を意識しながらゲームを行います。	事後：バレーボールノートを作成すること（1時間）。
14	バレーボールの応用	ゲームの実際(5)　ルールと審判を意識しながらゲームを行います。	事後：バレーボールノートを作成すること（1時間）。
15	バレーボールの応用	ゲームの実際(6)　ルールと審判を意識しながらゲームを行います。	事後：バレーボールノートを作成すること。まとめをしておくこと（1時間）。

テキスト

講義内で適宜プリントを配布して進めます。

成績評価の方法・基準

受講態度：30%　レポート：30%　定期試験：40%
　受講態度：実技運営協力姿勢があるか、危険行為を回避しているか、チームのメンバーとして協働しているかを問います。レポート：講義ごとに作成してもらうノートの提出、記述内容を問います。定期試験：講義内で配布する事項を理解しているかを問います。
　上記ポイントについて、95%以上到達は「S」、80%以上到達は「A」、70%以上到達は「B」、60%以上到達は「C」として評価します。

参考書

別途指示します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

積極的な学習姿勢を望みます。「できた」という体験の積み重ねにより、バレーボールをより好きになってくれたならうれしいです。

科目名	体育実技ⅣＢ１（テニス）中島弘クラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL16053	研究室	S-22
担当者	中島　弘毅	必修選択	選択必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日2限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある。				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

本授業では、テニスの基礎的技術の習得およびゲームを楽しむためのルールの理解と試合の進め方の習得を目指します。また、ゲームにおける基礎的な戦術についても理解し、「身体」でのプレーによる楽しみから、考えてプレーすることの楽しみも味わいます。

学修到達目標

グリップの握り方からフォアーハンドストローク、バックハンドストローク、サービス、ボレーなどの技術習得と自らがゲームを進めることができるようにルールおよびコールの仕方を学習します。また、如何にコートを有効に使うか、そして、打ち方、ボールの回転、打点、ポジション等によってボールのコースがどの様に決まってくるかという法則性を学んで行きます。

授業の進め方

ペアー、またはグループで相互に助け合いながら、技術および知識の習得を目指します。
基本技術の学習後、ゲーム形式の学習に展開して行きます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	本講義の概要と進め方について理解します。	グリップの握り方について調べてきましょう。（1時間）
2	フォアーハンドストローク	用具になれると共に、フォアーハンドストロークの基礎的技術を習得します。	フォアーハンドストロークのポイントについてまとめてきます。（1時間）
3	バックハンドストローク	バックハンドストロークの基礎的技術を習得を習得します。	バックハンドストロークのグリップについてまとめてきましょう。（1時間）
4	ボールコントロール	サービスエリア内ラリーを中心とした練習を展開し、面、打点、ボールの回転、ステップについて学んでゆきます。	面、スイング方向、スイングスピードとボールの軌道についてまとめます。（1時間）
5	楽にボールを打とう	半面ラリーを中心とした練習を展開し、体重移動、腰の回転を意識してボールを打つことを学習します。	力を入れなくとも楽にボールを打つためには、何が大切かを考えましょう。（1時間）
6	サービス	サービスの基本技術を学習します。	サービスの種類と打ち方についてまとめます。（1時間）
7	ボレー	フォアハンドボレー＆バックハンドボレーについて基礎的技術を学習します。	フォアーハンドのポイントについてまとめます。（1時間）
8	スマッシュ	スマッシュの基本的技術について学習します。	スマッシュを打つときのグリップと打点についてまとめます。（1時間）
9	ミニゲーム	ゲームのすすめ方とコールの仕方について学習します。	ゲームのすすめ方についてまとめてきます。（1時間）
10	ダブルスのミニゲーム	ダブルスでの2ゲームマッチを行いゲームに慣れます。	コールの仕方についてまとめてきます。（1時間）
11	ダブルスのミニゲーム（2）	ダブルスでの3ゲームマッチを行いながら、ポジションと配球について考えます。	ダブルス時のポジションについて調べてきます。（1時間）
12	シングルスのミニゲーム	シングルでの3ゲームマッチを行いながら、ポジションと配球について考えます。	シングルスでのつなぎ、つくり、決め球についてまとめます。（1時間）
13	チーム対抗戦	チームを作り、団体戦を行います。団体戦を通してお互いにアドバイスをしながらスキルの向上を図り、目標に向かって協力しあうことの素晴らしさを味わいます。	チームで勝つためには何が必要かを考えます。（1時間）
14	チーム対抗戦（2）	団体戦を通してお互いにアドバイスをしながらスキルの向上を図り、目標に向かって協力しあうことの素晴らしさを味わいます。	チームにはどのような役割があり、その中で自分がどの様な役割を果たし方を考えます。（1時間）
15	まとめ	スキルチェック＆まとめ	打点と身体の使い方についてまとめましょう。（1時間）

テキスト

「硬式テニス」丸山薫著（池田書店）

成績評価の方法・基準

受講態度：20%　実技：70%　小テスト：10%
受講態度は、授業への積極的参加、行動、協力的態度、準備、片付け等について評価します。実技テストを行ないます。S:95点以上　A:80点以上　B:70点以上　C:60点以上

参考書

「硬式テニスの基本と練習法」塚越亘著（東西社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

ラケットは大学で用意するが、技術の向上の為に自分のラケットを用意すると良い。服装は、運動着を着用するものとする。靴は、運動靴でそこが平らなものであればよいが、テニスシューズを用意することが望ましい。

科目名	体育実技ⅣＢ１（テニス）河野クラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL16053	研究室	S-24
担当者	河野　史倫	必修選択	選択必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日5限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある。				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

テニスの基礎的技術の習得およびゲームを楽しむためのルールの理解と試合の進め方の習得を目指します。また、ゲームにおける基礎的な戦術についても理解し、「身体」でのプレーによる楽しみから、考えてプレーすることの楽しみも味わいます。テニス未経験者に教えることができるよう、技術や練習のやり方を習得します。

学修到達目標

各種ショットの技術、ルール、コート上でのマナーを習得し、ゲームを楽しめるようになることを到達目標とします。また、サーブやラリーを成功させゲームやポイントの内容を高めることができるだけでなく、回転や打ち分けを使って戦術的なプレーができるようになることが最終的な達成目標です。

授業の進め方

クラス内でチームを作り練習ならびに団体戦形式の試合を行います。単発的な練習から徐々に対人練習や戦術パターンの展開などの練習に発展させていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業全体の流れと評価の説明、チーム分けを行います。	コートの名称やルールについて調べる。（1時間）
2	ラケットワークとミニラリー	ラケットを使った基本的な操作技術を練習します。	事後学習としてラケットワークの練習を行っておく。（1時間）
3	フォアハンドストローク	フォアハンドストロークの技術練習を行います。	事後学習として打ち方の練習を行っておく。（1時間）
4	バックハンドストローク	バックハンドストロークの技術練習を行います。	事後学習として打ち方の練習を行っておく。（1時間）
5	打ち分け	フォアハンド、バックハンドの両方を使って左右に打ち分ける練習を行います。	事後学習として打ち方の練習を行っておく。（1時間）
6	ラリー	対人でのラリーおよびポイントゲームを行います。	対人でのラリーに十分に慣れるよう事後学習を行う。（1時間）
7	サーブ	サーブのルールやグリップ、基本的な打ち方を練習します。	事後学習として打ち方の練習を行っておく。（1時間）
8	サーブ＆レシーブ	1stサーブと2ndサーブの打ち分け、レシーブからの展開を練習します。	事後学習としてサーブが入るように練習を行っておく。（1時間）
9	ボレーとポーチ	ダブルスの基本戦術：雁行陣でのラリーとポーチのためのボレー練習を行います。	事後学習としてボレー練習を行っておく。（1時間）
10	ダブルス	ゲーム形式でプレーし、ゲームの進め方、ポイントの取り方を習得します。	事後学習としてビデオなどで試合を閲覧しルールを確認する。（1時間）
11	チーム対抗戦（練習）	ダブルスゲームによる団体戦を行います。	苦手なショットの練習を行っておく。（1時間）
12	チーム対抗戦1	ダブルスゲームによる団体戦を行います。	苦手なショットの練習を行っておく。（1時間）
13	チーム対抗戦2	ダブルスゲームによる団体戦を行います。	苦手なショットの練習を行っておく。（1時間）
14	チーム対抗戦3	ダブルスゲームによる団体戦を行います。	苦手なショットの練習を行っておく。（1時間）
15	技術の確認	各ショットの正確性やラリーの技術を試験します。	与えられた課題についての練習を行っておく。（1時間以上）

テキスト

使用しません。

成績評価の方法・基準

受講態度：20%　実技：80%
受講態度は、授業への積極性、コートでの立ち振る舞い方、練習量などで評価します。テニス経験者は、チーム内での協調性や技術的サポートの姿勢も評価します。
S：Aの中でも、特に上達が著しかった者。
A：Bの条件に加え、ゲームで戦術を実践できる。
B：Cの条件に加え、ラリーを長く続けることができる。
C：基本ショットの打ち方を習得し、自立してゲームを進めることができる。

参考書

使用しません。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

テニスは生涯スポーツとしての人口が多いスポーツです。楽しみ方を覚えて、健康やコミュニケーションのためのツールとして活用できるようになってほしいと考えています。

科目名	体育実技ⅣＢ２（卓球）	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL16054	研究室	S-22
担当者	中島　弘毅	必修選択	選択必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日2限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある。				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

本講は、卓球における基本的知識、技術、ルール、マナー、またその考え方について学び、卓球を指導する上での基本的技術の習得を目指します。また、ゲームするなかで自らの課題を発見し、その課題解決のための練習に取り組みながら、駆け引きができるゲームの楽しさを目指します。是非、ゲームを楽しみながら卓球の知識・技術などを習得して欲しいと思います。

学修到達目標

卓球における基本的知識、技術、ルール、マナーついて学び、説明できるようにします。技術的には、リズム良くドライブでのラリーが続けることができる技術の習得を目指します。

授業の進め方

本授業は、隔年開講です。分習法と全習法を織り交ぜながら、自らの課題を常に認識しながら、技術の向上を図ることを目指します。ペアー、またはグループで相互に助け合いながら、技術および知識の習得を目指します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	本授業の進め方について説明します。	ラケットの握り方について調べてくる。(1時間)
2	用具に慣れる	ラリーをすることによって、ボールと用具に慣れます。ラケットの握り方、構え、フットワークについて学びます。	構えとフットワークについて調べてくる。(1時間)
3	フォアーハンド	フォアーハンドの基本を学びます。多球練習で多くのボールを打ち、面、打点、スイングの仕方、フットワークについて学びます。	フォアーハンドのポイントについて調べてくる。(1時間)
4	バックハンド	バックハンドショートの基本を学びます。多球練習で多くのボールを打ち、面、打点、スイングの仕方、フットワークについて学びます。	フォアーハンドショートのポイントについて調べてくる。(1時間)
5	サーブ＆サーブレシーブ	サーブのルールと打ち方、サーブレシーブについて学びます。	サーブのルールについて調べてくる。(1時間)
6	ツッツキ	ツッツキの打ち方を学びます。	ツッツキの打ち方のポイントについて調べてくる。(1時間)
7	フォアーハンドドライブ	フォアーハンドドライブの打ち方を学びます。	フォアーハンドドライブの打ち方のポイントについて調べてくる。(1時間)
8	カット	カットの打ち方を学びます。	カットの打ち方のポイントを調べてくる。(1時間)
9	スマッシュ	スマッシュの打ち方を学びます。	スマッシュの打ち方のポイントについて調べてくる。(1時間)
10	シングルスのゲーム	シングルスのルールを覚え、リーグ戦を行います。3球目攻撃を意識します。	シングルスのルールを調べてくる。(1時間)
11	シングルスのゲーム（2）	シングルスのリーグ戦を行います。つなぎ、つくり、決め球を意識します。	つくりのパターンを復習する。(1時間)
12	ダブルスのゲーム	ダブルスのルールを覚え、リーグ戦を行います。	ダブルスのルールを調べてくる。(1時間)
13	ダブルスのゲーム（2）	ダブルスのリーグ戦を行います。コンビネーションを意識して行います。	パートナーの生かし方について復習する。(1時間)
14	団体戦	チームを作り団体戦を行います。リーグ戦をします。	チームとして勝つためには何をしたら良いかを考えてくる。(1時間)
15	団体戦＆まとめ	団体戦のリーグ戦を行います。	チームの中で自分はどのような役割を果たしたか考える。(1時間)

テキスト

必要に応じて資料を配布します。

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　実技：70%　小テスト：10%　課題：10%
受講態度は、授業への積極的参加、行動、協力的態度、準備、片づけ等について評価します。実技テストを行ないます。s:95点以上、A:80点以上、B:70点以上、C:60点以上。実技テストはラリーの回数、質で評価します。

参考書

「卓球　基本と練習メニュー」大江正人監修著（池田書店）　ISBN：978-4-262-16323-9

履修上の注意（学生へのメッセージ）

授業に積極的に取り組み、課題達成に向けて、自ら楽しむことを期待します。運動服、体育館シューズを用意して下さい。

科目名	体育実技ⅣＣ（バトミントン）	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL16055	研究室	S-15
担当者	山本　薫	必修選択	選択必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

本授業では、バドミントンの主要な攻撃技術であるスマッシュをラリーの中で使えるようになることを中心に、多様な技術の獲得・向上を図り、サーブやレシーブ技術についても獲得・向上するよう練習を計画的に積み重ねます。また、その成果を確かめるために、あるいは相手との駆け引きを学ぶために練習試合を行い、学習のまとめとしてチーム総当たりのリーグ戦を行います。さらに、各種の練習やゲーム(運営)などについて、グループ内部で教え合い、協力・共同して行います。

学修到達目標

本授業の学習到達目標は、まずスマッシュが打てるようになることであり、その他の試合を行うために必要な諸技術についても獲得･向上させ、試合の中で使えるようになることです。そのために、メンバー間で工夫して積極的に教え合い、練習準備を協力・共同して行うなど、グループ内の凝集性を高めることも到達目標にします。

授業の進め方

授業は、前半部では技術練習を中心に、後半部ではその成果の確認も含めゲームに重点をおいて展開します。また、準備方法や安全に対する配慮なども含め最低限必要なルールを学習する時間を設けます。バドミントンに関するレポートも課します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	本授業の進行計画・展開及び評価方法等を確認します。	事前:シラバスをよく読んでおく。事後:配付資料にある授業内容を確認しておく。(1時間)
2	実技の進め方の確認	実際に体育館に集合し、コート数や用具の収納されている倉庫の場所、準備運動や教員からの連絡方法、貴重品や持ち物の扱い方に関する注意事項等を確認し、以降の授業の円滑な進行を図ります。	事前:専用ウエアー・シューズを用意する。事後:授業終了時に指示する。(1時間)
3	スマッシュの練習(1)	まずスマッシュの打ち方について、シャトルを捉える位置と高さ、ラケットの面の作り方などを説明した上で、二人一組で打ち合います。その際、気づいたことについて積極的に声を掛け合うようにします。	事前:スマッシュについて調べておく。事後:スマッシュを打つ際の注意点を復習する。(1時間)
4	スマッシュの練習(2)	ラリーの中でスマッシュを打てるようになります。その際、落ちてくるシャトルがラケットを持つ側の肩の上にくるよう、ポジショニングを重視します。上手くいかない者にアドバイスしより多く打たせます。	事前:スマッシュの打ち方をイメージしてくる。事後：授業終了時に指示する。(1時間)
5	スマッシュの練習(3)	ラリーの中でスマッシュをより上手く打てるようになるよう、繰り返し練習します。その際、シャトルの飛び方からラケット面の作り方をフィードバックし調整していきます。併せて、レシーブの練習もします。	事前:シャトルの落下点と打点ををイメージしてみる。事後:授業終了時に指示する。(1時間)
6	ドロップの練習	スマッシュと同じ姿勢から、打つ瞬間に力を抜くドロップを学びます。レシーブ側のタイミングを外す技術は、攻撃バリエーションを増やすので、力の抜き方とラケット面の作り方を中心に練習します。	事前:ドロップについて調べておく。事後:ラケット面の作り方を復習しイメージ化する。(1時間)
7	サーブの練習	次時からの練習ゲームに備えてサーブを練習します。サーブを打つ順番、打つ場所、サーブに対する守側の位置取りなどを中心に練習します。これらの点を意識して繰り返し練習します。	事前:サーブの順番について調べておく。事後：授業了時に指示する。(1時間)
8	練習・確認ゲーム(1)	これまで練習してきたスマッシュ、ドロップ、サーブなどを、実際のゲームの中で使ってみます。ゲームに慣れると共に、練習成果を確認し、次の練習課題を見つけることを目的に行います。	事後:ダブルスの組み合わせを確認しておく。事後:ゲームを基に次時の課題を確認する。(1時間)
9	練習・確認ゲーム(2)	これまで練習してきたスマッシュ、ドロップ、サーブなどを実際のゲームの中で使ってみます。ゲームに慣れると共に、練習成果を確認し、次の練習課題を見つけ、メンバー間で共有するよう努めます。	事前:前時で見つけた課題を整理しておく。事後:本時を参考に次時の内容を考えておく。(1時間)
10	グループ別練習	前2回の練習・確認ゲームを参考に、グループ別に練習を行います。リーダーは、メンバー間でよく話し合って練習内容を決めるよう十分配慮します。また、バドミントンに関するレポート課題を課します。	事前:本時の練習内容について考えておく。事後:レポート課題について調べを進める。(1時間)
11	リーグ戦(1)	これまでの練習の総仕上げとして、チーム総当たりのリーグ戦を5週にわたって行います。ゲームのないチームは、ルール学習を踏まえて審判を行います。また、ゲームの前後ではチーム別に練習します。	事前:ダブルスの組み合わせを工夫しておく。事後:次時のゲーム前練習を相談しておく。(1時間)
12	リーグ戦(2)	これまでの練習の総仕上げとして、チーム総当たりのリーグ戦を5週にわたって行います。ゲームのないチームは、ルール学習を踏まえて審判を行います。また、ゲームの前後ではチーム別に練習します。	事前:ゲーム前の練習内容を確認しておく。事後:レポート課題の執筆を進める。(1時間)
13	リーグ戦(3)	これまでの練習の総仕上げとして、チーム総当たりのリーグ戦を5週にわたって行います。ゲームのないチームは、ルール学習を踏まえて審判を行います。10回目で課したレポートを提出します。	事前:ゲーム前の練習内容を確認しておく。事後:本時のゲームについて分析してみる。(1時間)
14	リーグ戦(4)	これまでの練習の総仕上げとして、チーム総当たりのリーグ戦を5週にわたって行います。ゲームのないチームは、ルール学習を踏まえて審判を行います。また、ゲームの前後ではチーム別に練習します。	事前:ゲーム前の練習内容を確認しておく。事後:本時のゲームについて分析してみる。(1時間)
15	リーグ戦(5)	練習の総仕上げとしてのリーグ戦の最終戦を行います。ゲームのないチームは、ルール学習を踏まえて審判を行います。ゲーム終了後、まとめとして課すレポートの確認を含め本授業の反省を行います。	事前:ゲーム前の練習内容を確認しておく。事後:本授業のレポートを執筆、提出する。(1時間)

テキスト

テキストは使用せず、必要に応じて資料を配付して進めます。

成績評価の方法・基準

実技：70%　レポート：15%　出席レポート：15%
成績評価は、上記3つの要素を中心に総合的に行います。評価基準は次のとおりです。S:積極的に練習に取り組み、獲得技術を適切に使い、他のメンバーに教えるなど指導力を発揮できる。A:積極的に練習に取り組み、獲得技術を適切に使い、他のメンバーと協力して教えることができる。B:毎時積極的に練習に取り組み、獲得技術を適切に使い、他のメンバーと協力できる。C:毎時積極的に練習に取り組み、獲得技術を適切に使うことができる。

参考書

特に指定しません。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

不注意からの事故を防ぐために、上手・下手を問わず周囲に注意しつつ積極的に楽しく参加してください。また事前学習の一端として、バドミントン放映等を意識的に視聴し、イメージを豊かにしておいて下さい。

科目名	体育実技ＶＡ（バスケットボール）	学年学期	2年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL26056	研究室	S-21
担当者	根本　賢一	必修選択	選択必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日5限		
関連資格	中一(保体)､高一(保体)､養教一､中一(保健)､高一(保健)			履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

バスケットボールに関する基礎的な知識と基本技術(シュート、ドリブル、パス、ディフェンスなど)を獲得し、その上でチームプレーの構築と理解を図ります。まずは少人数からの練習を行い、その上で集団での戦術向上を図ります。毎回、個人技術練習とミニゲームを行いながら、仲間とのコミュニケーションを深めます。また、バスケットボールのルールを理解し、履修者全員がゲームの審判やオフィシャルを出来るようにします。

学修到達目標

汗をかくという爽快感を体験しながら、バスケットボールに関する基礎的な知識、技術、戦術、ルールなどを習得することを目標とします。

授業の進め方

個人技術の基本説明と練習と、チームプレーの構築と理解を、少人数からの練習を通して身につけていきます。各自がチーム内で積極的に動き役割を果せるように試合時間を多くとり、後半のリーグ戦の際には学生諸君が中心に審判やオフィシャルの運営を行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方について説明します。さらに、2回目以降のグループ分けを行い、ルール解説をします。	バスケットボールでのルールについて各自で調べておくこと(1時間)。
2	個人技能	ボールハンドリング、パス、ターンの方法を解説し実践します。	基本的なストップ&ステップ、各種パスのポイントを復習しておくこと(1時間)。
3	個人技能	ボディコントロール、パス、ドリブルの方法を解説し実践します。	ドリブル、パスを片手で左右同時にスムーズにできるようにしておくこと(1時間)。
4	シューティング	レイアップ、ジャンプシュートを中心にバリエーションドリルの方法を解説し実践します。	左右でレイアップシュートができ、ジャンプシュートが打てるようにしておくこと(2時間)。
5	オフェンス	1対1の攻防、2対2の攻防、ハーフコート・ゲームの方法を解説し実践します。	シュートでフィニッシュできるようにパッシング、ドリブルのスキルを確認しておくこと(1時間)。
6	オフェンス	2対2の攻防、3対4の攻防、ハーフコート・ゲームの方法を解説し実践します。	スクリーンプレーにおけるルール、インサイド及びアウトサイドのパターンを調べる(1時間)。
7	マンツーマンディフェンス	対人防御と対人防御に対する攻撃法の方法を解説し実践します。	ディフェンスの基本姿勢につい復習し、マンツーマンディフェンスの特徴を調べる(1時間)。
8	ゾーンディフェンス	地域防御と地域防御に対する攻撃法の方法を解説し実践します。	ゾーンディフェンスの各パターンの特徴を調べておくこと(1時間)。
9	ファーストブレイク	速攻攻撃法、簡易ルールによるゲームの方法を解説し実践します。	攻守の切替を素早くできるようにターン及びドリブル、パッシングの練習をしておくこと(1時間)。
10	フルコートゲーム	第1リーグ戦を行います。なお、ゲームを行っていないチームが審判及びオフィシャルを担当してゲームの運営について学びます。	ディフェンスのチーム・ルールの確認をしておくこと(1時間)。
11	フルコートゲーム	第2リーグ戦を行います。なお、ゲームを行っていないチームが審判及びオフィシャルを担当してゲームの運営について学びます。	ディフェンスのチーム・ルールが徹底されていたか、本日のゲームを分析しておくこと(1時間)。
12	フルコートゲーム	第3リーグ戦を行います。なお、ゲームを行っていないチームが審判及びオフィシャルを担当してゲームの運営について学びます。	前回のゲームの課題をチーム内で共有し課題克服のために何をすべきかを明らかにする(2時間)。
13	フルコートゲーム	第4リーグ戦を行います。なお、ゲームを行っていないチームが審判及びオフィシャルを担当してゲームの運営について学びます。	オフェンス・プレーのタイミングの合わせなどをチームで練習しておくこと(2時間)。
14	フルコートゲーム	第5リーグ戦を行います。なお、ゲームを行っていないチームが審判及びオフィシャルを担当してゲームの運営について学びます。	多彩なオフェンスパターンが展開できるようにチーム練習をしておくこと(2時間)。
15	まとめ	左右のドリブル及びターン、レイアップシュートとジャンプシュートについての個人技能の習得度についての確認を行い実技評価とします。	利き手ではないドリブル及びシューティグの練習を特に行っておくこと(1時間)。

テキスト

必要に合わせてポイントを記したプリントを用意します。

成績評価の方法・基準

レポート：20%　実技：40%　課題：40%
S:高度な技術と理論を習得するための課題等に極めて積極的に取り組み、高度な成果を示している。A:高度な技術と理論を習得するための課題等に積極的に取り組み、良好な成果を示している。B:基本的な技術と理論を習得するための課題等に積極的に取り組み、2/3程度の成果を示している。C:基本的な技術と理論を習得するための課題等に取り組み、1/2程度の成果を示している。

参考書

「バスケットボールのルールと審判法」（大修館）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

保健体育教職資格取得を目指す以上、常にその自覚を持って授業に臨んでください。第一体育館で毎回行いますが、必ず運動着に着替え、室内シューズに履き替えておくこと。

科目名	体育実技ＶＢ(サッカー) 一般クラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL16057	研究室	S-20
担当者	齊藤　茂	必修選択	選択必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	中一(保体)､高一(保体)､養教一､中一(保健)､高一(保健)			履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

本講義では、サッカーを通した身体活動の面白さを体験することを目的とします。また、ボールをコントロールするために手以外の体を合理的に使うサッカー独自の運動特性を理解し、生涯にわたってサッカー（スポーツ）を楽しむことができるような下地をつくります。さらに、様々なトレーニングを自らが体験し、効果的な指導方法を学びます。なお、日本サッカー協会指導者ライセンス（公認C級コーチ）の取得を希望する学生は、別途開講されている講義を受講してください。

学修到達目標

パス、トラップ、リフティングおよびドリブル等の基本技術の練習から、戦術練習へ発展させ、最終的にはゲームを成立させるようになることを到達目標とします。また、サッカーに関する専門的な知識やその指導方法を身につけることも目標です。

授業の進め方

講義の前半は、身体を動かす練習やリフティングを行います。次に、足でボールを扱うパス、ドリブル、シュート等の技術練習を行い、講義の後半はゲームを行います。講義は大学に隣接する松商学園総合グラウンド（人工芝）で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	ガイダンス：授業参加に際しての注意事項等について解説を行います。	日頃からサッカーに興味を持ち、様々なメディアを通じた情報収集を行ってください。（1時間）
2	サッカーの動きに慣れる	サッカーの動きに慣れることを目的としたステップ練習や、様々なゲームを通じたコーディネーション能力を高めるためのトレーニングについて解説し、体験的に学びます。	各自でステップ等の復習を行う。また、学んだトレーニング方法等についてはまとめる。（1時間）
3	インサイドパス	技術練習(1) インサイドパスの基本技術について解説し、体験的に学びます。	各自でインサイドパスの復習を行い、そのポイントをまとめておく。（1時間）
4	トラップ	技術練習(2) トラップの基本技術について解説し、体験的に学びます。	各自でトラップの復習を行い、そのポイントをまとめておく。（1時間）
5	インステップキック	技術練習(3) インステップキックの基本技術について解説し、体験的に学びます。	各自でインステップキックの復習を行い、そのポイントをまとめておく。（1時間）
6	ドリブル	技術練習(4) ドリブルの基本技術について解説し、体験的に学びます。	各自でドリブルの復習を行い、そのポイントをまとめておく。（1時間）
7	シュートの基本技術	技術練習(5) シュートの基本技術について解説し、体験的に学びます。	各自でシュートの復習を行い、そのポイントをまとめておく。（1時間）
8	ヘディング	技術練習(6) ヘディングの基本技術について解説し、体験的に学びます。	各自でヘディングの復習を行い、そのポイントをまとめておく。（1時間）
9	攻撃	戦術練習(1) 攻撃の方法について解説し、体験的に学びます。	様々なメディアを通じて攻撃シーンの情報収集を行う。（1時間）
10	守備	戦術練習(2) 守備の方法について解説し、体験的に学びます。	様々なメディアを通じて守備シーンの情報収集を行ってください。（1時間）
11	連携	戦術練習(3) サッカーにおける連携の重要性について解説し、体験的に学びます。	様々なメディアを通じて連携シーンの情報収集を行う。（1時間）
12	制約付きゲーム	ゲーム(1) 5対5のゲームを体験します。	様々なメディアを通じて、試合観戦を行ってください。（1時間）
13	制約付きゲーム	ゲーム(2) 5対5のゲームを発展させ、8対8のゲームを体験します。	様々なメディアを通じて、試合観戦を行ってください。（1時間）
14	フルコートゲーム	ゲーム(3) 5対5、及び8対8のゲームを発展させ、11対11のゲームを体験します。	様々なメディアを通じて、試合観戦を行ってください。（1時間）
15	フルコートゲーム	ゲーム(4) 第14回に引き続き、11対11のゲームを体験します。	様々なメディアを通じて、試合観戦を行ってください。（1時間）

テキスト

必要に応じてプリントを配布します。

成績評価の方法・基準

受講態度：60%　実技：20%　レポート：20%
リフティングの実技試験があります。規定された回数をクリアすることが単位修得の最低条件となります。S：強い向上心をもって積極的に授業に参加をし、技術面においても大きな成果があった。A：強い向上心をもって積極的に授業に参加をした。B：向上心を持って授業に参加をした。C：積極的に授業に参加をした。なお、受講態度は授業内における課題等に取組む姿勢により評価します。

参考書

必要に応じて紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

運動するために適した服装（スポーツウェアやシューズ（スパイクは不可）等）を各自で用意してください。また、天候等の理由でグラウンドが使えない場合は体育館、もしくは教室にて行うことがあります。

科目名	体育実技ＶＣ(ハンドボール)	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL16058	研究室	S-17
担当者	田邉　愛子	必修選択	選択必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日5限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

ハンドボールの基礎知識としてルールの認識　特に他競技との違い（ダブルドリブル、オーバーステップ等）、多様なパスおよびシュートの種類を把握したのちに競技の特殊性を実感して頂くため　実戦形式による実技を重点的に進めて行きます。

学修到達目標

ハンドボールのルールの把握及び多様なパス、シュートの習得を経て、ポジションごとのシュートが打てるようにする。様々な攻防をゲーム形式で各々が体現できるようにすることが目標です。

授業の進め方

基本的には実技を中心に授業を進めます。ルール等につきましては、ウェキペディアで紹介されているので受講される方は各自で必ず確認(必読）して下さい。その詳細については、体育館での実技を主に説明し進めていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ルール解説　他競技（特にバスケットボール）とのルールの違いについて	ウォームアップ、ルール解説、ハンドボールの特殊性について解説し理解を深めます。	ハンドボールの歴史について調べておく。（1時間）
2	ボールの扱い馴れ	パス、キャッチボールの基本動作について解説し、実技をします。	ハンドボールの基本動作やルールについて調べておく。（1時間）
3	多様なパス方法の習得	パスの使い分け（ラテラルパス、プッシュパス、ショルダーパス）について解説し、実技をします。	ハンドボールのパスの使い分け方とその習得方法について調べておく。（1時間）
4	走りながらのパスを習得するために実技を行います。	ランニングパス、三角パス、四角パスについて解説し、実技をします。	ハンドボールの具体的なパスと場面においての有効性ついて調べておく。（1時間）
5	スタンダードなシュートを習得するために実技を行います。	各種シュート（ランニング、ステンディング、ジャンプ）について解説し、実技をします。	ハン習得方法をドボールの各種シュートについて調べておく。（1時間）
6	フェイントシュートの習得	各種シュート（逆足、両足、ポスト）について解説し、実技をします。	ハンドボールのポジション別のシュートの有効性について調べておく。（1時間）
7	フェイントの考え方・使い方の習得	シュートに有効なステップワークについて解説し、実技をします。	ハンドボールの各種ステップワークについて調べ、攻守の切り替えのタイミングを予習（1時間）
8	ゴールキーパーの役割	ゴールキーパーの役割、考え方、位置取りについて解説し、実技をします。	ハンドボールのゴールキーパーについて調べておく。（1時間）
9	ウィング、ピボットのシュートの習得	ポジション別シュートの特殊性（バック、ウィング、ピボットプレーヤー）について解説し、実技をします。	ハンドボールのポジションベルの各種シュートを調べ、場面による選択肢について予習（1時間）
10	走りながらのシュートを習得するために実技を行います。	速攻によるゲーム支配の優位性について解説し、実技をします。	ハンドボールの速攻とその有効性について調べておく。（1時間）
11	実戦形式による攻防の習得	2対1、3対2等人数の優位性について解説し、実技をします。	ハンドボールの各場面における優位性について調べておく。（1時間）
12	実戦形式による攻防の習得	2対1等の数的優位性を作り出すシステムについて解説し、実技をします。	ハンドボールの具体的な場面のシステムや動き方について調べておく。（1時間）
13	実戦形式による攻防の習得	2対2、3対3等同数の実践について解説し、実技をします。	ハンドボールの同数の実践について調べておく。（1時間）
14	実戦形式による攻防の習得	ゲーム形式による攻防について解説し、実技をします。	ハンドボールの試合での攻防の流れについて確認をしておく。（1時間）
15	習得したシュート技術の確認	講義全体のまとめをします。	ランニング、スタンディング、ジャンプ、両足ワンクロス、アウトインの5種類のシュート（1時間）

テキスト

なし

成績評価の方法・基準

受講態度：70%　実技：30%
受講態度は取り組む姿勢、出席回数などを評価します。実技試験では授業のプロセスの中で身につけたスキルを評価します。95%以上のより高いレベルに達すればS、80%以上の理解度をA、70%以上をB、60%以上をCとします。

参考書

「2010年度　ハンドボール競技規則」（日本ハンドボール協会）
「イベント　ハンドボール」（(株)イベントスポーツ）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

この競技は走、跳、投、守が含まれた総合スポーツ的な要素が多分に含まれています。是非ハンドボールの魅力を味わってみて下さい。但し、真摯に取り組んで頂ける方限定でお願いします。

科目名	体育実技VI（ソフトボール）	学年学期	2年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL26059	研究室	S-18
担当者	新井　喜代加	必修選択	必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日5限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

本授業では、中学・高等学校の生徒にソフトボールの指導ができるようになることを目的とします。そのためにソフトボール指導者に必要な基本的および専門的な技術と指導法を習得します。

学修到達目標

(1) ソフトボールの基本的な知識や技術を習得し、指導に活かすことができる
(2) 習得した知識や技術、指導法を仲間と共有し、さらなる改善につなげることができる
(3) ソフトボールの簡易大会を運営することができる

授業の進め方

本講義は、一斉指導、グループ指導、個別指導を併用して実施します。授業はグラウンドで実施します。ただし、天候により、体育館或は教室に変更することがあります。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業のねらい、授業内容、評価方法、留意事項等について解説し、チーム分けをします	事前：シラバスを読む／事後：本授業のルールとソフトボールのルールを確認する（1時間）
2	基本的技術の習得1	守備1：実技を通じてピッチング（ウインドミル投法）の技術を習得します	事前：ウインドミル投法について調べる／事後：ウインドミル投法の注意点を復習する（1時間）
3	基本的技術の習得2	守備2：実技を通じてピッチング（ウインドミル投法）の技術を習得します	事前：ウィンドミル投法をイメージする／事後：ウィンドミル投法の注意点を復習する（1時間）
4	基本的技術の習得3	守備3：実技を通じてキャッチボールの技術を習得します	事前：キャッチボールについ調べる／事後：キャッチボールをする際の注意点を復習する（1時間）
5	基本的技術の習得4	守備4：実技を通じてゴロ取りの技術を習得します	事前：ゴロ取りについて調べる／事後：ゴロ取りをする際の注意点を復習する（1時間）
6	基本的技術の習得5	攻撃1：実技を通じてバッティング（ヒッティング）の技術を習得します	事前：バッティングについて調べる／事後：バッティングをする際の注意点を復習する（1時間）
7	基本的技術の習得6	攻撃2：実技を通じてバッティング（ヒッティング）の技術を習得します	事前：スイングをイメージする／事後：スィングの際の注意点を復習する（1時間）
8	基本的技術の習得7	攻撃3：実技を通じてバッティング（バント）の技術を習得します	事前：バントについて調べる／事後：バントをする際の注意点を復習する（1時間）
9	基本的技術の習得8	攻撃4：実技を通じて走塁の技術を習得します	事前：走塁について調べる／事後：走塁の際の注意点を復習する（1時間）
10	戦術	チームで戦術を立て、試合で実践します	事前：攻守の戦術について調べる／事後：チームごとに試合分析をする（1時間）
11	審判、運営および記録	討議および実践を通じて試合運営に関する基本的な知識と技術を習得します	事前：審判・運営等について調べる／事後：審判・運営等をする際の注意点を復習する（1時間）
12	試合1	これまでの授業で習得した基本的な技術・戦術および審判・運営等の技術を発揮する場として試合を実施します	事前：チームごとにゲーム展開をイメージする／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
13	試合2	これまでの授業で習得した基本的な技術・戦術および審判・運営等の技術を発揮する場として試合を実施します	事前：チームごとにゲーム展開をイメージする／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
14	試合3	これまでの授業で習得した基本的な技術・戦術および審判・運営等の技術を発揮する場として試合を実施します	事前：チームごとにゲーム展開をイメージする／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
15	試合4	討議により設定した特別ルールのもと試合を実施します	事前：楽しくゲームができる特別ルールを考える／事後：本授業のレポートを作成する（1時間）

テキスト

特に指定せず、必要に応じて授業で資料を配布します

成績評価の方法・基準

出席レポート：60%　実技：20%　レポート：20%
評価基準は次の通りです。S:批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いてチームメイトと楽しくゲームを展開し、指導することができる/A:探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いてチームメイトとゲームを展開することができる/B:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術をゲームに活かすことができる/C:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術を実践することができる

参考書

特に指定しません

履修上の注意（学生へのメッセージ）

履修者数を抽選により調整する場合があり、40人程の予定です

科目名	体育実技Ⅷ（水泳）	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SC16062	研究室	S-05
担当者	長谷川　尋之	必修選択	必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日1限		
関連資格	中一(保体)､高一(保体)			履修条件	講義の性格上、抽選により履修者数の調整をする場合がある				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎				△	○	

授業概要

本実技は「クロール」「平泳ぎ」「背泳ぎ」「バタフライ」の各泳法の習得し、陸上とは異なる水の特性や水中運動の生理学を理解しより効果的な指導方法の学びや水泳指導力の向上を目指します。また、重大事故に繋がりやすい水泳指導の安全管理について知識と対応を学びます。

学修到達目標

技能面では「クロール」「平泳ぎ」「背泳ぎ」「バタフライ」の各泳法で25m以上泳げる泳力と、基本的な泳ぎ方ができることが目標とする。また併せて、複数の泳法を組み合わせて泳いだり、長い距離を泳いだりできる泳力の獲得も目指す。さらに、具体的な水泳指導の方法や安全管理についての知識と実践力を身につける。

授業の進め方

実技を通して泳法や水の特性、安全管理について学び、指導者として必要な知識とスキルを身につけられるようにします。また、各泳法の技術ポイントや指導方法、安全指導についてレポートをまとめ、知識を確実なものとします。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業計画・展開及び評価方法、留意点等の確認をします。また、VTRを使って泳法の確認、技術用語の確認、ルールなど、学習に必要な知識を理解します。	事前にシラバスを読み、技術を予習し、さらに安全指導について復習します。(1時間)
2	安全指導、浮き沈み、ストリームライン姿勢	水泳学習における安全指導についてプールサイドで実際に行っていきます。また、水泳初心者や基礎技術として浮き沈みやストリームラインについて学習します。	事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容を復習します。(1時間)
3	クロール(1)	ストリームラインの姿勢から、キック(バタ足)・ストローク(腕のかき)について、技術ポイントを理解した上で、クロールの基礎技術を習得します。	事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容を復習します。(1時間)
4	クロール(2)	バランスの取れた面かぶりクロールに、ブレス(息つぎ)の技術を加えていきます。さらに、ターン(普通のターン、フリップターン)の技術ポイントを理解した上で、クロールを完成させます。	事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容をレポートにまとめます。(1時間)
5	平泳ぎ(1)	ストリームラインの姿勢から、平泳ぎのキック(かえる足)について、技術ポイントを理解した上で、正確なキックを学習します。	事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容を復習します。(1時間)
6	平泳ぎ(2)	平泳ぎのストロークの技術ポイントを理解した上で、ストロークを完成させます。さらに、キックとのコンビネーションがとれたストロークを学習し、タイミングの良い動きを習得します。	事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容を復習します。(1時間)
7	平泳ぎ(3)	ブレスのタイミングと水の抵抗を考えた動き方を学習し、より良いコンビネーションの平泳ぎとするとともに、スタートやターン直後の動作の練習し、平泳ぎを完成させます。	事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容をレポートにまとめます。(1時間)
8	背泳ぎ(1)	仰向けのストリームラインの姿勢から、キック(バタ足)・ストローク(腕のかき)について、技術ポイントを理解した上で、背泳ぎの基礎技術を習得します。	事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容を復習します。(1時間)
9	背泳ぎ(2)	背泳ぎのスタートやターン(普通のターン、フリップターン)、さらにバサロの技術ポイントを理解した上で、背泳ぎを完成させます。	事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容をレポートにまとめます。(1時間)
10	バタフライ(1)	ストリームラインの姿勢から、平泳ぎのキック(ドルフィンキック)について、技術ポイントを理解した上で、正確なキックを学習します。	事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容を復習します。(1時間)
11	バタフライ(2)	バタフライのストロークの技術ポイントを理解した上で、ストロークを学習します。さらに、キックとのコンビネーションを考えながら、ブレス(息つぎ)を学習し、タイミングの良い動きを習得します。	事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容を復習します。(1時間)
12	バタフライ(3)	キック、ストローク、ブレスのタイミングが合ったコンビネーションの取れたバタフライを練習するとともに、スタート、ターン直後の動作を学習し、バタフライを完成させます。	事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容をレポートにまとめます。(1時間)
13	個人メドレー(1)	4泳法を使った100m個人メドレーに取り組みます。また同時に、逆とびこみについての段階的指導を実際に体験しながら、飛び込みによるスタートができるようにします。	事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容を復習します。(1時間)
14	個人メドレー(2)	正式なルールに基づいたスタート、ターンを加えた個人メドレーを完成させます。その際、タイムや泳法などを確認する実技テストも実施します。	事前・事後に資料を読み、理解を確実にし、授業内容をレポートにまとめます。(1時間)
15	講義全体のまとめ	これまでの学習を振り返り、水泳を苦手とする学習者にどのように指導したらよいのかを考察します。	これまでの学習に基づき、4泳法の中から1泳法を選び、指導方法をレポートにまとめます。(1時間

テキスト

適宜資料を配付します。

成績評価の方法・基準

実技：70%　レポート：30%
4泳法それぞれの実技試験と講義期間中提出する課題レポートを総合的に評価します。実技は4泳法が25m以上泳げることが単位認定の必須条件でC評価です。実技（泳力）とレポート（指導方法）を得点化し、70点以上でB評価、80点以上をA評価とします。S評価は4泳法の正しい泳法、技術を習得し、指導できるものとします。

参考書

「水泳指導教本　第2版」日本水泳連盟編（大修館書店）
ISBN：9784469267082

履修上の注意（学生へのメッセージ）

集中講義での授業になるため、体調には十分留意してください。また、将来、指導者になることを想定して授業を進めていきますので、受身ではなく、姿勢や態度にも留意して授業に臨んでください。

科目名	体育原理	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL15001	研究室	S-13
担当者	岩間　英明	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限		
関連資格	ﾚｸ･ｺｰﾃﾞｨ(教育)､中一(保体)､高一(保体)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○		△	△	△	△	

授業概要

本講義は体育・スポーツを哲学的に思考し、「現代社会において体育とは何か」といった体育・スポーツの概念や、「人間とスポーツの関係はいかにあるべきか」などの基本的な人間と体育・スポーツとの関連について考察して、その存在意義について明らかにしていくことを目的としています。そのため、私たちの身近にある体育・スポーツ関連の課題や、最近の事象など、具体的な体育・スポーツをめぐる諸問題を幅広い視点から探究し、その根本にある原因や背景について自分になりに解釈していきます。

学修到達目標

これまで一方向に偏りがちであった考え方から、身近な体育・スポーツの諸問題について、多様な意見に触れ、考察を深めていくことを通して、これからの体育・スポーツ指導者にふさわしい柔軟で幅広い見方や考え方ができるようにすることが本講義の最終的な目標です。そのために明確な問いの立て方、文章表現力、論理的思考力、批判的思考力などの獲得も目指します。

授業の進め方

講義はテーマについて、これまでの自分の経験や行動に基づき、自分の考え方を明確にすることから始めます。その後、他の受講生の意見や資料、教員からの問いについて考えていき、自分自身の思考の変化を捉えて、レポートにまとめていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	講義計画・展開及び評価方法等の確認をします。また、体育原理とはどんな学問か、をなぜ学ぶのかといったことにも触れていきます。	事前にシラバスを読んでくる。自分のスポーツ経験を整理しておく。(1時間)
2	体育・スポーツへの問い直し（社会全体と活動領域）	これまでスポーツを学んだ経験に基づき、自分にとってスポーツとは何かを考察します。また、社会全体においてスポーツ活動とはどのような意味があるのかを考えます。	事前に自分のスポーツ経験を整理し、スポーツがもたらすモノをレポートをまとめる。(5時間)
3	スポーツの楽しさとは何か	「できない、できる」「つまらない、おもしろい」といったスポーツの結果や感情に基づき、スポーツの楽しさやなぜ、スポーツをするのかという根源的な問いに取り組んでみます。	事前にテーマについて自分なりの考えをまとめておく。教科書の関連項目を読む。(1時間)
4	運動部活動を考える	運動部活動によって「得たもの」、「失ったもの」を改めて考え、学校期における運動部活動のあり方を考える機会とします。	事前にテーマについて自分なりの考えをまとめておく。教科書の関連項目を読む。(2時間)
5	スポーツにおける競争と共同の矛盾	スポーツの「勝利至上主義」「礼儀」「チームワーク」といった内容に焦点を当て、スポーツに存在する矛盾を考察します。	事前にテーマについて自分なりの考えをまとめておく。教科書の関連項目を読む。(2時間)
6	スポーツと郷土愛・ナショナリズム	オリンピックやサッカーワールドカップなどの国際試合や、高校野球の甲子園などを例に、スポーツにおける「郷土愛」や「ナショナリズム」について考えます。	テーマに関する資料を集め、スポーツのナショナリズムについてレポートにまとめる。(5時間)
7	スポーツマンシップとは何か	フェアプレイ、アンフェア（ドーピングなど）といった事例を通して、スポーツにおけるルールやスポーツマンシップといったものについて考察していきます。	テーマに関する資料を集め、フェアプレイについてレポートにまとめる。(5時間)
8	スポーツと体育は同じか	明治以降の体育の変遷やスポーツクラブの指導と学校体育の違いを通して「スポーツと体育」は、どこが違うのか、どこを違えるべきかについて考えます。	テーマに関する資料を集め、体育教育の問題点についてレポートにまとめる。(5時間)
9	スポーツの多様性	近年の“観る”“創る”といったスポーツの関わり方や、“障がい”“性別”“年齢”“人種”などによるスポーツにおける差別などを例に、スポーツの多様性の問題に取り組んでいきます。	テーマに関する資料を集め、多様なスポーツのあり方についてレポートにまとめる。(5時間)
10	スポーツにおける暴力	運動部活動の指導者による体罰問題や上級生による暴力問題などを例に、スポーツが抱える暴力性について考察していきます。	テーマに関する資料を集め、スポーツと暴力についてレポートにまとめる。(5時間)
11	スポーツにおけるハラスメント	指導者によるセクシャルハラスメントや『監督絶対』といわれるパワーハラスメントの実態を考え、スポーツにおけるハラスメントについて考えていきます。	テーマに関する資料を集め、スポーツのハラスメントについてレポートにまとめる。(5時間)
12	社会から影響を受けるスポーツ	オリンピックのボイコットやテロ事件などを事例に、スポーツと「政治」「宗教」「経済」「環境」「文化」などの社会とスポーツの関係について考察していきます。	テーマに関する資料を集め、スポーツと社会についてレポートにまとめる。(5時間)
13	体育授業は必要か	子どもの体力低下問題や体育嫌いといった事例を通して、学校教育において体育という教科は必要かどうかを考えます。	テーマに関する資料を集め、体育授業についてレポートにまとめる。(5時間)
14	スポーツの新しい役割	複雑化する現代社会においてスポーツにはどのようなことが期待されているのかを考察し、これまでとは違ったスポーツの新しい役割を考えていきます。	テーマに関する資料を集め、スポーツへの期待についてレポートにまとめる。(5時間)
15	スポーツは必要か	「人間にとってスポーツとは何か」「現代社会におけるスポーツの役割」といった難解で根源的な問いに正面から取り組んでみます。	テーマに関する資料を集め、スポーツの価値と意味についてレポートにまとめる。(5時間)

テキスト

「教養としての体育原理　新版 」友添・岡出　共編編（大修館書店）
ISBN:9784469267976（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：70%　レポート：30%
ここで示しているレポートは、講義時間内で書く課題レポートと講義後にまとめるレポートの両方を指します。Sは定期試験が9割以上で、レポートに自分の考えが資料を踏まえ論理的にまとめられている場合です。以下、Aは定期試験が8割以上で、レポートは資料に基づき、自分の考えがまとめられている場合。Bは定期試験が7割以上で、レポートは自分の考えに近い資料の内容が書かれている場合。Cは定期試験が6割以上で、レポートの内容がテーマに即したものであった場合です。

参考書

「スポーツ倫理学講義」川谷茂樹著（ナカニシヤ出版）
ISBN：9784888489232

履修上の注意（学生へのメッセージ）

運動・スポーツの指導者として必須の内容です。原理（哲学）というと難解な部分もありますが、これまでの運動経験や実際の運動場面を意識したり、テーマについて事前に考えて講義に臨むと理解できます。

科目名	スポーツ心理学	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL15002	研究室	S-20
担当者	齊藤　茂	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	実践指導者、指導士、ﾚｸ・ｺｰﾃﾞｨ(通常)、ﾄﾚ指、日体協ｽﾎﾟ指、ｽﾎﾟ・ﾚｸ指、中一(保体)、高一(保体)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○		△	△	△	△	

授業概要

本講義では、運動・スポーツ心理学、中でも「健康心理学」に関する理論を中心に学んでいきます。具体的には、「心の健康」（適応と不適応）に関する様々な理論、「ストレスマネジメント」に関する理論（心理学的ストレスモデル（認知的評価）やアセスメント等）及び「行動変容理論」（「トランスセオレティカル・モデル」を中心に）について学びます。

学修到達目標

受講者各自が、健康運動の指導現場へ応用できる実践的知識及び技能（ストレスマネジメントの方法や行動変容のための働きかけ等）を修得することを到達目標とします。また、日常生活においても自分自身の心の状態に興味を持ち、自らの生活に役立てられることを望んでいます。

授業の進め方

講義が中心となりますが、授業内容に即したビデオ、DVD等の視聴覚教材等を適宜提示活用しながら、作業や討論を交え授業を進めます。また、実際に心理テスト等の体験を通して、心理テストの内容と同時に、自分自身の心の状態についても知ることができます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	心理テストを体験した後、本講義についてのガイダンスを行います。	シラバスを熟読し、講義内容について理解しておく。（2時間）
2	心の健康とは？①	心の健康とは「心が病んでいないばかりではなく、個人が社会の中で快適に適応している状態」であるとされている。この「適応している」状態（あるいは「不適応」）とはどういうことなのか考えます。	精神的に健康な人とは具体的にどのような人か、各自が考えを持ち授業に参加をする。（4時間）
3	心の健康とは？②	心の健康とは、具体的にどのような状態をいうのか、様々な研究者の理論に共通するポイントについて学びます。	事前に配布されたテキスト（コースパケット）の該当部分を熟読してくる。（4時間）
4	心の健康とは？③	第3回に引き続き、心の健康について、様々な研究者の理論に共通するポイントについて学びます。また、高齢者の心理的特徴を子どもや青壮年の心理と比べながら理解します。	事前に配布されたテキスト（コースパケット）の該当部分を熟読してくる。（4時間）
5	心の健康とは？④	「適応」とは逆の「不適応」について、適応に悩む「人格障害」等の例を取り上げて具体的に学びます。	事前に配布されたテキスト（コースパケット）の該当部分を熟読してくる。（4時間）
6	ストレスマネジメントの理解①	ストレス（反応）について、テキスト（コースパケット）をもとに学びます。	事前に配布されたテキスト（コースパケット）の該当部分を熟読してくる。（4時間）
7	ストレスマネジメントの理解②	心理学的ストレスモデル（認知的評価）について、テキスト（コースパケット）をもとに学びます。	各自の実体験と照らし合わせて考えてみる。（4時間）
8	ストレスマネジメントの理解③	ストレスのアセスメント（ストレスを修飾する要因である性格や行動パターンも含む）について、テキスト（コースパケット）をもとに学びます。	ストレスのアセスメント結果について、考察を行う。（4時間）
9	ストレスマネジメントの理解④	交流分析の理論について学びます。実際に交流分析を体験することを通して、自分自身の交流のパターンを理解し、ストレスマネジメントに役立てます。	交流分析の結果について、自分なりの分析を行い、レポートを作成する。（4時間）
10	ストレスマネジメントの理解⑤	一般的なストレス対処法（ストレスコーピング）について、テキスト（コースパケット）をもとに学びます。	日常から自分が用いているストレスへの対処法について考えてみる。（4時間）
11	ストレスマネジメントの理解⑥	ストレス対処法について、カウンセリングや自己開示を中心により専門的に学びます。	日常から自分が用いているストレスへの対処法（自己開示）について考えてみる。（4時間）
12	運動実践に伴う心理社会的効果	運動実践に伴う恩恵（気分の改善や抑うつの改善）と弊害（摂食障害やバーンアウト等）について、テキスト（コースパケット）をもとに学びます。	運動実践に伴う恩恵と弊害について考えてみる。（4時間）
13	行動変容の理論	「トランスセオレティカル・モデル」について、行動変容プロセス、行動変容ステージ、及び構成概念間の関係（ステージマッチド介入）について、テキスト（コースパケット）をもとに学びます。	自分が実際に指導者になった際、どのように応用できるか考えてみる。（4時間）
14	行動変容理論の実践的適用	指導者と受講者のミスマッチに気づき、その解決法について考える。個別指導における動機づけ、カウンセリングについて、受講者同士のディスカッションを取り入れながら学びます。	自分が実際に指導者になった際、どのように応用できるか考えてみる。（4時間）
15	まとめ	これまでの講義のまとめを行いながら、定期試験のための対策を行います。	これまでの講義について復習を行い、不明な点等は質問できるように準備を行う。（6時間）

テキスト

コースパケット（参考文献等の資料を集めた冊子）を授業の中で配布します。

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　受講態度：20%
S：授業に対して積極的かつ探究的に参加し、授業内容を様々な事象に対して応用ができるレベルにまで理解している。A：授業に対して積極的に参加し、授業内容を理解している。B：授業に対して積極的に参加し、授業内容をおおよそ理解している。C：授業内容について最低限理解している。
なお、受講態度は授業における課題等に取組む姿勢により評価します。

参考書

「健康運動指導士養成講習会テキスト下」（健康・体力づくり事業財団）
「スポレク活動で健康寿命を延伸」（日本レクリエーション協会）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

競技スポーツ及びコーチングに関する内容は、2年次後期開講のスポーツカウンセリングおよび3年次前期開講のスポーツコーチング論で主に扱うため、これらの講義を併せて受講することを奨励します。

科目名	スポーツマネジメント論	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL26036	研究室	S-18
担当者	新井　喜代加	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限		
関連資格	ﾚｸ・ｺｰﾃﾞｨ(通常)、日体協ｽﾎﾟ指、日体協ｱｼﾏﾈ、中一(保体)、高一(保体)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○	△		△	△	△	

授業概要

スポーツマネジメントは、現場における実践との連携を重視する学問であり、スポーツの多くの場面に関係してきます。本講義では、スポーツマネジメントの基礎理論を理解し、総合型地域スポーツクラブのマネジメントについて検討します。また、昨今、注目されているリスクマネジメントの視点から、学校およびスポーツ関係組織におけるスポーツのマネジメントについて検討します。

学修到達目標

スポーツマネジメントの理論および実践的方法について理解し、スポーツに関する事象についてマネジメントの側面から捉えることができる。

授業の進め方

できる限りテキストに従って講義を進めていきます。また、講義に関連する新聞記事等もテキストとして取り上げます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業のねらい、授業内容、評価方法、詳細な留意事項等について解説します	事前：シラバスを読む／事後：本授業のルールと配布資料の内容を確認する（4時間）
2	スポーツマネジメントの基礎知識1	テキストを用いて、スポーツ組織のマネジメントについて解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
3	スポーツマネジメントの基礎知識2	テキストを用いて、スポーツ組織の人材マネジメント、スポーツボランティアのマネジメントおよびスポーツ組織の財務について解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
4	スポーツマネジメントの基礎知識3	テキストを用いて、スポーツ組織のプロダクト、サービスの特性、スポーツサービスに特有の機能及びホスピタリティについて解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
5	スポーツマネジメントの基礎知識4	テキストを用いて、事業のマーケティングおよびマーケティング調査と必要な情報分析について解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
6	スポーツマネジメントの基礎知識5	テキストを用いて、マーケティングの活動手順およびマーケティング・ミックスの決定について解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
7	総合型地域スポーツクラブの育成と運営1	テキストを用いて、総合型地域スポーツクラブづくりの背景、創設および自主運営に必要な条件について解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
8	自己点検（中間チェック）	第1～7回までの授業の復習として、個々人が試験の予想問題および解答を作成します（アクティブラーニングの実施）	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
9	総合型地域スポーツクラブの育成と運営2	テキストを用いて、顧客とスタッフの定義およびNPO法人格の取得手続について解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
10	総合型地域スポーツクラブの育成と運営3	テキストを用いて、ボランティアスタッフの確保、活動拠点の確保、指定管理者制度、財源の確保について解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
11	体育およびスポーツのリスクマネジメント1（グループプロジェクト）	グループプロジェクトについて解説し、グループを決定します	事前：テキストの第1章を読む／事後：グループで取り組む課題を検討する（4時間）
12	体育およびスポーツのリスクマネジメント2（グループプロジェクト）	体育およびスポーツのリスクマネジメントに関する概念を解説し、グループで取り組む課題を決定し、それに関する資料を収集します	事前：テキストの第1章を再読する／事後：グループの課題に取り組む（4時間）
13	体育およびスポーツのリスクマネジメント3（グループプロジェクト）	グループレポートのアウトラインを作成し、進捗状況を報告します	事前：グループの課題に取り組む／事後：グループレポートを執筆する（4時間）
14	体育およびスポーツのリスクマネジメント4（グループプロジェクト）	グループレポートをまとめ、互いのレポートを読み、提出します	事前：グループレポートの内容を確認する／事後：リスクマネジメントについて復習する（4時間）
15	まとめ	授業の総括として模試を実施します	事前：試験勉強をする／事後：試験勉強をする（4時間）

テキスト

「公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅱ（第12刷）」公益財団法人日本体育協会編(別途、指示します。)　講義にてレジメとして配布します。

成績評価の方法・基準

定期試験：50%　出席レポート：40%　課題：10%
出席レポート（40%）は第1回が1点、第2～14回が各3点です。評価基準は次の通りです。S：授業内容を十分理解し、批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、難解な応用問題が解ける/A：授業内容を理解し、探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、応用問題が解ける/B：授業内容を大体理解し、積極的に課題に取り組み、授業で出題したレベルの問題が解ける
/C：授業内容を大体理解し、課題に取り組み、基本問題が解ける

参考書

「よくわかるスポーツマネジメント」柳沢和雄ほか編（ミネルヴァ書房）
ISBN：978-4-623-08014-4
「体育・部活のリスクマネジメント」小笠原正・諏訪伸夫編（信山社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

積極的な態度で授業に臨み、授業で学習したことを必ず復習してください。

科目名	近代スポーツ史	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL16034	研究室	S-22
担当者	中島　弘毅	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日2限		
関連資格	中一(保体)､高一(保体)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○	△		△	△	△	

授業概要

私たちが歴史を学ぶことの意義は、「自分の現在を今までの過去の経験に関連させることで、自分がどこから来たのか、どこに向けて進んでいるのかの位置確認をし、未来に向けて何ができるかの手がかりを獲得する思考作業」です。本講義では、スポーツがどこから来たのか、どこに向けて進んでいるのかを見据えながら、私たちは、未来に向けて何ができるのかを考えてゆくための基礎的知識の獲得を目指します。ここでは、主として17世紀後半から第2次世界大戦までを主として取り扱い、概観して行きます。

学修到達目標

スポーツがどの様に行われ、発展してきたのかをその時代背景と絡め合わせながら理解してゆきます。その基礎知識をベースとしながら現代のスポーツ事象を捉え、スポーツが今後どうあるべきかを考える基礎的能力を身につけます。

授業の進め方

基本的には教科書を用いて授業を進めます。必要に応じて資料としてプリントも配布して使用します。毎回、ミニテストを行ないます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	歴史を学ぶ意義について、スポーツ史とは何かについて理解します。	正しい選択をするためにはどうしたらよいかを考え、まとめます。（4時間）
2	人類の進化とスポーツ	人類の進化が身体文化としてのスポーツの発生にどの様に寄与したかを考えます。文書資料が存在しない時代のスポーツ史について現住する自然民族のスポーツの状況から読み解きます。	人類の進化における4つの出来事とスポーツの発生についてまとめます。（4時間）
3	古代の体育・スポーツ	古代ギリシア・ローマの体育・スポーツとオリンピア競技について学びます。	古代ギリシアとローマの体育・スポーツの違いについてまとめます。（4時間）
4	中世の体育・スポーツ	中世ヨーロッパにおいてどの様な身体訓練やスポーツ活動が行われていたのかをその時代背景を理解しながら学びます。	中世に行われていたスポーツと現代のスポーツとを関連させて考え、まとめます。（4時間）
5	日本中世の体育・スポーツ	日本における古代スポーツから中世におけるスポーツの変化について概観します。	当該時期にどの様なスポーツが行われていたのか、現代行われているスポーツと比べ、まとめよう。
6	ルネッサンスと体育・スポーツ	ルネッサンス期における体育思想を理解します。	時代の変化と体育思想の関係についてまとめます。（4時間）
7	日本近世の体育・スポーツ	武士の体育・スポーツと近世の養生思想について学びます。	近世日本の養生論を現代と結び付けてまとめます。（4時間）
8	国民国家の形成と近代体育の成立について（1）	近代教育思想と体育について学びます。	啓蒙思想の果たした役割についてまとめます。（4時間）
9	国民国家の形成と近代体育の成立について（2）	汎愛主義と学校体育の実践について学びます。	汎愛主義と学校体育への影響についてまとめます。（4時間）
10	国民国家の形成と近代体育の成立について（2）	国民国家と学校体育の関係について学びます。	国民国家の成立が学校体育にどのような影響を及ぼしたかをまとめます。（4時間）
11	近代スポーツの発達と近代オリンピックの創始	パブリック・スクールのスポーツと近代スポーツの普及について学びます。	パブリック・スクールでスポーツが取り入れられた意義についてまとめます。（4時間）
12	日本近代学校体育の成立	日本近代学校体育の成立過程について学びます。	時代背景と日本の近代学校体育成立過程の関係についてまとめます。（4時間）
13	近代スポーツの移入について	欧米近代スポーツの日本への移入について学びます。	どの様に日本で近代スポーツが広がって行ったかをまとめます。（4時間）
14	近代体育・スポーツの展開	アマチュアリズムとプロフェッショナルリズムについて学びます。	アマチュアリズムの発生と影響についてまとめます。（4時間）
15	まとめ	時代背景がスポーツに及ぼす影響を考えながら、スポーツ文化をどの様に展開することが望まれるのかを考えます。	正しい判断と歴史学習の意義についてまとめます。（4時間）

テキスト

「体育・スポーツ史概説」木村吉次 編著（市村出版）　ISBN:978-4-902109-19-1（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：70%　レポート：30%
S:95点以上　A:80点以上　B:70点以上　C:60点以上

参考書

「スポーツ史講義」稲垣正浩・谷釜了正著（大修館書店）　ISBN：4-469-26299-4
「現代史を学ぶ」渓内謙著（岩波新書394）　ISBN：4-00-430394-X

履修上の注意（学生へのメッセージ）

現代のスポーツ、未来のスポーツの在り方を考えながら授業に臨んでみましょう。
講義計画に該当する内容をテキストから探し、読んでおいてください。

科目名	運動学	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL25003	研究室	S-13
担当者	岩間　英明	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限		
関連資格	日体協ｽﾎﾟ指､中一(保体)､高一(保体)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

本講義はスポーツ指導の手がかりとなる基礎的理論を学ぶことを目的としています。運動指導における課題発見や解決の仕方を学び、自らの力で指導方法を組み立てることができるようにしていきます。講義内容はマイネルの「スポーツ運動学」の理論を基礎として、①運動構造　②運動発達　③運動学習　④運動質　⑤運動観察　などについて講義してきます。さらに、運動指導に関する実際の問題を採り上げ、指導者や学習者の両方の視点から検討を加えることで、実践的な指導力向上を目指します。

学修到達目標

運動を「構造的」に理解し、運動の「質」を見極めることのできる観察力や、その解決方法に関する基礎的な理論を理解することが基本的な目標です。さらに、運動学校体育や健康運動指導、競技スポーツの現場等において、学習者の運動課題を見つけ出し、その解決につながる指導方法を自らの力で組み立てることができる実践的な指導力を身につけることが最終的な目標です。

授業の進め方

基本的にはテキストや配付資料を基に講義を展開していきます。さらに、具体的な事例として実際の指導場面で直面する様々な問題を取り上げ、その解決方法を考えることでスポーツ運動学の基礎的知見をより明確化にして理解を深め、実践に結びつけていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス。 運動学は何を問題とし、何を学ぶ学問なのか。	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方についての説明をします。スポーツ運動学の概念、研究目的・方法などの概略について解説を行い、運動学の視点から捉えた運動研究のいくつかを紹介します。	テキストP1～11を事前に読む。授業内容の運動学の概略、専門用語について復習する。(3時間)
2	運動の学習とは何か。 運動学習の意味と、その基本的な見方を学ぼう。	運動指導におけるモルフォロギーの基本的考え方を理解し、運動学習の意味を改めて問い直し、これからの運動学習で求められるものは何かを学びます。	テキストP14～31を事前に読む。、運動学習の基礎理論について復習する。(3時間)
3	学習者が意欲的な運動学習をするために必要なことは何かを考えよう。	学習者が意欲的に運動に取り組むための学習方法を、健康運動指導、学校体育、競技スポーツなどの指導場面ごと、具体的な指導事例を挙げながら検討していきます。	テキストP32～57を事前に読む。「新しい運動学習」に関する課題レポートを作成する。(6時間)
4	動きを構造的に考えることの必要性とその方法を理解しよう。	運動指導に必要な運動の仕組み「構造」のとらえ方を、動きの意味によって構造化される「価値構造」と、動きの中に存在する様々な条件や「局面構造」を包含した「全体構造」の2つの視点から考えます。	テキストP60～68を事前に読む。運動を構造化する必要性とその方法を復習する。(4時間)
5	運動を洗練させるなめらかな動き、運動の先取りについて考えよう。	なめらかな動きをするために重要な役割を果たす「運動の先取り」について運動構造からとらえ、局面構造およびそれぞれの局面をスムーズに組み合わせるための基本的な動きの特徴をとらえます。	テキストP69～77を事前に読む。局面構造の特徴と、先取りについて復習する。(4時間)
6	力動感としての動きのリズム、運動観察ならびに運動共感について学ぼう。	運動指導では身体の空間的－図形的な内容だけでなく、身体の内部感覚である力動感としての「動きのリズム」が大切な視点であることを理解し、指導における運動観察、運動共感について学びます。	テキストP78～85を事前に読む。運動リズム、運動観察、運動共感について復習する。(4時間)
7	動きの系統性をふまえた段階的な指導、発達段階に応じた指導について学ぼう。	動きの系統性を動きの類縁性から理解し、習熟の程度に応じた段階的な指導について実践事例から学びます。また、年齢による運動の特徴を捉え、発達段階に応じた指導について解説します。	テキストP86～93を事前に読む。動きの系統性、発達段階に応じた指導の仕方を復習する。(4時間)
8	運動の習熟の仕方と、運動修正の基本的な考え方や方法について考えよう。	運動の習熟の程度の違いについて学習し、そうした違いが生まれる原因や背景を考えます。同時に、運動の修正方法の見つけ方や、運動修正に関する基本的な知識や考え方やについて学びます。	テキストP94～109を事前に読む。「動きの構造」に関する課題レポートを作成する。(6時間)
9	動き方を覚え、うまくなるとはどういうことか、その過程で大切なこととは何？	運動学習の習熟位相（動きを覚える段階）理論について学習し、動きを覚える過程について理解します。また、動きを覚えるために必要な条件について学びます。（運動スキル獲得とその獲得の過程）	テキストP112～126を事前に読む。事例に基づき、習熟位相について復習する。(4時間)
10	良い指導とは何か、指導者によって運動結果に差が生ずる理由を考えよう。	指導者が学習者の運動を修正する4つの指導レベルについて学習し、指導効果を上げるために必要な情報や、よりよい指導者を目指すための視点や条件などについて考えます。(人や集団のメカニズムと支援対象)	テキストP127～133を事前に読む。指導者の4つの指導レベルについて復習する。(4時間)
11	ポイントをとらえた指導や、意欲的に学習させるために必要なことを学ぼう。	運動技術の特性や学習者の欠点の把握の仕方などの指導ポイントのとらえ方を理解した上で、学習者が意欲的に運動学習するために、指導者はどうすればよいかを学びます。（競技力向上のための情報とその活用）	テキストP134～147を事前に読む。運動指導のポイントのとらえ方を復習する(4時間)。
12	学習者の動きの可能性を拓き、新しい動き方を覚えさせる方法を理解しよう。	学習者の動きの可能性を引き伸ばし、新しい動きを覚えさせるために必要な動きの発生順序に基づく動きの覚え方について理解します。また学習者自身の観察力を高める指導の仕方について考えます。	テキストP148～162を事前に読む。「動き方を覚える」に関するレポートを作成する。(6時間)
13	運動指導の実際Ⅰ 運動理論に基づく器械運動の指導について考えよう。	器械運動の特性や系統性を踏まえ、器械運動のいくつかの技を挙げて、効果的な指導をするためにはどのような指導をすればよいか、自分の経験と照らし合わせながら具体的に考えます。	テキストP172～195を事前に読む。器械運動の指導を技の系統性から復習する。(3時間)
14	運動指導の実際Ⅱ 運動理論に基づく陸上競技の指導について考えよう。	陸上競技の特性や系統性を踏まえ、短距離走と走り幅跳びを例に、効果的な指導をするためにはどのような指導をにすればよいか、自分の経験と照らし合わせながら具体的に考えます。	テキストP196～220を事前に読む。陸上競技のハードル走の指導をまとめてみる。(3時間)
15	運動指導の実際Ⅲ 運動理論に基づく球技の指導について考えよう。	球技の特性や系統性を踏まえ、ゴール型、ネット型、ベースボール型それぞれについて、効果的な指導をするためにはどのような指導をすればよいか、自分の経験と照らし合わせながら具体的に考えます。	テキストP229～254を事前に読む。球技の特性に応じた指導をまとめてみる。(3時間)

テキスト

「教師のための運動学」金子明友監修、古田茂、三木四郎編（大修館書店）
ISBN:9784469263350（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：70%　レポート：30%
レポートは学習のまとまりごと定着度の評価として3回に分けて実施します。
Sは定期試験は9割以上得点し、レポートが資料の内容を正しく理解してまとめられている場合です。以下、Aはテスト8割以上で、レポートは資料に基づいてまとめられている場合。Bは両テストが7割以上で、レポートは資料の内容が書かれている場合。Cはテストが6割以上で、レポートの内容が資料の内容が概ね書かれている場合です。

参考書

「スポーツ運動学」マイネル，K.　金子明友訳著（大修館書店）
ISBN：9784469260663
「運動学講義」金子　朝岡　共編　ISBN：9784469261776

履修上の注意（学生へのメッセージ）

運動・スポーツの指導者として必須の実践的な科目です。難解な用語もありますが、実際の運動場面を意識して学習を進めてください。また、講義計画に記載された事前事後学修を確実に行って講義に臨むと理解できます。

科目名	スポーツと法	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL26035	研究室	S-18
担当者	新井　喜代加	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日5限		
関連資格	日体協ｽﾎﾟ指、日体協ｱｼﾏﾈ、中一(保体)、高一(保体)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○	△		△	△	△	

授業概要

スポーツと法は密接な関係にあり、とりわけスポーツが高度化と大衆化と二極化している現代において、その関係はより広くより深くなっています。これに伴いスポーツに関する法は増加・多様化しており、スポーツ法学の対象も多岐に渡ります。本講義では、スポーツの普及・振興に関わる基本的課題をはじめ、暴力・体罰、ジェンダーとスポーツ、障害者スポーツ等、人権に関わる現代的課題、さらにスポーツ事故の法的責任等、スポーツと法が関わるテーマを取り上げます。

学修到達目標

(1) スポーツと法の関わりを認識できる
(2) スポーツに関する問題・課題を法的視点から捉えることができる
(3) 実際に身の回りで生じているスポーツに関する問題を法的視点から検討することができる

授業の進め方

本講義は、配布資料（レジメ）に沿って進めます。授業のテーマに関連する法が出てきた際には、スポーツ六法で確認します。また、スポーツに関する問題・課題を扱った新聞記事等もテキストとして積極的に取り上げます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業のねらい、授業内容、評価方法、詳細な留意事項等について解説します	事前：シラバスを読む／事後：本授業のルールと配布資料の内容を確認する（4時間）
2	スポーツ法の概説	レジメに沿って、スポーツ国家法、スポーツ固有法、スポーツ国際法について解説します	事前：テキスト「序説」を読む／事後：配布資料を復習する（4時間）
3	スポーツ権と法	レジメに沿って、国際憲章、国内のスポーツ権論について解説します	事前：テキスト「【解説】1スポーツ基本法」を読む／事後：配布資料を復習する（4時間）
4	スポーツ振興と法	レジメに沿って、スポーツ振興法、スポーツ基本法、諸外国のスポーツ振興関連法について解説します	事前：テキスト「【解説】2スポーツの行政と政策」を読む／事後：配布資料を復習する（4時間）
5	スポーツ団体と法	レジメに沿って、団体自治の原則、罪刑法定主義、処分・制裁・救済について解説します	事前：テキスト「【解説】3スポーツ関係団体」を読む／事後：配布資料を復習する（4時間）
6	ドーピングと法	レジメに沿って、世界アンチ・ドーピング条約、世界アンチ・ドーピング機構、日本アンチ・ドーピング機構について解説します	事前：テキスト「【解説】1スポーツ基本法」を読む／事後：配布資料を復習する（4時間）
7	暴力・体罰とスポーツ法	レジメに沿って、懲戒権、公務員上の責任、民事責任、刑事責任について解説します	事前：テキスト「【解説】9スポーツ事故」を読む／事後：配布資料を復習する（4時間）
8	ジェンダーとスポーツ法1	レジメに沿って、女性差別撤廃条約、ブライトン宣言、タイトルⅨについて解説します	事前：テキスト「【解説】6スポーツの享受と平等」を読む／事後：配布資料を復習する（4時間）
9	ジェンダーとスポーツ法2	レジメに沿って、セクシャル・ハラスメント、トランス・ジェンダー競技者の参加資格について解説します	事前：テキスト「【解説】6スポーツの享受と平等」を読む／事後：配布資料を復習する（4時間）
10	障害者とスポーツ法	レジメに沿って、障害者スポーツに関する国際規定、国内外における障害者スポーツに関する法について解説します	事前：テキスト「【解説】6スポーツの享受と平等」を読む／事後：配布資料を復習する（4時間）
11	スポーツ事故と法的責任1	レジメに沿って、道義的責任、法的責任、スポーツ指導者・管理者の注意義務について解説します	事前：テキスト「【解説】9スポーツ事故」を読む／事後：テキスト752-754頁を読む（4時間）
12	スポーツ事故と法的責任2	レジメに沿って、法的責任の減免、免責同意書、危険引き受けの原則について解説します	事前：テキスト「【解説】9スポーツ事故」を読む／事後：配布資料を復習する（4時間）
13	スポーツ事故と法的責任3	レジメに沿って、損害賠償、スポーツ保険、災害共済給付制度について解説します	事前：テキスト「【解説】11スポーツの補償」を読む／事後：配布資料を復習する（4時間）
14	スポーツ事故と法的責任4	レジメに沿って、スポーツのリスクマネジメントについて解説します	事前：テキスト「【解説】12スポーツの安全管理」を読む／事後：配布資料を復習する（4時間）
15	まとめ	授業の総括として模試を実施します	事前：試験勉強をする／事後：試験勉強をする（4時間）

テキスト

「標準テキストスポーツ法学」日本スポーツ法学会監修著浦川道太郎・吉田勝光・石堂典秀・松本泰介・入澤充編（エイデル研究所）　ISBN:978-4-87168-580-1（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：50%　出席レポート：40%　課題：10%
出席レポート（40%）は第1回が1点、第2～14回が各3点です。評価基準は次の通りです。S：授業内容を十分理解し、批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、難解な応用問題が解ける/A：授業内容を理解し、探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、応用問題が解ける/B：授業内容を大体理解し、積極的に課題に取り組み、授業で出題したレベルの問題が解ける
/C：授業内容を大体理解し、課題に取り組み、基本問題が解ける

参考書

「導入対話によるスポーツ法学〔第2版〕」井上洋一・小笠原正・川井圭司・齊藤健司・諏訪伸夫・濱野吉生・森浩寿編（不磨書房）　ISBN：978-4-7972-8541-3

履修上の注意（学生へのメッセージ）

積極的な態度で授業に臨み、授業で学習したことを必ず復習して下さい。

科目名	現代スポーツ論	学年学期	1年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL16033	研究室	S-14
担当者	等々力　賢治	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日3限		
関連資格	ﾚｸ・ｺｰﾃﾞｨ(通常)、ﾄﾚ指、日体協ｽﾎﾟ指、日体協ｱｼﾏﾈ、中一(保体)、高一(保体)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○	△		△	△	△	

授業概要

本講義は、現代スポーツに関する基礎的な知識を習得し、それを多角的な視点から理解することを目的としています。ワールドワイドな広がりをみせ、経済的・政治的・社会的諸関係を深めつつある現代スポーツについて多様な視点から理解を深め、今後の方向性についても探ります。また、現代スポーツは、テレビの強い影響もあって、変化・変貌を余儀なくされています。それについて、スター・プレーヤーの海外移籍や企業スポーツの崩壊等といった身近で具体的な事例を取り上げ、その原因や背景を明らかにします。

学修到達目標

本講義の学修到達目標は、現代スポーツに関する基礎的な用語や概念を習得し、それを経済的・政治的・社会的な関係の中でより多角的に理解できるようになることです。併せて、今後の我が国スポーツの発展について、本講義での学習を踏まえ、自分なりの意見や見解を持てるようになることも到達目標にしています。

授業の進め方

本講義は、新聞の切り抜きなどを利用し、時事的な話題等も含めて進めることを基本とします。また、ビデオを適宜使用すると共に、各時間「受講票」に質問事項などを記載してもらい、次時にはそれに答えることで理解をより深めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	本講義の進行計画・展開及び評価方法等を確認します。	事前：シラバスをよく読んでおく。事後:配付資料にある講義内容をよく確認する。（4時間）
2	文化としてのスポーツ	今日のスポーツは、歴史の中で様々に変容を遂げてきており、その意味で、各時代の民族性や生活様式などを反映した文化です。それを、マス・フットボールからサッカーへの発展を一例に示します。	事前：配付資料をよく読んでおく。事後:講義時の資料を読み直し理解を深める。（4時間）
3	社会的に存在するスポーツ	オリンピックに顕著なように、巨額の費用や開催都市・国家の理解や協力が必要であり、当事国に大きな影響をもたらします。このように、スポーツは、社会的諸関係の中で存在するものなのです。	事前：配付資料をよく読んでおく　事後:2020年東京大会について調べ問題点を調べる。（4時間）
4	米国スポーツ界の人種問題	スポーツ大国であり平等・公平な国である(と言われる)米国ですが、その実態は必ずしもそうではありません。アフリカ系アメリカ人の三大プロ・スポーツへの進出史などを通じて、それを明らかにします。	事前:配付資料をよく読んでおく。事後:人種問題に関する新聞記事などを調べる。（4時間）
5	ボーダレス・グローバル化	1990年代以降、世界のトップ・スポーツ界で顕著になったスター・プレーヤーの海外移籍の背景には、ビジネス化に伴って展開されてきた「グローバル化戦略」があります。具体例を挙げて実態を探ります。	事前:配付資料をよく読んでおく。事後:配布資料を読んで復習し理解を深める。（4時間）
6	高騰するテレビ放映権料	前時で扱った「グローバル化戦略」について、それを支えるのがテレビ放映権料であり、それが近年高騰していること及び、それがもたらすルール変更などについて、問題点なども含め概観します。	事前:配付資料をよく読んでおく。事後:近年のルールの変更事例を調べてみる。（4時間）
7	スポーツのプロ化	1993年のJリーグ創設に象徴的なように、スポーツのプロ化が進んできました。その背景になにがあったのか。長期不況下で衰退した企業スポーツと地域の大きな期待という、二つの観点から明らかにします。	事前:配付資料を読んでおく。事後:企業スポーツの休廃部の事例について調べてみる。（4時間）
8	企業スポーツの歴史と役割	我が国のスポーツ界を支えてきたのは、学校体育と共に企業スポーツです。その歴史と特徴について、「日本型経営」という観点からその優位性と問題点を概観し、今後のあり方について考えてみます。	事前:「日本型経営」について調べておく。事後:身近な企業スポーツを調べてみる。（4時間）
9	企業スポーツの現状	「日本型経営」と密接な関係にある企業スポーツは、長期不況の中で休廃部を余儀なくされ、急速に衰退してきました。その状況を概観し、プレーヤーの人権及びプロ化等を含め、今後のあり方を展望します。	事前:企業スポーツの休廃部状況を調べておく。事後:配付資料をよく読み理解を深める。（4時間）
10	環境問題とスポーツ	環境問題とスポーツ、一見関係ないように思われますが、ゴルフ場造成と自然破壊、温暖化に伴うスキー場の閉鎖等の例は、それが間違いであることを示しています。両者の関係を知り、その共存の道を探ります。	事前:環境問題に関する国際的動向を調べておく。事後:配付資料を読みよく復習する。（4時間）
11	ドーピング問題の現状	ドーピングは、現代スポーツが抱える最大の問題の一つです。ドーピングの定義と歴史、国際的なアンチ・ドーピングの動向についても触れ、スポーツの発展方向に合致した解決策を考えます。	事前:ドーピング関係の記事を読んでおく。事後:配布資料を読んで理解を深める。（4時間）
12	変貌する障がい者スポーツ	障がい者スポーツの歴史は比較的新しいのですが、パラリンピックやプロの出現に見られるように、その隆盛には目覚ましいものがあります。その歴史を概観した上で、今後の発展方向についても展望します。	事前:関連する記事や書籍等を読んでおく。事後：車椅子テニスについて調べ理解する。（4時間）
13	女性スポーツの隆盛	各種テレビ中継に見られるように、今日、女性スポーツは活気を呈し全盛期にあります。とはいえ、それが順調に発展してきたわけでも、問題がないわけでもありません。そうした観点に立って概観します。	事前:スポーツ中継中の男女比を調べておく。事後:配付資料をよく読んで復習する。（4時間）
14	広がる地域クラブスポーツ	近年、スポーツと地域の関わりが深くなっています。それを象徴するのがJリーグであり、総合型地域スポーツクラブの相次ぐ創設です。そうした動向の概要と共に、その背景を明らかにします。	事前:地域クラブについて調べておく。事後:地域クラブを訪れ、実際に活動してみる。（4時間）
15	国策としてのスポーツ振興	経済規模という観点からすれば、我が国のスポーツ振興は依然として貧しいと表現せざるを得ません。ナショナル・トレーニングセンターの設置意義や役割なども含め、先進国と比較しつつ振興策を考えます。	事前:教科書P.67～78を読んでおく。事後:配付資料をよく読んで復習氏、理解を深める。（4時間）

テキスト

本講義は、新聞記事などの配付資料を利用して進めます。

成績評価の方法・基準

定期試験：75%　レポート：10%　出席レポート：15%
成績評価は上記3つの要素を合わせて行います。評価基準は次のとおりです。
S:各週の講義内容を関連づけて理解し、批判的思考力基づく探求姿勢をもって取り組み、講義外の諸課題も理解し解決方途を示すことができる。A:講義内容を理解し、積極的な探求姿勢で各課題に取り組み理解できる。B:講義内容の大凡を理解し、課題に誠実に取り組み、講義外の課題にも関心を寄せることができる。C:講義内容の60%程度を理解し、課題に誠実に取り組むことができる。

参考書

「グローバル化と日本のスポーツ」等々力賢治著（創文企画）　ISBN：978-4-86413-032-5　他
スポーツ関連書籍が沢山出版されていますので、講義内に適宜紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

自らの経験に基づくスポーツ観に閉じこもることなく、多角的で柔軟な見方や考え方で講義に臨んで欲しい。変化・変貌著しい現代スポーツが対象なので、事前学修の一環としてテレビ・新聞報道などに常に関心を持ってください。

科目名	レクリエーション論	学年学期	1年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SA16043	研究室	S-22
担当者	中島　弘毅	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日2限		
関連資格	実践指導者､ﾚｸ･ｲﾝｽﾄ､ﾚｸ･ｺｰﾃﾞｨ(通常)､ﾚｸ･ｺｰﾃﾞｨ(教育)､ｽﾎﾟ･ﾚｸ指､中一(保体)､高一(保体)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○		△	○		△	

授業概要

現代社会は、物質的豊かさから心の豊かさを求める時代へと変化してきています。この様な中においては、レクリエーションおよび余暇は人生の中で主要な位置を占め、より重要性を増してきています。ここでは、現代社会におけるレクリエーションの必要性を学ぶとともに、レクリエーション支援およびレクリエーションサービスなどについての基礎的知識の習得を目指します。また、余暇先進国を事例に取り、我が国のあり方について考えます。レクリエーションイベント企画実践の場も用意いたします。

学修到達目標

日本の現代社会における課題を理解し、レクリエーションを通してどのような支援ができるのかを考える能力を身につけます。また、レクリエーション支援に必要なプログラムの企画立案についても学び、企画立案し、プレゼンテーションする能力を身につけます。

授業の進め方

テキストを用いながら、各テーマについて説明していきます。また、その都度、テーマに対して自ら考えることを大切にして行くと共に、グループワークを取り入れながらそれぞれの意見を出し合い、議論を深めて行きたいと思います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	本講義の概要と進め方について、また、レクリエーション資格について説明します。豊かさとは何かについて考えます。	豊かさとは何かについてまとめます。（4時間）
2	現代社会における問題について	現代社会における問題点、QOLの時代における余暇の位置づけを通して人生・社会を豊かにするために何が重要なのかを考えます。	現代社会の問題について調べてくる。真の豊かさについて復習する。（4時間）
3	レクリエーションの意義、必要性ついて	レクリエーションの語源、レクリエーションの概念の変遷について学びます。	レクリエーションの定義について調べてくる。（4時間）
4	遊び学説について	遊びの生理学的な価値と遊びの社会学的な価値について学びます。	遊びの定義について調べてくる。（4時間）
5	レクリエーション運動の歴史について	古代ギリシャのレジャー観と古代ローマのレジャー観について学びます。	両者の違いについて復習しまとめる。（4時間）
6	近現代におけるレクリエーションの歴史について	産業革命から米国におけるレクリエーションの広がりについて学びます。	産業革命とレクリエーションの展開について調べてくる。（4時間）
7	レクリエーション支援について	レクリエーション支援の概念、使命、種類と方法、行動指針について学びます。	レクリエーション支援者に期待される役割について復習し、まとめる。（4時間）
8	ライフスタイルとレクリエーションについて	ライフステージごとの課題に対して「心の元気」を目的とするレクリエーション活動を媒体として、スポーツを取り込む効果と重要性について考えます。	ライフステージごとの課題を選択し、どの様なレク支援ができるかを調べ、まとめる。（4時間）
9	レクリエーション事業とは	レクリエーション事業の考え方、事業展開の手順（Plan-Do-See）、企画段階の実際について学びます。また、個々人のアセスメントに基づいたプログラム計画企画書の内容について学びます。	個々人のアセスメントに基づいたプログラム計画について復習する。（4時間）
10	レクリエーションイベントの企画について	レクリエーションイベントの企画書に必要な内容及び市民を対象としたプログラムの作り方と安全管理について学びます。レクリエーション事業の展開方法	レクリエーションイベントにおける安全管理について調べてくる。（4時間）
11	レクリエーションイベント企画の実際（1）	グループでレクリエーションイベントのアイデアを出し合い、企画書の骨子を作成します。	役割分担をして、担当部分を完成させる。（4時間）
12	レクリエーションイベント企画の実際（2）	グループでレクリエーションイベントの企画書を作成します。	発表原稿を作成する。（4時間）
13	レクリエーションイベント企画の実際（3）	パワーポイントでプレゼンテーション用のスライドを作成し、発表原稿を完成させ、練習をします。	より良いプレゼンテーションを実施するために練習をし、質疑応答対策を立てる。（4時間）
14	レクリエーションイベント計画のプレゼンテーション（1）	レクリエーションイベント計画のプレゼンテーションを行います。	他者のプレゼンテーションを聞き、気づきをまとめ、復習する。（4時間）
15	レクリエーションイベント計画のプレゼンテーション（2）	レクリエーションイベント計画のプレゼンテーションとまとめを行います。	他者のプレゼンテーションを聞き、気づきをまとめ、復習する。（4時間）

テキスト

「レクリエーション支援の基礎」(財)日本レクリエーション協会編（(財)日本レクリエーション協会）　ISBN:978-4-931180-81-9（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

課題：30%　定期試験：50%　レポート：10%　出席レポート：10%
課題には、プレゼンテーションとレク現場体験を含みます。S:95点以上
A:80点以上　B:70点以上　C:60点以上

参考書

「スポレク活動で健康寿命を延伸」公益財団法人　日本レクリエーション協会編

履修上の注意（学生へのメッセージ）

積極的に仲間と議論をし、テーマについて考えて行きましょう。
講義計画に該当する内容をテキストから探し、読んでおきましょう。

科目名	スポーツ行政・政策論	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SB36041	研究室	S-18
担当者	新井　喜代加	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日5限		
関連資格	ﾚｸ･ｺｰﾃﾞｨ(通常)､日体協ｽﾎﾟ指､ﾚｸ･ｺｰﾃﾞｨ(教育)､日体協ｱｼｽﾀﾈｰｼﾞｽﾎﾟ･ﾚｸ指､中一(保体)､高一(保体)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○		△		◎		

授業概要

日本ではスポーツの普及・振興のために国及び地方レベルのスポーツ行政組織がそれぞれのスポーツ政策を実施しています。本講義では、国および地方レベルにおけるスポーツ行政・政策に関する制度、組織および施策等について理解を深めます。また、特定領域におけるスポーツ政策に関する問題・課題についても検討します。

学修到達目標

スポーツ行政・政策に関する基本的知識を修得し、スポーツ行政・政策に関する問題・課題を検討することができる。

授業の進め方

できる限りテキストに従って講義を進めていきます。また、講義に関連する新聞記事等もテキストとして取り上げます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業のねらい、授業内容、評価方法、詳細な留意事項等について解説します	事前：シラバスを読む／事後：本授業のルールと配布資料を確認する（4時間）
2	スポーツ行政・政策の研究	スポーツ行政・政策に関する研究の意義、動向、課題等について解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
3	スポーツ行政・政策の組織	国及び地方レベルにおけるスポーツ行政組織について解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
4	スポーツ行政・政策の形成過程	国および地方レベルにおけるスポーツ政策の形成過程について解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
5	スポーツ行政・政策の財政	スポーツ財政の意義、実態および課題について解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
6	スポーツの振興計画	スポーツの行政計画の体系および実施について解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
7	スポーツ政策の主体と構造	スポーツ政策ネットワークおよびスポーツ組織と行政のパートナーシップについて解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
8	スポーツの大衆化政策	スポーツ基本法およびスポーツ基本計画等に基づき生涯スポーツ行政・政策や健康体力行政・政策について解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
9	競技スポーツ行政・政策	日本および諸外国における競技スポーツ行政・政策、競技団体のガバナンスおよびアンチドーピング政策について解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
10	スポーツ施設と行政・政策	日本におけるスポーツ施設の現状と課題について解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
11	学校体育行政・政策	日本における学校体育行政・政策をはじめ、運動部活動の政策、体育教員を巡る諸施策について解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
12	地方自治体のスポーツ行政・政策	日本の地方自治体におけるスポーツ行政・政策について解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
13	地域スポーツクラブとその施策	日本の地域スポーツクラブの代表例である総合型地域スポーツクラブに関する行政・政策について解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
14	スポーツと地域社会	コミュニティの資源としてのスポーツについて解説します	事前：前授業の配布資料を読む／事後：本授業の配布資料を復習する（4時間）
15	まとめ	授業の総括として模試を実施します	事前：試験勉強をする／事後：試験勉強をする（4時間）

テキスト

適宜配布します。

成績評価の方法・基準

定期試験：50%　出席レポート：40%　課題：10%
出席レポート（40%）は第1回が1点、第2～14回が各3点です。評価基準は次の通りです。S：授業内容を十分理解し、批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、難解な応用問題が解ける/A：授業内容を理解し、探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、応用問題が解ける/B：授業内容を大体理解し、積極的に課題に取り組み、授業で出題したレベルの問題が解ける
/C：授業内容を大体理解し、課題に取り組み、基本問題が解ける

参考書

「スポーツ政策の現代的課題」諏訪伸夫ほか編（日本評論社）　ISBN：978-4-535-58514-0
「スポーツ政策論」菊幸一ほか著（成文堂）　ISBN：978-4-792-38067-0

履修上の注意（学生へのメッセージ）

積極的な態度で授業に臨み、授業で学習したことを必ず復習してください。

科目名	スポーツビジネス論	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SB36040	研究室	S-14
担当者	等々力　賢治	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日3限		
関連資格	中一(保体)､高一(保体)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎				◎		

授業概要

本講義は、各種スポーツ産業を例に、スポーツビジネスに関する基礎的な用語や概念を習得し、その現状と果たすべき役割などについて理解を深めます。また、スポーツビジネスの構造や特性を明らかにし、バブル経済崩壊後の長期不況の中で縮小・停滞を余儀なくされている現状を分析し、健闘している分野を鳥瞰し今後の発展方策を探ります。その上で実際に、3人～5人でグループをつくり、関連企業を訪問調査しレポートにまとめ、発表し討議に付します。なお、レポート作成の過程では、適宜アドバイス、添削を行います。

学修到達目標

本講義の学修到達目標は、スポーツビジネスに関連する基礎的な用語や概念を理解、習得し、さらに、その構造と特性について理解することです。加えて、現状を把握するために企業を訪問調査し、レポートにまとめること、そして、それを発表し討議することを通じて理解を深めることも到達目標にしています。

授業の進め方

本講義は、まず、『レジャー白書』などを使ってスポーツビジネスの現状に対する理解を深め、フィットネスクラブやスポーツ観戦などの市場構造や現状を具体的に把握、検討します。その上で、身近なスポーツ企業をグループで訪問調査しレポートにまとめます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	本講義の進行計画・展開及び評価方法等を確認します。	事前:シラバスに目を通しておく。事後:配布資料にある各時間の講義内容を確認する。(4時間)
2	スポーツビジネスとは	スポーツビジネスとは、スポーツを商品として扱い利益を得ることを目的とする行為、活動です。それを具体的に担うのがスポーツ産業であり、ポーツに関わる「モノ・場・サービス」の提供者であるのです。	事前:ビジネスという概念を調べておく。事後:モノとサービスについて整理してみる。(4時間)
3	スポーツ市場規模の推移	我が国におけるスポーツ市場規模を見ると、1980年に3兆円でしたが90年には約6兆円に急成長し、その後は、バブル経済崩壊に伴う長期不況下で4兆円前後で推移してきています。	事前:前時の配布資料をよく読んでおく。事後:資料の種目別規模の推移をグラフ化する。(4時間)
4	スポーツ市場領域の広がり	スポーツビジネスとはスポーツに関わる「モノ・場・サービス」の提供者であり、それゆえ対象領域は極めて広いのです。加えて、異業種からの参入によってハイブリッド性が大きな特徴となっています。	事前:ハイブリッドの意味を調べておく。事後:ゴルフを例に領域の多様性を確認する。(4時間)
5	時間消費・立地重視型産業	スポーツ活動に、一定の時間と場所が不可欠であるのは多言を要しません。したがって、関連産業(ビジネス)もまた同様であり、時間消費型・立地重視型産業という特性を不可避的に備えることになります。	事前:産業特性という用語を調べておく。事後:特性を、実際のスポーツで確認してみる。(4時間)
6	スポーツ財（商品）の概要	3時限目に配布した資料に基づいて、スポーツ財を物財とサービス財に分類し、それぞれの規模と推移を把握します。加えて、この他に、する場所＝スポーツスペースや公営ギャンブルといった領域が存在します。	事前:3時限目の資料に目を通し確認しておく。事後:競馬など公営ギャンブルを調べる。(4時間)
7	スポーツ需要の概要	一般的に、市場を構成するのは、これまで扱った産業＝供給者と商品、そして需要です。本時は、スポーツ需要・消費者の二極化とアクティブ派の増加という観点から見、前者の解決策を探ってみます。	事前:市場の構成要素について学んでおく。事後:アクティブ派の増加の影響を調べる。(4時間)
8	ゴルフ市場の規模と構造	ゴルフ関連市場は、我が国のスポーツ市場の約35%を占めます。しかもそれは、クラブなどのモノ、プレーフィーなどのサービス、そしてゴルフ場というスペースなど多岐にわたり、大きな影響を及ぼします。	事前：戦後のゴルフブームを調べておく。事後：身近なゴルフ練習場を訪れ利用してみる。(4時間)
9	フィットネス市場の構造	フィットネスクラブは、1980年代に、我が国のスポーツ市場がサービス産業化を進めた際の象徴的な存在でした。それは、激化する競争環境下で、次々に新たな商品を開発して市場に投入してきています。	事前:フィットネスクラブ史を調べておく。事後:身近な施設を訪れ実際に利用してみる。(4時間)
10	スポーツ観戦市場の構造	スポーツ観戦市場は、プロ・スポーツ市場と同義です。最高のモノや場所＝スペースを使い、最高のサービスを提供するプロ・スポーツは、スポーツ市場発展の牽引役ですが、現在はまだ小粒です。	事前:Jリーグの市場規模を調べておく。事後:戦後のプロ・スポーツ市場の推移を調べる。(4時間)
11	関連企業への訪問調査準備	関連企業を訪問調査するにあたって、グループ、テーマ、調査内容、訪問対象・期日などを決定する必要があります。まずグループメンバーを確定した上で、それらの確認作業を進めます。	事前:訪問企業の候補を各自考えておく。事後:対象企業にアポを取り訪問の了解を得る。(4時間)
12	関連企業への訪問調査	前時で確認した諸項目に基づいて、訪問先にアポを取って説明し了解を得て訪問します。その際は、あらかじめ用意した質問内容を中心に聞き取りを行い、内容をメモ書きして後日整理します。	事前:訪問先企業にアポを取って了解を得る。事後:聞き取った内容を整理しまとめる。(4時間)
13	作成要領の確認と執筆	レポート執筆にあたって、体裁や字数など必要な事項について共通に理解し、企業を訪問し聞き取った内容に基づいて実際に執筆を進めます。先立って、メンバー間で意見交換し統一性を持たせるよう努めます。	事前:聞き取った内容を整理しておく。事後:執筆前に意見交換し統一性を持たせる。(4時間)
14	レポート報告と討議(1)	執筆したレポートを基に、レジュメやパワーポイントを作成して発表に臨みます。発表時間10分、討議8分を目安に進め、論点を明確にして討議が積極的に行われるよう努めます。	事前:発表者、司会、タイムキーパーを決めておく。事後:討議を参考に修正を加える。(4時間)
15	レポート報告と討議(2)	執筆したレポートを基に、レジュメやパワーポイントを作成して発表に臨みます。発表時間10分、討議8分を目安に進め、論点を明確にして討議が積極的に行われるよう努めます。	事前:前時の発表を参考に内容を修正する。事後:討議を参考に修正を加えて提出する。(4時間)

テキスト

テキストは使用せず、『レジャー白書』などの資料を適宜使って進めます。

成績評価の方法・基準

レポート：70%　小テスト：15%　出席レポート：15%
成績評価は、グループレポートの出来具合を中心に行います。評価基準は次のとおりです。S;調査内容が明確で、レポートもまとまって取り組み、報告会でも成果が明示されている。A;調査内容が明確であり、一貫性が担保され、成果が明示されている。B;調査の体をなし、分担して執筆されており、報告会でも成果が明示されている。C;レポートは規定の字数を満たしているが、調査が十分でないなど準備不足が垣間見える。

参考書

「スポーツMBA」広瀬一郎著（創文企画）　ISBN：4-921164-44-4　他
スポーツ・ビジネスに関連する連する書籍は、国内外を問わず沢山出版されています。積極的に手にしてみてください。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

スポーツビジネスに対する興味・関心を大切に、グループで実際に訪問調査を行い、レポート化してもらうことを予定しています。したがって、そうしたことを厭わず、積極的に参加することを強く要望します。

科目名	生理学	学年学期	1年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL16001	研究室	S-24
担当者	河野　史倫	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日5限		
関連資格	第一種衛生､中一(保体)､高一(保体)､養教一､中一(保健)､高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○	△		△	△	△	

授業概要

健康とはどんな状態か？病気になる時、体の中ではいったい何が起こっているのか？それらを理解するためには、人間の体の正常な機能を知っておく必要があります。本科目では、血液や心循環、筋収縮、神経伝達、内分泌、免疫、呼吸、消化・吸収など、身体機能の仕組みについて幅広く講義を行います。運動や食習慣による健康づくりについて科学的に考えるための基盤となる知識を習得するのが目的です。

学修到達目標

ヒトの各身体機能について、それぞれの主な仕組みを説明できるようになることが目標です。

授業の進め方

講義は指定のテキストに沿って進めていきます。必要な部分は、テキストにはない写真やデータも参考にしながら、よりイメージしやすくなるように解説していきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	血液	血液組成と血液の機能、貧血について、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの第2章を読み、全体の内容を把握しておくこと。授業ノートをまとめ直す。（4時間）
2	免疫	免疫反応とは何か？生体の防御機構とその害について、配布資料とスライドを使って解説します。	授業後は授業ノートを再度まとめ直す。（4時間）
3	循環器1	心臓の仕組みと心電図の見方について、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの第3章（p37まで）を読み全体の内容を把握しておくこと。（4時間）
4	循環器2	血管と血圧調節の仕組みについて、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの第3章（後半）を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。（4時間）
5	呼吸	肺の構造と酸素取り込み、肺活量とは何か？について、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの第4章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。（4時間）
6	消化・吸収	各消化器官で水分や栄養がどのように吸収されるのか、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの第5章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。（4時間）
7	腎機能と尿	腎臓の作りと尿の生成、利尿作用について、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの第6章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。（4時間）
8	前半のまとめ	第1回～第7回までの講義内容に関する試験を実施し、解答と解説を行います。	授業前半の内容をまとめ、理解しておくこと。（4時間）
9	代謝	全身の代謝量を知る方法について、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの第7章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。（4時間）
10	体温調節	熱の産生と放散、発汗のメカニズムについて、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの第8章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。（4時間）
11	骨格筋	筋肉の種類と収縮の仕組みについて、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの第11章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。（4時間）
12	神経伝達	神経細胞の作りと神経伝達の仕組みについて、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの第12章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。（4時間）
13	自律神経	交換神経と副交感神経、体の機能を維持するための様々な反射について、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの第13章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。（4時間）
14	脳機能	部位と役割、記憶、睡眠、情動が起こるメカニズムについて、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの第14章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。（4時間）
15	感覚器	視覚、聴覚、平衡感覚の仕組みについて、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの第15章を読み全体の内容を把握しておくこと。ノートをまとめ直す。（4時間）

テキスト

「やさしい生理学」彼末一之、能勢博編（南江堂）　ISBN:978-4-524-25417-0（生協で購入してください。）　第7版に改訂されたので注意すること

成績評価の方法・基準

小テスト：30%　定期試験：70%
S：各種生理機能について深く理解しているだけでなく、それらの知識を活用し実際に生体内で起こる事象について的確な説明および考察ができる。A：授業内容を細部まで理解し、毎時間のまとめの内容以外の問題も解ける。B：毎時間のまとめの内容を完全に理解し、問われ方が変わっても正解できる。C：毎時間のまとめの内容を理解し、それらに関する試験問題が解ける。

参考書

必要な場合は、プリントなどで配布します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

単に専門用語を覚えるだけではなく、自分の体に日頃起こることをイメージしながら講義を聞いてください。用語よりも”仕組み”全体を理解しようとすることで、より理解しやすくなります。

科目名	運動生理学	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SA26005	研究室	S-24
担当者	河野　史倫	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日4限		
関連資格	実践指導者、指導士、第一種衛生、ﾄﾚ指、ｽﾎﾟ・ﾚｸ指、中一(保体)、高一(保体)、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			○		△	

授業概要

健康になるため、または健康を維持するために運動を行います。運動は様々な生理的刺激となり、カラダはそれに対して適応する過程で運動効果が表れます。スポーツの場面においてパフォーマンスを向上するためにトレーニングを行うことは、カラダの適応能力をさらに引き出しているということになります。本科目では、運動がどのような生理的刺激となり、身体機能にどのような影響を与えるのかについて講義を行います。

学修到達目標

運動がどのような生理的刺激となるのか、運動によってカラダはどんな反応を示すのか、それらを結びつけるメカニズムを理解し的確に説明できること、運動がなぜ健康づくりに重要なのかを科学的に考察できるようになることを目標とします。

授業の進め方

講義は指定のテキストに沿って進めていきます。板書やスライドも必要に応じて併用します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	運動と疾病	生活習慣や加齢に伴う疾病について、若年期の生理機能と比較しながらテキストとスライドを使って解説します。	テキストの14章を読んでおくこと（4時間）
2	代謝	運動中のエネルギー代謝について、テキストとスライドを使って解説します。	授業ノートをまとめ直し、テキストの5章を読んでおくこと（4時間）
3	骨格筋1	筋の構造と収縮の仕組み、テキストとスライドを使って解説します。	授業ノートをまとめ直し、テキストの1章を読んでおくこと（4時間）
4	骨格筋2	筋の種類と性質の違いについて、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの1章を読んでおくこと。前回の講義内容を復習しておくこと。（4時間）
5	神経1	骨格筋がどのように神経支配を受けているのか、テキストとスライドを使って解説します。	授業ノートをまとめ直し、テキストの2章を読んでおくこと。（4時間）
6	神経2	筋力調節、神経筋で起こる反射について、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの2章を読んでおくこと。前回の講義内容を復習しておくこと。（4時間）
7	神経・筋の可塑性	運動・トレーニングによる神経・筋の変化について、テキストとスライドを使って解説します。	授業ノートをまとめ直し、テキストの1章～2章を読み直しておくこと。（4時間）
8	前半のまとめ	前半の講義内容に関する試験を実施し、解答と解説を行います。	第1回～第7回の授業で作成したノートを復習し、重要な点は説明できるようにする。（4時間）
9	呼吸	酸素の取り込みと消費、運動強度による酸素消費量の変化について、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの3章を読んでおくこと。授業後は、7章もしっかり読んでおくこと。（4時間）
10	循環	心機能と運動による血圧変化について、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの4章を読んでおくこと。授業後は、7章もしっかり読んでおくこと。（4時間）
11	体温	体温と体水分調節、運動や暑熱による脱水や熱中症について、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの6章と10章を読んでおくこと。授業後は、7章もしっかり読んでおくこと。（4時間）
12	運動と栄養	栄養によるエネルギー代謝やトレーニング効果の変化、サプリメントの効果について、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの8章と12章を読んでおくこと。（4時間）
13	骨	骨の構造と運動負荷の影響、宇宙飛行士の骨密度低下について、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの11章を読んでおくこと。（4時間）
14	免疫	運動による免疫機能の変化、筋損傷した時の免疫システムについて、テキストとスライドを使って解説します。	テキストの9章を読んでおくこと。（4時間）
15	老化	加齢に伴う身体機能の変化や運動による老化予防の仕組みについて解説します。	授業後はノートをまとめ、重要な点は説明できるようになること。（4時間）

テキスト

「運動生理学　生理学の基礎から疾病予防まで」小山勝弘、安藤大輔、山北満哉、北川淳、小野悠介、藤田諒著小山勝弘、安藤大輔編（三共出版）
ISBN:978-4-7827-0687-9（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

小テスト：30%　定期試験：70%
S：各種生理機能について深く理解しているだけでなく、それらの知識を活用し実際に生体内で起こる事象について的確な説明および考察ができる。A：授業内容を細部まで理解し、毎時間のまとめの内容以外の問題も解ける。B：毎時間のまとめの内容を完全に理解し、問われ方が変わっても正解できる。C：毎時間のまとめの内容を理解し、それらに関する試験問題が解ける。

参考書

必要に応じてプリント等を配布します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

生体機能の可塑性は複雑な仕組みであり、まだ分かっていないこともたくさんあります。本講義で得た知識を使って、実際に運動やトレーニングの方法や妥当性を科学的に考えることができるようになってほしいです。

科目名	発育発達論	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL25007	研究室	S-17
担当者	田邉　愛子	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日5限		
関連資格	実践指導者、指導士、日体協ｽﾎﾟ指、ﾚｸ・ｺｰﾃﾞｨ(教育)、日体協ｱﾝﾏﾈ、中一(保体)、高一(保体)、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○	△		△	△	△	

授業概要

スポーツ指導者や教育現場では、子どもたちの身体がどのような過程を経て大人へと成長していくかを理解することは重要なことです。そこでは単に遺伝的な素質が変容する過程としての変化ではなく、どのように子どもたちの才能を開花させるか、といった視点による発育発達理解が重要となります。ヒトが誕生してから思春期、そして成人以降の老化と体力や運動能力などの関連を理解するとともに、体力と遺伝的要因や運動の実践の有無など後天的要因との関連についても学習します。

学修到達目標

ヒトが誕生し、乳児期、思春期を向かえやがて加齢とともに老化します。その過程における発育発達の理解を深め、年齢による身体の変化と性差における差異を説明できるようになること。

授業の進め方

発育・発達に関して思考し、講義、作業、討論等を行う中でその認識を深めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	「発育」「発達」の概念	ガイダンス：発育・発達とはを考えます	シラバスを熟読すること（4時間）
2	生理学的年齢	発達をどう捉えるか遺伝的な影響要因の理解を深めます	年齢についての定義を調べること（4時間）
3	出産と乳幼児	ヒトの誕生と乳児期の運動能力および栄養について知識を深めます	事前の配布されるプリントを読むこと（4時間）
4	身体運動発現の順序性	幼児の運動能力の測定の問題点について課題を検討し測定方法について理解できるようにします	基礎運動技能について予習をしておくこと（4時間）
5	成長期における骨格の発達	発育・発達期の身体的特性①　身長・体重・骨格の発育および子どものけがについて理解できるようにします	骨格の構造について予習をしておくこと（4時間）
6	成長期における技術の発達	発育・発達期の身体的特性②　スキャモンの発育曲線と神経・筋コントロール能力について説明できるし、コーチング方法について知識を深めます	スキャモンの発育曲線を予習しておくこと（4時間）
7	運動能力構造の変化	発育・発達期の身体的特性③　筋と筋力の発達について筋肉の種類や特徴などを理解し説明できるようにします	プリントの復習すること（4時間）
8	身体発達に影響する要因と問題	発育・発達期の身体的特性④　エネルギー代謝量と最大酸素摂取量の発達について理解し説明できるようにします	プリントを復習すること（4時間）
9	女性における発育発達	発育・発達期の身体的特性⑤　女性の身体発達について性差の違いを理解できるようにします	女性の特徴について予習しておく（4時間）
10	性差による疾病やスポーツ障害について	性差における疾病やスポーツ障害の特徴について学び、その対処方法を理解できるようにします	スポーツ障害の発生起因などを予習しておくこと（4時間）
11	老化メカニズム	老化と運動①　高齢者の身体的特徴について理解を深めます	高齢者の特徴を調べておくこと（4時間）
12	老化メカニズム	老化と運動②　高齢者の体力と効果的な運動処方について理解を深めます	高齢者の体力の基準値を調べておくこと（4時間）
13	高齢者の心身機能	老化と運動③　高齢者の運動に対する応答について説明します	細胞・組織における老化について予習をしておくこと（4時間）
14	「健康とは」を考える	運動・栄養・休養からヒトにおける健康を総合的に理解できるようにします	事前課題について資料作成をしておくこと（4時間）
15	まとめ	講義全体のまとめと試験に向けて注意点などを説明します	今まで使用したプリントを熟読しておくこと（4時間）

テキスト

コースパケット（参考文献等の資料を集めた冊子）を授業の中で配布します

成績評価の方法・基準

レポート：10%　定期試験：90%
授業内レポートを評価し、定期試験では授業のプロセスの中で身につけた知識を評価します。95%以上のより高いレベルに達すればS、80%以上の理解度をA、70%以上をB、60%以上をCとします。

参考書

「健康運動実践指導者用テキスト」財団法人健康・体力づくり事業財団編

履修上の注意（学生へのメッセージ）

・授業の中で行う共同作業、および討論への積極的な参加を望みます。
・健康運動実践指導者用テキストを事前に読んでおくことが望ましい。

科目名	衛生・公衆衛生学概論	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL25008	研究室	N-04
担当者	弘田　量二	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日4限		
関連資格	第一種衛生、中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○	△		△	△	△	

授業概要

公衆衛生とは「地域社会の努力によって、疾病予防、寿命延長、身体的・精神的健康の増進を図る科学・技術である」と定義されています。社会や環境との関連において特に健康と疾病を集団の事象としてとらえ、個人はもとより集団レベルにおける疾病の予防と健康の保持・増進を図るためにはどうするかを学びます。人間集団の健康状態を把握するために国内外における保健統計、健康水準の定義と意義、人口問題が健康指標に及ぼす意味などを理解します。

学修到達目標

衛生管理者、保健体育の教諭資格の取得を目指します。これら資格取得のために必須要件となる健康と疾病を基盤とする公衆衛生学に関する知識と理解の養成を目的とします。公衆衛生学はその学修領域は広範で複雑であることから、日常時から社会問題についても関心を持ち極力身近な学問と認識して、能力を養うことを目標とします。

授業の進め方

健康と疾病との関係について、その予防対策を考慮した上で、年ごとに変化する関連統計情報や社会的報道等を資料として、身近な学問としての公衆衛生学を展開していきます。配布資料およびプロジェクターを用いた授業を進めていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス・健康とは何か	授業概要、学習到達目標、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明、質問します。公衆衛生学の概念として、健康の概念、公衆衛生の概念、定義を学習します。	事前にシラバスを読み、確認事項を整理しておく。授業後は履修事項をとりまとめる。（4時間）
2	食生活と疾病	糖尿病・高血圧などは、乱れた生活習慣に起因すると考えられています。さらにがんも食生活を改善することである程度予防できると考えられています。どのような食生活が疾病予防に望ましいのか学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
3	がんと予防	がんは生活習慣病の一種ととらえられています。どのような食事習慣や運動習慣をすれば、健康寿命を延ばすことにつながるのか、学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
4	健康作り対策	健康作り政策の変遷、健康増進法、健康日本21（第二次）、健康管理の進め方とその方法について学びます。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
5	保健機能食品制度(トクホ)のはなし	生理学的機能や生物学的活動に影響を与える保健機能成分を含み、疾病リスクの軽減が期待できると表示できる制度について学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
6	心の健康作り	社会生活の変化に伴って仕事や生活に強い不安や悩みを持つ労働者が増えてきました。健康的な生活を営むための心の健康作りについて学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
7	小テストの実施と解説、質疑応答	第1回から6回までの授業の理解度をテストで確認し解説します。学生の主体的な授業参加を促すため質疑応答を随時受け付けて進めます。	配付資料とテキストをもとにテスト対策や質問を準備してくる。(4時間)
8	生活習慣病予防	肥満は、高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病を引き起こす原因となります。　さらに動脈硬化、心筋梗塞や狭心症などのリスクを高めます。どうして肥満になるのかについて学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
9	健康格差を考える	寿命が短かった時、その人の自己責任といえるだろうか。所得や住んでいる地域によって寿命が異なるのはなぜだろうか。社会疫学の観点から学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
10	統計資料	健康、疾病、行動に関わる統計資料の中から、人口静態統計（国勢調査）、人口動態統計、生命表、平均寿命などについて学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
11	環境保健	疾病のひきがねとなる環境要因にはどのようなものがあり、健康的・文化的な生活をおくるためにはどのようにしたらいいだろうか、学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
12	食塩と高血圧	食塩の取り過ぎは高血圧の原因になります。健康寿命を延ばす食事に求められるものについて学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
13	食事の役割	私達は何のために食事をするのだろうか。食事の一次機能、二次機能、三次機能について学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
14	産業保健	私たち労働者は、職場において労働安全衛生法により健康や職場災害から守られています。どのようにして守られているのか、学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
15	全体のまとめ、国試関連	授業の総括として、これまでの内容の要点を復習し、質疑応答を行います。管理栄養士国家試験の必須科目としての公衆衛生学Iを概観します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）

テキスト

講義に応じたプリントをその都度配布します。

成績評価の方法・基準

定期試験：70%　小テスト：20%　受講態度：10%
受講態度：各種資格取得に必要な科目であることから、受講態度としては能動的で真摯であり、努力して、一定以上の試験成績を得ることを評価します。
評価：S：公衆衛生活動を非常によく理解し、私達、有資格者が果たす役割を俯瞰的に論じられる。A：公衆衛生活動を活動をよく理解し、私達が果たす役割を論じられる。B：公衆衛生活動をおおむね理解し、私達が果たす役割を論じられる。C：公衆衛生活動を60%程度理解し、私達が果たす役割を論じられる。

参考書

「シンプル衛生公衆衛生学」鈴木庄亮著（南江堂）　ISBN：978-4-524-25553-5

履修上の注意（学生へのメッセージ）

健康寿命の延伸には、どのような取り組みが考えられるだろうか。健康の根幹である、衛生・公衆衛生、保健に関わる者として常に考えて欲しい課題です。

科目名	学校保健学（含小児保健）	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SA35016	研究室	S-19
担当者	中島　節子・根本　賢一	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○		△	◎			

授業概要

学校において、学校保健及び安全管理はすべての教職員により推進されています。現代的なこども達の健康課題への対応ができる能力を身につけることが必要です。こども達の健康や安全を守り育てるための基礎的な知識を学習し、自己や他者の健康の保持増進や安全を図ることができるような能力を身につけます。また、こどもの成長・発達や小児期に多い疾病やけがなどの小児保健の領域も含めて学習します。

学修到達目標

①こども達の心身の健康や発達を保障するための学校保健活動に必要な事項を説明できる。
②学校で発生する健康や安全に対して、問題点を把握・分析する方法を知り、必要性を理解できる。

授業の進め方

教員による一方通行の講義ではなく、ディスカッションや学生によるプレゼンテーションを含めた講義を展開します。現代の学校における健康問題などを含めて考えていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	学校保健とは	ガイダンスを行います。 学校保健の意義と目的、内容、学校保健の歴史について学びます。	学校保健の制度、目的について復習する。（4時間）
2	保健組織活動・保健室の機能	学校保健関係職員、学校保健組織活動、学校保健安全計画、保健室の役割について学びます。	学校保健関連職員、学校保健組織活動について復習する。（4時間）
3	子どもの健康づくりと運動	子どもの身体活動量と体力の現状を知り、体力向上及び生活習慣病予防についての方法を考えます。	小中学生、高校生の体力と運動能力についてまとめる。（4時間）
4	健康教育・保健学習1	飲酒、喫煙、薬物乱用の健康への影響と現状を知り、予防教育について学習します。	保健学習における小、中、高校でのとらえ方を考えレポートする。（4時間）
5	健康教育・保健学習2	思春期の2次性徴、性教育の現状、性感染症の予防、エイズ予防について学びます。現状から課題解決の方法を考えます。	授業内容の復習をし、課題解決についてレポートする。（4時間）
6	食育	食育の推進をどのように行っているか学びます。学校給食の意義と役割、給食の内容、給食施設と衛生管理について栄養教諭から学びます。	栄養学概論での学びと照らし合わせ講義内容を復習する。（4時間）
7	児童生徒の健康状態の把握	児童生徒の健康観察の方法と分析の仕方を学びます。児童生徒の健康診断の目的と種類、事後措置の方法を学び、分析します。	子どもの健康問題に関する新聞記事を収集し分析する。（4時間）
8	健康診断	就学時の健康診断、教職員の健康診断の法的根拠や方法について学びます。保健調査や学校安全について学びます。	学校における健康診断について復習する。（4時間）
9	学校環境衛生	学校環境衛生の法的根拠・意義について学びます。学校環境衛生検査の実施方法を学びます。	学校における環境衛生について復習する。（4時間）
10	学校安全	子どもの事故災害の現状を知り検討します。学校管理下の負傷、疾病、学校事故についての具体例を学習し法的責任等を考えます。 災害時の対応について考えます。	子どもの安全に関する記事を収集し分析する。（4時間）
11	子どもの病気1	子どもの病気の特徴、健康観察、こどもに多い疾患（齲歯、視力低下、心疾患、腎疾患、糖尿病、気管支ぜんそくなど）について学習します。	子どもに多い疾患を取り上げ、予防策を考える。（4時間）
12	子どもの病気2	学校における感染症、予防接種、予防対策について学習します。	学校における感染症と予防について復習する。（4時間）
13	救急処置、保健指導	急病の種類、アレルギー疾患、けいれん、発熱、嘔吐下痢、過換気症候群について基礎的な知識を学び対応について考えます。	応急手当について安全救急法で学んだことを含め復習する。（4時間）
14	子どもの心の健康	精神保健の意義、非社会的行動と反社会的行動について学びます。子どものこころの健康問題を事例を通して考えます。	子どものこころに関する新聞記事を収集し分析する。（4時間）
15	障害のある児童生徒への健康上の支援	特別支援教育、障害のある児童生徒のための支援体制について学びます。講義のまとめを行います。（4時間）	障害のある児童生徒の健康支援について復習する。

テキスト

必要なものはプリントを配布しますが、参考書の中で自分の使いやすいものを1冊購入することを進めます。

成績評価の方法・基準

定期試験：70%　課題：30%
S：授業内容を高度に理解し、各発達段階の健康課題を解決する方法に応用することができる。A：授業内容を理解し、健康課題を明確にし、解決する方法を見出すことができる。B：授業内容のおおよそを理解し、健康課題を明確にすることができる。C：授業内容の60%は理解でき、学校における健康と安全の重要性を説明できる。

参考書

「学校保健マニュアル」衛藤　隆(編集)岡田加奈子(編集)編（南山堂）
「学校保健ハンドブック第6次改訂」教員養成系大学保健協議会編（ぎょうせい）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

学校保健と小児保健の内容の多い講義になるため自主的に学習してください。こども達を取り巻く健康課題は多様化し、日々変化しています。最新の情報を新聞、ニュースなどからも入手するようにしてください。

科目名	安全・救急法（含実習）	学年学期	1年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL15005	研究室	S-16
担当者	江原　孝史	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日2限		
関連資格	実践指導者、指導士、第一種衛生、ﾄﾚ指、日体協ｽﾎﾟ指、日体協ｱｼﾏﾈ、ｽﾎﾟ・ﾚｸ指、中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○	△		△	△	△	

授業概要

救命救急について、特に心肺蘇生とAEDの使い方について学ぶとともに救急を要するようないろいろな状況と対処の仕方を学びます。応急手当の手技を学び、日常遭遇するケガに対処する方法を身につけます。

学修到達目標

救命しなければならない場面に遭遇してもあわてず必要な行動と処置ができるようになること。

授業の進め方

教室での講義と実習を組み合わせて行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	安全救急法についてのガイダンス、学ぶにあたってのこころがまえや態度を学びます。	事前に自分が過去に学んだ救命救急法を復習する。(4時間)
2	心肺蘇生	心肺蘇生とAEDの方法と心肺蘇生の必要性（特に倒れた人の身近にいる人が行う心肺蘇生の必要性）を学びます。	テキスト1-9ページを読み、救命の4つの連鎖を暗記する。(4時間)
3	虚血性心疾患	心臓の働きと狭心症、心筋梗塞の病態と症状を学ぶ。心臓が原因で突然死することが多いことを学びます。	心臓の解剖と機能、冠状動脈について学ぶ。(4時間)
4	呼吸困難	肺の働きと病気、呼吸困難の原因を学びます。	肺の解剖と呼吸のメカニズムを学ぶ。(4時間)
5	低体温症	低体温について、低体温になった場合の対処の仕方を学びます。	最近の低体温症の事例について調べる。(4時間)
6	溺水	乳幼児から高齢者までの各年代における溺水の特徴、溺水の予防について学びます。	テキスト38ページを読む。最近おきた溺水の事例を調べる。(4時間)
7	救急蘇生(1)	松本広域消防署による実習① 救急蘇生法　呼吸のチェック　呼吸停止の確認の実習をします。	テキスト10-24ページを読む。(4時間)
8	救急蘇生(2)	松本広域消防署による実習② 救急蘇生法　AEDの使い方　人工呼吸法の実習をします。消防署で行われる口頭指導のDVDを見ます。	事後にシチュエーションを変えて口頭指導の問答を考える。(4時間)
9	救急蘇生(3)	窒息、気道異物除去法、アナフィラキシーショックへの対処の仕方、エピペンの使い方の実習をします。蜂刺されによるアナフィラキシーショックのDVDを見ます。	事後に蜂刺され以外の原因によるアナフィラキシーショックの事例を調べる。(4時間)
10	応急手当(1)	日赤講師による応急手当の実習：体位と移動、RICE処置について学びます。	テキスト25-30ページを読む。さまざまな救急の場面を想定したシナリオを作る。(4時間)
11	応急手当(2)	日赤講師による応急手当の実習：三角巾の使い方、止血法、骨折、捻挫に対する処置、テーピングについて学びます。	テキスト33-36ページを読む。身の回りで三角巾に代わるものを捜し、試してみる。(4時間)
12	やけど	やけどの種類と分類、やけどの面積を推定するための9の法則について学びます。	テキスト36-37ページを読む後に自分の住む地域の最近の火災事故の頻度について調べる。(4時間)
13	中毒	食中毒、ガス中毒、たばこ中毒の種類とその対処法について学びます。	いろいろな中毒の事例を調べる。(4時間)
14	熱中症	熱中症の種類と対処法、脱水について学びます。	テキスト33ページを読む。経口補水液を作成し、脱水のメカニズムについて調べる。(4時間)
15	災害	災害への対応、リスクマネージメント、救護法について学びます。	過去に起きた大きな災害の事例について調べる。(4時間)

テキスト

「応急手当講習テキスト救急車がくるまでに（改訂5版）」（東京法令出版）(講義にて配布します。)
「アトラス応急処置マニュアル」（南江堂）　ISBN:978-4-524-26868-9

成績評価の方法・基準

実技：60%　定期試験：30%　レポート：10%
S：授業内容を高度に理解し、実技に積極的に取り組みかつ質問し、レポートの内容が特に優れ、定期試験も9割以上。A：授業内容をよく理解し、実技に積極的に取り組み評価が優れ、レポートの内容が優れ、定期試験が8割以上。B：授業内容を理解し、実技に誠実に取り組み、レポートの評価が良で定期試験が7割以上。C：授業の内容を理解し、実技に取り組み、レポートの評価が可で定期試験が6割以上。

参考書

「スポーツ指導者のためのスポーツ外傷・障害改訂第2版」（南江堂）
「改訂版　写真と動画でわかる一次救命処置」（学研）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

一刻を争う救命救急の処置をしっかり学びましょう。いつ、どこで、ケガや病気に突然、遭遇するか分かりません。救急時の最低限の応急手当の仕方を身につけよう。

科目名	精神保健論	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL25013	研究室	W-19
担当者	矢崎　久	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日4限、火曜日5限、木曜日2限、木曜日5限		
関連資格	指導士、中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○	△		△	△	△	

授業概要

人間の発達と課題、ストレッサーとストレス反応、ストレスマネジメントと回復、精神の疾患とその治療、健康の確保・増進としての運動の影響について学びます。

学修到達目標

人が社会的存在であるかぎり、人と人のかかわりから生ずるできごとがストレッサーとなり心身の均衡が崩れる可能性があるものと考えます。本講義では、こころの問題が生ずる原因と対処のしかた、メンタルヘルス確保と健康維持向上に資する行動について学修することを目標とします。

授業の進め方

テキストの解説と、理解を助けるための映像教材を適宜併用します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	発達課題と疾患（障害）	胎児期、乳児期、幼児期とダイナミック・システムズ・アプローチ、知的障害	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、ノートまとめ（2時間）
2	発達課題と疾患（障害）	児童期、青年期とアイデンティティ、行動および情緒障害、心理的発達の障害	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、ノートまとめ（2時間）
3	発達課題と疾患(1)	統合失調症、パーソナリティ障害、生理的障害、ストレス関連障害ほか	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、ノートまとめ（2時間）
4	発達課題と疾患(2)	成人期とその課題、中年期の危機、感情障害、ストレス関連障害	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、ノートまとめ（2時間）
5	発達課題と疾患(3)	老年期とその課題、社会的役割の変化、加齢と生理的・心理的変化	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、ノートまとめ（2時間）
6	発達課題と疾患(4)	症状性を含む器質性精神障害（認知症）と支援	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、ノートまとめ（2時間）
7	社会とストレス(1)	ストレス学説、ストレッサーとストレス反応、ストレス反応のプロセス	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、ノートまとめ（2時間）
8	社会とストレス(2)	ストレスアセスメントの実際（POMSもしくはCES-D受験）	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、ノートまとめ（2時間）
9	社会とストレス(3)	ストレスマネジメント、ストレスコーピング、レジリエンス（回復）	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、ノートまとめ（2時間）
10	ストレスマネジメント(1)	相談とコンサルテーション、カウンセリング理論と技法	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、ノートまとめ（2時間）
11	ストレスマネジメント(2)	カウンセリング理論と技法	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、ノートまとめ（2時間）
12	ストレスマネジメント(3)	カウンセリングの実際（演習）	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、ノートまとめ（2時間）
13	ストレスマネジメント(4)	行動変容を意図したカウンセリング	事前：配布資料による予習（2時間）事後：資料再読、ノートまとめ（2時間）
14	メンタルヘルスの確保増進	心理療法（リラクセーション）の実際 メンタルヘルス確保増進の意義、モチベーションの確保と維持、健康行動の獲得	事前：テキスト講読（2時間） 事後：テキスト再読、ノートまとめ（2時間）
15	精神保健の意義	発達段階と課題、発達と疾患（障害）、社会とストレス、ストレスマネジメントのまとめ	事前：テキスト予習（2時間） 事後：テキスト再読、ノートまとめ（4時間）

テキスト

「精神医学－精神疾患とその治療－」精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編（へるす出版）　ISBN:978-4-89269-750-0（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

小テスト：30%　定期試験：70%
理解度確認小テスト（中間試験）と期末試験を総合して成績判定します。
成績評価基準「S」:心理的発達と課題、精神疾患の理解、ストレスの理解と心身の反応およびマネジメント、カウンセリング理論、心理療法を遺漏なく理解している。
「A」：　〃　ほぼ理解している。
「B」：　〃　理解している。
「C」：　〃　おおよそがわかる。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

こころとからだの双方を配慮できる健康運動指導者，教諭を目指してください。

0202- -42

科目名	看護学概論（セルフヘルスケア）	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SA16025	研究室	S-19
担当者	中島　節子	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○	△		○		△	

授業概要

看護は「人が健康的な日常生活をその人なりに支障なく送れるように配慮すること」で、職業としての看護実践ばかりではなく、自身の健康の維持・増進のために『看て護る』ことを含めて理解します。本講義は、健康生活に必要なセルフヘルスケア能力を身につけるために、基礎的知識と実践力を獲得することをめざします。

学修到達目標

①健康増進の基礎的知識について学び、自己の健康増進の方法を考えることができる。
②疾病予防の方法を理解することができる。
③自己の生活を振り返り、自身の健康に対する意識を高め、健康行動をとることができる

授業の進め方

基礎的な知識について講義を行います。また、雑誌、新聞記事等の資料から現状を把握し、意見交換を行います。簡単な看護技術演習も実施します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション　健康とは	オリエンテーションを行います。健康の定義　自己の健康管理の現状を考察します。	健康についてレポート作成（4時間）
2	健康の指標、健康づくり	健康に関する統計データ(平均寿命、死因、乳児死亡率、出生率など）を分析し、健康問題の変遷を考えます。また、現代の健康に関する課題を検討します。国や県の健康づくり施策の実施状況を学びます。	統計の分析方法や健康問題を復習する。（4時間）
3	健康づくり食育	栄養から考える健康づくりについて学習します。自己の食生活についてチェックし健康な食生活について考えます。	栄養について復習し、自己の食生活を分析する。（4時間）
4	健康づくり　運動	運動から考える健康づくりについて学習します。自己の体力測定を実施し、その結果について分析し、運動を取り入れた生活を考えます。	体力について調べ、自己の体力測定の結果を分析する。（4時間）
5	健康づくり　感染症	感染症の法的根拠について学びます。また、感染症の種類と実態、感染症予防の方法について学習します。	感染症について復習し、自己の感染症の既往をまとめる。（4時間）
6	疾病予防　生活習慣病	糖尿病、高血圧など代表的な生活習慣病の特徴と予防法について学びます。	疾病予防についての保健だよりを作成する。（4時間）
7	疾病予防　がん	がんについて基礎知識を学びます。部位別がん疾患の特徴、がんの治療法、がんの予防法についての現状を学びます。	がんについてまとめ、事例についてレポートを作成する。（4時間）
8	健康観察の方法	健康観察の方法を学びます。実際にバイタルサインの測定方法を学び、バイタルサインの結果のとらえ方を学び今後の活動につなげていきます。	バイタルサインの測定方法を復習し、測定結果を分析する。（4時間）
9	ライフステージと健康課題について	各ライフステージの発達課題についてまとめ、各健康課題への対応を考えます。	健康に関する新聞記事についてレポートを作成する。（4時間）
10	高齢者	加齢現象と高齢化社会の課題について考えます。	高齢社会の課題について調べる。高齢者の特徴を復習する。（4時間）
11	人の死	死について（安楽死、尊厳死、脳死などを含めて）考えます。	人の死についてレポートを作成する。（4時間）
12	母子保健	妊娠、出産の経過について学びます。妊孕性と望まない妊娠を避けるために避妊の方法と長所、短所について学びます。	母子保健についてまとめる。（4時間）
13	依存症	飲酒、喫煙、薬物などが健康に及ぼす影響を学び、現状を把握します。啓発活動の方法や予防する方策を考えます。	飲酒、喫煙、薬物乱用について復習する。（4時間）
14	心の病気	現代社会の代表的な精神疾患　思春期のメンタルヘルスについて現状を学び、対応について考えます。	精神疾患の特徴と対応についてまとめる。（4時間）
15	セルフケア不足の人への援助	セルフケアが不足している人への援助の方法について考える。健康づくりについて学んだことをまとめます。	授業で学んだことをまとめ、自己のセルフケア能力を高める方策をレポートする。（4時間）

テキスト

必要に応じて資料を配布します。

成績評価の方法・基準

定期試験：70%　課題：30%
S：授業内容を高度に理解し、自己の健康課題を解決する方法に応用することができる。A：授業内容を理解し、自己の健康課題を明確にし、解決する方法を見出すことができる。B：授業内容のおおよそを理解し、自己の健康課題を明確にすることができる。C：授業内容の60%は理解でき、健康の重要性を説明できる。

参考書

「最新看護学　学校で役立つ看護技術」中桐佐智子他著（東山書房）
「養護教諭のための看護学　改訂版」藤井寿美子他著（大修館書店）
必要時紹介していきます。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

日常生活を健康的に過ごすためのセルフケアの方法を学びます。一般的な病気の予防や感染防止対策行動など学生生活を送る上でも役に立つように進めていきます。養護教諭を目指す場合には、導入的位置付けの科目になります。

0202- -214

科目名	学校の看護	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SC25014	研究室	S-19
担当者	中島　節子	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○		△			◎	

授業概要

養護教諭の看護活動に必要な学校における看護技術を習得することが目的です。学校生活で発生しやすい疾病や外傷の救急処置技術、児童生徒が保健室で休養する場合に必要な看護技術を中心に習得します。また、それらの技術には家庭での日常生活上における援助技術も含まれます。あわせて、小児期（児童・生徒）によくみられる疾患に対する看護の方法を学びます。

学修到達目標

学校における看護技術を理解し実践することができる。
小児期に多い急性症状と慢性疾患を理解し、対処する方法を理解できる。
医療的ケアについて法的根拠と技術を理解することができる。

授業の進め方

講義と演習を組み合わせて実施します。演習レポートで振り返りをしながら、技術の向上をはかります。小児期に多い急性期症状は、原因を想定し対処できる方法を考えます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション　セルフケアについて	オリエンテーションを行い授業方法を説明します。セルフケアについて学びます。	セルフケアについて予習複数をします。（4時間）
2	セルフケアと支援技術	健康課題を持つ子どものセルフケアについて学び、演習を行います。食事と栄養の必要性について学びます。	食事と栄養について予習復習する。（4時間）
3	生活支援技術　食事介助	食事の意義、基礎知識、子どもの栄養について学びます。食事支援や援助が必要な場合の援助方法を学び、演習します。	栄養について予習復習し、実施レポートをまとめ分析する。（4時間）
4	生活支援技術　排泄	排泄の意義、基礎知識を学びます。排泄支援や援助が必要な場合の援助方法(おむつ交換やトイレ介助）を学び、演習します。	排泄について予習復習し、実施レポートをまとめ分析する。(4時間)
5	生活支援技術　排泄	排泄の意義、基礎知識を学びます。排泄支援や援助が必要な場合の援助方法(車いすトイレ介助）を学び、演習します。	排泄について予習復習し、実施レポートをまとめ分析する。（4時間）
6	生活支援技術　休息と睡眠、活動	休息と睡眠、活動の意義、基礎知識を学びます。睡眠や活動への支援や援助が必要な場合の援助方法を学び、演習します。	休息と睡眠、活動についてを予習復習し、実施レポートをまとめ分析する。（4時間）
7	こどもに多い急性期の症状と支援　頭痛　腹痛	こどもに多い急性期症状と理解、アセスメントについて基礎を学びます。頭痛、腹痛について原因と支援方法について学びます。	頭痛、腹痛についてレポートをまとめる。（4時間）
8	こどもに多い急性期の症状と支援　嘔気、嘔吐	こどもに多い嘔気、嘔吐、便秘、下痢の急性期症状の原因と支援方法について学びます。	嘔気、嘔吐、便秘、下痢についてレポートをまとめる。（4時間）
9	こどもに多い急性期の症状と支援　発熱、意識障害	こどもに多い発熱、意識障害の急性期症状の原因と支援方法について学びます。	発熱、意識障害についてレポートをまとめる。（4時間）
10	特別な支援を要する子どもと家族の支援	特別支援教育について学びます。慢性疾患と共に生きる子どもと家族の理解と支援方法を考えます。気管支ぜんそくとアレルギーについての基礎を学び支援方法を考えます。	気管支ぜんそくとアレルギーについて実態を調査し、病態などをレポートをまとめる。（4時間）
11	慢性疾患を持つ子どもと家族の支援	慢性疾患と共に生きる子どもと家族の理解と支援方法を考えます。心臓病、糖尿病、腎臓病についての基礎を学び支援方法を考えます。	各疾患について病態、治療法、日常生活の留意点をレポートにまとめる。（4時間）
12	学校における医療的ケア	インクルーシブ教育と医療的ケアについて学びます。排泄支援（導尿、浣腸など）と呼吸管理(吸引、人工呼吸器など）について学び、技術の演習を行います。	医療的ケアについて予習復習し、実施レポートをまとめる。（4時間）
13	医療的ケアの方法と与薬管理	医療的ケアについて学びます。食事支援（経管栄養など）について学び、技術の演習を行います。薬剤の管理と服薬方法について学びます。	医療的ケア、薬について予習復習し、実施レポートをまとめる。（4時間）
14	ショック症状の対応と救急処置	ショックについての原因と対応について学びます。子どもの救急処置について心肺蘇生、気道異物除去の方法、熱傷の対処方法などを行います	安全救急法について予習復習し、実施についてレポートし分析する。（4時間）
15	まとめ　総合演習	養護教諭として必要な知識と技術を総合して、事例を通して実践演習を行います。	講義内容を復習しておく。実施について分析しレポートにまとめる。（4時間）

テキスト

「養護教諭、看護師、保健師のための改訂学校看護学」岡田加奈子他著（東山書房　）　ISBN:978-4-8278-1551-1（生協で購入してください。）　「養護教諭と看護」と共通で使用します。

成績評価の方法・基準

定期試験：70%　実技：15%　課題：15%
S:授業内容を理解し、対象に配慮して養護教諭としての技術を根拠に基づいて確実に実施することができる。A：授業内容を理解し、対象に応じて養護教諭としての技術を根拠に基づいて実施することができる。B:授業内容を理解し、養護教諭としての基本的な技術を実施することができる。C：授業の内容を60%程度理解し、養護教諭としての技術を一応実施することができる。

参考書

「基礎看護学　基礎看護技術Ⅰ」藤崎郁他著（医学書院）
「最新看護学　学校で役立つ看護技術」中桐佐智子他著（東山書房）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

看護学概論及び養護概説、養護教諭と看護を履修済みの学生が履修してください。演習項目によって、必要物品を持参してください。確実な技術の習得のために、規定時間外にも反復練習を行う必要があります。

科目名	スポーツコーチング論	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SC36018	研究室	S-20
担当者	齊藤　茂	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	ﾄﾚ指、日体協ｽﾎﾟ 指、日体協ｱｼﾏﾈ、中一(保体)、高一(保体)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△		○	

授業概要

体育の授業やスポーツの指導場面における諸問題について、心理学的な視点から概観し、選手が力を発揮し成果をあげるためには指導者は何をすべきか考えます。また、優れた指導者のコーチングの例や、実際のコーチング場面で問題となりうるテーマを題材として取り上げながら講義を進めていきます。

学修到達目標

心理学的な理論と実際のコーチング場面を結び付けて考察することにより、各自が実際の指導場面に応用できる考え方や技法を習得することが本講義の到達目標です。

授業の進め方

講義を中心に、授業内容に適した指導者のインタビューや競技場面を題材としたビデオ、DVD等の視聴覚教材等を活用しながら、作業や討論等によって授業を進めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	スポーツ指導者とはどうあるべきか、そのあり方について具体的な事例を通して考えます。	講義で扱う実際に起こりうる事態に対する対処について考える。（2時間）
2	指導者にとって大切なこと①	指導者の心構え、視点、及び役割に関して、具体的な一流指導者の指導哲学を通して、トップアスリートを育てるために指導者が持つべき視点について学びます。	一流指導者の指導哲学に関する著作を1冊読む（レポート課題提出）（6時間）。
3	指導者にとって大切なこと②	トップアスリートを育成・強化するための方法とその評価について学ぶ。また、世界の舞台を目指すアスリートの発掘・育成における指導者の役割について、具体的な事例を参考にしながら学びます。	トップアスリートと指導者の関係性について、具体的な事例をもとに考えてみる。（4時間）
4	指導者にとって大切なこと③	指導哲学ワークショップを通して、指導者の心構え・視点、役割について考えます。	指導者にとって大切なことについて、自分なりの考えをまとめてくる。（4時間）
5	指導者にとって大切なこと④	スポーツ指導者の倫理、及び体罰問題について、実際の事例を取り上げ考えます。また、指導者の「褒める」と「叱る（怒る）」という行為について、受講者がどう考えているか、ディベートを行います。	スポーツ指導者の倫理、特に体罰問題について、自分なりの考えをまとめてくる。（4時間）
6	指導者にとって大切なこと⑤	プレーヤーとの関係づくり、及びチームマネジメントについて、テキスト（コースパケット）をもとに学びます。	「選手の心をつかむために」を読む（レポート課題提出）。（6時間）
7	指導者にとって大切なこと⑥	競技力を向上させるためのチームマネジメントについて、テキスト（コースパケット）をもとに学びます。	配布されたコースパケットの該当部分について熟読する。（4時間）
8	指導者にとって大切なこと⑦	競技力を向上させるためのチームマネジメントについて、チームビルディングの実習を通して学びます。	チームビルディングの実習における体験について、レポートにまとめる。（4時間）
9	指導者にとって大切なこと⑧	ミーティングの方法の理論について、テキスト（コースパケット）をもとに学びます。	効果的なミーティングの方法について考えてくる。（2時間）
10	指導者にとって大切なこと⑨	効果的なミーティングの方法について、グループに分かれてディベートを行います。	より効果的なミーティングの方法についてまとめる（レポート作成）。（4時間）
11	トップアスリートの育成・強化の方法とその評価①	運動技能を指導する際に知っておきたいスポーツ科学の理論（言語による指導）について、テキスト（コースパケット）をもとに理論的に学びます。	配布されたコースパケットの該当部分について熟読する。（4時間）
12	トップアスリートの育成・強化の方法とその評価②	フィードバックの種類と効果的な利用法、及び視覚的な指導・筋運動感覚的な指導及び動きのイメージを引き出す言葉（言語による指導）についてテキスト（コースパケット）をもとに理論的に学びます。	配布されたコースパケットの該当部分について熟読する。（4時間）
13	運動学習から導かれる効果的な指導①	運動上達の仕組み、及び運動学習の概念について、テキスト（コースパケット）をもとに理論的に学びます。	配布されたコースパケットの該当部分について熟読する。（4時間）
14	運動学習から導かれる効果的な指導②	練習の組織化と計画について、テキスト（コースパケット）をもとに理論的に学びます。	配布されたコースパケットの該当部分について熟読する。（4時間）
15	まとめ	「コーチングの心理」について、テキスト（コースパケット）をもとにこれまでの講義全般についてのまとめ及び試験対策を行い、理解を深めます。	コースパケットを見直し、理解できていない点があれば明らかにしておく（4時間）。

テキスト

コースパケット（参考文献等の資料を集めた冊子）を授業の中で配布します。

成績評価の方法・基準

定期試験：60%　課題：20%　受講態度：20%
S：授業や課題に対して積極的かつ探究的に取組み、授業内容を様々な事象に対して応用ができるレベルにまで理解している。A：授業や課題に対して積極的にに取組み、授業内容を理解している。B：授業や課題に対して積極的にに取組み、授業内容をおおよそ理解している。C：授業内容について最低限理解している。

参考書

「新版：運動指導の心理学－運動学習とモチベーションからの接近－」杉原隆著（大修館書店）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

・授業の中で行なう共同作業や話題の提供等への積極的な参加を望みます。

科目名	栄養学概論	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL16010	研究室	S-05
担当者	長谷川　尋之	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日1限		
関連資格	指導士、ﾄﾚ指、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

単に栄養素という物質を理解するのではなく、摂取した食品が身体の中でどのように動き、どのように働くのか一連の栄養代謝と健康と食生活の関係について学習します。

学修到達目標

五大栄養素の役割と消化、吸収の過程などの基礎栄養学を理解すること、健康の保持、増進、疾病予防に関する栄養素や食事の役割、健康課題を説明できることとします。

授業の進め方

基本的に教科書とパワーポイントスライドを用いて講義を進めます。また必要に応じてプリント配布を行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション、栄養と健康	授業ガイダンス（本講義の狙い、進め方）を行います。栄養の概念、健康の考え方、健康と栄養の関係について学びます。	第1章を予習し、栄養の定義、栄養素の概要、健康の定義を復習します。（4時間）
2	消化と吸収、栄養と疾病、食物の摂取	消化と吸収、栄養素の不足、過剰による疾病、食事リズムと健康への影響について学びます。	第2章を予習し、欠乏症、過剰症の定義と摂取が望ましい摂取を控える栄養素を整理します。(4時間
3	エネルギーの科学	エネルギー代謝と栄養素の関係、エネルギー収支バランスについて学びます。	第10章を予習し、エネルギー消費量の測定、エネルギーと体重変化の関係を復習します。（4時間）
4	糖質の働き	糖質の代謝、糖質の働きについて学びます。	第5章を予習、糖質の代謝、働きを復習し、糖質を豊富に含む食品を整理します。（4時間）
5	脂質の働き	脂質の代謝、脂質の働きについて学びます。	第6章を予習、脂質の代謝、働きを復習し、脂質を豊富に含む食品を整理します。（4時間）
6	タンパク質の働き	タンパク質の代謝、タンパク質の働きについて学びます。	第4章を予習、ﾀﾝﾊﾟｸ質の代謝、働きを復習し、ﾀﾝﾊﾟｸ質を豊富に含む食品を整理します。（4時間）
7	脂溶性ビタミンの働き	ビタミンの種類と疾病、脂溶性ビタミンの働きについて学びます。	第7章を予習、脂溶性ﾋﾞﾀﾐﾝの働きを復習し、脂溶性ﾋﾞﾀﾐﾝを豊富に含む食品を整理します。(4時間)
8	水溶性ビタミンの働き	水溶性ビタミンの働きについて学びます。	第7章を予習、水溶性ﾋﾞﾀﾐﾝの働きを復習し、水溶性ﾋﾞﾀﾐﾝを豊富に含む食品を整理します。(4時間)
9	多量ミネラルの働き	ミネラルの種類と疾病、多量ミネラルの働きについて学びます。	第8章を予習、多量ミネラルの働きを復習し、多量ミネラルを豊富に含む食品を整理します。(4時間
10	微量ミネラルの働き	微量ミネラルの働きについて学びます。	第8章を予習、微量ﾐﾈﾗﾙの働きを復習し、微量ﾐﾈﾗﾙを豊富に含む食品を整理します。（4時間）
11	水・電解質の働き	水の出納、電解質の代謝について学びます。	第9章を予習し、水の働き、電解質バランスを復習します。（4時間）
12	熱中症と水分補給	熱中症の発生機序と熱中症予防と熱中症時の対策について学びます。	熱中症予防と水分補給の方法について復習します。（4時間）
13	一般人の栄養と健康課題	現在の食事に寄与する健康課題と食事のあり方について学びます。	健康寿命を阻害する三大因子について復習します。（4時間）
14	競技者の栄養と競技力	競技者の食事の現状と課題、競技力向上の関係について学びます。	競技者の食事の意義、栄養評価、食事の基本的な形について復習します。（4時間）
15	栄養と健康のまとめ	これまでの講義のまとめとして、自身の健康と食事について考えます。	これまでの講義の資料や教科書を復習して講義に臨みます。（4時間）

テキスト

「イラスト　基礎栄養学」田村明、小野廣紀、大口健司著（東京数学社）
ISBN:978-4-8082-6036-1（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：90%　受講態度：10%
受講態度は、受講票での積極的な質問と授業中の発言を得点化して評価し、定期試験と総合的に評価します。60点以上でC評価、70点以上でB評価、80点以上でA評価とし、概ね95点以上でS評価とします。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

慣れない用語や専門用語が多く出てきますが、自分や家族の身近にある食がテーマの講義になります。単に講義を受けるだけで終わらず、日々の食生活や健康と結びつけていきましょう。

0202- -207

科目名	運動と栄養	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL26013	研究室	S-05
担当者	長谷川　尋之	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日1限		
関連資格	実践指導者、指導士、ﾄﾚ指、日体協ｽﾎﾟ指、日体協ｱｼﾏﾈ、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 スポーツと栄養
○	△		△	△	△	

授業概要

身体活動量の多い市民から競技者まで、最高のパフィーマンスを発揮するための食生活について学習します。運動栄養学を科学的根拠に基づき理解を促し、個人や競技特性に応じた食品選択、適切なタイミングの食事摂取について解説します。

学修到達目標

スポーツの競技特性と期分けに応じた栄養管理、食事選択の考え方を理解するとともに、自身への活用、他者への指導に運動栄養学をアウトプットできるようになることです。

授業の進め方

基本的に教科書とパワーポイントスライドを用いて講義を進めます。また必要に応じてプリント配布を行います。演習形式や学習内容の確認テストを行うこともあります。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション、栄養学概論	授業ガイダンス（本講義の狙い、進め方）を行います。食物と栄養素と食品について学び、自身の食生活を振り返ります。	1章を予習し、授業までに日々の食事を記録、体重測定をしたりしておきます。（4時間）
2	スポーツ栄養の基本的な考え方	運動と栄養の効果、競技者の三原則、競技者の食事の目的を学び、理想の食事バランスを学びます。	1章を予習し、理想の食事バランスについて復習し日々の食事選択に活用し、記録します。(4時間)
3	運動とエネルギー	エネルギー産生、エネルギーの内訳について学び、エネルギー消費量の測定方法を学びます。	2章を予習し、エネルギー消費量の測定方法、エネルギーの算出方法を復習します。（4時間）
4	エネルギー必要量	エネルギー収支と体重変化、推定エネルギー必要量の簡易な算出方法を学びます。	2章を予習し、推定エネルギー必要量の算出方法を復習、応用できるようにします。（4時間）
5	運動のためのエネルギー源	エネルギー産生に重要な糖質と脂質について代謝と補給方法について学びます。	3章を予習し、講義内容を復習し、糖質の摂取量を算出できるようにします。（4時間）
6	体づくりの栄養と食事	たんぱく質の代謝と必要量、摂取方法について学びます。	5章を予習し、アミノ酸の種類、たんぱく質の質、量を測定する方法を復習します。（4時間）
7	スポーツとビタミン	ビタミンの種類、働き、スポーツで気をつけるビタミンについて学びます。	6章を予習し、エネルギー代謝とビタミン、抗酸化作用とビタミンを復習します。（4時間）
8	スポーツとミネラル	ミネラルの種類と働き、スポーツで気をつけるミネラルについて学びます。	7章を予習し、骨とミネラル、貧血とミネラルについて復習します。（4時間）
9	運動中の栄養補給	スポーツ活動中の水分補給の方法、内容について学びます。	4章を予習し、熱中症予防と対策について復習します。（4時間）
10	体重管理、体重階級制のあるスポーツの栄養	体重管理が必要な競技の理解、望ましい体重管理、体重、身体組成の測定方法について学びます。	8章を予習し、身体組成の測定方法について復習します。（4時間）
11	競技特性と栄養、食事	瞬発系・パワー系スポーツ、持久系スポーツの栄養と食事の特徴、現状と課題について学びます。	9章、10章を予習し、競技特性と種目を整理し講義内容を復習する。（4時間）
12	競技特性と栄養、食事	球技、チームスポーツ、冬季スポーツの栄養と食事の特徴、現状と課題について学びます。	11章、12章を復習し、競技特性と種目を整理し講義内容を復習します。（4時間）
13	ジュニアアスリート、女性アスリートの栄養、食事	発育、発達が関係するジュニアアスリート、特有の健康課題をもつ女性アスリートの栄養、食事管理について学びます。	13章を予習し、発育、発達と女子アスリートの3主徴を復習します。（4時間）
14	スポーツ選手の栄養サポート	栄養サポートの現状と課題、栄養管理の具体的な方法、教育の実際について学びます。	14章、15章を予習し、講義の内容を復習して、日々の食事の改善に取り組みます。（4時間）
15	サプリメント	サプリメントの利用とドーピング問題、サプリメントを選ぶ場合の考え方について学びます。	16章を予習し、サプリメントの分類、情報収集の方法、ドーピングについて復習します。（4時間）

テキスト

「市民からアスリートまでのスポーツ栄養学」岡村浩嗣、藤井久雄、河合美香、宮崎志帆、小清水孝子、横田由香里、柳沢香絵著岡村浩嗣編（八千代出版）　ISBN:978-4-8429-1539-5（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：90%　受講態度：10%
受講態度は、受講票での積極的な質問と授業中の発言を得点化して評価し、定期試験と総合的に評価します。60点以上でC評価、70点以上でB評価、80点以上でA評価とし、概ね95点以上でS評価とします。

参考書

「ジムに通う人の栄養学」岡村浩嗣著（講談社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

競技に取り組む学生、指導者を目指す学生など、それぞれの視点で目的意識を持ち講義内容の予習、復習、そして現場での実践に取り組んでください。

0202- -203

科目名	分子栄養学	学年学期	3・4年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL36019	研究室	S-08
担当者	沖嶋　直子	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日3限		
関連資格	中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

近年研究の進展が著しい分子生物学で用いられている技術が栄養や食品の分野でどのように利用されているかについて学ぶ事、そこから自分なりの考えを持ち、それを卒業後、社会に出てから公私にわたって活かしてゆける事を目的としています。

学修到達目標

栄養や医療に関わる諸問題を解決できるようになるため、科学的に正しい情報を収集し、その情報をもとに自分なりの判断や選択ができるようになる事、さらに、一般の人々に対して科学的に正しい情報を伝達できるようになる事が到達目標です。

授業の進め方

前半数回で分子生物学の復習を行い、後半ではその技術が栄養学や医療の分野でどのように利用されているかを座学ならびに実験を通して学びます。それを踏まえてグループワークを行い、自分の考えをまとめると共に他の受講生の考えにも触れてもらいます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	分子生物学の基礎①	DNAとRNA、タンパク質について学びます。	分子生物学で学んだ内容を復習しておいて下さい。（4時間）
2	分子生物学の基礎②	分子生物学的研究手法について～PCRとその応用について学びます。	分子生物学で学んだ内容を復習しておいて下さい。（4時間）
3	分子生物学の基礎③	分子生物学的研究手法について～DNAアレイ、siRNAなどについて学びます。	分子生物学で学んだ内容を復習しておいて下さい。（4時間）
4	分子生物学の基礎④	ヒトゲノム計画について学びます。	分子生物学で学んだ内容を復習しておいて下さい。（4時間）
5	分子生物学の基礎⑤	遺伝子多型と疾患、栄養について学びます。	基礎栄養学（遺伝子と栄養）を復習しておいて下さい。（4時間）
6	分子生物学の栄養学への応用①遺伝子組換え農作物	遺伝子組換え農作物とそれを利用した食品（原理）について学びます。	食品衛生学（遺伝子組換え食品）を復習しておいて下さい。（4時間）
7	分子生物学の栄養学への応用①遺伝子組換え農作物	遺伝子組換え農作物とそれを利用した食品（応用）について学びます。	第6回の講義の復習（4時間）
8	グループワーク①	遺伝子組換え農作物とそれを利用した食品について、まとめと討論を行います。	第6、7回の講義の復習をしておいて下さい。（4時間）
9	グループワーク①	遺伝子組換え農作物とそれを利用した食品について、討論と発表を行います。	第8回で討論不足のグループは討論を時間外で行っておく事。発表準備もしておく事。（4時間）
10	分子生物学の栄養学への応用②栄養と遺伝子	生活習慣病と遺伝子と栄養①（肥満と遺伝子多型）について学びます。	第5回および基礎栄養学（遺伝子と栄養）を復習しておいて下さい。（4時間）
11	分子生物学の栄養学への応用②栄養と遺伝子	生活習慣病と遺伝子と栄養②（栄養素の利用と遺伝子多型）について学びます。	第5回および10回の復習をしておいて下さい。（4時間）
12	分子生物学の栄養学への応用②栄養と遺伝子	生活習慣病と遺伝子と栄養③ALDH一塩基多型実験を行います。	第5回、10回、11回の復習をしておいて下さい。（4時間）
13	グループワーク②	生活習慣病と遺伝子と栄養について、まとめと討論を行います。	第5回、10～12回の復習をしておいて下さい。（4時間）
14	グループワーク②	生活習慣病と遺伝子と栄養について、討論と発表を行います。	第13回で討論不足のグループは討論を時間外で行う事。発表準備もしておく事。（4時間）
15	まとめ	これまでの講義のまとめと総括を行います。	第1～14回の復習をしてきて下さい。（4時間）

テキスト

「栄養科学シリーズNEXT　分子栄養学」沖嶋直子、山田一哉他著宮本賢一他編（講談社）（別途、指示します。）　平成30年4月頃には出版予定ですが、遅れた場合は別途指示します。
上記のテキストの他、パワーポイント資料やプリント等を用いて講義します。

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　受講態度：20%
受講態度は、レポート提出やグループワークへの関わりへの積極性で判断します。グループワークで司会や発表者に自主的になるなど、特に積極的だった者をS、討論に積極的に参加した者をA、討論に加われていた者をB、あまり討論に加われていなかった者をC、全く討論に加われていなかった者をDとします。

参考書

「バイオ食品 - 社会的受容にむけて - 」日本国際生命科学協会編（建帛社）　ISBN：4-7679-6057-6 C3077　大谷明、栗飯原景昭監修
「遺伝子工学」近藤昭彦、柴崎誠司（編著）著（化学同人）　ISBN：978-4-

履修上の注意（学生へのメッセージ）

この講義は、分子生物学を履修済みかつ理解している事が前提です。そうでない学生は受講登録前に必ず相談して下さい。

科目名	機能解剖学	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL26002	研究室	非常勤
担当者	関　賢一・江原　孝史	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	実践指導者、指導士、ﾄﾚ指、日体協ｽﾎﾟ指、養教一、中一(保健)、高一(保健)	履修条件							

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

人体を構成する、骨・筋肉・神経について基礎医学の知識を深める。さらに、骨･筋肉・神経については、その一つ一つを単に覚えるのではなく、「関連付け」を重要視していきます。その統合によって「運動学」へ展開できるようにします。日常生活動作やスポーツ動作における骨・関節・筋の連動性についても学習を深めていきます。さらに、「トレーニング」「コンディショニング」「スポーツ傷害」などとの関連性を示しながら履修を進めます。

学修到達目標

講義終了時には、学生が「体のつくり」について十分理解できており、人に説明する能力を持っている事を目指していきます。
身体運動に関係する骨・筋肉の名称と機能を中心に理解を深めていきます。筋骨格系の学習を進めながら、力学的な背景を理解し、トレーニングの理論的背景を形成できるようにしていきます。

授業の進め方

本授業においては、人間の筋骨格系の機能解剖を取り上げ、本分野を専門に著した教科書をベースとして授業を進める形態です。 授業内容の復習を行うレポート学習を通して習得度を高めていくようにします。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	身体の仕組みと働き「筋肉の仕組み」	筋肉の構造と機能についてテキストを用いて解説します。	配布資料にて事後に復習（4時間）
2	身体の仕組みと働き「骨と関節の仕組み」	全身の骨の名称を覚えることと、関節の構造についての学習をします。	テキスト「身体運動の機能解剖学」p1－3　p10－17　を事前予習（4時間）
3	身体の仕組みと働き「呼吸循環器の構造と役割」	呼吸循環器系の構造について学習し、エネルギー供給についての理解も深めます。	配布資料にて事後復（4時間）
4	脊柱の構造と役割	脊柱を構成する頚椎・胸椎・腰椎の中心に骨・関節・筋・その機能について学習します。	テキスト「身体運動の機能解剖学」p197-226　を事前予習（4時間）
5	肩甲帯及び肩関節の構造と役割	肩甲骨、及び肩甲上腕関節を中心に骨・関節・筋・その機能について学習します。	テキスト「身体運動の機能解剖学」p27-64　を事前予習（4時間）
6	上腕・前腕・手指及び肘関節の構造と役割	上腕・前腕・手指及び肘関節の骨・関節・筋・その機能について学習します。	テキスト「身体運動の機能解剖学」p65-108　を事前予習（4時間）
7	骨盤及び股関節の構造と役割	骨盤及び股関節の骨・関節・筋・その機能について学習します。	テキスト「身体運動の機能解剖学」p125-154　を事前予習（4時間）
8	大腿の構造と役割	大腿部の骨・関節・筋・その機能について学習します。	配布資料にて事後復習（4時間）
9	膝関節の構造と役割	膝関節及び周囲の骨・関節・筋・その機能について学習します。	テキスト「身体運動の機能解剖学」p155-168　を事前予習（4時間）
10	下腿及び足関節の構造と役割	下腿及び足関節の骨・関節・筋・その機能について学習します。	テキスト「身体運動の機能解剖学」p169-195　を事前予習（4時間）
11	足部の構造と役割	足部の骨・関節・筋について学習します。	配布資料を事後復習（4時間）
12	日常生活動作及びスポーツ動作時の機能解剖学	日常生活動作及びスポーツ動作時における骨・筋・関節の機能について学習します。	配布資料にて事後復習（4時間）
13	バイオメカニクス1「力学の基本」	バイオメカニクスの基礎について用語やてこの原理を中心に学習します。	配布資料にて事後復習する。（4時間）
14	バイオメカニクス2「スポーツ動作と力学」	スポーツ動作時におけるバイオメカニクスを中心に学習、陸上・水中・回転など、また道具（ボール）についての基礎的な力学的特徴も学習します。	配布資料にて事後復習（4時間）
15	まとめ	講義全体のまとめをします。	テキスト・配布資料にて事前事後学習（4時間）

テキスト

「身体運動の機能解剖（改訂版）」（医道の日本社）　ISBN:4-7529-3063-3
(生協で購入してください。)　＼4,300

成績評価の方法・基準

定期試験：90%　レポート：10%
S：授業内容を高度に理解するとともに、例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢で課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「ポディ・ナビゲーション」（医道の日本社）　ISBN：4-7529-3078-1
＼3,800
「筋・骨格系のキネシオロジー」（医歯薬出版）　ISBN：4-263-21287-8

履修上の注意（学生へのメッセージ）

学習内容は膨大で、記憶しなければならない事が多いですが、健康に関わる仕事をする上で基礎となる知識です。スポーツ外傷学・障害、トレーナー実習・リハビリテーション概論の基礎学習に有効です。

科目名	衛生管理学	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL25011	研究室	N-04
担当者	弘田　量二	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日4限		
関連資格	第一種衛生、養教一、中一(保健)、高一(保健)	履修条件							

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○	△		△	△	△	

授業概要

本授業は、作業・労働従事におけるこれら要因が及ぼす身体面ならびに精神面への作用とその対策と管理について学び、労働従事者の健康障害の予防と健康の保持増進に寄与することの出来る人材の養成を目的とします。労働安全衛生法等を基盤として職域の健康管理体制や健康影響について、作業環境管理、健康診断、作業関連疾患、労働災害などについて学修します。また、食物の安全と健康障害について、どについて学習します。また、食物の安全と健康障害について、リスク分析の視点から食品衛生管理について講義します。

学修到達目標

任用資格としての食品衛生管理者ならびに食品衛生監視員資格の取得を目指します。これら資格取得のために必須要件となる労働安全衛生管理全般に関する知識と理解を深めることを目的とします。その上で、食品衛生管理に特化した法的、事例的事項について学び、資格取得後の実務において有効となる知識と能力を身につけることを目標とします。

授業の進め方

様々な産業分野と食品分野における作業上の衛生管理や健康管理のあり方とその実状について、労働安全衛生の法的基盤や物理的、化学的ならびに生物的な有害因子の影響を理解するために、多様な配布資料およびプロジェクターを用いた授業を展開します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス・健康とは何か	授業概要、学習到達目標、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明、質問します。公衆衛生学の概念として、健康の概念、公衆衛生の概念、定義を学習します。	事前にシラバスを読み、確認事項を整理しておく。授業後は履修事項をとりまとめる。（4時間）
2	労働安全衛生法	労働安全衛生法における産業医や衛生管理者の役割、労働者の健康を損なう有害業務から守る仕組み（関係法規）について学修します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
3	有害業務の健康障害	作業環境における有害因子の種類や、健康障害の発生機序と典型的な症状、作業環境測定法、労働衛生の三管理、について学修します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
4	衛生管理体制と労働者の健康管理	安全衛生委員会、健康診断、医師による面接等、労働安全衛生法・労働基準法に従った職場環境の衛生管理体制や労働者の健康管理について学修します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
5	健康作り対策	健康作り政策の変遷、健康増進法、健康日本21（第二次）、健康管理の進め方とその方法について学びます。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
6	心の健康作り	社会生活の変化に伴って仕事や生活に強い不安や悩みを持つ労働者が増えてきた。健康的な生活を営むための心の健康作りについて学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
7	小テストの実施と解説、質疑応答。	第1回から6回までの授業の理解度をテストで確認し解説します。学生の主体的な授業参加を促すため質疑応答を随時受け付けて進めます。	配付資料とテキストをもとにテスト対策や質問を準備してくる。(4時間)
8	生活習慣病予防	肥満は、高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病を引き起こす原因となります。 さらに動脈硬化、心筋梗塞や狭心症などのリスクを高めます。どうして肥満になるのかについて学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
9	健康格差を考える	寿命が短かった時、その人の自己責任といえるだろうか。所得や住んでいる地域によって寿命が異なるのはなぜだろうか。社会疫学の観点から学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
10	統計資料	健康、疾病、行動に関わる統計資料の中から、人口静態統計（国勢調査）、人口動態統計、生命表、平均寿命などについて学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
11	環境保健	疾病のひきがねとなる環境要因にはどのようなものがあり、健康的・文化的な生活をおくるためにはどのようにしたらいいだろうか、学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
12	食塩と高血圧	食塩の取り過ぎは高血圧の原因になります。健康寿命を延ばす食事に求められるものについて学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
13	食事の役割	私達は何のために食事をするのだろうか。食事の一次機能、二次機能、三次機能について学習します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
14	喫煙問題	喫煙の害にはどのようなものがあるのだろう。健康日本21（第二次）においてもCOPDの認知度を80%に向上させることが数値目標として掲げられています。喫煙の害にはどのようなものがあるのか、学修します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）
15	全体のまとめ、国試関連	授業の総括として、これまでの内容の要点を復習し、質疑応答を行います。各種資格試験の必須科目としての衛生管理学を概観します。	配付・指定された領域のプリントとテキストを読む。履修事項の要点を整理・復習する。（4時間）

テキスト

講義に応じたプリントをその都度配布します。

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　小テスト：10%　受講態度：10%
受講態度：衛生管理者取得等に必要な科目であることから、受講態度としては能動的で真摯であり、努力して、一定以上の試験成績を得ることを評価します。評価：S：衛生管理活動を非常によく理解し、衛生管理者等が果たす役割を俯瞰的に論じられる。A：衛生管理活動をよく理解し、衛生管理者等が果たす役割を論じられる。B：衛生管理活動をおおむね理解し、衛生管理者等が果たす役割を論じられる。C：衛生管理活動を60%程度理解し、衛生管理者等が果たす役割を論じられる。

参考書

「シンプル衛生公衆衛生学」鈴木庄亮著　ISBN：978-4-524-25553-5
「衛生管理者試験問題集」　ISBN：978-4-8059-1494-6

履修上の注意（学生へのメッセージ）

働きやすい職場環境を提供することは、企業にとって義務です。安全に働ける職場環境作りに必要な法律や仕組みをよく知り、改善を通じて労働意欲を高めてまいりましょう。

科目名	健康づくりと運動	学年学期	1年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL16022	研究室	S-21
担当者	根本　賢一	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日5限		
関連資格	実践指導者、指導士、ﾚｸ･ｺｰﾃﾞｨ(通常)、日体協ｽﾎﾟ指、日体協ｱｼﾏﾈ、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○	△		△	△	△	

授業概要

健康の維持・増進を図ることや体力の向上を目的とした場合、やみくもに身体を動かすのではなく、各個人に適した運動計画(何の目的で、どのような運動で、どのくらいの時間)を立てて実践することで、運動の効果を効率良く獲得することが出来ることです。本講義では、有酸素性運動、無酸素性運動の様式上の違い及び無酸素性作業閾値についても理解を深めるとともに、各種運動の効果的で且つ安全な実施法とその効果についても解説をしていきます。

学修到達目標

運動不足による生活習慣病が蔓延する現代社会に即応した、健康づくりのための運動トレーニングに関する基礎的な知識を習得することを目標とします。

授業の進め方

基本的には教科書とスライドを用いながら授業を進めます。しかし、教科書のみではなく、必要に応じてプリントも配布して使用します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	今なぜ健康が大切か	高齢化する我が国の現状と健康づくり施策について、健康運動指導士の社会的役割について解説します。	健康づくり施策と健康運動指導士について事前に調べておくこと(4時間)。
2	運動基準・運動指針	運動指針2006、身体活動基準2013とアクティブガイドについて解説します。	健康づくりのための身体活動についての理解を深めておくこと(4時間)。
3	生活習慣病と運動	生活習慣病と生活習慣の関連、生活習慣病予防のための運動について解説します。	健康な生活習慣と、生活習慣病発症予防についてまとめておくこと(4時間)。
4	トレーニング概論	トレーニングの原理・原則について解説します。	効果的にトレーニングを実施するためには何が必要か事前に調べておくこと(4時間)。
5	トレーニングの基礎理論	トレーニング条件と反応・トレーニング強度について解説します。	前回講義で挙げた専門用語について事前に調べておくこと(4時間)。
6	有酸素性運動と無酸素性運動①	有酸素性運動・無酸素性運動の特徴、運動効果について解説します。	有酸素性運動・無酸素性運動の特徴を各自で調べて整理しておくこと(4時間)。
7	有酸素性運動と無酸素性運動②	最大酸素摂取量、無酸素性作業閾値について解説します。	最大酸素摂取量、無酸素性作業閾値が意味するもの、評価法と合わせて整理しておくこと(4時間)。
8	身体活動強度とエネルギー	身体活動強度の違いによるエネルギー供給の仕組みについて解説します。	前回講義で挙げた専門用語について事前に調べておくこと(4時間)。
9	ウォーキング・ジョギング①	ウォーキング、ジョギングの運動特性について解説します。	配布した資料を参考に、ウォーキングとジョギングの特性をそれぞれ整理しておくこと(4時間)。
10	ウォーキング・ジョギング②	ウォーキング、ジョギングの実施法とその運動効果について解説します。	配布資料を参考に、ウォーキングとジョギングの実施法と効果について整理しておくこと(4時間)。
11	ストレッチング	ストレッチングの種類とその目的、効果について解説します。	ストレッチングの実施法(留意点含む)について事前に調べておくこと(4時間)。
12	レジスタンストレーニング	レジスタンス運動の分類、至適強度の設定法、トレーニングの実際について解説します。	レジスタンストレーニングの実施法(留意点含む)について事前に調べておくこと(4時間)。
13	ウォーミングアップとクーリングダウン	ウォーミングアップ、クーリングダウンの目的とその実施法について解説します。	講義時に配布したプリントを基に理解を深めておくこと(4時間)。
14	運動プログラムの作成	健康づくりと運動プログラムの作成の基礎及びポイントについて解説します。	心拍数の計測法、推定最高心拍数の算出法を確認し、%HRR法については復習しておくこと(4時間
15	まとめ	1回～14回までの講義内容のまとめをそれ以前に使用したスライドをもとに行います。	これまでの講義で配布したプリント及び内容を復習しておくこと(4時間)。

テキスト

「人生はピンピンきらりワークブック誰でもできる健康運動実践法」根本賢一著（オフィスエム社）　ISBN:978-4-900918-94-8（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　出席レポート：20%
S:授業内容をきわめて高度に理解し、毎回のレポートも高度なものを提出している。A:授業内容を良く理解し、毎回のレポートも良好なものを提出している。B:授業内容のおおよそを理解し、毎回のレポートも提出している。C:授業内容の2/3を理解し、毎回のレポートも提出している。

参考書

「健康運動指導士養成講習会テキスト(上・下)」（財団法人健康・体力づくり事業財団)
「健康運動実践指導者用テキスト」（財団法人健康・体力づくり事業財団）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

健康運動指導士及び健康運動実践指導者の資格取得を目指す者に限らず、豊かな暮らしを営む基本である「健康づくり」を学ぶ以上は、常に社会の動向に目を向け問題意識を持って授業に臨んでください。

科目名	健康情報処理	学年学期	3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL35015	研究室	S-15
担当者	山本　薫	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	指導士、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			△	△	△	

授業概要

本講義では、健康づくりなどを実施する際に、体力測定やメディカルチェックから得られたデータを例に出しながら解析を行い、そのデータより表やグラフを作成し、その評価法や活用方法について学びます。基礎的な統計知識を学習するとともに、実際に身近にあるデータを集めて、その結果の解釈やまとめ方を理解できるようになることを目標とします。また、健康・スポーツに関する情報、文献検索の利用方法や卒業論文の書き方を学びます。

学修到達目標

健康・スポーツ現場で得られたデータをまとめて、その結果の解釈を理解することで、科学的根拠に基づいた運動処方を実践できるようになることが目標です。

授業の進め方

基礎的な統計学を講義するとともに、身近なデータを例に出しながら解析し、その結果を理解できるように進めていきます。前半は教室での講義、中盤～後半はパソコンを使用した講義となります。毎回USBを持参して実習内容を保存して下さい。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス：統計の概要	統計解析の概要、学習目標、授業の進め方についての説明をします。	基礎統計の復習(4時間)
2	統計の基礎知識1：統計の基礎用語	統計処理を行う上で知っておきたい基礎的な用語やエクセル使用方法の基本について説明をします。	事前配布資料を読む。基礎的な用語を復習する(4時間)
3	統計の基礎知識2：検定の考え方	得られたデータから統計解析を行う検定方法について学びます。	事前配布資料を読む。検定方法について復習する(4時間)
4	統計の基礎知識3：検定の種類	健康・スポーツに関する例題を出しながら、検定の種類を紹介します。	事前配布資料を読む。例題を見て検定の種類を理解(4時間)
5	Excelでデータ解析 1：Excelの基本的な操作	Excelでデータを入力し、データを分析しやすいように整理、加工の仕方を学びます。	事前に配布資料を読む。データ入力に慣れておく(4時間)
6	Excelでデータ解析2：関数の利用	数学（平均値など）に関する関数を紹介します。基本的なデータのまとめ方を学びます。	関数の復習をしておく(4時間)
7	Excelでデータ解析3：グラフ、表作成	入力したデータをまとめて、棒グラフや表などの作成を学びます。	グラフや表の作り方を復習する(4時間)
8	基本統計量と正規性の検定	収集したn個のデータ分布が正規分布とみなされるかどうかを検定する方法を例を挙げながら理解を深めます。	健康・スポーツに関して興味ある情報を調査する(4時間)
9	独立した2群の差の検定	2つの母集団の平均値が等しいかどうかを、別々の母集団から独立に取られたデータに基づいて検定する方法を例を挙げながら理解を深めます。	例題を見て検定方法を復習する(4時間)
10	関連ある2群の差の検定	2つの母集団の平均値が等しいかどうかを、それぞれの母集団から対応をつけて取られたデータに基づいて検定する方法を例を挙げながら理解を深めます。	例題を見て検定方法を復習する(4時間)
11	1元配置分散分析	「3つ以上のデータの平均に差があるかどうか」を検定する方法を例を挙げながら理解を深めます。	例題を見て検定方法を復習する。
12	相関関係	「データ間の関係を検定する」方法を例を挙げながら理解を深めます。	9～11回で使用した例題を見て、その結果の解釈方法について復習する。
13	回帰分析	直線的な因果関係にある2つの量的データに対して、両データの関係を表す方程式を求める統計手法の理解を深めます。	例題を見て検定方法を復習する。
14	カイ二乗検定	行・列2方向データの各要因がYes/Noなどの2つに分かれているときの関連性を検定する手順を学びます。	事前事後に資料を読む(4時間)
15	講義全体のまとめ	これまでの例題を挙げながら、データから得られた結果のまとめ方、解釈の仕方について理解を深めます。	全ての配布資料を読み試験勉強をする。

テキスト

「4Stepエクセル統計 第4版」柳井久江著（星雲社）　ISBN:978-4-434-21162-1（生協で購入してください。）　CDがついています。自分のPCにインストールして下さい。
「健康スポーツ科学のための　やさしい統計学」出村　慎一著（杏林書院）

成績評価の方法・基準

受講態度：20%　課題：30%　定期試験：50%
総合評価（S:全ての講義実習に積極的に参加して質問をし、課題について適切な回答が出来、試験は90%以上得点している。A：14回以上の講義実習に積極的に参加し、課題について適切な回答が出来、試験は80%以上得点している。B：13回以上の講義実習に積極的に参加して、課題について回答が出来、試験は70%以上得点している。C：11回以上の講義実習に積極的に参加して、課題に回答し、試験は60%以上得点している。

参考書

「バイオサイエンスの統計学」市原　清志著（南江堂）
「健康・スポーツ科学のためのExcelによる統計解析入門」出村　慎一著（杏林書院）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

健康・スポーツ現場に出てから利用頻度が高まる実践的なデータのまとめ方や解釈について学びます。分からないことは随時質問して下さい。欠席したら、休んだ講義内容の資料を受け取るなど各自で学ぶこと。

科目名	リハビリテーション概論	学年学期	3・4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SA36007	研究室	非常勤
担当者	赤羽　勝司	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	指導士、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎			○		△	

授業概要

健康増進領域に関わる主要疾患のリテーションを中心に進めていきます。リハビリテーションにおける医学的背景を学び、社会的活動・教育の現場指導に役立つように学習していきます。本講義では、医学的リハビリテーションにおける対象者について学び、疾病・障害がどのように発生し、どのように回復または進行していくのか理解を深めるようにします。

学修到達目標

医学的リハビリテーションの基礎を理解し、その後につながる介護予防や健康増進におけるリハビリテーションの重要性を整理することができることを目標とします。

授業の進め方

主要疾患の講義を進めながら、障害別身体的特徴を学び、健康増進や教育およびスポーツ指導の現場における障害者との関わりの理解を深めていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	リハビリテーション概論①	リハビリテーション概論について説明します。	リハビリテーションの理念について整理する（4時間）。
2	リハビリテーション概論②	医療と保健・福祉との関わりについて説明します。	テキストP5～9の概要を整理し、医療と保健・福祉との関わりについて整理する（4時間）。
3	リハビリテーション概論③	コメディカルとの関わりについて説明します。	テキストP35～73の概要を整理し、医療チームについて整理する（4時間）。
4	障害別リハビリテーション①	関節拘縮について説明します。	テキストP130～135の概要を整理し、関節拘縮について整理する（4時間）。
5	障害別リハビリテーション②	筋力低下について説明します。	テキストP136～142の概要を整理し、筋力低下について整理する（4時間）。
6	障害別リハビリテーション③	運動麻痺について説明します。	テキストP143～148の概要を整理し、運動麻痺について整理する（4時間）。
7	障害別リハビリテーション④	失語・失認・失行について説明します。	テキストP158～167の概要を整理し、失語・失認・失行について整理する（4時間）。
8	障害別リハビリテーション⑤	高次脳機能障害について説明します。	テキストP168～169の概要を整理し、高次脳機能障害について整理する（4時間）。
9	疾患別リハビリテーションの概要①	脳卒中のリハビリテーションについて説明します。	テキストP190～198の概要を整理し、脳卒中のリハについて整理する（4時間）。
10	疾患別リハビリテーションの概要②	神経・筋疾患のリハビリテーションについて説明します。	テキストP209～221の概要を整理し、神経・筋疾患のリハについて整理する（4時間）。
11	疾患別リハビリテーションの概要③	脊髄損傷のリハビリテーションについて説明します。	テキストP222～227の概要を整理し、脊髄損傷のリハについて整理する（4時間）。
12	疾患別リハビリテーションの概要④	切断のリハビリテーションについて説明します。	テキストP247～253の概要を整理し、切断のリハについて整理する（4時間）。
13	疾患別リハビリテーションの概要⑤	関節リウマチのリハビリテーションについて説明します。	テキストP247～253の概要を整理し、関節リウマチのリハについて整理する（4時間）。
14	疾患別リハビリテーションの概要⑥	小児疾患のリハビリテーションについて説明します。	テキストP258～262の概要を整理し、小児疾患のリハについて整理する（4時間）。
15	まとめ	講義全体のまとめをします。	全講義内容を整理し、要点をまとめる（4時間）。

テキスト

「リハビリテーション総論　改訂第2版」椿原彰夫編（診断と治療社）
ISBN:978-4-7878-1160-8（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

小テスト：20%　定期試験：80%
S:各回の内容を理解（小テスト）し、定期試験において9割程度の理解をしていること。A:各回の内容を理解（小テスト）し、定期試験において8割程度の理解をしていること。B:各回の内容を理解（小テスト）し、定期試験において7割程度の理解をしていること。C:各回の内容を理解（小テスト）し、定期試験において6割程度の理解をしていること。

参考書

「入門リハビリテーション概論【第7版】」中村隆一・佐直信彦　編編（医歯薬出版）　ISBN：978-4-263-21326-1　＼6,264
「リハビリテーション基礎医学」（医学書院）　ISBN：978-4-260-24348-3

履修上の注意（学生へのメッセージ）

医学的リハビリテーションを中心に講義を進めるため、機能解剖学を復習した上での受講が理解を深めます。

科目名	英語学概論	学年学期	3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC36041	研究室	N-03
担当者	藤原　隆史	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限、木曜日3限		
関連資格	中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

英語の成り立ちと歴史、音韻論、統語論、意味論、語用論、談話分析などの基本的知識及び研究手法等が身につくように授業をします。また学校文法と第二言語習得論も学びます。これらを統合して実際の授業にどのように活用できるかを考えます。授業はPowerPoint等を用いた講義形式および、ペア・グループによるワークを含みます。

学修到達目標

英語の成り立ちを理解し、英語を含む言語研究の基礎を理解している。またその英語の成り立ちや研究の基礎的な考え方を英語の指導に活用できる。

授業の進め方

教科書に即して、言語学の基礎知識を学修します。実際の英文や日本語の文も対象に、言語の成り立ちや統語論・意味論などを分析的に考察します。プリントやPowerPointのスライドなども用いながら授業を進めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	導入・英語の成り立ちと歴史	英語が現在の形になったのは何故なのかについて、歴史的観点を含め考察し、英語学を学ぶとはどいうことかを概観します。	英語を分析的に考察する態度・方法を考える。（4時間）
2	音韻論（1）理論編（音素・弁別素性・韻律）	発話のメカニズム、音素、音節、アクセント、イントネーションとリズム等について概観し、音声学・音韻論の基礎を身につけます。	各概念を理解した上で、英語の音声がどう作り出されるかを実例を見ながら考える。（4時間）
3	音韻論（2）実践編	音声学・音韻論の基礎知識に基づき、実際の英語がどう発音されるかを考えます。実際の発話を通して、英語の音が作り出されるメカニズムを理解します。	理論編で学んだ知識を元に、実際に英単語を発話する練習をする。（4時間）
4	形態論（1）理論編（形態素と語彙素	英語におけるレキシコンがどのように構成され、語彙がいかにして構築・構成されているかを考えます。	英語のみならず日本語などにおける語彙身近な語彙を、形態論の観点から考察する。（4時間）
5	形態論（2）実践編	語と句の関係や、複合語・合成語などについて実際の例を考察します。その活動を通して新しい語彙を分析する能力を身につけます。	講義で取り上げた形態素等の概念を用いて、日々目にする言葉を分析する癖をつける。（4時間）
6	統語論（1）理論編（生成文法・機能文法）	生成文法をはじめとする形式主義的統語論と機能主義的機能文法の基礎を概観します。これらの基礎知識を元に、英語の文法的構造について分析的に考察するための力を養成します。	学校文法の基礎を確認し、文法的な術語を把握する。（4時間）
7	統語論（2）実践編	実例を用いて、統語論的な考察を行います。学校文法でよく取り上げられる文法項目を分析し、英文法の深層構造を発見・説明する練習をします。	英文を文法的に説明できるように、講義で得た知識を再確認する。（4時間）
8	意味論（1）理論編（語彙意味論・認知意味論）	語彙意味論と認知意味論を中心として、認知文法・メタファー理論・構文文法などを概観します。その上で、英語を中心とした言語の意味がどのように捉えられ理解されるのかを分析するための基礎を学びます。	意味論に於いて用いられる術語を確認したり復習する。（4時間）
9	意味論（2）実践編	意味論の理論編で学んだ基礎を生かして、実際の英語に於ける語・句・文などを観察し、様々な言語事象について分析的に説明できるような練習をします。	英文法に於ける例外的な事例や面白い言語事象をリストアップしておく。（4時間）
10	語用論（1）理論編（談話分析）	言語が現実のコミュニケーションで用いられる際、どのような意味で捉えられるかについて、談話分析の観点から考察します。会話の公理・ポライトネス・発話行為などの諸概念と理論を学びます。	文脈によって捉え方や意味が異なる例をリストアップする。（4時間）
11	語用論（2）実践編	理論編で学んだ理論を用いて、談話分析を実際に行ってみます。リストアップした会話文などを対象に、談話中のでの意味の違いを考察します。	講義で取り上げた理論や例を復習し、資料をまとめる。（4時間）
12	英語と日本語の比較	英語と日本語の比較を通して、英語が「スル型言語」であり日本語が「ナル型言語」であることを観察し、英語が俯瞰的に、日本語が虫的視点で物事をとらえ言語化することを学修します。	英語と日本語の違いをリストアップする。事後は資料をまとめる。（4時間）
13	言語事象観察の方法	様々な言語事象を観察し、分析するための方法を学びます。実際の言語事象を例に、これまでに学修した内容を元にして分析する練習をします。	特異な言語事象や、英語・日本語の例外的な文法事項や疑問点をリストアップする。（4時間）
14	言語事象観察の実践	各自がリストアップした英文法や日本語についての疑問点や、特異な言語事象を元に、グループに分かれて議論します。	特異な言語事象や、英語・日本語の例外的な文法事項や疑問点をリストアップする。（4時間）
15	応用言語学	英語学および、言語学の知見を英語教育に活用する方策を学修します。言語学の知見を生かした教授法とその教育効果について、特に認知言語学の知識とそれを用いた教授法を考察します。	事前に言語学の知見を用いた実証的研究について、指定された論文を読む。（4時間）

テキスト

「日英語対照による英語学概論」西光義弘　金水敏　影山太郎　共著者（くろしお出版）　ISBN:978-4874241691（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　受講態度：20%
S:授業内容を高度に理解し、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

特になし。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

積極的に参加する態度が大切です。また、授業の前に指定された文献や論文を読むことを怠らないようにしてください。

科目名	英語音声学概論	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC26042	研究室	N-03
担当者	藤原　隆史	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限、木曜日3限		
関連資格	中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

英語音声学の基礎理論を学び、その実践を通して理論を体感的に学ぶことを目標とします。さらに、第二言語習得論の視点から、英語と日本語の音声システムの違いを理解することで、どのように生徒へ指導していくか等、英語教育への応用も視野に入れた授業を展開します。

学修到達目標

英語音声学の基礎を学び、英語の音声体系を理解し、理論的知識を実践的知識に応用ができる。またその知識を生徒にどのように伝えていけるかを考えることができる。

授業の進め方

理論と実践を通して、英語での発声を身につけるような練習を含みます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	英語音声学を学ぶ上で必要な基礎知識について学修します。また、英語教育における音声学の位置づけ、その意義についても考えます。	音声学が英語学習において果たす役割について、自分の意見をまとめる。（4時間）
2	現代英語の標準発音	現代英語における標準発音という観点から、英語方言（アメリカ英語・イギリス英語他）や英語の母語話者について、また、国際音声記号（International Phonetic Alphabet（IPA））について学修します。	予め国際音声記号の一覧を確認しておく。事後はIPAについて講義の内容を復習する。（4時間）
3	英語単語の綴りと発音	英語で用いられる、母音字と子音字について主に学修します。基本的なルールを、実際に発音をしながら確認します。	事前にルールを確認しておく。事後はルールを復習し、改めて練習する。（4時間）
4	音素	英単語を構成する最小単位（音素）について学修します。また、異音、音素体系についても考察します。	予め関係する術語を確認しておく。講義で触れた実例を再度発音して復習する。（4時間）
5	英語の子音（分類と子音その1)	有声音・無声音、音調位置、音調様式による子音の分類について学修します。さらに、閉鎖音、摩擦音について考察します。	予め関係する術語を確認しておく。講義で触れた実例を再度発音して復習する。（4時間）
6	英語の子音（子音その2)	破擦音、鼻音、側音、半母音について考察します。	予め関係する術語を確認しておく。講義で触れた実例を再度発音して復習する。（4時間）
7	英語の子音（実践編)	講義で確認した英語の子音について、実際に発音をして練習します。	英語子音の講義を復習しておく。苦手な音について自主的に練習する。（4時間）
8	英語の母音（1）基本母音	英語の基本母音について主に学修します。また、強母音・弱母音、抑止母音・開放母音、短母音・長母音についても考察します。	予め関係する術語を確認しておく。講義で触れた実例を再度発音して復習する。（4時間）
9	英語の母音（2)	二重母音、弱母音、半母音について主に学修します。	予め関係する術語を確認しておく。講義で触れた実例を再度発音して復習する。（4時間）
10	英語の母音(3)実践編	英語の母音全般について実際に発音して練習します。	英語母音の講義を復習しておく。苦手な音について自主的に練習する。（4時間）
11	音の連続(1)音節	英語の音節について、きこえ度、音節主音、開音節と閉音節、音節主音的子音、鼻腔破裂、側面破裂について学修します。また、実例を発音しながら確認します。	予め関係する術語を確認しておく。講義で触れた実例を再度発音して復習する。（4時間）
12	音の連続(2)	音節内の子音の結合、単語間の音連続、音の脱落、同化について学修します。また、実例を発音しながら確認します。	予め関係する術語を確認しておく。講義で触れた実例を再度発音して復習する。（4時間）
13	アクセント	英語のアクセントを主として見た上で、日本語のアクセントについても考察します。語アクセント、接辞と語アクセント、複合語アクセント、句アクセント、文アクセント、強形と弱形などについても学修します。	予め関係する術語を確認しておく。講義で触れた実例を再度発音して復習する。（4時間）
14	リズム	言葉のリズムについて、日本語と英語の言語的な違いから生じるリズムの違いについて考察します。	予め関係する術語を確認しておく。講義で触れた実例を再度発音して復習する。（4時間）
15	イントネーション	音調群、音調群の構成、音調の種類、各音調の用法（下降調・上昇調・下降上昇調）特殊なイントネーションについて学修します。	予め関係する術語を確認しておく。講義で触れた実例を再度発音して復習する。（4時間）

テキスト

「改訂新版 初級英語音声学　CD付」竹林滋　清水あつ子　斎藤弘子 共著著（大修館書店）　ISBN:978-4469245813（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　受講態度：20%
S:授業内容を高度に理解し、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

特になし。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

理論を学修するだけでなく、実際に発音してみることが大切です。普段から発音練習をするよう心掛けてください。

科目名	英語史概論	学年学期	3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC36043	研究室	N-03
担当者	藤原　隆史	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限、木曜日3限		
関連資格	中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

英語の歴史を、印欧祖語の時代まで遡って、Old English、Middle English、近代英語、さらに現代英語に至るまで概観します。また、発音と綴字、語形、統語、語彙と意味、方言と社会等の観点から英語の素朴な疑問を英語史の観点から紐解きます。これらの疑問点を歴史的な視点から見ることで、英語教育に英語史を生かす方策を考えます。

学修到達目標

英語史を理解し、自分自身の学習を振り返り、どのように英語教育に生かせるかを考えることができる。また、そのための十分な知識を身につけることができる。

授業の進め方

講義を中心として授業を行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	英語史を学ぶ上での心構え、英語史を学ぶ意味、英語教育にどう生かしていくかなどについて考えます。	指定された教科書を購入し、大まかな内容を把握しておく。（4時間）
2	英語史の時代区分	英語史を考える上で基本となる、時代区分について概観します。また、英語が属しているインドヨーロッパ語族や、英語の変化に影響を及ぼした歴史的な出来事についても考察します。	英国の世界史における歴史について調べておく。（4時間）
3	音声と綴字の変化	古英語の時代から現代英語まで、英語の綴りと発音は絶えず変化してきました。そして、現在も変化の途中にあります。大母音推移や綴字に影響を与えた他言語からの文字の借用などについて学びます。	これまでの英語学習の中で疑問に感じた英語の綴字や発音について調べておく。（4時間）
4	文法の変化	古英語期に見られた語の屈折について、またそれに伴う格変化について学修します。また、総合的な言語から分析的な言語への変化についても考察します。	予め屈折や格変化について自分なりに調べておく。事後は資料をまとめる。（4時間）
5	語彙の変化	古英語と、それに影響を与えた借用語との関係を学修します。ヴァイキングや古ノルド語の影響、また、フランス語やラテン語の影響などについて考察します。	世界史の中での英国の歴史について調べておく。事後は資料をまとめる。（4時間）
6	英語の多様性	英語の変種について学修します。初期古英語から現代英語に至るまで、標準語とされた英語について考察します。また、それらが標準語とされた背景についても考えます。	現代の英語変種について、自分なりに調査しそれらを考察する。事後は資料をまとめる。（4時間）
7	発音と綴字に関する素朴な疑問(1)	2種類の不定冠詞、強勢パターンについて、綴字発音について考えます。	事前に該当する諸概念について調べておく。事後は資料をまとめる。（4時間）
8	発音と綴字に関する素朴な疑問(2)	古英語の発音規則、音変化、黙字について考えます。	事前に該当する諸概念について調べておく。事後は資料をまとめる。（4時間）
9	語形に関する素朴な疑問(1)	屈折の歴史的性格、複数形における規則性と不規則性、古英語の格の痕跡について考えます。	事前に該当する諸概念について調べておく。事後は資料をまとめる。（4時間）
10	語形に関する素朴な疑問(2)	動詞における規則性と不規則性、形容詞と副詞の関係について考えます。	事前に該当する諸概念について調べておく。事後は資料をまとめる。（4時間）
11	統語に関する素朴な疑問(1)	未来時制の発達、仮定法の衰退と残存について考察します。	事前に該当する諸概念について調べておく。事後は資料をまとめる。（4時間）
12	統語に関する素朴な疑問(2)	語順の固定化（主語）、語順の固定化（SVO, SOV）、祈願のmayの発達について考察します。	事前に該当する諸概念について調べておく。事後は資料をまとめる。（4時間）
13	語彙と意味に関する素朴な疑問	英語語彙の階層性、同音異義と多義、単語の意味変化の日常性、混成語について考察します。	事前に該当する諸概念について調べておく。事後は資料をまとめる。（4時間）
14	方言と社会に関する素朴な疑問	イギリス英語とアメリカ英語の違いについて、移民史の観点や英語変種の観点、さらに、ジェンダーの観点から考察します。	事前に該当する諸概念について調べておく。事後は資料をまとめる。（4時間）
15	国際語としての英語と英語の未来	共通語（リンガ・フランカ）としての英語と英語の未来について考えます。インターネットでの英語、英語教育、英語産業、国際語としての英語の今後について考察します。	国際語としての英語が人々に与える影響や、自分が感じている影響について考えておく。（4時間）

テキスト

「英語の「なぜ？」に答えるはじめての英語史」堀田隆一著（研究社）
ISBN:978-4-327-40168-9（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　受講態度：20%
S:授業内容を高度に理解し、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

特になし。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

予習復習を心がけてください。

科目名	英語発声演習	学年学期	3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC36044	研究室	N-03
担当者	藤原　隆史	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限、木曜日3限		
関連資格	中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

英語の音韻体系と綴りと発音の基礎を踏まえたたうえで、英語音声を正しく発音できるように演習を行います。英語の子音及び母音の全体像をつかみ、英語発音を実践的に習得します。また、英語発声の実践的知識をListeningと結び付けながら英語の指導に活用する方策も学びます。

学修到達目標

英語の音声を正しく理解、発音ができる。また、音声を取り巻く現象について理解し、Listening指導においての留意点について考えることができる。

授業の進め方

講義を基本としますが、実際の発声練習も行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	講義の目的、進め方、教科書や評価方法について大まかな説明を行います。練習の仕方や勉強の方法などについても概観します。	事前に、教科書の構成や学ぶ内容をある程度確認しておく。（4時間）
2	英語の音韻体系	英語の音韻体系について概観します。また、International Phonetic Alphabet（国際音声記号，IPA）についても説明を行います。	IPAについて自分なりに調べておく。事後は学修したIPAについてリストを見て復習する。（4時間
3	Vowel and Consonants（1）前舌母音・後舌母音・中舌母音	英語の母音について学修します。特に、前舌母音・後舌母音・中舌母音を取り上げます。また、実際に発音練習を行い、英語の音の出し方や日本語との違いなどを確認します。	事前に講義で取り上げる英語の音を確認しておく。事後は発声の練習をする。（4時間）
4	Vowel and Consonants（2）二重母音	英語の母音について学修します。特に、二重母音（Diphthongs）を取り上げます。また、実際に発音練習を行い、英語の音の出し方や日本語との違いなどを確認します。	事前に講義で取り上げる英語の音を確認しておく。事後は発声の練習をする。（4時間）
5	Vowel and Consonants（3）閉鎖音・	英語の子音について学修します。特に、閉鎖音・鼻音を取り上げます。また、実際に発音練習を行い、英語の音の出し方や日本語との違いなどを確認します。	事前に講義で取り上げる英語の音を確認しておく。事後は発声の練習をする。（4時間）
6	Vowel and Consonants（4）摩擦音・摩擦音と破擦音	英語の子音について学修します。特に、摩擦音・摩擦音と破擦音を取り上げます。また、実際に発音練習を行い、英語の音の出し方や日本語との違いなどを確認します。	事前に講義で取り上げる英語の音を確認しておく。事後は発声の練習をする。（4時間）
7	Vowel and Consonants（5）側音と半	英語の子音について学修します。特に、側音と半母音を取り上げます。また、実際に発音練習を行い、英語の音の出し方や日本語との違いなどを確認します。	事前に講義で取り上げる英語の音を確認しておく。事後は発声の練習をする。（4時間）
8	Dialogs and Exercises（1）音節と語強	英語の音節と語強勢（Syllable and word stress)について学修します。また、実際に発音練習を行い、英語の音の出し方や日本語との違いなどを確認します。	事前に講義で取り上げる内容を確認しておく。事後は発声の練習をする。（4時間）
9	Dialogs and Exercises（2）文強勢	英語の文強勢（Sentence stress)について学修します。また、実際に発音練習を行い、英語の音の出し方や日本語との違いなどを確認します。	事前に講義で取り上げる内容を確認しておく。事後は発声の練習をする。（4時間）
10	Dialogs and Exercises（3）ピッチとイントネーション	英語のピッチとイントネーション（Pitch and intonation)について学修します。また、実際に発音練習を行い、英語の音の出し方や日本語との違いなどを確認します。	事前に講義で取り上げる内容を確認しておく。事後は発声の練習をする。（4時間）
11	Dialogs and Exercises（4）音のつながり（連結・脱落）	英語の音のつながり（連結・脱落）について学修します。また、実際に発音練習を行い、英語の音の出し方や日本語との違いなどを確認します。	事前に講義で取り上げる内容を確認しておく。事後は発声の練習をする。（4時間）
12	Dialogs and Exercises（5）音のつながり（同化）	英語の音のつながり（同化）について学修します。また、実際に発音練習を行い、英語の音の出し方や日本語との違いなどを確認します。	事前に講義で取り上げる内容を確認しておく。事後は発声の練習をする。（4時間）
13	Dialogs and Exercises（6）句動詞・イントネーション・強勢）	英語の句動詞・イントネーション・話者の意図と強勢について学修します。また、実際に発音練習を行い、英語の音の出し方や日本語との違いなどを確認します。	事前に講義で取り上げる内容を確認しておく。事後は発声の練習をする。（4時間）
14	Dialogs and Exercises（7）合成語・名詞連続ほか	英語の合成語・名詞連続・感嘆文・最上級・強調語について学修します。また、実際に発音練習を行い、英語の音の出し方や日本語との違いなどを確認します。	事前に講義で取り上げる内容を確認しておく。事後は発声の練習をする。（4時間）
15	Dialogs and Exercises（8）強勢の移動・弱化・強化ほか	英語の強勢の移動・弱化・強化・話者の意図とイントネーションについて学修します。また、実際に発音練習を行い、英語の音の出し方や日本語との違いなどを確認します。	事前に講義で取り上げる内容を確認しておく。事後は発声の練習をする。（4時間）

テキスト

「英語音声学への扉ー発音とリスニングを中心にー」今井由美子ほか著（英宝社）　ISBN:978-4-269-63013-0　（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　受講態度：20%
S:授業内容を高度に理解し、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

特になし。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

実際の発音練習に真剣に取り組むことを期待します。

科目名	英文法演習	学年学期	3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC36045	研究室	N-03
担当者	藤原　隆史	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限、木曜日3限		
関連資格	中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

英文法の基礎を確認するとともに、知識としての英文法だけではなく英語・言語の深層構造をも視野にいれた授業を展開します。規則性の「発見」や分析的説明をする試みを通して、英文法の理解を深めます。またその知見を利用して、実際の授業でどのような活動ができるのかを考え、生徒のコミュニケーション活動に役立つ文法指導ができるような実践的授業を行います。

学修到達目標

英文法を分析的に学び、その構造と用法を理解することができる。またその知識を活用し、どのような文法指導ができるかを考えることができる。

授業の進め方

教科書を基本としながら、必要に応じてプリント等を配布し、グループや全体で議論しながら授業を進めます。説明はプリントのほか、パワーポイント等も使用します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	学校文法のレベルからさらにもう一歩先に進み、文法研究の意味や方法について考えます。各文法理論について概観し、講義の中で主に取り上げる分析の仕方について学修します。	英語の学校文法について、自分の知識を再度確認しておく。足りない部分は復習をする。(4時間)
2	文の構造	単文・重文・複文などの文の種類を、実例を見ながら確認します。また、練習問題を考えながら分析的に文構造を捉える方法を学修します。	英語の文の構造について、自分で調べておく。講義で取り上げた例文を再確認する。(4時間)
3	文の種類	平叙文・疑問文（Yes/No疑問文、wh-疑問文、選択疑問文、問い返し疑問文）・命令文・感嘆文など、英語の文の種類を概観します。また、練習問題を考えながら分析的に英文法を捉える方法を学修します。	英語の文の種類について、自分で調べておく。講義で取り上げた例文を再確認する。(4時間)
4	動詞	自動詞・他動詞、状態動詞・動態動詞、叙実動詞・非叙実動詞、使役動詞、知覚動詞、含意動詞、また、動詞句などを概観します。また、練習問題を考えながら分析的に英文法を捉える方法を学修します。	英語の動詞について、自分で調べておく。講義で取り上げた例文を再確認する。(4時間)
5	完了相と進行相	現在完了形・過去完了形、現在進行形・過去進行形・現在完了進行形などを概観します。また、練習問題を考えながら分析的に英文法を捉える方法を学修します。	完了相と進行相について、自分で調べておく。講義で取り上げた例文を再確認する。(4時間)
6	名詞	可算名詞・不可算名詞、集合名詞の用法・普通名詞の用法・総称としての用法、単数名詞・複数名詞、不定冠詞・定冠詞などを概観します。また、練習問題を考えながら分析的に英文法を捉える方法を学修します。	英語の名詞について、自分で調べておく。講義で取り上げた例文を再確認する。(4時間)
7	名詞句	名詞句の構造、同格表現を含む名詞句、注意を要する名詞句について概観します。また、練習問題を考えながら分析的に英文法を捉える方法を学修します。	英語の名詞句について、自分で調べておく。講義で取り上げた例文を再確認する。(4時間)
8	形容詞	段階的形容詞・非段階的形容詞、限定用法・叙述用法、前置修飾・後置修飾、制限用法・非制限用法、形容詞の順序、形容詞句などを概観します。また、分析的に英文法を捉える方法を学修します。	英語の形容詞について、自分で調べておく。講義で取り上げた例文を再確認する。(4時間)
9	副詞	形容詞などを修飾する副詞、動詞句を修飾する副詞、文修飾をする副詞、文連結の副詞、副詞の位置などを概観します。また、練習問題を考えながら分析的に英文法を捉える方法を学修します。	英語の副詞について、自分で調べておく。講義で取り上げた例文を再確認する。(4時間)
10	前置詞	場所を表す前置詞、位置関係を表す前置詞、前置詞句などを概観します。また、練習問題を考えながら分析的に英文法を捉える方法を学修します。	英語の前置詞について、自分で調べておく。講義で取り上げた例文を再確認する。(4時間)
11	助動詞	助動詞の認識的用法と根源的用法について概観し、練習問題を通して分析的に英文法を捉える方法を学修します。	英語の助動詞について、自分で調べておく。講義で取り上げた例文を再確認する。(4時間)
12	時制	英語の時制（現在時制・過去時制）、時制の一致について概観します。また、練習問題を考えながら分析的に英文法を捉える方法を学修します。	英語の時制について、自分で調べておく。講義で取り上げた例文を再確認する。(4時間)
13	文の機能	英語の情報構造、情報構造と英語の構文を概観します。また、練習問題を考えながら分析的に英文法を捉える方法を学修します。	英語の情報構造について、自分で調べておく。講義で取り上げた例文を再確認する。(4時間)
14	文の表現法	話し言葉と書き言葉、堅い表現とくだけた表現などを概観します。また、練習問題を考えながら分析的に英文法を捉える方法を学修します。	英語の話し言葉・書き言葉について調べておく。講義で取り上げた例文を再確認する。(4時間)
15	認知文法	認知言語学の観点から英文法を考えます。日本語との比較も含め、英文法の性質を深層構造から明らかにします。また、様々な実例を分析的に比較検討し、説明するワークを行います。	認知文法について、自分で調べておく。講義で取り上げた例文を再確認する。(4時間)

テキスト

「ファンダメンタル英文法」瀬田幸人著（ひつじ書房）　ISBN:978-4938669867（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　受講態度：20%
S:授業内容を高度に理解し、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

特になし。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

履修にあたっては、高校段階で習った英文法について一通り復習しておくようにしてください。

科目名	英米文学概論	学年学期	3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC36046	研究室	非常勤
担当者	金子　史彦	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中(英語)､高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

小説を中心に英米文学作品を時代順に取り上げ、その抜粋を原文で読み、手法・思想・社会背景を学びます。毎回、1～3人の英米文学作家を取り上げ、教員による講義、学生同士のディスカッションなどを通してその代表作を学んでいきます。

学修到達目標

英米文学、英語圏文化の思想的背景に関する知識を増やし、読むということに対する理解を深めることができる。加えて、価値観を理解することによって、英語教育においてそれらの必要性を踏まえたうえで、どのように伝えていくか理解することができる。

授業の進め方

グループワークや講義形式等様々な形態で行います。基本的に前回の理解度を測る小テストを毎回行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス、古英語・中世英語の文学	英語の歴史、特に現代の英語の成立を文学を通して学びます。	テキストの2頁から10頁を読んでくる。授業の内容を振り返り、まとめる。（4時間）
2	シェイクスピア　実は庶民の娯楽？	シェイクスピア全般について学びます。	テキストの32頁から43頁を読んでくる。授業の内容を振り返り、まとめる。（4時間）
3	ミルトン　聖書を基にしたピューリタン文学	ミルトンの『失楽園』を中心に時代背景を交えて学びます。	テキストの57頁から71頁を読んでくる。授業の内容を振り返り、まとめる。（4時間）
4	デフォー、スウィフト　実は小説の先駆的存在？	子供向けの作品と思われている『ガリバー旅行記』等を学びます。	テキストの指示範囲を読んでくる。授業の内容を振り返り、まとめる。（4時間）
5	リチャードソン、フィールディング　小説の誕生	共に小説の元祖と言われながら好対照でもある両作品を学びます。	テキストの87頁から92頁を読んでくる。授業の内容を振り返り、まとめる。（4時間）
6	オースティン　月9のドラマとしても通用する？	『エマ』を中心にジェイン・オースティンを学びます。	テキストの指示範囲とプリントを読む。授業の内容を振り返り、まとめる。（4時間）
7	ディケンズ　ヴィクトリア朝の優等生	『オリバー・トゥイスト』を中心にディケンズを学びます。	テキストの指示範囲とプリントを読む。授業の内容を振り返り、まとめる。（4時間）
8	Eブロンテ　ヴィクトリア朝の異端児	エミリー・ブロンテの『嵐が丘』を学びます。	テキストの指示範囲とプリントを読む。授業の内容を振り返り、まとめる。（4時間）
9	Cブロンテ　女性の自立	シャーロット・ブロンテの『ジェイン・エア』を学びます。	テキストの指示範囲とプリントを読む。授業の内容を振り返り、まとめる。（4時間）
10	ハーディ　自然主義？	トマス・ハーディの『テス』を学びます。	テキストの指示範囲とプリントを読む。授業の内容を振り返り、まとめる。（4時間）
11	ポー　近代科学と超自然	『黒猫』を中心にエドガー・アラン・ポーを学びます。	テキストの指示範囲とプリントを読む。授業の内容を振り返り、まとめる。（4時間）
12	ホーソン　善とは？悪とは？	『緋文字』を中心にホーソンを学びます。	事前配布のプリントを読んでくる。授業の内容を振り返り、まとめる。（4時間）
13	トウェイン　実は社会派文学	『ハックルベリ・フィンの冒険』を中心にトウェインを学びます。	事前配布のプリントを読んでくる。授業の内容を振り返り、まとめる。（4時間）
14	フィッツジェラルド　アメリカンドリームの光と影	『グレート・ギャツビー』を通してアメリカの夢について学びます。	事前配布のプリントを読んでくる。授業の内容を振り返り、まとめる。（4時間）
15	ヘミングウェイ　男らしさとは？幸せとは？	『フランシス・マコーマーの短い幸福な生涯』を中心にヘミングウェイを学びます。	事前配布のプリントを読んでくる。授業の内容を振り返り、まとめる。（4時間）

テキスト

「イギリス文学史入門」川崎寿彦著（研究社）　ISBN:978-4327375012（生協で購入してください。）
適宜プリントを配布

成績評価の方法・基準

レポート：70%　小テスト：30%
S:授業内容を完全に身に付け、それを高度に理解し、自分の言葉で発信できる。A:授業内容をほぼ完全に身に付け、それを理解し、おおよそ自分の言葉で発信できる。B:授業内容をおおよそ身に付け、それをある程度は理解している。C:授業内容を60%程度は身に付け理解している。

参考書

特になし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

学ぼうという意欲が最も大切です。皆さんの熱意を期待しています。

科目名	英米文学演習Ⅰ	学年学期	3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC36047	研究室	非常勤
担当者	金子　史彦	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中(英語)､高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

近代英米文学のシェイクスピアの作品『オセロ』 (Othello) を原文で読みながら、シェイクスピアについての総合的な理解を深めると同時に文学を研究するとは、ということを学びます。

学修到達目標

文学の表現から表現とその背景にある意味、表現の深さをとらえることができる。
英語の総合的読解力を身につけ、さらに英語文学の代表ともいえるシェイクスピアを学び理解することを通じて当時のヨーロッパの文化への理解を深めることができる。

授業の進め方

グループワークや講義形式、DVD鑑賞など様々な形態で行います。『オセロ』を原文で読む時期は毎週前回の範囲の主として英文読解の小テストを行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス，シェイクスピアについて，DVD鑑賞（『じゃじゃ馬馴らし』）	シェイクスピアの他作品をDVDで見たりして作家全般を概観します。	シェイクスピアについて各自調べる（4時間）
2	Othello, Act1, Scene1-2（『オセロ』ヴェニスの通りで、ローズ宅の表で）	『オセロ』の第一幕の第一・二場を学びます。	OthelloのAct1のScene1と2を読んでくる。学習した範囲の復習をする（4時間）
3	Othello, Act1, Scene3（『オセロ』公爵の宮殿、）	『オセロ』の第一幕の第三場を学びます。	OthelloのAct1のScene3を読んでくる。学習した範囲の復習をする（4時間）
4	Othello, Act2, Scene1-2（『オセロ』キプロス、戦士の営舎）	『オセロ』の第二幕の第一・二場を学びます。	OthelloのAct2のScene1と2を読んでくる。学習した範囲の復習をする（4時間）
5	Othello, Act3, Scene1-2（『オセロ』オセロ宅の表の早朝、オセロ宅で）	『オセロ』の第三幕の第一・二場を学びます。	OthelloのAct3のScene1と2を読んでくる。学習した範囲の復習をする（4時間）
6	Othello, Act3, Scene3-Act4, Scene1（『オセロ』通りで、キプロスの通り	『オセロ』の第三幕の第一場と第四幕の第一場を学びます。	OthelloのAct3のScene3とAct4のScene1を読んでくる。学習した範囲の復習をする（4時間）
7	Othello, Act4, Scene2-3（『オセロ』オセロ宅の一室で、ドアの陰で）	『オセロ』の第四幕の第ニ・三場を学びます。	OthelloのAct4のScene2と3を読んでくる。学習した範囲の復習をする（4時間）
8	Othello, Act5, Scene1（『オセロ』夜の通	『オセロ』の第五幕の第一場を学びます。	OthelloのAct5のScene1を読んでくる。学習した範囲の復習をする（4時間）
9	Othello act Act5, Scene2（『オセロ』オセロ宅の寝室で）	『オセロ』の第五幕の第二場を学びます。	OthelloのAct5のScene2を読んでくる。学習した範囲の復習をする（4時間）
10	DVD鑑賞（Othelloの現代版）	『オセロ』の舞台を現代のアメリカ高校にした映画を鑑賞します。	原作と現代版オセロを色々比較する（4時間）
11	シェイクスピアの別作品『マクベス』 “Macbeth”	同じ裏切り者でも毛色の違うマクベスとイアゴーを比較します。	比較して新たな発見があるのかどうか考察する（4時間）
12	比較とは、比較することの意義を学ぶ	比較文学について学びます。	学習した範囲の復習をする（4時間）
13	文学を研究する方法を学ぶ	文学を研究するとは、ということについて学びます。	学習した範囲の復習をする（4時間）
14	文学研究の上でのテーマの設定の仕方を学ぶ	文学研究の切り口となるテーマを設定することについて学びます。	学習した範囲の復習をする（4時間）
15	期末レポートへの準備	研究のテーマについてディスカッションをします。	自分の研究テーマを考えてくる（4時間）

テキスト

「Othello」William Shakespeare著Rosalie Kerr編（Penguin Readers）
ISBN:978-1405867719（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

レポート：70%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解し、レポートはテーマ設定・分析とも非常に優れており、小テストは完全に解ける。A:授業内容を理解し、レポートはテーマ設定・分析とも優れており、小テストはほぼ解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、レポートはテーマ設定または分析のいずれかが優れており、小テストはまずまず解ける。C:授業の内容を一応は理解しており、レポートはテーマ設定・分析とも一応は合格ラインであり、小テストは60%程度解ける。

参考書

特になし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

シェイクスピア作品というと難解なイメージがあるかもしれませんが、使用するテキストは簡約版で現代の英語に書き直されたものです。恐れないで下さい。

科目名	英米文学演習Ⅱ	学年学期	3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC36048	研究室	非常勤
担当者	金子　史彦	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中(英語)､高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』(Alice’s Adventures in Wonderland) を原書で読みます。作中に散りばめられた言葉遊びの理解に特に重点を置きます。また英語の言葉遊びを日本の翻訳者がどのように日本語版にしてきたかといったことを、翻訳史の面から学び、時代背景や文化的背景、さらには英語と日本語の性質の違いを理解する等のその意義に対する理解も深めます。

学修到達目標

言葉遊びの多い英米児童文学を原書で学ぶことを通して、翻訳に頼らず原書で読むことの楽しさを体験し、時代背景や文化的背景を理解することの意義を把握することができる。

授業の進め方

グループワークや講義形式など様々な形態で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス、ルイス・キャロルについて	ルイス・キャロル、原作の『アリス』等を概観します。	ディズニー版の『アリス』と原作の違いを把握する（4時間）
2	“Down the Rabbit-Hole”（「ウサギの穴の中	『アリス』の第一章の”Down the Rabbit-Hole”を学びます。	『アリス』の第一章を読む。学習した範囲の復習をする（4時間）
3	“The Pool of Tears”（「涙のプール」	『アリス』の第二章の”The Pool of Tears”を学びます。	『アリス』の第二章を読む。学習した範囲の復習をする（4時間）
4	“A Caucus-Race and a Long Tale”（「コーカスレースと長い尾」）	『アリス』の第三章の”A Caucus-Race and a Long Tale”を学びます。	『アリス』の第三章を読む。学習した範囲の復習をする（4時間）
5	“The Rabbit sends in a Little Bill”（「ウサギがビルを差し向ける」）	『アリス』の第四章の”The Rabbit sends in a Little Bill”を学びます。	『アリス』の第四章を読む。学習した範囲の復習をする（4時間）
6	“Advice from a Caterpillar”（「芋虫の教え」）	『アリス』の第五章の”Advice from a Caterpillar”を学びます。	『アリス』の第五章を読む。学習した範囲の復習をする（4時間）
7	“Pig and Pepper”（「ブタとコショウ」）	『アリス』の第六章の”Pig and Pepper”を学びます。	『アリス』の第六章を読む。学習した範囲の復習をする（4時間）
8	“A Mad Tea-Party”（「マッド・ティーパーティー」）	『アリス』の第七章の”A Mad Tea-Party”を学びます。	『アリス』の第七章を読む。学習した範囲の復習をする（4時間）
9	“The Queen’s Croquet-Ground”（「女王様のクローケー」）	『アリス』の第八章の”The Queen’s Croquet-Ground”を学びます。	『アリス』の第八章を読む。学習した範囲の復習をする（4時間）
10	言葉遊びをどう翻訳するか	面白さを保ったまま大意を変えずに翻訳するのが大変難しい駄洒落等の言葉遊び。『アリス』に登場するそのような言葉遊びの翻訳を学び、さらにそれを通じて英語と日本語の性質の違いも学びます。	学習した範囲の復習をする（4時間）
11	“The Mock Turtle’s Story”（「にせ海亀の話」）	『アリス』の第九章の”The Mock Turtle’s Story”を学びます。	『アリス』の第九章を読む。学習した範囲の復習をする（4時間）
12	“The Lobster-Quadrille”（「海老のカドリール」）	『アリス』の第十章の”The Lobster-Quadrille”を学びます。	『アリス』の第十章を読む。学習した範囲の復習をする（4時間）
13	“Who Stole the Tarts?”（「誰がタルトを盗んだか」）	『アリス』の第十一章の”Who Stole the Tarts?”を学びます。	『アリス』の第十一章を読む。学習した範囲の復習をする（4時間）
14	“Alice’s Evidence”（「アリスの証	『アリス』の第十二章の”Alice’s Evidence”を学びます。	『アリス』の第十二章を読む。学習した範囲の復習をする（4時間）
15	期末レポートへの準備	期末レポートのテーマについてディスカッション等を行います。	期末レポートの自分のテーマを考えてくる。（4時間）

テキスト

「Alice’s Adventures in Wonderland 」Lewis Carroll著（開文社）
ISBN:978-4-87571-110-0-7（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

レポート：100%
S:授業内容を高度に理解しており、テーマ設定・分析とも非常に優れている。A:授業内容をほぼ理解しており、テーマ設定・分析とも優れている。B:授業内容をおおよそ理解しており、テーマ設定・分析のどちらかが優れている。C:授業内容を60%程度理解しており、テーマ設定・分析とも一応合格ラインにある。

参考書

特になし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

『不思議の国のアリス』といえば大抵の方がご存じだと思いますが、それはおそらくディズニー版のほうだと思います。ディズニー版とは全く異なる原作の『アリス』を楽しく学んでください。

科目名	Reading I	学年学期	1年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC16049	研究室	N-02
担当者	ﾏｰﾒｯﾄ ｼｮｰﾝ	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日3限､木曜日1限		
関連資格	中(英語)､高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	2018年度～
	◎				◎	

授業概要

説明文型および論説文型のパラグラフ・リーディングを通して、読解や速読スキルのポイントを学び、内容や論旨を正確にすばやく把握します。当初は、簡潔なパラグラフから始め、徐々により長く複雑なパラグラフへ移行します。また、常に4技能におけるコミュニケーションの場面においての活用を視野に入れて授業を進めます。

学修到達目標

・語彙力、読解力を養い速読ができる。
・日本語に置き換えないで、英語で正確に内容を理解できる。
・上記の力を身につけ、リーディングにおける文体論を理解し、文体論の4技能への活用を考えることができる。

授業の進め方

説明文型および論説文型のパラグラフ・リーディングを通して、読解や速読スキルのポイントを学び、内容や論旨を正確にすばやく把握します。当初は、簡潔なパラグラフから始め、徐々により長く複雑なパラグラフへ移行します。授業はすべて英語で行われます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション、パラグラフ・リーディングの基礎	オリエンテーションを行い、授業の概要を説明します。また、パラグラフ・リーディングの基礎について学びます。	事前：シラバスの熟読、事後：授業で説明します（4時間）
2	説明文型パラグラフ・リーディング①	説明文型パラグラフ・リーディングの主張の把握について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
3	説明文型パラグラフ・リーディング②	説明文型パラグラフ・リーディングの具体的要因の把握について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
4	説明文型パラグラフ・リーディング③	説明文型パラグラフ・リーディングの抽象的要因の把握について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
5	説明文型パラグラフ・リーディング④	説明文型パラグラフ・リーディングの対比の把握について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
6	説明文型パラグラフ・リーディング⑤	説明文型パラグラフ・リーディングの逆説の把握について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
7	説明文型パラグラフ・リーディング⑥	説明文型パラグラフ・リーディングの原因・結果の因果関係の把握について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
8	説明文型パラグラフ・リーディング⑦	これまで学んできた説明文型パラグラフ・リーディングについてのまとめを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
9	論説文型パラグラフ・リーディング①	論説文型パラグラフ・リーディングの主張の把握について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
10	論説文型パラグラフ・リーディング②	論説文型パラグラフ・リーディングの具体的要因の把握について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
11	論説文型パラグラフ・リーディング③	論説文型パラグラフ・リーディングの抽象的要因の把握について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
12	論説文型パラグラフ・リーディング④	論説文型パラグラフ・リーディングの対比の把握について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
13	論説文型パラグラフ・リーディング⑤	論説文型パラグラフ・リーディングの逆説の把握について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
14	論説文型パラグラフ・リーディング⑥	論説文型パラグラフ・リーディングの原因・結果の因果関係の把握について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
15	論説文型パラグラフ・リーディング⑦	これまで学んできた論説文型パラグラフ・リーディングについてのまとめをします。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）

テキスト

「World English 1 (Second Edition)- Student Book with Online Workbook.」Becky Tarver Chase, Martin Milner, and Kristin L.Johannsen著http://cengagejapan.com/elt編（National Geographic Learning- Cengage） ISBN:978-1-305-08954-9（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：40%　小テスト：30%　受講態度：30%
S:到達目標を超えたレベルで理解し、修得した知識・技能を相互に関連付けて応用できる。A:授業内容を充分に理解し、かつ到達目標を達成し、基礎知識・技能を発展させた知識・技能を修得している。B:授業内容を理解し、かつ到達目標を概ね達成し、基礎知識・技能を修得している。C:授業内容を概ね理解し、最低限必要な基礎知識・技能を修得している。

参考書

「Any English language dictionary.」

履修上の注意（学生へのメッセージ）

Students are expected to prepare their homework, or to engage in other forms of self-study, before each weekly class session. Students are also expected to review & consolidate the material covered in class.

科目名	ReadingⅡ	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC26050	研究室	N-02
担当者	ﾏｰﾒｯﾄ ｼｮｰﾝ	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日3限、木曜日1限		
関連資格	中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

短編物語という起承転結があり、メッセージ性を内包している英文を読解することによって、語彙力を高めるとともに、物語における登場人物の関係性を把握し、論理的に読む力を養います。またその力をコミュニケーションの場面においての活用を考えます。

学修到達目標

・語彙力、読解力をさらに養い速読することができる。　・日本語に置き換えないで、英語で内容を正確に理解する能力をさらに養い、併せて物語の背景とメッセージ性を理解できるようにする。　・上記のメッセージ性を考えることにより、コミュニケーションにおいての活用を考えることができる。

授業の進め方

短編物語を丁寧に読み進めながら理解を深めます。授業はすべて英語で行われます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション、短編物語に対するリーディングの基礎	授業のオリエンテーションを行い、授業の概要を説明します。また、短編物語の読解の際の基礎について学びます。	事前：シラバスの熟読、事後：授業で説明します（4時間）
2	短編物語：ノンフィクション小説①	ノンフィクション小説における物語の背景の理解しながら、短編物語の読解を行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
3	短編物語：ノンフィクション小説②	ノンフィクション小説における主人公の感情を把握しながら、短編物語の読解を行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
4	短編物語：ノンフィクション小説③	ノンフィクション小説における他者との関係性を理解しながら、短編物語の読解を行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
5	短編物語：ノンフィクション小説④	ノンフィクション小説における物語のメッセージ性を理解しながら、短編物語の読解を行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
6	短編物語：ノンフィクション小説⑤	これまでの授業のまとめを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
7	短編物語：ファンタジー小説①	ファンタジー小説における物語の背景を理解しながら、短編物語の読解を行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
8	短編物語：ファンタジー小説②	ファンタジー小説における主人公の感情を把握しながら、短編物語の読解を行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
9	短編物語：ファンタジー小説③	ファンタジー小説における他者との関係性を理解しながら、短編物語の読解を行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
10	短編物語：ファンタジー小説④	ファンタジー小説における物語のメッセージ性を理解しながら、短編物語の読解を行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
11	短編物語：ファンタジー小説⑤	これまでのまとめを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
12	短編物語：SF小説①	SF小説における物語の背景を理解しながら、短編物語の読解を行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
13	短編物語：SF小説②	SF小説における主人公の感情を把握しながら、短編物語の読解を行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
14	短編物語：SF小説③	SF小説における他者との関係性を理解しながら、短編物語の読解を行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
15	短編物語：SF小説④	SF小説における物語のメッセージ性を理解しながら、短編物語の読解を行います。また、授業の総まとめを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）

テキスト

「World English 1 (Second Edition)- Student Book with Online Workbook.」Becky Tarver Chase, Martin Milner, and Kristin L.Johannsen 著 (National Geographic Learning- Cengage)　ISBN:978-1-305-08954-9 (生協で購入してください。)

成績評価の方法・基準

定期試験：40%　小テスト：30%　受講態度：30%
S:到達目標を超えたレベルで理解し、修得した知識・技能を相互に関連付けて応用できる。A:授業内容を充分に理解し、かつ到達目標を達成し、基礎知識・技能を発展させた知識・技能を修得している。B:授業内容を理解し、かつ到達目標を概ね達成し、基礎知識・技能を修得している。C:授業内容を概ね理解し、最低限必要な基礎知識・技能を修得している。

参考書

「Any English language dictionary.」

履修上の注意（学生へのメッセージ）

Students are expected to prepare their homework, or to engage in other forms of self-study, before each weekly class session. Students are also expected to review & consolidate the material covered in class.

科目名	Public Speaking	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC26051	研究室	N-02
担当者	ﾏｰﾒｯﾄ ｼｮｰﾝ	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日3限、木曜日1限		
関連資格	中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

各テーマに対して、自らの意見を論理立てて話す実践的な演習を行います。また、そのために必要な「話の内容や構成」、「ノンバーバル・コミュニケーション」に関する理論についても触れていきます。さらに各自の発表を考察し合うことにより、どのようにスピーチや他のコミュニケーションに役立つかを考えます。

学修到達目標

・人前で論理立てて自分の意見を英語で伝えることができる。
・ノンバーバルを効果的に用いた英語のスピーキング技法を身につける。また、それらの技法の印象を様々な視点より考察することによって、英語教育の指導に役立てることができる。

授業の進め方

各テーマに対して、自らの意見を論理立てて話す実践的な演習を行います。また、そのために必要な「話の内容や構成」、「ノンバーバル・コミュニケーション」に関する理論についても触れていきます。授業はすべて英語で行われます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業のオリエンテーションを行い、授業の概要を説明します。	事前：シラバスの熟読、事後：授業で説明します（4時間）
2	スピーチにおける内容や構成	スピーチにおける内容や構成について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
3	内容と構成の準備①	将来の目的についての内容と構成の準備について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
4	スピーチの発表とフィードバック①	将来の目的について、スピーチの発表とフィードバックを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
5	内容と構成の準備②	尊敬する人物について、内容と構成の準備について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
6	スピーチの発表とフィードバック②	尊敬する人物について、スピーチの発表とフィードバックを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
7	内容と構成の準備③	心に残った授業について、内容と構成の準備について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
8	スピーチの発表とフィードバック③	心に残った授業について、スピーチの発表とフィードバックを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
9	ノンバーバル・コミュニケーションの理論	ノンバーバル・コミュニケーションの理論について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
10	ノンバーバルに配慮した内容と構成の準備①	理想とする教師像について、ノンバーバルに配慮した内容と構成の準備について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
11	ノンバーバルに配慮したスピーチの発表とフィードバック①	理想とする教師像について、ノンバーバルに配慮したスピーチの発表とフィードバックを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
12	ノンバーバルに配慮した内容と構成の準備②	地域とともにある学校について、ノンバーバルに配慮した内容と構成の準備について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
13	ノンバーバルに配慮したスピーチの発表とフィードバック②	地域とともにある学校ついてノンバーバルに配慮したスピーチの発表とフィードバックを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
14	ノンバーバルに配慮した内容と構成の準備③	国際社会において必要なスキルについて、ノンバーバルに配慮した内容と構成の準備について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
15	ノンバーバルに配慮したスピーチの発表とフィードバック③	国際社会において必要なスキルについて、ノンバーバルに配慮したスピーチの発表とフィードバックを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）

テキスト

「Present Yourself 1 (Second Edition) : Experiences Student's Book」Steven Gershon著C.U.P. Tokyo Telephone: 03- 3518- 8272.編 (Cambridge University Press (Tokyo))　ISBN:9781107435636 (生協で購入してください。)

成績評価の方法・基準

受講態度：30%
各回の発表に対する評価70%
S:到達目標を超えたレベルで理解し、修得した知識・技能を相互に関連付けて応用できる。A:授業内容を充分に理解し、かつ到達目標を達成し、基礎知識・技能を発展させた知識・技能を修得している。B:授業内容を理解し、かつ到達目標を概ね達成し、基礎知識・技能を修得している。C:授業内容を概ね理解し、最低限必要な基礎知識・技能を修得している。

参考書

「Any English language dictionary.」

履修上の注意（学生へのメッセージ）

Students are expected to prepare their homework, or to engage in other forms of self-study, before each weekly class session. Students are also expected to review & consolidate the material covered in class.

科目名	Writing Skills I	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC16052	研究室	N-02
担当者	ﾏｰﾒｯﾄ ｼｮｰﾝ	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日3限、水曜日1限		
関連資格	中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	2018年度～
	◎				◎	

授業概要

当初は、短い文書を書くことから始めて、徐々に複雑でより長い文章を書いていきます。英文法に留意しながら文章全体の構成を組み立て、より的確に論旨が伝わる英文ライティングを行います。これらを通し文体を理解し、コミュニケーションへの応用を考えます。

学修到達目標

・文法的に正確な英文を書くことができる。
・内容を的確に相手に伝え、論旨が明確な英文を書くことができる。
・正確な文法力と的確な伝達力を身につけ、表現方法と伝達内容について理解し、文体について考える力を身につけている。

授業の進め方

短い文書を書くことから始めて、徐々に複雑でより長い文章を書いていきます。英文法に留意しながら文章全体の構成を組み立て、より的確に論旨が伝わる英文ライティングを行います。授業はすべて英語で行われます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	オリエンテーションを行い、授業内容の概要を紹介します。	事前：シラバスの熟読、事後：授業で説明します（4時間）
2	ライティングにおける論理的思考	ライティングにおける論理的思考について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
3	日本語の文章と英語の文章との対比	日本語の文章と英語の文章を対比しながら、実際に長文を書くことを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
4	内容の構成①	お知らせと通知に関するメールの短文を例に、内容の構成について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
5	表現と文法の確認①	お知らせと通知に関するメールの短文を例に、表現と文法の確認について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
6	ファイナルドラフト①	お知らせと通知に関するメールの短文のファイナルドラフトを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
7	内容の構成②	自己紹介に関する短文を例に、内容の構成について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
8	表現と文法の確認②	自己紹介に関する短文を例に、表現と文法の確認について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
9	ファイナルドラフト②	自己紹介に関する短文のファイナルドラフトを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
10	内容の構成③	松本市の産業に関する長文を例に、内容の構成について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
11	表現と文法の確認③	松本市の産業に関する長文を例に、表現と文法の確認について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
12	ファイナルドラフト③	松本市の産業に関する長文のファイナルドラフトを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
13	内容の構成④	日本の伝統文化に関する長文を例に、内容の構成について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
14	表現と文法の確認④	日本の伝統文化に関する長文を例に、表現と文法の確認について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
15	ファイナルドラフト④	日本の伝統文化に関する長文のファイナルドラフトを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）

テキスト

「"Pathways 1: Reading, Writing, & Critical Thinking"- Text With Online Acces Code」Laurie Blass & Mari Vargo著（National Geographic Learning- Cengage） ISBN:978-1133942139（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

課題：60% 受講態度：20% 定期試験：20%
S:到達目標を超えたレベルで理解し、修得した知識・技能を相互に関連付けて応用できる。A:授業内容を充分に理解し、かつ到達目標を達成し、基礎知識・技能を発展させた知識・技能を修得している。B:授業内容を理解し、かつ到達目標を概ね達成し、基礎知識・技能を修得している。C:授業内容を概ね理解し、最低限必要な基礎知識・技能を修得している。

参考書

「Any English language dictionary.」

履修上の注意（学生へのメッセージ）

Students are expected to prepare their homework, or to engage in other forms of self-study, before each weekly class session. Students are also expected to review & consolidate the material covered in class.

科目名	Writing Skills II	学年学期	2年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC26053	研究室	N-02
担当者	ﾏｰﾒｯﾄ ｼｮｰﾝ	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日3限、水曜日1限		
関連資格	中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

Writing Skills I と比べると、より自らの主張を相手に伝える、意見サポート型と比較列挙型のエッセイ・ライティングの特徴を学び、実際に自らテーマを選んで英文エッセイを書いていきます。それらを通し、他の技能への応用がどのようにできるかも考えます。

学修到達目標

・エッセイ・ライティングの特徴を理解することができる。
・より豊富な語彙を用いて、的確に自らの主張を表現する英文エッセイを書くことができる。
・文体を理解し、他の技能での活用を考え、応用できる。

授業の進め方

エッセイの作成を中心に進めます。授業はすべて英語で行われます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	オリエンテーションを行い、授業内容の概要を紹介します。	事前：シラバスの熟読、事後：授業で説明します（4時間）
2	結論・理由①	意見サポート型エッセイを例に結論・理由のパターンについて学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
3	結論・理由②	意見サポート型エッセイを実際に作成し、結論・理由の書き方について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
4	添削のフィードバックを踏まえての書き直し	前回作成したエッセイの添削のフィードバックを踏まえての書き直しを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
5	分析①	意見サポート型エッセイの分析について、パターンの学習をします。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
6	分析②	意見サポート型エッセイを実際に作成し、分析について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
7	理論・証明①	意見サポート型エッセイを例に、理論・証明についてパターンの学習をします。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
8	理論・証明②	意見サポート型エッセイを実際に作成し、理論・証明について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
9	論争①	比較列挙型エッセイを例に、論争についてパターンの学習をします。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
10	論争②	比較列挙型エッセイを実際に作成し、論争について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
11	比較①	比較列挙型エッセイを例に、比較についてパターンの学習をします。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
12	比較②	比較列挙型エッセイを実際に作成し、比較について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
13	分類①	比較列挙型エッセイを例に、分類についてパターンの学習をします。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
14	分類②	比較列挙型エッセイを実際に作成し、分類について学びます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
15	まとめ	比較列挙型エッセイのまとめを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）

テキスト

「"Pathways 1: Reading, Writing, & Critical Thinking"- Text with Online Acc. Code」Laurie Blass & Mari Vargo著（National Geographic Learning- Cengage） ISBN:978-1133942139（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

課題：60% 受講態度：20% 定期試験：20%
S:到達目標を超えたレベルで理解し、修得した知識・技能を相互に関連付けて応用できる。A:授業内容を充分に理解し、かつ到達目標を達成し、基礎知識・技能を発展させた知識・技能を修得している。B:授業内容を理解し、かつ到達目標を概ね達成し、基礎知識・技能を修得している。C:授業内容を概ね理解し、最低限必要な基礎知識・技能を修得している。

参考書

「Any English language dictionary.」

履修上の注意（学生へのメッセージ）

Students are expected to prepare their homework, or to engage in other forms of self-study, before each weekly class session. Students are also expected to review & consolidate the material covered in class.

科目名	Discussion & Presentation	学年学期	3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC36054	研究室	N-02
担当者	ﾏｰﾒｯﾄ ｼｮｰﾝ	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日3限、木曜日1限		
関連資格	中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

各テーマに対して、ペアワークもしくは小グループによるディスカッションを通して得た結論に対して、口頭にて英語で論理的にプレゼンテーションします。

学修到達目標

・相手の話す内容から文脈や状況を判断して、批判的思考能力を活用し英語で返答したり自ら意見を述べたりするリスニングとスピーキングができる。
・その時々の文脈及び状況に見合った語彙を用いて、批判的に考え、口頭で効果的な英語のプレゼンテーションができる。

授業の進め方

ペアワークもしくは小グループによるディスカッションとプレゼンテーションを行います。授業はすべて英語で行われます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション、ディスカッションとプレゼンテーションの基礎	中学・高校での英語の授業でのディスカッションやプレゼンテーションを土台とした教育学理論的解釈について紹介する。	教育学的理論を使用して、プレゼンテーションのアウトラインを準備する（4時間）
2	ペアワークによるディスカッション①	自己PRで重視している点とは何か、ペアワークによるディスカッションを行います。	引き続き、教育学的理論を使用して、プレゼンテーションのアウトラインを準備する（4時間）
3	プレゼンテーション①	自己PRで重視している点とは何か、ディスカッションで得た結論を各人がプレゼンテーションします。	適切な教育学的理論を用いて、個々のプレゼンテーションの準備をする（4時間）
4	ペアワークによるディスカッション②	大学受験を通して学んだものは何か、ペアワークによるディスカッションを行います。	自身の大学の入学試験に基づいたスピーチの準備をする。（4時間）
5	プレゼンテーション②	大学受験を通して学んだものは何か、ディスカッションで得た結論を各人がプレゼンテーションします。	自身の大学の入学試験に基づいたプレゼンテーションを作成する。（4時間）
6	ペアワークによるディスカッション③	なぜ働くのかについて、ペアワークによるディスカッションを行います。	なぜ働くのかについてディスカッションの準備をする。（4時間）
7	プレゼンテーション③	なぜ働くのかについて、ディスカッションで得た結論を各人がプレゼンテーションします。	なぜ働くのかについて正確に説明できるように準備をする。（4時間）
8	フィードバック①	ペアワークに対するフィードバックを行います。	ペアワークの相手のスピーチについて「ピア評価」の準備をする。（4時間）
9	小グループワークでのディスカッション①	学生と社会人との違いについて、小グループワークによるディスカッションを行います。	学生と社会人の違いに関するディスカッションの準備をする。（4時間）
10	役割担当を決めたプレゼンテーション①	学生と社会人との違いについて、ディスカッションで得た結論について役割分担を決めてプレゼンテーションを行います。	学生と社会人との違いについてスピーチの準備をする。（4時間）
11	小グループワークでのディスカッション②	子どもにさせたい習い事について、小グループワークによるディスカッションを行います。	子どもにさせたい習い事についてディスカッションの準備をする。（4時間）
12	役割担当を決めたプレゼンテーション②	子どもにさせたい習い事について、ディスカッションで得た結論について役割分担を決めてプレゼンテーションを行います。	子どもにさせたい習い事についてのスピーチの準備をする。（4時間）
13	小グループワークによるディスカッション③	中学校と高校の教員に求められる能力とは何か、小グループワークによるディスカッションを行います。	中学校と高校の教員に求められる能力について、ディスカッションの準備をする。（4時間）
14	役割担当を決めたプレゼンテーション③	中学校と高校の教員に求められる能力とは何か、ディスカッションで得た結論について役割分担を決めてプレゼンテーションを行います。	中学校と高校の教員に求められる能力について、スピーチの準備をする。（4時間）
15	フィードバック②	小グループワークに対するフィードバックを行います。	グループワークのスピーチの「ピア評価」の準備をする。（4時間）

テキスト

「Speaking of Speech New Edition　(DVD付)」ハリントン デービッドルポー チャールズ著（(TOKYO TELEPHONE (03) 4533- 8082.)）編（株式会社マクミラン ランゲージハウス）　ISBN:978-0-2307-2601-7（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：30%
各回のプレゼンテーションに対する評価70%
S:到達目標を超えたレベルで理解し、修得した知識・技能を相互に関連付けて応用できる。A:授業内容を充分に理解し、かつ到達目標を達成し、基礎知識・技能を発展させた知識・技能を修得している。B:授業内容を理解し、かつ到達目標を概ね達成し、基礎知識・技能を修得している。C:授業内容を概ね理解し、最低限必要な基礎知識・技能を修得している。

参考書

「Any English language dictionary.」

履修上の注意（学生へのメッセージ）

Students are expected to prepare their homework, or to engage in other forms of self-study, before each weekly class session. Students are also expected to consolidate material covered in class.

科目名	Communicative English I	学年学期	3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC36055	研究室	N-02
担当者	ﾏｰﾒｯﾄ ｼｮｰﾝ	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日3限、木曜日1限		
関連資格	中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

個人によるワークを中心に、英語の4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）を統合的・効果的に活用し、4技能における文体を意識しながら、コミュニケーション能力を向上させるためにアクティブ・ラーニングを取り入れた様々な活動を行います。

学修到達目標

・英語の4技能を統合的・効果的に活用し、自己表現ができる。
・英語の4技能を統合的・効果的に活用し、円滑な相互理解をはかることができる。

授業の進め方

これまでの英語学修を踏まえて、4技能を統合して活用することを中心に進めます。自ら考え、情報収集、分析、考察、発信を英語で行います。授業はすべて英語で行われます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	オリエンテーションを行います。外国語没入法や授業への積極的な参加などの4技能を念頭に授業内容について説明します。	事前：シラバスの熟読、事後：授業で説明します（4時間）
2	自己発信型ワーク・プロジェクト①	物語を英語で創作するとともに、あらすじを構想します。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
3	自己発信型ワーク・プロジェクト②	あらすじを実際にライティングします。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
4	自己発信型ワーク・プロジェクト③	あらすじを他者に英語で説明します。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
5	自己発信型ワーク・プロジェクト④	他者の意見を参考にしてあらすじを再考します。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
6	自己発信型ワーク・プロジェクト⑤	物語のライティングを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
7	自己発信型ワーク・プロジェクト⑥	作成した物語のプレゼンテーションを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
8	自己発信型ワーク・プロジェクト⑦	フィードバックを行い、これまでの授業のまとめを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
9	探求型ワーク・プロジェクト①	松本市の産業について探求課題を決めます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
10	探求型ワーク・プロジェクト②	課題に対してインターネットや書物を調べます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
11	探求型ワーク・プロジェクト③	調査結果を他者に説明します。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
12	探求型ワーク・プロジェクト④	他者の意見を参考にして調査結果を再考します。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
13	探求型ワーク・プロジェクト⑤	調査結果をまとめ、プレゼンテーションの準備をします。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
14	探求型ワーク・プロジェクト⑥	調査結果のプレゼンテーションを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
15	探求型ワーク・プロジェクト⑦	フィードバックを行い、授業の総まとめを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）

テキスト

「Let's Talk Student's Book 1 with Self-Study Audio CD (Second Edition).」Leo Jones著（Cambridge University Press (2007)）
ISBN:978-0521692816（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：30%
各回のプロジェクトに対する評価70%
S:到達目標を超えたレベルで理解し、修得した知識・技能を相互に関連付けて応用できる。A:授業内容を充分に理解し、かつ到達目標を達成し、基礎知識・技能を発展させた知識・技能を修得している。B:授業内容を理解し、かつ到達目標を概ね達成し、基礎知識・技能を修得している。C:授業内容を概ね理解し、最低限必要な基礎知識・技能を修得している。

参考書

「Any English Language Dictionary.」

履修上の注意（学生へのメッセージ）

Students are expected to prepare their homework, or to engage in other forms of self-study, before each weekly class session. Students are also expected to review the material covered in class.

0301- -251

科目名	Communicative EnglishⅡ	学年学期	3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC36056	研究室	N-02
担当者	ﾏｰﾒｯﾄ ｼｮｰﾝ	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日3限、水曜日1限		
関連資格	中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

グループワークを中心に、英語の4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）を統合的・効果的に活用し、相手の意識や文体を理解することを目的とします。

学修到達目標

・英語の4技能を統合的・効果的に活用し、より高度な自己表現ができる。
・英語の4技能を統合的・効果的に活用し、聞く側を意識して、より込み入った内容に関して円滑な相互理解をはかることができる。

授業の進め方

コミュニケーション能力を向上させるためにグループ単位によるアクティブ・ラーニングを取り入れた様々な活動を行います。授業は英語で行われます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	オリエンテーションを行い、授業の概要について説明します。	事前：シラバスの熟読、事後：授業で説明します（4時間）
2	自己発信型グループワーク・プロジェクト①	グループで話し合い、課題を見つけるワークを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
3	自己発信型グループワーク・プロジェクト②	課題に対して、グループ内で方向性を打ち合わせます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
4	自己発信型グループワーク・プロジェクト③	課題に対して他グループに説明をします。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
5	自己発信型グループワーク・プロジェクト④	他グループの意見を参考にし、内容を再考します。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
6	自己発信型グループワーク・プロジェクト⑤	課題に対してのスクリプトのライティングを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
7	自己発信型グループワーク・プロジェクト⑥	課題をプレゼンテーションします。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
8	自己発信型グループワーク・プロジェクト⑦	フィードバックを行い、これまでの授業のまとめを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
9	探求型グループワーク・プロジェクト①	グループで話し合い課題を見つけます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
10	探求型グループワーク・プロジェクト②	課題に対してインターネットや書物を調べます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
11	探求型グループワーク・プロジェクト③	調査結果を他グループに説明します。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
12	探求型グループワーク・プロジェクト④	他グループの意見を参考にし、内容を再考します。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
13	探求型グループワーク・プロジェクト⑤	調査結果をまとめます。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
14	探求型グループワーク・プロジェクト⑥	調査結果をプレゼンテーションします。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）
15	探求型グループワーク・プロジェクト⑦	フィードバックを行い、授業の総まとめを行います。	事前：前回授業で指示した内容、事後：授業で説明します（4時間）

テキスト

「Let's Talk Student's Book 1 with Self-Study Audio CD (2nd Edition).」Leo Jones著（Cambridge University Press (2007)）
ISBN:978-0521692816（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：30%
各回のプロジェクトに対する評価70%
S:到達目標を超えたレベルで理解し、修得した知識・技能を相互に関連付けて応用できる。A:授業内容を充分に理解し、かつ到達目標を達成し、基礎知識・技能を発展させた知識・技能を修得している。B:授業内容を理解し、かつ到達目標を概ね達成し、基礎知識・技能を修得している。C:授業内容を概ね理解し、最低限必要な基礎知識・技能を修得している。

参考書

「Any English language dictionary.」

履修上の注意（学生へのメッセージ）

Students are expected to prepare their homework, or to engage in other forms of self-study, before each weekly class session.
Students are also expected to review the material covered in class.

0301- -258

科目名	異文化理解概論	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC16063	研究室	N-01
担当者	大石　文朗	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限、火曜日4限		
関連資格	中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	2018年度～
	◎				◎	

授業概要

イギリス、アメリカ、インド、フィリピンなどの英語圏社会における日常生活、風俗習慣、地理、歴史、文化、言語コミュニケーション、非言語コミュニケーションに関して具体的に事例を示しながら、日本の社会・文化と比較することによって、それぞれの異文化に対して理解を深めます。

学修到達目標

1.英語圏の社会および文化が理解できる。
2.異文化と比較することによって自文化に対する理解を深め、物事を多角的に捉えることができる。

授業の進め方

講義を中心としますが、適宜、グループディスカッションを行い、各授業テーマに対する理解を深めていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業の進め方等について	テキスト第1章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
2	日本人、イギリス人、アメリカ人に対するステレオタイプ	ステレオタイプの概念、そしてそれらの具体例を通して	テキスト第2章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
3	日本とアメリカにおける行事・風習の比較（クリスマス、ハロウィーン等）	クリスマス、ハロウィーン、イースター等の比較	テキスト第3章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
4	日本、イギリス、アメリカの食文化の特徴	各国固有の食に関わる事柄について具体例を通して	テキスト第4章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
5	日本、イギリス、アメリカの教育制度の比較	小学校から大学までの教育制度の違いについて	テキスト第5章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
6	日本とアメリカのボディランゲージの違い	ノンバーバル・コミュニケーションについて	テキスト第6章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
7	日本で使われているカタカナの英語表現とアメリカで使われている日本語表現	輸入された双方の言葉について具体例を通して	テキスト第7章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
8	英国国教会とピューリタンに関する歴史的変遷	英国における宗教そして価値観について	テキスト第8章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
9	イギリスにおける産業革命による資本主義社会の確立	英国における近代化について	テキスト第9章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
10	イギリスにおける階級制	英国における社会階層について	テキスト第10章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
11	アメリカにおけるWASP	米国における社会階層について	テキスト第11章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
12	パックスブリタニカによるアジアへの影響（インド）	英国の世界への影響について	テキスト第12章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
13	パックスアメリカーナによるアジアへの影響（フィリピン）	米国の世界への影響について	テキスト第13章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
14	アメリカにおけるハワイ州の成り立ち	米国の太平洋地域への影響について	テキスト第14章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
15	イギリスにおけるコモンウェルスレルムの成り立ち	英国の世界における影響力について	テキスト第15章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）

テキスト

「異文化理解入門」原沢伊都夫著（研究社）　ISBN:978-4327377342（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：60%　レポート：30%　受講態度：10%
（受講態度とは、授業中の発言回数を点数化して評価するものです）
S：授業内容を高度に理解するとともに、探求的な姿勢をもって課題に取り組んでいる。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって課題に取り組んでいる。
B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。
C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。

参考書

適宜、授業中に紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

問題意識を持って積極的に各授業テーマに取り組んでください。

科目名	英語圏文化演習Ⅰ	学年学期	3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC36064	研究室	N-01
担当者	大石　文朗	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日2限、月曜日4限		
関連資格	中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

各授業にて、アメリカの文化に関して様々な視点から概観するテーマを設定してあります。それらのテーマに対して、具体的な事例を通して文化を学びます。身近な話題も取り上げており、日本と比較しながらアメリカの文化的特徴の理解を深めます。

学修到達目標

1. アメリカの文化的特徴を理解できる。
2. アメリカと日本の文化を比較することによって、多様性を理解しそれらに対する寛容性を身につける。
3. アメリカの文化に関して自らの視点で考え発表できる。

授業の進め方

テーマに沿って各授業の前半は講義を行います。その後、ペアもしくはグループディスカッションを行って理解を深めていきます。また、履修生は指定された授業にて、自ら選んだテーマに関する発表が求められます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業の進め方等について	テキスト第1章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
2	アメリカと日本の家族文化の比較	家族のあり方等具体例の比較を通して	テキスト第2章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
3	アメリカのボランティア活動文化	様々な形態のボランティア活動の具体例を通して	テキスト第3章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
4	アメリカと日本の企業文化の比較	働き方等に関して具体例の比較を通して	テキスト第4章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
5	アメリカと日本の就職活動文化の比較	就職活動に関して具体例の比較を通して	テキスト第5章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
6	学生の発表	第2回～第5回のテーマに関して	発表の準備（4時間）
7	アメリカにおける移民による社会と文化への影響	アングロサクソン系について	テキスト第6章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
8	アメリカにおける移民による社会と文化への影響	アフリカ系について	テキスト第7章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
9	アメリカにおける移民による社会と文化への影響	アジア系について	テキスト第8章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
10	アメリカにおける異文化摩擦	異文化摩擦に関する具体例を通して	テキスト第9章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
11	学生の発表	第7回～第10回のテーマに関して	発表の準備（4時間）
12	アメリカと日本の若者文化の比較	50年代以降の若者文化の比較を通して	テキスト第10章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
13	アメリカにおける消費文化	消費文化に関する具体例を通して	テキスト第11章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
14	アメリカにおける娯楽文化	スポーツ、テーマパーク、カジノ等について	テキスト第12章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
15	学生の発表	第12回～第14回のテーマに関して	発表の準備（4時間）

テキスト

「アメリカの歴史 - テーマで読む多文化社会の夢と現実」有賀夏紀、油井大三郎編（有斐閣アルマ）　ISBN:978-4641121621（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：60%　受講態度：10%
発表30%
（受講態度とは、授業中の発言回数を点数化して評価するものです）
S：授業内容を高度に理解するとともに、探求的な姿勢をもって課題に取り組んでいる。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって課題に取り組んでいる。
B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。
C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。

参考書

適宜、授業中に紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

問題意識を持って積極的に各授業テーマに取り組んでください。また、発表に関しては、テーマを絞ってしっかりと準備してください。

科目名	英語圏文化演習Ⅱ	学年学期	3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC36065	研究室	N-01
担当者	大石　文朗	必修選択	選択	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限、火曜日4限		
関連資格	中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

カナダの文化に対して様々な視点から理解を深めます。特に、アメリカの文化と比較することによって、カナダの文化的特徴を明らかにします。各授業では様々なテーマを設定してあり、各事例を通して具体的に学びます。

学修到達目標

1. カナダの文化的特徴を理解できる。
2. 隣国アメリカとどのような文化的差異があるのかを理解できる。
3. カナダの文化に関して自らの視点で考え発表できる。

授業の進め方

テーマに沿って各授業の前半は講義を行います。その後、ペアもしくはグループディスカッションを行って理解を深めていきます。また、履修生は指定された授業にて、自ら選んだテーマに関する発表が求められます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業の進め方等について	テキスト第1章～第2章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
2	カナダ人に対するステレオタイプ	ステレオタイプに関して具体例を通して	テキスト第3章～第4章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
3	カナダとアメリカにおける食文化の比較	両国固有の食に関する事柄について具体例を通して	テキスト第5章～第6章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
4	カナダとアメリカにおける英語表現の比較	両国の表現の違いについて具体例を通して	テキスト第7章～第8章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
5	カナダとアメリカにおける宗教的文化の比較	両国の宗教事情と価値観について	テキスト第9章～第10章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
6	学生発表	第2回～第5回のテーマに関して	発表の準備（4時間）
7	カナダにおける移民による社会と文化への影響	イギリス系について	テキスト第11章～第12章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
8	カナダにおける移民による社会と文化への影響	フランス系について	テキスト第13章～第14章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
9	カナダにおける移民による社会と文化への影響	アジア系について	テキスト第15章～第16章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
10	カナダにおける異文化摩擦	異文化摩擦に関する具体例を通して	テキスト第17章～第18章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
11	学生発表	第7回～第10回のテーマに関して	発表の準備（4時間）
12	カナダの公用語	二言語政策について	テキスト第19章～第20章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
13	カナダの教育	イマージョンプログラムについて	テキスト第21章～第22章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
14	カナダにおける文化の捉え方の現状	多文化主義について	テキスト第23章～第24章を事前に読む。授業の内容について復習する。（4時間）
15	学生発表	第12回～第14回のテーマに関して	発表の準備（4時間）

テキスト

「はじめて出会うカナダ」日本カナダ学会編（有斐閣）　ISBN:978-4-641-17358-3（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：60%　受講態度：10%
発表30%
（受講態度とは、授業中の発言回数を点数化して評価するものです）
S：授業内容を高度に理解するとともに、探求的な姿勢をもって課題に取り組んでいる。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって課題に取り組んでいる。
B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。
C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。

参考書

適宜、授業中に紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

問題意識を持って積極的に各授業テーマに取り組んでください。また、発表に関しては、テーマを絞ってしっかりと準備してください。

0301- -261

科目名	異文化交流海外研修	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	AC26066	研究室	N-01
担当者	大石　文朗・和田　順一	必修選択	選択必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日2限、月曜日4限		
関連資格	中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎				◎	

授業概要

この授業科目は、英語の教員免許取得希望学生のために設けられた短期留学プログラムです。8〜9月に約2週間、米国カリフォルニア州にあるカリフォルニア大学デービス校が実施する留学プログラムに参加します。留学中は基本的に、月曜日から金曜日の午前中は「英語」もしくは「英語教授法」に関する授業があり、午後は様々なアクティビティに参加します。宿泊はホームスティです。（諸事情により時期、研修先、滞在方法等を変更する場合があります。変更した場合には、事前にプログラム内容を周知します）

学修到達目標

1. 現地の人々との交流を通して文化や生活習慣の違いを自らの体験を通して理解できる。2. 様々な人々と積極的にコミュニケーションをとることができる。3. 英語が日常言語の環境で生活し、語学力を向上させる。4. 英語教授法を学び、英語を使って教える経験をする。5. 留学先に関する情報などを自ら調べ、計画的に物事を進めていく習慣を身につける。

授業の進め方

研修を実りあるものにするために、与えられた情報だけではなく、学生自ら探求し、一人ひとりが得た情報を皆で共有することを行います。さらに、渡航のために必要な事務手続きも進めていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	研修の内容について	授業の内容についてまとめる。（4時間）
2	研修先の歴史と文化	米国カリフォルニア州とデービス市について	研修先の下調べを行う。授業の内容についてまとめる。（4時間）
3	学生が自ら調べてきた留学先に関する情報を発表し共有する	グループディスカッションと発表	留学先の情報を調べる。授業の内容についてまとめる。（4時間）
4	現地にて英語で教えるための準備	自身の町（松本市）等について	松本市等について調べる。授業の内容についてまとめる。（4時間）
5	現地にて英語で教えるための準備	日本の伝統文化等について	日本の伝統文化等について調べる。授業の内容についてまとめる。（4時間）
6	現地にて英語で教えるための準備	日本の若者文化等について	日本の若者文化等について調べる。授業の内容についてまとめる。（4時間）
7	出入国やホームスティに関する英語表現	研修で必要と想定される英会話表現について	日常英会話について予習する。授業の内容について復習する。（4時間）
8	海外における危機管理と自己管理	移動中そして滞在中の諸注意について	質問事項をまとめる。授業の内容についてまとめる。（4時間）
9	出発前の最終確認	渡航に関する全般的な確認等について	質問事項をまとめる。授業の内容についてまとめる。（4時間）
10	現地研修	午前（英語）、午後（キャンパス・市内見学等）	授業の予習と復習をする。（4時間）
11	現地研修	午前（英語教授法）、午後（交流会：英語で松本市の紹介等）	授業の予習と復習をする。（4時間）
12	現地研修	午前（英語）、午後（小旅行等）	授業の予習と復習をする。（4時間）
13	現地研修	午前（英語教授法）、午後（交流会：英語で日本文化の紹介等）	授業の予習と復習をする。（4時間）
14	現地研修	午前（英語）、午後（現地の伝統文化見学等）	授業の予習と復習をする。（4時間）
15	報告会	一人ひとり口頭での報告	報告の準備をする。（4時間）

テキスト

開講時に指示します。

成績評価の方法・基準

課題：20%
（課題とは報告会での発表です）、出発前ガイダンスへの取り組み20%、留学中の現地担当教員による評価60%、として評価します。
S：授業内容を高度に理解するとともに、探求的な姿勢をもって課題に取り組んでいる。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって課題に取り組んでいる。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組んでいる。

参考書

適宜、授業中に紹介し、必要な資料はコピーを配布します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

様々な書類を提出する必要がありますが、提出期限は厳守してください。

0102- -152

科目名	異文化交流演習	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	TA36029	研究室	W-17
担当者	益山　代利子	必修選択	選択必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日2限		
関連資格	中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
		◎	◎			

授業概要

異文化交流の為には、まずは自国の文化や社会事情に精通する必要があります。異文化交流の実践を通して日本文化や社会事情について英語で簡単に説明できるようになることを目指します。

学修到達目標

日本文化や日本の現代社会事情について理解を深め、それを簡単な英語を用いて説明できるようになる。

授業の進め方

この演習を通して、各自が調査した内容を英語で発表します。松本城での英語による観光案内や茶道体験、松本市内のゲストハウスに宿泊する外国人との交流会なども行い、言葉の不安を乗り越え、実践できる英語力を身につけます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	はじめに	講義の概略説明。英語による自己紹介。	シラバスを読み概略をつかむ(4時間)
2	日本の地理	日本の地理、自然、気象について各自が調査したことを英語で説明します。地理の説明に必要な表現方法を学びます。	ある観光地の地理について事前調査、英文作成。(4時間)
3	日本の世界遺産	日本の世界遺産について学び、英語で表現します。	日本の世界遺産について事前調査、英文作成。(4時間)
4	発表	日本の地理や世界遺産について英語でプレゼンします。	プレゼン準備(4時間)
5	日本の産業	日本の代表的な産業について学び、英語で表現します。	農業、旅館業、製造業について事前調査、英文作成。(4時間)
6	日本の商慣習	日本のビジネスマナーについて英語で説明します。	日本特有のビジネスマナーやグローバルなプロトコールについて事前調査。(4時間)
7	外部講師による講演	日本企業の特徴について海外進出をしている企業の話を聞きます。	講演会参加レポートの提出(4時間)
8	日本の食文化	和食について学び、英語で説明します。	和食に使われる英語の復習。(4時間)
9	茶道	茶道の歴史、種類、手法について英語で説明します。	茶道のお点前の流れを予習しておきます。(4時間)
10	茶道体験	外部講師による茶道体験をします。	茶道のお点前の流れを確認しておきます。(4時間)
11	発表	日本の食文化や茶道についての英語発表	プレゼンの準備(4時間)
12	日本の城	松本城について英語で学びます。	松本城の事前調査(4時間)
13	松本城案内体験	松本城のボランティアガイドについて案内のコツを学びます。	松本城の英語資料を読む(4時間)
14	ゲストハウスでの国際交流	ゲストハウス松本の宿にて、外国人旅行者との交流会に参加します。	松本周辺の観光地情報を事前調査(4時間)
15	まとめ	これまでの異文化体験を振り返り、よく使われる英語表現を確認します。	英語で説明する日本文化を復習(4時間)

テキスト

購入するテキストはありませんが、プリントを各種用意して学習します。

成績評価の方法・基準

レポート：30%　実技：30%　課題：40%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解け、他の学生の前で発表できる。A：授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって内容に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「英語で説明する日本の文化必須表現グループ100」上田一三、上田敏子、山中敏彦著（株式会社語研）　ISBN：978-4-87615-219-3

履修上の注意（学生へのメッセージ）

簡単な英語で外国人との交流ができるようになることを目指します。話すことが目的ですので、楽しく学びましょう。

0202- -13

科目名	医学概論	学年学期	1年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL15004	研究室	S-03
担当者	進藤　政臣	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日1限、金曜日1限		
関連資格	指導士、第一種衛生、養教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○	△		△	△	△	

授業概要

人の健康づくりに携わる職種は、医学や医療と密接な関係があります。したがって、医学や医療の正しい知識や現状を学ぶことにより、健康の増進や疾病の予防をいかにするかを知ることが目的です。
医学は、人の健康と疾病について学ぶ学問であり、この講義では、医学の定義、構成分野、発達の歴史、さらに健康や疾病の基礎的知識を学びます。その上で、倫理上の点も含めて、今日の医療の課題や問題点も学びます。

学修到達目標

医学や医療体制、疾病など、医療全般についての概要が理解できることを到達目標とします。

授業の進め方

座学形式で講義します。基本的な事項については、教科書に沿って説明します。問題点については個人個人の考え方を発表しあって、より妥当な考え方に到達するように努めます。必要に応じてプリントも配布します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	医学概論とは何か、何を学び何が要求されるのかについて講義します	講義で話された内容をよく復習しておいてください（4時間）
2	医学の歴史	医学史を学ぶ意義、古代から現在までの医学の流れ、日本における医学の発展について講義します	教科書p.1～14を予習しておいてください（4時間）
3	病気とその治療、予防	健康の定義、病気の定義と分類、医療の目的、療養施設の種類と目的について講義します	教科書p.15～23を予習しておいてください（4時間）
4	患者の診察と検査	診療の流れ、病歴聴取、診察の目的・所見、検査の目的・種類・意義について講義します	教科書p.24～36を予習しておいてください（4時間）
5	社会保険と医療保険	制度のあゆみ、社会保障の概念と制度、健康保険、各国の医療制度について講義します	教科書p.37～47を予習しておいてください（4時間）
6	日本の医療の現状と国民の意識	健康寿命、国民の自己評価、受診行動、医療機器、予防医療、国民医療費について講義します	教科書p.48～61を予習しておいてください（4時間）
7	わが国の医療の問題点と対策	医師不足、無医地区、救急医療、国の対策、5疾病5事業について講義します	教科書p.62～73を予習ししておいてください（4時間）
8	生活習慣病、健康日本21と特定健診	生活習慣病の概念と意義、健康日本21、特定健診、特定保健指導について講義します	教科書p.74～80を予習しておいてください（4時間）
9	高齢者医療、健康長寿と介護保険	高齢者、高齢化社会、健康長寿、老化防止、介護保険について講義します	教科書p.99～113を予習しておいてください（4時間）
10	リハビリテーション	概念と定義の変遷、ノーマリゼイション、関係法規、国連の取り組み、リハビリテーションの種類と諸段階について講義します	教科書p.114~128を予習しておいてください（4時間）
11	医療職の役割とチーム医療	医療従事者の職種と業務内容、チーム医療の歴史と現状について講義します	教科書p.129～145を予習しておいてください（4時間）
12	医療安全	医療事故、前事故事象（ヒヤリハット）、事故の原因と対処、院内感染予防、安全管理体制について講義します	教科書p.146～154を予習しておいてください（4時間）
13	医の倫理・患者の権利1	医療の倫理的側面、時代による変遷、自己決定権、リスボン宣言、患者の権利と責務、インフォームドコンセント、セカンドオピニオンについて講義します	教科書p.170～176を予習しておいてください（4時間）
14	医の倫理・患者の権利2	生殖医療、人工受精、代理出産、遺伝子診断、母体保護法、脳死、臓器移植、緩和ケア、終末期医療、安楽死と尊厳死について講義します	教科書p.176～187を予習しておいてください（4時間）
15	医学研究	ヘルシンキ宣言、国の倫理指針、疫学研究、コホート研究、EBM、臨床試験、先端的研究（ヒトゲノム計画、幹細胞の利用と再生医療）について講義します	教科書p.194～208を予習しておくこと（4時間）

テキスト

「現代医学概論 第2版」柳澤　信夫著（医歯薬出版）　ISBN:978-4-263-73164-2（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：100%
S: 医学・医療の歩みと，日本の医療の特徴，種々の歴史的・社会的・経済的・倫理的・医療的課題を充分に理解している，A: 上記をほぼ理解している，B: 上記を8割程度は理解している，C： 6割程度は理解している．

参考書

「医学概論」北村　論著（中外医学社）
「医学概論」日野原　重明著（医学書院）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

医学史や現代医学の概要、医療体制を知ることにより、わが国の医療の概要を理解し、いかに疾病を予防するかを自ら考えてください。講義の前には、必ず教科書に目を通しておくこと。自ら考えるために通読することが大切です。

0202- -211

科目名	養護概説	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SL15006	研究室	S-19
担当者	中島　節子・早川　維子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	養教一			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎					◎	2018年度～

授業概要

この科目は、養護教諭1種免許取得を目的とする科目の1つです。養護教諭の沿革や職務内容等の基本的な事項を学び、養護教諭に必要な知識や求められる能力について、体系的に理解することを目的としています。保健室の機能、学校保健情報の把握、保健指導・保健学習、救急処置および救急体制、健康診断、健康相談活動、学校環境衛生、感染症の予防、学校保健に関する各種計画および組織活動の企画と運営への参画等、養護教諭の職務についての基本的な事項を学びます。

学修到達目標

学校における養護教諭の役割と養護教諭の専門性を説明できる。
養護教諭の基本的な職務内容を実践と結びつけ理解し、理想の養護教諭像を描くことができる。

授業の進め方

講義では、養護教諭職の基礎、基本を中心に置きながら、学校現場の養護教諭の講義を交えて具体的な実践事例を取り上げて講義していきます。現代の学校現場に求められる養護教諭の専門性について考えながら、実践できる能力について学びます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	養護教諭の職務	養護教諭の歴史の歴史について学びます。養護教諭の免許と養成制度について学びます。	テキストの第1章を予習復習する。養護教諭の歴史についてまとめる。（4時間）
2	学校教育と学校保健	教育の目的、学校保健に関連する法律について学びます。学校保健計画について実例を交えて考えます。	テキストの第2章を予習復習する。（4時間）
3	養護教諭の職務、子どもの現代的な健康課題とその対応	養護教諭の専門性、職務内容、養護教諭の新たな役割について学びます。こどもの現代的な健康課題、発育状況、いじめ、保健室登校、生活習慣の乱れなどの現状を学び、対応を考えます。	テキストの第3、4章を予習、復習する。現代の子ども達の健康課題を考える。（4時間）
4	保健管理：健康診断	健康診断の法的根拠や定期健康診断の流れ、事後処置について学びます。	テキストの第5章の2節の健康診断についてまとめる。（4時間）
5	保健管理：健康観察	健康観察の重要性、目的を学びます。健康観察の視点、フィジカルアセスメントを活用した健康観察の実際について学校での実際を聞きながら学びます。	テキストの第5章3節の健康観察についてまとめる。（4時間）
6	健康相談	健康相談の基本的な考え方、健康相談の進め方と実施上の留意点について、実際に学校で行われている事例を含めて学びます。	テキストの第7章の健康相談についてまとめる。（4時間）
7	精神保健、PTSDの理解とその予防	メンタルヘルスに対応するための基礎知識、PTSDの理解とその予防について学びます。	テキストの第8章、第9章をまとめこどもの心の問題解決についてまとめる。（4時間）
8	養護教諭に必要な資質と能力　疾病予防	疾病管理の目的と留意点学校における感染症の予防と管理、学校におけるアレルギー対応について学びます。	テキストP188～204までを予習、復習しておくこと（4時間）
9	保健管理：救急処置	救急処置の目的、学校内の救急体制の確立、学校管理下の事故発生の対応について学びます。	テキストの第5章の1節の救急処置についてまとめる。（4時間）
10	学校環境衛生	学校環境衛生基準と環境検査について学び、養護教諭の役割を考えます。	テキスト第5章の5節、学校の環境衛生についてまとめる。（4時間）
11	保健教育	保健教育のめざすもの、教科保健（保健学習）について学びます。学校における保健指導の位置づけ等について学校で実際行われている保健指導の現状を交えて学びます。	テキストの第5章の保健教育についてまとめる。（4時間）
12	学校教育相談、特別支援教育と養護教諭	学校における教育相談での養護教諭の役割を学びます。インクルーシブ教育、特別支援教育の対象、特別支援教育コーディネーター、医療的ケア等について学びます。	テキストの第10章をまとめる。（4時間）
13	保健室経営、保健組織活動	保健室経営経営計画から評価までを学びます。学校における保健組織について学びます。	テキストの第11章、第12章をまとめる。（4時間）
14	安全管理と危機管理	学校と子どもをめぐる安全の現状を考え、危機管理の進め方を考えます。危機管理における養護教諭の役割について学びます。	テキストの第13章をまとめる。災害時の養護教諭の役割についてまとめる。（4時間）
15	調査、研究、プレゼンテーションの進め方	養護教諭が行う実践的研究とその進め方　プレゼンテーションの仕方について学び、実践研究について考えます。	テキスの第14章をまとめる。養護教諭の関する論文を検索し、解読する。（4時間）

テキスト

「新養護概説＜第9版＞」采女智津江著（少年写真新聞社）　ISBN:978-4-87981-556-9（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：100%
定期試験で評価します。S:養護教諭に必要な法的根拠や知識を理解できる。
A:養護教諭に必要な法的根拠や知識を説明できる。B：養護教諭に必要な知識や専門性について基礎的なことは説明できる。C:養護教諭に必要な知識や養護教諭の専門性について6割以上理解できる。

参考書

「養護教諭のための現代の教育ニーズに対応した養護学概論」岡田加奈子　河田　史宝編（東山書房）
「四訂養護概説」三木とみ子著（ぎょうせい）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

養護教諭1種免許取得を目指す学生は必ず履修してください。また、養護教諭1種免許を取得するためには、健康相談活動、養護教諭と看護、看護学概論、学校の看護、看護実習を併せて履修することが必要となります。

科目名	健康相談活動	学年学期	3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SC36029	研究室	S-19
担当者	中島　節子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	養教一			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○		△			◎	

授業概要

近年、保健室を訪れるこども達は、身体的な症状だけでなく心の問題やその子を取り巻く環境の問題を伴っている場合が多くなっています。ここでは養護教諭が、こども達の様々な健康相談に対応できる基本的能力を獲得することを目的とします。こども達の発育、発達を踏まえ、養護教諭の行う健康相談活動の意義や方法を学び、実践に必要な判断力、観察力やコミュニケーション能力を高めます。

学修到達目標

心と身体の両面への対応である健康相談活動の基本と一連のプロセスを理解している。
健康相談活動を行う基本的な態度、観察力、コミュニケーション能力を身につける。
養護教諭としての実践能力を身につける。

授業の進め方

講義のみでなく、事例を使った演習を行いながら双方向の授業を行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業の進め方について説明します。養護教諭が行う健康相談の目的と特質について学習します。	養護教諭の健康相談について既習学習を復習する。（4時間）
2	子どもの発達段階と健康課題の特徴	社会の変化と子どもの健康問題の変遷について学びます。子どもの発達段階に応じた心身の健康課題を取り上げて分析し討議します。	子どもの発達段階と各時期の健康問題をまとめ、対応策を考える。（4時間）
3	健康相談の基礎	健康相談の対象の理解と問題の理解、相談の方法について学びます。事例を通して具体的対応を考えます。	事例についての基本的な内容を予習しレポートする。（4時間）
4	健康相談の情報とアセスメント	事例を通して基本を学びます。必要な情報とは何か、情報の分析方法、優先順位の考え方、アセスメントを考え、討議します。	事例についての発達段階と問題について基本的な内容を予習復習する。（4時間）
5	健康相談の展開	事例を通して基本を学びます。必要な情報とは何か、それらの情報を判断し対応する過程を考え討議します。情報収集は実際にロールプレイングしながらコミュニケーションの方法を学びます。	事例についての発達段階と問題について基本的な内容を予習復習する。（4時間）
6	健康相談における記録	相談記録の目的、記録の書き方について学習します。事例検討のためのまとめ方を学び、実際に事例検討を行います。	健康相談における記録について予習、復習する。（4時間）
7	健康相談の実際　応急手当	身体の健康問題をかかえた事例（応急手当で話を聞き、対応することで終了する事例）について、情報の分析、問題解決の方法（児童生徒への支援）について討議します。	応急手当の方法の基本について復習する。事例を検討する。（4時間）
8	健康相談の実際　保健室頻回来室児	身体の健康問題をかかえた事例(頻回に保健室に来室する事例）について、情報の分析、問題解決の方法（児童生徒への支援の方法）について討議します。	フィジカルアセスメントの方法について復習する。事例を検討する。（4時間）
9	健康相談の実際　慢性疾患を抱えた児	身体の健康問題をかかえた事例（長期に関わる必要がある事例）について、情報の分析、問題解決の方法（児童生徒への支援）について討議します。	疾患について復習し、事例を分析する。（4時間）
10	健康相談の実際　精神	精神の健康問題（不登校、虐待の事例）の事例について、情報収集の方法、収集した情報の分析をして何が問題かをとらえます。また問題解決の方法（児童生徒、家族への支援、関連機関）について討議します。	不登校、虐待など学校における課題について学習する。（4時間）
11	健康相談の実際　精神疾患	精神の健康問題をかかえた事例（心身症、精神疾患の事例）について、疾患の特徴と照らし合わせて考え、解決の方法（児童生徒、家族への支援）について討議します。	発達障害、精神疾患について予習復習する。（4時間）
12	健康相談の実際　発達障害	精神野発達に関する健康問題をかかえた事例（発達障害、特別支援学校の児童生徒の事例）について、疾患の特徴と照らし合わせて考え、解決の方法（児童生徒、家族への支援）について検討します。	発達障害、精神疾患について予習、復習する。（4時間）
13	健康相談の実際　養護教諭	健康相談における今日的課題と対応について、教育現場の養護教諭(外部講師）が具体的な事例を通して講義します。	授業内容を復習整理する。（4時間）
14	健康相談の実際　臨床心理士	健康相談における今日的課題と連携について、臨床心理士が具体的な事例を通して講義します。	授業内容を復習整理する。（4時間）
15	まとめ	関連機関との連携やコーデイネーションについて整理します。養護教諭が行う健康相談についてまとめます。	授業を振り返り復習する。（4時間）

テキスト

必要な資料は配布します。

成績評価の方法・基準

定期試験：70%　レポート：20%　実技：10%
S:事前事後の課題を提出でき、内容を理解して事例に応用することができる。演習も個別に応じた対応ができ積極的にかかわることができている。A:事前事後の課題を提出でき、内容を理解して事例に対応することができる。演習も個別に対応ができている。B:事前事後の課題の提出ができ、事例につなげて考えることができる。演習は基本的な対応はできる。C:事前事後の課題の提出ができている。演習は指導すればできる。

参考書

「養護教諭の行う健康相談　第12版」井手元美奈子ほか著（東山書房）
「養護教諭が行う　健康相談・健康相談活動の理論と実際」（ぎょうせい）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

養護教諭専門科目の2年次配当科目の履修が終了した人が履修してください。この授業は、子どもの発育、発達、人体の解剖生理、疾患等の基本の上に成り立っているため関連科目の復習をしておいてください。

科目名	生活習慣病と予防	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UA23106 UA23107	研究室	S-16
担当者	江原　孝史	必修選択	選択	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日2限		
関連資格	養教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○	△		◎			

授業概要

食事をはじめとする生活習慣はさまざまな病気の発症に深くかかわっている。遺伝が原因の病気においてもこれは同様である。生活習慣を見直すことで病気の発症を防ぎ健康長寿を達成することができます。
　本講義では、生活習慣が関係して発症するさまざまな疾患について学び、生活習慣病を防ぐための食事、運動について知ることを目的とします。実習では自分の体の状態（体重、腹囲、血圧、ヘモグロビン、体脂肪量、動脈血酸素飽和度）をチェックします。

学修到達目標

自分の生活習慣と健康状態を知り、自らの生活習慣病のリスクを把握することによって、より健康的な学生生活を送ることができ、かつ、生活習慣病とそれを予防するための知識を教えることができるようになること。

授業の進め方

スライドを使いながらレポートと実習で進めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	生活習慣病とは？　成人病から生活習慣病へ　生活習慣病の低年齢化について学びます。	教科書13-36ページを読んでくる。自分の生活習慣を調べてくる。（4時間）
2	肥満、肥満症	なぜヒトは太るのか（痩せることができないか）肥満の定義とBMI の計算方法について学びます。自分の体重を測定し、体脂肪、内臓脂肪をチェックし、BMIを計算する。	教科書37-72ページを読んでくる。小児肥満の問題について調べる。（4時間）
3	糖尿病（1)	糖尿病の定義、分類（I型、II型）、血糖値とHbA1c測定の意義について学びます。グルコーススパイクとその意義について学びます。	教科書73-87ページを読んでくる。糖尿病と遺伝の関係を調べる。（4時間）
4	糖尿病（2)	糖尿病の合併症、運動療法、食事療法について学びます。	教科書88-102ページを読んでくる。糖尿病の合併症の特徴を調べる。（4時間）
5	脂質異常	脂質異常症の種類と原因、動脈硬化との関係、脂質異常の予防法について学びます。	教科書125-130ページを読んでくる。1日に摂取する脂質の種類と特徴について調べる。（4時間）
6	メタボリックシンドローム	メタボリックシンドロームの定義とその意義について学びます。	事前に腹囲を測定する。メタボリックシンドロームの体への影響を調べる。（4時間）
7	高血圧	高血圧の定義、本態性高血圧と二次性高血圧、家庭血圧と診察室血圧の違いについて学びます。血圧の正しい測定方法を学び、自分の血圧を測定します。	教科書103-124ページを読んでくる。高血圧の影響について調べる。（4時間）
8	虚血性心疾患	虚血性心疾患の分類（狭心症、心筋梗塞）、運動療法について学びます。	教科書133-158ページを読んでくる。心臓リハビリについて調べる。（4時間）
9	脳卒中	脳出血、脳梗塞の分類、脳卒中のサインと危険因子について学びます。	脳梗塞の治療法、特に薬物治療について調べる。（4時間）
10	消化器の生活習慣病	逆流性食道炎、胃潰瘍、胆石、脂肪肝、慢性膵炎、大腸憩室などについて学びます。	生活習慣とさまざまな消化器疾患との関係を調べる。（4時間）
11	呼吸器疾患	慢性閉塞性肺疾患（COPD）の種類とSpO2測定の意義、COPDに対する運動療法の有用性、運動誘発性ぜんそくについて学びます。パルスオキシメーターでSpO2を測定します。	スパイロメーターで自分の肺活量、1秒率、肺年齢を調べる。（4時間）
12	がん	がんの定義、がんの男女別死亡率、がんの生物学、がん検診と一次予防について学びます。	日本人がかかるがんの特徴とがん検診の問題について調べる。（4時間）
13	運動器疾患	変形性関節症、変形性脊椎症、骨粗鬆症についてとその予防と運動について学びます。骨密度の測定方法の種類とその特徴を学ぶ。	教科書233-256ページを読んでくる。自分の骨密度を測定する。（4時間）
14	ロコモティブシンドローム	ロコモティブシンドロームの構成概念、サルコペニアやフレイルの定義、高齢者の運動障害の特徴について学びます。	事後にロコチェックとロコトレを行う。サルコペニアのメカニズムを調べる。（4時間）
15	認知障害、認知症	認知症の病態、認知症症状と症状に対する運動療法（コグニサイズ）について学びます。	教科書211-232ページを読んでくる。（4時間）

テキスト

「Q ＆ A 生活習慣病の科学　Neo」中尾　一和編（京都大学学術出版会）
ISBN:978-4-8140-0050-0（生協で購入してください。）　授業とレポートに必要なので必ず購入してください

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　レポート：20%
評価の基準　S：授業内容を高度に理解し、実習に積極的に取り組みかつ質問し、実習課題の内容が特に優れ、定期試験も90点以上。A：授業内容をよく理解し、実習に積極的に取り組みかつ質問し、実習課題の内容が優れ、定期試験が80点以上。B：授業内容を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、実習課題の評価が良で定期試験が70点以上。C：授業の内容を理解し、与えられた課題に取り組み、実習課題の評価が可で定期試験が60点以上。

参考書

「健康運動指導士養成講習会テキスト95頁～253頁」（財団法人健康・体力づくり事業団）
「世界一長寿な都市はどこにある？」家森幸男著（岩波書店）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

毎日の生活習慣（食事を含め）が病気の発症に影響することを知ろう。とくに栄養と運動とが大きな要素であることを学ぼう。

科目名	薬理学	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SC25009	研究室	非常勤
担当者	鈴木　仁志	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	養教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	2016年度～
◎					◎	

授業概要

いろいろな医薬品が、人の病気の治療にどのような作用で効果を発揮するのかについて、生化学や薬理学、生理学的な基本的原理を基盤に理解していきます。なお、健康食品、サプリメント、食品添加物などについても、栄養学的、薬理学的側面からその効果について触れます。また、これら医薬品等を取り巻く法的規制や社会的事象についても取り上げ、薬と人との関わり方についても学びます。

学修到達目標

薬に関する基礎知識を習得し、薬物の特徴・作用機序・生体への影響について理解できる。医薬品と健康食品等との違いが理解できる。

授業の進め方

基本的に教科書に準じて進めますが、プリントなどの資料を配布して、内容をよく理解できるように進めていきます。また、新たな教材やトピックを取り上げて説明したり、現代的課題を取り上げたりして、わかりやすく講義を展開していきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	薬理学総論：薬理学とは、薬の生体内動態について	薬と人の歴史をとおして、薬理学の成り立ちを理解し、薬の生体内での挙動について学びます。	事前：薬の投与方法について調べてみる。事後：履修事項を復習する。（4時間）
2	薬理学総論：薬と受容体	薬が生体内で作用を現すしくみについて、受容体との関係をとおして理解し、薬の相互作用のしくみも学びます。	事前：教科書を予習しておく。事後：薬物耐性が発現する機序をまとめる。（4時間）
3	薬理学各論：神経伝達物質と末梢神経作用薬	人の生命活動の重要な要素である神経系の情報伝達の担い手である伝達物質について学び、特に末梢神経系に作用する薬について解説します。	事前：神経系を構成する細胞について調べてみる。事後：履修事項を復習する。（4時間）
4	薬理学各論：中枢神経系に作用する薬①	中枢神経系の生理活性物質について学び、代表的な疾患と抗精神病薬について説明します。	事前：教科書を予習しておく。事後：履修事項を復習する。（4時間）
5	薬理学各論：中枢神経系に作用する薬②	気分障害の治療薬や抗てんかん薬、抗パーキンソン病薬について解説します。	事前：教科書を予習しておく。事後：履修事項を復習する。（4時間）
6	薬理学各論：循環系に作用する薬	心不全治療薬や抗高血圧薬について解説します。	事前：心房細動について調べてみる。事後：履修事項を復習する。（4時間）
7	薬理学各論：血液に作用する薬	血液凝固と血栓溶解のしくみについて学び、血液の異常を治療する薬について解説します。	事前：アスピリンジレンマとは何か調べておく。事後：血液凝固因子についてまとめる。（4時間）
8	薬理学各論：抗炎症薬、抗アレルギー薬	炎症やアレルギーの発症機序を学び、それらを抑える薬について解説します。	事前：教科書を予習しておく。事後：アレルギー反応の分類をまとめる。（4時間）
9	薬理学各論：呼吸器・消化器系に作用する薬	喘息、咳嗽の治療薬、消化管疾患治療薬について解説します。	事前：ヘリコバクター・ピロリ菌について調べてみる。事後：履修事項を復習する。（4時間）
10	薬理学各論：代謝性疾患治療薬	糖尿病治療薬、脂質異常症治療薬、甲状腺疾患治療薬などについて解説します。	事前：糖尿病の症状について調べてみる。事後：履修事項を復習する。（4時間）
11	薬理学各論：化学療法薬	感染症治療薬、抗がん剤について解説します。	事前：細菌、真菌、ウイルスの違いを調べてみる。（4時間）
12	薬理学各論：皮膚科用薬、眼科用薬、漢方薬	皮膚疾患や眼疾患の治療薬、漢方薬について解説します。	事前：教科書を予習しておく。事後：風邪の初期に使用する漢方薬についてまとめる。（4時間）
13	小児・妊産婦・高齢者における薬物動態	主要臓器の成熟度が刻々変化する小児や生理学的に特殊な状況にある妊産婦、加齢による薬力学的変化のある高齢者の薬物療法について解説します。	事前：高齢者の服薬管理・支援の方法を調べてみる。事後：履修事項を復習する。（4時間）
14	健康食品、サプリメントの役割、それらと薬物と法令	健康食品、サプリメントなどについて、医薬品との違いやその目的、役割について解説します。また、それらと薬物を規制する法令について学びます。	事前：身近にある健康食品などの成分内容表示を調べてみる。事後：履修事項を復習する。
15	薬の副作用、薬理学のまとめ	薬の副作用について解説し、まとめとして、今までの講義の重要ポイントの整理を行います。	事前・事後：重要なことを説明できるように復習する。

テキスト

「系統看護学講座　専門基礎分野―疾病のなりたちと回復の促進　薬理学 3」古岡充弘著（医学書院）　ISBN:978-4-260-03184-4（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

小テスト：40%　レポート：30%　受講態度：30%
受講態度：授業への取組、質疑応答、事前事後学修のことを指します。S：授業内容を高度に理解し批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し積極的な探求姿勢をもって課題に取り組みやや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し与えられた課題に誠実に取り組み応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し与えられた課題に誠実に取り組み授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「標準薬理学」（医学書院）　ISBN：978-4-260-01750-3
「NEW薬理学」（南江堂）　ISBN：978-4-524-24071-5

履修上の注意（学生へのメッセージ）

薬理学は薬物と生体内の酵素や受容体との相互作用がもたらす現象をあきらかする面白い学問です。事前学修にあっては、ネット検索や文献検索等どのような方法で行っても良いです。

科目名	養護教諭と看護	学年学期	2年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	SC25010	研究室	S-19
担当者	中島　節子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	養教一			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○		△			◎	

授業概要

学校で行われる養護教諭の看護活動について、その重要性を学び、さらに養護教諭が必要とする基礎的な看護技術を習得することが目的です。学校において遭遇する可能性の高い健康障害に共通な看護方法を学びます。バイタルサインの測定、滅菌・消毒等の感染予防対策関連の技術、フィジカルアセスメントについて習得します。実践方法に関する演習中心の科目であることから、取り上げる項目については技術獲得レベルまで達するように学びます。

学修到達目標

学校に必要な看護技術を理解し実践することができる。
実施した自分の技術について評価することができ、改善向上することができる。
技術を実施する際に安全に配慮し、相手に対しても声掛けや気配りをすることができる。

授業の進め方

講義で根拠と方法を理解し、演習で技術を習得しながら進めます。演習をした項目については振り返りレポートを作成し、技術の向上に努めます。演習室での授業が中心です。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	養護教諭にとっての学校看護、学校看護のライフサイクル	オリエンテーションを行い授業方法を説明します。養護教諭に必要な看護技術について学び、ライフサイクルの各段階の健康課題を考えます。学校における養護の必要性と養護教諭に必要な倫理を学びます。	テキストの第Ⅰ章について予習復習をする。（4時間）
2	養護実践のプロセス、緊急度の判断、学校の安全	養護教諭の行う養護実践についてのプロセスを学びます。プロセスにおける緊急度の判断について考えます。	テキストの第Ⅱ章について予習復習をする。（4時間）
3	学校におけるヘルスアセスメントの考え方	学校におけるヘルスアセスメントの視点とプロセスについて学びます。フィジカルアセスメントに用いる技術、バイタルサインの測定を行います。	テキストの第Ⅲ章（1）～（4）について予習復習する。（4時間）
4	フィジカルアセスメントの技術：バイタルサインの測定	バイタルサインの測定、呼吸、脈拍、血圧、体温測定の方法を学び、実際に測定します。	テキストの第Ⅲ章（3）についてまとめる。バイタルサインの測定を演習する。（4時間）
5	フジィカルアセスメントの技術：意識、各部位の測定	意識、身体各部の測定方法を学びます。身長、体重、胸囲、腹囲、視診、触診、聴診について学び、実際に行います。	テキストの第Ⅲ章（4）についてまとめる。測定や聴診ができるように練習する。（4時間）
6	フジィカルアセスメントの技術：顔面、頸部、眼、耳、鼻	フィジカルアセスメントの実際について演習を行います。顔面、頭頸部、眼、耳、鼻についてのアセスメントの方法を学び、実際に行います。	テキストの第Ⅲ章（4）についてまとめる。測定やアセスメントができるように練習する。(4時間)
7	フジィカルアセスメントの技術：口腔	フィジカルアセスメントの実際について演習を行います。口腔のアセスメントの方法と歯科検診の方法を学び、実際に行います。	テキストの第Ⅲ章（4）についてまとめる。歯科検診の方法についてまとめる。（4時間）
8	フジィカルアセスメントの技術：胸部、腹部、脳神経	フィジカルアセスメントの実際について演習を行います。胸部、腹部、脳神経のアセスメントの方法を学び、実際に行います。	各部位のアセスメントの方法についてまとめ、実際にできるように練習する。（4時間）
9	コミュニケーション・安楽	コミュニケーションの基礎と実際を学びます。コミュニケーションのプロセス、技術の向上のために演習を行います。安楽のためのタッチングやリラクゼーションについて学びます。	テキストの第Ⅲ章　2）4）についてまとめる。（4時間）
10	感染予防の基礎と学校における感染予防と対策	感染の基礎的な知識を学びます。感染予防の実際として手洗い、ガウンテクニック、滅菌操作について行います。	テキストの第Ⅲ章2の様々な技術感染予防について予習復習をする。（4時間）
11	学校における感染予防と対策	学校における感染予防と発生時の対応について学びます。学校において特に注意する感染症の病態、予防方法、発症時の対応について学びます。	学校感染症について一覧表にまとめる。自己の感染症状況を調べる（4時間）
12	学校の環境調整	学校の環境衛生検査の方法や法的根拠を学びます。実際に大学内の環境検査を行い実践力をつけます。	テキストの第Ⅲ章保健室等環境への活動をまとめ、実際に環境調査したものを分析する。（4時間）
13	保健室の機能を活かす環境調整、ベッドメイキング	保健室の機能を生かす環境整備や備品について学びます。環境整備の基礎技術としてベッドメイキングを行います。	環境整備のための基礎技術を復習し、ベッドメーキングができるようにする。（4時間）
14	身体的ニードの対応する技術：体位と移動	基本体位と安楽な体位について学び、ボディメカニクスを活用した体位変換を行います。移動の介助が必要な人のベット上の移動、車いす移動、ストレッチャー移動の介助方法を学び実施します。	テキストの第Ⅲ章3）身体のニードに対する技術について予習復習する。（4時間）
15	身体的ニードの対応する技術罨法・包帯法　まとめ	包帯法に関する基礎知識を学び、三角巾や包帯を使用して包帯法を行います。本講義の全体のまとめを行います。	罨法と包帯法についてまとめ、実際にできるように練習する。（4時間）

テキスト

「養護教諭、看護師、保健師のための改訂学校看護」岡田加奈子他著（東山書房）　ISBN:978-4-8278-1551-1（生協で購入してください。）　「学校の看護」と共通で使用します。

成績評価の方法・基準

定期試験：60%　実技：20%　レポート：20%
知識と技術の実際を含めて評価する。S:基礎的な技術を根拠について説明でき、技術も確実に実施できる。レポートは自己の実施を分析でき確実に提出している。A:基礎的な技術を根拠について説明でき、反復練習を行い相手に配慮して確実に実施できる。レポートは自己の実施を分析でき確実に提出している。B:基本的な技術の根拠を説明でき実施できる。レポートを確実に提出している。C:基本的な技術を指導のもとで実施できる。レポートを確実に提出している。

参考書

「すぐに使えてよくわかる養護教諭のフィジカルアセスメント」北垣毅著（少年写真新聞社）
「保健室で役立つステップアップフィジカルアセスメント」山内豊明著

履修上の注意（学生へのメッセージ）

看護学概論及び養護概説を履修済みの学生が履修してください。実習衣を購入してください。演習項目によって、履物や衣服を指定します。なお、確実な技術の習得のために、規定時間外にも反復練習を行う必要があります。

科目名	看護実習Ⅰ（臨床実習）	学年学期	3年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	S-19
担当者	中島　節子	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	養教一			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

医療機関における実習を通して、疾患をもつ小児（児童・生徒）の通院治療および入院治療の実態を把握し、子どもとのかかわり方や連携方法を学びます。また、医療を受けている子どもたちがどのように教育を受けているのかを院内学級や訪問学級から学びます。母性実習を通して妊娠出産、思春期のこども達の課題について学びます。また、「人が産まれる」ことについて考える機会とします。実習を通じて養護教諭として必要な基本的看護技術とアセスメント方法を修得します。

学修到達目標

1.受け持ち患児の発達段階や治療の状況、入院中の生活を説明できる。　2.医療が必要な子どもとかかわり、子どもや家族の思いを把握することができる。　3.子どものからだや心におこる問題を知り、対処方法を考えることができる。　4.母性を取り巻く課題をあげることができる。　5.養護教諭として必要な基本的技能を習得することができる。

授業の進め方

総合病院の小児科（外来、病棟）、院内学級、産科で実習を行います。学内で実習の事前学習、事後報告会を行います。実習では見学が主になりますが、疾患をもつ小児を受け持ち、情報収集、観察、アセスメントをかかわり方を学びます

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
	実習オリエンテーション(学内)	実習の概要説明を行い、実習の注意事項の確認をします。実習施設の概要説明と病棟の特徴を説明します。事前学習を確認をしながら疾患や患児との対応の確認をします。	実習要綱を読む。小児、母性の発達段階の特徴、主な疾患について事前レポートをまとめる
	病院実習Ⅰ	小児科病棟で受持ち患児を持ち、観察、情報収集を行います。小児科外来、子どもの心診療部、院内学級での実習を行います。最終日に病院内カンファレンス（指導者さんと）を行い学びの確認と共有をします。	日々の実習記録、受け持ち患児の情報を整理しアセスメントする。
	病院実習Ⅱ	産科病棟でオリエンテーションを受け、助産師から母性についての講義を受けます。母親学級の参加や新生児室、分娩室などの見学をし、カンファレンスで学びの共有をします。	実習を通して学んだことレポートする。母性についての課題をまとめる。
	実習報告会(学内)	実習での学びを養護教諭の職務に活かしていくために、実習を通して学んだことを発表し共有します。受け持ち患児のアセスメントについて意見交換し、疾患を持つこどもの観察、対応について学びを深めます。	実習全体の学びを整理し、養護教諭に必要な資質についてまとめる。

テキスト

実習要項と必要なものを印刷し配布します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：50%　課題：30%　レポート：20%
S:事前学習の内容と照らして情報収集し、分析できている。患児やスタッフの対応ができている。A:事前課題は必要な項目が記述されている。患児、スタッフとの対応もできており、観察と記録が分析を含めて記載されている。B:事前課題は必要な項目が記述され、日々の記録、児の観察と記録ができている。
C：事前課題ができ、日々の記録、患児、スタッフとの対応もできている。児の観察と記録は指導によりできている。実習中は、体調管理を行い欠席しないようにする。

参考書

「養護教諭のための保健・医療・福祉系実習ハンドブック」岡田加奈子他著（東山書房）
「子供の外来看護」及川郁子著（へるす出版）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

看護学概論、養護概説、養護教諭と看護、学校の看護を履修済みの学生が履修できます。実習時には、命に係わる現場であることを心得て、実習上の留意点を守ってください。実習施設の規定により、実習費用の個人負担があります。

科目名	看護実習Ⅱ（特別支援学校実習）	学年学期	3年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	S-19
担当者	中島　節子	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	養教一			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

特別支援学校における実習を通して、身体的障害又は知的障害のある児童・生徒が勉学している現状を理解します。また、心身に障害のある児童・生徒の健康管理を担う養護教諭として、必要な基礎的知識・技術を習得することが実習の目的です。子ども達一人ひとりの疾病と障害、その特性を理解し教育に携わる多種多様な人々のかかわり方や連携の中で養護教諭の役割を学ぶ機会になります。危機管理の体制や施設、整備の工夫について理解します。

学修到達目標

1.特別支援学校の施設、設備等を知り、勤務する教職員の役割および養護教諭の役割を説明できる。　2.児童・生徒の発達段階と障害を説明できる。　3.児童・生徒への援助活動（医療的ケアを含む）の必要性と教育における配慮について説明できる。　4.児童生徒の保護者へのかかわり方を説明できる。　5.特別支援学校における救急体制や災害時の対応方法を説明できる。

授業の進め方

特別支援学校において実習を行い、知識と実際を関連付けます。実習を通して、子どものかかわり方の実際を学びます。実習の事前学習、事後報告会を含めます。日々の記録及び実習経験のディスカッション等を通して学びを深めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
	事前オリエンテーション(学内)	特別支援学校の概要について説明します。医療的ケア、発達や障害について事前学習と合わせて復習します。実習の概要と注意事項の確認をします。	事前学習の課題（発達障害、医療的ケアなど）についてのレポート作成
	特別支援学校実習	保健室実習を行い養護教諭の職務を学びます。各学級でのこども達とかかわりや教員のかかわり方、子どもの発達段階や障害について学びます。医療的ケアと給食支援を見学し実際を学びます。	日々の記録、実習を通して学んだことをレポートする
	実習報告会(学内)	各実習での学びを報告し共有し学びを深めます。養護教諭の役割や専門性を考えます。今後、養護教諭になるために必要な資質と能力を考え、身につけていく術を検討します。	特別支援学校における養護教諭の役割、実習で学んだことをまとめる

テキスト

なし

成績評価の方法・基準

出席レポート：40%　課題：30%　レポート：30%
S：日々の学びや気づきが具体的に書かれ自己の行動を振り返ることができている。A:日々の学びや気づきが書かれ自己の行動を振り返ることができている。レポートに自己の学びや今後の展望が記述されている。B:実習日誌に学びや気づきが書かれ、一通りのレポートはできている。C:実習日誌に実施したことは書かれているが課題などを見出せていない。課題等のレポートも提出しているが自分の意見が反映されていない。

参考書

「特別支援教育　ハンドブック」飯野順子　岡田加奈子　玉川進編（東山書房）
「医療的ケア研修テキスト」日本小児神経学会　松石豊次郎他編（クリエイ

履修上の注意（学生へのメッセージ）

看護学概論、養護概説、養護教諭と看護、学校の看護を履修済みの学生が履修できます。実習時には、実習の留意事項を守ってください。実習施設の規定により、実習費用の個人負担が必要になります。

0201- -20

科目名	食生活論	学年学期	1年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	NC15022	研究室	S-02
担当者	廣田　直子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日3限		
関連資格	ﾌｰﾄﾞｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ､栄教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
○	△		△		○	

授業概要

人々の価値観やライフスタイルが多様化してきている現状を踏まえ、人間生活の基盤となる食の問題について、食という営みがもつ多面性を理解し、総合的に考えていく力を培います。具体的には、栄養士・管理栄養士、栄養教諭、フードスペシャリストといった食・栄養のプロフェッショナルの資格取得に関する導入教育的な学習を組み入れるとともに、食の機能と役割、食生活の変遷、食生活と文化、食と健康、地域と食生活などについて学修します。

学修到達目標

知識：食を人間の生きる力の伸展や社会のあり方に結びつけて考え、これからの時代に適合した望ましい食生活のあり方を考察するための基礎力を修得します。食・栄養のプロフェッショナルの資格に関連する多くの専門科目に共通する基礎的事項を修得します。
能力：食生活指導の専門家としてのスタンスを確立します。

授業の進め方

基本的には、テキストや配布資料などをもとに講義形式で進めますが、各自の自主的研究や地元の「食」に関心を持って多様な実践を進めている学外講師などとのディスカッション、アウトキャンパススタディなどを盛り込みながら、多様な学習形態で進めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	食・栄養のプロフェッショナルに求められるもの	人々の価値観やライフスタイルが多様化してきている現在、食・栄養のプロフェッショナルに求められるものは何か、その役割を担うための学修について考えます。	テキスト2-12頁に目を通し質問事項の把握（2時間）、事後にはレポートのまとめ（2時間）
2	食の機能と役割、食生活の変遷	栄養的な側面だけではなく、広い観点で食の機能と役割について考えます。また、食のあり方を伝える立場として、現状に至るまでの食生活の変遷について理解します。	テキスト58-67頁を読む(2時間）、事後には授業で扱ったデータの年次推移の再確認（2時間）
3	食と健康 1：健康的な食べ方とは	健康の維持増進の観点から策定されている日本人の食事摂取基準の概要を理解します。あわせて、食品群の考え方について理解し、対象者に合わせて活用できるようにします。	テキスト14-17頁を読み質問事項を把握する（2時間）、事後には学修要点のまとめ（2時間）
4	食と健康 2：食品成分表の概要説明（1）	食品成分表に関する基本的事項（食品群、エネルギー、主要栄養素等）について理解を深めます。	テキスト18-19、26-35頁を読む(1時間）、事後には配布プリントの課題に取り組む(3時間）
5	食と健康 3：食品成分表の概要説明（2）	食品成分の微量栄養素等について理解を深め、前回の講義内容とも合わせて、献立の栄養価を計算し、評価できるようにします。	テキスト36-44頁を読む（1時間）、事後は配布プリントの課題に取り組む（3時間）
6	食事様式、食生活と文化	献立作成力を高めるために、日本食を中心として様々な食事様式について学びます。また、食生活に関わる文化についても考察します。	テキスト68-76頁を読む(1時間）、学修内容を踏まえアウトキャンパスのテーマを設定する（3時
7	地域と食生活 1：地産地消、食生活と環境	食・栄養のプロフェッショナルとして、地産地消を進める上で考えておくべきことについて、食生活と環境という視点も含めて理解を深め、考察します。	事前事後に、今回の学習テーマに関する情報収集、アウトキャンパススタディの準備（4時間）
8	地域と食生活 2：アウトキャンパススタディ（1）	アウトキャンパススタディとして、地域の農家を訪問して、農業生産者がめざしていること、消費者に伝えたいと思っていることなどについて地域の取り組み事例から学びます。	事前事後に、今回の学習テーマに関する情報を整理し、レポート課題をまとめる（4時間）
9	地域と食生活 3：アウトキャンパススタディ（2）	アウトキャンパススタディとして、地域で地産地消を進めているシェフのレストランを訪問し、講話と料理の試食を通して、食・栄養のプロフェッショナルとしてめざしたいことについて考察します。	事前事後に、今回の学習テーマに関する情報を整理し、レポート課題をまとめる（4時間）
10	食と健康 1：献立作成とその評価：食品構成、栄養比率等	アウトキャンパススタディでの学びを活かして、栄養価以外の視点も重視した献立作成について学修します。また、食品構成の考え方、献立評価のための栄養比率等について理解します。	事前に食品成分表の活用方法を復習（3時間）、事後には確認テストに取り組む(1時間）
11	食と健康 2：食事バランスガイドについて	献立作成及びその評価に用いる食事バランスガイドに関する理解を深め、活用方法を学修します。	事前に食事バランスガイドに関する情報収集（2時間）、事後には確認テストに取り組む（2時間）
12	食生活と文化 1：食事のマナー、テーブルコーディネート	食事様式ごとのマナーについて、基本的事項を理解し、日常生活で活用できるようにします。また、食事を提供する際のテーブルコーディネートについて考えます。	事前に食事マナー等に関する情報収集（2時間）、事後はレポート課題のまとめ（2時間）
13	食生活と文化 2：郷土食等	地域で郷土食等を伝えようとしている学外講師等を招き、その活動を知ることで、それを食・栄養に関するプロフェッショナルとしてどのように具現化していくかについて考えます。	事前に配布する資料に目を通す（1時間）、事後はレポート課題をまとめる（3時間）
14	これからの食生活	現在、日本において進められている健康施策と食事とのかかわりについて、食物へのアクセスと情報へのアクセスという食環境づくりの視点で考察します。	事前に自分の周りにある情報や取組について考える（2時間）、事後には要点をまとめる（2時間）
15	講義全体のまとめ	これまでの講義を振り返り、学修した事項を確認します。	事前にこれまでの内容に関する質問事項を確認（2時間）、事後は講義全体を振り返る（3.5時間）

テキスト

「めざせ！栄養士・管理栄養士　ナビゲーション」小野章史編（第一出版）
ISBN:978-4-8041-1291-6（生協で購入してください。）
「日本食品成分表2018　七訂　本表編」医歯薬出版編（医歯薬出版）
ISBN:978-4-263-70723-4（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　レポート：20%
S:到達達成目標の達成を目指し各回の授業内容をすべて理解し、探究姿勢をもって課題に取り組み適切にまとめることができる。A: 到達達成目標を意識し、各回の授業内容を理解して課題に取り組みまとめることができる。B: 到達達成目標を意識し、各回の授業内容を概ね理解して課題に取り組み一定レベルのまとめができる。C: 到達達成目標を理解して授業に臨み、各回の授業内容を概ね理解して課題に取り組み最低限のまとめができる。

参考書

適宜、紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

食品成分表等について解説するため、各種資格取得をめざす学生には強く履修を勧めます。アウトキャンパススタディは土曜日に実施する予定です。使いやすい電卓は必須アイテムです。

0201- -220

科目名	栄養教諭論	学年学期	3年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	NC36016	研究室	非常勤
担当者	岩根　美忍子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	栄教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎					◎	

授業概要

栄養教諭の社会的使命、役割、職務内容や可能性について学びます。これらをふまえ、学校や地域社会の特色を生かし、管理栄養士の専門性と教育に関する資質を併せ持つ「栄養教諭」としての基本を身につけることをねらいとします。
栄養教諭として、児童・生徒に正しい食生活を指導し、生活習慣病の予防の必要性を理解させ、心身共に健全に成長するように教育を行う視点や、食文化、環境と食生活、家庭と食生活の関係について取り上げます。

学修到達目標

学校給食の歴史を学び、栄養教諭制度の設立について、21世紀の教育・食に関する指導、食育全般について理解を深め、子ども達が心身共に健やかな成長ができる為に生きた教材としての給食作りに取り組むことができる。

授業の進め方

最初は講義形式で授業を進めます。自ら考えて実践できる力を養うためにも必要に応じてグループ討議を行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	栄養教育論は何を学ぶ学問なのか理解する	栄養教諭の制度と役割 ・栄養教諭制度創設の趣旨と意義 ・栄養教諭の使命、役割、職務内容	教科書を読んで学校給食の歴史から栄養教諭創設の流れを復習する(3時間)
2	学習指導要領の改定による基本的な主旨がわかる	食に関する指導の基礎的知識 ・子どもの発育・発達と教育 ・食に関する指導の計画・実施・評価	発達段階に応じた食に関する指導について復習する(3時間)
3	食育基本法の改定の主旨を理解する	児童及び生徒の栄養に関する現状と課題 ・児童・生徒の食生活の実態	食育推進計画の重点課題について復習する(3時間)
4	学校給食法の改定のポイントを理解する	食文化の変遷と学校教育 ・日本人の食生活と学校給食 ・地場産物の活用と郷土食	食育が教育の一環として明記され目標が食育の視点から4つから7つになったことを復習する(4時間)
5	栄養教諭の職務について給食の管理と食に関する指導を理解する	学校給食の実際 ・学校給食の意義、役割　　・給食の栄養管理 ・給食における個別対応	職務について給食の管理と食に関する指導（1口別指導含）の一体化について復習する(4時間)
6	献立の生きた教材化の為の食に関する指導について理解する	食に関する指導計画（1） ・「食に関する指導」のねらい ・食に関する指導に係る全体的計画の立て方	教科のない食育について、各教科と連携して行う為、全体計画の必要性について復習する(4時間)
7	全体計画を作成してみよう	食に関する指導計画（2） ・食に関する指導に係る全体的計画立案演習	規模や施設、人数を想定し実際に作成してみる(4時間)
8	栄養教諭の職務について理解できた	まとめ	栄養教諭の社会的使命について再確認する(4時間)

テキスト

「三訂 栄養教諭論 〔第3版〕 －理論と実際－」（建帛社）　ISBN:978-4-7679-2108-2（生協で購入してください。）
「食に関する指導参考資料」（東山書房）　ISBN:978-4827814927（生協で購入してください。）
プリント配布

成績評価の方法・基準

評価は、出席回数を充足していることを条件とし、試験、授業内で作成したレポート・課題への取組み、討議への参加等を総合的に判定します。
S:なぜ学校に栄養教諭が創設されたか理解し、児童生徒への食育を行う為、給食の管理と食に関する指導の一本化に取り組める　A:栄養教諭の職務内容を理解し、学校・地域・家庭との連携した食育が理解できる　B:児童生徒に正しい食生活習慣を身につけさせる為、生きた食材としての給食作りができる　C:学校給食の歴史を学び、児童生徒への食育の必要性が理解できる

参考書

講義時に指示をします。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認することがあります。口頭で述べたこともきちんとノートにとるようにしてください。

0201- -221

科目名	学校栄養教育論	学年学期	3年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	NC36017	研究室	非常勤
担当者	岩根　美忞子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	栄教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎					◎	

授業概要

栄養教諭は、児童・生徒に対する食の指導を担う専門職として、発育成長期にある幼児、および、児童・生徒の健康や栄養に関わる課題を正しく捉え、その改善に向けて食の指導のあり方を考える能力の修得が必要です。この講義では、幼児、及び、児童・生徒の栄養における課題について、身体の健康という側面だけではなく、心の健康状況や社会とのかかわりという視点を含めて理解することをねらいとします。

学修到達目標

子ども時代に健康につながる嗜好や食習慣をつくることで、生涯の健康を得られることがわかり、栄養教諭は学校、家庭、地域をつなぐコーディネーターとしての重要な使命があることを理解できる。

授業の進め方

最初は講義形式で授業を進めます。栄養に関する課題をより深く理解し、自ら考えて、食の指導の実践につなげる力を養うためにも、必要に応じてグループ討議をとり入れます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	幼児期の食育の目標について理解する	幼児期の栄養上の課題と幼児期までに修得したい基本的な食習慣	めざす子ども像につなげる食育を復習する(3時間)
2	食べる意欲を育てる食育について学ぶ	幼児期の課題改善に向けた働きかけのあり方（グループワークと発表）	子どもの嗜好の仕組みとその発達を理解しまとめる(3時間)
3	人間の育ちの基礎は食育であることを学ぶ	児童・生徒における現状の健康課題と食生活	人づくりの基本は、知育徳育体育の基礎にある食育をきちんとすることにあることを復習する(3時間
4	国民健康栄養調査の結果から、健康課題を読みとる	国民の健康課題と児童・生徒の健康課題との係り	国民健康栄養調査の推移より児童・生徒の健康課題の係りをまとめる(4時間)
5	保護者へのアプローチの仕方について学ぶ	児童・生徒の栄養上の課題と学校・家庭における食の指導	学校と家庭の連携の大切さをまとめる(4時間)
6	幼児期からの食育を通して基本的な生活習慣を身につけることの大切さを学ぶ	児童・生徒の栄養課題改善を考えた食の指導が国民の食生活に及ぼす影響	おいしい食事の作れる親になる為には、どのような支援が必要かまとめる(4時間)
7	学校・家庭・地域一体となって食育の推進を図る	幼児、児童・生徒の栄養課題を地域において考えていくためには（グループワークとディスカッション）	学校・家庭・地域が互いに情報交換を行い一体となって推進することを復習する(4時間)
8	栄養教育は一人では推進できないことを理解する	まとめ	食の専門家としてコーディネートの重要性をまとめる(4時間)

テキスト

「三訂 栄養教諭論 〔第3版〕 ―理論と実際―」（建帛社） ISBN:978-4-7679-2108-2（生協で購入してください。）
「食に関する指導参考資料」（東山書房） ISBN:978-4827814927（生協で購入してください。）
学習指導要領解説書、小・中学校教科書、プリント配布

成績評価の方法・基準

評価は、出席回数を充足していることを条件とし、課題に沿って作成した「学習指導案」レポート・課題への取組み、討議への参加、筆記試験等を総合的に判定します。S:子どもの成長過程を理解し心身共に健全な成長ができるよう、食の専門家・コーディネーターとしての働きが理解できる A:食の指導の実践には、学校・家庭・地域をつなぐコーディネーターとしての重要な使命を理解する B:生涯の健康につながる嗜好や食習慣について広く理解を求める為の努力ができる C:子どもの成長期における健康や栄養に関する課題が理解できる

参考書

講義時に指示をします。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認することがあります。口頭で述べたこともきちんとノートにとるようにしてください。

0201- -222

科目名	食教育指導法	学年学期	3年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	NC36018	研究室	非常勤
担当者	岩根　美忞子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	栄教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
◎					◎	

授業概要

栄養教諭論、学校栄養教育論をふまえ､小･中学校等における食に関する指導を演習することにより、教材研究や学習指導案の作成等をより実際的に理解することをねらいとします。
グループ別に、児童、生徒や地域の実態を可能な範囲で把握し、これに即した学習指導案を計画し、実際に食に関する模擬授業を実施します。また、よりよい指導ができるよう工夫や改善点について討議をし、模擬授業を改善していきます。

学修到達目標

児童・生徒の実態把握による課題が設定でき、教科書、学習指導要領解説書を理解し、課題解決の為の指導案が作成でき、教材としての給食を使って実際に授業することができる。

授業の進め方

主にグループによる演習とします。（人数による）

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	学校教育の仕組みについて理解する	オリエンテーション 前期で学んだ栄養教諭の誕生について復習、使命役割、職務内容から学校教育の中での仕組みを学ぶ	食に関する指導の重要性について復習し、教育者としての資質を理解する(4時間)
2	学校における食に関する指導の位置付けについて学習指導要領から理解する	食に関する指導の位置付けについて、全体計画の重要性、実態把握の大切さ、食育の視点、学習指導要領を読む	全体計画により年間の指導内容や活動が示されていることを理解する(4時間)
3	教科における食に関する指導について関わりから理解できる	家庭分野（（小）家庭科（中）技術家庭科）、保健領域（（小）保育科（中）保健体育科）、その他の教科との関わり（全教科）	基本的な食に関する指導と食育の取り組みについて理解する(4時間)
4	教科外の教育活動における食に関する指導についての関わりが理解できる	道徳、特別活動（学級活動）の時間における食に関する指導、総合的な学習の時間等	教科における食に関する指導と教科外における食に関する指導の違いを復習しまとめる(4時間)
5	1単位時間の学習指導案の作成方法を理解する	実習の手引きや学習指導要領の解説書から、標準的な指導案を使って学習する	指導案の成り立ちについて理解を深める(4時間)
6	自分の設定した課題についてどの教科で解決するか決定できる	グループワークにて（演習について、教科、題材選定）1単位の授業の進め方、演習方法	教科書と学習指導要領を読み指導案を完成させる(4時間)
7	指導案に添って模擬授業ができる	模擬授業の実施（1）　Aグループ グループ別に模擬授業の実践練習をし、討議・検討する。	模擬授業についての研究会でもらった意見を元に指導案の修正を行い、検討してみる(4時間)
8	指導案に添って模擬授業ができる	模擬授業の実施（2）　Bグループ グループ別に模擬授業の実践練習をし、討議・検討する。	模擬授業についての研究会でもらった意見を元に指導案の修正を行い、検討してみる(4時間)
9	指導案に添って模擬授業ができる	模擬授業の実施（3）　Cグループ グループ別に模擬授業の実践練習をし、討議・検討する。	模擬授業についての研究会でもらった意見を元に指導案の修正を行い、検討してみる(4時間)
10	指導案に添って模擬授業ができる	模擬授業の実施（4）　Dグループ グループ別に模擬授業の実践練習をし、討議・検討する。	模擬授業についての研究会でもらった意見を元に指導案の修正を行い、検討してみる(4時間)
11	指導案に添って模擬授業ができる	模擬授業の実施（5）　Eグループ グループ別に模擬授業の実践練習をし、討議・検討する。	模擬授業についての研究会でもらった意見を元に指導案の修正を行い、検討してみる(4時間)
12	指導案に添って模擬授業ができる	模擬授業の実施(6)　Fグループ グループ別に模擬授業の実践練習をし、討議・検討する。	模擬授業についての研究会でもらった意見を元に指導案の修正を行い、検討してみる(4時間)
13	指導案に添って模擬授業ができる	模擬授業の実施(7)　Gグループ グループ別に模擬授業の実践練習をし、討議・検討する。	模擬授業についての研究会でもらった意見を元に指導案の修正を行い、検討してみる(4時間)
14	指導案に添って模擬授業ができる	模擬授業の実施(8)　Hグループ グループ別に模擬授業の実践練習をし、討議・検討する。	模擬授業についての研究会でもらった意見を元に指導案の修正を行い、検討してみる(4時間)
15	学校、家庭、地域との連携の大切さと、個別的な相談指導の大切さを理解する	まとめ ・栄養教諭の重要な職務について ・提出レポートの確認	提出レポートの確認をし落ちのないように作成する(4時間)

テキスト

「三訂 栄養教諭論 〔第3版〕 ―理論と実際―」（建帛社） ISBN:978-4-7679-2108-2（生協で購入してください。）
「食に関する指導参考資料」（東山書房） ISBN:978-4827814927（生協で購入してください。）
学習指導要領解説書、小・中学校教科書、プリント配布

成績評価の方法・基準

評価は、出席回数を充足していることを条件とし、授業内で作成したレポート・課題への取組み、グループ発表・討議への参加等を総合的に判定します。
S:実態把握による課題が満足でき、課題解決の為に、教科書･学習指導要領を理解し、指導案が作成でき、給食を使って授業ができる A:課題設定でき、教科書にそった指導案が作成でき、教職を使って授業ができる B:課題設定でき、指導案を作成し給食を使って授業ができる C:実態把握による課題が設定でき、指導案が作成できる

参考書

講義時に指示をします。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

各自が課題意識をもって授業に臨み、問題解決に向けて積極的に授業に参加してください。

科目名	総合英語Ⅰ（総経）Dクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12101	研究室	N-01
担当者	大石　文朗	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日2限、月曜日4限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 総合英語
	○	△	△	△	△	

授業概要

この講義では、英語の基礎的な文法や語彙を復習することによって、英語に関する総合的基礎力の向上を目指します。また、実用英語技能検定の過去問に基づいた小テストを実施して、英語力の自己診断を行います。クラス編成はプレイスメントテストの結果に基づいて行い、受講生の英語力に適した授業内容を実施します。

学修到達目標

主語と動詞と目的語、物の状態や時をどう表すか、そんな英語の基礎を完全に理解し、説明することができるようになること。

授業の進め方

1. 実用英語技能検定に関する小テストを行います。2. 前回授業の簡単な復習を行います。3. テキストの解説を行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス	授業の進め方、英語能力の確認テスト	テキストP14～19を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。（1時間）
2	文脈に合う適切な語句を補う	Unit 1 & Unit 2	テキストP20～25を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。（1時間）
3	文脈に合う適切な語句を補う	Unit 3 & Unit 4	テキストP26～31を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。（1時間）
4	語句の並び替え	Unit 5 & Unit 6	テキストP32～37を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。（1時間）
5	語句の並び替え	Unit 7 & Unit 8	テキストP38～43を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。（1時間）
6	空所に適切な語句を補う	Unit 9 & Unit 10	テキストP44～49を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。（1時間）
7	空所に適切な語句を補う	Unit 11 & Unit 12	テキストP14～49の授業内容や英語表現などについて復習する。（1時間）
8	英語力の確認	中間のまとめと試験	テキストP50～55を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。（1時間）
9	長文の読解	Unit 13 & Unit 14	テキストP56～61を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。（1時間）
10	長文の読解	Unit 15 & Unit 16	テキストP62～67を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。（1時間）
11	リスニング	Unit 17 & Unit 18	テキストP68～73を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。（1時間）
12	リスニング	Unit 19 & Unit 20	テキストP74～79を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。（1時間）
13	リスニング	Unit 21 & Unit 22	テキストP80～82を事前に読む。授業内容や英語表現などについて復習する。（1時間）
14	リスニング	Unit 23	テキストP50～82の授業内容や英語表現などについて復習する。（1時間）
15	英語力の確認	講義全体のまとめと試験	英語力を確認して、今後の学習意欲につなげる。（1時間）

テキスト

「First Primer」Tetsuzo Sato etc.著（南雲堂）　ISBN:978-4-523-17710-4 C0082（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：50%　小テスト：20%　受講態度：30%
（受講態度とは、授業中の発言回数を点数化して評価するものです）
S：授業内容を高度に理解するとともに、探求的な姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「英和辞典、和英辞典」

履修上の注意（学生へのメッセージ）

予習・復習は必ずしておいてください。

科目名	総合英語Ⅰ（総経）Cクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12101	研究室	非常勤
担当者	中野　麻里	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 総合英語
	○	△	△	△	△	

授業概要

この授業では、基礎文法を復習しながら、実際のコミュニケーションに使える英語を修得します。
ネイティブが話す英語にある音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また、同じような場面設定で実際に会話ができるよう、様々なフレーズを学習します。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。
基礎文法を使って海外で日常生活ができる程度のスピーキング力をつける。
短い文章を読み、推測しながらおおまかな概要を把握できる。

授業の進め方

DVD教材を使用し、アウトプット中心の体験型学習を通して会話を修得していきます。課題もアウトプットが主になります。100語程度の短い文章のリーディングも取り入れます。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス（原則20名以下）で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス 英語学習のための意識改革と学習方法	英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。	自分に合った学習計画を立てロードマップ記入、音声ダウンロード（1時間）
2	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞,挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明。 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
3	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文,自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
4	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形, 感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
5	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞,注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
6	Scene5: She is so beautiful 代名詞, お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
7	Scene6: Catching a cab 前置詞, 場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
8	中間テスト（口述） Scene7: How Romantic!	中間テスト：ロールプレイ発表 残り時間：形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
9	Scene8:I'm not feeling well 助動詞、体調を述べる	助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現 「旅行保険」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
10	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
11	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
12	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
13	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
14	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
15	まとめ	口述テスト：スピーチ 残りのユニットを確認	期末試験に向けての準備（1時間）

テキスト

「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ － Hello New York! － 」土屋武久　本多吉彦　Braven Smillie 著（金星堂）　ISBN:9784764740112（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　定期試験：30%　課題：30%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。

科目名	総合英語Ⅰ（総経）Bクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12101	研究室	非常勤
担当者	清澤　理恵	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 総合英語
	○	△	△	△	△	

授業概要

この授業では、基礎文法を復習しながら、実際のコミュニケーションに使える英語を修得します。
ネイティブが話す英語にある音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また、同じような場面設定で実際に会話ができるよう、様々なフレーズを学習します。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。
基礎文法を使って海外で日常生活ができる程度のスピーキング力をつける。
短い文章を読み、推測しながらおおまかな概要を把握できる。

授業の進め方

DVD教材を使用し、アウトプット中心の体験型学習を通して会話を修得していきます。課題もアウトプットが主になります。100語程度の短い文章のリーディングも取り入れます。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス（原則20名以下）で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス 英語学習のための意識改革と学習方法	英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。	自分に合った学習計画を立てロードマップ記入、音声ダウンロード（1時間）
2	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞,挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明。 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
3	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文, 自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
4	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形, 感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
5	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞,注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
6	Scene5: She is so beautiful 代名詞, お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
7	Scene6: Catching a cab 前置詞, 場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
8	中間テスト（口述） Scene7: How Romantic!	中間テスト：ロールプレイ発表 残り時間：形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
9	Scene8:I'm not feeling well 助動詞、体調を述べる	助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現 「旅行保険」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
10	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
11	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
12	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
13	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
14	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
15	まとめ	口述テスト：スピーチ 残りのユニットを確認	期末試験に向けての準備（1時間）

テキスト

「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ － Hello New York! － 」土屋武久　本多吉彦　Braven Smillie 著（金星堂）　ISBN:9784764740112（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　定期試験：30%　課題：30%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。

科目名	総合英語Ⅰ（総経）Aクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12101	研究室	非常勤
担当者	春日　啓子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 総合英語
	○	△	△	△	△	

授業概要

この授業では、基礎文法を復習しながら、実際のコミュニケーションに使える英語を修得します。
ネイティブが話す英語にある音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また、同じような場面設定で実際に会話ができるよう、様々なフレーズを学習します。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。
基礎文法を使って海外で日常生活ができる程度のスピーキング力をつける。
短い文章を読み、推測しながらおおまかな概要を把握できる。

授業の進め方

DVD教材を使用し、アウトプット中心の体験型学習を通して会話を修得していきます。課題もアウトプットが主になります。100語程度の短い文章のリーディングも取り入れます。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス（原則20名以下）で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス 英語学習のための意識改革と学習方法	英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。	自分に合った学習計画を立てロードマップ記入、音声ダウンロード（1時間）
2	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞,挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明。 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
3	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文, 自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
4	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形, 感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
5	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞,注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
6	Scene5: She is so beautiful 代名詞, お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
7	Scene6: Catching a cab 前置詞, 場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
8	中間テスト（口述） Scene7: How Romantic!	中間テスト：ロールプレイ発表 残り時間：形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
9	Scene8:I'm not feeling well 助動詞、体調を述べる	助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現 「旅行保険」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
10	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
11	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
12	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
13	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
14	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
15	まとめ	口述テスト：スピーチ 残りのユニットを確認	期末試験に向けての準備（1時間）

テキスト

「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ － Hello New York! － 」土屋武久　本多吉彦　Braven Smillie 著（金星堂）　ISBN:9784764740112（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　定期試験：30%　課題：30%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。

科目名	総合英語Ⅱ（総経）Aクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12102	研究室	N-01
担当者	大石　文朗	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限、火曜日4限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 観光英語
	△	○	△	△	△	

授業概要

カナダへの旅行を想定した内容のテキストを使用し、旅に必要な英語を旅行の順番通りに学ぶことができます。また、旅行英語だけではなく、旅行中に人と出会う際、自分のことについてどういう風に話せばよいのかも網羅しています。この授業では、将来、観光関係の職場で役に立つ実践的な英会話表現を習得します。さらに、観光英検の問題にもふれたいと思います。

学修到達目標

海外旅行で使用する重要な英語表現を身につけることが最終的な目標です。

授業の進め方

1.観光英検に関する小テストを行います。2.前回授業の簡単な復習を行います。3. 新出単語を音読し、意味、発音などの学習を行います。4.テーマごとの英文問題を解きながら、内容を把握してペアワークによる会話の練習を行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス 現状の英語能力の確認	授業の進め方、英語能力の確認テスト	テキストP8～15を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。（1時間）
2	旅行目的地を尋ねる時の英語表現	Where are you heading?に関する英語表現について	テキストP16～23を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。（1時間）
3	入国時の英語表現	May I see your passport?に関する英語表現について	テキストP24～31を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。（1時間）
4	行き先を答える時の英語表現	Where to? に関する英語表現について	テキストP32～39を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。（1時間）
5	宿泊先での英語表現	I asked for a double?に関する英語表現について	テキストP40～47を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。（1時間）
6	観光のおすすめ先を尋ねる時の英語表現	What would you suggest?に関する英語表現について	テキストP48～49を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。（1時間）
7	Unit 5までの復習	Review Ⅰを行う	テキストP8～49の授業内容や英会話表現などについて復習する。（1時間）
8	英語力の確認	中間試験	テキストP50～57を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。（1時間）
9	レンタカーを借りる時の英語表現	Here are your keys.に関する英語表現について	テキストP58～65を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。（1時間）
10	道を尋ねる時の英語表現	Turn left at the light.に関する英語表現について	テキストP66～73を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。（1時間）
11	買い物の時の英語表現	How much is this?に関する英語表現について	テキストP74～81を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。（1時間）
12	予定を尋ねる時の英語表現	Are you free tomorrow?に関する英語表現について	テキストP82～89を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。（1時間）
13	レストランでの英語表現	I’ll have the steak.に関する英語表現について	テキストP90～91を事前に読む。授業内容や英会話表現などについて復習する。（1時間）
14	Unit 6～Unit 10までの復習	Review Ⅱを行う	テキストP50～91の授業内容や英会話表現などについて復習する。（1時間）
15	英語力の確認	講義全体のまとめと試験	英語力を確認して、今後の学習意欲につなげる。（1時間）

テキスト

「Encounters Abroad with CD」Michael P. Critchley著（南雲堂）
ISBN:978-4-523-17539-1（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

小テスト：25%　課題：25%　定期試験：50%
S：授業内容を高度に理解するとともに、探求的な姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「英和辞典、和英辞典」

履修上の注意（学生へのメッセージ）

辞書を必ず毎回持参してください。授業中に次回の予習部分を周知するので、分からない単語などは、事前に調べて授業に臨んでください。また、授業への出席は言うまでもなく、課題への積極的な取り組みが重要です。

科目名	総合英語Ⅱ（総経）Bクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12102	研究室	非常勤
担当者	久田　康子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 観光英語
	△	○	△	△	△	

授業概要

外国人観光客を街角などで「おもてなし」するのための会話表現を習得するとともに、英語コミュニケーション能力を向上させるためのヒントと海外の観光地事情を、主体的なアクティブラーニングを通じて学びながら、英語の4技能（聞く・話す・読む・書く）をスキルアップしていきます。

学修到達目標

外国人観光客にシンプルな英語で応対できる会話力と、コミュニケーション能力を、アクティブラーニングによって向上させていく中で、主体的に学び問題解決する力と、様々な価値観を受容する能力を高めていくことが目標です。

授業の進め方

個人、ペアやグループでの、アクティブラーニングを中心とした演習形式で行います。具体的には、簡単なディスカッション街頭インタヴュー、プレゼンテーション、ビデオ視聴、会話と音読のトレーニングなどをしていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス	体験授業(どこでも使える基本フレーズ他)・授業概要	テキストを購入後、テキストの概要を把握。
2	道案内	前回の復習。出席レポートの発表。プレゼンテーションの準備。	前回の復習と出席レポート
3	街角	前回の復習。出席レポートの発表。プレゼンテーションの準備。	前回の復習と出席レポート
4	交通	前回の復習。出席レポートの発表。プレゼンテーションの準備。	前回の復習と出席レポート
5	食事	前回の復習。出席レポートの発表。プレゼンテーションの準備。	前回の復習と出席レポート
6	買い物	前回の復習。出席レポートの発表。プレゼンテーションの準備。	前回の復習と出席レポート
7	プレゼンテーション[1]	街頭インタヴュー[1]についての英語プレゼンテーション	プレゼンテーション[1]の準備
8	観光	前々回の復習。出席レポートの発表。プレゼンテーションの準備。	前々回の復習と出席レポート
9	宿泊	前回の復習。出席レポートの発表。プレゼンテーションの準備。	前回の復習と出席レポート
10	社会・文化	前回の復習。出席レポートの発表。プレゼンテーションの準備。	前回の復習と出席レポート
11	交流[1]	前回の復習。出席レポートの発表。プレゼンテーションの準備。	前回の復習と出席レポート
12	プレゼンテーション[2]	街頭インタヴュー[2]についての英語プレゼンテーション	プレゼンテーション[2]の準備
13	交流[2]	前々回の復習。出席レポートの発表。	前々回の復習と出席レポート
14	トラブル[1]	前回の復習。出席レポートの発表。	前回の復習と出席レポート
15	トラブル[2]	前回の復習。出席レポートの発表。	定期試験の準備。

テキスト

「キクタン英会話【おもてなし】編」一杉武史著（アルク）　ISBN:978-4-7574-2636-8（生協で購入してください。）　必須テキストですので、早期に購入をお願いします。

成績評価の方法・基準

出席レポート：40%　課題：30%　定期試験：30%
S:授業内容を高度に理解し実践力を身に着け批判的思考力に基づく探究姿　勢をもって課題に取り組み応用問題が解ける。A:授業内容を理解し実践力を身に着け積極的な探究姿勢をもって課題に取り組みやや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し実践することができ与えられた課題に誠実に取り組み応用問題が解ける。C:授業内容の60%程度を理解実践することができ与えられた課題に誠実に取り組み授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「辞典（例：ジーニアス英和・和英辞典）　電子辞書を推奨します。」
英和・和英辞書を持参してください。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

主体的に緊張感を持って取り組みたいという意欲的な姿勢を歓迎します。

科目名	総合英語Ⅱ（総経）Ｃクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12102	研究室	非常勤
担当者	林　英美	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 観光英語
	△	○	△	△	△	

授業概要

この講義の目的は、大学で学ぶ皆さんが、コミュニケーションの手段としての英語を楽しく学び、世界に自分の気持ちを発信できる英語を身につけることです。英語に興味はあるけれど、あまり得意ではない学生でも履修できるように、学び直しができる内容となっています。映像を用いた授業では4技能をバランスよく使いながら、英語だけでなく異文化についても学びます。

学修到達目標

コミュニケーションの手段としての英語を楽しく学び、世界に自分の気持ちを発信できる英語を身に着けることを目的とします。

授業の進め方

海外旅行や生活で使える英語表現を学び、会話練習をします。Listening練習で自然な速度の英語に慣れるように練習します。また英語表現を通じて異文化理解を深めます。単語クイズ、会話テスト、定期試験を通じて包括的に評価します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス、Unit 1	授業概要、学習目標、授業の進め方、評価の仕方についての説明をします。教科書の構成について説明をし、予習や復習の進め方を説明します。be動詞について学習します。	Unit 1の復習とUnit 2の予習。
2	Unit 2	可算名詞、府可算名詞について学習します。	Unit 2の復習とUnit 3の予習
3	Unit 3	一般動詞の現在時制について学習します。	Unit 3の復習とUnit 4の予習をする。（1時間）
4	Unit 4	代名詞について学びます。	Unit 4の復習とUnit 5の予習をする。（1時間）
5	Unit 5	一般動詞の過去時制について学びます。	Unit 5の復習とUnit 6の予習をする。（1時間）
6	Unit 6	進行について学びます。	Unit6の復習とUnit 7の予習をする。（1時間）
7	Unit 7	will/be going to～について学びます。	Unit7の復習とUnit 8の予習をする。（1時間）
8	Unit 8	助動詞について学びます。	Unit8の復習とUnit 9の予習をする。（1時間）
9	Unit 9	前置詞について学びます。	Unit9の復習とUnit 10の予習をする。（1時間）
10	Unit 10	現在完了について学びます。	Unit10の復習とUnit 11の予習をする。（1時間）
11	Unit 11	比較について学びます。	Unit10の復習とUnit 11の予習をする。（1時間）
12	Unit 12	WH疑問文について学びます。	Unit　11の復習とUnit 12の予習をする。（1時間）
13	Unit 13	動名詞／不定詞について学びます。	Unit　12の復習とUnit 13の予習をする。（1時間）
14	アウトキャンパススタディ	外国人が多く訪れる観光地に出かけ、これまでに学習してきた事項を活用した街頭インタビューを実施し、日本への海外旅行者の動向について英語で調査する。	アウトキャンパススタディの事後レポートを作成する。（1時間）
15	これまでの学習まとめ	Unit 1からUnit 13までのまとめ学習をします。	Unit 1～Unit 13までの総復習（1時間）

テキスト

「We Love L.A.!」Robert Hickling, Misato Usukura著（金星堂）
ISBN:978-4-7647-4049-5（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：30%　小テスト：30%　レポート：10%　出席レポート：30%
定期試験には、リスニング試験、筆記試験、会話試験が含まれます。

参考書

英和辞典、和英辞典

履修上の注意（学生へのメッセージ）

会話の練習をたくさんして、使える英語の習得を目指します。これから英語圏へ出かけてみたい方、英語を仕事で使いたい方、英語を学び直したい方、ともに役立つ英語表現を実践的に学びましょう。

科目名	情報処理Ⅰ（WORD）（総合経営学部）	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12201	研究室	非常勤
担当者	内川　小百合	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	○	△	△	△	△	

授業概要

情報処理を学ぶことは、ひとつはコンピュータ・リテラシーを学ぶこと、つまりコンピュータを使いこなしていくことです。文字を入力することは、その基礎です。さまざまな文書をコンピュータで作成し、編集し、そして保存し、また再利用することは、現代社会の中で、必須の技能といえるでしょう。本講義では、クラウド上の文書管理やビジネスメールの送り方、ワープロソフトWORDを使った正しく速い入力技術の習得、ビジネス文書・図形・表などを作成していくための機能を学んでいきます。

学修到達目標

Office365の機能を習得し、ファイルの送受信などビジネスで使えるスキルを身につけている。正しいキータッチを習得し、ワープロソフトWORDを使ってビジネス文書・表作成・図形挿入・クリップアートや写真の挿入と編集ができる。日本情報処理検定協会ワープロ検定3級～2級を取得できる力を身につけている。

授業の進め方

演習形式で進めます。特に正確で素早いキータッチの技術を身につけるために、毎回スピードテストを行っていきます。WORDの機能を知り、その機能を使いこなせるように多くの演習をこなしていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	Office365の概要	Office365の機能と操作、WORDの起動と終了。	Office365の予復習（1時間）
2	文書管理、メール送信	文書管理（ONE　DRIVE）、メール機能、送信練習など	メール機能について予復習（1時間）
3	キータッチについて	正しいキータッチについての解説と演習	キータッチの運指練習（1時間）
4	日本語入力基礎	日本語入力基礎　日本語変換モード、IMEパッド、ファンクションキー及びキータッチ演習	キータッチの運指練習（1時間）
5	漢字変換について	漢字変換について（変換、文節区切り、文字の修正）　短文入力・記号の入力演習	キータッチによる単語練習（1時間）
6	特殊文字の入力	特殊文字の入力　アルファベット、カタカナ、特殊文字を含む文章の入力演習	キータッチによる短文入力練習（1時間）
7	編集機能①	文字の修正、移動、コピーの演習	練習問題の復習（1時間）
8	編集機能②	文字の書式（フォント・サイズ・ボールド体・イタリック体・下線・囲み・網掛け）	練習問題の復習（1時間）
9	編集機能③	文字の書式（拡大縮小・下付き文字・上付き文字・取り消し線・影付きなど）	編集機能の復習と入力練習（1時間）
10	文書保存	文書保存、文書読み込み、再保存（上書き保存、新しいファイル名を付けて保存）	入力練習および保存（1時間）
11	ビジネス文書	ビジネス文書のページ設定（右詰め、中央揃え、インデント、段落番号、箇条書き）	ビジネス文書の入力練習（1時間）
12	表作成	罫線機能、表挿入、線種変更、列幅行高変更、セルの結合と分割、列や行の挿入と削除	表入力練習（1時間）
13	画像編集	画像の挿入（ワードアート、オートシェイプ、クリップアート）	画像挿入および編集の復習（1時間）
14	ビジネス文書	表と画像を含むビジネス文書の完成	表と画像を含む文書の入力練習（1時間）
15	ビジネス文書	会社見学礼状や、内定時の礼状など、学生として出す文書の作成と留意点	さまざまな文書を自分の立場で作成してみる（1時間）

テキスト

「WORDの基礎」内川小百合著（丸の内ハイデ出版）（生協で購入してください。）
「日本語ワープロ検定問題模擬問題集」（日本情報処理検定協会）（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：40%　定期試験：60%
受講態度は、授業への参加度（授業への取組、発言等）で評価します。
S：9割以上の理解度＋授業への参加度＋実技点が100点。
A：8割以上の理解度＋授業への参加度＋実技点が80点以上。
B：8割程度の理解度＋授業への参加度＋実技点が70点以上。
C：8割程度の理解度＋授業への参加度＋実技点が60点以上。

参考書

「知りたい操作がすぐわかるWord2013全機能Bible」西上原裕明著（技術評論社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

コンピュータの入力技術は本講義でしっかりと身につけてください。講義以外の時間を利用してできるだけキーボードに慣れ、WORDの機能についてよく復習してください。日本語ワープロ検定をぜひ受検しましょう。

科目名	情報処理Ⅱ(EXCEL初級)　(総合経営学部)	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12202	研究室	W-32
担当者	小林　俊一	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日3限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	総○	観○	△	△	△	△	

授業概要

本講義は、表計算2級の検定合格を目標とします。Excelを用いた数値情報の加工・分析は、大学における研究分野のみならず、ビジネスシーンでも幅広く用いられています。身の回りの数値データを的確に処理し、自分に必要な情報として加工する道具としてExcelを使いこなせるようにしていきます。入力や計算式の作り方の基本から、セル参照の種類やよく使う算術・論理関数、グラフ作成、印刷設定などについて学びます。

学修到達目標

日本情報処理技検定協会が実施している「表計算検定2級」の資格取得、またはそれと同等の実力を養い、Excelを用いて素早く数値データの集計・加工ができるようになることを目標としています。

授業の進め方

講義はすべてパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。資格取得のためには、作業スピードも重要な要件となるため、時間外にも模擬問題を繰り返し解答することで作業効率の向上を図ってもらいます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス	授業の進め方、評価方法について クラス分けのため、Excelの基本操作（表計算検定4級レベル）を行います。	授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(4時間)
2	基本操作と計算式	表計算検定4・3級レベルで必須とされる、文字・数値の入力、列幅変更、計算式、合計、平均関数等について解説します。	授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(4時間)
3	基本書式と印刷処理	表計算検定4・3級レベルで必須とされる、罫線処理、表示形式、文字揃え、印刷について解説します。	授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(4時間)
4	判断文と絶対参照・構成比	表計算検定3級レベルで必須とされる、IF関数による条件判断、セルの相対参照・絶対参照、構成比率の計算について解説します。	授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(4時間)
5	端数処理と順位付け	表計算検定3級レベルで必須とされる、数値の端数処理や順位付け、並べ替えについて解説します。	授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(4時間)
6	多重判断文と表検索	表計算検定2級レベルで必須とされる、IF関数のネストを使った多重判断文とVlookup関数をによる表検索について解説します。	授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(4時間)
7	グラフ作成とセル証明	表計算検定2級レベルで必須とされる、グラフ作成とセル証明について解説します。	授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(4時間)
8	論理演算子を使った判定	表計算検定2級レベルで必須とされる、AND関数、OR関数を理解し、IF関数と組み合わせた処理について解説します。	授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(4時間)
9	日付や時刻の計算	表計算検定2級レベルで必須とされる、日付や時刻の計算について解説します。	授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(4時間)
10	検定試験対策①	総合演習課題（過去問題のポイント解説を含む）を規定時間内にできるようトレーニングします。	授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(4時間)
11	検定試験対策②	総合演習課題（過去問題のポイント解説を含む）を規定時間内にできるようトレーニングします。	授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(4時間)
12	検定試験対策③	総合演習課題（過去問題のポイント解説を含む）を規定時間内にできるようトレーニングします。	授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(4時間)
13	検定試験対策④	総合演習課題（過去問題のポイント解説を含む）を規定時間内にできるようトレーニングします。	授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(4時間)
14	検定試験対策⑤	総合演習課題（過去問題のポイント解説を含む）を規定時間内にできるようトレーニングします。	授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(4時間)
15	検定試験対策⑥	総合演習課題（過去問題のポイント解説を含む）を規定時間内にできるようトレーニングします。	授業で解いた問題を何回も練習して下さい。(4時間)

テキスト

「情報処理技能検定模擬問題集・表計算2級」日本情報処理技能検定協会編(生協で購入してください。)

成績評価の方法・基準

定期試験：60%　課題：40%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく姿勢をもって課題に取り組み、難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な姿勢をもって取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

「Excel 最強の教科書[完全版]」（SBクリエイティブ）　ISBN：978-4797388701

履修上の注意（学生へのメッセージ）

必ず資格取得に挑戦してください。定期試験は検定試験と同等の内容を予定しています。収集した数値データや膨大な情報を、Excelを使って効率よく取り扱えるかで、今後の問題解決のスピードが大きく変わります。

科目名	生涯スポーツⅠ（集団的スポーツ）Aクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13106	研究室	S-22
担当者	中島　弘毅	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日2限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	～2016年度 生涯スポーツⅠ（基礎）

授業概要

人間にとってスポーツはどのようなものでしょうか。スポーツは人間社会におけるひとつの文化です。人間に空気が必要なように、人間が「人間らしい」生活をする上で、スポーツはなくてはならないものであり、健康は自己実現を果たすための基盤であると考えられます。そこで本講義では、アルティメット種目を取り上げます。生涯にわたって健康で、スポーツを楽しむことができるよう、そのための基礎的能力の獲得を目指します。

学修到達目標

当該種目を楽しむための基本技術及びルールを学習し、技術向上を目指します。アルティメットにおいては、3種類の投げ方及び取り方のスキルを習得すると共に、ゲームにおける戦術の習得を目指します。これらの種目を通して自らの身体を感じ、知り、より良い身体の使い方を学びます。また、スポーツに親しみ、楽しむ上での基本的態度および能力の習得を目指します。

授業の進め方

実技を中心に行います。各種目の種目特性を知り、それぞれの種目にあった身体の動かし方を身につけるように、分習法から全習法へ、基礎から実践へと展開して行きます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	なぜ、スポーツを行うのか。	ガイダンス　生涯スポーツの意義	スポーツの意義についてレポートにまとめて提出する。
2	フライングディスクに慣れよう！	バックハンドスロー及びキャッチング練習	投動作及び捕球におけるポイントをレポートにまとめて提出する。
3	フォアーハンドスローを習得しよう！	バックハンドスローの正確性の向上とフォアーハンドスローの練習	フォアーハンドスロー動作におけるポイントをレポートにまとめて提出する。
4	ショルダースローを習得しよう！	前者2つのスローイングの正確性の向上及びショルダースローの習得	ショルダースローのポイントについてまとめて提出する。
5	ロングパスの練習とキャッチング	ロングスローの練習とキャッチングにおける動き方の習得	ロングスローのポイントについてまとめて提出する。
6	ミニゲームを楽しんでみよう。	ゲームの成立において何が重要であるかを確認しよう。	チームワークにについて考える
7	ミニゲームにおける動きについて考える。	ミニゲームによる連係プレーについて考える。	自分の動きについて考える。
8	ミニゲームの質を高めよう！	ミニゲームを通して戦術について考えよう。	試合に勝つためには、何が必要かをレポートにまとめて提出しよう。
9	ゲームのルールを確認しよう	アルティメットルールの説明と進行について	ルールについて調べてこよう。
10	チームにおける個々の能力について把握しよう。	チーム力を知り、チームの課題を明らかにしよう！	自分の強みと弱みについて整理してみよう！
11	自分達のチームの強みを意識しよう！	チーム対抗戦：自分達のチームの強みについて考える	自分達のチームの特徴について考える
12	ゲームの戦術について考えよう。	チーム対抗戦：戦術について考える	戦術についてまとめる。
13	ゲームの質を上げよう。	チーム対抗戦：得点パターンを磨く	自分達のチームにあった得点パターンを考える。
14	ゲームを楽しんでみよう。	チーム対抗戦：総合練習	勝っても負けても充実感がある試合とはどのような試合かを考えてみよう。
15	スポーツの必要性について	まとめ	生涯スポーツの持つ意味について考え、まとめてみよう。

テキスト

必要に応じて資料を配布します。

成績評価の方法・基準

受講態度：60%　レポート：20%　実技：10%　出席レポート：10%
受講態度は、積極性・協力性（リーダーシップ、メンバーシップ）・発言、向上心等を授業参加度とともに評価します。

参考書

「ニュースポーツ事典」北川勇人・（財）日本レクリエーション協会　共編著（遊戯社）
「フライング・ディスクのすすめ」日本フライング・ディスク協会著（ベース

履修上の注意（学生へのメッセージ）

運動着、運動靴を着用することとします。安全に留意し、他者と積極的にコミュニケーションを図り、協力して授業に取り組みましょう。ルールの事前確認をするとともにスキルについては専門書等で確認をしておきましょう。

科目名	生涯スポーツⅠ（集団的スポーツ）Bクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13106	研究室	S-18
担当者	新井　喜代加	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日5限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 生涯スポーツⅠ（基礎）
	◎		△	△	△	

授業概要

本授業では、バレーボールを通じてスポーツに親しむ資質を身につけることを目的とします。スポーツに親しむには、なによりスポーツの楽しさを体験することが重要であると考えられます。本授業では、チームごとに「楽しい」という気持ち、感覚、雰囲気、表情等と向かい合いながら、「楽しいバレーボール」を探求します。

学修到達目標

(1)バレーボールの基本的技術を習得し、ゲームに活かすことができる
(2)チームメイトと協力し、ゲームを展開することができる
(3)楽しくゲームを進行するために工夫することができる

授業の進め方

基本的に本授業は、チーム単位で「課題の設定→課題を解決する練習方法の決定と実施→ミニゲームの実施→ミニゲームの振返り→課題の見直しと再設定」というサイクルで進めていきます。（アクティブラーニングの実施）

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業のねらい、授業内容、評価方法、留意事項等について解説し、チーム分けをします	事前：シラバスを読む／事後：本授業のルールと6人制ルールを確認する（1時間）
2	攻守の基本的技術の習得1	チームごとにパスの技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：パスについて調べる／事後：パスをする際の注意点を復習する（1時間）
3	攻守の基本的技術の習得2	チームごとにサーブの技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：サーブについて調べる／事後：サーブをする際の注意点を復習する（1時間）
4	攻守の基本的技術の習得3	チームごとにレシーブの技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：レシーブについて調べる／事後：サーブをする際の注意点を復習する（1時間）
5	攻守の基本的技術の習得4	チームごとにスパイクの技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：スパイクについて調べる／事後：スパイクをする際の注意点を復習する（1時間）
6	攻守の基本的技術の習得5	チームごとにブロックの技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：ブロックについて調べる／事後：ブロックをする際の注意点を復習する（1時間）
7	基本的なルールの理解と審判技術の習得	6人制ルールとその審判技術の基本を確認し、それを簡易ゲームで実践します	事前：6人制ルールと審判について調べる／事後：審判をする際の注意点を復習する（1時間）
8	リーグ戦1-1	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてチーム対抗の試合をします	事前：チームごとにアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
9	リーグ戦1-2	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとにアピールポイントを再考する／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
10	リーグ戦1-3	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとにアピールポイントを再考する／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
11	基本的技術およびチームプレーの確認	チームごとにリーグ戦1を振返り、基本的技術およびチームプレーをミニゲームを通して確認します	事前：チームごとに課題を整理する／事後：チームプレーを再確認する（1時間）
12	リーグ戦2-1	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとにアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
13	リーグ戦2-2	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとにアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
14	リーグ戦2-3	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとにアピールポイントを考える／事後：チームごとにリーグを振返る（1時間）
15	9人制バレーボールの体験	6人制との違いを体感するために9人制バレーボールの試合を実施します	事前：9人制のルールを確認する／事後：これまでを振返り6人制と9人制の違いを考える（1時間）

テキスト

特に指定せず、必要に応じて資料を配布します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：60%　実技：20%　レポート：20%
評価基準は次の通りです。S:批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトと楽しくゲームを展開することができる/A:探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトとゲームを展開することができる/B:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術をゲームに活かすことができる/C:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術を実践することができる

参考書

特に指定しません。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

履修者数を抽選により調整する場合があり、30～40名程度の予定です。

科目名	生涯スポーツⅠ（集団的スポーツ）Cクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13106	研究室	S-15
担当者	山本　薫	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 生涯スポーツⅠ（基礎）
	◎		△	△	△	

授業概要

ソフトボールは「打つ」「捕る」「投げる」「走る」といった運動の基本動作が盛り込まれた競技スポーツであり、その手軽さから老若男女問わず学校や職場、地域で盛んに実施されている生涯スポーツでもあります。本授業ではソフトボールの基本的な技術や戦術を概説し、またゲーム中の個々の役割について練習やゲームを通してそれらを習得します。さらに審判の実施方法なども体験します。その他、生涯スポーツとして実施するための展開方法、安全管理について習得します。

学修到達目標

ソフトボールにおける基本的技術や戦術の習得およびそのためのドリルを学習し実践できるようになること。
チームメートとの関わりの中で積極的にプレーしチームプレーを身につけること。
生涯スポーツとして行うにあたり、リスク管理ができるようになること。

授業の進め方

全15回をソフトボールの実技を行い、前半と後半の大きく2つに分けて前半を基礎的技術の習得とミニゲーム、後半をリーグ戦という構成で展開していきます。雨天時には室内での学習もしくは体力づくりを予定していますので準備してください。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	概要・スケジュール説明。場所、道具準備片付け手順確認、種目紹介、未経験者確認。	ソフトボールの映像を見てレポート提出する。
2	基礎能力測定	グループ分け、基礎体力・能力測定（送捕球、守備力、打力）	ソフトボールの技術についてテキストや参考書等で予習する。
3	基本練習1	キャッチボール：送球と捕球	送球と捕球の基本についてテキストや参考書等で予習する。
4	基本練習2	トスバッティング：近・中距離打撃と捕球	ソフトボールの打撃と補給についてテキストや参考書等で予習する。
5	基本練習3	ロングティーバッティングと守備：打撃と捕球	ソフトボールの打撃と守備についてテキストや参考書等で予習する。
6	応用練習1、ミニゲーム	シートバッティング：打撃と走塁、守備	ソフトボールの打撃、守備、走塁についてテキストや参考書等で予習する。
7	応用練習2、ミニゲーム	シートバッティング：打撃と走塁、守備	ソフトボールの打撃、守備、走塁についてテキストや参考書等で予習する。
8	応用練習3、ミニゲーム	シートバッティング：バント、内外野の連携練習	ソフトボールのバント、守備の連係についてテキストや参考書等で予習する。
9	実践を通して学ぶ1	ゲームでの実践（1）リーグ戦形式	ソフトボールの試合組み合わせ形式についてテキストや参考書等で予習する。
10	実践を通して学ぶ2	ゲームでの実践（2）リーグ戦形式	ソフトボールのリーグ戦形式についてテキストや参考書等で予習する。
11	実践を通して学ぶ3	ゲームでの実践（3）リーグ戦形式	ソフトボールのリーグ戦試合組み合わせ形式についてテキストや参考書等で予習する。
12	実践を通して学ぶ4	ゲームでの実践（4）リーグ戦形式	ソフトボールのリーグ戦試合組み合わせ形式についてテキストや参考書等で予習する。
13	実践を通して学ぶ5	ゲームでの実践（5）リーグ戦形式	ソフトボールのリーグ戦試合組み合わせ形式についてテキストや参考書等で予習する。
14	実践を通して学ぶ6	ゲームでの実践（6）リーグ戦形式	ソフトボールのリーグ戦試合組み合わせ形式についてテキストや参考書等で予習する。
15	プレー評価、まとめ	自己プレー評価、他者プレー評価、まとめ	前回までの自分のプレー、他者のプレーについて振り返る。

テキスト

「いちばんわかりやすいソフトボール入門 ： ワイド版」宇津木妙子著（大泉書店）（別途、指示します。）

成績評価の方法・基準

受講態度：90%　レポート：10%
取り組む姿勢、積極性を評価します。

参考書

「わかりやすいソフトボールのルール」吉村正著（成美堂出版）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

安全管理上、体調が急変した場合は教員へ速やかに伝えること。活動し易い服装、帽子やタオル、飲料などを持参すること。遅刻者はウォーミングアップ不十分で怪我防止のため授業参加を認めない場合もある

科目名	生涯スポーツⅡ（個人的スポーツ）Aクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13107	研究室	S-22
担当者	中島　弘毅	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日2限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 生涯スポーツⅡ（展開）
	◎		△	△	△	

授業概要

人間にとってスポーツはどのようなものでしょうか。スポーツは人間社会におけるひとつの文化です。人間に空気が必要なように、人間が「人間らしい」生活をする上で、スポーツはなくてはならないものであり、健康は自己実現を果たすための基盤であると考えられます。そこで本講義では、ターゲットバードゴルフ種目を取り上げ、本種目を通して生涯にわたって健康で、スポーツを楽しむことができるよう、そのための基礎的能力の獲得を目指します。

学修到達目標

本講義では、当該スポーツ種目を楽しむための基本技術の習得および技術向上を目指します。当該種目を通じて、スポーツを通して自らの身体を感じ、知り、より良い身体の使い方を学びます。また、スポーツに親しみ、楽しむ上での基本的態度および能力の習得を目指します。

授業の進め方

実技を中心に行います。当該種目の種目特性を知り、種目にあった身体の動かし方及び技術を身につけるように、分習法から全習法へ、基礎から実践へと展開して行きます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	スポーツの意義について考えてみよう！	ガイダンス　生涯スポーツの意義	本授業の意義を考え、自らの達成目標を設定しよう。
2	ターゲットバードゴルフとは？	ターゲットバードゴルフにおけるグリップの握り方とスイングフォームについて	グリップの握り方について調べてこよう。
3	スイングのポイントについて考えてみよう。	ターゲットバードゴルフにおける軸と支点について	スイング時における軸及び支点についてまとめてみよう。
4	スイングとボールとの関係について考えて見よう。	ターゲットバードゴルフにおけるスイングプレーンとインパクトについて	クラブの軌道、フェイスの向きとボールの軌道、回転について考えてみよう。
5	軸、支点とヘッドスピードとの関係について考えて見よう。	ターゲットバードゴルフにおける身体の軸、支点とヘッドスピード関係について考える。	身体の軸、支点とヘッドスピードについてまとめてみよう。
6	軸、支点と身体の使い方について考える。	軸、支点を生み出す下半身の使い方と身体への意識について考える。	意識することの重要性について考える。
7	振り幅と距離について考える。	クラブの振り幅とボールの飛距離について考える。	より少ない打数であがるためにはどうしたらよいか考えてみよう！
8	ビジネスゾーンについて	腰から腰の振り幅におけるスイングの重要性について。スロースイングとフェイスに対する意識と方向性について	スロースイングと意識について考えてみよう。
9	ラウンドにおける楽しさを感じてみよう。	ラウンドの仕方を学ぼう。ゲームの説明と進行の仕方について。	ルールについてまとめてみよう。
10	スコアーの記入の仕方を学ぼう。	ラウンドをしながらスコアーの記入の仕方を学ぼう。	ゴルフと審判について考えてみよう。
11	ゴルフの特性を考えながらラウンドしてみよう。	ラウンドをしながら、自然とプレーとの関係について考えてみよう。	ゴルフは自然との戦いであると言う意味について考えてみよう。
12	ゴルフの特性について考えてみよう。	ラウンドをしながら、自分の心の変化とプレーとの関係について考えてみよう。	ゴルフは自分との戦いであると言う意味について考えてみよう。
13	マナーと楽しさについて考えてみよう。	ラウンドをしながら、ゴルフのマナーがプレイに及ぼす影響とプレイの楽しさについて考えてみよう。	マナーの重要性について考えてみよう。
14	作戦を立てながらラウンドを楽しもう。	コースマネージメントについて考える。	次を考えることの重要性についてまとめよう。
15	ゴルフの歴史から見た種目特性について考える。	まとめ	ゴルフにおける紳士的スポーツとしての特性と楽しさとの関係について考えてみよう。

テキスト

必要に応じて資料を配布します。

成績評価の方法・基準

受講態度：60%　レポート：20%　実技：10%　出席レポート：10%
受講態度は、積極性・協力性（リーダーシップ、メンバーシップ）・向上心等を授業参加度とともに評価します。

参考書

「ニュースポーツ事典」北川勇人・（財）日本レクリエーション協会　共編著（遊戯社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

運動着、運動靴を着用することとします。安全に留意し、他者と積極的にコミュニケーションを図り、協力して授業に取り組みましょう。ルールの事前確認をするとともにスキルについては専門書等で確認をしておきましょう。

科目名	生涯スポーツⅡ（個人的スポーツ）Bクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13107	研究室	S-18
担当者	新井　喜代加	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 生涯スポーツⅡ（展開）
	◎		△	△	△	

授業概要

本授業では、バドミントンを通じてスポーツに親しむ資質を身につけることを目的とします。スポーツに親しむには、なによりスポーツの楽しさを体験することが重要であると考えられます。本授業では、ペア・チームごとに「楽しい」という気持ち、感覚、雰囲気、表情等と向き合いながら、「楽しいバドミントン」を探求します

学修到達目標

(1)バドミントンの基本的技術を習得し、ゲームに活かすことができる
(2)ペア・チームで協力して、ゲームを展開することができる
(3)楽しくゲームを進行するために工夫することができる

授業の進め方

基本的に本授業は、ペア・チーム単位で「課題の設定→課題解決のための練習方法の決定と実施→ミニゲームの実施→ミニゲームの振返り→課題の見直しと再設定」というサイクルで進めていきます。（アクティブラーニングの実施）

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業内容、評価方法、留意事項等について解説し、チーム分けをします	事前：シラバスを読む／事後：バドミントンのルールを確認する（1時間）
2	攻守の基本的技術の習得1	グループごとにストロークの技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：ストロークについて調べる／事後：ストロークをする際の注意点を復習する（1時間）
3	攻守の基本的技術の習得2	グループごとにサービスの技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：サービスについて調べる／事後：サービスをする際の注意点を復習する（1時間）
4	攻守の基本的技術の習得3	グループごとにショット（スマッシュ）の技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：スマッシュについて調べる／事後：スマッシュをする際の注意点を復習する（1時間）
5	攻守の基本的技術の習得4	グループごとにショット（クリアー）の技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：クリアーについて調べる／事後：クリアーをする際の注意点を復習する（1時間）
6	攻守の基本的技術の習得5	グループごとにショット（ドロップ）の技術の習得方法を考え、それを実践します	ドロップについて調べる／事後：ドロップをする際の注意点を復習する（1時間）
7	基本てきなルールの理解と審判技術の習得	ルールと審判技術の基本を確認し、簡易ゲームで実践します	事前：ルールと審判について調べる／事後：審判をする際の注意点を復習する（1時間）
8	リーグ戦1-1	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとにアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
9	リーグ戦1-2	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとにアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
10	リーグ戦1-3	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとにアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
11	基本的な技術と戦術の確認	チームごとにリーグ戦1を振返り、基本的な技術と戦術をミニゲームを通して再確認します	事前：チームごとに課題を整理する／事後：チーム戦術を再確認する（1時間）
12	リーグ戦2-1	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする
13	リーグ戦2-2	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする
14	リーグ戦2-3	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする
15	レクリエーション	討議により設定した特別ルールのもと試合を実施します	事前：楽しくゲームができる特別ルールを考える／事後：本授業のレポートを作成する

テキスト

特に指定せず、必要に応じて資料を配布します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：60%　実技：20%　レポート：20%
評価基準は次の通りです。S:批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトと楽しくゲームを展開することができる/A:探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトとゲームを展開することができる/B:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術をゲームに活かすことができる/C:与えられた課題に誠実に取り、習得した基本的技術を実践することができる

参考書

特に指定しません。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

履修者数を抽選により調整する場合があります。

科目名	生涯スポーツⅡ（個人的スポーツ）Cクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13107	研究室	非常勤
担当者	寺平　美樹	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 生涯スポーツⅡ（展開）
	◎		△	△	△	

授業概要

本講義はバドミントンとボクササイズという全く違うスポーツを体験することで、個の運動習慣を生涯的に継続できるようにすることを目的とします。

学修到達目標

生涯スポーツに結び付けられるよう、仲間と楽しむ。

授業の進め方

前半はバドミントン、後半は音楽に合わせボクササイズを行います。（講義内容は変更する場合があります）

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション ウォーミングアップの重要性	授業時の注意点、講義への向き合い方、進め方の説明。 正しいストレッチの方法を修得します。レクリエーションも行います。	基礎体力がつく運動にはどのようなものがあるか考えてみる。（1時間）
2	体力づくりレクリエーション バドミントン基礎	ウォーミングアップを兼ね、レクリエーションを楽しみ体力づくり。 バドミントンのラリー、サーブ練習。	授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること（1時間）
3	ストレッチ バドミントン	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 バドミントンのラリー、スマッシュ練習、シングルスゲーム。	授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること（1時間）
4	ストレッチ バドミントン	バドミントンのラリー、スマッシュ、ヘアピン練習、シングルスゲーム。	授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること（1時間）
5	ストレッチ バドミントン	バドミントンのルールを再確認。 シングルスゲーム。	授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること（1時間）
6	ストレッチ バドミントン	バドミントンの審判などゲーム運営の確認。 シングルスゲーム。	授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること（1時間）
7	ストレッチ バドミントン	バドミントンのラリー、スマッシュ、ヘアピンの練習。 ダブルスゲーム。	授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること（1時間）
8	ストレッチ バドミントン	バドミントンのラリー、スマッシュ、ヘアピン練習。 ダブルスゲーム。	授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること（1時間）
9	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害の予防と、パフォーマンス向上のため全身のストレッチを行います。 ジャブ、ストレート動作を音楽に合わせて動きます。	授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること（1時間）
10	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 ジャブ、ストレート動作にフックを加えて動いてみます。	授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること（1時間）
11	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 ジャブ、ストレート、フック動作にアッパーを加えて動きます。	授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること（1時間）
12	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 上肢の動きに加え、前蹴りの動作を行います。	授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること（1時間）
13	ストレッチ 格闘技エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 相手を想定した構成で動いてみます。	授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること（1時間）
14	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 単純な動きから複雑な動きにチャレンジしてみます。	授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること（1時間）
15	ストレッチ 格闘技系エクササイズ	障害予防とパフォーマンス向上のため、全身のストレッチを行います。 複雑な動きをよりパワフルに動いてみます。	授業で整理運動が不足するので、家でケアをすること（1時間）

テキスト

「なし」

成績評価の方法・基準

Ｓ：遅刻、早退、欠席がなく、私　　語を慎み、前向きに授業が受けられる。
Ａ：遅刻、早退がない。欠席は1回程度。前向きに授業が受けられる。
Ｂ：遅刻、早退、欠席が2回程度。前向きに授業が受けられる。
Ｃ：遅刻、早退、欠席が3回程度。前向きに授業が受けられる。

参考書

「なし」

履修上の注意（学生へのメッセージ）

スポーツウェア（上・下）、スポーツシューズは必ず着用してください。
大学の備品はていねいに扱うようにしてください。

科目名	日本国憲法（総合経営学部）	学年学期	1年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13201	研究室	W-14
担当者	眞次　宏典	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	高一(商業)、高一(情報)、中一(社会)、高一(地歴)、高一(公民)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

日本国憲法の基本的な枠組、背景、その意義などを理解するために、近代憲法の基本原理（基本的人権の保障と権力分立制）、日本における二つの憲法（明治憲法と日本国憲法）の異同、日本国憲法の基本原理（国民主権、基本的人権の尊重、平和主義）などを明かにした上で、具体的な政府の仕組みと人権保障のあり方についての基本論点を検討しながら理解を深めて行くことにします。

学修到達目標

本講義は、日本国憲法についての基本的な知識を獲得することを目的としています。日本国憲法を近代立憲主義の歴史の中に位置づけた上で、日本における憲法学説・判例を手がかりにしながら、日本国憲法の人権および統治機構（政府の仕組み）の基本的なあり方を理解する。

授業の進め方

講義は、六法（毎時間必携）で条文（憲法、関連諸法令）を参照しながら進めていきます。なお、ほぼ毎時間、講義テーマまたは人権、憲法に関連した新聞・雑誌などの記事を配布し、解説を加えることにします。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	近代憲法の成立と構成	ガイダンス、憲法の諸概念	講義内容の復習（4時間）
2	統治総論と国民主権	二つの憲法の比較、日本国憲法制定過程、基本原理	テキストを読む（4時間）
3	国民主権と天皇	日本国憲法の成立過程とその評価	テキストを読む（4時間）
4	選挙制度と選挙権	選挙制度、選挙権、法の下の平等	テキストを読む（4時間）
5	国会1	議院と議員	テキストを読む（4時間）
6	国会2	活動と地位	テキストを読む（4時間）
7	内閣	内閣、首相、国務大臣	テキストを読む（4時間）
8	司法権と裁判所	司法権、裁判所の組織	テキストを読む（4時間）
9	違憲審査制	違憲審査制と重要判例	テキストを読む（4時間）
10	基本的人権1	人権保障のしくみ、幸福追求権	テキストを読む（4時間）
11	基本的人権2	法の下の平等	テキストを読む（4時間）
12	思想・良心の自由と信教の自由	思想・良心の自由、信教の自由、政教関係	テキストを読む（4時間）
13	表現の自由	表現の自由、知る権利	テキストを読む（4時間）
14	経済的自由	財産権、職業選択の自由	テキストを読む（4時間）
15	社会権	生存権、教育を受ける権利	半期講義の復習（4時間）

テキスト

「一歩先への憲法入門」片桐直人・井上武史・大林啓吾著（有斐閣）
ISBN:978-4641131965（生協で購入してください。）
「ポケット六法　平成29年度版」山下友信、山口厚編（有斐閣）　ISBN:978-4641009172（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：90%　受講態度：10%
Ｓ：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。Ａ：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって海内に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。
Ｂ：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。Ｃ：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

講義の中では、授業の受け方、ノートの取り方、六法の使い方など大学で学ぶために必要な技術についても教えます。学生諸君は、講義内容そのものだけでなく、学ぶための技術についても学ぶよう心がけてください。

科目名	日本国憲法	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13202	研究室	非常勤
担当者	松田　清	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	第一種衛生、中一(保体)、高一(保体)、養教一、栄教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 法学（含日本国憲法）
	◎		△	△	△	

授業概要

全15回の講義ですが、初めて法律を学ぶ学生が、大多数ですから、最初の5回で、法学入門的な授業を行います。その際に、日々の生活に関係の深い民法と、3.4年次で労働関係の法律を学ぶ際の基礎になるように、労働法についても、学んでいきます。6回目からは、憲法の入門書を使って、日本国憲法の基本的人権・統治機構について学んでいきます。その際も、労働基本権を含む社会権については、しっかり学んでいくことになります。

学修到達目標

細かい知識の丸暗記ではなく、法律の基本的な考え方（リーガルマインド）を、身に着ける。日本国憲法の体系・骨組みをつかむ。

授業の進め方

テキストに沿って授業を進めますが、必要に応じてプリントを配付します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	法律を学ぼう	法律とは　法律の目的　法と道徳について講義します。	事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分を読み込むこと。
2	法律の適用	法的三段論法　法の分類(公法と私法等)について講義します。	事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。
3	民法とは何か	民法の役割　民法の考え方 財産法の仕組み　物権と債権について講義します。	事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。
4	物権法と債権法の概略	具体例を使って（売買契約） 民法の全体図について講義します。	事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。
5	労働法の全体像	労働法と憲法の関係、労働法の体系を学びます。	事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。
6	憲法とは何か	憲法とは　憲法の特質等について講義します。	事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。
7	国民主権	主権とは　間接民主制　直接民主制等について講義します。	事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。
8	基本的人権	基本的人権の原理と限界について講義します。	事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。
9	法の下の平等	平等の意味　最近の判例等について講義します。	事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。
10	精神的自由権	思想・良心自由　表現の自由等について講義します。	事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。
11	経済的自由権	職業選択の自由　財産権等について講義します。	事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。
12	社会権	労働基本権を中心に講義します。	事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。
13	総復習	法律の勉強は、繰り返しが大事です。重要事項について復習します。	事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。
14	統治機構	権力分立　国会　内閣　裁判所について講義します。	事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。
15	総復習	重要部分を中心に全体を総復習します。	事後学修として講義の際に指定したテキストの該当部分読み込むこと。

テキスト

「伊藤真の憲法入門」伊藤　真著　ISBN:978-4-535-52040-0（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：80%　レポート：20%
S　課題に意欲的に取り組み、授業内容をすべて理解して、正しく文章で表現することができる。A　授業で学んだことを理解し、正しく文章で表現することができる。B　授業で学んだことを概ね理解し、文章で表現することができる。
C　最低限押さえてほしい事項(授業で指示します)について、理解し表現できる。

参考書

六法は各自持参すること。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

原則として、事前学修は必要ありませんが、事後学修に努めてください。

科目名	総合英語Ⅰ（スポーツ）Aクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12101	研究室	非常勤
担当者	吉田　美咲	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 英語Ⅰ（基礎）
	◎		△	△	△	

授業概要

実際に使える英語を修得し活用できるようになるために、基本文法を復習します。単に文法を暗記するのではなく、耳と口を使って英語を吸収し、会話を楽しみながら学習します。アウトプットを繰り返し行うことで、重要語彙や文法パターンを自然な形で身に付け、TOEICでもハイスコアを目指せるような土台を築きます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。
基礎文法を使って海外で日常生活ができる程度のスピーキング力を修得している。

授業の進め方

アウトプット中心の体験型学習を通して基礎的な会話を復習します。課題もアウトプットが主になります。Eラーニングを採用し、授業中の問題解答や宿題管理を行います。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス（原則20名以下）で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス 英語習得のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、進め方について説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。Eラーニングツール「チェックリンク（CL）」を登録。	授業内で指示（1時間）
2	現在形（Be動詞） First Day of Class	現在形（Be動詞）am, are, beの違い、否定文、疑問文、命令文 学校での会話とリスニング 自己紹介の仕方	P14 A, P16 C（CL） 会話練習、単語、自分の自己紹介を書いてくる（1時間）
3	一般動詞の現在形 I Love Bread!	一般動詞現在形の否定文、疑問文、命令文 パン屋での会話とリスニング グループで自己紹介	P20 A, P22 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
4	可算名詞と不可算名詞 Pizza Time	可算名詞、不可算名詞の違い ピザ注文の会話とリスニング メニューの読み方	P26 A, P28 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
5	代名詞 Not Just a Baker	代名詞（主格、所有格、目的格、所有代名詞） アルバイトに関する会話とリスニング 好きなバンドを紹介しよう	P32 A、P34 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
6	一般動詞の過去形 What's wrong with Hitomi?	一般動詞（過去形）の変化、否定文・疑問文 病院での会話とリスニング 1日の予定を言ってみよう	P38 A,　P40　C（CL） 会話練習、単語（1時間）
7	中間テスト	中間テスト：2-6講で学んだダイアログを基にした自由会話の口述テスト	P44 A, P46 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
8	前置詞 I Feel Healthy Already!	時と場所を表す様々な前置詞 食料品店での会話とリスニング 学校と授業について紹介してみよう	P50 A, P52 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
9	未来形 Small Talk	未来を表す表現（will, be going to） 道案内の会話とリスニング 週末の予定を言ってみよう	P56 A, P58 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
10	現在完了形 Weight Down, Power Up!	現在完了形（経験、継続、完了） ジムでの会話とリスニング To-Do-Listを書いてみよう	P62 A, P64 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
11	比較級と最上級 It's Nice…And	比較級・最上級 自転車店での会話とリスニング 比較級で文章を作ってみよう	P68A, P70 C　(CL) 会話練習、単語（1時間）
12	接続詞 Hitomi Wants a New Look	様々な接続詞(and, or, but, so) 美容室での会話とリスニング 接続詞を使って自分について書いてみよう	P74 A, P76 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
13	動名詞と不定詞 Shopping for Clothes	動名詞と不定詞の意味 ショッピングでの会話とリスニング 自分の好き嫌いについて書いてみよう	P80 A, P82 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
14	疑問詞 I'm Meeting a Friend	疑問詞の種類（5W1H） ルームメイトとの会話とリスニング 最近行ったレストランを紹介してみよう	P86 A, P88 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
15	助動詞 Date Night	様々な助動詞(can, should, must, have to, might) 回転寿司店での会話とリスニング 学校の規則について書いてみよう	P92 A, P94 C（CL） 会話練習、単語（1時間）

テキスト

「English Aid」Robert Hickling / Misato Usukura 著（金星堂）
ISBN:9784764740365（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　定期試験：30%　課題：30%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットでダウンロードした音声を活用した課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達には、積極性と地道な努力が不可欠。英語を話す自分をイメージし、会話を楽しみながら受講してください。

科目名	総合英語Ⅰ（スポーツ）Bクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12101	研究室	非常勤
担当者	勝山　庸子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 英語Ⅰ（基礎）
	◎		△	△	△	

授業概要

実際に使える英語を修得し活用できるようになるために、基本文法を復習します。単に文法を暗記するのではなく、耳と口を使って英語を吸収し、会話を楽しみながら学習します。アウトプットを繰り返し行うことで、重要語彙や文法パターンを自然な形で身に付け、TOEICでもハイスコアを目指せるような土台を築きます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。
基礎文法を使って海外で日常生活ができる程度のスピーキング力を修得している。

授業の進め方

アウトプット中心の体験型学習を通して基礎的な会話を復習します。課題もアウトプットが主になります。Eラーニングを採用し、授業中の問題解答や宿題管理を行います。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス（原則20名以下）で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス 英語習得のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、進め方について説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。Eラーニングツール「チェックリンク（CL）」を登録。	授業内で指示（1時間）
2	現在形（Be動詞） First Day of Class	現在形（Be動詞）am, are, beの違い、否定文、疑問文、命令文 学校での会話とリスニング 自己紹介の仕方	P14 A、P16 C（CL） 会話練習、単語、自分の自己紹介を書いてくる（1時間）
3	一般動詞の現在形 I Love Bread!	一般動詞現在形の否定文、疑問文、命令文 パン屋での会話とリスニング グループで自己紹介	P20 A、P22 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
4	可算名詞と不可算名詞 Pizza Time	可算名詞、不可算名詞の違い ピザ注文の会話とリスニング メニューの読み方	P26 A, P28 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
5	代名詞 Not Just a Baker	代名詞（主格、所有格、目的格、所有代名詞） アルバイトに関する会話とリスニング 好きなバンドを紹介しよう	P32 A、P34 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
6	一般動詞の過去形 What's wrong with Hitomi?	一般動詞（過去形）の変化、否定文・疑問文 病院での会話とリスニング 1日の予定を言ってみよう	P38 A,　P40　C（CL） 会話練習、単語（1時間）
7	中間テスト	中間テスト：2-6講で学んだダイアログを基にした自由会話の口述テスト	P44 A、P46 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
8	前置詞 I Feel Healthy Already!	時と場所を表す様々な前置詞 食料品店での会話とリスニング 学校と授業について紹介してみよう	P50 A, P52 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
9	未来形 Small Talk	未来を表す表現（will, be going to） 道案内の会話とリスニング 週末の予定を言ってみよう	P56 A, P58 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
10	現在完了形 Weight Down, Power Up!	現在完了形（経験、継続、完了） ジムでの会話とリスニング To-Do-Listを書いてみよう	P62 A, P64 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
11	比較級と最上級 It's Nice…And	比較級・最上級 自転車店での会話とリスニング 比較級で文章を作ってみよう	P68A, P70 C　(CL) 会話練習、単語（1時間）
12	接続詞 Hitomi Wants a New Look	様々な接続詞(and, or, but, so) 美容室での会話とリスニング 接続詞を使って自分について書いてみよう	P74 A, P76 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
13	動名詞と不定詞 Shopping for Clothes	動名詞と不定詞の意味 ショッピングでの会話とリスニング 自分の好き嫌いについて書いてみよう	P80 A, P82 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
14	疑問詞 I'm Meeting a Friend	疑問詞の種類（5W1H） ルームメイトとの会話とリスニング 最近行ったレストランを紹介してみよう	P86 A, P88 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
15	助動詞 Date Night	様々な助動詞(can, should, must, have to, might) 回転寿司店での会話とリスニング 学校の規則について書いてみよう	P92 A, P94 C（CL） 会話練習、単語（1時間）

テキスト

「English Aid」Robert Hickling / Misato Usukura 著（金星堂）
ISBN:9784764740365（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　定期試験：30%　課題：30%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットでダウンロードした音声を活用した課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達には、積極性と地道な努力が不可欠。英語を話す自分をイメージし、会話を楽しみながら受講してください。

科目名	総合英語Ⅰ（スポーツ）Cクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12101	研究室	非常勤
担当者	小西　さやか	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 英語Ⅰ（基礎）
	◎		△	△	△	

授業概要

実際に使える英語を修得し活用できるようになるために、基本文法を復習します。単に文法を暗記するのではなく、耳と口を使って英語を吸収し、会話を楽しみながら学習します。アウトプットを繰り返し行うことで、重要語彙や文法パターンを自然な形で身に付け、TOEICでもハイスコアを目指せるような土台を築きます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。
基礎文法を使って海外で日常生活ができる程度のスピーキング力を修得している。

授業の進め方

アウトプット中心の体験型学習を通して基礎的な会話を復習します。課題もアウトプットが主になります。Eラーニングを採用し、授業中の問題解答や宿題管理を行います。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス（原則20名以下）で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス 英語習得のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、進め方について説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。Eラーニングツール「チェックリンク（CL）」を登録。	ゴールの設定、自己学習計画を立てロードマップへ記入する。（1時間）
2	現在形（Be動詞） First Day of Class	現在形（Be動詞）am, are, beの違い、否定文、疑問文、命令文 学校での会話とリスニング 自己紹介の仕方	P14 A、P16 C（CL） 会話練習、単語、自分の自己紹介を書いてくる（1時間）
3	一般動詞の現在形 I Love Bread!	一般動詞現在形の否定文、疑問文、命令文 パン屋での会話とリスニング グループで自己紹介	P20 A、P22 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
4	可算名詞と不可算名詞 Pizza Time	可算名詞、不可算名詞の違い ピザ注文の会話とリスニング メニューの読み方	P26 A, P28 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
5	代名詞 Not Just a Baker	代名詞（主格、所有格、目的格、所有代名詞） アルバイトに関する会話とリスニング 好きなバンドを紹介しよう	P32 A、P34 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
6	一般動詞の過去形 What's wrong with Hitomi?	一般動詞（過去形）の変化、否定文・疑問文 病院での会話とリスニング 1日の予定を言ってみよう	P38 A,　P40　C（CL） 会話練習、単語（1時間）
7	中間テスト	中間テスト：2-6講で学んだダイアログを基にした自由会話の口述テスト 残り時間：進行形	P44 A、P46 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
8	前置詞 I Feel Healthy Already!	時と場所を表す様々な前置詞 食料品店での会話とリスニング 学校と授業について紹介してみよう	P50 A, P52 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
9	未来形 Small Talk	未来を表す表現（will, be going to） 道案内の会話とリスニング 週末の予定を言ってみよう	P56 A, P58 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
10	現在完了形 Weight Down, Power Up!	現在完了形（経験、継続、完了） ジムでの会話とリスニング To-Do-Listを書いてみよう	P62 A, P64 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
11	比較級と最上級 It's Nice…And	比較級・最上級 自転車店での会話とリスニング 比較級で文章を作ってみよう	P68A, P70 C　(CL) 会話練習、単語（1時間）
12	接続詞 Hitomi Wants a New Look	様々な接続詞(and, or, but, so) 美容室での会話とリスニング 接続詞を使って自分について書いてみよう	P74 A, P76 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
13	動名詞と不定詞 Shopping for Clothes	動名詞と不定詞の意味 ショッピングでの会話とリスニング 自分の好き嫌いについて書いてみよう	P80 A, P82 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
14	疑問詞 I'm Meeting a Friend	疑問詞の種類（5W1H） ルームメイトとの会話とリスニング 最近行ったレストランを紹介してみよう	P86 A, P88 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
15	助動詞 Date Night	様々な助動詞(can, should, must, have to, might) 回転寿司店での会話とリスニング 学校の規則について書いてみよう	P92 A, P94 C（CL） 会話練習、単語（1時間）

テキスト

「English Aid」Robert Hickling / Misato Usukura 著（金星堂）
ISBN:9784764740365（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　定期試験：30%　課題：30%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットでダウンロードした音声を活用した課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達には、積極性と地道な努力が不可欠。英語を話す自分をイメージし、会話を楽しみながら受講してください。

科目名	総合英語Ⅰ（スポーツ）Dクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12101	研究室	N-03
担当者	藤原　隆史	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限、木曜日3限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 英語Ⅰ（基礎）
	◎		△	△	△	

授業概要

実際に使える英語を修得し活用できるようになるために、基本文法を復習します。単に文法を暗記するのではなく、耳と口を使って英語を吸収し、会話を楽しみながら学習します。アウトプットを繰り返し行うことで、重要語彙や文法パターンを自然な形で身に付け、TOEICでもハイスコアを目指せるような土台を築きます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。
基礎文法を使って海外で日常生活ができる程度のスピーキング力を修得している。

授業の進め方

アウトプット中心の体験型学習を通して基礎的な会話を復習します。課題もアウトプットが主になります。Eラーニングを採用し、授業中の問題解答や宿題管理を行います。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス（原則20名以下）で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス 英語習得のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、進め方について説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。Eラーニングツール「チェックリンク（CL）」を登録。	ゴールの設定、自己学習計画を立てロードマップへ記入する。 （1時間）
2	現在形（Be動詞） First Day of Class	現在形（Be動詞）am, are, beの違い、否定文、疑問文、命令文 学校での会話とリスニング 自己紹介の仕方	P14 A, P16 C (CL) 会話練習、単語、自分の自己紹介を書いてくる（1時間）
3	一般動詞の現在形 I Love Bread!	一般動詞現在形の否定文、疑問文、命令文 パン屋での会話とリスニング グループで自己紹介	P20 A, P22 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
4	可算名詞と不可算名詞 Pizza Time	可算名詞、不可算名詞の違い ピザ注文の会話とリスニング メニューの読み方	P26 A, P28 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
5	代名詞 Not Just a Baker	代名詞（主格、所有格、目的格、所有代名詞） アルバイトに関する会話とリスニング 好きなバンドを紹介しよう	P32 A, P34 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
6	一般動詞の過去形 What's wrong with Hitomi?	一般動詞（過去形）の変化、否定文・疑問文 病院での会話とリスニング 1日の予定を言ってみよう	P38 A, P40 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
7	中間テスト	中間テスト：2-6講で学んだダイアログを基にした自由会話の口述テスト 残り時間：進行形	P44 A, P46 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
8	前置詞 I Feel Healthy Already!	時と場所を表す様々な前置詞 食料品店での会話とリスニング 学校と授業について紹介してみよう	P50 A, P52 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
9	未来形 Small Talk	未来を表す表現（will, be going to） 道案内の会話とリスニング 週末の予定を言ってみよう	P56 A, P58 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
10	現在完了形 Weight Down, Power Up!	現在完了形（経験、継続、完了） ジムでの会話とリスニング To-Do-Listを書いてみよう	P62 A, P64 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
11	比較級と最上級 It's Nice…And	比較級・最上級 自転車店での会話とリスニング 比較級で文章を作ってみよう	P68A, P70 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
12	接続詞 Hitomi Wants a New Look	様々な接続詞(and, or, but, so) 美容室での会話とリスニング 接続詞を使って自分について書いてみよう	P74 A, P76 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
13	動名詞と不定詞 Shopping for Clothes	動名詞と不定詞の意味 ショッピングでの会話とリスニング 自分の好き嫌いについて書いてみよう	P80 A, P82 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
14	疑問詞 I'm Meeting a Friend	疑問詞の種類（5W1H） ルームメイトとの会話とリスニング 最近行ったレストランを紹介してみよう	P86 A, P88 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
15	助動詞 Date Night	様々な助動詞(can, should, must, have to, might) 回転寿司店での会話とリスニング 学校の規則について書いてみよう	P92 A, P94 C (CL) 会話練習、単語（1時間）

テキスト

「English Aid」Robert Hickling / Misato Usukura 著（金星堂）
ISBN:9784764740365（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　定期試験：30%　課題：30%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットでダウンロードした音声を活用した課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達には、積極性と地道な努力が不可欠。英語を話す自分をイメージし、会話を楽しみながら受講してください。

科目名	総合英語Ⅰ（スポーツ）Eクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12101	研究室	非常勤
担当者	大岩　裕子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 英語Ⅰ（基礎）
	◎		△	△	△	

授業概要

◆Eクラス
スポーツの世界でも、良い結果を得るためには基礎を大切に地道な練習を毎日続けていくことが求められます。英語の学習もこれと似ています。大学入学までに学んだ基礎文法をもう一度確認・整理することで、「読む、聞く、書く、話す」につながる土台作りを目指します。

学修到達目標

基本的な英文法を理解すること。辞書を使い英文の内容を読み取る力をつけること。運動とスポーツに関する英語の表現･語彙を増やすことが目標です。

授業の進め方

テキストとプリント教材を使って授業を進めていきます。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス（原則20名以下）で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス/This is My Classmates/be動詞(現在形)	英文を支える大黒柱は動詞。その役割と意味を理解しておくことが英語の学習のスタートです。まずはbe動詞から確認していきましょう。	講義後、サブノート用プリントを完成させる。 (1時間)
2	I Was Sleepy/be動詞(過去形)	be動詞の過去形をいろいろな状況での使い分けてみましょう。	講義後、サブノート用プリントを完成させる。 （1時間）
3	I Work Part-time on Weekends/一般動詞の現在時制	一般動詞の現在形の使い方のルールを復習しましょう。	講義後、サブノート用プリントを完成させる。 （1時間）
4	I Bought a New Shirt/一般動詞の過去時制	英語では動詞の形を変えることで「～した」と過去のことを表します。現在形と比べながら、過去形の使い方を整理しましょう。	講義後、サブノート用プリントを完成させる。 （1時間）
5	Are You Going to Study Abroad?/ 未来表現	実際にはまだ起こっていないことや、不確実なこと、予想、予定などを伝えるいろいろな表現を学びます。	講義後、サブノート用プリントを完成させる（1時間）
6	Is He Running?/進行形	今まさに目の前で進行している動作を表す現在進行形。実際の場面を想像しながら、進行形の役割を学習します。	講義後、サブノート用プリントを完成させる。 （1時間）
7	It's Yours/代名詞	同じ単語の繰り返しを避けるため、すでに話題に上った人や物を代名詞を使って表します。頻繁に登場するので、代表的な代名詞の意味と働きを理解しておきましょう。	講義後、サブノート用プリントを完成させる。 （1時間）
8	It's on Your Desk/場所を表す前置詞	場所を表す基本的な前置詞を整理しましょう。	講義後、サブノート用プリントを完成させる。（1時間）
9	Where Are You Going?/疑問詞	誰が、何を、どこで、など具体的な情報を尋ねたいときの疑問文を復習します。	講義後、サブノート用プリントを完成させる。 （1時間）
10	Have You Ever Played the Piano?/現在完了	過去の出来事と現在とを関連づける現在完了形。〈have+動詞の過去分詞形〉の形にも慣れましょう。	講義後、サブノート用プリントを完成させる（1時間）
11	Shall We Go?/助動詞	代表的な助動詞の意味を整理し、実際に使って英文を作ってみましょう。	講義後、サブノート用プリントを完成させる。 （1時間）
12	Three Cups of Coffee,Please/ 名詞の数	英語の名詞は「数えられるもの」と「数えられないもの」という基準で分類されます。日本語との違いを確認しながら、名詞を使うときのルールを学びます。	講義後、サブノート用プリントを完成させる。 （1時間）
13	Who is the Tallest?/比較	英語ではふたつ以上のものを比較する際には形容詞や副詞の形を変化させて表します。比較の三つの形を整理しましょう。	講義後、サブノート用プリントを完成させる。（1時間）
14	The Door Was Closed/受動態	動作を受ける側を主体にした「～される」と表す文を受動態（受け身）と呼びます。形と使い方を復習しましょう。	講義後、サブノート用プリントを完成させる。 （1時間）
15	I Like Cats and Dogs/接続詞/講義全体のまとめ	接続詞は文と文、語と語を結ぶ働きをします。時、理由、条件などを表す接続詞の使い方を復習しましょう。	講義後、サブノート用プリントを完成させる。（1時間）

テキスト

「English Illustrated」Kazumi Namiki, Kaori Noro, Susan Adams Yamada著（金星堂）　ISBN:978-4-7647-4063-1（生協で購入してください。）
テキストの他にプリント教材、資料を配布します。

成績評価の方法・基準

受講態度：20%　課題：20%　定期試験：60%
受講態度は、授業への意欲（予習・発言）、課題の提出状況と内容などで、総合的に評価します。S:授業内容をほぼ100パーセント理解し、意欲的に課題に取り組み優秀な成績をおさめている。A:授業内容をよく理解し、積極的に課題に取り組み目標を十分に達成している。B:授業内容をおおよそ理解し、真面目に課題に取り組み目標を達成している。C:授業内容の60%程度を理解し、目標にほぼ達している。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

辞書は授業中にも使いますから、必ず用意してください。また、毎回の講義終了前に次回講義の概要や予習等について説明をします。予習の指示がある場合は、必ず予習をしてから講義に臨んでください。

科目名	総合英語Ⅱ（スポーツ）Aクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12102	研究室	非常勤
担当者	吉田　美咲	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 英語Ⅱ（初級）
	◎		△	△	△	

授業概要

総合英語Ⅰを受講した学生が基礎文法を応用し、TOEICレベルの英語を聞く・読む力を養うクラスです。総合英語Ⅰに続きリスニング、スピーキングを中心に学習します。これまでの学習スタイルに加えネイティブが話す英語にある音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また100字から150字のリーディング問題を難なくとけるよう、サイトトランスレーションの技術を学びます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが話す自然な英語を聞きとり、復唱ができる。
基礎文法に加え、語彙やイディオムを増やし、より自由に英語で自己表現ができる。
簡単な新聞記事なども推測しながら内容把握ができる。

授業の進め方

リスニングにディクテーションを加え、読み書きの力もつけていきます。事前課題は音読などを行い、授業で発表することで課題点が与えられます。映像から話を理解し、同じような場面設定で発話ができるよう練習します。100語程度の長文読解も取り入れます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞,挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明。 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
2	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文, 自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
3	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形, 感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
4	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞,注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
5	Scene5: She is so beautiful 代名詞, お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
6	Scene6: Catching a cab 前置詞, 場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
7	中間テスト（口述） Scene7: How Romantic!	中間テスト：1-6講で学んだ内容のロールプレイ発表 残り時間：形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
8	Scene8:I'm not feeling well 助動詞、体調を述べる	助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現 「旅行保険」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
9	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
10	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	接続詞の種類 誘いを断る時の口語表現 「健康食」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
11	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了形の種類と使い方 聞き直す時の口語表現 「ブロードウェイ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
12	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
13	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
14	Scene14: You're my friend、比較級と最上級	比較級と最上級の使い方 会話を切り出す時の口語表現 「結婚年齢」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
15	まとめ	口述テスト：グループに分かれ、これまで学んだ内容を使ってフリーク	期末試験に向けての準備（1時間）

テキスト

「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ －Hello New York! －」土屋武久　本多吉彦　Braven Smillie 著（金星堂）　ISBN:9784764740112（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　定期試験：30%　課題：30%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。

科目名	総合英語Ⅱ（スポーツ）Bクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12102	研究室	非常勤
担当者	勝山　庸子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 英語Ⅱ（初級）
	◎		△	△	△	

授業概要

総合英語Ⅰを受講した学生が基礎文法を応用し、TOEICレベルの英語を聞く・読む力を養うクラスです。総合英語Ⅰに続きリスニング、スピーキングを中心に学習します。これまでの学習スタイルに加えネイティブが話す英語にある音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また100字から150字のリーディング問題を難なくとけるよう、サイトトランスレーションの技術を学びます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが話す自然な英語を聞きとり、復唱ができる。
基礎文法に加え、語彙やイディオムを増やし、より自由に英語で自己表現ができる。
簡単な新聞記事なども推測しながら内容把握ができる。

授業の進め方

リスニングにディクテーションを加え、読み書きの力もつけていきます。事前課題は音読などを行い、授業で発表することで課題点が与えられます。映像から話を理解し、同じような場面設定で発話ができるよう練習します。100語程度の長文読解も取り入れます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞,挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明。 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
2	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文, 自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
3	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形, 感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
4	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞,注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
5	Scene5: She is so beautiful 代名詞, お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
6	Scene6: Catching a cab 前置詞, 場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
7	中間テスト（口述） Scene7: How Romantic!	中間テスト：1-6講で学んだ内容のロールプレイ発表 残り時間：形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
8	Scene8:I'm not feeling well 助動詞、体調を述べる	助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現 「旅行保険」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
9	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
10	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	接続詞の種類 誘いを断る時の口語表現 「健康食」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
11	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了形の種類と使い方 聞き直す時の口語表現 「ブロードウェイ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
12	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
13	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
14	Scene14: You're my friend、比較級と最上級	比較級と最上級の使い方 会話を切り出す時の口語表現 「結婚年齢」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
15	まとめ	口述テスト：グループに分かれ、これまで学んだ内容を使ってフリーク	期末試験に向けての準備（1時間）

テキスト

「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ －Hello New York! －」土屋武久　本多吉彦　Braven Smillie 著（金星堂）　ISBN:9784764740112（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　定期試験：30%　課題：30%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。

0202- -217

科目名	総合英語Ⅱ（スポーツ）Ｃクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12102	研究室	非常勤
担当者	小西　さやか	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 英語Ⅱ（初級）
	◎		△	△	△	

授業概要

総合英語Ⅰを受講した学生が基礎文法を応用し、TOEICレベルの英語を聞く・読む力を養うクラスです。総合英語Ⅰに続きリスニング、スピーキングを中心に学習します。これまでの学習スタイルに加えネイティブが話す英語にある音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また100字から150字のリーディング問題を難なくとけるよう、サイトトランスレーションの技術を学びます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが話す自然な英語を聞きとり、復唱ができる。
基礎文法に加え、語彙やイディオムを増やし、より自由に英語で自己表現ができる。
簡単な新聞記事なども推測しながら内容把握ができる。

授業の進め方

リスニングにディクテーションを加え、読み書きの力もつけていきます。事前課題は音読などを行い、授業で発表することで課題点が与えられます。映像から話を理解し、同じような場面設定で発話ができるよう練習します。100語程度の長文読解も取り入れます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞,挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明。 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
2	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文,自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
3	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形, 感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
4	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞,注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
5	Scene5: She is so beautiful 代名詞, お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
6	Scene6: Catching a cab 前置詞, 場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
7	中間テスト（口述） Scene7: How Romantic!	中間テスト：1-6講で学んだ内容のロールプレイ発表 残り時間：形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
8	Scene8:I'm not feeling well 助動詞、体調を述べる	助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現 「旅行保険」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
9	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
10	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	接続詞の種類 誘いを断る時の口語表現 「健康食」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
11	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了形の種類と使い方 聞き直す時の口語表現 「ブロードウェイ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
12	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
13	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
14	Scene14: You're my friend、比較級と最上級	比較級と最上級の使い方 会話を切り出す時の口語表現 「結婚年齢」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
15	まとめ	口述テスト：グループに分かれ、これまで学んだ内容を使ってフリーク	期末試験に向けての準備（1時間）

テキスト

「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! - 」土屋武久　本多吉彦　Braven Smillie 著（金星堂）　ISBN:9784764740112（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　定期試験：30%　課題：30%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。

0202- -176

科目名	総合英語Ⅱ（スポーツ）Ｄクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12102	研究室	N-03
担当者	藤原　隆史	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限、木曜日3限		
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 英語Ⅱ（初級）
	◎		△	△	△	

授業概要

総合英語Ⅰを受講した学生が基礎文法を応用し、TOEICレベルの英語を聞く・読む力を養うクラスです。総合英語Ⅰに続きリスニング、スピーキングを中心に学習します。これまでの学習スタイルに加えネイティブが話す英語にある音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また100字から150字のリーディング問題を難なくとけるよう、サイトトランスレーションの技術を学びます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが話す自然な英語を聞きとり、復唱ができる。
基礎文法に加え、語彙やイディオムを増やし、より自由に英語で自己表現ができる。
簡単な新聞記事なども推測しながら内容把握ができる。

授業の進め方

リスニングにディクテーションを加え、読み書きの力もつけていきます。事前課題は音読などを行い、授業で発表することで課題点が与えられます。映像から話を理解し、同じような場面設定で発話ができるよう練習します。100語程度の長文読解も取り入れます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞,挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明。 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
2	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文,自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
3	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形, 感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
4	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞,注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
5	Scene5: She is so beautiful 代名詞, お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
6	Scene6: Catching a cab 前置詞, 場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
7	中間テスト（口述） Scene7: How Romantic!	中間テスト：1-6講で学んだ内容のロールプレイ発表 残り時間：形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
8	Scene8:I'm not feeling well 助動詞、体調を述べる	助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現 「旅行保険」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
9	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
10	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	接続詞の種類 誘いを断る時の口語表現 「健康食」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
11	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了形の種類と使い方 聞き直す時の口語表現 「ブロードウェイ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
12	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
13	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
14	Scene14: You're my friend、比較級と最上級	比較級と最上級の使い方 会話を切り出す時の口語表現 「結婚年齢」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
15	まとめ	口述テスト：グループに分かれ、これまで学んだ内容を使ってフリーク	期末試験に向けての準備（1時間）

テキスト

「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! - 」土屋武久　本多吉彦　Braven Smillie 著（金星堂）　ISBN:9784764740112（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　定期試験：30%　課題：30%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。

科目名	総合英語Ⅱ（スポーツ）Ｅクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12102	研究室	非常勤
担当者	大岩　裕子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(保体)､高一(保体)､養教一､中一(保健)､高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 英語Ⅱ（初級）
	◎		△	△	△	

授業概要

前期で一通り基本的な英文法を復習しました。後期は、日常的な場面をイメージしたコミュニケーションのトレーニングをします。アルバイトや買い物など身近な事柄、日本の文化や生活習慣について英語で発信してみます。前期に学習した「読む・書く」を「聞く・話す」につなげます。健康・スポーツについての最新情報を読み、ボキャブラリーの強化も狙います。

学修到達目標

基礎文法の復習、大学生として相応の英語表現と基礎知識を身につけること、実際のコミュニケーションで遭遇する場面をイメージしながら短い英語表現を使えることが目標です。

授業の進め方

テキストとプリント教材を中心に授業を進めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	Giving Directions and Helping	日本を訪れる外国人も増えました。英語でも道案内の方法を学びます。	サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)
2	Taliking about Yourself	自己紹介はコミュニケーションの基本です。英語で自分についていろいろなことを言えるようにしましょう。	サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)
3	Host Family	自宅に留学生を迎える時に使える英語表現を学びます。	サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)
4	Commuting by Train	電車の乗り換えを説明する英語表現を学びます。	サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)
5	Taking Classes	物事を描写、説明するときの英語表現を学びます。	サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)
6	Talking with a Teacher	会話において「褒め上手」になることは大切です。相手を褒める時の英語表現を学びます。	サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)
7	Finding Friends	自分の趣味や好みを相手の伝える英語表現を学びます。	サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)
8	Potluck	パーティなど人の集まる場面でのコミュニケーションに役立つ英語表現を学びます。	サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)
9	Sumo	物事を説明、描写するときの英語表現を練習します。	サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)
10	Four Seasons	季節や天気の話は、会話を始める時に便利な話題です。好きな季節について話してみましょう。	サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)
11	Green Tea	物事を描写、説明するときの英語表現を学びます。	サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)
12	Japanese Food	「和食」はユネスコの文化遺産に登録されています。日本の食文化について説明する英語表現を学びます。	サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)
13	Part-time Jobs	アルバイト先で使える英語表現を学びます。	サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)
14	Shopping at a Clothing Shop	買い物をするとき、接客するときの英語表現を学びます。	サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)
15	Asakusa	おすすめの観光地を紹介する英語表現を学びます。	サブノート用プリントを完成させ提出。(1時間)

テキスト

「Welcome to Nippon!」Akira tajino著（Asahi Press）　ISBN:978-4-255-15613-2（生協で購入してください。）　テキストの他にプリント教材を配布します。

成績評価の方法・基準

受講態度：20%　小テスト：20%　定期試験：60%
受講態度は、授業への意欲（予習・発言）、課題の提出状況とその内容、プレイスメントテストの結果などで、総合的に判断します。S:授業内容をほぼ100%理解し、意欲的に課題に取り組み優秀な成績をおさめている。A:授業内容をよく理解し、積極的に課題に取り組み目標を十分に達成している。B:授業内容をおおよそ理解し、真面目に課題に取り組み、目標を達成している。C：授業内容を60%程度理解し、目標にほぼ届いている。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

辞書は必ず用意してください。毎回の講義終了前に次回講義の概要や予習等について説明をします。必ず予習をしてから講義に臨んでください。

科目名	情報処理Ⅱ（EXCEL初級）（スポーツ）	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12203	研究室	非常勤
担当者	松澤　みわ子・駒村　明子・河西　文子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(保体)､高一(保体)､養教一､中一(保健)､高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
△	○		△	△	△	

授業概要

Microsoft Excelを用いた数値情報の加工・分析は、大学における研究分野のみならず、ビジネスシーンでも幅広く用いられています。身の回りの数値データを的確に処理し、自分に必要な情報を加工する道具としてExcelを使いこなせるようにしていきます。入力や計算式の作り方の基本から、セル参照の種類やよく使う算術・論理関数、グラフ作成、印刷などについて学びます。

学修到達目標

日本情報処理技検定協会が実施している「表計算検定2級」の資格を取得する。または、それと同等の実力を養い、Excelを用いて素早く数値データの集計・加工ができる。

授業の進め方

講義はすべてパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。資格取得のためには、作業スピードも重要な要件となるため、時間外にも繰り返し操作することで作業効率の向上を目指します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス 基本操作と計算式	授業の進め方、評価方法について Excelの基本操作および表計算検定4級について学習します。	同レベルの問題を配布するので、復習をしおく。（1時間)
2	IF関数と端数処理	表計算検定3級で必須とされる基礎的な関数や書式設定について学習します。	配布されたプリントをもう一度、最初から解答しておく。（1時間)
3	セルの参照方式	表計算検定3級で必須とされるセルの参照方式（相対参照・絶対参照）について学習します。	配布されたプリントをもう一度、最初から解答しておく。（1時間)
4	判断文（2分岐・3分岐）	表計算検定3級で必須とされる、IF関数による条件判断や順位付けの関数について学習します。	配布されたプリントをもう一度、最初から解答しておく。（1時間)
5	表計算検定3級まとめ	これまで学習してきた表計算検定3級のまとめの回です。次回2級へ進むための準備学習も行います。	3級レベルの確認課題を出すので、次回までに解答しておく。（1時間)
6	表検索とセル証明	表計算検定2級で必須とされる、Vlookup関数を用いた表検索やセル証明について学習します。	授業内にやった模擬問題を確実に解答できるよう復習しておく。（1時間)
7	グラフ作成	表計算検定2級で必須とされる、グラフ作成方法（主に円グラフ）について学習します。	授業内にやった模擬問題を確実に解答できるよう復習しておく。（1時間)
8	論理演算子を使った判定	表計算検定2級で必須とされる、AND関数、OR関数を理解し、IF関数と組み合わせた処理について学習します。	授業内にやった模擬問題を確実に解答できるよう復習しておく。（1時間)
9	論理演算・平均との比較	平均との比較を含む複雑な論理演算しを使った判定について学習します。	授業内にやった模擬問題を確実に解答できるよう復習しておく。（1時間)
10	評価の解き方のまとめ	表計算検定2級で出題される複雑な多重分岐の解き方に関するまとめの学習を行います。	模擬問題を時間を計りながら次回までに練習しておく。（1時間)
11	表計算2級検定試験対策	問題集や過去問題を使って規定時間内に解答できるようトレーニングします。	課題が出ますので、時間を計りながら次回までに練習しておく。（1時間)
12	表計算2級検定試験対策	問題集や過去問題を使って規定時間内に解答できるようトレーニングします。	課題が出ますので、時間を計りながら次回までに練習しておく。（1時間)
13	表計算2級検定試験対策	問題集や過去問題を使って規定時間内に解答できるようトレーニングします。	課題が出ますので、時間を計りながら次回までに練習しておく。（1時間)
14	表計算2級検定試験対策	自分の弱点抽出を行い、その部分を解答できるようトレーニングします。	問題を時間を計りながら次回までに練習しておく。（1時間)
15	表計算2級検定試験対策	自分の弱点抽出を行い、その部分を解答できるようトレーニングします。	問題を時間を計りながら次回までに練習しておく。（1時間)

テキスト

「情報処理技能検定模擬問題集・表計算2級」日本情報処理技能検定協会編（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

課題：20%　定期試験：80%
定期試験は表計算検定2級レベルの内容となります。
A:課題の提出と定期試験または表計算検定において80%程度の技能が認められる
B:課題の提出と定期試験または表計算検定において70%程度の技能が認められる
C:課題の提出と定期試験または表計算検定において60%程度の技能が認められる

参考書

「情報処理技能検定試験・表計算検定対策問題集（過去問題集）」日本情報処理技能検定協会編

履修上の注意（学生へのメッセージ）

収集した数値データや膨大な情報をいかに正確に効率よく取り扱えるかで、今後の問題解決のスピードが大きく変わります。ぜひともExcel操作に精通して欲しいと思います。

科目名	情報処理Ⅳ（パワーポイント）	学年学期	2年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL22205	研究室	非常勤
担当者	松澤　みわ子・駒村　明子・河西　文子	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	中一(保体)、高一(保体)、養教一、栄教一、中一(保健)、高一(保健)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	2017年度～
	◎		△	△	△	

授業概要

Microsoft PowerPointによるプレゼンテーションは、研究発表や教育現場、ビジネスシーンなどで幅広く用いられています。本講義ではプレゼンテーションというコミュニケーション手段の特色をよく理解し、企画立案の段階から訴求力の高い視覚資料の作成方法、内容が伝わる発表技法など、プレゼンテーション全般を扱います。

学修到達目標

効果的なプレゼンテーションのために一連の作業（企画立案～視覚資料の作成～発表まで）ができる。また、PowerPointの操作技能としては、デザインに重点を置き、視覚効果を多様した資料作成能力（プレゼンテーション作成検定2級レベル）を修得している。

授業の進め方

講義は主にパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。
授業内にプレゼン・スキルのトレーニングをかねて、一人ひとりプレゼンテーション（個人課題）実施の機会を設けます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス	授業の進め方、評価方法についての説明 PowerPointの基本的な機能を使用して、プレゼンテーション資料の作成方法を確認します（プレゼンテーション作成検定4級）。	シラバスの内容を事前に確認 事後は同様の問題で復習を行う。（1時間）
2	プレゼンの企画立案	プレゼンの企画段階において重要なことや、ストーリー構成の組み立て方、情報収集の手法について学習します。	授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン実施に向けた準備作業を進めておく。（1時間）
3	レイアウト・デザイン	視覚資料のデザイン決定においてて重要なことや、テーマの活用方法を学習します。	授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン実施に向けた準備作業を進めておく。（1時間）
4	視覚に訴えるチャート化	目に見えない概念や考え方、手順などを説明する際にチャートを活用する方法について学習します。	授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン実施に向けた準備作業を進めておく。（1時間）
5	訴求力を上げるカラー化	カラーの基礎知識や配色の基本テクニック、カラー化によってプレゼン資料の訴求力を上げるためのポイントを学習します。	授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン実施に向けた準備作業を進めるておく。（1時間）
6	数値のビジュアル化とイメージ伝達	数値を目的に合わせてビジュアル表現するため、表やグラフの活用方法や具体的なイメージを伝える手段について学習します。	授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン実施に向けた準備作業を進めておく。（1時間）
7	効果的なアニメーション	アニメーション効果、画面切り替えなど特殊効果の活用方法と、事前に行っておくべきさまざまな準備作業について学習します。	授業で学んだ内容を参考に、自分のプレゼン実施に向けた準備作業を進めておく。（1時間）
8	発表スキルと質疑応答	内容を効果的に相手に伝えるための様々なテクニックや、質疑応答の進め方について学習します。	次回のプレゼン本番に備え、視覚資料を完成させ、所定のフォルダに提出する。（2時間）
9	プレゼン準備とリハーサル	これまで学んだ内容を実際に使って個人毎のプレゼン実施の準備とリハーサルを行います。	次回のプレゼン本番に備え、視覚資料を完成させ、所定のフォルダに提出する。（2時間）
10	プレゼン発表	大切な個人ごとのプレゼン発表の回です。発表者はこれまでのプレゼンスキルの成果発表を行い、その他の人は質疑応答の場面で質問者となってもらいます。	事前にリハーサルを済ませ、必要に応じて発表者用ノートを準備しておく。（2時間）
11	プレゼン発表、またはプレゼン振り返り	履修者の人数にもよりますが、プレゼン発表の続き、または前回のプレゼン成果発表の振り返りを行います。	事前にリハーサルを済ませ、必要に応じて発表者用ノートを準備しておく。（2時間）
12	プレゼン検定対策（3級）	プレゼンテーション作成検定3級の模擬問題を解きながら、基本的なスライド作成手順やPowerPointの操作方法を復習します。	練習問題を配布するので、次回までに復習しておく。（1時間）
13	プレゼン検定対策（2級）①	プレゼンテーション作成検定2級の模擬問題を解きながら、デザインに重点を置いた、グラフ、アニメーションなどの視覚効果を多用した資料作成の技術を高めます。	練習問題を配布するので、次回までに復習しておく。（1時間）
14	プレゼン検定対策（2級）②	プレゼンテーション作成検定2級の模擬問題を解きながら、デザインに重点を置いた、グラフ、アニメーションなどの視覚効果を多用した資料作成の技術を高めます。	練習問題を配布するので、次回までに復習しておく。（1時間）
15	プレゼン検定対策（2級）③	プレゼンテーション作成検定2級の模擬問題を解きながら、デザインに重点を置いた、グラフ、アニメーションなどの視覚効果を多用した資料作成の技術を高めます。	練習問題を配布するので、次回までに復習しておく。（1時間）

テキスト

「情報利活用 プレゼンテーション PowerPoint 2013/2010対応」山崎　紅著（日経BP社）　ISBN:978-4-82229-702-2（生協で購入してください。）　教科書は全員が購入してください。

成績評価の方法・基準

課題：50%　定期試験：50%
定期試験はプレゼンテーション作成検定2級レベルの内容となります
A:課題の提出・発表と定期試験において80%程度の技能が認められる
B:課題の提出・発表と定期試験において70%程度の技能が認められる
C:課題の提出・発表と定期試験において60%程度の技能が認められる

参考書

「プレゼンテーション検定模擬問題集2級」（日本情報処理技能検定協会）
検定受験を予定している方は購入をしてください。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

プレゼンテーションとPowerPointのに精通することで、円滑なコミュニケーション能力の向上も期待できます。他の授業においても、積極的にプレゼン発表の機会を得るように心がけてください。

科目名	総合英語Ⅰ（栄養）Ａクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12101	研究室	非常勤
担当者	勝山　庸子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	栄教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 英語Ⅰ（基礎）
	◎		△	△	△	

授業概要

実際に使える英語を修得し活用できるようになるために、基本文法を復習します。単に文法を暗記するのではなく、耳と口を使って英語を吸収し、会話を楽しみながら学習します。アウトプットを繰り返し行うことで、重要語彙や文法パターンを自然な形で身に付け、TOEICでもハイスコアを目指せるような土台を築きます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。
基礎文法を使って海外で日常生活ができる程度のスピーキング力を修得している。

授業の進め方

アウトプット中心の体験型学習を通して基礎的な会話を復習します。課題もアウトプットが主になります。Eラーニングを採用し、授業中の問題解答や宿題管理を行います。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス（原則20名以下）で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス 英語習得のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、進め方について説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。Eラーニングツール「チェックリンク（CL）」を登録。	ゴールの設定、自己学習計画を立てロードマップへ記入する。（1時間）
2	現在形（Be動詞） First Day of Class	現在形（Be動詞）am, are, beの違い、否定文、疑問文、命令文 学校での会話とリスニング 自己紹介の仕方	P14 A, P16 C（CL） 会話練習、単語、自分の自己紹介を書いてくる（1時間）
3	一般動詞の現在形 I Love Bread!	一般動詞現在形の否定文、疑問文、命令文 パン屋での会話とリスニング グループで自己紹介	P20 A, P22 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
4	可算名詞と不可算名詞 Pizza Time	可算名詞、不可算名詞の違い ピザ注文の会話とリスニング メニューの読み方	P26 A, P28 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
5	代名詞 Not Just a Baker	代名詞（主格、所有格、目的格、所有代名詞） アルバイトに関する会話とリスニング 好きなバンドを紹介しよう	P32 A、P34 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
6	一般動詞の過去形 What's wrong with Hitomi?	一般動詞（過去形）の変化、否定文・疑問文 病院での会話とリスニング 1日の予定を言ってみよう	P38 A,　P40　C（CL） 会話練習、単語（1時間）
7	中間テスト	中間テスト：2-6講で学んだダイアログを基にした自由会話の口述テスト 残り時間：進行形	P44 A, P46 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
8	前置詞 I Feel Healthy Already!	時と場所を表す様々な前置詞 食料品店での会話とリスニング 学校と授業について紹介してみよう	P50 A, P52 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
9	未来形 Small Talk	未来を表す表現（will, be going to） 道案内の会話とリスニング 週末の予定を言ってみよう	P56 A, P58 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
10	現在完了形 Weight Down, Power Up!	現在完了形（経験、継続、完了） ジムでの会話とリスニング To-Do-Listを書いてみよう	P62 A, P64 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
11	比較級と最上級 It's Nice…And	比較級・最上級 自転車店での会話とリスニング 比較級で文章を作ってみよう	P68A, P70 C　(CL) 会話練習、単語（1時間）
12	接続詞 Hitomi Wants a New Look	様々な接続詞(and, or, but, so) 美容室での会話とリスニング 接続詞を使って自分について書いてみよう	P74 A, P76 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
13	動名詞と不定詞 Shopping for Clothes	動名詞と不定詞の意味 ショッピングでの会話とリスニング 自分の好き嫌いについて書いてみよう	P80 A, P82 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
14	疑問詞 I'm Meeting a Friend	疑問詞の種類（5W1H） ルームメイトとの会話とリスニング 最近行ったレストランを紹介してみよう	P86 A, P88 C（CL） 会話練習、単語（1時間）
15	助動詞 Date Night	様々な助動詞(can, should, must, have to, might) 回転寿司店での会話とリスニング 学校の規則について書いてみよう	P92 A, P94 C（CL） 会話練習、単語（1時間）

テキスト

「English Aid」Robert Hickling / Misato Usukura 著（金星堂）
ISBN:9784764740365（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　定期試験：30%　課題：30%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットでダウンロードした音声を活用した課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達には、積極性と地道な努力が不可欠。英語を話す自分をイメージし、会話を楽しみながら受講してください。

科目名	総合英語Ⅰ（栄養）Bクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12101	研究室	非常勤
担当者	佐々木　智美	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	栄教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 英語Ⅰ（基礎）
	◎		△	△	△	

授業概要

実際に使える英語を修得し活用できるようになるために、基本文法を復習します。単に文法を暗記するのではなく、耳と口を使って英語を吸収し、会話を楽しみながら学習します。アウトプットを繰り返し行うことで、重要語彙や文法パターンを自然な形で身に付け、TOEICでもハイスコアを目指せるような土台を築きます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。
基礎文法を使って海外で日常生活ができる程度のスピーキング力をつける。

授業の進め方

アウトプット中心の体験型学習を通して基礎的な会話を復習します。課題もアウトプットが主になります。Eラーニングを採用し、授業中の問題解答や宿題管理を行います。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス（原則20名以下）で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス 英語習得のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、進め方について説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。Eラーニングツール「チェックリンク（CL）」を登録。	ゴールの設定、自己学習計画を立てロードマップへ記入する。 （1時間）
2	現在形（Be動詞） First Day of Class	現在形（Be動詞）am, are, beの違い、否定文、疑問文、命令文 学校での会話とリスニング 自己紹介の仕方	P14 A, P16 C (CL) 会話練習、単語、自分の自己紹介を書いてくる（1時間）
3	一般動詞の現在形 I Love Bread!	一般動詞現在形の否定文、疑問文、命令文 パン屋での会話とリスニング グループで自己紹介	P20 A, P22 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
4	可算名詞と不可算名詞 Pizza Time	可算名詞、不可算名詞の違い ピザ注文の会話とリスニング メニューの読み方	P26 A, P28 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
5	代名詞 Not Just a Baker	代名詞（主格、所有格、目的格、所有代名詞） アルバイトに関する会話とリスニング 好きなバンドを紹介しよう	P32 A, P34 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
6	一般動詞の過去形 What's wrong with Hitomi?	一般動詞（過去形）の変化、否定文・疑問文 病院での会話とリスニング 1日の予定を言ってみよう	P38 A,　P40　C (CL) 会話練習、単語（1時間）
7	中間テスト	中間テスト：2-6講で学んだダイアログを基にした自由会話の口述テスト 残り時間：進行形	P44 A, P46 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
8	前置詞 I Feel Healthy Already!	時と場所を表す様々な前置詞 食料品店での会話とリスニング 学校と授業について紹介してみよう	P50 A, P52 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
9	未来形 Small Talk	未来を表す表現（will, be going to） 道案内の会話とリスニング 週末の予定を言ってみよう	P56 A, P58 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
10	現在完了形 Weight Down, Power Up!	現在完了形（経験、継続、完了） ジムでの会話とリスニング To-Do-Listを書いてみよう	P62 A, P64 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
11	比較級と最上級 It's Nice…And	比較級・最上級 自転車店での会話とリスニング 比較級で文章を作ってみよう	P68A, P70 C　(CL) 会話練習、単語（1時間）
12	接続詞 Hitomi Wants a New Look	様々な接続詞(and, or, but, so) 美容室での会話とリスニング 接続詞を使って自分について書いてみよう	P74 A, P76 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
13	動名詞と不定詞 Shopping for Clothes	動名詞と不定詞の意味 ショッピングでの会話とリスニング 自分の好き嫌いについて書いてみよう	P80 A, P82 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
14	疑問詞 I'm Meeting a Friend	疑問詞の種類（5W1H） ルームメイトとの会話とリスニング 最近行ったレストランを紹介してみよう	P86 A, P88 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
15	助動詞 Date Night	様々な助動詞(can, should, must, have to, might) 回転寿司店での会話とリスニング 学校の規則について書いてみよう	P92 A, P94 C (CL) 会話練習、単語（1時間）

テキスト

「English Aid」Robert Hickling / Misato Usukura 著（金星堂）
ISBN:9784764740365（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　定期試験：30%　課題：30%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットでダウンロードした音声を活用した課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達には、積極性と地道な努力が不可欠。英語を話す自分をイメージし、会話を楽しみながら受講してください。

科目名	総合英語Ⅰ（栄養）Cクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12101	研究室	非常勤
担当者	櫻井　智子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	栄教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 英語Ⅰ（基礎）
	◎		△	△	△	

授業概要

実際に使える英語を修得し活用できるようになるために、基本文法を復習します。単に文法を暗記するのではなく、耳と口を使って英語を吸収し、会話を楽しみながら学習します。アウトプットを繰り返し行うことで、重要語彙や文法パターンを自然な形で身に付け、TOEICでもハイスコアを目指せるような土台を築きます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが話す自然なスピードの英語を聞きとることができる。
基礎文法を使って海外で日常生活ができる程度のスピーキング力を修得している。

授業の進め方

アウトプット中心の体験型学習を通して基礎的な会話を復習します。課題もアウトプットが主になります。Eラーニングを採用し、授業中の問題解答や宿題管理を行います。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス（原則20名以下）で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス 英語習得のための意識改革と学習方法	授業の概要と目標、進め方について説明。英語に対する苦手意識や心のバリアを取り払い、授業に積極的に取り組む準備をします。Eラーニングツール「チェックリンク（CL）」を登録。	ゴールの設定、自己学習計画を立てロードマップへ記入する。 （1時間）
2	現在形（Be動詞） First Day of Class	現在形（Be動詞）am, are, beの違い、否定文、疑問文、命令文 学校での会話とリスニング 自己紹介の仕方	P14 A, P16 C (CL) 会話練習、単語、自分の自己紹介を書いてくる（1時間）
3	一般動詞の現在形 I Love Bread!	一般動詞現在形の否定文、疑問文、命令文 パン屋での会話とリスニング グループで自己紹介	P20 A, P22 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
4	可算名詞と不可算名詞 Pizza Time	可算名詞、不可算名詞の違い ピザ注文の会話とリスニング メニューの読み方	P26 A, P28 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
5	代名詞 Not Just a Baker	代名詞（主格、所有格、目的格、所有代名詞） アルバイトに関する会話とリスニング 好きなバンドを紹介しよう	P32 A, P34 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
6	一般動詞の過去形 What's wrong with Hitomi?	一般動詞（過去形）の変化、否定文・疑問文 病院での会話とリスニング 1日の予定を言ってみよう	P38 A,　P40　C (CL) 会話練習、単語（1時間）
7	中間テスト	中間テスト：2-6講で学んだダイアログを基にした自由会話の口述テスト 残り時間：進行形	P44 A, P46 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
8	前置詞 I Feel Healthy Already!	時と場所を表す様々な前置詞 食料品店での会話とリスニング 学校と授業について紹介してみよう	P50 A, P52 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
9	未来形 Small Talk	未来を表す表現（will, be going to） 道案内の会話とリスニング 週末の予定を言ってみよう	P56 A, P58 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
10	現在完了形 Weight Down, Power Up!	現在完了形（経験、継続、完了） ジムでの会話とリスニング To-Do-Listを書いてみよう	P62 A, P64 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
11	比較級と最上級 It's Nice…And	比較級・最上級 自転車店での会話とリスニング 比較級で文章を作ってみよう	P68A, P70 C　(CL) 会話練習、単語（1時間）
12	接続詞 Hitomi Wants a New Look	様々な接続詞(and, or, but, so) 美容室での会話とリスニング 接続詞を使って自分について書いてみよう	P74 A, P76 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
13	動名詞と不定詞 Shopping for Clothes	動名詞と不定詞の意味 ショッピングでの会話とリスニング 自分の好き嫌いについて書いてみよう	P80 A, P82 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
14	疑問詞 I'm Meeting a Friend	疑問詞の種類（5W1H） ルームメイトとの会話とリスニング 最近行ったレストランを紹介してみよう	P86 A, P88 C (CL) 会話練習、単語（1時間）
15	助動詞 Date Night	様々な助動詞(can, should, must, have to, might) 回転寿司店での会話とリスニング 学校の規則について書いてみよう	P92 A, P94 C (CL) 会話練習、単語（1時間）

テキスト

「English Aid」Robert Hickling / Misato Usukura 著（金星堂）
ISBN:9784764740365（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　定期試験：30%　課題：30%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットでダウンロードした音声を活用した課題が出ます。PC、スマートフォンのいずれかが必要です。英語上達には、積極性と地道な努力が不可欠。英語を話す自分をイメージし、会話を楽しみながら受講してください。

科目名	総合英語Ⅱ（栄養）Aクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12102	研究室	非常勤
担当者	勝山　庸子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	栄教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 英語Ⅱ（初級）
	◎		△	△	△	

授業概要

総合英語Ⅰを受講した学生が基礎文法を応用し、TOEICレベルの英語を聞く・読む力を養うクラスです。総合英語Ⅰに続きリスニング、スピーキングを中心に学習します。これまでの学習スタイルに加えネイティブが話す英語にある音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また100字から150字のリーディング問題を難なくとけるよう、サイトトランスレーションの技術を学びます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが話す自然な英語を聞きとり、復唱ができる。
基礎文法に加え、語彙やイディオムを増やし、より自由に英語で自己表現ができる。
簡単な新聞記事なども推測しながら内容把握ができる。

授業の進め方

リスニングにディクテーションを加え、読み書きの力もつけていきます。事前課題は音読などを行い、授業で発表することで課題点が与えられます。映像から話を理解し、同じような場面設定で発話ができるよう練習します。100語程度の長文読解も取り入れます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞,挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明。 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
2	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文,自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
3	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形, 感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
4	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞,注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
5	Scene5: She is so beautiful 代名詞, お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
6	Scene6: Catching a cab 前置詞, 場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
7	中間テスト（口述） Scene7: How Romantic!	中間テスト：1-6講で学んだ内容のロールプレイ発表 残り時間：形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
8	Scene8:I'm not feeling well 助動詞、体調を述べる	助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現 「旅行保険」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
9	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
10	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	接続詞の種類 誘いを断る時の口語表現 「健康食」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
11	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了形の種類と使い方 聞き直す時の口語表現 「ブロードウェイ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
12	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
13	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
14	Scene14: You're my friend、比較級と最上級	比較級と最上級の使い方 会話を切り出す時の口語表現 「結婚年齢」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
15	まとめ	口述テスト：グループに分かれ、これまで学んだ内容を使ってフリートーク	期末試験に向けての準備（1時間）

テキスト

「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! - 」土屋武久　本多吉彦　Braven Smillie 著（金星堂）　ISBN:9784764740112（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　定期試験：30%　課題：30%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。

科目名	総合英語Ⅱ（栄養）Bクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12102	研究室	非常勤
担当者	佐々木　智美	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	栄教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 英語Ⅱ（初級）
	◎		△	△	△	

授業概要

総合英語Ⅰを受講した学生が基礎文法を応用し、TOEICレベルの英語を聞く・読む力を養うクラスです。総合英語Ⅰに続きリスニング、スピーキングを中心に学習します。これまでの学習スタイルに加えネイティブが話す英語にある音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また100字から150字のリーディング問題を難なくとけるよう、サイトトランスレーションの技術を学びます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが話す自然な英語を聞きとり、復唱ができる。
基礎文法に加え、語彙やイディオムを増やし、より自由に英語で自己表現ができる。
簡単な新聞記事なども推測しながら内容把握ができる。

授業の進め方

リスニングにディクテーションを加え、読み書きの力もつけていきます。事前課題は音読などを行い、授業で発表することで課題点が与えられます。映像から話を理解し、同じような場面設定で発話ができるよう練習します。100語程度の長文読解も取り入れます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞,挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明。 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
2	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文,自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
3	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形, 感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
4	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞,注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
5	Scene5: She is so beautiful 代名詞, お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
6	Scene6: Catching a cab 前置詞, 場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
7	中間テスト（口述） Scene7: How Romantic!	中間テスト：1-6講で学んだ内容のロールプレイ発表 残り時間：形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
8	Scene8:I'm not feeling well 助動詞、体調を述べる	助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現 「旅行保険」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
9	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
10	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	接続詞の種類 誘いを断る時の口語表現 「健康食」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
11	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了形の種類と使い方 聞き直す時の口語表現 「ブロードウェイ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
12	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
13	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
14	Scene14: You're my friend、比較級と最上級	比較級と最上級の使い方 会話を切り出す時の口語表現 「結婚年齢」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
15	まとめ	口述テスト：グループに分かれ、これまで学んだ内容を使ってフリートーク	期末試験に向けての準備（1時間）

テキスト

「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! - 」土屋武久　本多吉彦　Braven Smillie 著（金星堂）　ISBN:9784764740112（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　定期試験：30%　課題：30%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。

科目名	総合英語Ⅱ（栄養）Cクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12102	研究室	非常勤
担当者	櫻井　智子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	栄教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	～2016年度 英語Ⅱ（初級）
	◎		△	△	△	

授業概要

総合英語Ⅰを受講した学生が基礎文法を応用し、TOEICレベルの英語を聞く・読む力を養うクラスです。総合英語Ⅰに続きリスニング、スピーキングを中心に学習します。これまでの学習スタイルに加えネイティブが話す英語にある音の変化を学び、聞き取れるよう取り組みます。また100字から150字のリーディング問題を難なくとけるよう、サイトトランスレーションの技術を学びます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが話す自然な英語を聞きとり、復唱ができる。
基礎文法に加え、語彙やイディオムを増やし、より自由に英語で自己表現ができる。
簡単な新聞記事なども推測しながら内容把握ができる。

授業の進め方

リスニングにディクテーションを加え、読み書きの力もつけていきます。事前課題は音読などを行い、授業で発表することで課題点が与えられます。映像から話を理解し、同じような場面設定で発話ができるよう練習します。100語程度の長文読解も取り入れます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	Scene1: It's so nice to meet you! be動詞と一般動詞,挨拶をする	授業の概要と目標、授業の進め方を説明。 be動詞と一般動詞の性質や使い方の確認 「握手」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
2	Scene2: Is he a popular professor?疑問文と否定文, 自己紹介をする	疑問文と否定文の特徴 自己紹介する際の口語表現 「クラブ活動」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
3	Scene3: He showed me "a" way 現在形と過去形, 感想を言う	現在形と過去形の使い方 自分の感想や感情を表す口語表現 「ホームステイ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
4	Scene4: For here or to go?可算名詞と不可算名詞, 注文をする	可算名詞と不可算名詞の違いと使い方 注文をする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
5	Scene5: She is so beautiful 代名詞, お願いをする	代名詞の確認 お願いをする時の口語表現 「キャンパスライフ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
6	Scene6: Catching a cab 前置詞, 場所を説明する	前置詞の性質と使い方 場所を説明する時の口語表現 「チップ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
7	中間テスト（口述） Scene7: How Romantic!	中間テスト：1-6講で学んだ内容のロールプレイ発表 残り時間：形容詞と副詞の違いと使い方 人を描写する際の口語表現	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
8	Scene8:I'm not feeling well 助動詞、体調を述べる	助動詞の種類と使い方 体調を表現するときの口語表現 「旅行保険」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
9	Scene9: Tickets for a Yankees Game 進行形、誘う	進行形の使い方 行動を誘う時の口語表現 「大学スポーツ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
10	Scene10: What's on the shopping list?接続詞、誘いを断る	接続詞の種類 誘いを断る時の口語表現 「健康食」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
11	Scene11: MoMA is fun! 現在完了形、聞き直す	現在完了形の種類と使い方 聞き直す時の口語表現 「ブロードウェイ」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
12	Scene12: The "Fourth of July" is coming up 未来形、予定を尋ねる	未来形の種類と使い方 予定を尋ねる時の口語表現 「独立記念日」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
13	Scene13: Who is that guy?!不定詞と動名詞、提案する	不定詞と動名詞の性質と使い方 提案する時の口語表現 「カレッジタウン」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
14	Scene14: You're my friend、比較級と最上級	比較級と最上級の使い方 会話を切り出す時の口語表現 「結婚年齢」についての長文	単語リストを覚える、Let's Watchパートのロール別シャドーイング、音読筆写（1時間）
15	まとめ	口述テスト：グループに分かれ、これまで学んだ内容を使ってフリーク	期末試験に向けての準備（1時間）

テキスト

「映像で学ぶ はじめてのNYホームステイ - Hello New York! - 」土屋武久　本多吉彦　Braven Smillie 著（金星堂）　ISBN:9784764740112（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　定期試験：30%　課題：30%　小テスト：30%
S:授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A:授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。B:授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C:授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

インターネットでダウンロードした音声や映像を使った課題が出ます。PC、スマホのいずれかが必要です。英語上達は積極的な参加姿勢と地道な努力が不可欠です。楽しみながら受講して下さい。

科目名	生涯スポーツⅠ（集団的スポーツ）齊藤クラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13104	研究室	S-20
担当者	齊藤　茂	必修選択	必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日2限		
関連資格	栄教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	2017年度～
	◎		△	△	△	

授業概要

本講義では、バスケットボールを中心とした集団で行うスポーツを通して、身体活動の面白さを体験し、生涯にわたってスポーツを楽しむことができるような下地をつくります。具体的には、バスケットボール等の基本スキルを習得した上で、チームの仲間と協力してゲーム自体を楽しみ、高い運動量を確保します。

学修到達目標

生涯を通じてスポーツを楽しむ習慣を身に付けることを目標とします。また、チームになってゲームを行うため、チーム内でコミュニケーションをとりながら競技を行うことも目標です。

授業の進め方

講義の前半はグループ単位で技術練習を行ない、後半はゲーム形式の講義が中心となります。ゲームを通じての実践的な技術向上を目指し、早い段階からゲームを行っていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業参加に際しての注意事項、授業の進め方等について説明を行う。	シラバスを熟読し、講義内容について理解する。（1時間）
2	ボールハンドリング練習	バスケットボールに慣れるために、ハンドリングを学習します。授業の後半では、ゲーム形式の練習の中で学んだことを確認します。	実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）
3	シュート練習	バスケットボールの基本スキルであるシュートを学習します。授業の後半では、ゲーム形式の練習の中で学んだことを確認します。	実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）
4	パス練習	バスケットボールの基本スキルであるパスを学習します。授業の後半では、ゲーム形式の練習の中で学んだことを確認します。	実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）
5	ドリブル練習	バスケットボールの基本スキルであるドリブルを学習します。授業の後半では、ゲーム形式の練習の中で学んだことを確認します。	実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）
6	ピボット、ドリブルターンの練習	バスケットボールの基本動作であるピボット、ドリブルターンを学習します。授業の後半では、ゲーム形式の練習の中で学んだことを確認します。	実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）
7	ディフェンス練習	バスケットボールのディフェンスの仕方を学習します。授業の後半では、ゲーム形式の練習の中で学んだことを確認します。	実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）。
8	1対1、2対2の練習	バスケットボールの1対1、2対2のオフェンス・ディフェンスの仕方を学習します。授業の後半では、ゲーム形式の練習の中で学んだことを確認します。	実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）
9	総合練習(1)	バスケットボールの1対1のディフェンスを班ごとに練習した後、ゲームで応用することを学習します。授業の後半では、ゲーム形式の練習の中で学んだことを確認します。	実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）
10	総合練習(2)	バスケットボールの2対1のディフェンスを班ごとに練習した後、ゲームで応用することを学習します。	実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）
11	総合練習(3)	バスケットボールの1対1のオフェンスを班ごとに練習した後、ゲームで応用することを学習します。	実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）
12	総合練習(4)	バスケットボールの2対1のオフェンスを班ごとに練習した後、ゲームで応用することを学習します。	実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）
13	総合練習(5)	バスケットボールのセットプレイを班ごとに練習した後、ゲームで応用することを学習します。	実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）
14	総合練習(6)	バスケットボールの応用スキルとして実践ゲームを班ごとに練習した後、ゲームで応用することを学習します。	実技の不十分なところについて自主練習等を行う。（1時間）
15	総合練習(7)	これまで学んだことを生かして、まとめのゲームを行います。	課題レポートの作成を行う。（2時間）

テキスト

必要に応じてプリントを配布します。

成績評価の方法・基準

レポート：20%　受講態度：80%
S：強い向上心をもって積極的に授業に参加をし、授業内でリーダーシップを発揮した。A：強い向上心をもって積極的に授業に参加をした。B：向上心を持って授業に参加をした。C：おおよそ積極的に授業に参加をした。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

運動するために適した服装（スポーツウェアやシューズ等）を各自で用意してください。また、生涯を通じてスポーツを楽しむ習慣を身に付けることを目標としていますので、積極的な姿勢で授業に参加してください。

科目名	生涯スポーツⅠ（集団的スポーツ）寺平クラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13104	研究室	非常勤
担当者	寺平　美樹	必修選択	必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	栄教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	2017年度～
	◎		△	△	△	

授業概要

本講義は、有酸素運動であるエアロビクスダンスと、格闘技系の動きを体験します。これらの体験を通して、正しい姿勢で身体を動かすことにより、負担を軽減し効果ある運動が可能であることを知ると共に、楽しく身体を動かせ、身体を動かすことで爽快な気分になることを味わってもらうことを目的とします。また、専門の講師による世界のいろいろなジャンルの音楽に合わせて踊る「ズンバ」を取り入れていきます。

学修到達目標

運動を行うために必要なストレッチングを行うことができる。
柔軟性を高め、充分な体力をつけることを目的とします。

授業の進め方

音楽に合わせて、基本動作に強度変換要素を加え、スムーズに身体を動かしていきます。特殊な形のウェーブストレッチリングを使い、身体のほぐし、引き伸ばし、ボディリメイクの効果を体験します。履修者数に伴い、講義計画が変更になる場合があります。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業時の注意点、講義への向き合い方、進め方の説明を行います。真剣に授業に向き合うための準備をします。	シラバスの確認をし、次週に向け心構えを持つ（1時間）。
2	ウォーミングアップの重要性	普段行っているストレッチが自己流になっていないか、正しいストレッチの方法を習得します。フラフープ、三角コーンを使って身体遊びをします。	準備運動はなぜ大切なのか調べてくる（1時間）。
3	レクリエーション、体力レベルを知ろう	自己の体力レベルを知り、向き合って今後につなげます。ペアで、グループで、身体遊びをし、個人の体力レベルを知り、体力別に運動強度を考えてみます。	基礎体力がつく運動にはどのようなものがあるのか調べてくる（1時間）。
4	ウェーブストレッチ	ウェーブストレッチリングを使い、かたくなっている身体をほぐしていきます。柔軟性を向上させます。	授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。
5	エアロビクスダンス実践①基本動作の習得、ズンバウェーブストレッチ	エアロビダンス、ズンバの楽しさを体感します。	授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。
6	エアロビクスダンス実践②基本動作の習得、ズンバウェーブストレッチ	エアロビダンス、ズンバの楽しさを体感します。	授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。
7	エアロビクスダンス実践③レイヤリングを楽しもうズンバウェーブストレッチ	エアロビクスダンス、ズンバの動きに慣れ、可動域を広げます。	授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。
8	エアロビクスダンス実践④レイヤリングを楽しもうズンバウェーブストレッチ	エアロビクスダンス、ズンバの動きに慣れ、可動域を広げます。	授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。
9	エアロビクスダンス 、ズンバまとめ	音楽の速度を変える等、難易度や強度の高い構成にチャレンジします。	実践①～④で動いてきたことを復習し、高度な構成につなげるよう準備する（1時間）。
10	格闘技系エクササイズ実践①ズンバ、ウェーブストレッ	ジャブ、ストレート等、ボクシングの基本動作を正しく行い、習得します。身体の動きを良くするため、ズンバを入れます。	授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。
11	格闘技系エクササイズ実践②ズンバ、ウェーブストレッ	ガード、キック等、ボクシングの基本動作を習得し、音楽に合わせて動きます。身体の動きを良くするため、ズンバを入れます。	授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。
12	格闘技系エクササイズ 実践③ズンバ、ウェーブストッチ	空手の基本の型を習得し、キレ良く、格好良く動きます。身体の動きを良くするため、ズンバを入れます。	授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。
13	格闘技系エクササイズ 実践④ズンバ、ウェーブストレッ	空手の蹴り動作を習得し、音楽に合わせて動きます。身体の動きを良くするため、ズンバを入れます。	授業で行ったストレッチを復習する（1時間）。
14	格闘技系エクササイズ、ズンバ まとめ	ボクシング、空手の動作を音楽に合わせ、8×8の構成で動いてみます。高度な動きにチャレンジします。身体の動きを良くするため、ズンバを入れます。	実践①～④で動いてきたことを復習し、高度な構成につなげるよう準備する（1時間）。
15	まとめ	エアロビクスダンスか、格闘技系エクササイズの動きを取り入れ、プログラムを構成し、音楽に合わせて動きます。身体の動きを良くするため、ズンバを入れます。	選択した動きに必要なストレッチを復習し、プログラムについて準備する（1時間）。

テキスト

なし

成績評価の方法・基準

受講態度：100%
理由のない遅刻、私語、授業の向き合い方等で総合的に判断します。
S：遅刻・早退・欠席がなく、私語を慎み前向きに受講する。A：遅刻・早退・がなく、欠席が1回のみで、私語をを慎み前向きに受講する。B：遅刻・早退・がなく、欠席が2回以内で、私語をを慎み前向きに受講する。C：遅刻・早退・がなく、欠席が3回以内で、私語をを慎み前向きに受講する。

参考書

必要に応じて紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

スポーツウェア(上･下)、スポーツシューズは必ず着用してください。エアロビクスダンスに使えそうな動きを事前に考えてみましょう。

科目名	生涯スポーツⅡ（個人的スポーツ）新井クラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13105	研究室	S-18
担当者	新井　喜代加	必修選択	必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日5限		
関連資格	栄教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	2017年度～
	◎		△	△	△	

授業概要

本授業では、バドミントンを通じてスポーツに親しむ資質を身につけることを目的とします。スポーツに親しむには、なによりスポーツの楽しさを体験することが重要であると考えられます。本授業では、ペア・チームごとに「楽しい」という気持ち、感覚、雰囲気、表情等と向き合いながら、「楽しいバドミントン」を探求します。

学修到達目標

(1)バドミントンの基本的技術を習得し、ゲームに活かすことができる
(2)ペア・チームで協力して、ゲームを展開することができる
(3)楽しくゲームを進行するために工夫することができる

授業の進め方

基本的に本授業は、ペア・チーム単位で「課題の設定→課題解決のための練習方法の決定と実施→ミニゲームの実施→ミニゲームの振返り→課題の見直しと再設定」というサイクルで進めていきます。（アクティブラーニングの実施）

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業のねらい、授業内容、評価方法、留意事項等について解説し、チーム分けをします	事前：シラバスを読む／事後：バドミントンのルールを確認する（1時間）
2	攻守の基本的技術の習得1	グループごとにストロークの技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：ストロークについて調べる／事後：ストロークをする際の注意点を復習する（1時間）
3	攻守の基本的技術の習得2	グループごとにサービスの技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：サービスについて調べる／事後：サービスをする際の注意点を復習する（1時間）
4	攻守の基本的技術の習得3	グループごとにショット（スマッシュ）の技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：スマッシュについて調べる／事後：スマッシュをする際の注意点を復習する（1時間）
5	攻守の基本的技術の習得4	グループごとにショット（クリアー）の技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：クリアーについて調べる／事後：クリアーをする際の注意点を復習する（1時間）
6	攻守の基本的技術の習得5	グループごとにショット（ドロップ）の技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：ドロップについて調べる／事後：ドロップをする際の注意点を復習する（1時間）
7	基本的なルールの理解と審判技術の習得	ルールと審判技術の基本を確認し、簡易ゲームで実践します	事前：ルールと審判について調べる／事後：審判をする際の注意点を復習する（1時間）
8	リーグ戦1-1	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとにアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
9	リーグ戦1-2	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとにアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
10	リーグ戦1-3	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとにアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
11	基本的な技術と戦術の確認	チームごとにリーグ戦1を振返り、基本的な技術と戦術をミニゲームを通して再確認します	事前：チームごとに課題を整理する／事後：チーム戦術を再確認する（1時間）
12	リーグ戦2-1	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
13	リーグ戦2-2	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
14	リーグ戦2-3	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
15	レクリエーション	討議により設定した特別ルールのもと試合を実施します	事前：楽しくゲームができる特別ルールを考える／事後：本授業のレポートを作成する（1時間）

テキスト

特に指定せず、必要に応じて資料を配布します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：60%　実技：20%　レポート：20%
評価基準は次の通りです。S:批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトと楽しくゲームを展開することができる/A:探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトとゲームを展開することができる/B:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術をゲームに活かすことができる/C:与えられた課題に誠実に取り、習得した基本的技術を実践することができる

参考書

特に指定しません。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

履修者数を抽選により調整する場合があります。

科目名	生涯スポーツⅡ（個人的スポーツ）古屋クラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13105	研究室	非常勤
担当者	古屋　顯一	必修選択	必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	栄教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	2017年度～
	◎		△	△	△	

授業概要

本授業では、バドミントンを通じてスポーツに親しむ資質を身につけることを目的とします。スポーツに親しむには、なによりスポーツの楽しさを体験することが重要であると考えられます。本授業では、ペア・チームごとに「楽しい」という気持ち、感覚、雰囲気、表情等と向き合いながら、「楽しいバドミントン」を探求します。

学修到達目標

(1)バドミントンの基本的技術を習得し、ゲームに活かすことができる
(2)ペア・チームで協力して、ゲームを展開することができる
(3)楽しくゲームを進行するために工夫することができる

授業の進め方

基本的に本授業は、ペア・チーム単位で「課題の設定→課題解決のための練習方法の決定と実施→ミニゲームの実施→ミニゲームの振返り→課題の見直しと再設定」というサイクルで進めていきます。（アクティブラーニングの実施）

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	オリエンテーション	授業のねらい、授業内容、評価方法、留意事項等について解説し、チーム分けをします	事前：シラバスを読む／事後：バドミントンのルールを確認する（1時間）
2	攻守の基本的技術の習得1	グループごとにストロークの技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：ストロークについて調べる／事後：ストロークをする際の注意点を復習する（1時間）
3	攻守の基本的技術の習得2	グループごとにサービスの技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：サービスについて調べる／事後：サービスをする際の注意点を復習する（1時間）
4	攻守の基本的技術の習得3	グループごとにショット（スマッシュ）の技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：スマッシュについて調べる／事後：スマッシュをする際の注意点を復習する（1時間）
5	攻守の基本的技術の習得4	グループごとにショット（クリアー）の技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：クリアーについて調べる／事後：クリアーをする際の注意点を復習する（1時間）
6	攻守の基本的技術の習得5	グループごとにショット（ドロップ）の技術の習得方法を考え、それを実践します	事前：ドロップについて調べる／事後：ドロップをする際の注意点を復習する（1時間）
7	基本的なルールの理解と審判技術の習得	ルールと審判技術の基本を確認し、簡易ゲームで実践します	事前：ルールと審判について調べる／事後：審判をする際の注意点を復習する（1時間）
8	リーグ戦1-1	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとにアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
9	リーグ戦1-2	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとにアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
10	リーグ戦1-3	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとにアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
11	基本的な技術と戦術の確認	チームごとにリーグ戦1を振返り、基本的な技術と戦術をミニゲームを通して再確認します	事前：チームごとに課題を整理する／事後：チーム戦術を再確認する（1時間）
12	リーグ戦2-1	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
13	リーグ戦2-2	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
14	リーグ戦2-3	これまでの授業で習得した基本的技術および審判技術とリーグ戦1から得た知見を発揮する場としてシングルスやダブルスを組み合わせたチーム対抗の試合を実施します	事前：チームごとアピールポイントを考える／事後：チームごとにゲーム分析をする（1時間）
15	レクリエーション	討議により設定した特別ルールのもと試合を実施します	事前：楽しくゲームができる特別ルールを考える／事後：本授業のレポートを作成する（1時間）

テキスト

特に指定せず、必要に応じて資料を配布します。

成績評価の方法・基準

出席レポート：60%　実技：20%　レポート：20%
評価基準は次の通りです。S:批判的思考に基づく探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトと楽しくゲームを展開することができる/A:探求姿勢をもって積極的に課題に取り組み、習得した基本的技術を用いて、チームメイトとゲームを展開することができる/B:与えられた課題に誠実に取り組み、習得した基本的技術をゲームに活かすことができる/C:与えられた課題に誠実に取り、習得した基本的技術を実践することができる

参考書

特に指定しません。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

履修者数を抽選により調整する場合があります。

科目名	情報処理Ⅱ（EXCEL初級）（栄養）	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12203	研究室	非常勤
担当者	松澤　みわ子・河西　文子・駒村　明子	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	栄教一			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
△	○		△	△	△	

授業概要

Microsoft Excelを用いた数値情報の加工・分析は、大学における研究分野のみならず、ビジネスシーンでも幅広く用いられています。身の回りの数値データを的確に処理し、自分に必要な情報を加工する道具としてExcelを使いこなせるようにしていきます。入力や計算式の作り方の基本から、セル参照の種類やよく使う算術・論理関数、グラフ作成、印刷などについて学びます。

学修到達目標

日本情報処理技検定協会が実施している「表計算検定2級」の資格を取得する。または、それと同等の実力を養い、Excelを用いて素早く数値データの集計・加工ができる。

授業の進め方

講義はすべてパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。資格取得のためには、作業スピードも重要な要件となるため、時間外にも繰り返し操作することで作業効率の向上を目指します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス 基本操作と計算式	授業の進め方、評価方法について Excelの基本操作および表計算検定4級について学習します。	同レベルの問題を配布するので、復習をしおく。（1時間）
2	IF関数と端数処理	表計算検定3級で必須とされる基礎的な関数や書式設定について学習します。	配布されたプリントをもう一度、最初から解答しておく。（1時間）
3	セルの参照方式	表計算検定3級で必須とされるセルの参照方式（相対参照・絶対参照）について学習します。	配布されたプリントをもう一度、最初から解答しておく。（1時間）
4	判断文（2分岐・3分岐）	表計算検定3級で必須とされる、IF関数による条件判断や順位付けの関数について学習します。	配布されたプリントをもう一度、最初から解答しておく。（1時間）
5	表計算検定3級まとめ	これまで学習してきた表計算検定3級のまとめの回です。次回2級へ進むための準備学習も行います。	3級レベルの確認課題を出すので、次回までに解答しておく。（1時間）
6	表検索とセル証明	表計算検定2級で必須とされる、Vlookup関数を用いた表検索やセル証明について学習します。	授業内にやった模擬問題を確実に解答できるよう復習しておく。（1時間）
7	グラフ作成	表計算検定2級で必須とされる、グラフ作成方法（主に円グラフ）について学習します。	授業内にやった模擬問題を確実に解答できるよう復習しておく。（1時間）
8	論理演算子を使った判定	表計算検定2級で必須とされる、AND関数、OR関数を理解し、IF関数と組み合わせた処理について学習します。	授業内にやった模擬問題を確実に解答できるよう復習しておく。（1時間）
9	論理演算・平均との比較	平均との比較を含む複雑な論理演算しを使った判定について学習します。	授業内にやった模擬問題を確実に解答できるよう復習しておく。（1時間）
10	評価の解き方のまとめ	表計算検定2級で出題される複雑な多重分岐の解き方に関するまとめの学習を行います。	模擬問題を時間を計りながら次回までに練習しておく。（1時間）
11	表計算2級検定試験対策①	問題集や過去問題を使って規定時間内に解答できるようトレーニングします。	課題が出るので、時間を計りながら次回までに練習しておく。（1時間）
12	表計算2級検定試験対策②	問題集や過去問題を使って規定時間内に解答できるようトレーニングします。	課題が出るので、時間を計りながら次回までに練習しておく。（1時間）
13	表計算2級検定試験対策③	問題集や過去問題を使って規定時間内に解答できるようトレーニングします。	課題が出るので、時間を計りながら次回までに練習しておく。（1時間）
14	表計算2級検定試験対策④	自分の弱点抽出を行い、その部分を解答できるようトレーニングします。	時間を計りながら次回までに問題を練習しておく。（1時間）
15	表計算2級検定試験対策⑤	自分の弱点抽出を行い、その部分を解答できるようトレーニングします。	時間を計りながら問題を練習しておく。（1時間）

テキスト

「情報処理技能検定模擬問題集・表計算2級」日本情報処理技能検定協会編
(生協で購入してください。)

成績評価の方法・基準

課題：20%　定期試験：80%
定期試験は表計算検定2級レベルの内容となります。
A:課題の提出と定期試験または表計算検定において80%程度の技能が認められる
B:課題の提出と定期試験または表計算検定において70%程度の技能が認められる
C:課題の提出と定期試験または表計算検定において60%程度の技能が認められる

参考書

「情報処理技能検定試験・表計算検定対策問題集（過去問題集）」日本情報処理技能検定協会編

履修上の注意（学生へのメッセージ）

収集した数値データや膨大な情報をいかに正確に効率よく取り扱えるかで、今後の問題解決のスピードが大きく変わります。ぜひともExcel操作に精通して欲しいと思います。

科目名	日本国憲法（教育）	学年学期	1年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13201	研究室	W-14
担当者	眞次　宏典	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	火曜日3限		
関連資格	小一種､中(英語)､高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

日本国憲法の基本的な枠組、背景、その意義などを理解するために、近代憲法の基本原理（基本的人権の保障と権力分立制）、日本における二つの憲法（明治憲法と日本国憲法）の異同、日本国憲法の基本原理（国民主権、基本的人権の尊重、平和主義）などを明かにした上で、具体的な政府の仕組みと人権保障のあり方についての基本論点を検討しながら理解を深めて行くことにします。

学修到達目標

本講義は、日本国憲法についての基本的な知識を獲得することを目的としています。日本国憲法を近代立憲主義の歴史の中に位置づけた上で、日本における憲法学説・判例を手がかりにしながら、日本国憲法の人権および統治機構（政府の仕組み）の基本的なあり方を理解する。

授業の進め方

講義は、六法（毎時間必携）で条文（憲法、関連諸法令）を参照しながら進めていきます。なお、ほぼ毎時間、講義テーマまたは人権、憲法に関連した新聞・雑誌などの記事を配布し、解説を加えることにします。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	近代憲法の成立と構成	ガイダンス、憲法の諸概念	指示した文献を読む（4時間）
2	統治総論と国民主権	統治機構の理論と国民主権の概念	指示した文献を読む（4時間）
3	国民主権と天皇	日本国憲法の成立過程と象徴天皇制	指示した文献を読む（4時間）
4	国会と選挙制度	国会、議院、議院、選挙制度	指示した文献を読む（4時間）
5	内閣	内閣、首相、議院内閣制	指示した文献を読む（4時間）
6	裁判所1	裁判所の組織、司法権	指示した文献を読む（4時間）
7	裁判所2	違憲審査制	指示した文献を読む（4時間）
8	戦争放棄と自衛隊	憲法9条と自衛隊	指示した文献を読む（4時間）
9	基本的人権1	基本的人権の観念	指示した文献を読む（4時間）
10	基本的人権2	思想・良心の自由	指示した文献を読む（4時間）
11	基本的人権3	信教の自由、政教分離	指示した文献を読む（4時間）
12	基本的人権4	表現の自由	指示した文献を読む（4時間）
13	基本的人権5	集会・結社の自由	指示した文献を読む（4時間）
14	職業選択の自由と財産権	職業選択の自由、財産権	指示した文献を読む（4時間）
15	まとめ	平等原則とプライバシーの権利	指示した文献を読む（4時間）

テキスト

「一歩先への憲法入門」片桐直人・井上武史・大林啓吾著（有斐閣）
ISBN:978-4641131965（生協で購入してください。）
「ポケット六法　平成29年度版」山下友信、山口厚編（有斐閣）　ISBN:978-4641009172（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

定期試験：90%　受講態度：10%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって海内に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。
B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

なし

履修上の注意（学生へのメッセージ）

講義の中では、授業の受け方、ノートの取り方、六法の使い方など大学で学ぶために必要な技術についても教えます。学生諸君は、講義内容そのものだけでなく、学ぶための技術についても学ぶと考えてください。

科目名	生涯スポーツⅠ（集団的スポーツ）	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13107	研究室	A-09
担当者	濱田　敦志・田邉　愛子・齊藤　茂	必修選択	必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	木曜日2限､金曜日1限		
関連資格	小一種､中(英語)､高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

実施種目は集団的スポーツの特性を踏まえ「ハンドボール」「ソフトバレーボール」「ソフトボール」の3種目とします。全体を30名前後の3クラスに編成し、クラス毎に種目をローテーションしながら、各種目の基本技術と簡易なルールによるゲームを通して、種目の特性を理解し、楽しいスポーツの運営方法について学びます。運動技術の獲得の仕方や指導方法を理解することで、スポーツを楽しむために必要な要素について学修していき、スポーツが人間にとってどのような存在であるべきかを実践的に理解します。

学修到達目標

各種集団的スポーツの実践を通して、スポーツの本質的楽しさや人間にとっての価値を理解し、小学校の教員として生涯にわたってスポーツに親しむ資質と能力を育てるスポーツの在り方について、自身の考えを持つことができる。

授業の進め方

ゲームを通して、各回のテーマを焦点化し、ベースボール型のおもしろさを知ることで、生涯にわたってスポーツに親しむ脂質と能力を育んでいきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	基本技術の習得	ハンドボール(1)　ハンドボールの基本技術　各種パス、シュート	基本的なルールを理解し、各種パス・シュート方法を予習する（1時間）
2	攻撃の方法	ハンドボール(2)　ハンドボールの攻撃の基本的な戦術	ポジションの役割を理解する（1時間）
3	守備の方法	ハンドボール(3)　ハンドボールの守備の基本的な戦術	守備の方法を理解する（1時間）
4	ゲームⅠ	ハンドボール(4)　ハンドボールの易しいルールによるゲーム	ポジション別の基本的な攻撃、守備を復習し、ゲームで実践できるようにする（1時間）
5	ゲームⅡ	ハンドボール(5)　ハンドボールのやや複雑なルールによるゲーム	攻守の入れ替わりが素早くできるように、総合的に理解を深める（1時間）
6	基本技術の習得Ⅰ（パス）	ソフトバレーボール(1)　ソフトバレーボールの基本技術　各種パス	基本的なルールを理解し、各種パスの方法を予習する（1時間）
7	基本技術の習得Ⅱ（サーブ・アタック）	ソフトバレーボール(2)　ソフトバレーボールの基本技術　サーブ・アタック	基本的なルールを理解し、サーブ・アタックの方法を予習する（1時間）
8	基本的な戦略	ソフトバレーボール(3)　ソフトバレーボールの基本的な戦術	戦術について理解する(1時間)
9	ゲームⅠ	ソフトバレーボール(4)　ソフトバレーボールの易しいルールによるゲーム	誰でも参加できるゲームの方法を理解する(1時間)
10	ゲームⅡ	ソフトバレーボール(5)　ソフトバレーボールのやや複雑なルールによるゲーム	より工夫したゲームの方法を理解する(1時間)
11	守備の方法	ソフトボール(1)　ソフトボールの守備の基本技術	守備の方法を理解する(1時間)
12	攻撃の方法	ソフトボール(2)　ソフトボールの攻撃の基本技術	攻撃の方法を理解する(1時間)
13	戦略・戦術・作戦	ソフトボール(3)　ソフトボールの基本的な戦術	戦略・戦術・作戦の違いを理解する(1時間)
14	ゲームⅠ	ソフトボール(4)　ソフトボールの易しいルールによるゲーム	誰でも参加できるゲームの方法を理解する(1時間)
15	ゲームⅡ	ソフトボール(5)　ソフトボールのやや複雑なルールによるゲーム	より工夫したゲームの方法を理解する(1時間)

テキスト

「小学校学習指導要領解説　体育編」文部科学省編（東洋館出版）（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

実技：60%　レポート：30%　出席レポート：10%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。
B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

学習内容に応じてプリントを配布

履修上の注意（学生へのメッセージ）

ゴール（侵入）型，ネット型，ベースボール型のボールゲームの構造はどうなっているのか，競争課題はないかを考えてください．

科目名	生涯スポーツⅡ（個人的スポーツ）	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL13108	研究室	A-09
担当者	濱田　敦志・田邉　愛子・齊藤　茂	必修選択	必修	科目種別	実技	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	月曜日2限、金曜日1限		
関連資格	小一種、中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△	△	△	

授業概要

本授業における実施種目は個人的スポーツの特性を踏まえ「ニュースポーツ」「トレーニング実技」「バドミントン」の3種目とします。全体を30名前後の3クラスに編成し、クラス毎に種目をローテーションしながら、各種目の基本技術や簡易なルールによるゲームを通して、それぞれの種目の特性を理解し、楽しいスポーツの運営方法について学びます。学生が主体となって学修を展開していくことで、スポーツを楽しむためのマネージメントの仕方を実践的に理解していきます。

学修到達目標

生涯スポーツⅠの内容をさらに深化させ、スポーツの本質的意味や価値について個人的スポーツを通して理解し、小学校の教員として生涯にわたってスポーツに積極的に関わる資質や能力を育てるスポーツ学習の在り方について、自身の考えを持つことができる。

授業の進め方

各回のニュースポーツを実際に体験するとともに、そのニュースポーツが生まれてきた背景を知り、生涯にわたってスポーツに積極的に関わる資質や能力を育みます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	バブルサッカー	ニュースポーツ(1)　バブルサッカー	考案された経緯や世界的な広まりを知る(1時間)
2	スラックライン	ニュースポーツ(2)　スラックライン	考案された経緯や世界的な広まりを知る(1時間)
3	アルティメット	ニュースポーツ(3)　アルティメット(フライングディスク)	考案された経緯や世界的な広まりを知る(1時間)
4	ペタンク	ニュースポーツ(4)　ペタンク	考案された経緯や世界的な広まりを知る(1時間)
5	ダブルダッチ	ニュースポーツ(5)　ダブルダッチ	考案された経緯や世界的な広まりを知る(1時間)
6	総合的な体力評価について	トレーニング実技(1)　体ほぐしの運動に関連するトレーニング（柔軟性・巧緻性)	柔軟性、巧緻性を含めた評価方法について理解する（1時間)
7	筋力について	トレーニング実技(2)　体力を高める運動に関連するトレーニング（筋力)	筋肉についての基本的な理解を深める（1時間)
8	持久力について	トレーニング実技(3)　体力を高める運動に関連するトレーニング（持久力)	持久力についての基本的な理解を深める（1時間)
9	ダンスⅠ	トレーニング実技(4)　ダンスに関連するトレーニング	エアロビックダンスの特性を学びその効能を理解する（1時間)
10	ダンスⅡ	トレーニング実技(5)　現代的なリズムのダンスに関連するトレーニング	様々な音楽を利用したダンスを知る（1時間)
11	基本技術の習得Ⅰ（ロングハイサービス、攻撃的ストローク)	バドミントン(1)　バドミントンの基本技術　ロングハイサービス、攻撃的ストローク	基本的なルールを理解し、ロングハイサービス、攻撃的ストロークの方法を予習する（1時間)
12	基本技術の習得Ⅱ（ショートサービス、守備的ストローク)	バドミントン(2)　バドミントンの基本技術　ショートサービス、守備的ストローク	基本的なルールを理解し、ショートサービス、守備的ストロークの方法を予習する（1時間)
13	基本技術と戦術(ダブルス)	バドミントン(3)　ダブルスの基本技術と戦術	ダブルスの基本技術と戦術について理解する(1時間)
14	ゲームⅠ	バドミントン(4)　バドミントンの易しいルールによるゲーム	誰でも参加できるゲームの方法を理解する(1時間)
15	ゲームⅡ	バドミントン(5)　バドミントンのやや複雑なルールによるゲーム	より工夫したゲームの方法を理解する(1時間)

テキスト

「小学校学習指導要領解説　体育編」文部科学省編（東洋館出版）（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

実技：60%　レポート：30%　出席レポート：10%
S：授業内容を高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探求姿勢をもって課題に取り組み、例題からは難しい応用問題が解ける。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組み、やや難しい応用問題が解ける。
B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、応用問題が解ける。C：授業の内容の60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組み、授業で示した例題と同レベルの問題が解ける。

参考書

学習内容に応じてプリントを配布

履修上の注意（学生へのメッセージ）

ニュースポーツの発生や広がりの歴史，トレーニングの実技の方法，バドミントンの歴史や攻め方・守り方など，予習をしておいてください．

科目名	英会話Ⅰ（教育）Ａクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UC12105	研究室	非常勤
担当者	ｽﾃﾌﾞﾅﾋﾞﾁｭｽ　ｴﾄﾞｶﾞﾗｽ	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	小一種、中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△		○	

授業概要

本授業は、話す力を鍛えることに重点を置き、実践的に使える英語を学ぶ授業です。クラスメートとの会話練習や様々なアクティビティを通じて、ネイティブスピーカーが実際に使う表現を習得します。また、ペアでの発表やスピーチ練習も取り入れることで、単に英語力を高めるだけでなく、国際社会の一員として意見を発信するための総合的なコミュニケーション基礎力も身に付けます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが実際に使う表現を習得し、英語で簡単な日常会話ができる。
英語で話すことに慣れ親しみ、積極的に意見を伝え、相手とコミュニケーションを取る姿勢が身に付いている。
一方的に話すだけでなく、相手の話に応答し簡単な会話を広げることができる。

授業の進め方

外国人講師による英語での授業です。様々な場面で使えるフレーズの基本形を学びつつ、応用形や返答の仕方を会話練習や発表などによって修得します。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス（原則20名以下）で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	自己紹介 ウォーミングアップ	授業の目標確認、自己紹介。 コミュニケーションに必要なスキルについて考え、クラスメートと共有する。	自己紹介スピーチを考える 自分なりの学習目標を立てる（1時間)
2	Unit1: How are you?	挨拶や別れる際のフォーマルな表現、くだけた表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシュとキクタンDay1を覚える、自己紹介スピーチ練習（1時間)
3	Unit2: Nice to meet you.	自分や友人を紹介する表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシュとキクタンDay2を覚える、小テストスピーチ練習（1時間)
4	小テスト1 Unit3: Can you say that again?	小テスト：スピーチ発表 相手のメールアドレスや電話番号を聞きたいときの表現を学ぶ ペアで会話練習、発表　ペアワーク	クラスルーム・イングリッシュとキクタンDay3を覚える、連絡先を聞く表現練習（1時間)
5	Unit4: Nice weather, isn't it?	軽い雑談に役立つトピックやフレーズを学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシュとキクタンDay4を覚える、Small Talkの復習（1時間)
6	Unit1-4 review Unit5: I love hip-hop!	Unit1-4振り返り：p10, p82, p90 自分の好きなこと、嫌いなことについて話す表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシュとキクタンDay5を覚える、小テストスピーチ練習（1時間)
7	小テスト2 Unit6: My favorite movie is…	小テスト：スピーチ発表 好きな映画や音楽などを聞く表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシュとキクタンDay6を覚える、疑問文の練習（1時間)
8	Unit7: What time is it?	時間を聞いたり教えたりする表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシュとキクタンDay7を覚える、時間の表現練習（1時間)
9	Unit8: Would you try kayaking?	意見を言ったり、聞いたりする表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシュとキクタンDay8を覚える、小テストスピーチ練習（1時間)
10	小テスト3 Unit9: Do you have any brothers?	小テスト：スピーチ発表 家族について紹介、質問する表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシュとキクタンDay9を覚える、家族紹介の準備（1時間)
11	Unit10: She's pretty smart.	自分や友人の人柄について話す表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシュとキクタンDay10を覚える、友達の人柄紹介の準備（1時間)
12	Unit11: I love your shirt!	相手を褒める表現、褒められた時の返答を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシュとキクタンDay11を覚える、小テストスピーチ練習（1時間)
13	小テスト4 Unit12: What's she wearing?	小テスト：スピーチ発表 服装についての質問、洋服の買い物に使える表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシュとキクタンDay12を覚える、服装の表現練習（1時間)
14	Unit9-12 review Unit13: When do you get up?	Unit9-12振り返り：p30, p84, p92, 毎日の日課を説明する表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシュとキクタンDay13を覚える、予定を表現する練習（1時間)
15	Unit14: When do you get three?	会話を広げるための追加質問を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	既習内容のクラスルーム・イングリッシュを覚える、期末テストの学習（1時間)

テキスト

「Speak NOW 1: Communicate with Confidence」Jack C. Richards, David Bohlke著（Oxford University Press）　ISBN:978-0-19-403015-1（生協で購入してください。）
「キクタン英会話【基礎編】」一杉武史（編著）著（アルク）　ISBN:978-4757422926（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　課題：30%　小テスト：30%　定期試験：30%
S:授業内容をよく理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、授業で学んだ基本レベルを超える英語で高度なコミュニケーションがとれる。A：授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや高度な英語でコミュニケーションがとれる。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、やや簡単な英語でコミュニケーションがとれる。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に誠実に取り組み、ごく基礎的な英語でコミュニケーションがとれる。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

人に想いを伝え、理解し合うのはとても楽しいことです。英語を使って世界中の人と話す自分を想像し、積極的に取り組む姿勢が上達への鍵。英語学習を通じて、国際社会で通用するコミュニケーション力を身に付けましょう。

科目名	英会話Ⅰ（教育）Ｂクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UC12105	研究室	非常勤
担当者	ﾏｸﾙｰｱ ﾀﾞﾚﾝ	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	小一種、中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△		○	

授業概要

本授業は、話す力を鍛えることに重点を置き、実践的に使える英語を学ぶ授業です。クラスメートとの会話練習や様々なアクティビティを通じて、ネイティブスピーカーが実際に使う表現を習得します。また、ペアでの発表やスピーチ練習も取り入れることで、単に英語力を高めるだけでなく、国際社会の一員として意見を発信するための総合的なコミュニケーション基礎力も身に付けます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが実際に使う表現を習得し、英語で簡単な日常会話ができる。
英語で話すことに慣れ親しみ、積極的に意見を伝え、相手とコミュニケーションを取る姿勢が身に付いている。
一方的に話すだけでなく、相手の話に応答し簡単な会話を広げることができる。

授業の進め方

外国人講師による英語での授業です。様々な場面で使えるフレーズの基本形を学びつつ、応用形や返答の仕方を会話練習や発表などによって修得します。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス（原則20名以下）で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	自己紹介 ウォーミングアップ	授業の目標確認、自己紹介。 コミュニケーションに必要なスキルについて考え、クラスメートと共有する。	自己紹介スピーチを考える 自分なりの学習目標を立てる （1時間）
2	Unit1: How are you?	挨拶や別れる際のフォーマルな表現、くだけた表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay1を覚える、自己紹介スピーチ練習（1時間）
3	Unit2: Nice to meet you.	自分や友人を紹介する表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay2を覚える、小テストスピーチ練習（1時間）
4	小テスト1 Unit3: Can you say that again?	小テスト：スピーチ発表 相手のメールアドレスや電話番号を聞きたいときの表現を学ぶ ペアで会話練習、発表　ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay3を覚える、連絡先を聞く表現練習（1時間）
5	Unit4: Nice weather, isn't it?	軽い雑談に役立つトピックやフレーズを学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay4を覚える、Small Talkの復習（1時間）
6	Unit1-4 review Unit5: I love hip-hop!	Unit1-4振り返り：p10, p82, p90 自分の好きなこと、嫌いなことについて話す表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay5を覚える、小テストスピーチ練習（1時間）
7	小テスト2 Unit6: My favorite movie is…	小テスト：スピーチ発表 好きな映画や音楽などを聞く表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay6を覚える、疑問文の練習（1時間）
8	Unit7: What time is it?	時間を聞いたり教えたりする表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay7を覚える、時間の表現練習（1時間）
9	Unit8: Would you try kayaking?	意見を言ったり、聞いたりする表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay8を覚える、小テストスピーチ練習（1時間）
10	小テスト3 Unit9: Do you have any brothers?	小テスト：スピーチ発表 家族について紹介、質問する表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay9を覚える、家族紹介の準備（1時間）
11	Unit10: She's pretty smart.	自分や友人の人柄について話す表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay10を覚える、友達の人柄紹介の準備（1時間）
12	Unit11: I love your shirt!	相手を褒める表現、褒められた時の返答を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay11を覚える、小テストスピーチ練習（1時間）
13	小テスト4 Unit12: What's she wearing?	小テスト：スピーチ発表 服装についての質問、洋服の買い物に使える表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay12を覚える、服装の表現練習（1時間）
14	Unit9-12 review Unit13: When do you get up?	Unit9-12振り返り：p30, p84, p92, 毎日の日課を説明する表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay13を覚える、予定を表現する練習（1時間）
15	Unit14: When do you get three?	会話を広げるための追加質問を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	既習内容のクラスルーム・イングリッシを覚える、期末テストの学習（1時間）

テキスト

「Speak NOW 1: Communicate with Confidence」Jack C. Richards, David Bohlke著（Oxford University Press）　ISBN:978-0-19-403015-1（生協で購入してください。）
「キクタン英会話【基礎編】」一杉武史（編著）著（アルク）　ISBN:978-4757422926（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　課題：30%　小テスト：30%　定期試験：30%
S:授業内容をよく理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、授業で学んだ基本レベルを超える英語で高度なコミュニケーションがとれる。A：授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや高度な英語でコミュニケーションがとれる。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、やや簡単な英語でコミュニケーションがとれる。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に誠実に取り組み、ごく基礎的な英語でコミュニケーションがとれる。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

人に想いを伝え、理解し合うのはとても楽しいことです。英語を使って世界中の人と話す自分を想像し、積極的に取り組む姿勢が上達への鍵。英語学習を通じて、国際社会で通用するコミュニケーション力を身に付けましょう。

科目名	英会話Ⅰ（教育）Ｃクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UC12105	研究室	非常勤
担当者	ﾀﾞﾙﾄﾝ ｺｰﾃﾞｨ	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	小一種、中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△		○	

授業概要

本授業は、話す力を鍛えることに重点を置き、実践的に使える英語を学ぶ授業です。クラスメートとの会話練習や様々なアクティビティを通じて、ネイティブスピーカーが実際に使う表現を習得します。また、ペアでの発表やスピーチ練習も取り入れることで、単に英語力を高めるだけでなく、国際社会の一員として意見を発信するための総合的なコミュニケーション基礎力も身に付けます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが実際に使う表現を習得し、英語で簡単な日常会話ができる。
英語で話すことに慣れ親しみ、積極的に意見を伝え、相手とコミュニケーションを取る姿勢が身に付いている。
一方的に話すだけでなく、相手の話に応答し簡単な会話を広げることができる。

授業の進め方

外国人講師による英語での授業です。様々な場面で使えるフレーズの基本形を学びつつ、応用形や返答の仕方を会話練習や発表などによって修得します。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス（原則20名以下）で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	自己紹介 ウォーミングアップ	授業の目標確認、自己紹介。 コミュニケーションに必要なスキルについて考え、クラスメートと共有する。	自己紹介スピーチを考える 自分なりの学習目標を立てる （1時間）
2	Unit1: How are you?	挨拶や別れる際のフォーマルな表現、くだけた表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay1を覚える、自己紹介スピーチ練習（1時間）
3	Unit2: Nice to meet you.	自分や友人を紹介する表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay2を覚える、小テストスピーチ練習（1時間）
4	小テスト1 Unit3: Can you say that again?	小テスト：スピーチ発表 相手のメールアドレスや電話番号を聞きたいときの表現を学ぶ ペアで会話練習、発表　ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay3を覚える、連絡先を聞く表現練習（1時間）
5	Unit4: Nice weather, isn't it?	軽い雑談に役立つトピックやフレーズを学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay4を覚える、Small Talkの復習（1時間）
6	Unit1-4 review Unit5: I love hip-hop!	Unit1-4振り返り：p10, p82, p90 自分の好きなこと、嫌いなことについて話す表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay5を覚える、小テストスピーチ練習（1時間）
7	小テスト2 Unit6: My favorite movie is…	小テスト：スピーチ発表 好きな映画や音楽などを聞く表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay6を覚える、疑問文の練習（1時間）
8	Unit7: What time is it?	時間を聞いたり教えたりする表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay7を覚える、時間の表現練習（1時間）
9	Unit8: Would you try kayaking?	意見を言ったり、聞いたりする表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay8を覚える、小テストスピーチ練習（1時間）
10	小テスト3 Unit9: Do you have any brothers?	小テスト：スピーチ発表 家族について紹介、質問する表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay9を覚える、家族紹介の準備（1時間）
11	Unit10: She's pretty smart.	自分や友人の人柄について話す表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay10を覚える、友達の人柄紹介の準備（1時間）
12	Unit11: I love your shirt!	相手を褒める表現、褒められた時の返答を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay11を覚える、小テストスピーチ練習（1時間）
13	小テスト4 Unit12: What's she wearing?	小テスト：スピーチ発表 服装についての質問、洋服の買い物に使える表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay12を覚える、服装の表現練習（1時間）
14	Unit9-12 review Unit13: When do you get up?	Unit9-12振り返り：p30, p84, p92, 毎日の日課を説明する表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay13を覚える、予定を表現する練習（1時間）
15	Unit14: When do you get three?	会話を広げるための追加質問を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	既習内容のクラスルーム・イングリッシを覚える、期末テストの学習（1時間）

テキスト

「Speak NOW 1: Communicate with Confidence」Jack C. Richards, David Bohlke著（Oxford University Press）　ISBN:978-0-19-403015-1（生協で購入してください。）
「キクタン英会話【基礎編】」一杉武史（編著）著（アルク）　ISBN:978-4757422926（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　課題：30%　小テスト：30%　定期試験：30%
S:授業内容をよく理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、授業で学んだ基本レベルを超える英語で高度なコミュニケーションがとれる。A：授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや高度な英語でコミュニケーションがとれる。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、やや簡単な英語でコミュニケーションがとれる。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に誠実に取り組み、ごく基礎的な英語でコミュニケーションがとれる。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

人に想いを伝え、理解し合うのはとても楽しいことです。英語を使って世界中の人と話す自分を想像し、積極的に取り組む姿勢が上達への鍵。英語学習を通じて、国際社会で通用するコミュニケーション力を身に付けましょう。

科目名	英会話Ⅰ（教育）Dクラス	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UC12105	研究室	非常勤
担当者	ﾌﾘｽﾞ ﾃﾞｲｳﾞｨｯﾄﾞ	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	小一種､中(英語)､高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△		○	

授業概要

本授業は、話す力を鍛えることに重点を置き、実践的に使える英語を学ぶ授業です。クラスメートとの会話練習や様々なアクティビティを通じて、ネイティブスピーカーが実際に使う表現を習得します。また、ペアでの発表やスピーチ練習も取り入れることで、単に英語力を高めるだけでなく、国際社会の一員として意見を発信するための総合的なコミュニケーション基礎力も身に付けます。

学修到達目標

ネイティブスピーカーが実際に使う表現を習得し、英語で簡単な日常会話ができる。
英語で話すことに慣れ親しみ、積極的に意見を伝え、相手とコミュニケーションを取る姿勢が身に付いている。
一方的に話すだけでなく、相手の話に応答し簡単な会話を広げることができる。

授業の進め方

外国人講師による英語での授業です。様々な場面で使えるフレーズの基本形を学びつつ、応用形や返答の仕方を会話練習や発表などによって修得します。プレイスメントテスト成績に基づく人数クラス（原則20名以下）で行います。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	自己紹介 ウォーミングアップ	授業の目標確認、自己紹介。 コミュニケーションに必要なスキルについて考え、クラスメートと共有する。	自己紹介スピーチを考える 自分なりの学習目標を立てる（1時間）
2	Unit1: How are you?	挨拶や別れる際のフォーマルな表現、くだけた表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay1を覚える、自己紹介スピーチ練習（1時間）
3	Unit2: Nice to meet you.	自分や友人を紹介する表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay2を覚える、小テストスピーチ練習（1時間）
4	小テスト1 Unit3: Can you say that again?	小テスト：スピーチ発表 相手のメールアドレスや電話番号を聞きたいときの表現を学ぶ ペアで会話練習、発表　ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay3を覚える、連絡先を聞く表現練習（1時間）
5	Unit4: Nice weather, isn't it?	軽い雑談に役立つトピックやフレーズを学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay4を覚える、Small Talkの復習（1時間）
6	Unit1-4 review Unit5: I love hip-hop!	Unit1-4振り返り：p10, p82, p90 自分の好きなこと、嫌いなことについて話す表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay5を覚える、小テストスピーチ練習（1時間）
7	小テスト2 Unit6: My favorite movie is…	小テスト：スピーチ発表 好きな映画や音楽などを聞く表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay6を覚える、疑問文の練習（1時間）
8	Unit7: What time is it?	時間を聞いたり教えたりする表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay7を覚える、時間の表現練習（1時間）
9	Unit8: Would you try kayaking?	意見を言ったり、聞いたりする表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay8を覚える、小テストスピーチ練習（1時間）
10	小テスト3 Unit9: Do you have any brothers?	小テスト：スピーチ発表 家族について紹介、質問する表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay9を覚える、家族紹介の準備（1時間）
11	Unit10: She's pretty smart.	自分や友人の人柄について話す表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay10を覚える、友達の人柄紹介の準備（1時間）
12	Unit11: I love your shirt!	相手を褒める表現、褒められた時の返答を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay11を覚える、小テストスピーチ練習（1時間）
13	小テスト4 Unit12: What's she wearing?	小テスト：スピーチ発表 服装についての質問、洋服の買い物に使える表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay12を覚える、服装の表現練習（1時間）
14	Unit9-12 review Unit13: When do you get up?	Unit9-12振り返り：p30, p84, p92, 毎日の日課を説明する表現を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay13を覚える、予定を表現する練習（1時間）
15	Unit14: When do you get three?	会話を広げるための追加質問を学ぶ ペアで会話練習、発表、ペアワーク	既習内容のクラスルーム・イングリッシュを覚える、期末テストの学習（1時間）

テキスト

「Speak NOW 1: Communicate with Confidence」Jack C. Richards, David Bohlke著（Oxford University Press）　ISBN:978-0-19-403015-1（生協で購入してください。）
「キクタン英会話【基礎編】」一杉武史（編著）著（アルク）　ISBN:978-4757422926（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　課題：30%　小テスト：30%　定期試験：30%
S:授業内容をよく理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、授業で学んだ基本レベルを超える英語で高度なコミュニケーションがとれる。A：授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや高度な英語でコミュニケーションがとれる。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、やや簡単な英語でコミュニケーションがとれる。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に誠実に取り組み、ごく基礎的な英語でコミュニケーションがとれる。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

人に想いを伝え、理解し合うのはとても楽しいことです。英語を使って世界中の人と話す自分を想像し、積極的に取り組む姿勢が上達への鍵。英語学習を通じて、国際社会で通用するコミュニケーション力を身に付けましょう。

科目名	英会話Ⅱ（教育）Aクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UC12106	研究室	非常勤
担当者	ｽﾃﾊﾞﾅﾋﾞﾁｭｽ　ｴﾄﾞｶﾞﾗｽ	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	小一種､中(英語)､高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△		○	

授業概要

本授業では、英会話Ⅰで学んだ英語を発展させ、コミュニケーション力を高めていきます。様々な場面でネイティブスピーカーが使うフレーズを引き続き学習し、会話のキャッチボールができる力をさらに養います。前期よりも少し長めの会話やスピーチ練習を行い、自信を持って英語で会話する能力を身に付けます。

学修到達目標

相手に自分から質問し、様々なトピックで会話を発展させることができる。
授業で学んだフレーズを使いこなし、少し長めのスピーチをすることができる。
人前でも堂々と英語で話せる力を身に付けている。

授業の進め方

外国人講師による英語での授業です。英会話Ⅰより長めの会話やスピーチ練習を取り入れ、互いに評価し合います。参加型の授業で最大限に学ぶためには、積極的に参加する姿勢とともに、予習復習をきちんと行うことが重要です。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	Unit15:What do you do first?	時系列で物事を説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay14を覚える、スピーチ練習（1時間）
2	Unit16: What are you doing?	進行中の事柄を説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay15を覚える、スピーチ練習（1時間）
3	Unit17:What's your place like?	自分の家や部屋の間取りについて説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay16を覚える、小テストスピーチ練習（1時間）
4	小テスト1 Unit18：Where can I get a lamp?	小テスト：スピーチ発表 相手のおすすめを聞いたり、提案したりする表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay17を覚える、 スピーチ練習（1時間）
5	Unit19：Where's the mall?	場所を聞く、答える表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay18を覚える、 スピーチ練習（1時間）
6	Unit20:Take a left	道順を案内する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay19を覚える、 小テストスピーチ練習（1時間）
7	小テスト2 Unit21：How much is coffee?	小テスト：スピーチ発表 買い物時に値段を聞く表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay20を覚える、 スピーチ練習（1時間）
8	Unit22：Will you take $20?	値段交渉、買い物時のコミュニケーションを学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay21を覚える、 スピーチ練習（1時間）
9	Unit23：Do you ever buy books?	頻度について聞き、答える表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay22を覚える、 スピーチ練習（1時間）
10	小テスト3 Unit24:Your phone is so cool!	モノの特徴を説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay23を覚える、 スピーチ練習（1時間）
11	Unit21-24 review Unit25:Do you eat much fruit?	Unit21-24復習 p60, p87, p95 量や頻度についての表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay24を覚える、 スピーチ練習（1時間）
12	Unit26：We need onoions.	必要なもの、足りないものを説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay25を覚える、 小テストスピーチ練習（1時間）
13	小テスト4 Unit27：Do you eat a big lunch?	食事や食生活について話す表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay26を覚える、 スピーチ練習（1時間）
14	Unit28：How does it taste?	食べ物の特徴や味を説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	既習内容のキクタンを覚える、ペア・インタビュ-の練習（1時間）
15	Unit25-28 review Unit29：I had a great weekend	Unit25-28の復習：p70, p88, p96 Unit29：過去の出来事について話す表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	既習内容のクラスルーム・イングリッシュを覚える、期末テストの学習（1時間）

テキスト

「Speak NOW 1: Communicate with Confidence」Jack C. Richards, David Bohlke 著（Oxford University Press）　ISBN:978-0-19-403015-1（生協で購入してください。）
「キクタン英会話【基礎編】」一杉武史（編著）　著（アルク）　ISBN: 978-4757422926（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　課題：30%　小テスト：30%　定期試験：30%
S:授業内容をよく理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、授業で学んだ基本レベルを超える英語で高度なコミュニケーションがとれる。A：授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや高度な英語でコミュニケーションがとれる。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、やや簡単な英語でコミュニケーションがとれる。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に誠実に取り組み、ごく基礎的な英語でコミュニケーションがとれる。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

人に想いを伝え、理解し合うのはとても楽しいことです。英語を使って世界中の人と話す自分を想像し、積極的に取り組む姿勢が上達への鍵。英語学習を通じて、国際社会で通用するコミュニケーション力を身に付けましょう。

科目名	英会話Ⅱ（教育）Ｂクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UC12106	研究室	非常勤
担当者	ﾏｸﾙｰｱ ﾀﾞﾚﾝ	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	小一種、中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△		○	

授業概要

本授業では、英会話Ⅰで学んだ英語を発展させ、コミュニケーション力を高めていきます。様々な場面でネイティブスピーカーが使うフレーズを引き続き学習し、会話のキャッチボールができる力をさらに養います。前期よりも少し長めの会話やスピーチ練習を行い、自信を持って英語で会話する能力を身に付けます。

学修到達目標

相手に自分から質問し、様々なトピックで会話を発展させることができる。
授業で学んだフレーズを使いこなし、少し長めのスピーチをすることができる。
人前でも堂々と英語で話せる力を身に付けている。

授業の進め方

外国人講師による英語での授業です。英会話Ⅰより長めの会話やスピーチ練習を取り入れ、互いに評価し合います。参加型の授業で最大限に学ぶためには、積極的に参加する姿勢とともに、予習復習をきちんと行うことが重要です。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	Unit15:What do you do first?	時系列で物事を説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay14を覚える、スピーチ練習（1時間）
2	Unit16: What are you doing?	進行中の事柄を説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay15を覚える、スピーチ練習（1時間）
3	Unit17:What's your place like?	自分の家や部屋の間取りについて説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay16を覚える、小テストスピーチ練習（1時間）
4	小テスト1 Unit18：Where can I get a lamp?	小テスト：スピーチ発表 相手のおすすめを聞いたり、提案したりする表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay17を覚える、 スピーチ練習（1時間）
5	Unit19：Where's the mall?	場所を聞く、答える表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay18を覚える、 スピーチ練習（1時間）
6	Unit20:Take a left	道順を案内する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay19を覚える、 小テストスピーチ練習（1時間）
7	小テスト2 Unit21：How much is coffee?	小テスト：スピーチ発表 買い物時に値段を聞く表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay20を覚える、 スピーチ練習（1時間）
8	Unit22：Will you take $20?	値段交渉、買い物時のコミュニケーションを学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay21を覚える、 スピーチ練習（1時間）
9	Unit23：Do you ever buy books?	頻度について聞き、答える表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay22を覚える、 スピーチ練習（1時間）
10	小テスト3 Unit24:Your phone is so cool!	モノの特徴を説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay23を覚える、 スピーチ練習（1時間）
11	Unit21-24 review Unit25:Do you eat much fruit?	Unit21-24復習 p60, p87, p95 量や頻度についての表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay24を覚える、 スピーチ練習（1時間）
12	Unit26：We need onoions.	必要なもの、足りないものを説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay25を覚える、 小テストスピーチ練習（1時間）
13	小テスト4 Unit27：Do you eat a big lunch?	食事や食生活について話す表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay26を覚える、 スピーチ練習（1時間）
14	Unit28：How does it taste?	食べ物の特徴や味を説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	既習内容のキクタンを覚える、ペア・インタビュ-の練習（1時間）
15	Unit25-28 review Unit29：I had a great weekend	Unit25-28の復習：p70, p88, p96 Unit29：過去の出来事について話す表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	既習内容のクラスルーム・イングリッシュを覚える、期末テストの学習（1時間）

テキスト

「Speak NOW 1: Communicate with Confidence」Jack C. Richards, David Bohlke 著（Oxford University Press）　ISBN:978-0-19-403015-1（生協で購入してください。）
「キクタン英会話【基礎編】」一杉武史（編著）　著（アルク）　ISBN: 978-4757422926（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　課題：30%　小テスト：30%　定期試験：30%
S:授業内容をよく理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、授業で学んだ基本レベルを超える英語で高度なコミュニケーションがとれる。A：授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや高度な英語でコミュニケーションがとれる。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、やや簡単な英語でコミュニケーションがとれる。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に誠実に取り組み、ごく基礎的な英語でコミュニケーションがとれる。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

人に想いを伝え、理解し合うのはとても楽しいことです。英語を使って世界中の人と話す自分を想像し、積極的に取り組む姿勢が上達への鍵。英語学習を通じて、国際社会で通用するコミュニケーション力を身に付けましょう。

科目名	英会話Ⅱ（教育）Ｃクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UC12106	研究室	非常勤
担当者	ﾀﾞﾙﾄﾝ ｺｰﾃﾞｨ	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	小一種、中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△		○	

授業概要

本授業では、英会話Ⅰで学んだ英語を発展させ、コミュニケーション力を高めていきます。様々な場面でネイティブスピーカーが使うフレーズを引き続き学習し、会話のキャッチボールができる力をさらに養います。前期よりも少し長めの会話やスピーチ練習を行い、自信を持って英語で会話する能力を身に付けます。

学修到達目標

相手に自分から質問し、様々なトピックで会話を発展させることができる。
授業で学んだフレーズを使いこなし、少し長めのスピーチをすることができる。
人前でも堂々と英語で話せる力を身に付けている。

授業の進め方

外国人講師による英語での授業です。英会話Ⅰより長めの会話やスピーチ練習を取り入れ、互いに評価し合います。参加型の授業で最大限に学ぶためには、積極的に参加する姿勢とともに、予習復習をきちんと行うことが重要です。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	Unit15:What do you do first?	時系列で物事を説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay14を覚える、スピーチ練習（1時間））
2	Unit16: What are you doing?	進行中の事柄を説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay15を覚える、スピーチ練習（1時間）
3	Unit17:What's your place like?	自分の家や部屋の間取りについて説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay16を覚える、小テストスピーチ練習（1時間）
4	小テスト1 Unit18：Where can I get a lamp?	小テスト：スピーチ発表 相手のおすすめを聞いたり、提案したりする表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay17を覚える、 スピーチ練習（1時間）
5	Unit19：Where's the mall?	場所を聞く、答える表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay18を覚える、 スピーチ練習（1時間）
6	Unit20:Take a left	道順を案内する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay19を覚える、 小テストスピーチ練習（1時間）
7	小テスト2 Unit21：How much is coffee?	小テスト：スピーチ発表 買い物時に値段を聞く表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay20を覚える、 スピーチ練習（1時間）
8	Unit22：Will you take $20?	値段交渉、買い物時のコミュニケーションを学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay21を覚える、 スピーチ練習（1時間）
9	Unit23：Do you ever buy books?	頻度について聞き、答える表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay22を覚える、 スピーチ練習（1時間）
10	小テスト3 Unit24:Your phone is so cool!	モノの特徴を説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay23を覚える、 スピーチ練習（1時間）
11	Unit21-24 review Unit25:Do you eat much fruit?	Unit21-24復習 p60, p87, p95 量や頻度についての表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay24を覚える、 スピーチ練習（1時間）
12	Unit26：We need onoions.	必要なもの、足りないものを説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay25を覚える、 小テストスピーチ練習（1時間）
13	小テスト4 Unit27：Do you eat a big lunch?	食事や食生活について話す表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay26を覚える、 スピーチ練習（1時間）
14	Unit28：How does it taste?	食べ物の特徴や味を説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	既習内容のキクタンを覚える、ペア・インタビュ-の練習（1時間）
15	Unit25-28 review Unit29：I had a great weekend	Unit25-28の復習：p70, p88, p96 Unit29：過去の出来事について話す表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	既習内容のクラスルーム・イングリッシュを覚える、期末テストの学習（1時間）

テキスト

「Speak NOW 1: Communicate with Confidence」Jack C. Richards, David Bohlke 著（Oxford University Press）　ISBN:978-0-19-403015-1（生協で購入してください。）
「キクタン英会話【基礎編】」一杉武史（編著）　著（アルク）　ISBN: 978-4757422926（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　課題：30%　小テスト：30%　定期試験：30%
S:授業内容をよく理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、授業で学んだ基本レベルを超える英語で高度なコミュニケーションがとれる。A：授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや高度な英語でコミュニケーションがとれる。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、やや簡単な英語でコミュニケーションがとれる。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に誠実に取り組み、ごく基礎的な英語でコミュニケーションがとれる。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

人に想いを伝え、理解し合うのはとても楽しいことです。英語を使って世界中の人と話す自分を想像し、積極的に取り組む姿勢が上達への鍵。英語学習を通じて、国際社会で通用するコミュニケーション力を身に付けましょう。

0301- -26

科目名	英会話Ⅱ（教育）Ｄクラス	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UC12106	研究室	非常勤
担当者	ﾌﾘｽ ﾃﾞｲﾋﾞｯﾄﾞ	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	小一種､中(英語)､高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	◎		△		○	

授業概要

本授業では、英会話Ⅰで学んだ英語を発展させ、コミュニケーション力を高めていきます。様々な場面でネイティブスピーカーが使うフレーズを引き続き学習し、会話のキャッチボールができる力をさらに養います。前期よりも少し長めの会話やスピーチ練習を行い、自信を持って英語で会話する能力を身に付けます。

学修到達目標

相手に自分から質問し、様々なトピックで会話を発展させることができる。
授業で学んだフレーズを使いこなし、少し長めのスピーチをすることができる。
人前でも堂々と英語で話せる力を身に付けている。

授業の進め方

外国人講師による英語での授業です。英会話Ⅰより長めの会話やスピーチ練習を取り入れ、互いに評価し合います。参加型の授業で最大限に学ぶためには、積極的に参加する姿勢とともに、予習復習をきちんと行うことが重要です。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	Unit15:What do you do first?	時系列で物事を説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay14を覚える、スピーチ練習（1時間）
2	Unit16: What are you doing?	進行中の事柄を説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay15を覚える、スピーチ練習（1時間）
3	Unit17:What's your place like?	自分の家や部屋の間取りについて説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay16を覚える、小テスト スピーチ練習（1時間）
4	小テスト1 Unit18：Where can I get a lamp?	小テスト：スピーチ発表 相手のおすすめを聞いたり、提案したりする表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay17を覚える、 スピーチ練習（1時間）
5	Unit19：Where's the mall?	場所を聞く、答える表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay18を覚える、 スピーチ練習（1時間）
6	Unit20:Take a left	道順を案内する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay19を覚える、 小テスト スピーチ練習（1時間）
7	小テスト2 Unit21：How much is coffee?	小テスト：スピーチ発表 買い物時に値段を聞く表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay20を覚える、 スピーチ練習（1時間）
8	Unit22：Will you take $20?	値段交渉、買い物時のコミュニケーションを学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay21を覚える、 スピーチ練習（1時間）
9	Unit23：Do you ever buy books?	頻度について聞き、答える表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay22を覚える、 スピーチ練習（1時間）
10	小テスト3 Unit24:Your phone is so cool!	モノの特徴を説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay23を覚える、 スピーチ練習（1時間）
11	Unit21-24 review Unit25:Do you eat much fruit?	Unit21-24復習 p60, p87, p95 量や頻度についての表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay24を覚える、 スピーチ練習（1時間）
12	Unit26：We need onoions.	必要なもの、足りないものを説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay25を覚える、 小テスト スピーチ練習（1時間）
13	小テスト4 Unit27：Do you eat a big lunch?	食事や食生活について話す表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	クラスルーム・イングリッシとキクタンDay26を覚える、 スピーチ練習（1時間）
14	Unit28：How does it taste?	食べ物の特徴や味を説明する表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	既習内容のキクタンを覚える、ペア・インタビューの練習（1時間）
15	Unit25-28 review Unit29：I had a great weekend	Unit25-28の復習：p70, p88, p96 Unit29：過去の出来事について話す表現を学ぶ 会話練習、発表、ペアワーク	既習内容のクラスルーム・イングリッシュを覚える、期末テストの学習（1時間）

テキスト

「Speak NOW 1: Communicate with Confidence」Jack C. Richards, David Bohlke 著（Oxford University Press） ISBN:978-0-19-403015-1（生協で購入してください。）
「キクタン英会話【基礎編】」一杉武史（編著） 著（アルク） ISBN: 978-4757422926（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：10%　課題：30%　小テスト：30%　定期試験：30%
S:授業内容をよく理解し、自ら学ぶ姿勢を持って学習に取り組み、授業で学んだ基本レベルを超える英語で高度なコミュニケーションがとれる。A：授業内容を理解し、積極的に学習に取り組み、やや高度な英語でコミュニケーションがとれる。B:授業内容のおおよそを理解し、課題に誠実に取り組み、やや簡単な英語でコミュニケーションがとれる。C:授業の内容の60%程度を理解し、課題に誠実に取り組み、ごく基礎的な英語でコミュニケーションがとれる。

参考書

参考書は授業内で紹介します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

人に想いを伝え、理解し合うのはとても楽しいことです。英語を使って世界中の人と話す自分を想像し、積極的に取り組む姿勢が上達への鍵。英語学習を通じて、国際社会で通用するコミュニケーション力を身に付けましょう。

0301- -46

科目名	情報処理Ⅰ（WORD）	学年学期	1年前期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12202	研究室	非常勤
担当者	内川　小百合・松尾　千鶴・小林　美代子	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	小一種､中(英語)､高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	○	△	△	△	△	

授業概要

情報処理を学ぶことは、ひとつはコンピュータ・リテラシーを学ぶこと、つまりコンピュータを使いこなしていくことです。文字を入力することは、その基礎です。さまざまな文書をコンピュータで作成し、編集し、そして保存し、また再利用することは、現代社会の中で、必須の技能といえるでしょう。本講義では、クラウド上の文書管理やビジネスメールの送り方、ワープロソフトWORDを使った正しく速い入力技術の習得、ビジネス文書・図形・表などを作成していくための機能を学んでいきます。

学修到達目標

Office365の機能を習得し、ファイルの送受信などビジネスで使えるスキルを身につけている。正しいキータッチを習得し、ワープロソフトWORDを使ってビジネス文書・表作成・図形挿入・クリップアートや写真の挿入と編集ができる。日本情報処理検定協会ワープロ検定3級～2級を取得できる力を身につけている。

授業の進め方

演習形式で進めます。特に正確で素早いキータッチの技術を身につけるために、毎回スピードテストを行っていきます。WORDの機能を知り、その機能を使いこなせるように多くの演習をこなしていきます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	Office365の概要	Office365の機能と操作、WORDの起動と終了。	Office365の予復習（1時間）
2	文書管理、メール送信	文書管理（ONE　DRIVE）、メール機能、送信練習など	メール機能について予復習（1時間）
3	キータッチについて	正しいキータッチについての解説と演習	キータッチの運指練習（1時間）
4	日本語入力基礎	日本語入力基礎　日本語変換モード、IMEパッド、ファンクションキー及びキータッチ演習	キータッチの運指練習（1時間）
5	漢字変換について	漢字変換について（変換、文節区切り、文字の修正）　短文入力・記号の入力演習	キータッチによる単語練習（1時間）
6	特殊文字の入力	特殊文字の入力　アルファベット、カタカナ、特殊文字を含む文章の入力演習	キータッチによる短文入力練習（1時間）
7	編集機能①	文字の修正、移動、コピーの演習	練習問題の復習（1時間）
8	編集機能②	文字の書式（フォント・サイズ・ボールド体・イタリック体・下線・囲み・網掛け）	練習問題の復習（1時間）
9	編集機能③	文字の書式（拡大縮小・下付き文字・上付き文字・取り消し線・影付きなど）	編集機能の復習と入力練習（1時間）
10	文書保存	文書保存、文書読み込み、再保存（上書き保存、新しいファイル名を付けて保存）	入力練習および保存（1時間）
11	ビジネス文書	ビジネス文書のページ設定（右詰め、中央揃え、インデント、段落番号、箇条書き）	ビジネス文書の入力練習（1時間）
12	表作成	罫線機能、表挿入、線種変更、列幅行高変更、セルの結合と分割、列や行の挿入と削除	表入力練習（1時間）
13	画像編集	画像の挿入（ワードアート、オートシェイプ、クリップアート）	画像挿入および編集の復習（1時間）
14	ビジネス文書	表と画像を含むビジネス文書の完成	表と画像を含む文書の入力練習（1時間）
15	ビジネス文書	会社見学礼状や、内定時の礼状など、学生として出す文書の作成と留意点	さまざまな文書を自分の立場で作成してみる（1時間）

テキスト

「WORDの基礎」内川小百合著（丸の内ハイデ出版）（生協で購入してください。）
「日本語ワープロ検定問題模擬問題集」（日本情報処理検定協会）（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：40%　定期試験：60%
受講態度は、授業への参加度（授業への取組、発言等）で評価します。
S：9割以上の理解度＋授業への参加度＋実技点が100点。
A：8割以上の理解度＋授業への参加度＋実技点が80点以上。
B：8割程度の理解度＋授業への参加度＋実技点が70点以上。
C：8割程度の理解度＋授業への参加度＋実技点が60点以上。

参考書

「知りたい操作がすぐわかるWord2013全機能Bible」西上原裕明著（技術評論社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

コンピュータの入力技術は本講義でしっかりと身につけてください。講義以外の時間を利用してできるだけキーボードに慣れ、WORDの機能についてよく復習してください。日本語ワープロ検定をぜひ受検しましょう。

科目名	情報処理Ⅱ（EXCEL初級）	学年学期	1年後期	単位数	1	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ	UL12203	研究室	非常勤
担当者	駒村　明子・河西　文子・花里　育恵	必修選択	必修	科目種別	演習	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	小一種、中(英語)、高(英語)			履修条件					

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	
	○	△	△	△	△	

授業概要

Microsoft Excelを用いた数値情報の加工・分析は、大学における研究分野のみならず、ビジネスシーンでも幅広く用いられています。身の回りの数値データを的確に処理し、自分に必要な情報を加工する道具としてExcelを使いこなせるようにしていきます。入力や計算式の作り方の基本から、セル参照の種類やよく使う算術・論理関数、グラフ作成、印刷などについて学びます。

学修到達目標

日本情報処理技検定協会が実施している「表計算検定2級」の資格を取得する。または、それと同等の実力を養い、Excelを用いて素早く数値データの集計・加工ができる。

授業の進め方

講義はすべてパソコン教室でコンピュータを用いた実習形式となります。資格取得のためには、作業スピードも重要な要件となるため、時間外にも繰り返し操作することで作業効率の向上を目指します。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス 基本操作と計算式	授業の進め方、評価方法について Excelの基本操作および表計算検定4級について学習します。	同レベルの問題を配布するので、復習をしおく。（1時間）
2	IF関数と端数処理	表計算検定3級で必須とされる基礎的な関数や書式設定について学習します。	配布されたプリントをもう一度、最初から解答しておく。（1時間）
3	セルの参照方式	表計算検定3級で必須とされるセルの参照方式（相対参照・絶対参照）について学習します。	配布されたプリントをもう一度、最初から解答しておく。（1時間）
4	判断文（2分岐・3分岐）	表計算検定3級で必須とされる、IF関数による条件判断や順位付けの関数について学習します。	配布されたプリントをもう一度、最初から解答しておく。（1時間）
5	表計算検定3級まとめ	これまで学習してきた表計算検定3級のまとめの回です。次回2級へ進むための準備学習も行います。	3級レベルの確認課題を出すので、次回までに解答しておく。（1時間）
6	表検索とセル証明	表計算検定2級で必須とされる、Vlookup関数を用いた表検索やセル証明について学習します。	授業内にやった模擬問題を確実に解答できるよう復習しておく。（1時間）
7	グラフ作成	表計算検定2級で必須とされる、グラフ作成方法（主に円グラフ）について学習します。	授業内にやった模擬問題を確実に解答できるよう復習しておく。（1時間）
8	論理演算子を使った判定	表計算検定2級で必須とされる、AND関数、OR関数を理解し、IF関数と組み合わせた処理について学習します。	授業内にやった模擬問題を確実に解答できるよう復習しておく。（1時間）
9	論理演算・平均との比較	平均との比較を含む複雑な論理演算しを使った判定について学習します。	授業内にやった模擬問題を確実に解答できるよう復習しておく。（1時間）
10	評価の解き方のまとめ	表計算検定2級で出題される複雑な多重分岐の解き方に関するまとめの学習を行います。	模擬問題を時間を計りながら次回までに練習しておく。（1時間）
11	表計算2級検定試験対策①	問題集や過去問題を使って規定時間内に解答できるようトレーニングします。	課題が出るので、時間を計りながら次回までに練習しておく。（1時間）
12	表計算2級検定試験対策②	問題集や過去問題を使って規定時間内に解答できるようトレーニングします。	課題が出るので、時間を計りながら次回までに練習しておく。（1時間）
13	表計算2級検定試験対策③	問題集や過去問題を使って規定時間内に解答できるようトレーニングします。	課題が出るので、時間を計りながら次回までに練習しておく。（1時間）
14	表計算2級検定試験対策④	自分の弱点抽出を行い、その部分を解答できるようトレーニングします。	時間を計りながら次回までに問題を練習しておく。（1時間）
15	表計算2級検定試験対策⑤	自分の弱点抽出を行い、その部分を解答できるようトレーニングします。	時間を計りながら問題を練習しておく。（1時間）

テキスト

「情報処理技能検定模擬問題集・表計算2級」日本情報処理技能検定協会編
(生協で購入してください。)

成績評価の方法・基準

課題：20%　定期試験：80%
定期試験は表計算検定2級レベルの内容となります。
A:課題の提出と定期試験または表計算検定において80%程度の技能が認められる
B:課題の提出と定期試験または表計算検定において70%程度の技能が認められる
C:課題の提出と定期試験または表計算検定において60%程度の技能が認められる

参考書

「情報処理技能検定試験・表計算検定対策問題集（過去問題集）」日本情報処理技能検定協会編

履修上の注意（学生へのメッセージ）

取集した数値データや膨大な情報をいかに正確に効率よく取り扱えるかで、今後の問題解決のスピードが大きく変わります。ぜひともExcel操作に精通して欲しいと思います。

科目名	学校経営と学校図書館	学年学期	2・3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	A-01
担当者	征矢野　達彦	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	水曜日4限、金曜日4限		
関連資格	司書教諭			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

学校教育における学校図書館の果す役割を明らかにし、学校図書館法と司書教諭の職務とは、何か。学校図書館全般にわたり基本的な理解をはかることを目的とします。
学校図書館の現代の情報・メディア時代のなかで果たす役割を再認識し、学校経営全体の教育活動に、学校図書館がどのように支援すべきかを具体的に考察します。

学修到達目標

学校図書館の理念、展開、課題、教育行政との連携、学校図書館経営のあり方について理解している。

授業の進め方

テキストを中心に、他の資料を活用して理解を深めます。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	学校教育と学校図書館	教育と学校図書館	課題レポート（4時間）
2	学校図書館の役割	学校図書館の発達と役割	課題レポート（4時間）
3	学校図書館法	制度としての学校図書館	課題レポート（4時間）
4	教育課程・学習指導	教育課程と学校図書館	課題レポート（4時間）
5	ネットワーク構想	学校経営と学校図書館	課題レポート（4時間）
6	学習とメディア	学校図書館メディア	課題レポート（4時間）
7	環境整備	学校図書館の施設・設備	課題レポート（4時間）
8	経営のための組織	学校図書館経営のための諸組織	課題レポート（4時間）
9	会計処理・予算編成	学校図書館の会計	課題レポート（4時間）
10	管理と経営計画	学校図書館経営	課題レポート（4時間）
11	情報メディア提供活動Ⅰ	学校図書館活動	課題レポート（4時間）
12	情報メディア提供活動Ⅱ	学校図書館活動の実際	課題レポート(アウトキャンパス)（4時間）
13	評価と改善	学校図書館の評価と改善	課題レポート（4時間）
14	現状と課題	学校図書館の課題と展望	課題レポート（4時間）
15	まとめ	まとめ(評価)	総合レポート（4時間）

テキスト

「司書教諭テキストシリーズ01　学校経営と学校図書館」古賀節子編（樹村房）　ISBN:978-4-88367-090-1（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

レポート：60%　小テスト：20%　出席レポート：20%
S:到達目標達成のために課題に意欲的に取り組み、授業内容をすべて理解して、文章で表現できる。A:到達目標達成のために探求心をもって課題に取り組み、授業で学んだことを理解し、文章で表現できる。B:到達目標達成のために探求心をもって課題に取り組み、授業で学んだことについて概ね理解し、文章で表現できる。C:到達目標達成を理解して課題に取り組み、授業で学んだことを表現できる。

参考書

講義の中で指示します。

履修上の注意（学生へのメッセージ）

課題学校教育法・教育原理等を復習しておいてください。

科目名	情報メディアの活用	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	篠原　由美子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	司書教諭			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

この科目は，学校図書館で扱う多様な情報メディアを活用するため、必要な知識や技術を習得することを目的としています。ICTの進展に伴い児童生徒をとりまく情報環境が大きく変化してきました。今日の情報社会をとりまく問題に対して認識を深めます。また、情報探索や情報の収集、利用、評価等にかかわる知識・技能を習得し、学校教育における情報メディアのあり方を考察します。著作権も扱います。

学修到達目標

学習を通して自らの情報リテラシーを高め、情報活用能力を向上させて、学校図書館の活用につながる視点を得られるようになる。情報社会に生きる者としての自覚を持つとともに、情報リテラシー教育に携わることができる基本的な知識と態度を身につける。

授業の進め方

講義の課目ですが、できるだけ演習を取り入れながら進めていきます。そのため演習は、できるだけ教育実習の時期を避ける予定です。
実際の教育実習の時期によっては、授業予定の変更もありますので了解しておいてください。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業のねらいを理解し、学修の進め方を確認します。	事前に情報社会にかかわる新聞記事を読む。授業後は今後の学修の計画をたてる。(4時間)
2	高度情報社会と人間	情報社会の特質を理解したうえで、情報社会に生きるうえで気をつけなければいけないことを考えます。	事前に情報社会について調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
3	学校教育と情報メディア	学校教育における情報メディア・視聴覚メディアの活用例を学び、課題と今後の可能性を考えます。	事前に学校教育における活用例を調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
4	学校図書館の情報メディア	学校図書館における情報メディアの活用例を学び、課題と今後の可能性を考えます。	事前に学校図書館における活用例を調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
5	アプリケーションソフトの活用	デジタル機器やアプリケーションソフトを活用して図書館通信を作成します。	事前に図書館通信の企画書を作成する。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
6	インターネットの特性と評価	インターネットの特性を知り、評価の視点を考えます。	事前にインターネットについて調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
7	情報検索の基礎	情報検索に必要な基本的な知識を身につけます。	事前に情報検索の基本について調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
8	インターネットと情報検索①	インターネットで文献検索を行います。	事前に文献検索について調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(8時間)
9	インターネットと情報検索②	インターネットで事実データの検索を行います。	事前に事実データの検察について調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
10	学校図書館と情報サービス	図書館における情報サービスの事例を学び、学校図書館でどのような可能性があるか考えます。	事前に図書館の情報サービスについて調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
11	パスファインダー	パスファインダーとはどのようなものか理解し、実際に作成します。	事前に調べる事柄を準備する。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
12	情報リテラシー	情報を扱うものがもつべき情報リテラシーについて理解を深め、自らの情報リテラシーを向上させるとともに、指導するものとして知識を広げます。	事前に情報リテラシーについて調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
13	情報倫理	情報を扱うものが見につけるべき倫理について学びます。	事前に情報倫理について調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
14	著作権	著作権の基本的なことを学び、著作権に対する知識と適正な態度を獲得するようにします。	事前に著作権について調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(8時間)
15	まとめ	あらためて情報社会における児童・生徒のあり方と図書館のあり方を考えます。	今まで学んだことを振り返る。授業後は最終的なまとめをする。(4時間)

テキスト

プリント「情報メディアの活用」を配布します。

成績評価の方法・基準

課題：40%　定期試験：60%
S：授業内容を高度に理解している。批判的思考力に基づく探求姿勢で課題に取り組み、現実の問題にとりくむことができる。A：授業内容を理解し、積極的な探求姿勢をもって課題に取り組む。学習した内容を現実の問題とつなげて考えることができる。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組む。学習内容は現実に関連づけて理解している。C：授業の内容の 60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組む。学習内容が現実と関連していることを理解できる。

参考書

「情報メディアの活用　3訂版」山本順一著（放送大学教育振興会(NHK出版)）　ISBN：978-4-595-31649-4

履修上の注意（学生へのメッセージ）

情報メディアに関する話題や問題にはどのようなものがあるのでしょう。日頃から新聞などの報道に注意を向けるようにしてください。

科目名	読書と豊かな人間性	学年学期	2・3年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	岸　正博	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	司書教諭			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

本科目は、子どもたちに「本はおもしろい」と思ってもらえることを前提に、そのためにどのような学校図書館が必要か、また、どのような学校図書館活動が有効かを理解した上で、学校経営的視点にも立って、発達段階に応じた読書指導の内容と方法を具体的に学習し、司書教諭としての実践的な指導力を身に付けます。

学修到達目標

・有効な読書推進活動を行うための学校図書館のあり方を考え、司書教諭の果たす役割が理解できる。
・児童生徒の発達段階に応じた読書教育の理念を理解し、読書指導の具体的な方法を習得し、実践できる。

授業の進め方

・テキストと関連資料などのプリントを基本にして講義を進めます。
・講義形態は、講義ならびに演習・グループワークを基本とします。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	授業ガイダンス 読書の意義と目的	読書は人間形成に重要な意味を持ちます。読書の喜びを知るために、適切な本との出会い、読書環境の整備などが読書指導の第一歩であることを学びます。図書館や書店見学からの気付きを出し合います。	学校図書館や公共図書館、書店を見学し、気付いたことをメモしておく。(観点は自由) (4時間)
2	発達段階と読書ー読書能力の発達ー	読書能力とは、言葉からイメージを喚起する想像力です。児童生徒の読書能力の発達を押さえた上で、読書指導のあり方を考えます。	今までの自分の読書履歴を整理しておく。(4時間)
3	・発達段階と読書ー読書興味の発達ー	読書指導の中心は、児童生徒の読書興味の発達に応じて、読書への動機付けを行うことにあります。読書興味の発達段階を理解します。各自の読書履歴を出し合うとともに、自身の読書履歴を振り返ります。	今までの自分の読書履歴を整理しておく。(4時間)
4	・読書環境と楽しむ読書	読書活動のために、学校経営的視点にも立って、学校全体としての読書環境を整え、児童生徒への効果ある読書の指導内容・方法を考えます。	学校図書館や公共図書館、書店の室内環境を見て、改めて気付いたことをメモしておく。(4時間)
5	・調べ学習と読書	各教科や総合的な学習の時間における調べ学習は、探究学習の中心となる活動です。その具体的な指導内容について考えます。	講読演習、担当する章の要約・提案の準備をしておく。(4時間)
6	読書指導の実践	小中高の児童生徒はどのようなジャンル、作品を読んできたのか、各種ごとの傾向を考え、読書指導の実際を考えます。	講読演習、担当する章の要約・提案の準備をしておく。(4時間)
7	考える読書	読書によって自らの考えを深め、高めていく具体的な方法について考えます。読書会を通して主体的な読書活動を体験します。	読書会の交流から、自身の読みの変容についてまとめる。(4時間)
8	集団読書と個人読書	読書会の実践をもとに、集団読書と個人読書を考えます。	講読演習、担当する章の要約・提案の準備をしておく。(4時間)
9	読書資料の種類と活用	絵本・伝記・文学・参考図書・漫画等、読書資料の種類と特性、マルチメディア時代における読書活動について考えます。	講読演習、担当する章の要約・提案の準備をしておく。(4時間)
10	図書資料の選択・収集	出版界の実情や問題点を把握し、地域の実態や児童生徒の要望をも踏まえて、図書資料の選択・収集について考えます。	講読演習、担当する章の要約・提案の準備をしておく。(4時間)
11	読書体験の表現	「豊かな人間性」を養うための読書の観点とそのための作品について考えます。読書指導実践例を参考にします。	講読演習、担当する章の要約・提案の準備をしておく。(4時間)
12	読書体験の交流	読書活動を活発にするために、読み聞かせやビブリオバトル等の読書体験の交流について考え、実践します。読書月間、読書週間など、全校での取組についても考えます。	読み聞かせ、ビブリオバトルをする本の選択・発表の準備をしておく。(4時間)
13	家庭読書との連携	児童生徒の読書活動を発展させるために家庭との連携は欠かせません。学校・家庭・地域連携の視点をもとに、司書教諭としての連携のあり方はどうあるべきか考えます。	講読演習、担当する章の要約・準備をしておく。(4時間)
14	公共図書館等の活用・連携	公共図書館等を利用し、児童生徒が自ら図書を選択・購入するなど、豊かな読書活動を継続させていくこと、また、学校図書館との連携についても考えます。	講読演習、担当する章の要約・提案の準備をしておく。(4時間)
15	司書教諭への期待	司書教諭として教育課程の編成にかかわる専門性をどう高めていくか、司書教諭に期待されることについて考えます。	「司書教諭」の職務について、整理しておく。(4時間)

テキスト

「読書と豊かな人間性の育成 改訂版」天道佐津子編著（青弓社）
ISBN:978-4-7872-0046-4（生協で購入してください。）

成績評価の方法・基準

受講態度：30%　レポート：30%　定期試験：40%
S：グループワーク等で、中心となって発言・傾聴でき、課題の把握・解決に意欲的に取り組み、文章等に全て正確に表現できる。A：グループワーク等で、中心となって発言・傾聴でき、課題の把握・解決に意欲的に取り組み、文章等に正確に表現できる。B：グループワーク等で発言・傾聴し、課題の把握・解決に取り組み、文章等に概ね正確に表現できる。C：グループワーク等で発言・傾聴し、課題の把握・解決に取り組み、文章等に表現できる。

参考書

「読書はパワー」スチーブン・クラッシェン著（金の星社）　ISBN：4-323-01882-7
「新学校図書館入門」黒澤　浩編著（草土文化社）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

・「お薦めの本」を1冊、紹介できるようにしておいてください。
・学校図書館、公共図書館、書店等の見学をしてください。

科目名	学校図書館メディアの構成	学年学期	3・4年後期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	篠原　由美子	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	司書教諭			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

学校図書館で扱われる多様なメディアについて理解を深め、それらを収集・構成・組織化・配置するための基本的な技術の習得をねらいとします。講義では、学校図書館メディアの種類と特性を理解し、各メディアに適した整理方法を考えます。具体的な整理方法として、日本十進分類法、日本目録規則、件名標目表の概要を解説します。

学修到達目標

学校図書館や公共図書館で利用に供されている資料とその組織化について理解し、上級の図書館利用者・活用者になる。また、そうすることで、児童・生徒の図書館利用や情報活用を指導・支援できるための基礎的知識を身につける。

授業の進め方

講義が中心になりますが、必要に応じて演習を行います。理解の定着を図るため、折に触れて小テストを実施します。
教育実習の実施時期によって、講義計画の変更もありますので了解しておいてください。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	ガイダンス	授業のねらいを理解し、学修の計画を立てます。	事前に学校図書館メディアについて調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
2	学校図書館メディアの種類と特性	学校図書館で扱う各種メディアとその特徴を学びます。	事前に各種メディアについて調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
3	学校図書館メディアの構成	学校図書館メディアの蔵書構築について基本的な事項を理解します。	事前に蔵書構築について調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
4	学校図書館メディアの購入	学校図書館で資料の購入は実際にどのように行われているのかを知り，資料購入時の留意点を考えます。	事前に出版物の流通について調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
5	学校図書館メディアの選択	学校図書館のメディアの選択の方法を理解するとともに，選択の際に配慮すべきことを学びます。	事前にメディアの選択事例について調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
6	「図書館の自由」と選書	「図書館の自由」を理解するとともに，学校図書館では「図書館の自由」に関してどのような問題が起こりうるかを考えます。	事前に「図書館の自由」について調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
7	学校図書館メディアの組織化①	目録の種類と意義を学びます。	事前に図書館の目録について調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
8	学校図書館メディアの組織化②	主題検索の概念を理解し，主題による検索を効率よくできるようにします。	事前に主題検索について調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
9	学校図書館メディアの組織化③	日本十進分類法の概要を理解し，分類作業を体験します。	事前に分類について調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
10	学校図書館メディアの組織化④	シソーラスについての基礎的な知識を身につけます。	事前にシソーラスについて調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
11	学校図書館メディアの組織化⑤	コンピュータ目録の特徴を知り，従来の目録との違いを理解します。また，コンピュータ目録の高度な機能を学びます。	事前にコンピュータ目録について調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
12	学校図書館メディアの整理	学校図書館メディアは利用に供するまでにどのような手続きが必要なのか、体験を通して学びます。	事前に図書館の「整理」について調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
13	学校図書館メディアの排架	図書館の排架の事例を通して、どのような排架をすると利用しやすい図書館になるか考えます。また、そのための方法を学びます。	事前に図書館の排架について調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
14	館内レイアウトとサイン	館内レイアウトの事例を通して、どのようなレイアウトにすると利用しやすい図書館になるか考えます。また、サインの意義について学びます。	事前に図書館のサインについて調べる。授業後は学んだことを振り返り、まとめる。(4時間)
15	まとめ	14回の学修を通して、あらためて学校図書館メディアの構成化のあり方を考えます。	今まで学んだことを振り返る。授業後は最終的なまとめをする。(4時間)

テキスト

「日本目録規則1987年版　改訂3版」（日本図書館協会）　（講義時に貸与します）
「日本十進分類法　新訂10版」（日本図書館協会）　（講義時に貸与します）
「基本件名標目表　第4版」（日本図書館協会　1999）　（講義時に貸与します）

成績評価の方法・基準

課題：30%　小テスト：20%　定期試験：50%
S：授業内容を高度に理解している。図書館教育を推進・実施するための基本的な力を獲得していると認められる。A：授業内容を理解し積極的な探求姿勢をもって課題に取り組む。学習した内容を現実の問題とつなげて考えることができる。B：授業内容のおおよそを理解し、与えられた課題に誠実に取り組む。学習内容は現実に関連づけて理解している。C：授業の内容の 60%程度を理解し、与えられた課題に誠実に取り組む。学習内容が現実と関連していることを理解できる。

参考書

「学校図書館メディアの構成　改訂新版」北克一[ほか]著（放送大学教育振興会(NHK出版)）　ISBN：978-4-595-31651-7

履修上の注意（学生へのメッセージ）

日ごろから本学図書館や身近な公共図書館を利用して，運営の仕方などにも注意を払うようにしてください。

科目名	学習指導と学校図書館	学年学期	3・4年前期	単位数	2	ﾅﾝﾊﾞﾘﾝｸﾞ		研究室	
担当者	松井　正英	必修選択	必修	科目種別	講義	ｵﾌｨｽｱﾜｰ			
関連資格	司書教諭			履修条件	教職課程履修者				

ディプロマポリシーとの関連性			カリキュラムポリシーとの関連性			履修対象入学年度（読替科目）
①	②	③	A	B	C	

授業概要

教育課程の展開に寄与する学校図書館の役割を理解し、児童生徒の情報活用能力を育成するためのプログラムや指導計画、学習活動を支援する情報サービス、授業等における図書館活用のあり方等について学びます。また、個人で決めたテーマについて実際に調べてまとめるというプロセスを体験することで、探求型学習の進め方を理解します。

学修到達目標

情報活用能力の育成、学校図書館を活用した教育活動の方法やそれに対する支援、学習活動における情報サービスのための知識や技術を習得する。

授業の進め方

講義によって基本的な知識を押さえつつ、テーマごとに個人およびグループでの演習を取り入れて、知識の定着と実践力の習得を図ります。

授業計画（各回のテーマ等）※事前事後学修の時間は1単位科目は1時間、2単位科目は4時間が目安です。記載以外にも適宜課されます。

回	テーマ	内容	事前事後学修
1	学校図書館の役割	教育行政の変遷や学校図書館法の趣旨を押さえつつ、学校図書館が果たす役割と本科目が目指すものを確認します。	前：他科目で学んだことを復習しておく（2時間）。後：講義で学んだことを復習する（2時間）。
2	教育課程と学校図書館	学習指導要領を読み解きながら、教育過程の展開において学校図書館を活用することの意義について考えます。	前：指定された資料を読んでくる（2時間）。後：講義で学んだことを復習する（2時間）。
3	学習活動と学校図書館メディア	児童生徒の発達段階に応じた、学習活動に役立つ学校図書館メディアの選択とその構築について学びます。	前：指定された資料を読んでくる（2時間）。後：講義で学んだことを復習する（2時間）。
4	求められている情報活用能力	情報化社会の中で自ら課題を解決していくために必要な情報リテラシーや情報活用能力について学びます。	前：指定された資料を読んでくる（2時間）。後：講義で学んだことを復習する（2時間）。
5	情報活用能力の育成	情報活用能力を育成するための具体的なプログラムや指導計画の立て方、教育課程への位置づけなどを学びます。	前：指定された資料を読んでくる（2時間）。後：講義で学んだことを復習する（2時間）。
6	情報サービス1　レファレンス・サービスの基本	レファレンス・サービスの重要性、対応方法、レファレンス・ブックや電子メディアの種類などについて学びます。	前：指定された資料を読んでくる（2時間）。後：講義で学んだことを復習する（2時間）。
7	情報サービス2　レファレンス・サービス演習	前回学んだ基本を踏まえながら、具体的な問題に取り組み、またお互いに質問者と回答者になってレファレンス・ワークを経験します。	前：レファレンスの質問を考えてくる（2時間）。後：講義で学んだことを復習する（2時間）。
8	情報サービス3　さまざまな情報サービス	相互貸借、テーマ展示、ブックリスト、パスファインダー、導入のガイダンス、ブックトークなど、さまざまな情報サービスについて学びます。	前：情報サービス用のテーマを考える（1時間）。後：ブックトーク案を作成する（3時間）。
9	教師への働きかけと支援	学校図書館を活用した教育活動に馴染みがない教師にどのように働きかけ、授業づくりのプロセスをどのように支援するかを学びます。	前：ブックトーク案を作成する（3時間）。後：講義で学んだことを復習する（1時間）
10	学習指導における学校図書館の活用	調べ学習や探究学習などの事例を通して、授業等における学校図書館の活用方法と学習活動への支援方法を学びます。	前：指定された資料を読んでくる（2時間）。後：講義で学んだことを復習する（2時間）。
11	調べ学習・探究学習の演習1　問いの生成	大きなテーマから具体的なテーマに絞り、さらに問いを生成するプロセスとその支援方法を、演習で体験しながら学びます。	前：指定された資料を読んでくる（2時間）。後：情報探索の計画を立てる（2時間）。
12	調べ学習・探究学習の演習2　情報の収集	情報探索の計画を立て、それに沿って必要な情報を収集するプロセスとその支援方法を、演習で体験しながら学びます。	後：収集した資料や情報を読み込む（4時間以上）。
13	調べ学習・探究学習の演習3　情報の整理	収集した情報を整理し、まとめていくプロセスとその支援方法を、演習で体験しながら学びます。	後：発表用レポートを完成させる（4時間以上）。
14	調べ学習・探究学習の演習4　発表と評価	学習成果の発表と評価の方法について、自分たちがまとめたレポートを発表し、お互いに評価し合いながら学びます。	前：発表練習をする（2時間）。後：探究学習演習の反省をまとめる。（2時間）
15	まとめ	れまで学んできたことを総括し、学習指導における学校図書館の役割について考えます。	課題レポートをまとめる（4時間以上）。

テキスト

毎回、レジュメ及び関連資料を配布します。

成績評価の方法・基準

受講態度：50%　レポート：50%
講義の内容をしっかり理解し、その上で演習等に積極的に取り組むことを求めます。提出を要するレポートの課題と評価基準は講義中に提示します。講義内容を十分に理解し演習の取り組みが優秀であればA、十分ではないがほぼできていればB、基本的なことを理解して演習の取り組みが誠実であれば、を目安とし、講義を受けているときの態度を加味して最終評価します。

参考書

「思考を深める探究学習　アクティブ・ラーニングの視点で活用する学校図書館」桑田てるみ著（全国学校図書館協議会）
「問いをつくるスパイラル」（日本図書館協会）

履修上の注意（学生へのメッセージ）

日頃から図書・新聞などの紙媒体資料やインターネット・データベースなどの電子メディアに意識的に接するように心がけてください。また、書店や図書館にも頻繁に足を運んでください。